

- 創刊号

千歳科学技術大学報

平成14年1月 日

発行
学校法人千歳科学技術大学
企画総務課
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



左から 緒方学長 辻岡理事長 渡辺事務局長 雀部研究科長予定者

大学院設置認可、寄附行為変更認可書の交付

平成13年6月に本学が申請しました大学院設置認可及び寄附行為変更認可について、去る12月20日(木)に文部科学省高等教育局大学設置事務室にて大学院設置認可書及び寄附行為変更認可書の交付を受けました。

大学院の概要

千歳科学技術大学大学院 光科学研究科 光科学専攻(修士課程)

修業年限: 2年

入学定員: 12名(収容定員24名)

学位: 修士(理工学)

内 容

理事長あいさつ
学長あいさつ
開学からの軌跡
校歌の制定

理事長あいさつ

「学報創刊にあたって」 理事長 辻岡 昭

このたび大学報が創刊されます。私どもの大学は平成10年4月の開学ですから、来る3月で丁度4年を経ることになり、卒業生を初めて世に送り出します。大学として大きな区切りを迎えたと言えますが、完成ではありません。完成までには未だ多くの年月と努力とを必要とします。もとよりどの時点を完成と見るかは人によって異なるし、また明白な判定基準があるわけではありません。寧ろ人格形成と同じで、終りのない道程かもしれません。しかし本学が今、草創期の真只中にあることは誰も異存がないでしょう。

昨年の末、念願の「校歌」が決まりました。また大学院の設置が認可になり、来る4月から研究科が出発します。一流の大学として、また光科学という最先端の科学を教育し、研究する大学としての要件が、一つ一つ着実に実現しています。喜ばしいことであると思います。

翻って、現在の日本は未曾有の変革期にあります。政治、経済、教育、その他諸々のことが大きく変わろうとしています。大学も例外ではありません。現に、我が国の大学は、新旧、大小、公私の別なく、新しい大学像を模索し苦勞しています。時代に取り残されないための努力です。大学といえども破綻し消滅する危険をはらんでいるからです。

ところで大学は時代に対応することも大切ですが、一方で時代を超え、世の風潮に容易に動かされない確固たる心を持つことがより大切であると思います。この心は永い年月を経て培われ、よい伝統、或いはよい校風の形で現れてくるもので、多くは大学の草創期にその基礎は造られます。本学は今がその時期で、このことに直接参加するのは教職員の皆さんと学生諸君です。どういう歴史の第一頁を記すのか、その責任は重大です。一般に歴史の形成には正しい記録による裏付けが必要です。この意味で今回創刊されるこの大学報が担っている役割は大きいと言えます。

これを機に本大学にゆかりの人達が一致協力して、よい伝統に輝く「千歳科学技術大学」を育てあげましょう。そしてそれは素晴らしい校風を誇れる大学でありたいと思います。



学長あいさつ

「開学4年目を迎えて」 学長 緒方 直哉

いよいよ、平成14年3月には第一期生が卒業します。思えば、春まだ浅い平成10年4月に273名の新入生を迎えて入学式を挙行した日が昨日のことに思い出されます。当時の専任教員は全部いれても僅か16名で、まるで小学校の入学式のような覚えています。初代の学長であった、故佐々木先生が自分の理想とする光科学を専門とする新しい大学の開学にあたって、その輝かしい未来を力強く述べられたのが印象に残っています。

ところが入学式以後の故佐々木先生のお加減が日に日に悪くなり、とうとう開学半年後の10月5日に他界されてしまいました。故佐々木先生の遺志を引き継いで大学の発展に力を合わせよう

ということがその後の大学教職員全員の合い言葉でありました。そして今、開学4年目を迎えて学生数が920名余、教職員数が60名余にまで発展して、さらに大学院の開設も認可となり、日本の中で北海道の千歳市に光科学専門の大学があるということが知られるようになりました。これまでに国際会議を4回開催して世界にも大学の存在が認められるようになったことは誇りに思います。国際会議が開かれるたびに桜の木を植樹していますが、やがて長い桜並木となることを期待しています。

少子化がどんどん進んで全ての大学で新入生の獲得に向けた動きが活発化しています。大学全入時代はもうすぐ近くまで来ていると言われます。大学の冬の時代が到来するとよくマスコミでも言われています。しかし、時代の変化に対応した新しい発想に基づいた大学は存続し、発展していくでしょう。エレクトロニクスからフォトニクス、つまり光科学の時代は確実に来ています。21世紀の未来を担ったこの大学に対する期待は大きくなっています。

「人知還流・人格陶冶」の建学精神を高々と掲げて前進して行こうではありませんか。



開学からの軌跡

大学設置（学部設置）認可から現在までを簡単にまとめてみました。

平成 9年12月19日 同	千歳科学技術大学設置認可（文部省） 学校法人千歳科学技術大学寄附行為認可（文部省）
平成10年 4月 1日 平成10年 4月11日 平成10年 6月 6日 平成10年 7月24日 平成10年 8月 7日 平成10年10月12日 ~ 15日 平成10年11月 4日 平成10年11月 5日	千歳科学技術大学 開学 平成10年度 光科学部第1期生入学式 入学者273名（於 体育館） 千歳科学技術大学 開学式 約500名（於 体育館） 第1回千歳科学技術大学市民公開講座 約120名 キャンパス見学会 ICONO'4開催記念講演会 など 約180名 第2代学長 緒方直哉 就任 佐々木敬介学長を偲ぶ会（大学葬） 約600名（於 体育館）
平成11年 4月10日 平成11年 7月10日 ~ 11日 平成11年 9月 5日 平成11年10月 2日 ~ 3日 平成11年10月12日 ~ 13日 平成11年12月25日 平成12年 3月10日	平成11年度 光科学部第2期生入学式 入学者277名 キャンパス見学会 キャンパス見学会 第1回 稜輝祭（学校祭） 第1回千歳光科学国際フォーラム公開講演会 など 約100名 学校法人千歳科学技術大学役員の重任（理事10名、監事2名） マルチメディア・モデルキャンパス展開事業公開講演会 約120名
平成12年 4月 8日 平成12年 8月 5日 平成12年 9月 5日 ~ 8日 平成12年 9月23日 ~ 24日 平成13年 1月23日 ~ 3月 6日	平成12年度 光科学部第3期生入学式 入学者168名 キャンパス見学会 ISOM2000光メモリー公開講座 など 約400名 第2回 稜輝祭（学校祭） 千歳科学技術大学市民公開講座（5回シリーズ） 延べ 約200名
平成13年 4月 7日 平成13年 6月22日 平成13年 6月28日 平成13年 8月 4日 平成13年 9月 6日 ~ 8日 平成13年 9月22日 ~ 23日 平成13年 9月23日 平成13年11月26日 平成13年12月20日 同 平成14年 1月22日~ 2月26日（祝） 平成14年 3月16日（祝）	平成13年度 光科学部第4期生入学式 入学者235名（編入学者1名） 千歳科学技術大学大学院設置認可申請書提出（文部科学省） 学校法人千歳科学技術大学寄附行為変更認可申請書提出（文部科学省） キャンパス見学会 第2回 千歳光科学国際フォーラム公開講演会 など 約250名 第3回 稜輝祭（学校祭） キャンパス見学会 千歳科学技術大学校歌制定 千歳科学技術大学大学院設置認可（文部科学省） 学校法人千歳科学技術大学寄附行為変更認可（文部科学省） 千歳科学技術大学市民公開講座 平成13年度 千歳科学技術大学 学位記授与式

校歌の制定

開学4年目に待望の本校校歌が11月26日の理事会の議を経て制定されました。

作詞・作曲は、「さとうきび畑」をつくられた元洗足学園大学教授の寺島尚彦先生です。寺島先生には、何度か本学を訪れていただき、千歳のイメージや学生との意見交換を重ね校歌をお作りいただきました。

この校歌は、大学をとりまくすばらしい自然環境や光の神秘、そして何よりも本学で光科学をまなぶ学生達を生き生きと歌いあげております。

千歳科学技術大学 校歌（寺島 尚彦 作）

1 光の海を風がわたる

えが
美々の森に四季を 画く
いま ひらめきの橋に立てば
ゆくて
行手に明日が見える
究めるは光の神秘
つむ
世界の英知 紡ぎつつ

シーアイエスティ
集うわれらの C I S T
未来へ
すべての夢はここに

2 千歳の土に足をふまえ

とき
耳にとどく時代の流れ
いま 青空を仰ぎみれば
心は翼になる
と

翔び立てば光の浪漫
稜輝の虹を駆けあがる

シーアイエスティ
若いわれらの C I S T
世界へ
すべての道はここに

専任教員一覧

本学には、37名の専任教員のほか、非常勤講師、その他研究員等があります。

物質光科学科		
氏名	職名	研究分野
芦高秀知	教授	ホトニクスポリマ材料の合成、ファイバー型・導波路型光デバイス
池田弘治	教授	高分子合成、高性能透明ポリマおよび光機能性ポリマの合成と応用
石田宏司	教授	光導波路デバイス、光インターコネクション技術
緒方直哉	教授(学長)	機能性高分子材料
角田敦	教授	有機光導電材料、イメージング材料、光物性
加藤洌	教授	レーザおよび非線形光学
雀部博之	教授(学科主任)	有機光材料の分子設計、薄膜化と非線形光学、電界発光、画像処理などへの応用
花村榮一	教授	新レーザ物質と非線形光学材料の設計
宮崎榮三	教授	光電子分光、表面薄膜科学、発光ダイオード、新蛍光物質
安達千波矢	助教授	有機光物理化学、有機半導体材料デバイス
今井敏郎	助教授	有機化学、有機機能性材料、有機非線形光学材料
Karthaus Olaf	助教授	有機合成、高分子合成、分子認識、薄膜作成、単一分子分光
川辺豊	助教授	遷移金属酸化物の光物性および非線形光学、有機薄膜レーザ、有機LED素子
山中明生	助教授	レーザ材料、誘電体光学材料、超伝導材料
谷尾宣久	講師	高分子の光物性、高分子固体物性
堀之内英	講師	光通信工学、光学、光機能性デバイス
李黎明	助手	電子回路設計、レーザによる癌診断・癌治療、モノサイクル超短光パルス計測
johnathon john	助教授(基礎教育主任)	visual literacy
王建康	助教授	近世文学、日中比較文学、言語教育
小川正浩	講師	文化史
Randy L. Evans	講師	言語学、応用言語学、英語教育

光応用システム学科		
氏名	職名	研究分野
川合敏雄	教授(学部長)	計算物理学、数学と物理学教育
川瀬正明	教授	通信工学、光通信工学、光ファイバーおよび光ファイバー応用システム
児玉邦彦	教授	化合物半導体材料、蛍光材料
小林壮一	教授(大学情報学部長)	光ファイバーおよび光導波路製造法、半導体レーザ周波数制御
浜中宏一	教授	光・電子デバイス
三戸慶一	教授(学科主任)	有機材料による光導波、固体化色素の増幅のメカニズム、非線形光学
宮本博文	教授(学生総合学部長)	熱流体力学、高分子加工学
吉田淳一	教授	光通信デバイス、光情報ハイウェイ技術
江口真史	助教授	光ファイバー・光導波路、電磁波・光波の波動理論、インターネット
唐澤直樹	助教授	超短光パルス技術、非線形ファイバー光学、非線形光パルス伝搬理論
小松川浩	助教授	ニューラルネットワークベースのシミュレーション、分散処理
張公儉	助教授	非線形光学材料、光導波路デバイス、光機能性材料とデバイス
小田尚樹	講師	制御工学、ロボット工学、モーションコントロール
高岡詠子	講師	言語処理、並列処理、メモリ管理、記号処理、計算機による各種データの解析、コンピュータ教育
長谷川誠	講師	機構デバイスの信頼性・性能向上、光応用計測技術
福田誠	助手	電子回路の設計、固体化色素レーザ

平成12年度決算及び平成13年度予算の概要

平成12年度決算及び平成13年度予算の概要をお知らせします。

なお、「消費収支計算書」は経営状況を表し、「貸借対照表」は財産状況を表していますが、これらの計算書類は、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条の規定に基づき作成したものです。

平成13年度予算の重点項目

卒業研究など実験・実習の充実
大学院開設のための基盤整備
学生募集広報活動の強化・充実

進路・就職対策への支援活動の強化
国際会議の開催
AO(アドミッションオフィス)入試の導入

消費収支計算書 (概要)

貸借対照表 (概要)

(平成13年3月31日現在)

(単位：千円)

		12年度決算	13年度予算
帰属収入	学生納付金	985,777	1,340,746
	手数料	26,245	20,734
	寄付金	7,840	5,440
	補助金	2,239	2,341
	資産運用収入	4,455	5,750
	事業収入	147,084	34,917
	雑収入	5,225	0
帰属収入合計		1,178,865	1,409,928

基本金組入額	44,834	30,989
消費収入の部合計(ア)	1,134,031	1,378,939

		12年度決算	13年度予算
消費支出	人件費	500,601	559,808
	(うち退職給付引当金繰入額)	(7,192)	(6,799)
	教育研究費	679,050	717,135
	(うち減価償却費)	(400,002)	(403,508)
	管理経費	174,668	211,506
(うち減価償却費)	(28,407)	(28,756)	
消費支出の部合計(イ)		1,354,319	1,488,449

消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	220,288	109,510
翌年度繰越消費収入超過額	473,490	245,298

資産の部

(単位：千円)

		12年度末
固定資産		10,271,929
有形固定資産		9,333,143
その他の固定資産		938,786
流動資産		994,440
資産の部合計		11,266,369

負債の部

固定負債	16,535
流動負債	306,192
負債の部合計	322,727

基本金及び消費収支差額の部

基本金	10,470,152
消費収支差額	473,490
合計	10,943,642

負債の部・基本金及び消費収支差額の部

負債・基本金及び消費収支差額の部合計	11,266,369
--------------------	------------

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

2 月		3 月	
1日(金)	大学情報センター管理施設開放時間変更(情) (開放時間 9:00~17:00)	3日(日)	千歳科学技術大学一般学力試験 期試験(入)
3日(日)	千歳科学技術大学一般学力試験 期試験(入)	8日(金)	平成13年度卒業生発表(学)
12日(火)	千歳科学技術大学大学院入学試験(入)	11日(月)	千歳科学技術大学編入学試験 後期試験(入)
13日(水)	大学運営会議(企)、教授会(学)	13日(水)	大学運営会議(企)、教授会(学)
15日(金)	(センター試験利用入試 前期試験合格発表)(入)	16日(土)	平成13年度 学位記授与式(企・学)
15日(金)~21日(木)	秋学期再・追加試験(学)	18日(月)~20日(水)	図書資料等、蔵書点検日(図書館休館)(情)
20日(水)	平成13年度 第5回 理事会・評議員会(企)	20日(水)	(センター試験利用入試 後期試験合格発表)(入)
27日(水)	学科分け最終決定者発表(第1学年)(学)	下旬	保護者への進級・留年結果、成績表配布(学)

在学生の概要

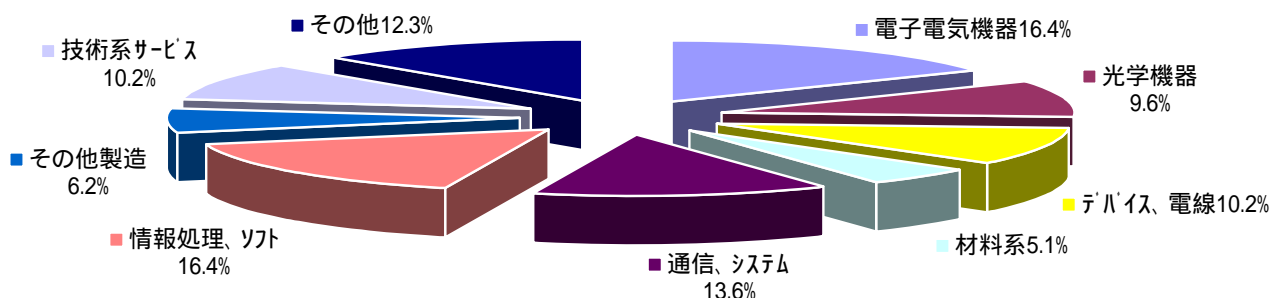
1 在学状況（平成13年12月末現在） (人)

光科学部	男	女	合計
	865	58	923

2 第4学年の進路状況（平成13年12月末現在） (人)

第4学年在学数	就職希望者（内定者/就職率）	進学希望者（合格者）	その他
258	192（177/92.2%）	41（12）	25

・業種別内定状況



・進学予定大学院

北海道大学大学院、大阪大学大学院、筑波大学大学院、慶應義塾大学大学院、電気通信大学大学院
山形大学大学院、奈良先端科学技術大学院、北陸先端科学技術大学院、琉球大学大学院 ほか

3 学生の主な課外活動実績

- ・ソーラーカー部 ソーラーカーチャレンジイン北海道2001
Bクラス（480ワット以内）出場 準優勝（北見市 7月22日）
全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップ
ハーフサイズカテゴリークラス出場 6位入賞（秋田市 8月5日）
NHK総合テレビ「金曜ひろば640」に出演（12月14日）
- ・サッカー部 千歳地区秋季サッカー大会出場 優勝（千歳市 9月30日）
千歳民報社杯サッカー大会出場 優勝（千歳市 9月2日）
- ・陸上競技部 北海道地区大学体育大会出場 砲丸投げ 優勝（釧路市 7月8日）
- ・硬式野球部 札幌学生野球秋季リーグ戦出場 3部4位（札幌市ほか 9月2日）
- ・バレーボール部 千歳体育の日記念バレーボール大会出場 準優勝（千歳市 9月16日）

編集後記

創刊号として開学4年目ににして学内報を発行することができました。

今後も、法人・大学・大学院の各種情報を例月でお知らせしたいと考えていますので編集に対するご意見ご要望をお聞かせ下さい。
なお、学内における、行事・お知らせがある場合は、法人事務局企画総務課にご連絡下さい。

今回は、2月 日発行を予定しています。

第2号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年2月28日

発行
学校法人千歳科学技術大学
企画総務課
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



左から 緒方学長と雀部新学長

新学長の決定

去る2月8日(金)に実施した学長候補者選挙の結果、物質光科学科の雀部教授が学長候補者として決定し、2月20日(水)に開催されました理事会において、次期学長として承認されました。就任は平成14年4月1日からで任期は4年間です。

緒方学長におかれましては、故佐々木学長の遺志を受継ぎ建学精神の醸成にご尽力いただきました。今後は雀部新学長の元さらなる発展を目指してまいります。

内 容

今後の行事予定
会議開催
報告(通達)

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

3 月		4 月	
3日(日)	千歳科学技術大学一般学力試験 期試験(入)	3日(水)	第4学年ガイダンス(学)
6日(水)	大学運営会議(企) 教授会(学)	6日(土)	平成14年度 入学式(企)
8日(金)	平成13年度卒業生発表(学)	8日(月)~12日(金)	第1学年オリエンテーション(学)
11日(月)	千歳科学技術大学編入学試験 後期試験(入)	"	第2,3学年ガイダンス
16日(土)	平成13年度 学位記授与式(企・学)	15日(月)~	春学期授業開始
18日(月)~20日(水)	図書資料等、蔵書点検日(図書館休館)(情)		
20日(水)	(センター試験利用入試 後期試験合格発表)(入)		
下旬	保護者への進級・留年結果、成績表配布(学)		

会議開催

大学運営会議

- 2月13日(水)午後1時~
- ・教育研究貢献賞の制定について
 - ・千歳科学技術大学名誉教授規程の制定について
 - ・その他(学位記授与式について)

教授会

- 2月13日(水)午後2時30分~
- ・学習指導報告
 - ・学生総合センター報告
 - ・大学情報センター報告
 - ・入試事務局報告
 - ・その他

報 告 (通 達)

学長の決定

緒方直哉学長の任期満了に伴い、千歳科学技術大学学長選任規程に従い、平成14年2月8日学長候補者選挙を実施しました。今回の学長候補者の推薦は雀部教授1名であったため、信任投票となりました。

信任投票の結果：当日有権者35名、有効投票数33票の内信任票は満票により、雀部教授が学長候補者として選出され、学長候補者選挙管理委員会委員長(川合敏雄教授)から辻岡理事長に報告されました。

この結果は、平成14年2月20日開催した第5回学校法人千歳科学技術大学理事会において新学長の決定について理事長から報告され理事会の承認を得ております。

(新学長)

氏名 雀部 博之(千歳科学技術大学 光科学部 物質光学科 教授)

就任は平成14年4月1日から任期満了(4年間)です。

規程の制定・改正

平成14年2月20日開催した第5回学校法人千歳科学技術大学理事会において次の規程の制定及び改正を提案し決定しましたので報告します。

1 規程の制定

千歳科学技術大学学位規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)第13条第1項、千歳科学技術大学学則第67条及び千歳科学技術大学大学院学則第23条第2項に基づき、千歳科学技術大学(以下「本学」という。)が授与する学位について必要な事項を定める。

(学位)

第2条 本学が授与する学位は、学士(理工学)及び修士(理工学)とする。

(学士の学位授与の要件)

第3条 学士の学位は、本学の光科学部を卒業した者に授与する。

(修士の学位授与の要件)

第4条 修士の学位は、本学の大学院光科学研究科の修士課程(以下「修士課程」という。)を修了した者に授与する。

(修士学位論文の提出)

第5条 修士課程の学位論文(以下「学位論文」という。)の審査及び最終試験を受けようとする学生は、定められた期日までに、論文審査出願書に学位論文及びその論文要旨を指導教員を通じて、研究科長に提出しなければならない。

2 研究科長は、前項の規定に基づき提出された論文審査出願書及び学位論文を受理したときは、研究科委員会に学位論文の審査及び最終試験を付託するものとする。

(論文審査委員会)

第6条 研究科委員会は、前条第2項の規定により学位論文の審査及び最終試験を付託されたときは、学位論文審査委員会(以下「審査委員会」という。)を設置し、学位論文の審査及び最終試験を行わせるものとする。

2 審査委員会は、付託された学位論文を審査するため、3人以上の審査委員をもって組織する。

3 審査委員会は、審査委員の互選による主査1人を置く。

4 審査委員会は、学位論文の審査に当たって必要があるときは、研究科委員会の議を経て、他の大学院又は研究所等の教員等の協力を得ることができる。

(最終試験)

第7条 最終試験は、前条の審査委員会が学位論文の内容を中心として、これに関連のある科目について口頭試問又は筆答試問の方法によって行う。

2 学位論文の審査の結果その内容が著しく不良であると認めるときは、最終試験を行わない場合がある。

(審査期間)

第8条 第5条第1項の規定に基づき提出された学位論文の審査及び最終試験は、その学位論文を提出した学生の在学期間内に終了しなければならない。

(審査結果の報告)

第9条 審査委員会は、学位論文及び最終試験又は学力の確認が終了したときは、その結果の要旨に学位を授与できるか否か意見を添え、研究科委員会に文書で報告しなければならない。

2 審査委員会は、第7条第2項により最終試験を行わない場合は、前項の定めにかかわらず最終試験の結果の要旨を添付することを要しない。

(学位授与の議決・報告)

第10条 研究科委員会は、前条の報告に基づいて、学位を授与すべきか否かを審議し、議決する。

2 前項の議決をするには、研究科委員会構成員の3分の2以上が出席し、その3分の2以上の賛成を必要とする。

3 研究科長は、審議結果を学長に報告しなければならない。

(学位記の授与)

第11条 学長は、本学を卒業した者に学士の学位を授与し、学位記を交付する。

2 学長は、修士課程を修了した者に修士の学位を授与し、学位記を交付する。

3 学位を授与できない者には、その旨を通知する。

(学位の名称の使用)

第12条 学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、「千歳科学技術大学」の文字を付記するものとする。

(修士学位授与の取消し)

第13条 学長は、学位を授与された者が、次の各号の一に該当するときは、研究科委員会の議決に基づき、既に授与した学位を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

(1) 不正の方法により学位を受けた事実が判明したとき。

(2) 学位を授与された者がその名誉を汚す行為があったとき。

(学位記の様式)

第14条 学位記の様式は、別に定める。

附 則(規程の制定)

この規程は、平成14年 2月20日から施行する。

千歳科学技術大学大学院研究科長選任規程

(目的)

第1条 この規程は、千歳科学技術大学大学院学則第7条第2項の規定する研究科長の選任及び任期に関し必要な事項を定める。

(選任の事由)

第2条 研究科長の選任は、次の各号の一に該当する事由が生じたときに行うものとする。

- (1) 研究科長の任期が満了するとき。
- (2) 研究科長が辞任を申し出て理事長が承認したとき。
- (3) 研究科長が前各号以外の理由で欠員となったとき。

(選任の期限)

第3条 研究科長の選任は、前条の事由によりそれぞれ次に掲げる期間内に行うものとする。

- (1) 前条第1号による場合は、任期満了前の6箇月以内とする。
- (2) 前条第2号及び第3号による場合は、事由発生の日から1か月以内とする。

(選任の方法)

第4条 研究科長の選考は、学長の推薦に基づき、研究科委員会が行う。

2 学長は、前項の選考が終了した場合には、その結果を速やかに理事長に報告し、理事長がこれを決定する。

(研究科長の任期)

第5条 研究科長の任期は、2年とする。

- 2 研究科長は、再任されることができる。
- 3 第2条第2号及び第3号の事由により選任された研究科長の任期は、前任者の残任の期間とする。

附 則(規程の制定)

- 1 この規程は、平成14年 4月 1日から施行する。
- 2 大学院の開学当初における研究科長は、第3条から第5条の規程にかかわらず次の者とする。

雀部 博之

学校法人千歳科学技術大学証明等手数料規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人千歳科学技術大学(以下「本学」という。)における各種証明書等の手数料について必要な事項を定めることを目的とする。

(証明書等手数料)

第2条 本学が発行する各種証明書等の手数料の額は、別表のとおりとする。

(手数料の減免)

第3条 次の各号に該当する場合は、手数料を減免することができる。

- (1) 本学が業務上必要なもの
- (2) 特別な事情があり、理事長が承認したもの

附 則(規程の制定)

この規程は、平成14年 4月 1日から施行する。

別 表

(単位:円)

種 別	区 分	金 額
在学証明書	和 文	200
	英 文	1,000
成績証明書	和 文	200
	英 文	1,000
単位取得証明書	和 文	200
	英 文	1,000
卒業(修了)見込証明書	和 文	200
	英 文	1,000
卒業(修了)証明書	和 文	200
	英 文	1,000
在籍証明書	和 文	200
	英 文	1,000
学位授与証明書	和 文	200
	英 文	1,000
健康診断証明書	和 文	200
推薦書	和 文	200
	英 文	1,000
調査書	和 文	200
	英 文	1,000
学生証(再発行)	-	実 費

千歳市派遣職員特例規程

(目的)

第1条 この規程は、公益法人等への千歳市職員の派遣等に関する条例(平成14年千歳市条例第 号(以下「条例」という。))に基づき学校法人千歳科学技術大学(以下「本学」という。)に派遣される千歳市職員(以下「派遣職員」という。)の服務及び給与並びに勤務時間その他の勤務条件に関し、本学における特例を定めることを目的とする。

(服務)

第2条 派遣職員は、地方公務員法の身分上の服務に関する規定を遵守するとともに、本学の建学精神の実現及び業務の公共的使命を自覚し、本学の諸規程を遵守して業務に専念しなければならない。

(給与及び勤務条件等)

第3条 本学における派遣職員の給与及び勤務条件等は、条例第2条の規定に基づく本学と千歳市との間の取決め(以下「協定書」という。)により決定する。

(委任)

第4条 前条の協定書の締結は理事長に委任する。
2 この規程の実施に関し必要な事項は理事長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、公益法人等への千歳市職員の派遣等に関する条例について議会の議決を経た上で、平成14年4月1日から施行する。

千歳科学技術大学名誉教授規程

(目的)

第1条 この規程は、千歳科学技術大学学則第16条に規定する名誉教授の称号を授与するため必要な事項を定める。

(名誉教授)

第2条 名誉教授の称号は、次の各号の一に該当し、人格、学識高邁にして、かつ、千歳科学技術大学(以下「本学」という。)に対する功績が顕著であった者に対し、教授退職後に授与するものとする。

- (1) 本学の専任教授として20年以上在職した者。
- (2) 前号以外の者で、本学における専任教授として在職年数が10年以上であり、かつ、専任助教授として在職年数を2分の1として計算した年数を加算して在職年数20年を超える者。
- (3) 学長、学部長及び研究科長の職務に従事し、かつ、本学の発展に顕著な功績があった者。

(選考方法)

第3条 名誉教授は、学長が推薦し教授会または研究科委員会の議を経て大学運営会議が審議し、理事会の承認を得て決定する。

(称号の授与)

第4条 名誉教授の称号は、別に定める様式により、学長が授与する。

(称号の取消)

第5条 名誉教授本人の責に帰すべき行為により著しく大学の名誉を失墜し、又は損害を与えたときは、理事長は理事会の議を経て名誉教授の称号を取り消すことができる。

(改廃手続)

第6条 この規程の改廃は、大学運営会議の審議を経て理事会が決定する。

附 則(規程の制定)

この規程は、平成14年2月20日から施行する。

2 規程の改正

千歳科学技術大学運営会議規程の一部改正(改正事項のみ下線表示)

<省 略>

(構成)

第4条 大学運営会議は、次の各号に掲げる者で構成する。

- (1) 学長、学部長、研究科長及び学科主任
- (2) 専務理事及び事務局長
- (3) その他学長が特に必要と認めた役職員

<中 略>

附 則

1 この規程は、平成13年11月26日から施行する。

附 則(研究科長について)

この規程は、平成14年 4月 1日から施行する。

学校法人千歳科学技術大学教職員給与規程の一部改正(改正事項のみ表示(下線部))

<省 略>

(期末手当)

第17条 期末手当は、3月1日、6月1日及び12月1日(以下この条においてこれらの日を「基準日」という。)にそれぞれ在職する教職員に対して支給する。

2 期末手当の額は、期末手当基礎額に、3月に支給する場合には100分の55、6月に支給する場合には100分の145、12月に支給する場合には100分の155を乗じた額

に、基準日以前3箇月以内(基準日が12月1日であるときは、6箇月以内)の期間におけるその者の在職期間の区分に応じて、次の表に定める割合を乗じて得た額とする。

<中 略>

附 則(期末手当について)

この規程は、平成14年 4月 1日から施行する。

学校法人千歳科学技術大学役員の報酬及び

退職手当に関する規程の一部改正(改正事項のみ表示(下線部))

<省 略>

(期末手当)

第6条 期末手当は、給与規程第17条第1項の規定を準用する。

2 期末手当の額は、期末手当基礎額に3月に支給する場合には100分の55、6月に支給する場合には100分の205、12月に支給する場合には100分の210を乗じた額に、基準日以前3箇月以内(基準日が12月1日であるときは、6箇月以内)の期間におけるその者の在任期間の区分に応じて、給与規程第17条第2項に規定する表に定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、同表中「在職期間」とあるのは「在任期間」と読み替えるものとする。

3 前項の期末手当基礎額は、それぞれの基準日現在に受けるべき給料月額とする。

4 第2条第3項に定める役員については、前項の規定にかかわらず、給料の月額に100分の15を乗じて得た額を加算した額を第2項の期末手当基礎額とする。

<中 略>

附 則(期末手当について)

この規程は、平成14年 4月 1日から施行する。

平成14年度予算の概要

平成14年度予算についてお知らせします。

補助金の確保

初めて交付を受ける経常費補助金の一般補助・特別補助については、交付環境の整備、申請条件等の検討を図り、交付額の増加に努める。

事業収入

受託研究、共同研究などの増加を図り、外部資金による研究費の確保に努める。

重点配分する経費

- 1) 教育用情報機器等更新経費 2) 大学院運営経費

消費収支計算書 (概要)

(単位：千円)

		13年度予算額	14年度予算額
帰属収入	学生納付金	1,340,746	1,315,123
	手数料	20,734	22,035
	寄付金	5,440	6,400
	補助金	2,341	184,990
	資産運用収入	5,750	1,130
	事業収入	34,917	17,595
雑収入		0	0
帰属収入合計		1,409,928	1,547,273
基本金組入額		30,989	10,038
消費収入の部合計(ア)		1,378,939	1,537,235
消費支出	人件費	559,808	671,778
	教育研究費	717,135	787,927
	管理経費	211,506	213,581
消費支出の部合計(イ)		1,488,449	1,673,286
消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)		109,510	136,051
翌年度繰越消費収入超過額		245,298	254,486

連絡(お知らせ)

1. 2月には次の行事などが開催されました。

学内企業説明会

2月18日(月)から28日(木)までの9日間にわたり学生の職業意識向上を図るため説明会を開催しました。

期間中は、企業のエンジニアや人事担当の方々から、企業における仕事の内容と学生時代に身につけておくべき能力など熱心なお話をいただきました。

・ご協力いただいた企業は次のとおりです。

三和電子(株)	旭電化工業(株)	日商エレクトロニクス(株)	(株)精工技研
ネットソフト(株)	(株)日立ハイテクノロジーズ	矢崎総業(株)	(株)シーズ・ラボ
セイコーエプソン(株)	(株)大塚商会	(株)NTTドコモ北海道	(株)ジャパンアウトソーシング
日立湘南電子(株)	スタンレー電気株式会社	(株)協和エクシオ	住電ハイプレジジョン(株)
(株)苫小牧電子計算センター	(株)シー・エス・イー・テクノ	(株)ツツキアクトシステム	(株)日立国際電気
(株)ハイテック	富士電機(株)	日本アイ・ビー・エム(株)	大丸藤井(株)
(株)フォーラムエンジニアリング	住友電工通信エンジニアリング(株)	NTTエレクトロニクス(株)	ハートランド・データ(株)
アイックス・ナレッジ(株)	日本コムシス(株)	(株)アルプス技研	(株)アプロ
(株)ティエスティ	(株)ソフトウェアサービス	新日本電子(株)	住電オプコム(株)
(株)クロステック	北海道ソフトエンジニアリング(株)	国際システム(株)	住友大阪セメント(株)
(株)フジキン	セントラルコンピュータサービス(株)	(株)メイテック	アルプス電気(株)
(株)ティ・アイ・ティ	松下システムエンジニアリング(株)	(株)ディスコ	(株)ニトリ
日立建機ビジネスソリューション(株)	キヤノン(株)	(株)インターネットイニシアティブ	(株)オプトクエスト
日東電工(株)	(株)ユー・エス・イー	(株)エーティ・プランニング	

大学院入試

2月12日、本学初の大学院（光科学研究科）入試を実施しました。当日は、筆記試験と面接試験（口頭試問）が行われ、その結果に基づき、2月18日に14名の学生の合格を発表しております。

2. 3月に行われる行事等についてお知らせします。

学位記授与式のご案内

日 時：平成14年3月16日（土） 午前10時から

場 所：本学 「体育館」

参集予定：第4学年生及びご父母等関係者、本学役員、来賓、教員ほか

*当日はシャトルバスを運行しておりますが、通常の時間帯と異なります。
また、駐車台数に限りがありますので極力公共交通機関等をご利用願います。

千歳科学技術大学同窓会設立総会の開催について（卒業記念事業委員会主催）

日 時：平成14年3月16日（土） 午後1時から

場 所：本学 「本部棟 大講義室（B101）」

内 容：

千歳科学技術大学同窓会会則について
千歳科学技術大学同窓会役員選出について
平成14年度事業計画について
平成14年度予算（案）について

平成13年度 第1期生謝恩会の開催について（卒業記念事業委員会主催）

日 時：平成14年3月16日（土） 午後2時から

場 所：ホテル日航千歳 「鳳凰の間」

第1期卒業生の皆様のご参集をお願いします。

*なお、ご来賓等ご出席をお願いする方々には、後日、卒業記念事業委員会から招待状をお送りします。

編 集 後 記

3月号は、学位授与式等の行事を中心に構成を予定しております。
最近の話題、掲載事項がありましたら事務局企画総務課にご連絡下さい。

第3号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年3月29日

発行
学校法人千歳科学技術大学
企画総務課
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



(緒方学長の式辞)

初めての学位記授与式を開催

内 容

平成13年度 学位記授与式
会議開催
報告(通達)
連絡(お知らせ)

平成13年度 学位記授与式

去る3月16日(土)初めての学位記授与式が本学体育館で執り行われました。

会場内には光科学部卒業生248名及びご家族の皆様並びにご来賓、本学役員、専任教員、報道関係者等総勢約600名が参列し、午前10時に式が開始されました。

国歌斉唱に引き続き、本学校歌を作詞作曲いただいた元洗足学園大学教授寺島尚彦先生の指揮により在校生有志のピアノ演奏及びコーラスで校歌が斉唱されました。在校生有志の皆さんが日々練習を重ね、素晴らしいコーラスが披露できましたことに感謝いたします。



(堀岡 良太さん)

次に、学位記の授与に移り、緒方学長から、物質光科学科を代表して、堀岡良太さんに、光応用システム学科を代表して杉山秀則さんにそれぞれ、濃紺のケースに入れられた学位記が手渡されました。



(杉山 秀則さん)



(町村衆議院議員)

その後、緒方学長から式辞、来賓を代表し、辻岡理事長、東川孝千歳市長さらに衆議院議員で元文部科学大臣の町村 信孝様からご祝辞をいただきました。

当日のご来賓には、北海道議会議員山口 幸太郎様、千歳市議会議長梅尾 要一様、千歳商工会議所会頭神野 昇様、北海道医療大学学長廣重 力様、苫小牧駒沢大学学長大久保 治男様をはじめ多くのご来賓の方々にお越しいただきました。

学位記授与式の最後に、卒業生を代表して光応用システム学科の永井 拓史さんから答辞があり、新たな人生のスタートに向け『建学の精神を忘れずに、自由な発想で確実に前進していきたい』と力強い決意表明が有り、卒業生からは併せて額入りの校歌の記念品目録が緒方学長に贈呈されました。

厳粛のうちにも盛大に、本学最初の学位記授与式が修了しました。皆さん、ご卒業おめでとうございます。



(永井 拓史さん)

会議開催

大学運営会議

- 3月6日(水)午後1時~
- ・教員の役職の交代について
 - ・その他

大学運営会議

- 3月20日(水) 午前10時~
- ・新任教員の選考について
 - ・その他

教授会

- 3月6日(水)午後1時30分~
- ・学習指導報告
 - ・学生総合センター報告
 - ・大学情報センター報告
 - ・入試事務局報告
 - ・その他

教授会(臨時第1回)

- 3月20日(水) 午前11時~
- ・教員選考委員会委員の選出

教授会(臨時第2回)

- 3月20日(水) 午後4時~
- ・教員の進退に関する件

報 告 (通 達)

規則等の制定

千歳科学技術大学大学院研究科委員会細則の制定

- ・千歳科学技術大学大学院学則第11条に基づく、研究科委員会の運営等について決めました。
- ・施行日：平成14年4月1日
- ・所 管：企画総務課

学校法人千歳科学技術大学教育職員超過担当手当支給細則の制定

- ・学校法人千歳科学技術大学教職員給与規程第21条第2項に規定する超過担当手当の責任時間、支給の範囲並びに額等について決めました。
- ・施行日：平成14年3月1日
- ・所 管：企画総務課

千歳科学技術大学名誉教授に係る調査研究取扱要綱の制定

- ・名誉教授の称号を授与された者の本学における調査研究に係る取扱いの明確化を図るため決めました。
- ・施行日：平成14年4月1日
- ・所 管：企画総務課

規則等の改正

学校法人千歳科学技術大学教職員管理職手当支給細則の一部改正

- ・学長の管理職手当及び研究科長の管理職手当について改正しました。
- ・施行日：平成14年4月1日
- ・所 管：企画総務課

学校法人千歳科学技術大学教職員教員特別手当支給細則の一部改正

- ・学生総合センター長と指揮命令下にある各部主任の兼務に係る教員特別手当について改正しました。
- ・施行日：平成14年4月1日
- ・所 管：企画総務課

授業料等の免除、減額及び徴収猶予に関する細則の一部改正

- ・平成14年度に開設される大学院の学生に対して適用するよう改正しました。
- ・施行日：平成14年4月1日
- ・所 管：会計課

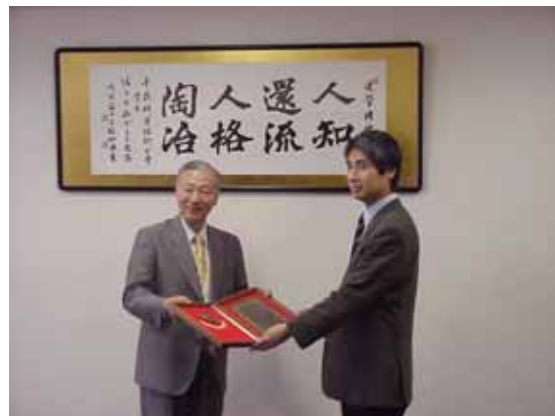
学校法人千歳科学技術大学受託研究取扱要綱の改正

- ・受託研究費の間接経費の割合を変更しました。
- ・施行日：平成14年4月1日
- ・所 管：学務課

連絡（お知らせ）

教育研究貢献賞の授与

3月6日、緒方学長から小林 壮一教授、山中 明生助教授、小松川 浩助教授の3名に教育研究貢献賞が授与されました。



写真は小林教授の記念の楯です。

緒方学長、川合学部長のご退任

緒方 直哉学長、川合 敏雄学部長のご両名が3月31日をもちましてご退任されます。開学当初から、本学の発展に寄与されご尽力されましたことに厚く感謝申し上げます。

第4号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年4月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



中原 誠さんの宣誓

平成14年度入学式の挙行

去る4月6日(土)平成14年度の入学式が執り行われ光科学部入学生254名(編入学生1名)大学院光科学研究科入学生14名のほかにご家族の皆さん、多数のご来賓にお越しいただきました。

雀部新学長の式辞に対し新入学生を代表して中原 誠さん(写真)が宣誓を行いました。

また、辻岡理事長のご祝辞のほかご来賓を代表して本学の設置に深く関わる千歳市長の東川 孝様のご祝辞をいただきました。

内 容

雀部新学長の表明
本学教職員の新体制
今後の行事予定

新学長あいさつ

去る4月10日、教授会の開催前に、雀部新学長から次のとおり就任のご挨拶がありました。

「学長就任に当たって」 学長 雀部 博之

この度第3代学長を拝命することとなりました。浅学菲才の身ではありますが、よろしくお願いいたします。

大学を取り巻く環境は急速に変貌しつつあります。国立大学における独立行政法人化の波は国立大学間の連携・統合に向けてかなりの速度で進行しています。特に単科大学は、その存亡を賭けて大学改革に取り組んでいるのが現状です。一方、私立大学においても学生確保と学生の資質向上、他大学との差別化を目指して多様な対応を迫られています。千歳科学技術大学は設立後間もないとはいえ、このような改革の波をかぶらない訳には参りません。今までは、大学の立上げに精力を使い果たして改革を顧みる余裕は無かった、と言い逃れをすることは可能でしたが、完成年度を過ぎた現在では、この言い訳は通用しません。我々としても大学の存亡を賭けて、新しい切り口で改革の道を探る必要があります。危機感を煽る気は毛頭ありませんが、常日頃からより良い大学への方策を考え、積極的に取り組むことは、本学に籍を置くものの責任ともいえましょう。このような状況下にあつて学長をお引き受けするには、物凄く大きな不安感に苛まれました。しかし、一旦お引き受けした以上、より良い大学を目指し誠心誠意、全力を尽くす所存であります。教職員の皆様のご協力を切にお願いする次第であります。



学長就任に当たり、次の3項目を目標に掲げたいと思います。

1. 多様化する学生の教育への対応
2. 大学院の充実と国際化
3. 地域に根ざした大学

多様化する学生の教育への対応

大学は、学生が入学してから卒業するまでの間に、学力・知識を身につけ且つ自らの人格を磨きあげる場です。近年の入試の多様化に呼応して入学してくる学生の能力・学力に広いスペクトル幅(差)があり、教育上画一的に授業編成ができないことは教員の皆さんが痛感されておられることと思います。しかし、一旦入学を許可した以上、どのレベルの学生にも教育・研究を通じて、能力の向上・人格の陶冶を推し進めねばなりません。既に基礎クラス、補習クラスにより、数学・物理・化学への対応は一部なされていますが、これらをさらに強化する必要があります。教える側の負担も飽和状態ではありますが、これからはもっと厳しい状況になるのは火を見るより明らかであります。

一方、能力のある学生は、現在のカリキュラム内容(講義内容)に不満を抱いております。つまり、もっと高度な内容の講義をして欲しい、という要望です。こういう学生は単位取得が目的ではなく知的欲求を満たせるような授業を受けたいという希望をもっているわけです。そこで私からのお願いというか提案ですが、各先生方に1学期間に1コマの「自主ゼミ」を開設していただき、「Advanced Course」の話、あるいは逆に「徹底的な基礎・補習」を展開して頂きたいと思っております。

本学の特徴は、学生が1年次に入学してから直ぐにでも先生方と親しく話ができ、研究室への出入りも自由、という点が挙げられています。特別推薦入試の際にも強調している点です。しかし、このように積極的且つ行動的な学生はほんの一握りの学生で、かなり多くの学生は相談相手もないまま、次第に落ちこぼれて行っています。「授業が分からないからサボる、サボるから余計分からなくなる」の悪循環に陥っている学生が多数います。今までもこのような学生を救うためにクラス担任制があり、学生部等があるとされてきましたが、十分に目が行き届かないのが現状で、実際に「登校拒否・脱落・留年・退学」のルートを辿る学生が見受けられます。これを救うには、以前に私が提唱しました「学生アドバイザー制度」の導入が一つの方法と信じています。詳細につきましては学生部あたりで検討していただければ良いと思いますが、このようなきめ細かい対応をすることによ

て学生は先生にも大学にも馴染み、不安感が取り除かれて勉学に勤しむようになるでしょう。これこそが建学精神に謳われている「人格陶冶」への教員側からの対応といえるでしょう。このような対応が制度化されると、生徒を送り出す高校側にも安心感を与えることは必定です。

大学院の充実と国際化

本年4月から大学院光科学研究科が開設れ、14名の院生が進学しました。院生の諸君には先生方と一緒に研究の一翼を担って貰う訳ですが、またTAとして学部の実験・演習にも協力して頂くこととなります。一歩ずつ一人前の大学へと前進しています。しかし、平成16年度開設を目指して大学院後期過程（博士課程）設置を申請しなければなりません。研究面でも一人前の大学となるためには博士課程の設置が不可欠であるからです。修士課程は「高度な専門的職業人の育成」が目標でありましたが、博士課程の場合は「高度な研究者の育成」を目標としなければならず、一段と厳しい評価を受けることとなります。基準は明確にはされておりませんが、研究指導を担当できる教授（いわゆるDマル合教授）の有資格者数の確保が最大の関門となりますので、先生方の一層の努力をお願いいたす次第です。文部科学省との予備的相談も夏ごろからスタートし、来年6月には本申請となる予定ですので、早急に大学院博士課程設置準備委員会を設けて活動を開始する必要があります。ご協力ください。

大学院がスタートしたことにより、海外の大学院との連携も一段と強くなります。既に、韓国、米国、ベルギーの幾つかの大学とは連携の話が進み始めており、具体的な学生交流の話も実現しそうです。学事的にも初めてのケースですので、何かと問題は出てくるとは思いますが、是非上手くクリアーして行きたいと思っております。このような国際化により本学の知名度は著しく向上することが期待でき、受験生の確保や就職先の開拓に大きな影響を与えるものと信じています。

地域に根ざした大学

ようやく1サイクルを経過し、無事に最初の卒業生を世に送り出すことができました。今までは周囲に気配りする余裕が無かったのが実情ですが、これからは本学が誕生した経緯を十分に考慮し、産みの親である千歳市への貢献を一つの目標にしたいと思えます。本学は千歳市が掲げる「ホトニクスパレー構想」の中核的存在であることに鑑み、産官と上手く連携する体制を確立することが必要です。具体的には、産との連携としてのホトニクスワールドコンソーシアム（PWC）の活性化です。これは特に研究クラスターを中心とする研究会活動を通して地域連携のリーダーシップを発揮することにあります。また、官との連携として「中小都市エリア連携基盤整備事業」のような国のプロジェクトを積極的に推進し、地方自治体としての千歳市の科学技術における産学官連携を成功に導くのです。

一方、千歳市周辺には250余の企業が存在し、その良き相談相手となることを期待されています。大学にも産学官連携推進の窓口を設け、技術相談・技術指導及び公的資金導入のためのプロジェクト提案などを積極的に推進したいと思います。実際の窓口はPWCになるかも知れませんが、何らかのスキームを確立する必要があります。

さらに、一般市民に対しても、市が構築しつつあるイントラネットを活用して小中高教育・生涯教育、医療・健康などの面から、より快適な生活環境を提供できるよう、大学からの情報発信も含めて積極的な取り組みを進めて行きたいと思えます。

以上述べてきました3つの目標以外にも、学生の確保は重要な課題です。入試事務局を中心に、全教職員が一致団結してこの任にあたる必要がありますので、宜しくご協力の程お願いいたします。また、学生の就職も極めて重要な課題です。第1期生に関しましては、川瀬先生を筆頭に就職部の先生方、職員の方々が日夜を厭わず取り組んでくださったお陰でね順調に進めることができました。今年は、一層厳しい状況になるものと予想されておりますので、教職員一丸となってこの苦境を乗り越えて参りたいと思えます。これらの大学としての入口・出口を目標通りに確保できれば、千歳科学技術大学の名声は次第に高まっていくものと信じております。是非、ポジティブフィードバックを掛けて参りたいと思っております。宜しくご協力お願いいたします。

平成14年4月10日

本学教職員の新体制

平成14年度の教育職員役職等及び事務職員の異動等についてお知らせします。

教育職員

新任

氏名	現職	備考
碓井 広義	助教授（光応用システム学科）	新規採用
福田 誠	講師（光応用システム学科）	昇任

役職

氏名	役職	備考
雀部 博之	学長 兼 研究科長	
三戸 慶一	学部長	
石田 宏司	物質光科学科主任	
浜中 宏一	光応用システム学科主任	
Johnathon John	基礎教育主任	
池田 弘治	学生総合センター長 兼 学生部主任	
小林 壮一	大学情報センター長	
王 建康	学生部副主任	
江口 真史	学生部副主任	
川瀬 正明	就職部主任	
角田 敦	就職部副主任	
宮本 博文	就職部副主任	
唐澤 直樹	就職部副主任	
安達 千波矢	就職部副主任	
児玉 邦彦	学習指導主任	
今井 敏郎	学習指導副主任	
福田 誠	学習指導副主任 兼 クラス担任（1D）	
山中 明生	学習指導副主任（大学院） 兼 クラス担任（1A）	
谷尾 宣久	教室幹事（物質光科学科）	
長谷川 誠	教室幹事（光応用システム学科）	
小松川 浩	教室幹事（大学院）	
Karthus Olaf	クラス担任（1B）	
小田 尚樹	クラス担任（1C 兼 光応用システム学科3年）	
堀之内 英	クラス担任（2A）	
Randy L.Evans	クラス担任（2B）	
張 公儉	クラス担任（2C）	
高岡 詠子	クラス担任（2D）	
宮崎 榮三	クラス担任（物質光科学科3年）	
川辺 豊	クラス担任（物質光科学科3年）	
吉田 淳一	クラス担任（光応用システム学科3年）	

事務職員

新任

氏名	現職	備考
大和 隆之	事務局企画総務課企画総務係	千歳市から派遣
藤木 健一郎	事務局入試広報課入試広報係	千歳市から派遣
菊田 直哉	事務局入試広報課入試広報係	新規採用
田口 大介	事務局就職課就職係	新規採用

異動

氏名	現職	前職	備考
小島 一則	事務局就職課就職係長	事務局就職課就職係	昇任
高田 志乃	事務局企画総務課企画総務係	事務局会計課会計係	

浅沼 千佳子	事務局会計課会計係	事務局入試広報課入試広報係	
墓田 裕幸	事務局学務課研究係	事務局企画総務課企画総務係	
松崎 正信	事務局企画総務課企画総務係	千歳市企画部空港基地対策課	千歳市へ復帰
島田 和明	事務局入試広報課入試広報係	千歳市総務部事務管理課	千歳市へ復帰

臨時理事会・評議員会の開催

4月17日(水)本学にて臨時理事会・評議員会が開催され、本学役員及び評議員の欠員補充が決定しました。また、3月に退任された緒方教授・川合教授に名誉教授の称号を授与することが決定しております。

役員

氏名	現職	備考
辻岡 昭(理事長)	(学)千歳科学技術大学 理事長	
我孫子 健一(理事)	北海道空港㈱ 代表取締役社長	
伊澤 達夫(理事)	NTTエレクトロニクス㈱ 代表取締役社長	
小谷津 孝明(理事)	日本橋学館大学 学長	新任
雀部 博之(理事)	千歳科学技術大学 学長	新任
佐室 有志(理事)	(株)日立製作所 代表取締役副社長	
永利 久志(理事)	東京急行電鉄㈱ 取締役相談役	
東川 孝(理事)	北海道千歳市長	
松岡 信之(理事)	(学)千歳科学技術大学 専務理事	
三戸 慶一(理事)	千歳科学技術大学 光科学部長	新任
木村 良臣(監事)	北海道空港㈱ 顧問	
檜森 聖一(監事)	(株)北洋銀行 取締役・公務金融部長	

評議員

氏名	現職	備考
我孫子 健一	北海道空港㈱ 代表取締役社長	
石田 宏司	千歳科学技術大学 学科主任	新任
大川 實	(株)日立ビルシステム東京東支社 常務取締役支社長	
國枝 良吉	(株)じょうてつ 代表取締役会長	
小谷津 孝明	日本橋学館大学 学長	
佐々木 勝利	千歳商工会議所 専務理事	新任
佐々木 正丞	北海道ガス㈱ 代表取締役社長	新任
雀部 博之	千歳科学技術大学 学長	
柴田 稔久	日本アイ・ビー・エム㈱ 常務取締役	
高梨 裕文	(株)富士通研究所 常任顧問	
辻岡 昭	(学)千歳科学技術大学 理事長	
灘本 正博	(財)光産業技術振興協会 専務理事	
花村 榮一	千歳科学技術大学 教授	
浜中 宏一	千歳科学技術大学 学科主任	新任
東川 孝	北海道千歳市長	
廣重 力	北海道医療大学 学長	
正木 宏生	(株)ダイナックス 取締役社長	
松岡 信之	(学)千歳科学技術大学 専務理事	
三戸 慶一	千歳科学技術大学 光科学部長	
八木 眞介	(株)日立国際電気 執行役員常務	
山口 義人	三菱電機㈱ 顧問	

名誉教授

氏名	生年月日	備考
緒方 直哉	昭和 7年 3月30日生	(前 千歳科学技術大学 学長)
川合 敏雄	昭和 7年 4月11日生	(前 千歳科学技術大学 光科学部長)

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

5 月		6 月	
初旬	新入生等学生証交換(学)	5日(水)	大学運営会議(企)
8日(水)	大学運営会議(企)	6日(木)	大学院開院祝賀会(企)
27日(木)~28日(金)	私立大学協会北海道支部中堅研修会(企)	12日(水)	教授会・研究科委員会(学)
15日(水)	教授会・研究科委員会(学)	27日(木)~28日(金)	私立大学協会北海道支部中堅指導者研修会(企)
20日(月)	日本育英会奨学金一次採用推薦締切り(生)		
22日(水)	第1回定例理事会・評議員会		

会議開催

大学運営会議

- 4月10日(水)午後2時~
- ・名誉教授の称号の授与について
 - ・委員会等の設置について
 - ・その他(運営会議年間スケジュールについて)

研究科委員会

- 4月10日(水)
- ・学習指導報告
 - ・大学院予算について
 - ・今後のスケジュール
 - ・その他

教授会

- 4月10日(水)
- ・学習指導報告
 - ・学生総合センター報告
 - ・大学情報センター報告
 - ・入試事務局報告
 - ・その他

連絡(お知らせ)

新学生証の発行について

新入生の皆さんの新学生証を5月上旬に配布する予定です。日程は掲示します。

また、在学生の皆さんの新学生証の配布は、6月上旬頃の予定です。

新学生証の交換には、仮学生証・旧学生証・通学定期身分証明証が必要です。紛失した学生は直ちに学生課に届け出てください。

公認団体について

平成14年度4月1日から学生公認団体が2団体増えました。

- ・水泳部(部員9名)
- ・囲碁部(部員10名)

ともに公認団体に昇格するため努力を重ねた成果が認められたものです。これで本学の公認団体は、文化団体6団体、体育団体9団体の合計15団体になりました。

今年度の活躍が期待されます。

第5号

平成14年1月25日創刊



千歳科学技術大学報

平成14年5月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



コンピュータ教室の自由解放時間

本年度より講義棟2Fコンピュータ教室とLLコンピュータ教室の端末を更新しました。
コンピュータ教室、LLコンピュータ教室あわせて計160台の端末を配備し、Windows XP / Redhat Linux 7.2の両方の環境で使用できるようにシステムを変更しています。
授業などで教室を利用していない時間は、平日8:30~19:00まで教室を開放し、学生は自由に利用することができます。
平成14年4月からの新システム稼動以来、コンピュータ教室(PC)とLLコンピュータ教室(WS)との垣根が無くなり、利用環境が倍増したことで、昼休みや授業の空き時間などは多くの学生で賑わっています。

内 容

平成14年度決算について
報 告 (通 達)
今後の行事予定

平成13年度決算の概要

平成14年度第1回理事会・評議員会において承認されました、平成13年度決算の概要をお知らせします。
 なお、「消費収支計算書」は経営状況を表し、「貸借対照表」は財産状況を表していますが、これらの計算書類は、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条の規定に基づき作成したものです。

平成13年度決算報告

消費収支計算書（概要）

（単位：千円）

		13年度決算額
帰属収入	学生生徒等納付金	1,330,502
	手数料	29,166
	寄付金	17,959
	補助金	1,316
	資産運用収入	3,258
	事業収入	39,034
	雑収入	3,442
帰属収入合計		1,424,677
基本金組入額		20,229
消費収入の部合計（ア）		1,404,448

消費支出	人件費	528,647
	（うち退職給与引当金繰入額）	(13,277)
	教育研究費	685,525
	（うち減価償却費）	(404,859)
	管理経費	192,203
	（うち減価償却費）	(28,407)
	資産処分差額	808
徴収不能額	666	
消費支出の部合計（イ）		1,407,849

消費収入超過額又は 消費支出超過額（ア-イ）	3,401
---------------------------	-------

貸借対照表（概要）

（平成14年3月31日現在）

資産の部

（単位：千円）

		13年度末
固定資産		10,073,236
有形固定資産		8,906,470
その他の固定資産		1,166,766
流動資産		1,236,551
資産の部合計		11,309,787

負債の部

固定負債	27,882
流動負債	321,434
負債の部合計	349,316

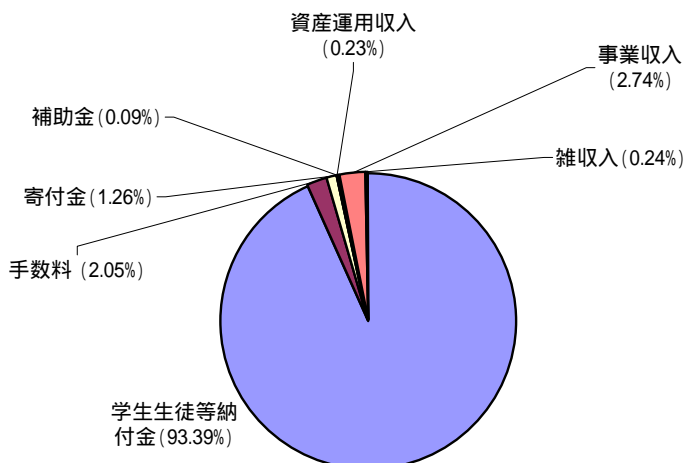
基本金及び消費収支差額の部

基本金	10,490,382
消費収支差額	470,090
合計	10,960,472

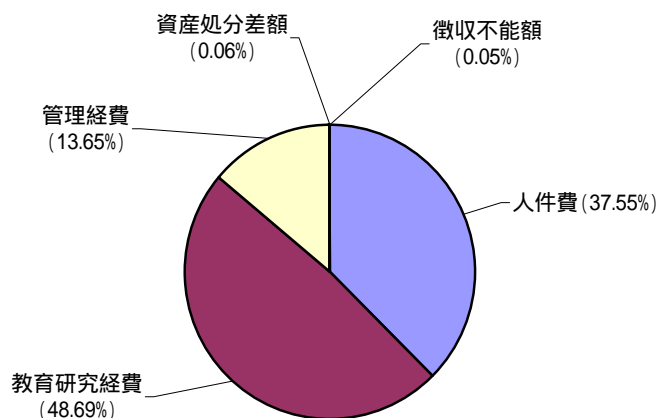
負債の部・基本金及び消費収支差額の部

負債・基本金及び消費収支差額の部合計	11,309,787
--------------------	------------

帰属収入の構成



消費支出の構成



報 告 (通 達)

規程の改正

平成14年度第1回理事会・評議員会において次の規程改正がありましたので報告します。

千歳科学技術大学学生総合センター規程

(目的)

第1条 この規程は、千歳科学技術大学学則第5条の規定に基づき、学生総合センター(以下「センター」という。)の事業及び組織について定めることを目的とする。

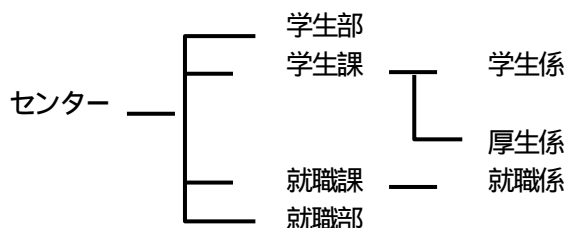
(事業)

第2条 センターは、学生が入学から卒業までの間、就学及び課外活動等の学生生活上の諸問題に総合的に対応するために、次の各号に定める事業を行う。

- (1) 学生の福利厚生の維持及び向上
- (2) 学生の自治的精神及び文化的活動の向上及び促進
- (3) 学生の卒業後の進路選択のための支援及び指導

(組織)

第3条 センターの組織は、次の表のとおりとする。



(学生部及び就職部の業務)

第4条 学生部は、第2条第1号及び第2号に関する業務を担当する。

2 就職部は、第2条第3号に関する業務を担当する。

(学生課の業務)

第5条 学生課の業務は、次の各号に定める事務を行う。

- (1) 庶務に関する事。
- (2) 調査及び広報に関する事。
- (3) 学生の保健、衛生及び厚生の管理に関する事。
- (4) 学生相談及び課外活動に関する事。
- (5) 学生相談室の管理に関する事。
- (6) 各種証明書の発行に関する事。
- (7) 学生名簿の作成に関する事。
- (8) その他第2条第1号及び第2号に定める業務を遂行するために必要な事務に関する事。

(就職課の業務)

第6条 就職課の業務は、次の各号に定める事務を行う。

- (1) 就職の相談、斡旋及び指導に関する事。
- (2) 就職情報の調査及び広報に関する事。
- (3) 就職統計の調査及び報告に関する事。
- (4) 就職資料室の整備及び管理に関する事。
- (5) その他第2条第3号に定める業務を遂行するために必要な事務に関する事。

(職種)

第7条 センターにセンター長を置き、教員を充てる。

2 部に主任及び副主任を置き、教員を充てる。

3 課に課長を置き、事務職員を充てる。

4 係に係長及び主事(保健婦(士)を含む。)を置き、事務職員を充てる。

5 必要により課に主査及びその他の職員を置き、事務職員等を充てることができる。

(職務)

第8条 センター長は、学長の命を受け、学部長と連絡を保ち、センターの業務を統括し、所属職員を指揮監督する。

2 主任は、センター長を補佐し、部の業務を掌理する。

3 副主任は、主任を補佐し、部の業務を処理する。

4 課長は、上司の命を受け、課の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

5 係長及び主事は、上司の命を受け、その命に係る事務を処理する。

6 主査は、上司の命を受け、その命に係る事務を処理する。

7 その他の職員は、上司の命を受け、臨時及び特別の事務を処理する。

(学生総合会議)

第9条 センターには、第2条に定める事業を円滑に遂行するために、学生総合会議を置く。

2 学生総合会議の構成員は、センター長、主任、副主任及び課長とする。

3 学生総合会議は、必要に応じてセンター長が招集し、その議長となる。

(連絡会等)

第10条 センター長は、学部等との連絡を図るために、教授会等の代表及びセンターの代表が出席する連絡会を開くことができる。

2 学生部主任は、学生代表と随時懇談会を開くことができる。

3 就職部主任は、学生の進路選択のための懇談会、

説明会等を開くことができる。

- 4 その他センターの目的達成のためにセンター長は、必要に応じて連絡会等を開くことができる。

(職員の任免)

第11条 職員の任免は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) センター長及び主任の選考は、学長が学部長の意見を聴いて候補者を選考し、教授会の議を経て、学長が任命し、理事長にこれを報告するものとする。
- (2) 副主任は、学部長の推薦によって学長が任命する。

(3) 事務職員の任免は、理事長が行う。

- 2 センター長、主任及び副主任の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

附 則

この規程は、平成9年12月25日から施行する。

附 則(組織等及び教職員の任免の改正)

この規程は、平成14年6月1日から施行する。

千歳科学技術大学大学情報センター規程

(設置)

第1条 千歳科学技術大学(以下「本学」という。)に、大学情報センター(以下「センター」という。)を置く。

(目的)

第2条 センターは、教育研究活動に必要な図書、資料等を収集及び提供するとともに、情報関連環境を整備かつ運用し、これを効果的に提供することによって、本学の教育研究の発展及び充実に寄与することを目的とする。

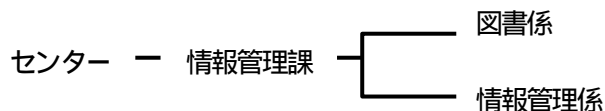
(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するために次の業務を行う。

- (1) 図書、資料等の選定等に関する業務
- (2) 教育研究関連情報の収集、処理及び提供に関する業務
- (3) 情報関連システム及び機器の整備、運用及び管理に関する業務
- (4) 教材の開発及びマルチメディア環境を活用した教育活動の支援に関する業務
- (5) 研究活動の支援に関する業務
- (6) その他センターの目的達成のために必要な業務

(組織)

第4条 センターの組織は、次の表のとおりとする。



(職種)

第5条 センターにセンター長を置き、教員を充てる。

- 2 課に課長を置き、事務職員を充てる。
- 3 係に係長、主事、司書及び技師を置き、事務職員を充てる。
- 4 必要により課に主査及びその他の職員を置き、事

務職員等を充てることができる。

(職務)

第6条 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を統括し、所属職員を指揮監督する。

- 2 課長は、上司の命を受け、課の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 係長、主事、司書及び技師は、上司の命を受け、その命に係る業務を処理する。
- 4 主査は、上司の命を受け、その命に係る業務を処理する。
- 5 その他の職員は、上司の命を受け、臨時及び特別の業務を処理する。

(委員会)

第7条 センターには、第2条に定める目的を達成するために次の委員会を置く。

- (1) 図書委員会
- (2) 情報委員会
- (図書委員会)

第8条 図書委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) 物質光科学科において卒業研究を受け持つ専任教員1名
- (3) 物質光科学科において卒業研究を受け持たない専任教員1名
- (4) 光応用システム学科の専任教員1名
- (5) 情報管理課長
- (6) その他センター長が必要と認めたる者

2 図書委員会は、必要に応じてセンター長が招集し、その議長となる。

3 図書委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 図書、資料等の選定及び収集に関する事項
- (2) 図書、資料等の管理に関する事項
- (3) 図書、資料等の利用に関する事項

(4) その他センターの目的達成のために必要な事項

(情報委員会)

第9条 情報委員会は、次の者をもって構成する。

(1) センター長

(2) 物質光科学科において卒業研究を受け持つ専任教員1名

(3) 物質光科学科において卒業研究を受け持たない専任教員1名

(4) 光応用システム学科の専任教員1名

(5) 情報管理課長

(6) その他センター長が必要と認めた者

2 情報委員会は、必要に応じてセンター長が招集し、その議長となる。

3 情報委員会は、次の事項を審議する。

(1) 情報機器・システムの利用に関する事項

(2) 情報機器・システムの構築に関する事項

(3) 情報機器・システムの保守管理に関する事項

(4) その他センターの目的達成のために必要な事項

(職員の任免)

第10条 職員の任免は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) センター長の選考は、学長が学部長の意見を聴いて候補者を選考し、教授会の議を経て、学長が任命し、理事長にこれを報告するものとする。

(2) 事務職員の任免は、理事長が行う。

2 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

附 則

この規定は、平成9年12月25日から施行する。

附 則(組織等の改正)

この規定は、平成14年6月1日から施行する。

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

6 月		7 月	
5日(水)	大学運営会議(企)	3日(水)	大学運営会議(企)
6日(木)	大学院開設祝賀会(企)	2日(火)~11日(木)	ITU-T国際会議(企)
12日(水)	教授会・研究科委員会(学)	10日(水)	教授会・研究科委員会(学)
27日(木)~28日(金)	私立大学協会北海道支部中堅指導者研修会(企)	16日(火)~23日(火)	春学期補講(学)
		18日(木)	第2回 理事会・評議員会(企)
		24日(水)~31日(水)	春学期定期試験(学)
		28日(日)	AO入試スクーリング(入)

会議開催

大学運営会議

5月8日(水)午後1時~

- ・大学運営会議日程(改正)
- ・学部カリキュラムの検討について
- ・千歳科学技術大学学生総合センター規程・情報センター規程の改正について

教授会

5月15日(水)

- ・学習指導報告
- ・学生総合センター報告
- ・大学情報センター報告

- ・入試事務局報告
- ・その他

研究科委員会

- 5月15日(水)
- ・大学院予算について
- ・その他

連絡(お知らせ)

新学生証の発行について

在学生の皆さんの新学生証を6月下旬に配布する予定です。日程は掲示します。

新学生証の交換には、旧学生証・通学定期身分証明書が必要です。紛失した学生は直ちに学生課に届け出てください。

編集後記

学生課情報

お礼(春の環境整備参加者にお礼)

5月24日に実施しました構内の清掃にご協力いただきましたことにお礼申し上げます。

次回は9月に実施を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

シャトルバスの運行の変更について

5月24日から、次のとおり運行ダイヤを変更しました。

【変更前】	【変更後】
南千歳駅発 07:27	廃止
	南千歳駅発 08:11(増便)
千歳駅発 08:24	千歳駅発 08:29
南千歳駅発 08:45	南千歳駅発 08:47
南千歳駅発 08:46	実験棟経由

編集後記

新年度から広報編集班が活動しています。

皆さんへのインタビューも計画しておりますので、ご協力お願いします。

最近の話題、掲載事項がありましたら事務局企画総務課にご連絡下さい。

第6号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年6月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



大学院開設記念式典・祝賀会 開催

去る6月6日(本学開校記念日)に、千歳科学技術大学大学院光科学研究科の開設記念式典及び記念祝賀会を開催しました。当日は、本学役員及び教職員、大学院生をはじめ地元自治体等の関係者、ホトニクスワールドコンソーシアム関係者の多数が参集し、盛大に執り行われました。

本学大学院は、高度職業専門人の育成はもとより、地域や産業との連携の窓口として今後ますますの期待が高まるものと確信しています。

内 容

授業評価アンケート
連絡事項
今後の行事予定

2002年度春学期授業評価アンケート

1 目的

このアンケートは、学生が自分の受けた授業に対してどのような意見を持っているのかを調査するもので、その結果は今後の授業改善のための資料となります。今回は春学期に開講する科目（一部の科目を除く）について、光科学部に所属する全学生を対象に実施します。

アンケートは記名方式ですが、その回答は成績評価等と一切関わりがありませんので、学生の意見を大学運営に反映させるためにも、ぜひ皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

2 実施日程

- 7月 1日(月) アンケート用紙配布開始
- 7月31日(水) アンケート用紙提出締切
- 9月11日(水) アンケート結果を教授会に報告
- 10月1日(火) 学生へアンケート結果公表

3 実施方法

春学期の授業中にアンケート用紙を配布し、必要事項を記入してもらい、翌週または翌々週の同一授業の中で回収します。授業中に提出できなかった分は事務局前のレポートボックスへの提出となります。

4 過去の経過

この授業評価アンケートは平成12年度から春学期と秋学期の年2回実施され、今年度で3年目となります。これまでの結果は各科目の担当教員にも公表されており、教員がその後の授業内容等を検討する際の参考資料とされています。

* 参考・・・2001年度授業評価アンケート結果

〔春学期〕

対象学生数 928人
 回答者数 391人
 回収率 42.1%

調査期間：2001年7月2日～8月10日

	強く 思う	やや 思う	どちら とも言 えない	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
問1 教員の熱意が感じられる授業でしたか。	22.8%	37.1%	30.1%	7.9%	2.1%
問2 授業の内容は理解できましたか。	13.3%	30.7%	32.5%	17.6%	5.9%
問3 授業の進み具合はどうでしたか。	早すぎる 4.5%	やや早い 19.2%	適度 70%	やや遅い 5%	遅すぎる 1.3%
問4 この科目に興味を持てる内容の授業でしたか。	16.2%	32.9%	34.1%	13%	3.8%
問5 教員が使うOHPおよび黒板に書く内容はわかりやすかったですか。	16%	29.9%	33.6%	15.3%	5.2%
問6 教員の話し方は明瞭で聞きやすかったですか。	19.2%	31.6%	32%	13.5%	3.7%
問7 集中力はどの位持続しましたか。	90分 12.6%	60分 32.2%	45分 33.8%	30分 15.7%	15分 5.7%
問8 配布したプリントは内容の理解に役立ちましたか。	23.9%	31.1%	32.8%	8.9%	3.3%
問9 毎回出席したくなる授業でしたか。	17.4%	27%	37.3%	13.5%	4.8%
問10 教員は重要な点を強調してくれましたか。	22.4%	34.8%	32.2%	8.7%	1.9%
問11 演習問題(もしくは例題)の内容は授業の進み具合と対応していましたか。	25.3%	31%	35.3%	6.3%	2.1%
問12 演習問題(もしくは例題)は講義の内容を理解するのに役立ちましたか。	23.9%	29.5%	37.2%	7%	2.4%
問13 総合的に見て、この科目は大学の授業として適当でしたか。	28.4%	33%	31.4%	5.4%	1.8%
問14 この授業におけるあなたの出席状況や受講態度等総合した自己評価をしてください。	19%	32.7%	36.8%	9.7%	1.8%

2001年度 春学期開講の必修科目を中心とする51科目を対象に実施。

〔秋学期〕

対象学生数 665人
 回答者数 206人
 回収率 31.0%

調査期間：2001年12月4日～2月13日

	強く 思う	やや 思う	どちら とも言 えない	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
問1 教員の熱意が感じられる授業でしたか。	25.7%	41%	25.6%	6.5%	1.2%
問2 授業の内容は理解できましたか。	13.7%	31.4%	35%	14.8%	5.1%
問3 授業の進み具合はどうでしたか。	早すぎる 3.9%	やや早い 14.4%	適度 75.3%	やや遅い 5.4%	遅すぎる 1%
問4 この科目に興味を持てる内容の授業でしたか。	17%	33.7%	35.2%	11.9%	2.2%
問5 教員が使うOHPおよび黒板に書く内容はわかりやすかったですか。	17%	33.2%	33.8%	12.4%	3.6%
問6 教員の話し方は明瞭で聞きやすかったですか。	20.4%	32.7%	30.4%	11.4%	5.1%
問7 集中力はどの位持続しましたか。	90分 14.1%	60分 32%	45分 35.7%	30分 13.9%	15分 4.3%
問8 配布したプリントは内容の理解に役立ちましたか。	22.1%	30.9%	38.4%	6.7%	1.9%
問9 毎回出席したくなる授業でしたか。	19.8%	26.5%	39.1%	10.7%	3.9%
問10 教員は重要な点を強調してくれましたか。	23.3%	36.7%	31.3%	6.7%	2%
問11 演習問題(もしくは例題)の内容は授業の進み具合と対応していましたか。	26.8%	32.3%	34%	5.7%	1.2%
問12 演習問題(もしくは例題)は講義の内容を理解するのに役立ちましたか。	25.5%	32.7%	34.6%	6%	1.2%
問13 総合的に見て、この科目は大学の授業として適当でしたか。	29.8%	33.2%	30.8%	4.8%	1.4%
問14 この授業におけるあなたの出席状況や受講態度等総合した自己評価をしてください。	20.9%	31.3%	38.2%	7%	2.6%

2001年度 秋学期開講の必修科目を中心とする49科目を対象に実施。

連 絡 事 項

ITU - T国際会議の開催

来る7月2日から7月11日まで千歳市内の全日空ホテルにおいて国際電気通信連合（ITU）の会合が行われます。この間、7月9日から7月11日にはワークショップが開催され、各国の政府関係者や電気通信関連技術者・研究者がテーマごとに意見交換を行います。その模様は広く一般に公開される予定です。

本学でも、講義棟を活用してライブ中継を行います。皆さんも会場に行かれ国際会議に参加されては如何でしょうか。

ITUとは

International Telecommunication Union（国際電気通信連合）の略称で、国連の経済社会理事会の専門機関のひとつです。電気通信業務の能率増進、利用増大と普及のため、技術的手段の発達や能率的運用の促進を目的として1932年に設立され、本部はジュネーブにあります。現在、日本を含む189カ国が加盟しています。ITU - Tは、ITUの一部門で、通信に関する標準化の勧告を行います。

ワークショップ「インターネットと光」

- ・日時：7月9日（火）から7月11日（木）の3日間 9：30～17：30
- ・会場：千歳全日空ホテル（2階）

ワークショップ第1会場	ワークショップ第2会場
<p>【7月 9日】</p> <p>9:30-12:30 オープニングセッション （雀部学長の講演があります。） 「千歳市における光ネットワークと千歳科学技術大学の役割」</p> <p>14:00-15:30 セッション1 「光ネットワーク上のインターネットプロトコル」</p> <p>16:00-17:30 セッション2 「光交換ネットワーク」</p>	
<p>【7月10日】</p> <p>9:30-10:30 セッション3 「アクセスネットワークと都市ネットワークにおける光技術」</p> <p>11:00-12:30 セッション4 「光インターフェース」</p> <p>14:00-15:30 セッション6 「WDMとDWDM」</p> <p>16:00-17:30 セッション8 「光ファイバー、ケーブル、部品類」</p>	<p>【7月10日】</p> <p>11:00-12:30 セッション5 「光/IPネットワークの運用保守」</p> <p>14:00-15:30 セッション7 「シグナリングとルーティング」</p> <p>16:00-17:30 セッション9 「光ネットワーク管理」</p>
<p>【7月11日】</p> <p>9:30-10:30 セッション11 「IP/光ネットワーク性能」</p> <p>11:00-12:30 セッション13 「サービスとネットワークの進化」</p> <p>14:00-17:30 会議総括・閉会</p>	<p>【7月11日】</p> <p>9:30-10:30 セッション10 「光交換と機器類」</p> <p>11:00-12:30 セッション12 「光ネットワークのクライアントとサービス」</p> <p>14:00-15:30 会議総括</p>

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

7 月		8 月	
1日(月)	授業評価アンケート開始(学)	1日(木)	夏期休業開始(～9月11日)(他)
3日(水)	大学運営会議(企) 物質光科学科教室会議(学) 光応用システム学科教室会議(学)	7日(水)	大学院入学試験(入)
8日(月)	インターンシップ事前研修(就)	9日(金)	春学期再試験対象者発表(学) 春学期再試験申込開始(～9月4日)(学)
9日(火)～11日(木)	ITU-T国際会議ワークショップ開催(企)		
10日(水)	教授会・研究科委員会(学)		
15日(月)	第3回就職ガイダンス(就)		
16日(火)～23日(火)	春学期補講期間(学)		
18日(木)	第2回理事会・評議員会(企)		
24日(水)～31日(水)	春学期定期試験(学)		
31日(水)	授業評価アンケート締切(学)		

会議開催

大学運営会議

- 6月 5日(水)午後1時～
- ・学部カリキュラムの検討について
 - ・奨学金について
 - ・産学官連携推進室の設置について

教授会

- 6月12日(水)
- ・学部カリキュラムの検討について
 - ・学習指導報告
 - ・学生総合センター報告(学生部・就職部)
 - ・大学情報センター報告
 - ・入試事務局報告
 - ・その他

お知らせ

新学生証の発行について

在学生の皆さんに新学生証を現在配布しています。新学生証との交換には、旧学生証・通学定期身分証明書が必要です。紛失した学生は直ちに学生課に届け出てください。

学生課情報

北道地区大学体育大会が旭川市にて実施されますので、応援よろしくお願いたします。

- ・日時：7月12日(金)～14日(日)
 - ・参加団体：弓道部、硬式野球部、サッカー部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部
- 稜輝祭の日程が決定しました。今年度は9月21日(土)、22日(日)の2日間で開催されます。

編集後記

学報編集班では季刊号の編集を予定しており、特集記事などを盛り込みたいと考えております。皆さんへのインタビューも計画していますので、ご協力お願いいたします。最近の話題、掲載事項がありましたら事務局企画総務課にご連絡下さい。

第7号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

季刊号

平成14年8月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



CIST オープンキャンパス2002開催

去る8月3日(土)にCISTオープンキャンパス2002(第1回)を開催しました。当日は、高校生や保護者の皆さんなど100名を超える来場者が、「コンピュータ実習」や「模擬実験」、「在学生との対話」などさまざまなプログラムを楽しそうに体験していました。

なお、9月22日(日)には、大学祭(稜輝祭)との同時開催として、CISTオープンキャンパス2002(第2回)の開催を予定しています。

内 容

オープンキャンパス.....	2
入学試験情報.....	4
就職情報.....	5
学生課から.....	6
財政の状況.....	7
教員紹介.....	8
今後の行事予定.....	10
お知らせ.....	10

オープンキャンパス結果

【大学概要紹介】

毎年、国際会議にも使用されている大講義室では、大学概要説明が行われました。学長挨拶のあと、入試説明、学部教育説明、各学科紹介、就職説明と続き、本学の概要をわかりやすくお伝えすることができたのではないのでしょうか。

オープンキャンパス最初のプログラムということもあり、各説明に皆さん熱心に耳を傾けていました。



【コンピュータ実習】

80台の最新のコンピュータが設置されているコンピュータ教室では、インターネットを利用した電子学習システムを体験することができました。「数学の演習問題をゲーム感覚で解くことができる」と皆さん次々に問題へ取り組んでいました。

この電子学習システムは、高校の先生の意見を取り入れながら本学の学生によって作られたもので、現在1年生の数学の補習授業等に使用されています。

【在学生との対話】

在学生との対話コーナーでは、4年生の先輩が来場者の質問、疑問に答えてくれました。部活やサークルのこと、学生生活やアルバイトのことなど、「先輩が実際に経験した『生の声』を聞くことができた」と来場者の方にも非常に好評で、いつまでも先輩への質問が絶えませんでした。



【学食試食会】

午前中のプログラムが終わった後は、いよいよ待ちに待ったランチタイムです。来場者はチキンカツ定食とハヤシライスという2種類の無料メニューの中から好みのランチを選び、見晴らしの良い学食でワイワイとおしゃべりしながら食事をしていました。

【模擬実験】

研究・実験棟では、物理実験「レーザーによる光の干渉」と化学実験「ホタルの光をつくってみよう」という2つの模擬実験が行われました。物理実験では、ほとんどの来場者が初めてレーザー装置を間近で目にし、また化学実験でも、高校の授業では味わえないような実験を体験することができ、皆さん非常に満足した様子でした。



【研究室開放】

当日は「材料系研究室」、「レーザー応用系研究室」、「ハードウェア系研究室」、「システム系研究室」、「ソフトウェア系研究室」合わせて9つの研究室が開放されました。

日夜、最先端の研究が繰り広げられている研究室を垣間見ることができ、来場者の皆さんも貴重な体験ということで興味深げに見学していました。

オープンキャンパス来場者インタビュー

Q1 千歳科学技術大学の印象はどうか？

中村さん：やっていることが専門的で難しそうでした。

細川さん：大学紹介などでの説明がわかりやすかったです。でも、学科に分かれてからもっと細くなるので難しそう。



北海道北広島高等学校1年 北海道北広島高等学校1年

中村 千種 さん

細川 桃子 さん

Q2 将来はどんな大学に進みたいですか？

中村、細川さん：まだ1年生なので決めていませんが、理系の大学に進みたいと思っています。

Q3 本学には大学院もありますが、興味はありますか？

中村、細川さん：大学に入学してからのことですが、学部在学中にやりたいことを見つけ、大学院でそれができるのであれば進みたいです。

Q4 自分の将来の計画が決まっていたら聞かせてください。

中村さん：物作り（開発みたいなこと）がしたいです。

細川さん：医療関係が第1希望です。

突然のインタビューにご協力いただき、ありがとうございました。
またいつでも見学に来てください。 学報編集班

入学試験情報

平成15年度 千歳科学技術大学光科学部入学試験についてお知らせします。

本学では先端的な光科学技術の教育研究による学術の振興と技術の向上に強い意欲と情熱をもち、本学で学ぶことを希望する学生を広く募集しています。

* 詳しくは入試広報課までお問い合わせ下さい。TEL : 0123-27-6011 E-mail : nyushi@mail.chitose.ac.jp)

募集人員 (募集は学部単位で行います。)

特別推薦入試.....	85名	一般学力入試《 期試験 》	80名
公募推薦入試.....	10名	一般学力入試《 II期試験 》	16名
センター試験利用入試《 前期試験 》	18名	A0入試.....	25名
センター試験利用入試《 後期試験 》	6名		
		合計	240名

受験料

推薦入試 / 一般学力入試 / A0入試 36,000円
 センター試験利用入試..... 20,000円

入学試験日程 (一部を除き、複数の入試タイプによる受験が可能です。)

	特別推薦入試	公募推薦入試	センター試験 利用入試 (前期試験)	センター試験 利用入試 (後期試験)	一般学力入試 (期試験)	一般学力入試 (期試験)	A0入試
出願期間	H14.11.1(金) ~ H14.11.15(金)	H14.11.1(金) ~ H14.11.15(金)	H15.1.8(水) ~ H15.1.31(金)	H15.2.13(木) ~ H15.3.17(月)	H15.1.8(水) ~ H15.1.27(月)	H15.2.13(木) ~ H15.2.25(火)	H14.11.1(金) ~ H14.11.15(金)
試験(面接日)	H14.11.24(日)	H14.11.24(日)	/	/	H15.2.3(月)	H15.3.3(月)	H14.11.23(土)
合格発表日	H14.12.2(月)	H14.12.2(月)	H15.2.14(金)	H15.3.22(土)	H15.2.12(水)	H15.3.10(月)	H14.12.2(月)

* 出願期間は締切日の消印有効です。

平成14年度入学試験結果報告

光科学部の志願者・受験者・入学者の状況 (名)

	募集 人員	志願者	受験者	入学者
特別推薦入試	85	66	66	66
公募推薦入試	10	4	4	4
センター試験利用入試 前期	18	191	191	50
センター試験利用入試 後期	6	24	24	17
一般学力入試 期	80	160	158	76
一般学力入試 期	16	30	29	20
A0入試	25	20	20	20
合計	240	495	492	253

大学院の志願者・受験者・入学者の状況 (名)

	募集 人員	志願者	受験者	入学者
平成14年度	12	15	15	14
平成15年度 (8月実施)	12	22	22	17

《 概要 》

平成14年度は光科学部が254名、大学院光科学研究科が14名の新入生を迎え入れました。

今年度もすでに4月からの春学期が終了し、9月からは秋学期が始まります。新入生も入学当時の戸惑いなくなり、これからは勉強、課外活動などで大学生活をさらに充実したものとし、先輩たちと共に一層活躍されることを期待しています。

就職情報

【卒業後の進路状況】

年度	学科	卒業生数	就職者 (就職希望者)	就職率 (就職希望者)	進学者
13 年 度	物質光科学科	120名	93(6)名	97.9%	10名
	光応用システム学科	128名	90(4)名	93.8%	16名
	合計	248名	183(10)名	95.8%	26名

注)公務員専願、海外渡航、就職する意志のない学生については就職希望者から除外しております。また、()は内数で女性を表わしています。

【主要な就職先 及び進学先】

アルプス電気(株)、アンリツ(株)、帯広松下電工(株)、島津理化器械(株)、株正電社、新生電子(株)、新電元工業(株)、セイコーエプソン(株)、東京電子(株)、東北パイオニア(株)、株東洋精機製作所、日興電気通信(株)、ニッテツ北海道制御システム(株)、日本電波工業(株)、株日立国際電気、日立湘南電子(株)、株日立製作所、日立北海セミコンダクタ(株)、富士電機(株)、富士フィルムメディカル(株)、NTTエレクトロニクス(株)、株応用光電研究室、(有)岡本光学加工所、株オプテル、キヤノン(株)、住電ハイプレジジョン(株)、株信光社、住友大阪セメント(株)、株精工技研、株テクニスコ、株東京インスツルメンツ、日本オプネクスト(株)、日本通信電材(株)、岡野電線(株)、北日本電線(株)、京都セミコンダクター(株)、住友重機械工業(株)、大宏電機(株)、多治見無線電機(株)、株ティ・アイ・ティ、東京特殊電線(株)、トレックスセミコンダクター(株)、函館エヌ・デー・ケー(株)、日立デバイスエンジニアリング(株)、古川エヌ・デー・ケー(株)、ヘルツ工業(株)、松下日東電器(株)、矢崎総業(株)、旭電化工業(株)、FDK(株)、株ケミカルソフト開発研究所、株ケミトックス、株ケミトックス電波研究所、株三宝化学研究所、セントラル硝子(株)、日本板硝子(株)、アライドテレシス(株)、株エスイーシー、NTT-ATテクノコミュニケーションズ(株)、株システムアドバース(株)、株協和エクシオ、国際システム(株)、株三技協、住友電工通信エンジニアリング(株)、株つうけん、東海デジタルサービス(株)、長野日本無線(株)、日本コムシス(株)、ニューソン(株)、株ハイテックシステム、日立通信システム(株)、松下システムエンジニアリング(株)、和興エンジニアリング(株)、株インテック、インフォテクノ(株)、株エイチ・アイ・ディ、NTTデータ・カスタマーサービス(株)、株日立ソフトウェア北海道(株)、株バネックス(株)、株札幌カシオコンピュータ(株)、株シーイーシー、株シー・エス・イテック、株ジー・オー、株ジャパンテクノロジー、株セントラルコンピュータサービス(株)、株若小牧電子計算センター、日興ソフトウェア(株)、株トラスト・データ(株)、日立建機デジタルソリューションズ(株)、日立電子サービス(株)、株日立マイクロウェアシステムズ、富士ソフトABC(株)、北海道ワットエンジニアリング(株)、株北海道日情システムズ、株明生システムサービス(株)、株旭川ガス(株)、株石井鐵工所、株イワキ、株スター農機(株)、株ダイナックス、株寺岡ファシリティーズ(株)、株プレス工業(株)、株株本鐵工所、株渡辺製作所、株アプロ、株アルプス技研、株インフォコム、株ジャパンアウトソーシング、株タイアップ、株ノーラムエンジニアリング、株メイテック、株千歳国際交流ビジネスセンター、日商エレクトロニクス(株)、日立ハイテクノロジーズ(株)、北海道空港(株)、株瑞穂機電(株)、株美和電気工業(株)、株ムトウ、北海道警察、千歳市役所

千歳科学技術大学大学院、北海道大学大学院、山形大学大学院、筑波大学大学院、電気通信大学大学院、大阪大学大学院、琉球大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、慶應義塾大学大学院

【平成14年8月末現在の求人状況及び内定状況】

業 種	求 人		内 定	
	会社数(件)	構成比(%)	会社数(件)	構成比(%)
電 機 産 業	139	24%	29	32%
材 料 産 業	15	3%	8	9%
情 報 産 業	216	38%	31	34%
そ の 他 製 造 業	45	8%	6	7%
そ の 他	146	26%	16	18%
公 的 機 関 等	4	1%	0	0%
計	565	-	90	-

現在4年生の就職活動が佳境を迎えております。昨年度との比較では、求人件数(企業数)が昨年同時期510件に対し、今年は565件と増加しており、1期生が社会に出たことで大学の認知度も上がったものと捉えております。

次に内定状況の比較ですが、昨年同時期136名の学生が内定を得ていたのに対し、今年は113名と苦戦を強いられております。これは、求人件数は増加しているものの、各企業とも採用人数は減らす傾向にあり(特に製造業において顕著)、企業側がより厳選採用を進めている結果です。ただし、全国的に経済状況が冷え込んでいる中、地方の大学としては他大学と比較して学生が健闘していると評価しており、学生をサポートすべく大学としても現在、企業の採用活動継続や2次募集の情報収集を集中的に行い、学生に情報提供しております。

学生には厳しい就職活動が続きますが、今年1年は企業が両手を広げて待ってくださっている特別な1年です。このチャンスを逃がすことなく、就職部・就職課と共に戦い、成功を勝ち取れることを願っております。

学生課から

(1) シャトルバスに大学案内登場！

学生の通学のためにシャトルバスを運行していますが、8月から株式会社あつまバス様のご厚意により、大学の案内を載せたバスが運行しています。

本学のカラーであるオレンジと赤を基調にして『光をまなぶ、光とあそぶ』をキャッチフレーズにあざやかに登場しました。豊かな自然環境とすぐれた教育環境を有する本学のPR車として活躍しております。



* 南千歳駅バスターミナル出発前

(2) 千歳科学技術大学『第4回稜輝祭』開催

日時：平成14年9月21日(土)～22日(日) 10:00 スタート

場所：千歳科学技術大学 メイン会場・本部棟・実験棟

『こんにちは。大学祭実行委員長の新田智恵(光応用システム学科3年)です。』

今年のテーマ「**真輝一点 Dream Lights**」ということで、今年こそは稜輝祭を目立たそう!と考えたのです。文章で表すのは難しいです。絵で描いたら絶対に分かると思います。今年のテーマは.....、そうですこれです。⇒

今年の1年生は積極的に私達はともうれしいです。絶対に成功させたいです。ぜひ、皆さんも応援してください。現在、委員会は約20名で動いています。たくさんのご来場をお待ちしています。』

学園祭ポスターの取り込み

～今年のテーマ～ 【**真輝一点・Dream Lights**】

「**真輝**」 稜輝祭の名に恥じぬよう、どこを見ても輝かしい大学祭にする

「**一点**」 一点集中。ひとつの企画に全力疾走!

「**Dream Lights**」 夢のひとつときを楽しむ.....

～メイン企画～

理科実験フェスティバル

千歳市の「ふるさとポケット祭り」のひとつで、学生が子供達に模擬実験を楽しく教えます。

吹奏楽演奏会(千歳高等学校吹奏楽部出演)

よさこいステージ企画(7団体出演)

チャリティーバザーオークション

(いろいろあります)

ライブ(学内外からのバンド多数出演)

メール早撃ち大会(NTTドコモ主催)

その他

ピンゴゲーム、模擬店、カラオケ大会

展示(プラモデル部・ソーラーカー部)

茶会・書道展・華道展(文芸部)

ほかにもいっぱいあります。

財政の状況

【平成13年度決算の概要】

平成13年度は、大学院光科学研究科(修士課程)の設置準備やAO入試の実施などの新規事業を行いましたが、業務の効率的な執行、経費の節減に努め、ほぼ収支の均衡がとれた決算となっております。

【平成14年度当初予算の概要】

収入においては、入学志願者の増加や入学定員の確保に向けて努力するとともに、平成14年度から初めて交付を受ける私立大学等経常費補助金の交付環境の整備、申請条件等の検討を図り、交付額の増加に努めることとしています。

支出においては、業務又は計画の見直しを行い、前年度予算から大幅減で編成するなか、教育用情報機器等更新経費、大学院運営経費に関しては必要かつ緊急度の高い経費として重点配分しました。

資金収支

(単位：千円)

	平成13年度決算	平成14年度当初予算
収入の部		
学生生徒等納付金収入	1,330,502	1,315,123
手数料収入	29,166	22,035
寄付金収入	15,660	6,400
補助金収入	1,316	184,990
資産運用収入	3,258	1,130
事業収入	39,034	17,595
雑収入	3,442	0
前受金収入	270,870	239,022
その他の収入	105,360	60,685
資金収入調整勘定	245,636	256,517
前年度繰越支払資金	977,975	1,080,818
収入の部合計	2,530,947	2,671,281

(単位：千円)

	平成13年度決算	平成14年度当初予算
支出の部		
人件費支出	517,300	667,654
教育研究経費支出	280,666	373,333
管理経費支出	163,796	184,321
施設関係支出	945	0
設備関係支出	4,157	10,038
資産運用支出	229,910	252,404
その他の支出	185,116	55,328
資金支出調整勘定	60,797	36,778
次年度繰越支払資金	1,209,854	1,164,981
支出の部合計	2,530,947	2,671,281

消費収支

(単位：千円)

	平成13年度決算	平成14年度当初予算
帰属収入		
学生生徒等納付金	1,330,502	1,315,123
手数料	29,166	22,035
寄付金	17,959	6,400
補助金	1,316	184,990
資産運用収入	3,258	1,130
事業収入	39,034	17,595
雑収入	3,442	0
帰属収入合計	1,424,677	1,547,273
基本金組入額	20,229	10,038
消費収入の部合計(ア)	1,404,448	1,537,235

(単位：千円)

	平成13年度決算	平成14年度当初予算
消費支出		
人件費	528,647	671,778
(うち退職給与引当金繰入額)	(13,277)	(4,124)
教育研究経費	685,525	787,927
(うち減価償却費)	(404,859)	(414,594)
管理経費	192,203	213,581
(うち減価償却費)	(28,407)	(29,260)
資産処分差額	808	0
徴収不能額	666	0
消費支出の部合計(イ)	1,407,849	1,673,286

消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	3,401	136,051
翌年度繰越消費収入超過額	470,090	254,486

資金収支～当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出、及び支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのもの。

消費収支～当該会計年度の帰属収入からの基本金の組入れ状況及びそれから導き出される消費収入に対応する消費支出との均衡状態を示し、さらに年度末の財政状態を明らかにするも **教員紹介** 本学の専任教員36名をご紹介します。

【 物質光科学科 】 研究分野 最終学歴



雀部 博之

教授 / 工学博士 (学長・研究科長)
有機光材料の分子設計、薄膜化と非線形光学、電界発光、画像処理などへの応用
東京大学大学院工学系研究科応用物理学専攻修士課程修了



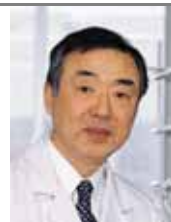
石田 宏司

教授 / 工学博士 (物質光科学科主任)
光導波路デバイス、光インターコネクティブ技術
北海道大学大学院理学研究科物理学専攻修士課程修了



芦高 秀知 教授 / 工学博士

ホログラム材料の合成、FPA型・導波路型光デバイス
大阪大学大学院基礎工学研究科化学系専攻修士課程修了



池田 弘治 教授 / 工学博士

高分子合成、高性能透明膜材および光機能性膜材の合成と応用
大阪大学工学部応用化学科卒業



角田 敦 教授 / 理学博士

有機光導電材料、イメージング材料、光物性
東京大学大学院理学系研究科化学専攻修士課程修了



加藤 洵 教授 / 工学博士

レーザーおよび非線形光学
早稲田大学理工学部応用物理学科卒業



花村 栄一 教授 / 工学博士

新規物質と非線形光学材料の設計
東京大学大学院数物系研究科応用物理学専攻修士課程修了



宮崎 栄三 教授 / 理学博士

光電子分光、表面薄膜科学、発光デバイス、新蛍光物質
東京工業大学大学院理工学研究科化学専攻修士課程中退



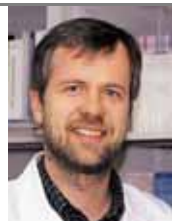
安達 千波矢 助教授 / 工学博士

有機光物理化学、有機半導体材料デバイス
九州大学大学院総合理工学研究科材料開発工学専攻修士課程修了



今井 敏郎 助教授 / 理学博士

有機化学、有機機能性材料、有機非線形光学材料
北海道大学大学院理学研究科化学第二専攻修士課程修了



Karthaus Olaf 助教授 / 理学博士

有機合成、高分子合成、分子認識、薄膜作成、単一分子分光
ヨルグ・テューム大学博士課程修了(ドイツ)



川辺 豊 助教授 / 工学博士

遷移金属酸化物の光物性および非線形光学、有機薄膜レーザー、有機LED素子
京都大学大学院理学研究科物理学第一専攻修士課程修了



山中 明生 助教授 / 理学博士

レーザー材料、誘電体光学材料、超伝導材料
北海道大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期課程修了



谷尾 直久 専任講師 / 工学博士

高分子の光物性、高分子固体物性
慶應義塾大学大学院理工学研究科応用化学専攻修士課程修了



堀之内 英 専任講師 / 工学博士

光通信工学、光学、光機能性デバイス
慶應義塾大学大学院理工学研究科物質科学専攻修士課程修了



李 黎明 助手 / 工学修士

電子回路設計、レーザーによる癌診断・癌治療、モリブデン超短光パルス計測
慶應義塾大学大学院理工学研究科生体医学専攻修士課程修了



王 建康 助教授

近世文学、日中比較文学、言語教育
慶應義塾大学大学院文学研究科国文学専攻修士課程修了



Johnathon John 助教授

visual literacy
ロンドン大学 certificate in Education (teaching)-English(major) 卒業(イギリス)



小川 正浩 専任講師

文化史
弘前大学大学院人文科学研究科地域文化論専攻修士課程修了



Randy L. Evans 専任講師

言語学、応用言語学、英語教育
オーストラリア州立大学大学院応用言語学部 TESOL 専攻卒業(アメリカ)

【 光応用システム学科 】 研究分野 最終学歴

 <p>三戸 慶一 教授 / 工学博士 (学部長) 有機材料による光導波、固体化色素の増幅効果、非線形光学 慶應義塾大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了</p>	 <p>浜中 宏一 教授 / 工学博士 (光応用システム学科主任) 光・電子デバイス 慶應義塾大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了</p>	 <p>川瀬 正明 教授 / 工学博士 通信工学、光通信工学、光デバイスおよび光デバイス応用システム 北海道大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了</p>	 <p>児玉 邦彦 教授 / 工学博士 化合物半導体材料、蛍光材料 慶應義塾大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程修了</p>
 <p>小林 壮一 教授 / 工学博士 光デバイスおよび光導波路製造法の研究、半導体レーザー周波数制御 慶應義塾大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了</p>	 <p>宮本 博文 教授 / 工学博士 熱流体力学、高分子加工学 愛媛大学工学部機械工学科卒業</p>	 <p>吉田 淳一 教授 / 工学博士 光通信デバイス、光情報処理技術 慶應義塾大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了</p>	 <p>碓井 広義 助教授 / 法学士 メディア文化論、メディアリテラシー、映像制作、コミュニケーション、プロトタイプ論 慶應義塾大学法学部政治学科卒業</p>
 <p>江口 真史 助教授 / 工学博士 光デバイス・光導波路、電磁波・光波の波動理論、インターネット 北海道大学大学院工学研究科電子工学専攻博士後期課程修了</p>	 <p>唐澤 直樹 助教授 / 博士 (Ph) 超導光デバイス技術、非線形光デバイス伝搬理論 加賀工科大学工学部物理学専攻博士課程修了 (アメリカ)</p>	 <p>小松川 浩 助教授 / 理学博士 ニューラルネットワークのシミュレーション、分散処理 慶應義塾大学大学院理工学研究科物理学専攻博士課程修了</p>	 <p>張 公俊 助教授 / 工学博士 非線形光学材料、光導波路デバイス、光機能性材料とデバイス 慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了</p>
 <p>小田 尚樹 専任講師 / 工学博士 制御工学、ロボット工学、モーションコントロール 慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了</p>	 <p>高岡 詠子 専任講師 / 工学博士 言語処理、並列処理、メモリ管理、記号処理、計算機による各種データの解析、コンピュータ教育 慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程修了</p>	 <p>長谷川 誠 専任講師 / 工学博士 機構デバイスの信頼性・性能向上、光応用計測技術 慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了</p>	 <p>福田 誠 専任講師 / 理学博士 電子回路の設計、固体化色素レーザー 慶應義塾大学大学院理工学研究科計測工学専攻修士課程修了</p>

現在、本学の専任教員は学生919名(8月1日現在)に対し36名が在職しており、非常勤講師などと連携し、学生へより充実したサービスを提供するため日々、教育・研究活動に励んでいます。

秋学期終了後には1年生は各学科に分かれ、3年生は各研究室に配属となり、各学科・各研究室での活動内容が今後の進路に大きく影響してきます。学生の皆さんは自分の希望する進路を取れるよう、各研究室に関する情報の収集などしっかり準備をすすめてください。

専任教員数内訳【 光科学部 】

学 科	教授	助教授	専任講師	助手	合計
物質光科学科	8名	7名	4名	1名	20名
光応用システム学科	7名	5名	4名	0名	16名
合 計	15名	12名	8名	1名	36名

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

9 月		10 月	
9月11日(水)	光科学部 教授会(学) 大学院 研究科委員会(学)	10月2日(水)	大学運営会議(企)
9月12日(木)	秋学期開始(学) 大学院 秋学期授業開始(学)	10月4日(金)	編入学前期試験(入)
9月12日(木) ~9月20日(金)	光科学部 春学期再・追加試験(学)	10月6日(日)	第3回千歳光科学国際フォーラム 市民公開講演会(企)
9月15日(日)	光科学部 AO入試スクーリング (第3クール)(入)	10月7日(月) ~10月8日(火)	第4回 佐々木記念賞授与式(企)
9月19日(木)	光の記念日(他)	10月7日(月) ~10月31日(木)	第3回千歳光科学国際フォーラム(於 本学) (企)
9月21日(土) ~9月22日(日)	第4回榊暉祭(大学祭)(生)	10月7日(月) ~10月31日(木)	光科学部 3年生 進路に関する個人面談(就)
9月22日(日)	第2回オープンキャンパス(入)	10月16日(水)	光科学部 教授会(学) 大学院 研究科委員会(学)
9月24日(火)	光科学部 秋学期授業開始(学)	10月20日(日)	光科学部 AO入試スクーリング (第4クール)(入)
9月26日(木)	第3回理事会・評議員会(企)	10月中旬	光科学部 保護者への成績表送付(学)
9月30日(月)	光科学部 3年生 進路調査票提出期限(就)	10月31日(木)	秋学期学納金引き落とし(会)

お知らせ

情報管理課より

本学のホームページが大幅にリニューアルしました。以前より見た目・内容ともに充実したものとなっています。これからは教員のページなどをさらに充実させていく予定です。(URL : <http://www.chitose.ac.jp>)

学務課より

【教務係】

10月中旬に各学生の成績表を保護者宛てに送付いたします。平成14年度春学期までの成績がすべて記載されておりますので、履修状況をご確認ください。なお、成績表は現在大学に登録されている住所へ送付いたしますので、住所に変更がある場合は必ず学生課までお届け願います。

【研究係】

現在、本学では光科学技術に関する様々な研究が行われており、学内での研究だけにとどまらず、科学研究費補助金(文部科学省)や民間企業からの受託研究なども盛んに行われ、光科学技術の研究機関として注目を集めています。

《 外部資金受け入れ実績 - 平成14年度8月末現在 》 * () は平成13年度実績

- ・科学研究費補助金：採択件数 7件(2件) 配分額 32,600千円
- ・民間企業から受託研究 14件(16件) ・民間企業からの奨学寄付 11件(18件)

編集後記

今回は初の季刊号ということで、昨年度のまとめと今年度の状況さらにはこれからの予定などを掲載いたしました。昨年度は初の卒業生を送り出し、今年度は大学院光科学研究科を開設し、本学も少しずつ大学として成長しています。

今後も『人知還流』・『人格陶冶』という建学の精神のもと、より充実したサービスを提供していきたいと考えております。

第8号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年9月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



第4回 稜輝祭(学校祭)開催

去る9月21日(土)、22日(日)に、第4回稜輝祭が開催され多くの皆さんがに本学にお越しいただき、盛況のうちに実施されました。

このことは開催までの間、寝食を厭わず準備を進められた実行委員会の皆さんや当日参画された皆さんの努力の成果が十分に発揮されましたものと思われま。

開催に当たりましては、ご協賛・ご協力いただいた企業・団体の皆さんに厚くお礼申し上げます。

内 容

千歳光科学国際フォーラム
会議開催
今後の行事予定
お知らせ

千歳光科学国際フォーラム

第3回 千歳光科学国際フォーラムの開催

来る10月6日(日)から10月8日(火)に第3回千歳光科学国際フォーラムが開催されます。

国内外から光科学の研究者が千歳科学技術大学に参集し、研究成果の発表や交流を行います。今年は、本学での会議開催に先立ち、10月6日(日)には、千歳市内ホテルにおきまして、市民公開講演会を開催されますが、これは、本学名誉教授の緒方直哉氏の70歳を迎えられたお祝い・記念ということも含まれております。

市民公開講演会では、緒方名誉教授による「光とDNA」、碓井助教授による「テレビの作られ方と正しい見方」をテーマに講演を予定しています。

また、国際会議のなかでは、各セッションによる発表のほか、ポスターセッション、記念植樹が予定されています。さらに、国際会議の休憩時間には、佐々木記念賞の授賞式を行います。

市民公開講演会

- ・日時：10月6日(日)
- ・会場：ホテル日航千歳(2階)
- ・開会：14:30~
- 講演1「光とDNA」
14:40~15:35

講師 緒方 直哉(千歳科学技術大学名誉教授)

- 講演2「テレビの作られ方と正しい見方」
15:45~16:40

講師 碓井 広義(千歳科学技術大学助教授)

国際フォーラム

- ・日時：10月7日(月)
- ・会場：千歳科学技術大学101講義室
- ・開会：9:00~
- セッション1 9:00~12:30
- 佐々木記念賞 授与式 12:30~
- セッション2 13:45~17:15
- ・ポスターセッション： 17:30~19:30
(於 講義棟ホール)

- ・日時：10月8日(火)
- ・会場：千歳科学技術大学101講義室
- セッション3 9:00~12:30
- 記念植樹 (於 本部棟) 12:30~
- セッション4 13:45~17:15

国際フォーラム概要

各セッションは、次のテーマにより進められる予定です。

- セッション1、Biophotonics and Related Topics
- セッション2、Organic Photonics Semiconductors
- セッション3、Nanotechnologies
- セッション4、Photonic Networks

ポスターセッションでは、本学の学生の発表も予定しております。

記念植樹

本学が開学した平成10年に開催された「有機非線形光学国際会議(ICONO'4)」以来、本学では毎年光科学に関連する国際会議を実施しています。

これらの開催を記念し、本部棟中庭にエゾヤマザクラを植樹して今年で5本目となります。この植樹には、会議に参加された招待講演者のサインとともに開催会議名・開催日時を明記して記念プレートとして添えております。

佐々木記念賞とは

「有機非線形光学国際会議(ICONO'4)」の際に、参加者有志によって提案された決議に基づき、平成10年10月5日に亡くなられた故 佐々木敬介・初代千歳科学技術大学学長の偉業を称え、千歳科学技術大学の学生を鼓舞、激励することを目的として、佐々木記念賞が設けられました。

今までは学術奨励賞としての受賞のみでしたが、第4回を迎えました今年度からは、奨励賞、貢献賞、学術賞の3つの賞を設け広く学部学生や大学院学生に授与することとなりました。

会議開催

大学運営会議

- 9月 4日(水)
- ・大学院博士(後期)課程の設置について
- ・学生の処分について
- ・中国長春市長春光学精密機械学院との姉妹校締結の要請について
- ・その他

研究科委員会

- 9月11日(水)
- ・学習指導
- ・博士(後期)課程設置基本計画
- ・その他
- ・今後のスケジュール

教授会

- 9月11日(水)
- ・学習指導報告
- ・学生総合センター報告(学生部・就職部)
- ・大学情報センター報告
- ・入試事務局報告
- ・その他

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

10 月			
10月2日(水)	日本育英会奨学生募集説明会	10月9日(水)	大学運営会議(企)
10月4日(金)	編入学前期試験(入)	10月10日(木)	消防訓練
10月6日(日)	第3回千歳光科学国際フォーラム 市民公開講演会(企)	10月16日(水)	光科学部 教授会(学) 大学院 研究科委員会(学)
10月7日(月)	第4回 佐々木記念賞授与式(企)	10月20日(日)	光科学部 AO入試スクーリング (第4クール)(入)
10月7日(月) ~10月8日(火)	第3回千歳光科学国際フォーラム(於 本学) (企)	10月中旬	光科学部 保護者への成績表送付(学)
10月8日(火)	私立大学協会北海道支部40周年記念式典(企)	10月31日(木)	秋学期学納金引き落とし(会)
10月7日(月) ~10月31日(木)	光科学部3年生 進路に関する個人面談(就)		

お知らせ

『東京千歳会』の発足について

企画総務課からお知らせします。

この度、千歳市からご案内があり、千歳市にゆかりのある有志の皆さんが集い、ふるさと千歳の応援団として『東京千歳会』を発足する運びとなりました。

このことから、関東近郊に在住及び勤務されている本学OBの皆さんにも参画いただきたいとのことです。

『東京千歳会』への加入につきましては、総会参加時にご負担いただく会費のみとなっております。

つきましては、下記のとおり第1回の総会が開催されますので、詳しくは、東京千歳会事務局または事務局企画総務課にお問い合わせください。

・『東京千歳会』総会

と き 平成14年11月27日(水) 19時から(18時30分受付)

ところ 日本都市センター会館3階 コスモスホール

東京都千代田区平河町2丁目4番1号

会 費 5,000円

お問い合わせ先:

(加入申込み等) 〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目4番1号

日本都市センター会館12階 千歳市東京事務所内

東京千歳会設立準備委員会事務局

電話: 03-3288-2121 E-メール: chi.tokyo@blue.ocn.ne.jp

(学内問い合わせ) 〒066-8655 千歳市美々758番地65

事務局企画総務課 電話: 0123-27-6001

『メディアコンサルタント』業務開始のお知らせ

大学情報センターからのお知らせです。

パソコンのことや情報系の授業内容のことなど、日頃疑問に思っていることについての相談窓口を開設しました。

相談窓口には、本学の大学院生や4年生の優れた方を採用しておりますので、気軽に窓口までお越しください。

「メディアコンサルタント」の詳細業務内容は下記の通りです。

どんどん活用して自己の情報技術のレベルアップに役立ててください。

1. 業務開始日及び時間・場所

・時間: 9月24日(火)より開始

休業日を除く、毎日16:00~19:00

・場所: 講義棟2F コンピュータ事務室内にて(B204教室前の部屋)

2. 相談窓口担当

担当日	担当者名	得意とする内容
月曜日	山川 広人	Flash,C
火曜日	杉山 秀則	Java,C,Maple
水曜日	高橋 孝博	Java,C,Maple
木曜日	長谷川 卓也	HP作成,DreamWaver,他
金曜日	小谷 健太郎	C

(注)Excel,Wordなどofficeツールの基本的なことについては全員が対応可能です。

編集後記

今月号で掲載した国際会議、佐々木記念賞の詳しい模様は、次号にてお知らせしたいと考えています。

最近の話題、掲載事項がありましたら事務局企画総務課にご連絡下さい。

第9号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年10月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



第3回 千歳光科学国際フォーラム開催

去る10月6日(日)から8日(火)に第3回千歳光科学国際フォーラムが開催されました。

今年度は、会議のオープニングとして6日(日)に市内ホテルにおいて市民公開講演会を開催し、多くの皆様においでいただきました。主催者を代表して雀部学長の挨拶(写真)開催地である千歳市からは東川千歳市長のご挨拶があり、その後、緒方名誉教授と碓井助教授の講演が行われました。また、10月7日からは本学内大講義室において招聘者や本学教員及び学生の研究発表やポスターセッションが開催されました。

内 容

市民公開講演会
佐々木記念賞授賞式
今後の行事予定

千歳光科学国際フォーラム 市民公開講演会

市民公開講演会（アンケート）

10月6日（日）に開催しました市民公開講演会は、初めての試みとして日曜日に開催しました。今回の開催に当たっては、講演案内のほか市内でのポスターの掲出、新聞折込チラシを実施した結果約120名程度の参集を得ております。そこで参集いただきました皆様の協力を得てアンケート調査を行いました（回答内容の抜粋を掲載します。）

配布枚数101枚のうち回答を得た人数は34名でした。（ご協力ありがとうございました。）

設問 本日の講演会をどのようにお知りになりましたか？

項目	回答数
千歳科学技術大学ホームページ	1
新聞折込チラシ	9
千歳光科学国際フォーラム参加者（案内）	10
その他	11
無回答	3



緒方名誉教授の講演

設問 年齢、性別、お住まい

年齢	回答数	性別	回答数	お住まい	回答数
20代	3	男	23	千歳市内	22
30代	8	女	11	その他	12
40代	6			札幌市、横浜市 東京都、埼玉県 川崎市、台湾	
50代	7				
60代	8				
70代	1				
無回答	1				

設問 今後どのような講演をご希望されますか？

- ・ 碓井先生の話 Part （同回答他5件）
- ・ 光科学というと（どんなのかも理解していない）もっと難しい学問をしていると思っていた。広い学際的な仕事分野のような気がするので、今回同様先生の話を知りやすく紹介してもらえると興味深く聞ける。
- ・ 一般市民でもわかるようにやさしく、光科学についてもっと詳しく聞いてみたいです。（せっかく千歳に立派な大学があるので、どんなことをしているのかも聞いてみたいです。）
- ・ 企業の講演
- ・ 光ファイバーのわかりやすい講演、一般家庭で使われている物を題材にしてほしい。
- ・ require more technology presentation
- ・ 小規模で良いので、先端技術をわかりやすく紹介してほしい。
- ・ 小泉首相提案のタウンミーティング的なもので市民参加型のもの
- ・ 市民にわかりやすい講演をお願いします。生活に密着した内容が Better
- ・ 生活に直結した科学的な基礎知識
- ・ 光科学と市民生活との関わりをキーワードに判り易いものを希望する。
- ・ 光科学の展望に関するもの
- ・ 環境光科学についての講演
- ・ 今回のような市民参加型の講演をもっと幅広い分野で実施して頂ければ幸いです。
- ・ 貴大学の研究について講演してくれること、今までどおりで可です。
- ・ 環境問題（環境ホルモン）

千歳光科学国際フォーラム

10月7日(月)に本学では、招聘講演者である Paras N.Prasd(University at Buffalo, The State University of New York)の発表を皮切りに、2日間にわたり、16件の口頭発表と35件のポスターセッションが行われました。

ポスターセッションでは、学生の発表も多数あり、選抜の結果5名の学生が優秀発表としてバンケット開催時に表彰されました。



記念植樹後の記念撮影

佐々木記念賞 授賞式

国際会議の会場をお借りして本学主催の佐々木記念賞授与式を開催しました。

佐々木記念賞は、平成10年10月に開催された「有機非線形光学国際会議 (ICONO'4)」において、参加者有志により提案された決議に基づき、平成10年10月5日に亡くなられた故 佐々木敬介・初代千歳科学技術大学学長の偉業を称え、千歳科学技術大学の学生を鼓舞、激励することを目的として設けられました。

第1回佐々木記念賞は、平成11年10月に開催された「第1回 千歳光科学国際フォーラム」において、はじめて2名の学生に授与され、平成12年度から学術奨励賞として発展し、本学の建学精神に則り、学業に精励し、国際的な視野を広げることに積極的な学生を対象として授与しております。

第4回を迎えました今年度からは、学業学術等の奨励を行うことを目的として、学部学生2年生または3年生の内、学業成績優秀な方に奨励賞を、全在学生の内からクラブ活動または学外における活動において功績があった方に貢献賞を、大学院生の内から学術・研究に関し成績優秀または顕著な功績のあった方に学術賞の3つの賞を授与するものとなりました。なお、記念の賞状とともに副賞として奨学金が授与されましたが、これは、特定非営利活動法人(NPO)ホトニクスワールドコンソーシアム様からご支援いただいております。

【今年度受賞者】

奨励賞	物質光科学科 平田 智子さん	光応用システム学科 知場 大記さん
貢献賞	物質光科学科 村岡 利晴さん	光応用システム学科 五十嵐 一哉さん
学術賞	光科学研究科光科学専攻 小山田 崇人さん 杉山 秀則さん	



左から 杉山さん、小山田さん、五十嵐さん、雀部学長、村岡さん、知場さん、平田さん

会議開催

大学運営会議

10月 9日(水)

- ・光科学部のカリキュラム検討について
(経過報告)
- ・その他
中央教育審議会「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」

教授会

10月16日(水)

- ・学習指導報告
- ・学生総合センター報告(学生部・就職部)

- ・大学情報センター報告
- ・入試事務局報告
- ・カリキュラム検討について
- ・その他

研究科委員会

10月16日(水)

- ・学習指導関連
- ・その他
- ・今後のスケジュール

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

11 月	
11月5日(水)~8日(金)	日本育英会奨学生二次採用及び大学院予約採用選考面接(生)
11月6日(水)	大学運営会議(企) 秋の交通安全講習会(生)
11月8日(金)	秋の交通安全講習会(生)
11月13日(水)	光科学部 教授会(学)、大学院 研究科委員会(学) 日本育英会奨学金返還説明会(生)
11月20日(水)	物質光科学科 学科分け説明会(1学年)(学)
11月22日(金)	光応用システム学科 学科分け説明会(1学年)(学)
11月25日(月)	第4回 理事会・評議員会(企)
11月20日(水)	私立大学協会北海道支部総会(企)

お知らせ

学生アンケート結果の集約

平成14年4月に本学に在籍する1年生から4年生までの学生を対象とした「学生生活アンケート調査」を実施しました。このアンケート調査は学生部で実施している学生相談及び健康相談への学生の認識及び改善等についての情報収集を主な目的としていますが、あわせて、学生生活全般の実態の把握をするために実施しました。

10月にその結果がまとまりましたので、次号の掲載でお知らせします。なお、学生の皆さんには、大学情報センターで閲覧することができます。是非ご覧ください。

編集後記

いよいよ秋も一足飛びに過ぎ去り、冬の到来です。気候の変化や交通事故等には今一度十分注意しましょう。

次号では、学生アンケート結果を掲載予定しております。

第10号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年11月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



企業と大学の情報交換会

学生を採用いただいた企業との連携強化により本学への理解を深めていただくことを目的として、企業と大学との情報交換会を11月8日(金)札幌(出席企業25社)、11月20日(水)東京(出席企業53社)の2会場で実施しました。

それぞれの会場で、第1部では本学の説明と教員による研究内容のトピックス的な講演、第2部では情報交換及び懇親会を実施し、1期生が活躍している様子など様々な情報を頂戴し大変有意義な会を実施できました。この情報交換会で得たものを今後の就職活動に十二分に生かしていくとともに、このような会を毎年盛況のうちに開催できるよう、学生の就職支援に力を注いでいきたいと考えております。

学生生活アンケート調査結果

平成14年4月に実施した「学生生活アンケート調査」は、2002年度に本大学に在籍する学部生全員を対象にして実施しました。この調査は、学生生活全般の実態を把握し、その学生生活の内容と傾向について分析した結果をもとに今後の学生生活指導の参考とすることを目的としています。回収状況は在籍者数919名に対し749名(81.5%)でした(そのうち男性は92.5%、女性は7.5%)。

調査項目としては、「調査対象者の内容」「学生生活の実態」「大学の現状評価」の3項目として、回答者のプロフィール、人生観や人生の目的、経済状態や生活、学生活動、健康や情報、友人関係、施設・設備のイメージや充足について形式的な回答の他に自由記述も含めました。また、1年生については、入学して間もないことから、調査内容を考慮して実施しました。今回は、調査結果の中から抜粋して報告します。

(1) 大学進学への動機(1年生対象)

回答を得た1年生の学生(248名)を対象に進学の動機について調査をしました。

「専門知識や技術・資格を得るため」が54.8%と最も多く、次いで「将来のことを考えて」49.2%、「豊かな教養を得るため」23.0%、「親が大学へ行くのを勧めたから」16.5%と続いている。本大学が専門的な学部よりなることから知識・技術の習得が圧倒的に多いことが十分に伺える。また、経済的に不況の時代から就職の関心度も非常に高く、資格を得たり将来のために豊かな教養も身につけたいとの意欲も伺える。

また、第4位の親からの薦めで進学を決定したことで、大学進学が就職の第一のステップであるという親の認識が強く、進学意識が高いと考えられる。ますます専門的な知識・技術を習得し、就職の意識が高くなってきていると考えられ、社会情勢を反映しているように見える。

(2) 学生生活の重点度(2年生～4年生対象)

回答を得た2年生から4年生までの学生(501名)を対象に学生生活の中で最も重点をおいているものについて調査したところ「専門的な知識や技術習得をすること」が57.5%と多く、次に「豊かな教養を身につける」29.1%、そして「大学卒業の学歴をつけること」19.0%と続いている。学生の半数以上が大学での専門的な学問を修得することを意識し学習意欲が感じられる。

(3) 課外活動への参加

1年生を対象に部・サークルの加入希望を質問したところ「加入したい」74.1%、「加入したくない」24.5%であり、加入希望の理由として「友人を得ること」50.5%と最も多く、次いで「スポーツを楽しむ」27.7%、「趣味にあうから」25.0%となっている。慣れない学生生活のなかで課外活動を通して早く友人をつくり、青春を楽しみたいという気風が感じられる。部・サークルの所属について2年生から4年生の学生を対象に現在の加入の有無を調査したところ、「加入している」学生は40.1%と半数以下であり「加入していたが辞めた」12.1%、「加入したことがない」46.3%であった。加入している学生数と途中で辞めた学生の合計割合で学生の半数以上が課外活動経験者である。2年生の加入率がもっとも多く47.0%、4年生になるに従って減少している。

加入動機は「スポーツを楽しむため」28.3%、「趣味にあうから」31.8%、「友人を得るため」28.3%であり、課外活動が個人的な楽しみを目的としており、心身の鍛錬やスポーツ技術の向上などの志向が薄い傾向にある。

1年生の加入希望率と合わせてみると1年生から2年生の時期がもっとも課外活動の活発な時期ということになる。また、大学祭などの学生行事の参加については、半数以上の学生が「参加しない」31.7%「ほとんど参加しない」29.7%と回答している。学生行事の参加動機は「なんとなく」24.4%、「ひまだから」15.8%、「部やサークルの仲間とできるから」15.2%となっているが、1年生は「おもしろいから」55.0%が半数以上を占めており、積極的な傾向にあるが、全学年を通じた結果としては、学生行事への学生の関心度は極めて低い。

ボランティア活動経験については、「全くない」と回答した学生は76.0%と大半を占めていた。

(4) 友人について(2～4年生対象)

プライベートなことまで相談できる親しい友人の数は「2～3人がもっとも多く」48.1%で、「4～5人」23.4%、「6人以上」は12.6%であった。少ない友人で保たれている傾向にある。また、「ひとりもない」10.4%、「1人」というのは5%で1割はほとんど友達がいない状況である。学内の友人が少なく、多く持たない傾向にある。友人との出会いの場所は、「オリエンテーション」や「クラス」で1年生の時に全体の3割が友人を得ている。また、「同じ高校出身」、「出身小・中学校」と全体の4割が大学前の友人が多く、同郷意識が強い。「部やサークル」「研究室」など大学生活の中で新たな友人づくりを行うといった傾向は少ない。

(5) 不安や悩み

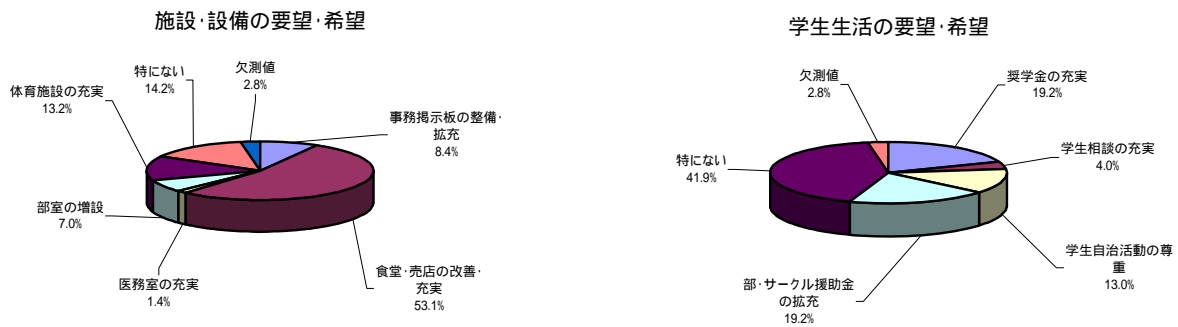
現在、学生が抱えている不安や悩みは「就職のこと」が35.8%と一番多く、次に「勉学上のこと」31.8%、「学費や借金など金銭上のこと」20.7%である。「健康上のこと」「身体上のこと」も全体の2割いる。

不安や悩みの相談相手は「学内の友人、先輩に相談する」43.7%、「学外の友人」47.9%と多く、友人に相談する傾向にある。

(6) 大学への要望

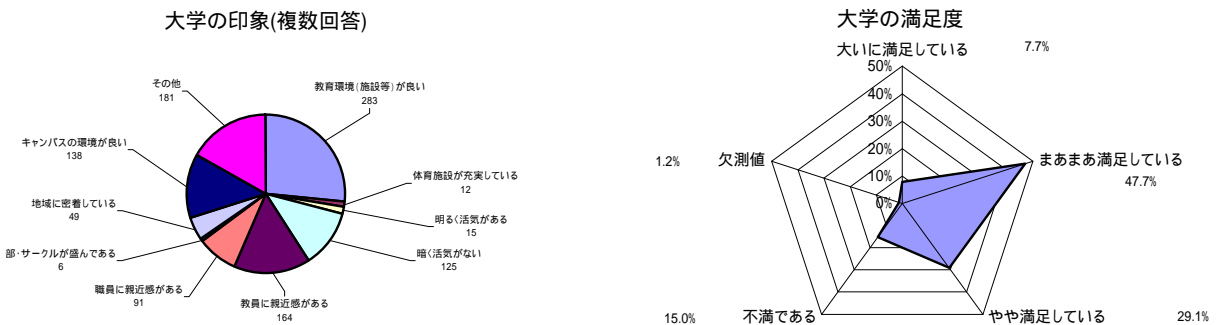
施設・設備についての要望は、「食堂・売店の改善・充実」53.1%、「特にない」14.2%、「体育館・グラウンドなどの体育施設の充実」13.2%、「事務掲示板の整備・拡充」8.4%である。

学生生活の要望は、「特にない」が41.9%で圧倒的に多い。次いで「部・サークルの援助金の拡充」19.2%、「奨学金の充実」19.2%である。学生生活では、ほぼ満足しているように伺える。



(7) 大学の印象と満足度

大学の印象(複数回答)は、「教育環境(施設等)が良い」が283と多く、次いで「教員に親近感がある」164、「キャンパスの環境が良い」138となっている。しかし「暗く活気がない」が4位の125で、7位の「明るく活気がある」を大きく上回っている。本学の満足度は「まあまあ満足している」が47.7%と最も多く、「大いに満足している」7.7%と合わせると半数以上の学生が大学での生活に満足している状況にあります。



会議開催

大学運営会議

- 11月6日(水)
- ・教員選考の手續について
- ・カリキュラムの検討について

教授会

- 11月13日(水)
- ・学習指導報告
- ・学生総合センター報告(学生部・就職部)
- ・大学情報センター報告
- ・入試事務局報告
- ・カリキュラム検討について
- ・その他

研究科委員会

- 11月13日(水)
- ・学習指導関連
- ・その他
- ・今後のスケジュール

第4回理事会・評議員会

- 11月25日(月)
- ・平成15年度AO入試及び推薦入試の結果について
- ・カリキュラムの変更について
- ・平成15年度予算編成方針(案)について

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

12月・1月	
12月2日(月)	授業評価アンケート配布(学)・AO入試、推薦入試合格発表(入)
12月4日(水) 12月4日(水)～	大学運営会議(企) 平成15年度予算査定開始(会)
12月6日(金)	健康相談(生)
12月9日(月)	北海道大学電子科学研究所10周年記念式典(企)・学生相談(生)
12月10日(火)	就職ガイダンス
12月11日(水)	教授会・研究科委員会(学)
12月12日(木)	千歳ロータリークラブ講演会 学長(於 千歳全日空ホテル)(企)
12月13日(金)	就職ガイダンス(就)
12月19日(木)	第1学年 第1回学科分け決定者発表(学)
12月20日(金)～1月16日(木)	冬季休業
12月27日(金)	仕事納め
1月6日(月)	仕事始め
1月17日(金)～27日(月)	光科学部 秋学期補講期間(学)
1月18日(土)～19日(日)	大学入試センター試験
1月28日(火)～2月4日(火)	光科学部 秋学期定期試験(学)

編集後記

冬季休業後には定期試験、卒業研究発表の予定があります。体調管理に十分留意し、万全の体制で望まれるようお願いいたします。

第11号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成15年1月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



平成15年度大学入試センター試験実施

去る、1月18・19日の両日、本学を会場に平成15年度大学入試センター試験が実施されました。

300名の受験者が本学を会場として受験されています。

また、本年は初めて、道都大学、北海道文教大学との**共同開催**により試験を実施し、各大学の入学試験担当者の協力のもと終了しております。

内 容

年頭所感
千歳科学技術大学同窓会だより
その他

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり一言述べさせていただきます。

本年は、国公立を問わず多くの大学で「大学改革」が真剣に検討される年になります。その背景は、勿論、来年4月にスタートする国立大学の独立行政法人化にあります。本学は未だ開学5年目だから改革を考えるには早過ぎる、との意見もあるかも知れませんが、私はそうは思いません。開学当初には既に国立大学法人化の話はありましたが、その実現には相当の年月を要するだろう、という甘い予測があったと思います。しかし、政府の構造改革で文部省が文部科学省になったのを期に、国立大学の再編・統合を大胆に進める方針が打ち出され（2001年6月）、急速に法人化への取組みがなされたことはご承知の通りです。また、21世紀COEプログラムによる国際競争力の強化（2002年10月）、中央教育審議会の答申「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」（2002年8月5日）などを通じて、大学自身の努力による改革を促しています。特に中教審答申については、直ちに学校教育法の一部改正が法案となって国会を通過しました（2002年11月22日）。この改正の目玉は「第三者による評価システム」の導入であり、平成16年度から義務付けられます。一方、「世界的研究教育拠点形成を目指す」21世紀COEプログラムの教育版ともいえるべき「特色ある大学教育支援プログラム」が平成15年度からスタートします。教養教育の充実、専門教育のカリキュラムの充実、学生の満足度の向上、厳格な成績評価等に特色ある優れた取組みの成果が評価されます。

このような状況に鑑み、今こそ「本学が採るべき方策は何か」を真面目に考えねばならないときと思います。先生方を始め職員の方々の非常なご努力で入試及び就職が順調な軌道に乗り始め、また補習を含む基礎教育の充実に力を注いでいる教育の実態が高校側からも高く評価されつつあります。これらのことは、「サンデー毎日」の新春合併号（2003年1月5/12号）にも紹介され、「就職に強い大学」としての評価を頂いています（記事中、大学問題に詳しい名古屋学院大学大学院梅津和郎教授が「千歳科学技術大学は、光科学の分野で成果を挙げていることで知られている」とコメントされている）。我々の眼の届かないところでこのような評価を受けていることは大変喜ばしいことであり、日頃の努力が報われた感があります。

大学、特に私立大学が生存競争に打ち勝って伸びていくためには、その大学の個性を社会にアピールしていくことが最大のポイントとなります。本学のアピールポイントは、建学精神にも謳われている、光科学における「人知還流」であり、教育を通しての「人格陶冶」であります。この実現に向けて、如何なる方策を講じるかが課題であります。中長期ビジョンの策定、及び短期ビジョンの策定が焦眉の急であることは言うまでもありません。本年6月には大学院博士課程の設置申請をしますが、これと並行してビジョン策定に取り掛かる必要があります。まず、20年後のCIST大学像を描くこと（長期ビジョン）、それに向けての道程（ロードマップ）の作成（中期ビジョン）、そして社会情勢の変化に即応できる体制整備（短期ビジョン）が肝要です。学長のリーダーシップが求められている昨今ではありますが、このようなビジョン作成が一人の人間でできる筈も無く、全教職員のご協力を仰がねばなりません。特に、次の世代を担う若手の教職員の方々の発想に期待しています。そのためには、常日頃これらのビジョンに関して真剣な議論をし、brush upして行きたいと思っております。長期ビジョン策定のための大学将来構想委員会、全入制を前提とする入試制度検討委員会、第三者評価システム導入を念頭においた大学評価・認定検討委員会、地域連携の一環として、社会人教育・生涯教育・小中高連携教育等を対象とする教育方法検討委員会、産学官連携を円滑に推進するための産学官連携推進室、国際化を目指した留学生等の受入れを検討する国際化検討委員会、そして最も重要な学生の基礎教育の充実を図る教育システム検討委員会等、いろいろな委員会の設置が望まれます。勿論、既に存在する委員会でも対応可能なものもありますが、議論の視点を明確にした上での検討が未だ十分ではなく、集中的にビジョン策定に取り組んで頂きたいと思っています。

1月6日の年頭の挨拶でも申し上げましたが、「魅力ある大学」作り、「地域との連携」の推進を当面の目標としたいと思っています。すなわち、

「魅力ある大学」作り

- 学生にやる気を起こさせる授業（カリキュラム改定の効果に期待）
- 学生との対話を重視（将来に対する不安・悩みを持つ学生の増大）
- 学生ベンチャーの起業を促進（IT、メディア関連）
- 国際評価の高い研究の推進

「地域との連携」の推進

- 千歳ASP設立（小松川研究室、碓井研究室を中心に）ASP: Application Service Provider
- 社会人教育・生涯教育への取組み
- 高大連携の推進（札幌稲雲高校：数学のe-learning system、さらに理科を検討）
- PWC活動の活発化（研究クラスターによる産学官連携）

その他、前述の各種委員会を具体化する方向で検討したいと思っています。

「やらねばならないこと」（義務）と「やりたいこと」（方針）は山ほどありますが、限られた人材で全てを実行することは不可能であることは重々承知しています。しかし、国立大学の法人化がもたらす影響は私学に対して致命的なダメージを与える恐れが多分にあり、先手を打って対応策を講じること、さらには率先して大学改革を味方とする大学連携方策を打出していくことが、今一番強く求められていると確信しています。

教職員皆様のご協力を切にお願いする次第です。

（平成15年1月14日）

千歳科学技術大学同窓会だより

同窓生の絆

同窓会会長

住友電気工業株式会社
小口 敬太郎



明けましておめでとうございます。

同窓会長の小口敬太郎です。

千歳科学技術大学同窓会は、平成14年3月16日(土)に第1期卒業生により設立されました。

ですから、まだ発足して間もない「会」なのですが、先日同窓会会報の創刊号を刊行し、これから活発に活動をしていく期待の大きい「会」なのです。

現在の会員数は、第1期卒業生248名と特別会員として本大学に勤務された教職員の方々67名の合計315名です。在学生の皆さんはこの時期、補講や試験、卒業論文と慌しく過ごされていることと思います。

1年前までは私も学生でしたが、社会人となり、日々世の中の荒波に揉まれ、社会に出るとは大変だと実感させられました。

学生であった時のことを思い起こし、在学生の皆さんには学生生活を精一杯楽しんで頂きたいと思うのです。

同じ大学で学んだ仲間は、社会人になった後も何かと連絡を取り合い、苦しい時も助け合えると信じています。在学生の皆さんには「同窓会」というと、あまり馴染みがないと思います。本大学を卒業した我々同窓生が社会に貢献するとともに、本大学の発展にも寄与できるよう親睦を図り、力を合わせてがんばっておりますので、どうぞよろしくお申し上げます。

第1期卒業生

同窓生の横顔 ~社会人になって~

株式会社ナツクス山梨試験センター 佐々木佳影(山梨県在住)



最近になって少し大人として成長したように感じます。考えてみれば16年間も学校に通い、暢気に学生という肩書きで生活してきたのが、急に会社員になり、戸惑わないはずもないけれど、職場も自宅も田舎だし、休みは取れないし他にも色々考えさせられました。入社した頃は気持ちにゆとりが無く、とにかく必死で溜息が多かった気がします。ずいぶん救われたように思います。

最近になってやっと仕事のおもしろみが考えられるようになってきました。社会人になるのに少し時間がかかったけれど、これからは会社のために自分の力を十分に発揮して行くように努力します。

今、学生時代にしておくべきことが二つあったと思っています。それは、長期の旅行と働く上での武器(英語、情報技術など)を勉強しておけば良かったということです。時間が自由に使える学生の時に実行しておけば良かったと後悔しています。

北-レント ジャパン株式会社 吉田 広志(東京都在住)

卒業後、研究生として北海道大学工学部光学研究科に入学しましたが、恩師の薦めで現在の会社に入社しました。東京での生活は新鮮で、

同窓会役員・監事等の方々をご紹介します。

名誉会長	雀部 博之(千歳科学技術大学学長)
会長	小口敬太郎(住友電気工業株式会社)
副会長	打越カンナ(松下システムズ コアリング 株式会社)
理事	齋藤健司(古川NDK株式会社)
理事	寺岡雅晴(株式会社協和フコオ)
監査	藤巻 亘(株式会社東京インシステムズ)
監査	金野 徹(セイウプロダクト株式会社)
顧問	千歳科学技術大学学生総合センター学生部 主任 池田弘治(物質光科学科教授) 副主任 江口真史(光応用システム科学科助教授) 副主任 王 建康(物質光学科助教授)

仕事はまだ勉強しなくてはならないことが多いですが、Laser技術やApplication、語学などを存分に学べてPotentialをあげることができ充実しています。外資系の会社ということもあり海外に行く機会も多々あるので考え方の視野も広がります。

休日は、同窓生と仕事や将来のことについて意見交換したり、お酒を飲んだり、旅行したりと楽しんでいます。

人生のチャンスは自分でしっかり掴むもの。

受け身では決して訪れはしません。そしてチャンスが訪れたとき、それを受け止めるだけのCapacityを日々磨き上げておくことです。また、研究、就職、試験にも言えることですが、最大限努力すれば出た結果を素直に受け止められるのです。決してProcessの段階から手を抜いてはいけません。「夢は時に変わっても良い、しかし夢を持ち続けなさい」この言葉は、我が恩師から享受されるものです。

まず己を知ること、そして「夢」に向かって日々の生活を遂行することが大切なKeyPointではないでしょうか。

この言葉は、社会人となった私の生涯にかけてのThemeであり皆さんにも是非考えてほしいSentenceなのです。

有限会社パークエント-タイム 佐藤 充(札幌在住)



社会へ出て、もうそろそろ1年がたちます。僕は、アートディレクターとして数多く展覧会に作品を出品する芸術・デザインの道へ進みました。それは大学で学んだ光科学技術とはあまり関係のない分野です。しかし、大学で学んだことの多くが役にたっています。

プロセスを重視する「計画・実行・検証・反省」といったことは、大変当たり前のようで誰もができるものではありません。また、現象を観察することでも、物理や数学でよく使われる置き換えといったような感覚で、物事を客観的に捉えることで新たな形へと落とし込むことも多いのですが、そういったことも自然にやっているように思います。僕は異分野へのコンバートにもかかわらず、何とか一端の社会人として歩んでいられるのも、多くの人々からの協力と助けがあればこそとしみじみ思うのです。社会人になると、大学生活のように卒業という終わりが用意されている訳ではありませんが、建学の精神にもある「人格陶冶」を胸に、日々努力をしています。

会議開催

大学運営会議

12月 4日(水)

- ・教員選考委員会の設置について
- ・平成15年度学事日程について
- ・その他(自己点検・評価の実施について、年末休日の変更について)

1月 9日(木)

- ・大学院施設整備の方針について
- ・教員選考規程の改正案について

教授会

12月11日(水)

- ・学習指導報告
- ・学生総合センター 報告
- ・大学情報センター 報告
- ・入試事務局 報告
- ・その他(教員選考委員会委員の選出、大学院研究奨励金に関する取扱要綱の制定、特別・訪問研究員の承認)

1月15日(水)

- ・学習指導報告

・学生総合センター 報告

・大学情報センター 報告

・入試事務局 報告

・その他(大学院博士(後期)課程の設置に伴う建物建設)

研究科委員会

12月11日(水)

・学習指導(授業評価アンケートの実施について、新年度担当コマ数について、新年度輪講発表について、来年度新入生の主査について、最先端分野学生交流推進制度の募集について)

・その他(専任教員研究費再配分、大学院施設建設備検討委員会の設)

・今後のスケジュール

1月15日(水)

・学習指導(新年度の輪講発表について、授業評価アンケート(案))

・その他(入試、研究奨励金給付学生の承認、大学院建物建設)

・今後のスケジュール

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

1月～3月	
1月17日(金)～1月27日(月)	光科学部 秋学期補講期間(学)
1月18日(土) 1月19日(日)	大学入試センター試験(入)
1月28日(火)～2月4日(火)	光科学部 秋学期定期試験期間(学)
1月25日(土)～2月22日(土)	市民公開講座(毎週土曜日5回開催)(企)
2月3日(月)	一般学力入試 期試験(入)
2月4日(火)	就職ガイダンス(就職・進学推薦説明会)(就)
2月12日(水)	秋学期再試験対象者発表(学)
2月12日(水)～2月14日(金)	秋学期再試験申込期間(学)
2月14日(金)	産学連携交流事業(研究成果社会還元セミナー)(学)
2月18日(火)～2月24日(月)	光科学部 秋学期再・追加試験期間(学)
2月19日(水)～2月27日(木)	学内企業説明会(就)
2月20日(木)	第5回 理事会・評議員会(企)
3月3日(月)	一般学力入試 期試験(入)
3月7日(金)	光科学部 学科分け最終発表(第1学年)(学) 卒業生発表(第4学年)(学)
3月15日(土)	平成14年度 学位記授与式(企) 卒業記念祝賀会(生)

編集後記

新しい年を迎え、学長の年頭所感にもありましたが、本学の課題は山積しております。教職員、在学生及び卒業生一致協力し、本学の発展に取り組もうではありませんか。

今回は卒業シーズンにあわせた1年の総括特集を予定しております。



小学生の体験学習

2月には千歳市内の小学校から生徒の皆さんが大勢本学を訪れてくれました。

13日には、体験学習として、千歳市立千歳小学校の5年生の皆さんが吉田教授をはじめ本学教員によるいろいろな実験を体験し、吉田研究室では、「光のマイクロフォン」実験に真剣に取り組んでいました。

また、市立高台小学校(12日)、市立緑小学校(26日・27日)の皆さんにも体験学習を実施し、遠隔研究室間での双方向映像通信実験やレーザー光線、光の三原色、光ファイバ通信などを手で触れ、目で見て体験してもらいました。

千歳市立小中学校サイエンス会議開催

2月22日(土)には、千歳市内の小中学校14校が総合学習の時間に調査した成果を発表する場として本学の大講義室を活用していただきました。

この取り組みは自然科学への学習意欲が高揚することを目標としており、参加された生徒の中には、将来、本学の教育研究のテーマである「光科学」にも興味を持っていただくことを期待しております。

なお、当日は生徒や保護者の皆さん200余名が参集され盛大に開催されました。



内 容

卒業記念特集.....	2
「プラスの発掘を」 学長 雀部博之	
「卒業にあたって」 物質光科学科 安藤美和子さん	
入学試験情報.....	3
就職情報.....	3
財政状況.....	4
会議開催・年間行事予定...	5
報 告.....	6
お知らせ.....	7
同窓会から	8

「プラス の発掘を」 平成14年度卒業のみなさんへ

学長 雀部 博之



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4年間の学生生活を終え、社会に巣立つあるいは大学院に進学することとなり、新たなファイトが沸きあがってきたことでしょう。昨今の日本経済情勢、社会情勢は必ずしも楽観を許しません。大学で得た知識・人間関係を大切に維持し、さらに発展させることによって、自らの道を切り拓いていくことができます。

かつては欧米の能力主義に対して日本は努力主義が支配的でした。しかし、学歴社会が崩壊しつつある現在、学歴だけではなく学歴プラス が求められるようになりました。このプラス に個人の持つ能力が強く反映されるのですから、常に自問自答しながら自分の能力を発掘することが必要です。

本学の建学精神である「人格陶冶」で自分自身を磨き、そして「人知還流」で社会貢献を目指して、今後も不撓不屈の人生を歩んでください。



「卒業にあたって」

光科学部物質光科学科

安藤 美和子



長いようで短い4年間という大学生活が終わりました。

知る事、学ぶ事、分かる事が楽しくて過ごしていた2年半。得た知識を使うことを学んだ1年半。先生方や沢山の方々の支えを頼りにやってきました。大変感謝しております。

私達は卒業し、共に学んだ仲間達と離れ、自分の力で生きていかなければなりません。しかしどうなっても、大学で学んだ、物事に対する姿勢や

アプローチの仕方を生かし、自分を磨いていきたいと考えています。

ここが新たなスタートラインです。気を引き締め心新たにがんばっていきたいです。

入学試験情報

平成15年度入学者選抜試験の結果(中間とりまとめ 3月8日現在)

昨年の11月、推薦入試やAO(アドミッションオフィス)入試の出願をもって始まった平成15年度入学者選抜試験も、あと3月22日に合格発表を行う大学入試センター試験利用入試(後期試験)を残すだけとなりました。

昨今、18歳人口の減少と受験生による出願大学の絞り込み等により、志願者数を減らす大学が増えていますが、本学の場合、現時点で昨年度に比べ受験者が89名(前年度対比で18.9%)増えています。これも、本学の教育・研究成果や学生の卒業後の進路が社会に周知・浸透し、本学への期待が高まっている現われと評価しています。



一般学力入試(期試験)会場風景

平成15年度入学者選抜試験の出願者数

募集区分	出願者数	募集人員	出願者数		増減数
			平成15年度	平成14年度	
特別推薦入試	85名	85名	77名	66名	11名
公募推薦入試	10名	10名	3名	4名	1名
AO(アドミッションオフィス)入試	25名	25名	44名	20名	24名
一般学力入試(期試験)	80名	80名	178名	160名	18名
一般学力入試(前期試験)	16名	16名	39名	30名	9名
大学入試センター試験利用入試(前期試験)	18名	18名	219名	191名	28名
大学入試センター試験利用入試(後期試験)	6名	6名	願書受付中	24名	-
合計	240名	240名	-	495名	-

就職情報

平成14年度 進路決定状況(速報)

就職内定状況(3月6日現在)

- ・就職希望者 190名
- ・内定者 175名
- ・内定率 92.1%

進学決定状況

- ・進学希望者 29名
- ・進学決定者 26名
- ・進学決定率 89.7%

なお、詳しい状況は次号で引き続きお知らせいたします。

学内企業説明会を開催いたしました

2月18日(火)から27日(木)迄の8日間にわたり、学内企業説明会を開催しました。

今年は65社の企業から技術者や採用担当者が参加し、業界や企業の採用についての説明があり、学生も熱心に耳を傾けていました。

多くの企業の声を一度に聞けるまたとない機会であり、毎年学生から好評を得ている企画であることと、また参加企業数も毎年増えており、企業にとっても有用な機会であることから、今後もより充実させて継続させていきたいと考えております。

特集記事

毎日新聞社が発行する『サンデー毎日』誌の平成15年1月5・12日合併号に本学についての記事が掲載されております。

コメントされたのは、大学問題に詳しい名古屋学院大学大学院教授、梅津和郎氏です。

【本文引用】

...都心の有名大とともに顔を出す金沢工業大、千歳科学技術大である。先の梅津氏は

「金沢工業大は教育改革に成功して、就職状況もいい、千歳科学技術大は、光科学の分野で成果をあげていることで知られています。地方で充実した研究、教育をしている大学はもっと注目されています。小さいながらも独自のカラーを持つ大学がこれから伸びていくはず。いずれにしても偏差値、知名度で大学を選別するのは愚の骨頂。そうした時代は終わりました」...



(熱心に説明を聞く学生達)



(企業採用担当者による模擬面接)

財政状況

【平成15年度 予算の概要】

収入においては、入学志願者の増加や入学定員の確保に向けて努力するとともに、経常費補助金については交付要件を精査し効率的な資金配分を行うことにより、交付額の増加に努めることとしています。

支出においては、平成16年度の開設を目指した大学院博士課程開設経費及び施設等整備経費、教育充実関連経費について、必要かつ緊急度の高い経費として重点配分を行いました。その他の支出においては、業務又は計画の見直しを行い、経費の節減に努めております。

資金収支

(単位：千円)

		平成14年度当初予算	平成15年度当初予算
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,315,123	1,304,784
	手数料収入	22,035	22,154
	寄付金収入	6,400	0
	補助金収入	184,990	223,465
	資産運用収入	1,130	771
	事業収入	17,595	12,905
	雑収入	0	2,538
	前受金収入	239,022	240,219
	その他の収入	60,685	325,848
	資金収入調整勘定	256,517	251,927
	前年度繰越支払資金	1,080,818	1,354,360
	収入の部合計	2,671,281	3,235,117

(単位：千円)

		平成14年度当初予算	平成15年度当初予算
支出の部	人件費支出	667,654	650,133
	教育研究経費支出	373,333	337,981
	管理経費支出	184,321	175,441
	施設関係支出	0	12,670
	設備関係支出	10,038	25,764
	資産運用支出	252,404	461,620
	その他の支出	55,328	167,083
	資金支出調整勘定	36,778	75,753
	次年度繰越支払資金	1,164,981	1,480,178
	支出の部合計	2,671,281	3,235,117

消費収支

(単位：千円)

		平成14年度当初予算	平成15年度当初予算
帰属収入	学生生徒等納付金	1,315,123	1,304,784
	手数料	22,035	22,154
	寄付金	6,400	0
	補助金	184,990	223,465
	資産運用収入	1,130	771
	事業収入	17,595	12,905
	雑収入	0	2,538
帰属収入合計	1,547,273	1,566,617	

(単位：千円)

		平成14年度当初予算	平成15年度当初予算
消費支出	人件費	671,778	662,592
	(うち退職給与引当金繰入額)	(4,124)	(13,305)
	教育研究経費	787,927	756,052
	(うち減価償却費)	(414,594)	(418,071)
	管理経費	213,581	203,825
	(うち減価償却費)	(29,260)	(28,384)
	資産処分差額	0	0
徴収不能額	0	0	
消費支出の部合計(イ)	1,673,286	1,622,469	

基本金組入額	10,038	62,148
消費収入の部合計(ア)	1,537,235	1,504,469

消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	136,051	118,000
翌年度繰越消費収入超過額	254,486	294,157

資金収支 ~ 当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出、及び支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのもの。

消費収支 ~ 当該会計年度の帰属収入からの基本金の組入れ状況及びそれから導き出される消費収入に対応する消費支出との均衡状態を示し、さらに年度末の財政状態を明らかにするもの。



会議開催

大学運営会議

- 2月 5日(水)
 - ・教員の昇任について
 - ・学則の変更について
 - ・自己点検・評価について
 - ・高大連携について
 - ・学位記授与式について
 - ・産学連携交流事業について
- 2月12日(水)【臨時会】
 - ・高大連携について
 - ・その他(教育研究貢献賞)
- 2月26日(水)【臨時会】
 - ・平成14年度教育研究貢献賞について
 - ・入学式における父母への説明会の実施について

教授会

- 2月12日(水)
 - ・カリキュラム検討委員会 報告
 - ・自己点検・評価実施委員会 報告
 - ・学習指導 報告
 - ・学生総合センター 報告

- ・大学情報センター 報告
- ・入試事務局 報告
- ・その他(平成14年度学位授与式、平成15年度入学式について等)
- 3月 5日(水)
 - ・学習指導 報告(学科分け結果、進級・卒業判定等)
 - ・学生総合センター 報告
 - ・その他(大学院研究奨励金について等)

研究科委員会

- 2月12日(水)
 - ・学習指導
 - ・その他(大学院研究奨励金について等)
- 今後のスケジュール
- 3月 5日(水)
 - ・学習指導
 - ・その他(大学院研究奨励金について等)
- 今後のスケジュール

平成14年度 第5回 理事会・評議員会

2月20日(木)

議案

- 第1号 千歳科学技術大学学則の一部改正について
- 第2号 千歳科学技術大学教員選考規程の一部改正について
- 第3号 学校法人千歳科学技術大学公印取扱規程の一部改正について
- 第4号 学校法人千歳科学技術大学教職員給与規程の一部改正について
- 第5号 学校法人千歳科学技術大学役員の報酬及び退職手当に関する規程の一部改正について

- 第6号 学校法人千歳科学技術大学資金運用規程の制定について
- 第7号 千歳科学技術大学大学院等施設整備(校舎増築改修)方針(案)について
- 第8号 平成14年度 第3回補正予算について
- 第9号 平成15年度予算(案)について
- その他 平成15年度 理事会・評議員会の開催予定について

年間の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

春学期(4月1日~9月11日)		秋学期(9月12日~3月31日)	
4年生が'15(学)	4月2日	秋学期授業開始(学)	9月12日
学部4年生、院2年生定期健康診断(生)	4月3日	光の記念日	9月19日
平成15年度 入学式(企)	4月5日	第3回理事会・評議員会(企)	9月25日
リノベーション・が'15(学)	4月7~11日	大学祭(生)	10月11・12日
学部1・2・3年生、院1年生定期健康診断(生)	4月10日	第2回 オープンキャンパス(入)	10月
春学期授業開始(学)	4月14日	秋学期学納金振替日(会)	10月31日
春学期学納金振替日(会)	4月30日	授業日	11月3日
第1回理事会・評議員会(企)	5月22日	振替休日(11月3日分)	11月7日
開校記念日	6月6日	AO入試・特別・公募推薦入試(入)	11月
学部 春学期補講(学)	7月15~23日	第4回理事会・評議員会(企)	11月27日
大学体育大会(生)	7月16~19日	冬期休業	12月23日~1月16日
第2回理事会・評議員会(企)	7月24日		平成16年
学部 春学期定期試験(学)	7月24~31日	センター試験(入)	1月17・18日
夏期休業	8月1日~9月11日	学部 秋学期補講(学)	1月19~23日
第1回 オープンキャンパス(入)	8月	学部 秋学期定期試験(学)	1月26~30日
学部 春学期再・追加試験(学)	9月5日~9月11日	一般学力試験(期)試験日(入)	2月
		学部 秋学期再・追加試験(学)	2月18~24日
		第5回理事会・評議員会(企)	2月19日
		春期休業	2月27日~3月31日
		一般学力試験(期)試験日(入)	3月
		学位記授与式(企)	3月20日

報 告

規程の制定・改正

平成 15 年 2 月 20 日開催した平成 15 年度第 5 回学校法人千歳科学技術大学理事会・評議員会において次の規程が制定・改正されました。

1 規程の制定

学校法人千歳科学技術大学資金運用規程

(目的)

第 1 条 この規程は、学校法人千歳科学技術大学の資金の運用指針、運用手続等について定め、もって資金の適正かつ効率的な運用に資することを目的とする。

(資金の区分)

第 2 条 運用の対象とする資金の区分は、保有する資金の種類又は期間により次のとおりとする。

(1) 長期資金

減価償却引当特定預金、退職給与引当特定預金等長期にわたって保有が予想される資金

(2) 中期資金

大学経営必要経費特定預金、施設拡充引当特定預金等数年程度保有が予想される資金

(3) 短期資金

保有が 1 年以内の資金

(資金運用責任者)

第 3 条 資金運用責任者は、事務局長とする。

(運用の原則)

第 4 条 運用は、安全を第一とし、かつ有利に運用することにより、運営上必要な収益及び長期的な資産形成を図ることとする。

2 運用は、元本の保証がある運用を基本とし、債券による運用にあたっては、元本保証のある債券を購入し、満期まで保有することを原則とする。

3 運用にあたっては、資金計画に基づき、運用すべき期間及び金額について十分見通しを立て、資金繰りに支障のないよう努めなければならない。

4 運用に際しては、複数の金融機関等と取引を行い、常に安全性に努めなければならない。

(運用対象)

第 5 条 運用対象は、資金の区分に応じそれぞれ次のとおりとする。

(1) 長期資金

- ア 郵便貯金
- イ 金融機関等への円建預金
- ウ 元本保証の金銭の信託
- エ 日本国債
- オ 政府保証債
- カ 地方債

(2) 中期資金

- ア 郵便貯金
- イ 金融機関等への円建預金
- ウ 元本保証の金銭の信託
- エ 日本国債
- オ 政府保証債

(3) 短期資金

- ア 郵便貯金
- イ 金融機関等への円建預金

(運用手続)

第 6 条 資金運用責任者は、運用にあたり、あらかじめ理事長の決裁を受けなければならない。

(運用報告)

第 7 条 資金運用責任者は、資金の状況及び結果を理事長に報告しなければならない。

(その他)

第 8 条 この規程に定めるもののほか、資金運用に関し必要な事項は、理事長が定める。

附 則

この規程は、平成 15 年 2 月 20 日から施行する。

2 規程の改正

千歳科学技術大学学則

本学学則の進級要件及び卒業要件を変えなく、必要なカリキュラム変更を行い学生の学修効果向上を図る必要があるため、学則の別表 1 (カリキュラム一覧) を変更しました。

なお、この規程は平成 15 年 4 月 1 日から施行し、旧学則適用者については、原則この学則を適用することとし、理事会・評議員会において承認されました。

千歳科学技術大学教員選考規程

教員の採用及び昇任の選考に関しては、千歳科学技術大学教員選考規程(平成 9 年 12 月 25 日施行)により定めておりますが、この度、学部長の役割に加え、選考にかかる書類、発議、委員会の設置等について明確にする必要

があるため、本規程の一部改正(案)を理事会・評議員会に提案し承認されました。

学校法人千歳科学技術大学公印取扱規程

学校法人千歳科学技術大学の公印の取扱に関しては、学校法人千歳科学技術大学公印取扱規程(平成 9 年 12 月 25 日施行)により定めておりますが、新たに、千歳科学技術大学光科学部長及び千歳科学技術大学光科学研究科長

の公印を加える必要があるため、本規程の一部改正(案)を理事会・評議員会に提案し承認されました。

学校法人千歳科学技術大学教職員給与規程

平成 14 年 8 月 8 日に行われた国の人事院勧告により実施された国家公務員及び北海道千歳市職員の給与改定にかんがみ、学校法人千歳科学技術大学教職員給与規程(平成 9 年 12 月 25 日施行)において、教職員の給料、扶養

手当、期末手当、勤勉手当等の所要の改正を行う必要があるため、本規程の一部改正(案)を理事会・評議員会に提案し承認されました。

学校法人千歳科学技術大学役員の報酬及び

退職手当に関する規程

平成 14 年 8 月 8 日に行われた国の人事院勧告により実施された国家公務員及び北海道千歳市職員の給与改定による本学教職員の給与等改定に伴い、当法人役員の期末手当支給率を改正するため、学校法人千歳科学技術大学役

員の報酬及び退職手当に関する規程(平成 10 年 3 月 6 日施行)の一部改正(案)を理事会・評議員会に提案し承認されました。

お知らせ

各課から

企画総務課

- 平成14年度市民公開講座終了

本学では例年「市民公開講座」を実施しておりますが本年は、1月25日～2月22日の毎週土曜日に千歳市立図書館を会場として、千歳市教育委員会の共催により開催しました。

3回目までは、日本と中国の関わりについて、4回目からは、各種団体の協力を得て、初の試みとして「超高速光ファイバーネットワークを利用した市民公開講座」において光科学入門を開講しております。

いずれの講義も好評で次回開催が期待されています。



神仙思想について解説される王助教授



液晶について説明する石田教授

従来ネットワークを通じた講義は、講師の講義映像を一方的に受けるというパターンが多かったのですが、今回は、講義室にいる講師及び受講者が大学の実験室と一緒にいき、そこで行われる実験を見学しながら疑問に思ったことをその場で質問すると実験担当の先生がそれに答えるというあたかも一緒に場所にいるかのような空間を共有できる受講者参加型の講義を行いました。

学務課

- 平成15年3月現在の成績表を各学生の保護者へ送付いたします。各科目の評価、単位の取得状況等が記載されておりますのでご確認下さい。なお、進級・卒業要件に関する資料、進級・留年通知等を同封いたします（3月中旬発送予定）。また、学生本人には新学期開始後に配布いたします（卒業生には3月7日以降配布）。

学生課

- シャトルバスの臨時運行

3月15日（土）学位記授与式にあわせて、本学シャトルバスを次のように臨時運行しております。ご利用ください。（卒業記念パーティーご出席の方は全日空ホテル行きのバスをご利用ください。）

往路	南千歳駅発		復路	全日空ホテル着		
	南千歳駅発	大学本部棟着		大学本部棟発	南千歳駅発	全日空ホテル着
	8:30	8:38		12:00	12:08	
	8:48	8:56		12:10	12:18	
	9:03	9:11		12:30	12:38	
	9:18	9:26		12:50	12:58	
	9:48	9:56		13:00	13:08	13:18
	10:03	10:11		13:20	13:28	13:38
	10:18	10:26		13:40	13:48	13:58
	10:33	10:41		14:00	14:08	14:18
	10:48	10:56		14:20	14:28	14:38
	11:03	11:11				
	11:18	11:26				

- 平成14年度卒業記念パーティーの開催について

千歳科学技術大学卒業記念実行委員会（第2期卒業生）主催による卒業記念パーティーを次のとおりの日程で開催します。なお、出席者は卒業生と教職員に限られております。

日時 平成15年3月15日（土）午後2時から午後4時まで
場所 千歳全日空ホテル
会費 5,000円

千歳科学技術大学同窓会から

同窓会に想うこと

同窓会名誉会長
千歳科学技術大学
学長 雀部 博之



千歳科学技術大学の第1期生が卒業したのは平成14年3月で、卒業謝恩会の直前に同窓会設立総会が開かれた。第1期生は何をするにもお手本なしに暗中模索の努力を余儀なくされ、随分と苦労されたことと思う。彼らが2年生のときに大学祭である「稜輝祭」を立ち上げ、企画から寄付金集め、人集めに奔走していたことが鮮明に目に浮かんでくる。

そして同窓会。これから本学を卒業していく学生諸君が青春時代を思い出す要として同窓会を活用し同級生、先輩、後輩、そして大学の教職員の方々と人的な繋がりを通して社会の荒波に揉まれながらも濺刺と仕事に、研究に、あるいは社会奉仕にと取り組んでいく際の心の縁となれば、同窓会の役割は十分に果たせたことになる。卒業して10年位は余り同窓会の有難味は分からないであろうが、同窓の絆は極めて強いものであり、年を経るにつれて人的繋がりの重要性が理解できるようになる。大学の歴史はそこを通過する学生によって築かれるといっても過言ではない。

千歳科学技術大学同窓会がその歴史の牽引車となることを祈ってやまない。

巣立つ春を迎えて

同窓会会長
小口 敬太郎
(平成13年度卒 物質光科学科)



昨年の3月に本学第一期卒業生により設立されました「千歳科学技術大学同窓会」も、はや1年を迎えようとしております。

また、3月15日(土)には第二期卒業生が大学を後にして、社会に巣立って行こうとしております。それはまた、同窓会会員として新たな同窓生を迎えることでもあります。

卒業を間近に迎えられた学生の皆様には、ご卒業を祝すとともに本学同窓会のご入会を心から歓迎いたします。第一期卒業生も世の中の荒波に揉まれ、大きく成長をしております。今思えば、大学の学長はじめ教職員の皆様にどれほどのご指導をいただいたか、改めて感謝の意を表するものです。卒業して初めて知ることの多さは、まさに我々が学生であった頃が白紙の状態そのものであったと言っても過言ではありません。技術力、精神力、知識の量も、習得すべきものは社会に山ほどあります。

「人間到る処に青山有り」臆することなく社会に力強く羽ばたき活躍されることを期待します。千歳科学技術大学同窓生として強い絆で結ばれた我々の使命は、建学の精神そのものです。今春、「人知還流」「人格陶冶」の思いを胸に、おおきく社会に巣立っていく皆さんを我々同窓生は暖かく見守り、そして支援をしていきます。

同窓会のあらまし

平成14年3月16日(土)学位記授与式終了後に、第1期卒業生により設立総会を開催し議決、設立した。本学同窓会は、名誉会長に雀部博之学長を迎え、本学教職員による特別会員を含め会員総数302名で活動を続けている。

千歳科学技術大学同窓会会則第5条に基づき本学卒業生全員が本会に入会している。また、千歳科学技術大学に継続した教職員については、特別会員として入会できることとなっている。本会の現役員等は、会長1名、副会長1名、理事2名、監査2名であり、顧問については、千歳科学技術大学学生総合センター学生部の教員3名を迎えている。

本会の収入は、会費、入会金、寄付金等をもって、千歳科学技術大学内に事務所を設置している。

本年1月には同窓会報創刊号を発刊し、平成15年6月に第1回定期総会を開催する予定。

同窓会費の納入について

千歳科学技術大学同窓会会則第17条の規定に基づき、同窓会費のお支払いについて会員の皆様をお願いしております。入会金2,000円及び終身会費10,000円となっております。

どうかご理解をいただき、ご入金をお願い申し上げます。

編集後記

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。本学を卒業される方の進路は就職や大学院進学など様々ですが、どの分野でもご活躍されることを願っております。

在学生の皆さんは、4月から新学期が始まります。本学での学生生活が有意義なものとなるよう、これからも勉強や課外活動に励んで頂きたいと思っております。
(学報編集班)

第4号

平成14年1月25日創刊

千歳科学技術大学報

平成14年4月25日

発行
学校法人千歳科学技術大学
学報編集班
千歳市美々758番地65
電話0123(27)6001



平成15年度入学式、はじめての父母・保護者説明会

去る4月5日(土)平成14年度の入学式を挙行し晴れて光科学部第1学年270名、大学院光科学研究科光科学専攻第1学年17名が入学し、新入学生を代表して川本裕太さん(写真左)が力強く宣誓し、本学で学ぶ決意を表明しました。

式典終了後、父母・保護者の皆さんに本学における学習指導、就職関係、学生生活の説明を実施し、開会后、三戸学部長から本学の設立経緯から本学で学ぶ光科学や大学で学ぶということが人格の形成にとって重要であることについて説明があり皆さんの衆目を集めていました。

内 容

平成14年度就職状況
本学教職員の新体制
今後の行事予定
会議の開催
報告・連絡

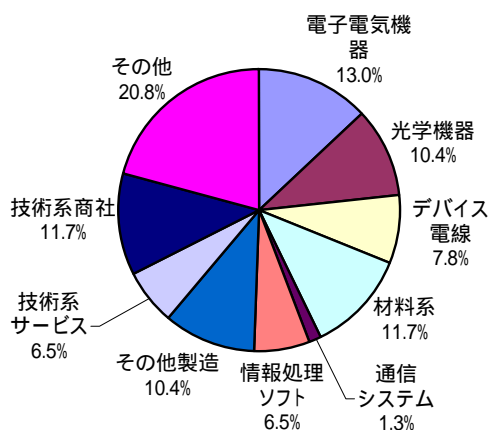
平成14年度就職状況

3月15日に挙行された平成14年度学位記授与式で学位を授与された卒業生258名は、それぞれ社会に立つこととなりました。

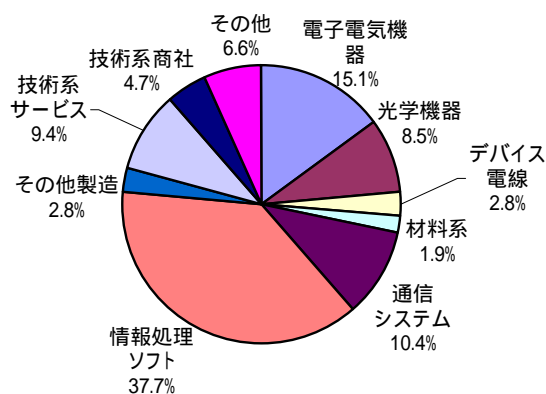
卒業生の就職状況・進学状況は次のとおりです。

	就職決定率	進学決定率
物質光科学科	92.8%	90.5%
光応用システム学科	97.2%	75.0%
学部全体	95.3%	86.2%

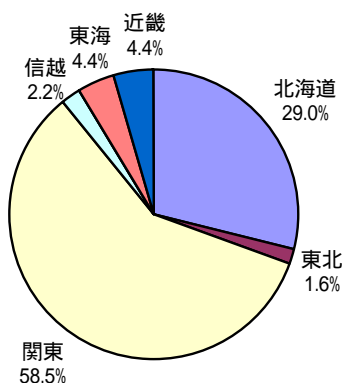
2002物質光科学科
業種別就職状況



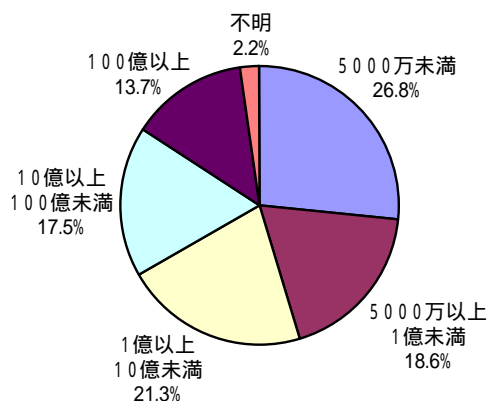
2002光応用システム学科
業種別就職状況



2002年度地域別内定状況



2002年度資本金別内定状況



2002年度内定企業(1部上場企業)*五十音順

旭電化工業株式会社	スタンレー電気株式会社	日本電波工業株式会社
株式会社アドバンテスト	住友大阪セメント株式会社	日本発条株式会社
アルプス電気株式会社	セントラル硝子株式会社	株式会社日立製作所
NEC フィールディング株式会社	ダイワボウ情報システム株式会社	株式会社日立ハイテクノロジーズ
株式会社荏原製作所	株式会社チノー	富士電機株式会社
株式会社関電工	株式会社ディスコ	株式会社パスフル
キヤノン株式会社	株式会社ニトリ	ミネベア株式会社
光洋精工株式会社	日本電気株式会社	株式会社メイテック
		株式会社メガネトップ

本学教職員の新体制

平成15年度の教員の昇任及び教育職員役職等についてお知らせします。

教育職員

昇任

氏名	現職	備考
山中 明生	教授(物質光科学科)	
川辺 豊	教授(物質光科学科)	
李 黎明	講師(物質光科学科)	

役職

氏名	役職	備考
雀部 博之	学長 兼 研究科長	
三戸 慶一	学部長	
石田 宏司	物質光科学科主任	
浜中 宏一	光応用システム学科主任	
johnathon john	基礎教育主任	
池田 弘治	学生総合センター長 兼 学生部主任	
小林 壮一	大学情報センター長	
王 建康	学生部副主任	
江口 真史	学生部副主任	
川瀬 正明	就職部主任	
宮崎 榮三	就職部副主任	4月1日
石田 宏司	就職部副主任	4月1日
吉田 淳一	就職部副主任	4月1日
小田 尚樹	就職部副主任	4月1日
児玉 邦彦	学習指導主任	
今井 敏郎	学習指導副主任	
福田 誠	学習指導副主任 兼 クラス担任(1D)	
山中 明生	学習指導副主任(大学院) 兼 クラス担任(3年)	4月1日(クラス担任)
谷尾 宣久	教室幹事(物質光科学科) 兼 クラス担任(3年)	4月1日(クラス担任)
長谷川 誠	教室幹事(光応用システム学科)	
小松川 浩	教室幹事(大学院) 兼 クラス担任(3年)	4月1日(クラス担任)
安達 千波矢	クラス担任(1A)	4月1日
Olaf Karthaus	クラス担任(1B)	
小田 尚樹	クラス担任(1C)	
小川 正浩	クラス担任(2A)	
李 黎明	クラス担任(2B)	
張 公儉	クラス担任(2C)	
高岡 詠子	クラス担任(2D)	
唐澤 直樹	クラス担任(3年)	4月1日
川辺 豊	入試事務局長	
安達 千波矢	入試事務局	
長谷川 誠	"	
小田 尚樹	"	
小松川 浩	" (大学院)	

事務職員

氏名	現職	備考
渡辺 信幸	事務局長 兼 学生総合センター就職課長	法人事務局兼務
小林 俊晴	企画総務課長	"
林 博樹	企画総務課企画総務係長	"
大和 隆之	企画総務課企画総務係	"
高田 志乃	"	"
長谷川 豊	会計課長 兼 会計係長	"
岩田 健一	会計課会計係	"
浅沼 千佳子	"	"
喜多 英司	学務課長 兼 研究係長	
細貝 貴生	学務課教務係長	
福原 啓祐	学務課教務係	
仲俣 里美	学務課教務係 兼 大学情報センター図書係	
田中 絵美	学務課教務係	
墓田 裕幸	学務課研究係	
井手 剛	入試広報課長 兼 入試広報係長	
藤木 健一郎	入試広報課入試広報係	
波多野 吾郎	"	
菊田 直哉	"	
金井 邦彦	学生総合センター学生課長	
中野 朝子	" 学生課学生係長	
小島 一則	学生総合センター就職課就職係長	
田口 大介	" 就職課就職係	
高橋 智男	大学情報センター情報管理課長 兼 情報管理係長	
伊藤 哲	" 情報管理課図書係長	
阿部 記代士	" 情報管理課情報管理係	

今後の行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (他)その他

5 月		6 月	
中旬	新入生等学生証交換(学)	4日(水)	大学運営会議(企)
7日(水)	大学運営会議(企)	6日(金)	開学記念日
14日(水)	教授会・研究科委員会(学)	11日(水)	教授会・研究科委員会(学)
22日(木)~23日(金)	私立大学協会北海道支部中堅研修会(企)	下旬	大学院博士課程設置申請書提出(文部科学省)
22日(木)	第1回定例理事会・評議員会		

会議開催

大学運営会議

3月12日(水)

- ・平成15年度大学運営会議の日程について
- ・平成15年度千歳科学技術大学役職者等について
- ・自己点検・評価報告書(案)について

4月2日(水)

- ・平成15年度入試結果
- ・平成14年度卒業生進路決定結果
- ・平成15年度入学式及び保護者説明会概要
- ・平成15年度教員役職者等名簿
- ・平成15年度春学期大学役職者等懇談会の開催
- ・平成14年度受託研究等契約と科研費等採択の結果概要
- ・公共下水道に排出する下水道の水質測定について
- ・その他(学校教育法等の一部を改正する法律骨子、国立大学法人案(仮称)の概要)

教授会

3月26日(水)

- ・自己点検・評価実施委員会報告
- ・学習指導報告等
- ・学生総合センター報告
- ・大学情報センター報告

- ・入試事務局報告

- ・その他(客員教授推薦、特別・訪問研究員の承認、15年度予算)

教授会

4月9日(水)

- ・昇格人事・理事長表彰報告
- ・学習指導報告等
- ・学生総合センター報告
- ・大学情報センター報告
- ・入試事務局報告
- ・その他(役職者の変更、事務局体制)

研究科委員会

3月26日(水)

- ・学習指導
- ・入学試験等日程、大学院生自習室について
- ・その他

4月9日(水)

- ・学習指導
- ・研究室予算配分(案)、大学院自習室について
- ・その他

報 告

平成14年度教育研究貢献賞の受賞

平成14年度の教育研究に功績のあった教員4名に対し大学運営会議において貢献賞の授与が決定しました。平成15年3月26日開催の教授会で安達助教授、谷尾講師、福田講師、小田講師に受賞の盾が雀部学長から手渡されましたので報告します。

【安達 助教授】



顕著な研究業績と卓越した学生の研究指導に対して

【谷尾 講師】



実験実習系教育の確立・充実に貢献

【福田 講師】



実験実習系教育の確立・充実に貢献

【小田 講師】



論理的実践的な情報基礎教育の確立・充実に貢献

連絡（お知らせ）

新学生証の発行について

新入生の皆さんの新学生証を5月中旬に配布する予定です。日程は掲示します。（再発行手をされている方々も同時に実施する予定です。）

新学生証の交換には、仮学生証・旧学生証・通学定期身分証明証が必要です。紛失した学生は直ちに学生課に届け出てください。



平成15年度情報通信月間表彰

6月2日(月)電波の日・情報通信月間を記念して、北海道総合通信局主催による記念式典が開催され、本学は、「情報通信月間」北海道総合通信局長表彰を受けました。受賞にあたっては、本学が高度情報社会の基盤をなす光通信技術に関する研究開発及び人材の育成に積極的に取り組み、情報通信による地域の活性化に貢献したとの評価を得ております。

内 容

本学近況	2
平成16年度入学試験情報	4
平成15年度就職情報	4
財政状況	5
会議開催・年間行事予定	6
報告	7
お知らせ	7
コラム	8

本学近況

自己点検・評価報告書作成

平成14年3月に初めて卒業生を社会へ送り出し完成年度も経たことから、平成14年度に本学の自己点検・評価を実施しました。今回の取り組みでは、法人と大学の管理運営及び教育研究活動状況についての点検・評価を行っております。

その結果は学内だけではなく学外にも広く公表することで大学構成員の自己改善を促し、不断の改革による自律的な教育研究活動の実践とその水準の向上、建学精神に基づく活力ある大学づくりを目指しております。

実施にあたっては、「自己点検・評価委員会」が作成した、実施計画及び自己点検・評価項目に基づき、専任教員の代表と事務局課長等で構成される「自己点検・評価実施委員会」が点検・評価を実施しました。実施した主な項目は次のとおりです。

- 大学・学部等の理念・目的・教育目標、 - 教育研究組織、 - 教育研究の内容・方法と条件整備、
- 学生の受け入れ、 - 教育研究のための人的体制、 - 施設・設備等、 - 図書館及び図書等の資料、学術情報、
- 学生生活の配慮、 - 管理運営、 - 財政、 - 事務組織、 - 自己点検・評価

これらの主要項目に40項目の点検・評価項目を設けて実施しました。今後、大学院の自己点検・評価の実施に際しては、今回の点検項目を大学院と置き換え、さらに学部教育と大学院教育との関連、国際化の取り組み、社会との連携など、新たな項目を加えて実施する予定です。

自己点検・評価報告書及び報告書要約版については学外に広く配付するとともに、概要版を大学ホームページに掲載しております。

大学院課程変更申請

現在、大学院光科学研究科では、平成16年4月の博士後期課程の開設に向け、課程変更の認可申請を行っております。本年6月には学長が文部科学省へ『千歳科学技術大学大学院光科学研究科課程変更認可申請書』を提出しており（写真）11月中旬には認可される予定です。

認可後の平成16年4月からは、博士前期課程（現修士課程・修業年限2年）と博士後期課程（修業年限3年・現在申請中）との区分制の大学院となります。



施設整備計画

平成15年2月20日開催の理事会において、大学院の施設も含めた本学施設の増築改修の方針が決定し、6月から設計作業に取り組んでおります。本施設は、学部教育の更なる充実と大学院の課程変更に伴う施設の拡充を目的としており、主要な施設整備として（1）実験室（2）講義室、会議室（3）教員研究室（4）自習室・交流スペース・資料閲覧室等を予定しております。この度の施設整備では、大学院課程変更に合わせて教育研究活動に資する最小限のスペースを確保しておりますが、文部科学省の21世紀COEプログラムによる国際競争力の強化を目指すためには、エクステンションセンター、レンタルラボ等の施設も必要であるため、将来的には今回整備する施設にそれらの施設の連結を想定して整備します。整備内容は、校舎増築（鉄骨造2階建 延床面積 約1,300㎡）、施設改修（研究実験棟2階部 面積 約250㎡）、その他として構内道路整備を計画しております。施設整備経費（総事業費）を約4億円とし、財源は自己資金だけではなく寄付を求める予定であります。



地域連携事業

本学は、2月に札幌稲雲高等学校との高大連携に係る覚書を交わしており、本学が取り組んでいるe-learning（インターネット等を活用した電子教材）のコンテンツ作成において、当該高校との協力関係のもと成果をあげております。また、今年度は高校のほか地域の初等中等教育機関との連携も始めており、9月の初旬には千歳中学校とSPP事業（サイエンス・パートナーシップ・プログラム）を行います。

この事業は、文部科学省が平成14年度より推進している『科学技術・理科大好きプラン』の一環であり、文部科学省の補助を得て、大学等が中学校、高等学校と連携して先進的な理科、数学教育を実施するというものです。平成15年度は、千歳中学校との教育連携講座の実施について、本事業へ応募し、採択されております。テーマは『身近にある光の科学：光の波の性質を探る』です。中学生165名を対象に、吉田淳一教授をはじめとする教員数名と学生が本学にて講義と実験を行い（実施日は9月1日からの3日間）、身近なところから理科に対する興味を引き出そうと現在具体的な内容を検討中です。なお、当日は株式会社日立ディスプレイズの長江慶治氏にもご協力を頂くこととなっております。

平成15年度 第1回 オープンキャンパス

8月2日(土)2003第1回オープンキャンパスが開催されました。当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、高校生や保護者の皆さんなど85名の参加がありました。大学紹介、個別相談会、コンピュータ実習、模擬実験、先輩との対談、学食試食会、研究室会報など様々なメニューを楽しそうに体験していました。



先輩との対談



コンピュータ実習



模擬実験「ホタルの光を作ってみよう」



研究室開放(石田研究室)

夢・化学21 千歳科学技術大学への一日体験入学

8月4日(月)本学を会場に高校生、中学生、小学生を対象に講義・実験を通じて化学に親しんでもらいました。

- ・主催 (社)日本化学会北海道支部、夢・化学-21実行委員会(千歳科学技術大学内)
- ・後援 北海道教育委員会、札幌市教育委員会、千歳市教育委員会
- ・目的 身近なことからテーマにした講義や実験から、最近の化学と工学の進歩の様子を知ってもらい、教科書だけではわからない化学の面白さと日常生活や産業における化学の重要性を感じとることを目的とします。

当日は、高校生約50名、中学生、小学生約60名の参加により本学教員も15名が参画し、講義・実験を行いました。特別講義に「新しいプラスチックエレクトロニクスの登場」「光の最先端バイオフォトニクス：光で癌を治す」のほか17の実験を各班にわかれて実施しました。



大講義室での三戸学部長の大学紹介



吉田教授と中学生による実験

「光ファイバ-に白色光を通すと出口で何色になるか？」

平成16年度入学試験情報

千歳科学技術大学

募集人員

特別推薦入試・・・・・・・・・・・・・85名
 公募推薦入試・・・・・・・・・・・・・10名
 センター試験利用入試（前期試験）・・・・・18名
 センター試験利用入試（後期試験）・・・・・6名
 一般学力試験（期試験）・・・・・・・・・・・・・80名
 一般学力試験（期試験）・・・・・・・・・・・・・16名
 AO入試・・・・・・・・・・・・・25名

受験料

推薦入試／一般学力入試／AO入試・36,000円
 センター試験利用入試・・・・・・・・・・・・・20,000円

千歳科学技術大学大学院（前期課程）

募集人員

14名
 平成15年8月9日（土）に試験実施

	特別推薦入試	公募推薦入試	センター試験利用入試 （前期試験）	センター試験利用入試 （後期試験）	一般学力入試 （期試験）	一般学力入試 （期試験）	AO入試
出願期間	11/4～11/14	11/4～11/14	1/8～2/2	2/16～3/15	1/8～1/27	2/12～2/25	11/4～11/14
試験日 （面接日）	11/23	11/23	/	/	2/3	3/3	11/22
合格発表日	12/1	12/1	2/13	3/22	2/12	3/11	12/1

平成15年度就職（内定）情報

今年度就職状況（平成15年6月30日現在）

企業の採用活動は昨今、早期化（開始時期が早い）・長期化（1社の選考にかかる期間が長い）の傾向にあり、ますます学生には厳しい就職活動が続いております。

本学では6月末現在で求人会社数が698社に達し、昨年同時期と比べて約3割増となっておりますが、就職決定率は全体で約4割、学部生が3割強、大学院生が7割強となっております。これは昨年同時期とほぼ同じ率ではありますが若干苦戦しており、採用側は年々厳選採用の傾向を強くしております。

このような状況を察知し、就職部では6月に2回の未内定者対象ガイダンス、7月には未内定者個人面談を実施し、昨年度よりも早い対応を取っております。

・主要内定先（6月末現在）

アイエックスナレッジ株式会社、アライドテレシス株式会社、アルプス電気株式会社、
 NTTデータカスタマサービス株式会社、株式会社関電工、キヤノン株式会社、シグマ光機株式会社、
 スタンレー電気株式会社、綜研化学株式会社、総合警備保障株式会社、ソニーイーエムシーエス株式会社、
 ダイワボウ情報システム株式会社、株式会社つうけん、株式会社ディスコ、株式会社ニトリ、
 日本コムシス株式会社、日本ペイント株式会社、株式会社日立製作所、
 富士通サポートアンドサービス株式会社、株式会社メイテック、矢崎総業株式会社、etc...

インターンシップの実施について（8月～9月）

平成12年から毎年行っておりました、インターンシップを今年度から単位認定することになりました。今年度は3年生を中心とする77名の学生がインターンシップに参加し、早い企業では8月4日から実習が始まります。参加学生は実社会で技術者を中心とする社会人がどのように活躍しているかを実習・体験することにより、就職意識は勿論のこと、学習に対する意欲もより高めてくれることを期待しております。

本学のインターンシップにご理解とご協力を頂きました、企業・団体の方々に深く感謝申し上げます。

財政状況

平成14年度 決算の概要

平成12年度入学者の減によって学納金収入が減少するなか、私立大学等経常費補助金交付額の増額など、収入の増加に努め、支出においては、情報機器の取替更新や大学院修士課程の運営費用に対し経費を重点配分する一方、「管理経費」の削減など支出の抑制を図り、収支の均衡に努めた結果、消費収支決算において約3千万円の消費収入超過となりました。

資金収支計算書

(単位：千円)

	予 算	決 算	差 異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,339,161	1,335,090	4,071
手数料収入	26,332	33,626	7,294
寄付金収入	12,530	13,750	1,220
補助金収入	224,990	232,673	7,683
資産運用収入	1,130	435	695
事業収入	55,096	57,736	2,640
雑収入	2,495	3,234	739
前受金収入	254,927	290,523	35,596
その他の収入	133,160	181,001	47,841
資金収入調整勘定	270,870	277,358	6,488
前年度繰越支払資金	1,209,855	1,209,855	0
収入の部合計	2,988,806	3,080,565	91,759

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

(単位：千円)

	予 算	決 算	差 異
支出の部			
人件費支出	649,775	624,535	25,240
教育研究経費支出	406,182	366,465	39,717
管理経費支出	189,914	172,908	17,006
施設関係支出	1,024	1,022	2
設備関係支出	24,794	26,012	1,218
資産運用支出	251,139	247,722	3,417
その他の支出	181,092	214,914	33,822
資金支出調整勘定	69,474	62,560	6,914
次年度繰越支払資金	1,354,360	1,489,547	135,187
支出の部合計	2,988,806	3,080,565	91,759

消費収支計算書

(単位：千円)

	予 算	決 算	差 異
帰属収入			
学生生徒等納付金	1,339,161	1,335,090	4,071
手数料	26,332	33,626	7,294
寄付金	12,530	36,906	24,376
補助金	224,990	232,673	7,683
資産運用収入	1,130	435	695
事業収入	55,096	57,736	2,640
雑収入	2,495	3,234	739
帰属収入合計	1,661,734	1,699,700	37,966
基本金組入額	25,818	38,139	12,321
消費収入の部合計(ア)	1,635,916	1,661,561	25,645

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

(単位：千円)

	予 算	決 算	差 異
消費支出			
人件費	653,899	626,928	26,971
(うち退職給与引当金繰入額)	(4,124)	(2,402)	1,722
教育研究経費	820,776	778,809	41,967
(うち減価償却費)	(414,594)	(411,627)	2,967
管理経費	219,174	201,750	17,424
(うち減価償却費)	(29,260)	(28,841)	419
資産処分差額	0	22,302	22,302
消費支出の部合計(イ)	1,693,849	1,629,789	64,060
消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	57,933	31,772	89,705
翌年度繰越消費収入超過額	412,157	501,862	89,705

資金収支計算書

～ 当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出、及び支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのもの。

消費収支計算書

～ 当該会計年度の帰属収入からの基本金の組入れ状況及びそこから導き出される消費収入に対応する消費支出との均衡状態を示し、さらに年度末の財政状態を明らかにするもの。



会議開催

大学運営会議

- 5月 7日(水)
- ・特色ある大学教育支援プログラムへの対応について
- ・入試制度の対応について
- ・学科分け検討委員会の設置について
- ・有期任用教育員等に関する要綱について
- ・大学院(修士・博士)納付金について
- 6月 4日(水)
- ・特色ある大学教育支援プログラムへの対応について
- ・将来構想への対応について
- ・産学官連携推進委員会の設置について
- 7月 2日(水)
- ・留年4年生の対応について ・学科分け検討に関わる経過について
- ・朝倉理工科大学卒業生の編入学について
- ・佐々木記念賞の授与日程について
- ・学生の懲戒処分に関する処置について
- 7月30日(水)【臨時会】
- ・特色ある大学教育支援プログラムについて
- ・学生の処分について

教授会

- 5月14日(水)
- ・学科分け検討委員会の設置
- ・学習指導 報告
- ・学生総合センター 報告
- ・大学情報センター 報告
- ・入試事務局 報告
- ・大学院設置委員会 報告(光科学研究科博士課程申請)
- 6月11日(水)
- ・特色ある大学教育支援プログラム検討委員会の設置
- ・産学官連携推進委員会の設置

- ・学習指導 報告
- ・学生総合センター 報告
- ・大学情報センター 報告
- ・入試事務局 報告
- ・その他(平成14年度会計決算、大学院授業料の改正(学則改正)、有期任用教員等に関する要綱制定、研究員等の任用)
- 7月 9日(水)
- ・学習指導 報告
- ・学生総合センター 報告
- ・大学情報センター 報告
- ・入試事務局 報告(オープンキャンパス)
- ・その他(朝倉理工科大学卒業生の編入学、春学期卒業見込、研究員等の任用、佐々木記念学術奨励賞授与候補者の推薦、施設等の一斉休業)

研究科委員会

- 5月14日(水)
- ・学習指導
- ・大学院設置委員会 報告
- ・有期任用教員等に関する要綱(案)
- ・研究援助金選考委員会
- 6月11日(水)
- ・学習指導
- ・研究中間発表日程、平成16年度学生募集要項
- ・大学院博士後期課程設置申請状況
- 7月 9日(水)
- ・学習指導(研究中間発表について)
- ・大学院入試について
- ・予算の取り扱い ・研究科長より

平成15年度 理事会・評議員会

5月19日(月) 第1回 臨時理事会

報告

第1号 評議員の欠員について

議案

第1号 評議員の選任について

5月22日(木) 第1回 評議員会及び理事会

【評議員会】

報告

第1号 評議員の欠員補充について

第2号 平成14年度業務報告について

第3号 平成14年度収支決算報告について

第4号 平成14年度千歳科学技術大学自己点検評価報告書について

議案

第1号 理事の欠員補充について

第2号 大学院博士後期課程の設置申請について

第3号 千歳科学技術大学大学院学則の一部改正について

第4号 学校法人千歳科学技術大学事務局規程の一部改正について

第5号 平成15年度第1回補正予算について

【理事会】

報告

第1号 理事の欠員補充について

第2号 平成14年度業務報告について

第3号 平成14年度収支決算報告について

第4号 平成14年度千歳科学技術大学自己点検評価報告書について

議案

第1号 大学院博士(後期)課程の設置申請について

第2号 千歳科学技術大学大学院学則の一部改正について

第3号 学校法人千歳科学技術大学事務局規程の一部改正について

第4号 平成15年度第1回補正予算について

行事予定

各担当所管は次のとおりです。

(企)企画総務課 (会)会計課 (学)学務課 (入)入試広報課 (生)学生課 (就)就職課 (情)情報管理課 (産)産学官連携推進室

夏期休業～秋学期(8月1日～3月31日)

8月1日～9月11日	夏期休業	11月27日	第4回理事会・評議員会(企)
8月2日	第1回 オープンキャンパス(入)	12月3日～5日	第4回千歳光科学国際フォーラム(予定)
8月4日	「夢・化学21」一日体験入学	12月23日～1月16日	冬期休業
9月1日～3日	サロパ-ト-アップザム(産)	平成16年	
9月5日～11日	学部 春学期再・追加試験(学)	1月17～18日	大学入試センター試験(入)
9月12日	秋学期授業開始(学)	1月19～23日	学部 秋学期概論(学)
9月19日	光の記念日	1月26～30日	学部 秋学期定期試験(学)
9月25日	第3回理事会・評議員会(企)	2月3日	一般学力試験(期)試験日(入)
10月11～12日	大学祭(生)	2月18～24日	学部 秋学期再・追加試験(学)
10月12日	第2回 オープンキャンパス(入)	2月19日	第5回理事会・評議員会(企)
10月中旬	保護者へ成績表送付(学)	2月27日～3月31日	春期休業
10月31日	秋学期学納金振替日(会)	3月3日	一般学力試験(期)試験日(入)
11月3日	授業日	3月中旬	保護者へ成績表送付(学)
11月7日	振替休日(11月3日分)	3月20日	学位記授与式(企)
11月22日・23日	AO入試・特別・公募推薦入試(入)		

報 告

役員の変更

退 任

4月26日 東川 孝氏 (理事兼評議員)
5月16日 松岡 信之氏 (専務理事兼評議員)

就 任

5月22日 山口 幸太郎氏 (理事兼評議員)
現職 千歳市長

職員人事

退職等 5月16日 金井 邦彦 学生総合センター学生課長(千歳市に復帰)
5月31日 阿部 記代士 大学情報センター 情報管理課情報管理係(退職)

発令等 6月 1日 大沼 友一郎 学生総合センター学生課長兼就職課長(千歳市から派遣)
6月 1日 産学官連携推進室 発足
産学官連携推進室長: 渡辺信幸 課長: 喜多英司 係長: 大沼友一郎 係: 墓田裕幸(全員兼務発令)

お知らせ

・平成14年度高分子科学功績賞の受賞

雀部博之教授(学長)が去る5月29日(木)名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)で開催された高分子学会第52回通常総会及び各種表彰式におきまして、平成14年度高分子科学功績賞を受賞致しました。

この賞は、高分子の基礎または応用科学の発展のため、顕著な業績を挙げた者に授与されるもので、その功績に報いるとともに、高分子科学の普及啓発とその水準の向上に寄与することを目的とされております。

【業績等】

高分子の分子・生物素子への展開研究

Studies on the Application Polymers to Molecular and Biomolecular Devices

・第2回 船井情報科学振興賞の受賞(平成15年3月)

物質光科学科の安達千波矢 助教授は、平成15年3月に第2回船井情報科学振興賞を受賞致しました。

この賞は、情報技術に関する研究について顕著な功績のあった者に褒賞し、わが国の情報技術に関する研究の向上発展に寄与することを目的とされております。安達助教授の研究は当該受賞対象分野におけるエレクトロニクス部門(電子工学、電気工学、物理工学系の研究で、具体的には通信技術、光エレクトロニクス技術、情報記憶技術等の分野及び情報技術にその応用が考えられる研究)において受賞しております。

【安達助教授の受賞業績】

高効率有機エレクトロルミネッセンス(有機EL)素子の研究開発

・応用物理学会第1回 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会論文賞受賞(平成15年6月)

また、安達助教授は、6月には応用物理学会 第1回有機分子・バイオエレクトロニクス分科会論文賞も受賞致しました。

この受賞においては、有機分子・バイオエレクトロニクス分野における顕著な功績に該当するかを慎重に審議され、当該論文が先駆的な研究成果であり、かつ現在の当該分野の発展に大いに寄与しているとの判断から受賞に至ったものです。

・映画「さよなら、クロ」上映開始!

映画「さよなら、クロ」は、長野県の松本深志高校に実在したお話を映画化したものです。監督は松岡錠司さん、出演は妻夫木 聡さん、伊藤 歩さん他。そして、主役は「クロ」。光応用システム学科の碓井広義助教授は「クロ」とともに松本深志高校で高校生活を過ごされており、この映画では碓井助教授の役を俳優の金井勇太さんが演じられています。また、碓井助教授本人もエキストラで出演しているようです。

北海道での上映は、スガイシネプレックス札幌劇場(7/19(土)~)のほか、旭川シネマアポロン(8月下旬)、函館シネマアイリス(8月中旬)、苫小牧シネマ・トラス(9月以降)の予定です。

・図書資料等の長期貸出し並びに開館時間変更について

夏期休業に伴い大学情報センターの運用が変わりますので注意願います。

- ・長期貸出し期間 ... 7/31(木)~9/12(金) 【返却期限日 ... 9/26(金)】
- ・開館時間変更 ... 8/ 1(金)~9/11(木) 9:00~17:00

・Groupmax 停止及び研究実験棟基幹ネットワークの停止について

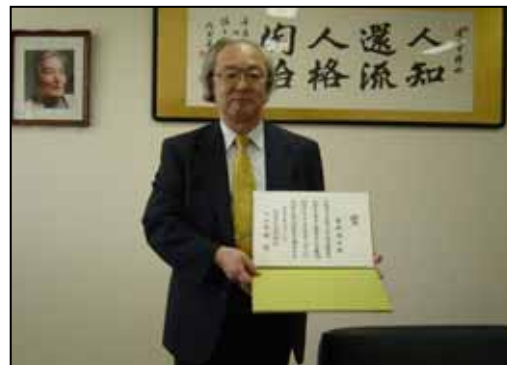
法定点検による電源設備停電のためGroupmax およびネットワークのサービスを以下の通り停止致します。

- ・Groupmax 停止日時 ... 8/22(金) 8:30~終日 (システムバックアップ作業)
8/23(土) 8:30~18:00 (電源設備停電のため)
- ・研究実験棟基幹ネットワークの更改に伴うネットワーク停止
... 8/22(金)~29(金)終日(この間通信ができませんのでご容赦願います。)

・平成15年度定期健康診断結果について

平成15年4月に実施した定期健康診断は、身体計測、視力検査、診察、尿検査(蛋白、糖、潜血)、胸部間接X線の項目を検査した結果、昨年度と比較し、有所見者が5.5%増となり、特に肥満者が昨年度は104名でしたが、今年度は118名で若干多くなっています。

また、肥満予備群を合わせると前年度172名でしたが、今年度は250名と78名も増えており、油断できない数値です。規則正しい生活と睡眠、ファーストフードやインスタント食品の利用を控え栄養バランスを考慮した食事と運動が必要です。



1. 受診状況

	平成14年度	平成15年度	平成15年度受診内訳					
			1学年	2学年	3学年	4学年	修士1年	修士2年
総学生数	933	942	272	249	223	167	17	14
受診者数	916	926	270	244	216	165	17	14
受診率(%)	98.2	98.3	99.3	98.0	97.0	98.8	100.0	100.0

2. 有所見者数

	平成14年度	平成15年度	増減
受診者数	916	926	10
有所見者数	258	312	54

・第5回稜輝祭(大学祭)開催案内稜輝祭実行委員会より

今年の稜輝祭のテーマは「意気軒昂、やる気あって元気いっぱいな様子」という意味があり、今まで以上に元気で勢いのある大学祭にしようと決定しました。パソコン講習会や理科実験フェスティバル、よさこいソーラン、学生団体の展示会、各種模擬店など楽しいことがいっぱいです。大学祭当日は、大学行きバスも用意しています。多数のご来場をお待ちしています。是非、お越し下さい。

- 開催日時 平成15年10月11日(土)～12日(日) 2日間
午前10時～午後5時まで
- 場所 千歳科学技術大学 本部棟(理科実験フェスティバルは実験棟)

コラム

このコーナーでは、本学教員からコメントをいただいております。
今回は宮本博文教授にお願いしております。テーマは「学生時代と友人」です。

6年前、北海道に来ることが決まったとき、小さな研究室であったけれど、急遽「励ます会」と称して140名ほどのOBが集まってくれました。いい機会だったので、各期ごとに壇上に集合させて、それぞれの学生時代の思い出とその後の話をしてもらいました。定年近い先輩から新入社員の後輩まで、全く環境を異にした社会生活を送っているのに、卒業後も時折会っているようで、その友情に変わりなく、懐かしく楽しみに思い出を語っている顔を見ていると、「学生時代の友人は生涯続く」ものだとしみじみ感じました。

《母校は母港》(私の親しい友人が慶応理工学部同窓会50周年記念のおり提案した標語)という言葉がまさに生きていました。

技術者(或いは研究者)になる本校の卒業生にとっても、「学生時代が船出の出発点」であり、学生時代に培われた理念・方法論の基盤は、学生時代の友人の影響であり、師の影響であると考えられます。

極端に言えば、「人生とは友人にめぐり合い、友人とふれ合う」ことにあるとも言えるのではないのでしょうか。利害関係をもたない学生時代に、良き友をつくり、豊かな人生を築いてほしいと願うことしきりです。



【プロフィール】

昭和34年 愛媛大学工学部機械工学科卒業
昭和42年 慶應義塾大学工学部機械工学科専任講師
平成11年 千歳科学技術大学光科学部 教授

学 位：工学博士
研究分野：熱流体力学、高分子加工学

編集後記

今年の夏は冷夏ですが、研究に集中するにはちょうど良い気候ではないでしょうか？

本学では、この夏期休業中に『大学院博士課程変更認可』と『特色ある大学教育支援プログラム』の審査を受けております。来年度からは国立大学法人の制度がはじまり、今後益々、大学間の競争が進むものと思われまます。本学も新たな取り組みを推進し一層の発展に努めてまいります。



大学院修士課程1期生の修士論文発表

平成10年度の学部開設から6年、修士課程の第1期生が卒業することとなります。修士課程の大学院生14名は皆、本学からの進学者で、6年間に及びこの美々の森で過ごしたこととなります。

写真は修士論文の発表風景ですが、いよいよ、本学での修学・研究成果を發揮するチャンスが訪れます。社会の一員として本学で培った建学精神をいつまでも忘れずに職業人あるいは研究者としての道を着実に歩まれることを期待しています。

内 容

特色ある大学教育支援プログラム	・・・2
産官学連携推進事業	・・・3
大学院光科学研究科	・・・4
就職情報・本学近況	・・・5
報 告	・・・6
お知らせ	・・・7
コ ラ ム	・・・8

産学官連携事業 サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)

文部科学省が平成14年度より、科学技術・理科、数学教育を充実させるため、「科学技術・理科大好きプランを推進しています。その一環として、中学校、高等学校等と、大学等との連携により先進的な科学技術・理科、数学教育等を実施するための「サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業」に応募し、採択内定を受け、千歳中学校と連携で実施しました。

本学が実施した内容

1. テーマ：「身近にある光の科学：光の波の性質を探る」
2. 概要：「光の三原色」、「液晶ディスプレイ」、「光通信」の3つのテーマの中から自らが興味のあるテーマを選択し、2日間にわたり、光の性質についての講義とテーマに沿った実験を行い、結果を発表しました。
3. 実施日：平成15年9月1日(月)から3日(水)3日間
4. 開催場所：千歳科学技術大学 講義棟 B101、実験棟学生実験室
5. 参加学校名：千歳市立千歳中学校(校長 村井 政孝)
対象学年1年生



実験の様子
と
修了式



小中学校児童生徒を対象とした取組

昨年度の北海道札幌稲雲高等学校との協定(高大連携)に引き続き、今年度は、平成15年6月に発足した産学官連携推室を中心として、市内の小中学校の児童生徒に対する取組を行いました。

- ・夢・化学21(日本化学会北海道支部主催：本学研究棟)平成15年8月4日
高校生を対象とした理科の実験実習プログラムでしたが、関係者の協力を得て、市内の小中学校の参加も呼びかけることができました。 体験入学テーマ：身近にある光の科学：光の波の性質を探る
- ・ふるさとポケット(ちとせ生涯学習街づくりフェスティバル実行委員会主催：千歳市青葉公園)平成15年9月23日
例年開催されているふるさとポケット事業に、今年も学生・教員を中心として参加し、会場に集まった方々にレーザー実験や光物質づくりを体験してもらいました。
- ・総合的な学習の時間における見学・体験学習(千歳市立緑小学校、高台小学校、千歳小学校)
小学校の児童が本学を訪れ、施設見学や実験を行い、光科学について体験しました。実験では、本学学生や研究員との和気あいあいとした雰囲気が垣間見ることができました。
- ・平成15年度サイエンス会議(千歳教育委員会・千歳科学技術大学主催：大講義室)平成16年2月21日
千歳市内の小中学校における総合的な学習の時間で取組んだ研究成果を、本学大講義室を会場に発表しました。21校の参加によるポスター発表やプレゼンテーションが児童生徒により行われ、本学からは雀部学長も参加し、地域の児童生徒の学習意欲の向上に協力しました。



大学院光科学研究科

千歳科学技術大学大学院光科学研究科課程変更認可

平成15年9月30日、河村文部科学大臣から博士課程変更（後期課程の設置）認可されました。

平成16年4月からは、博士前期課程（現修士課程・修業年限2年）と博士後期課程（修業年限3年）との区分制の大学院となります。

本学は、平成14年4月に大学院（光科学研究科光科学専攻博士前期課程）を開学し、「光科学技術に精通した高度専門職業人の育成」を推進しておりますが、今年度末には、博士前期課程の卒業生を輩出することとなることから引き続き平成16年4月に博士後期課程の開学を目指していました。博士後期課程では「国際的な競争力のある世界的レベルの研究・開発を担う人材（高度専門研究・開発者）の育成」を目指します。

千歳科学技術大学大学院の概要

名 称	千歳科学技術大学大学院（千歳市美々758番地65）	
大 学 院 の 目 的	大学建学の精神に則り、専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うとともに学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与することを目的とする	
開 設 予 定 年 月 日	平成16年4月1日	
研 究 科	光科学研究科 光科学専攻 博士課程（前期・後期）	
修 業 年 限 等	前 期 課 程	修業年限2年 入学定員12名
	後 期 課 程	修業年限3年 入学定員 3名
学 位	前 期 課 程	修士（理工学）
	後 期 課 程	博士（理工学）

大学院光科学研究科課程変更認可による博士課程の開設にあたって（学長コメント）

本学は平成10年4月の開学以来一貫して、学生教育の充実と研究環境の推進に重点をおいており、光科学技術について学ぶことができる国内唯一の大学と自負しております。

平成14年4月の大学院（光科学研究科光科学専攻博士前期課程）開学と同時に平成16年4月の博士後期課程の開設を目指し、計画を進め、本年6月末に「千歳科学技術大学大学院光科学研究科課程変更認可申請書」を文部科学大臣に提出してありましたところ、この度、9月末日をもって認可されることとなりました。今後、本学は、学部から大学院まで一貫して光科学技術の教育研究ができる環境が整い、高度化がさらに進むものと認識しております。

大学院に対する期待は、近年の学術研究の進展、急速な技術革新、社会経済の高度化・複雑化などの変化に伴い、ますます大きなものとなっており、大学院の質・量両面にわたる飛躍的な充実を図ることが重要な課題となっております。

本学大学院では、時代、地域社会の要請に応えること

のできる人材育成として、博士前期課程では「高度専門職業人（光科学技術に精通し社会において即戦力足りうる人材）」を、博士後期課程では「高度専門研究・開発者（国際的な競争力のある世界的レベルの研究・開発を担うことの可能な人材）」の養成を目指して参ります。

大学院では、博士後期課程（定員3名）と博士前期課程の学生とあわせて約30数名が在籍する予定です。本学大学院としましては、先端的・独創的な研究開発の活動を進めるとともに多様な産学官の連携強化を行い、さらなる充実を図ってまいりたいと考えております。

また、本学では教育研究の高度化・学際化に対応すべき施設・設備の整備充実が喫緊の課題となっておりますことから、博士後期課程開設を機に、大学院等施設整備（校舎増築改修）を進めているところでございます。

今後とも本学の教育研究の充実にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

千歳科学技術大学 学長 雀部 博之

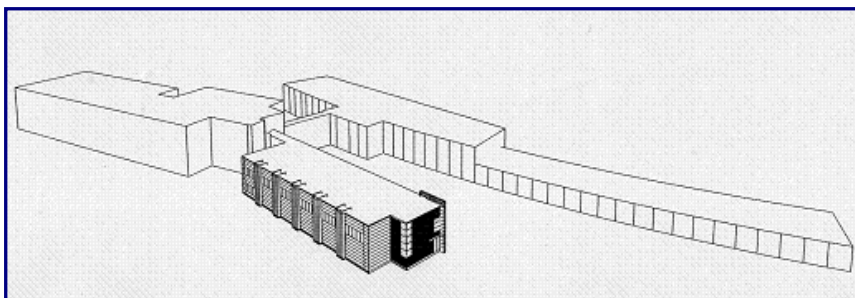
大学院等施設整備の実施

研究棟の南側に接続する大学院等施設の整備が着々と進んでいます。

平成16年の初夏には増築部分の竣工。引き続き実験棟2階部分の改修を行う予定です。

増築部分は物理系・情報系実験室や大学院自習室、教員研究室及びコラボレーションルームを整備します。また、改修部分は就職支援室をメインにグループ学習室の整備を行います。

* 増築部分イメージ図



京大就職情報

平成15年度就職状況(平成16年2月末現在)

企業の採用活動は昨今、早期化(開始時期が早い)・長期化(1社の選考にかかる期間が長い)の傾向にあり、学生には益々厳しい就職活動が続いております。

本学では現在求人会社数が767社に達し、昨年同時期と比べて約3割増となっておりますが、就職決定率は全体で9割強、学部生が9割、大学院生が全員決定となっております。これは昨年同時期とほぼ同じ率ではありますが、採用側は年々厳選採用の傾向を強くしております。

平成16年度就職情報

平成16年2月17日から2月26日の間、6日間の日程で学内企業説明会を開催いたしました。

説明会参加企業数は毎年増加しており、今年も昨年より8社増えて72社の企業に参加いただきました。

今年度は体育館でも説明会を行いました。右の写真はその様子で、各企業のブースへ積極的に足を運ぶ学生の姿が見られました。



本学近況

秋学期以降の近況について

・第5回 佐々木記念賞授与式の開催

第5回 佐々木記念賞授与式を開催しました。

式典：平成15年10月6日(月)

本部棟101大講義室

今年度は、5名1団体への授与となり雀部学長から表彰状と記念品目録が手渡されました。各受賞者は次のとおりです。

奨励賞(学業成績優秀者(学部生)の表彰)

物質光科学科 第3学年 中野谷 一 君

光応用システム学科 第3学年 横井 伸浩 君

貢献賞(クラブ活動や正課外活動による功績に対する表彰)

光応用システム学科 第4学年 本多 順一 君

学生会執行委員会

学術賞(大学院における学術・研究に関する成績又は業績の表彰)

光科学研究科光科学専攻 修士2年 合志 憲一 君

修士2年 堀内 大嗣 君



中野谷君、横井君、学長、本多君、
学生会代表本田君、堀内君
(左から順)



合志君は、学会出席のため学長室で受賞

・稜輝祭(学園祭)の開催

開催日：平成15年10月11日(土)～12日(日) 2日間

第5回 稜輝祭実行委員会の主催で開催されました。

今年のテーマは、「意気軒昂」で、今まで以上に大学祭を盛り上げようと、実行委員会をはじめ、参加者の皆さんが寸暇を惜しんで活躍している姿がありました。

天候にも恵まれ、多数の参加者がありました。



・第4回千歳光科学国際フォーラム開催

千歳光科学国際フォーラムにノーベル賞受賞者のハインリッヒ・ローラー氏ほか海外からの講演者を招き開催しました。



開催日：平成15年12月3日(水)～4日(木) 2日間

会場：千歳科学技術大学(国際会議・ポスターセッション)

概要：光科学国際フォーラムは第4回の開催を迎え、今回は、ナノテクノロジーと有機半導体の二つの重要なテーマに焦点を当て、現在、千歳科学技術大学と北海道大学で研究を始めている両テーマの研究発表を中心に実施しました。このテーマは新しい科学と産業技術をつくるものと期待されています。

・平成15年度 教育研究貢献賞

平成15年度において教育研究の充実に活躍した教員に学長から教育研究貢献賞が授与されました。

平成16年3月10日(水)開催の教授会において、各学科主任から推薦のあった
物質光科学科 Olaf Karthaus 助教授
光応用システム学科 高岡 詠子講師
両名に記念の盾が授与されました。



報 告

理事・監事・評議員の改選

平成15年11月27日(木)に開催されました第4回理事会・評議員会において本学の理事、監事及び評議員の改選があり、花村 榮一氏、國枝 良吉氏の退任と新たに岡 眞則氏、熊谷 直孝氏、富永 基氏、松田 信行氏が加わり次のとおり平成15年12月25日から就任いただいております。

敬称略

職名	氏名	勤務先	現職	備考
理事長	辻岡 昭	(学)千歳科学技術大学	理事長	
理事	雀部 博之	千歳科学技術大学	学長	評議員兼務
	三戸 慶一	千歳科学技術大学	学部長	評議員兼務
	小谷津 孝明	日本橋学館大学	学長	評議員兼務
	伊澤 達夫	NTTエレクトロニクス(株)	代表取締役社長	
	岡 眞則	北海道空港(株)	取締役社長	
	佐室 有志	(株)日立製作所	特命顧問(元副社長)	
	永利 久志	東京急行電鉄(株)	顧問(元副社長)	
	山口 幸太郎	千歳市	市長	
監事	木村 良臣	(財)北海道科学技術総合振興センター	地域コーディネーター	
	檜森 聖一	(株)北洋銀行	常務取締役公金・情報部長	
評議員	石田 宏司	千歳科学技術大学	物質光科学科主任	
	浜中 宏一	千歳科学技術大学	光応用システム学科主任	
	我孫子 健一	(社)北海道観光連盟	会長	
	熊谷 直孝	北海道電力(株)	常務取締役札幌支店長	
	佐々木 勝利	千歳商工会議所	専務理事	
	佐々木 正丞	北海道ガス(株)	代表取締役会長	
	正木 宏生	(株)ダイナックス	取締役社長	
	大川 實	(株)日立ビルシステム	顧問	
	柴田 稔久	日本IBM(株)	常務執行役員 CSR 担当	
	高梨 裕文	(株)富士通研究所	常任顧問	
	富永 基	(株)じょうてつ	代表取締役会長	
	灘本 正博	(財)光産業技術振興協会	専務理事	
	廣重 力	北海道医療大学	学長	
	八木 眞介	(株)日立国際電気	八木記念情報通信システム研究所技師長	
	松田 信行	東日本電信電話(株)	理事北海道支店長	
	山口 義人	三菱電機(株)	評議員(元副社長)	

職員の異動

退職等 11月30日 渡辺 信幸 事務局長(千歳市に復帰)
発令等 12月 1日 宮澤 和典 事務局長(千歳市から派遣)

平成16年度予算の概要

平成16年2月19日に開催された平成15年度第5回理事会において、平成16年度予算が決定しました。
本予算は、平成15年度からの継続事業である「大学院等施設整備費」などに予算を重点配分する一方、一般経費については、予算要求内容を精査し、義務的経費を除き前年度予算額の範囲内とするなど、合理的かつ効率的な予算配分を行い、教育研究体制の整備充実とともに財政の健全性維持に努めることを主眼に編成しております。

【平成16年度予算に計上した主な事業費等】

1. 大学院等施設整備費
2. e-learning を利用した教育方法の改善経費
3. 教育研究用機器等の取替更新経費

資金収支予算

(単位：千円)

	平成15年度予算	平成16年度予算	
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,304,784	1,425,191
	手数料収入	22,154	22,314
	寄付金収入	0	40,000
	補助金収入	223,465	201,347
	資産運用収入	771	881
	事業収入	12,905	60,673
	雑収入	2,538	1,710
	前受金収入	240,219	237,504
	その他の収入	325,848	421,319
	資金収入調整勘定	251,927	242,829
	前年度繰越支払資金	1,354,360	1,579,996
	収入の部合計	3,235,117	3,748,106

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位：千円)

	平成15年度予算	平成16年度予算	
支出の部	人件費支出	650,133	625,496
	教育研究経費支出	337,981	419,045
	管理経費支出	175,441	188,818
	施設関係支出	12,670	231,772
	設備関係支出	25,764	114,440
	資産運用支出	461,620	588,069
	その他の支出	167,083	223,213
	資金支出調整勘定	75,753	72,493
	次年度繰越支払資金	1,480,178	1,429,746
	支出の部合計	3,235,117	3,748,106

消費収支予算

(単位：千円)

	平成15年度予算	平成16年度予算	
帰属収入	学生生徒等納付金	1,304,784	1,425,191
	手数料	22,154	22,314
	寄付金	0	40,000
	補助金	223,465	201,347
	資産運用収入	771	881
	事業収入	12,905	60,673
	雑収入	2,538	1,710
	帰属収入合計	1,566,617	1,752,116
	基本金組入額	62,148	306,212
	消費収入の部合計(ア)	1,504,469	1,445,904

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単位：千円)

	平成15年度予算	平成16年度予算	
消費支出	人件費	662,592	633,642
	(うち退職給与引当金繰入額)	(13,305)	(9,308)
	教育研究経費	756,052	750,358
	(うち減価償却額)	(418,071)	(331,313)
	管理経費	203,825	211,179
	(うち減価償却額)	(28,384)	(22,361)
消費支出の部合計(イ)	1,622,469	1,595,179	
消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	118,000	149,275	
翌年度繰越消費収入超過額	294,157	233,243	

資金収支 ~ 当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出及び支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのもの。

消費収支 ~ 当該会計年度の帰属収入からの基本金の組入れ状況及びそれから導き出される消費収入に対応する消費支出との均衡状態を示し、さらに年度末の財政状態を明らかにするもの。

お知らせ

・平成15年度学生団体(部・サークル)活動実績

【弓道部】

- 北海道学生弓道選手権大会(6月)
- 個人戦第3位(伊藤大志 1年)
- 第49回北海道学生弓道女子争覇戦(10月)
- 4部団体優勝3部昇格
- 第49回北海道学生弓道争覇戦(10月)

4部団体優勝3部昇格

- 個人優勝及び射道優勝賞(伊藤大志 1年)
- 大学新人戦(11月)
- 男子団体戦第3位、個人戦第4位(伊藤大志 1年)

【サッカー部】

千歳地区秋季選手権サッカー大会優勝

【硬式テニス部】

千歳地区硬式テニス春季大会シングルス優勝(秋穂満 3年)

【ソーラーカー部】

ソーラーチャレンジ北海道2003「訓子府町賞」受賞(9月)

【文芸部(華道の部)】

千歳神社秋季例祭「献花」(9月)

支援団体

・千歳科学技術大学同窓会だより

千歳科学技術大学同窓会は、発足3年目を迎え、会員総数573名と発展しつつあります。平成15年度第3期卒業生を新入会員として迎えることは、会員一同至上の喜びであり社会人として第一歩を踏み出す後輩の皆さんを暖かく見守り、また支援して参ります。

会員の皆様には、例年、同窓会報「美々の森」をお送りし大学の近況などをご連絡申し上げております。また、定期総会を開催して同窓会の活動報告、事業計画などを審議し、より良い同窓会のあり方について皆様のご意見を反映しつつ千歳科学技術大学の大いなる発展、会員相互の親睦を図るよう努めて

【キラキラサークル】

社団法人「小さな親切」運動部から「小さな親切行章」受賞(10月)

【ボランティアサークル】

千歳市社会福祉協議会創立50周年記念特別表彰「奨励賞」受賞(2月)

支笏湖まつり実行委員会「感謝状」受賞(2月)



おります。

会員の皆様には、どうか同窓会活動にご理解をいただき、今後ともご協力をお願い申し上げます。

なお、同窓会費の納入についてもご賛同いただきますようお願い申し上げます。

新たに入会される方々は、入会金2,000円、終身会費10,000円となっております。詳しいことは、学位記授与式終了後、本部棟アトリウムにて受付しておりますので、お問い合わせ頂きご入会をお願い申し上げます。

本学同窓会についてのご質問、ご要望については同窓会事務局にご気軽にお問い合わせください。

E-Mail: d_taguch@mail.chitose.ac.jp (担当 田口)

コラム

このコーナーでは、本学教員からコメントをいただいております。

今回は宮崎榮三教授にお願いしております。

テーマは「自らの変化をとらえて、実行しよう -ヘーゲル弁証法の今日性-」です。

最近の社会の変化は非常に速いように見える。身近な例では携帯電話がある。お陰で、道に迷っても、山で遭難しても無事助かるケースが多くなった。これには材料科学や情報・光技術の発達がその基盤にある。このような速い変化の中で生きていく術は、過去の、変化が緩慢だった時代と違った対応が迫られる。例えば、これまでの新入社員は、自分で判断し、自ら決断し一つの方向を決めることは少なく、多くは、上司が決めたり、勧めたりして、それに従ってきた。言い換えれば、決定のほとんどを他人に委ねてきたのである。そしてその方向にそれ程重大なミスがなかった場合には、その時代の変化の速度が緩慢で、たとえその決断が誤った場合でも後日それを補正・訂正する余裕があったこと、または上司の判断が時代の動きにほぼ伴走できていた、などのためだと思う。

今後は、この速い変化を自分で正しく捉えて将来を予測し、その結果として、進むべき方向を自ら決断し、実行することが必要となるだろう。これは自らの責任を伴うという点で容易ではない。これを可能にするためには相当の知的努力と忍耐が必要である。大学での専門教育の重要性もここにある。そもそも、変化とは何だろうか。デジタルカメラによってフィルムカメラが消滅しつつあり、携帯電話の普及が固定電話や公衆電話を駆逐しつつある。今や身近に、似た例をいくつもみることができる。つまり、変化とは、新しいものが生成され、そのことが別の古いものを消滅させる、ことである。

このような変化はヘーゲル弁証法の「生成と消滅の原理」を想起させる。すなわち、最近の急速な変化の動きは、ヘーゲル弁証法がかつてないほど身近なところまでやってきていて、われわれにその有効性の検証を迫ってきているように思われる。



【プロフィール】

昭和35年 早稲田大学理工学部応用化学科卒業

昭和41年 新潟大学工学部化学工学科講師

昭和62年 東京工業大学理学部化学科教授

平成11年 千歳科学技術大学光科学部教授

学 位：理学博士

研究分野：光電子分光、表面薄膜科学、発光ダイオード、新蛍光物質



(記念式典の理事長式辞と大学院棟全景)



大学院棟の竣工

昨年秋に着工しました大学院棟がいよいよ竣工しました。

平成 16 年度から開設した博士課程とあわせて大学院光科学研究科の教育研究の充実を図るための整備を行っています。1 階には、実験室、メディアラボを中心として整備し教育研究支援の施設として位置付けています。2 階には、大学院自習室、コラボレートルームの整備を行っています。自習室は、大学院生の収容定員の増加を考慮して整備し、コラボレートルームは、中講義室と同等規模の整備を行い、研究発表や講演会、企業等との連携スペースとして活用することとしています。

また、大学院棟の竣工と同時に、実験棟 2 階を就職関連の支援スペースとして改良を行いました。就職課事務室、就職資料閲覧室、談話スペースの整備を行っております。

内 容

本 学 近 況	2
平成 17 年度入学試験情報	3
平成 16 年度就職情報	3
財 政 状 況	4
報 告	5
お 知 ら せ	6

本学近況

平成16年度入学式

4月10日(土)平成16年度の入学式を挙りました。

光科学部、大学院光科学研究科光科学専攻博士前期課程及び博士後期課程の学生総勢238名が晴れて入学し、式典終了後には父母・保護者の皆さんに大学の概要について説明を行いました。



平成16年度道内国公立大学長懇談会

6月25日(金)に本学を会場に第12回目の道内国公立大学長懇談会が開催されました。

道内各地から25名の学長(代理者含む)にお集まりいただき、「大学の地域貢献の取り組みについて」をテーマに室蘭工業大学の田頭博昭学長の事例発表を皮切りに活発な意見交換が行われました。

サイエンス・パートナーシップ・プログラム

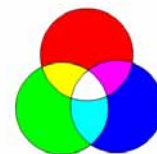
7月20日(火)~23日(金)の4日間にわたり、『サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業』を実施しました。本事業は文部科学省が推進している「科学技術・理科大好きプラン」の一環として、中学校や高等学校等と大学や民間企業等が連携して先進的な科学技術・理科、数学教育を実施するものです。本学では平成15年度から実施しています。

今年度は千歳市内の中学校1年生136名が班ごとに興味のあるテーマを選択し、本学教員と学生の指導のもと、講義の受講、実験、結果のまとめ、発表という一連の作業に対し、熱心に取り組んでいました。

【今年度のテーマ】

「虹を作って光の三原色を探ろう」

私たちの身の周りには、赤や緑のような色の着いた光があり、実は、赤、緑、青の三色の光を組み合わせると、様々な色の光を作り出すことができます。今回は、懐中電灯の光を分解して、光の色の違いが何によって起きているのかを確かめ、異なる色の光を重ねあわせる実験を通して、人間の目が色を感じる仕組みを学びました。



「望遠鏡はなぜ遠くが見えるのか？」

望遠鏡や顕微鏡は光の屈折を利用したレンズの働きをうまく使って遠くにあるものを近くに引き寄せてみたり、肉眼では見えない小さなものを拡大してみることが出来ます。今回はレンズの働きを学び、2枚の凸レンズを使って望遠鏡を作りました。



「メールを光で送る」

光ファイバ通信は今日の情報伝達手段として大変重要なものとなっています。今回は、光ファイバ通信に不可欠な3要素(光源、光ファイバ、受光素子)の働きを理解し、光送受信機を自作して、光でどうやって通信するのか、光をうまく伝えるには何が必要かを1つずつ確認しながら最先端の光ファイバ通信の仕組みに迫りました。



大学Jr.サイエンス事業(大学等開放推進事業)

8月21日(土)、28日(土)、9月4日(土)の3日間で『大学Jr.サイエンス事業』を実施しました。本事業は子どもたちの科学技術・ものづくり等への興味・関心を育み、動機付けとなるような体験講座として、文部科学省が広く募集していたもので、多数の応募(610件)の中から本学の「光のふしぎにふれてみよう」が採択されました。

今回は本学の教員と学生が高校生を指導し、その後、高校生が小学生を指導するという2段階の取組みとなっており、これにより、高校生と小学生がお互いに科学技術やものづくりに対する好奇心や知識を深めることを目的としました。

テーマは「光と色のふしぎ」、「光で音をとばしてみよう」、「液晶で光のスイッチをつくる」とし、高校生58名、小学生55名が、普段とは違う環境でそれぞれのテーマに取り組んでいました。特に高校生は、いつもの教わる側から教える側に立つということで、科学的な知識以外にもいろいろな発見があったようです。



平成 1 7 年度入学試験情報

入学定員、募集区分、募集人員

【学部入試】

学部	入学定員	募集区分	募集人員	
光科学部	240	特別推薦入試	90	
		公募推薦入試	10	
		A O 入試	35	
		センター試験 利用入試	前期試験	18
			後期試験	6
		一般学力入試	期試験	70
期試験	11			

【大学院入試】

研究科	入学定員	募集区分	募集人員
光科学研究科	15	博士前期課程	12
		博士後期課程	3

「物質光科学科」および「光応用システム学科」への移行は、第2学年進級時に行います。

入試日程等

【学部入試】

募集区分		出願期間	試験日	合格発表日
特別推薦入試		平成16年11月1日(月) ~平成16年11月15日(月)	平成16年11月21日(日)	平成16年12月1日(水)
公募推薦入試		平成16年11月1日(月) ~平成16年11月15日(月)	平成16年11月21日(日)	平成16年12月1日(水)
A O 入試		平成16年11月1日(月) ~平成16年11月15日(月)	平成16年11月20日(土)	平成16年12月1日(水)
センター試験 利用入試	前期試験	平成17年1月11日(火) ~平成17年2月1日(火)	/	平成17年2月14日(月)
	後期試験	平成17年2月14日(月) ~平成17年3月16日(水)		平成17年3月23日(水)
一般学力入試	期試験	平成17年1月11日(火) ~平成17年1月28日(金)	平成17年2月3日(木)	平成17年2月14日(月)
	期試験	平成17年2月14日(月) ~平成17年2月25日(金)	平成17年3月3日(木)	平成17年3月10日(木)

【大学院入試】

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日
博士前期課程	平成16年7月20日(火) ~平成16年7月30日(金)	平成16年8月5日(木)	平成16年8月20日(金)
博士後期課程	平成16年10月25日(月) ~平成16年11月2日(火)	平成16年11月9日(火)	平成16年11月18日(木)

平成 1 6 年度就職（内定）情報

今年度就職状況（平成16年9月 現在）

今年度の採用活動の特徴としては企業の採用試験が4月に集中しましたが、1回で良い学生を確保できない企業も多く、大手企業でも6月・7月まで採用活動を行うケースがあり、本学学生の内定取得時期も6月後半から7月にかけてピークとなりました。

全国的に見ると景気が回復していると言われていたものの、積極的に求人を行うのは東京や名古屋など本州企業がほとんどであり、地方(特に北海道)の学生には依然として厳しい就職活動が続いております。

本学では9月中旬現在で求人会社数が1,065社に達し、昨年同時期と比べて4割強増加しておりますが、就職決定率は全体で約6割、学部生が6割弱、大学院生が5割強という状況で、例年に比べ厳しい状況となっております。

また、今年度北海道の学生の特徴として受験企業数が少ないという点が挙げられており、このため北海道の学生の就職決定率は本州と比べ非常に低くなっており、本学学生も例外ではありません。

このような流れを受け就職部では、6月と9月に未内定者対象ガイダンスを実施し、採用継続企業や学内での説明会および採用試験実施予定企業の情報を配付し、活動を促しております。

・主要内定先（9月中旬現在）

旭電化工業(株)、(株)アドバンテスト、アライドテレシス(株)、アルプス電気(株)、(株)関電工、キヤノン(株)、サイバネットシステム(株)、三洋電機(株)、住友化学工業(株)、セイコーエプソン(株)、ダイワボウ、情報システム(株)、(株)つうけん、東京特殊電線(株)、トヨクニ電線(株)、日商エレクトロニクス(株)、(株)ニトリ、日本コムシス(株)、日本通運(株)、(株)日立国際電気、(株)日立製作所、富士通サポートアンドサービス(株)、HOYA(株)、ミネベア(株)

財政状況

平成15年度 決算の概要

平成15年度においては、学納金収入等の帰属収入が減少する中、カリキュラム改革や授業方法の改善経費、大学院等施設整備費など、教育研究の充実を図るため多額の資金が必要であることから、入学者の確保、国の経常費補助金の増額などに努める一方、経費の節減など支出の抑制を図った結果、「消費収支計算書」当年度収支は約2百万円の収入超過(企業会計でいう「黒字」)となりました。

このように、平成15年度決算は収支の均衡がとれたものとなりましたが、国立大学の法人化、事後チェックの強化と評価システムの徹底など、新しい教育システムの構築が着々と進められつつある競争的環境の下、本学においても、教育改革や研究の高度化に取り組んでいく必要があり、これらを実施、継続していくためには、社会経済的变化に柔軟に対応できる財政的基盤の確立が重要であることから、今後も収支構造の見直しや業務の効率的な執行を図り、「財政の健全性」維持に努めていくこととしております。

資金収支計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日

(単位:千円)

	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,361,885	1,353,531	8,354
手数料収入	24,779	27,890	3,111
寄付金収入	8,482	9,804	1,322
補助金収入	223,477	248,470	24,993
資産運用収入	771	1,078	307
資産売却収入	1,498	1,498	0
事業収入	73,005	74,554	1,549
雑収入	3,793	6,889	3,096
前受金収入	242,829	231,083	11,746
その他の収入	345,986	380,824	34,838
資金収入調整勘定	290,523	311,762	21,239
前年度繰越支払資金	1,489,547	1,489,547	0
収入の部合計	3,485,529	3,513,406	27,877

(単位:千円)

	予算	決算	差異
支出の部			
人件費支出	666,852	628,373	38,479
教育研究経費支出	383,426	349,505	33,921
管理経費支出	178,265	167,698	10,567
施設関係支出	82,968	81,692	1,276
設備関係支出	25,764	20,875	4,889
資産運用支出	461,620	466,175	4,555
その他の支出	179,143	214,696	35,553
資金支出調整勘定	72,505	73,777	1,272
次年度繰越支払資金	1,579,996	1,658,169	78,173
支出の部合計	3,485,529	3,513,406	27,877

消費収支計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日

(単位:千円)

	予算	決算	差異
帰属収入			
学生生徒等納付金	1,361,885	1,353,531	8,354
手数料	24,779	27,890	3,111
寄付金	8,482	69,478	60,996
補助金	223,477	248,470	24,993
資産運用収入	771	1,078	307
資産売却差額	1,178	1,178	0
事業収入	73,005	74,554	1,549
雑収入	3,793	6,889	3,096
帰属収入合計	1,697,370	1,783,068	85,698
基本金組入額	129,257	171,683	42,426
消費収入の部合計(ア)	1,568,113	1,611,385	43,272

(単位:千円)

	予算	決算	差異
消費支出			
人件費	679,311	645,726	33,585
(うち退職給与引当金繰入額)	(13,305)	(19,388)	6,083
教育研究経費	801,497	765,334	36,163
(うち減価償却費)	(418,071)	(415,440)	2,631
管理経費	206,649	195,717	10,932
(うち減価償却費)	(28,384)	(28,018)	366
徴収不能額	0	2,535	2,535
消費支出の部合計(イ)	1,687,457	1,609,312	78,145
当年度消費収支差額(ア-イ)	119,344	2,073	121,417
前年度繰越消費収入超過額	501,861	501,861	0
翌年度繰越消費収入超過額	382,517	503,934	121,417

貸借対照表

平成16年3月31日

(単位:千円)

資産の部	本年度末	前年度末	差異
有形固定資産	8,211,246	8,493,173	281,927
その他の固定資産	1,628,475	1,389,393	239,082
流動資産	1,702,104	1,520,029	182,075
資産の部合計	11,541,825	11,402,595	139,230

(単位:千円)

負債の部	本年度末	前年度末	差異
固定負債	47,628	30,276	17,352
流動負債	290,059	341,938	51,879
負債の部合計	337,687	372,214	34,527
基本金の部			
基本金	10,700,204	10,528,520	171,684
基本金の部合計	10,700,204	10,528,520	171,684
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	503,934	501,861	2,073
消費収支差額の部合計	503,934	501,861	2,073
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	11,541,825	11,402,595	139,230

- ・有形固定資産 - 土地、建物。教育研究用機器備品、図書など
- ・その他の固定資産 - 各種引当特定資産など
- ・流動資産 - 現金預金、未収入金など
- ・固定負債 - 退職給与引当金など
- ・流動負債 - 前受金、未払金など
- ・基本金 - 必要な資産を継続的に保持するため帰属収入から組入れた金額

報 告

役員の変更

就 任

4月 1日 鈴木 修氏(専務理事・評議員) 本学役員
加藤 洌氏(評議員) 本学教授

退任及び就任

6月30日 松田 信行氏(評議員) 前NTT東日本北海道支社長の退任に伴い評議員を退任
7月22日 牧野 哲也氏(評議員) NTT東日本北海道支社長が就任

教員人事

昇 任

4月 1日
安達 千波矢 教授(物質光科学科)
谷尾 宣久 助教授(物質光科学科)
福田 誠 助教授(光応用システム学科)

採 用

4月 1日
寺本 敬 講師(物質光科学科)
林 康弘 助手(光応用システム学科)

教員役職

学 長 雀部 博之
学部長 三戸 慶一
研究科長 加藤 洌
学科主任 石田 宏司(物質光科学科)
浜中 宏一(光応用システム学科)

基礎教育主任 johnathon john
学生総合センター長 川瀬 正明
大学情報センター長 小林 壮一

学生部

山中 明生(主任)
Olaf Karthaus(副主任)
碓井 広義(副主任)

就職部

川瀬 正明(主任)
唐澤 直樹(副主任)
小松川 浩(副主任)
角田 敦(副主任)
谷尾 宣久(副主任)

学習指導

児玉 邦彦(主任)
今井 敏郎(副主任)
福田 誠(副主任)
山中 明生(副主任(大学院))

教室幹事

谷尾 宣久
小田 尚樹
小松川 浩(大学院)

クラス担任

Olaf Karthaus(1A)
寺本 敬(1B)
高岡 詠子(1C)
福田 誠(1D)
Randy L.Evans(2A)
李 黎明(2B)
張 公儉(2C)
長谷川 誠(2D)
安達 千波矢(3年)
今井 敏郎(3年)
碓井 広義(3年)
江口 真史(3年)

入試部

川辺 豊(主任)
安達 千波矢(副主任)
長谷川 誠(副主任)
小田 尚樹(副主任)
小松川 浩(副主任(大学院))

職員人事

退職等

4月1日(千歳市に復帰)
小林 俊晴 企画総務課長
細貝 貴生 学務課教務係長
中野 朝子 学生課学生係長
大和 隆之 企画総務課企画総務係

発 令

4月 1日
桑島 洋志 企画総務課長(千歳市から派遣)
大沼友一郎 学生課学生係長兼務
福原 啓祐 学務課教務係長心得
墓田 裕幸 学生課学生係
庄司 明弘 企画総務課企画総務係(新規採用)
近藤 聖子 学務課教務係(新規採用)
松本あや子 研究係兼産学官連携推進係(新規採用)

お知らせ

・本学は、9月13日から館内全面禁煙となりました。

受動喫煙防止対策について本学施設は次の扱いとしております。

「健康増進法」の施行により、学校等多数の人が利用する施設においては、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずることとされ、本学においても「千歳科学技術大学における受動喫煙防止対策に関する指針」を定め、教育機関として、受動喫煙防止対策を講ずることとし、この必要な措置として次のことを実施することとしましたので、ご協力をお願いいたします。

記

1. 本部棟、研究棟・実験棟等の館内の灰皿を全て撤去します。
2. 本部棟、研究棟・実験棟・大学院棟等の館内では、学生、教職員、外来者を問わず喫煙を禁止します。
3. クラブ室等サークル活動で使用している部屋の喫煙も禁止します。
4. 館外に設置する喫煙室、喫煙コーナー及び研究棟の一部における喫煙のみ認める。
(喫煙室は、8:00~21:00の間使用可能)
5. 禁煙のための啓蒙・啓発活動を実施します。

<平成16年7月16日 千歳科学技術大学長>

・学生団体活動結果

(1) 第51回(平成16年度)北海道地区大学体育大会 結果報告

第51回(平成16年度)北海道地区大学体育大会が平成16年7月1日~12日に行なわれ、本学から7団体が出場しました。

・男子バスケットボール部 第3位

1回戦 本学 81 - 44 教育大学釧路校 勝利、2回戦 本学 95 - 68 釧路公立大学 勝利
3回戦 本学 73 - 65 北星学園大学 勝利、準決勝 本学 49 - 121 教育大学岩見沢校 敗退

・硬式野球部: 2回戦 本学 0 - 12 文教大学 敗退

・男子バレーボール部: 予選リーグ突破(1勝1敗)、決勝トーナメント1回戦 本学 0 - 2 教育大学釧路校 敗退

・男子サッカー部: 1回戦 本学 2 - 2(PK3 - 2) 北海道東海大学 札幌校舎 勝利

2回戦 本学 1 - 2 専修大学北海道短期大学 敗退

・男子バドミントン部: 1回戦 本学 1 - 4 教育大学札幌校 敗退

・弓道部 男子: 60射27中 入賞ならず
女子: 36射2中 入賞ならず



(2) 第6回稜輝祭(大学祭)

稜輝祭実行委員会主催の第6回稜輝祭が9月18日(土)・19日(日)の2日間にわたって開催され、無事終了しました。今年は「新装開店」というテーマのもとに多くの方々に来学いただき、各イベント・企画で盛り上がりました。

<テーマ「新装開店」の趣旨>

本学は本年、大学院博士後期課程が開設されたことから、学部、前期課程(修士課程)と合わせて理工系の大学として名実とともに形が整い、新たな一歩を踏み出しました。稜輝祭もこれまでの大学祭の内容をさらに充実させ、心機一転新たにスタートするために本年のテーマを「新装開店」としました。

<主なイベント・企画内容>

- ・お笑い芸人「笑い飯」ライブ
 - ・YOSAKOI ソーラン
 - ・理科実験フェスティバル
 - ・ソーラーカー試乗会
 - ・文芸部展示発表会(お茶会・書道・華道)
 - ・お子様展覧会
 - ・フリーマーケット
- 他



編集後記

今回は平成16年度の4月から9月までの取組状況をまとめました。今年度、本学では4月に大学院光科学研究科博士後期課程を開設し、大学院の充実を図っております。また、以前から行っている小中学校、高等学校と連携した教育活動も進めており、今後も研究活動だけでなく、教育にも学内外問わず力を入れていきます。



学内企業説明会のようす

学内企業説明会

平成17年2月14日(月)～2月25日(金)まで90社の企業の方にご参加いただき、学内企業説明会を実施しました。2週間にわたる説明会でしたが、連日多数のリクルートスーツ姿の学生達が、真剣に企業の採用担当者やOBの話に聞き入っていました。

内 容

就職支援の取組	2
現代的教育ニーズ取組支援プログラム	3
平成17年度予算の概要	4
学生団体活動報告	5
近況報告とお知らせ	5
コラム	6

就職支援の取組

3・4月のスケジュール

・新4年生と新博士前期課程2年生

学内において、3月に就職希望者全員に対して就職及び希望企業等についての個人面談を必ず1回以上行い学校推薦を決定しています。また、学校推薦については第1回の決定以降も随時選考・決定を行っております。就職活動前半のピークは3～6月となっておりますので、乗り遅れずに活動するよう指導しております。

・新3年生と新博士前期課程1年生

就職指導のスタートとしてインターンシップ(企業実習)を夏休みに行うため、その準備が始まります。企業で技術者(社会人)がどのように業務に取り組んでいるのか実体験をすることはとても有意義であり職業選択の目を養うことにもつながることから、インターンシップにも力を入れております。

・新1、2年生

4月はオリエンテーションを実施しております。

5月以降は将来の進路決定に向けて、「今、何をしておくべきか」「いかにして有意義な大学生生活を送るか」ということを意識してもらうためガイダンスや講義を行う予定です。

平成16年度実績(平成17年3月1日現在)

3月1日現在、就職率は90%を超えております。まだ、積極的に活動している学生や内定を獲得しましたが決定していない学生もおりますので最終的には例年と同程度の就職率になると予想しております。

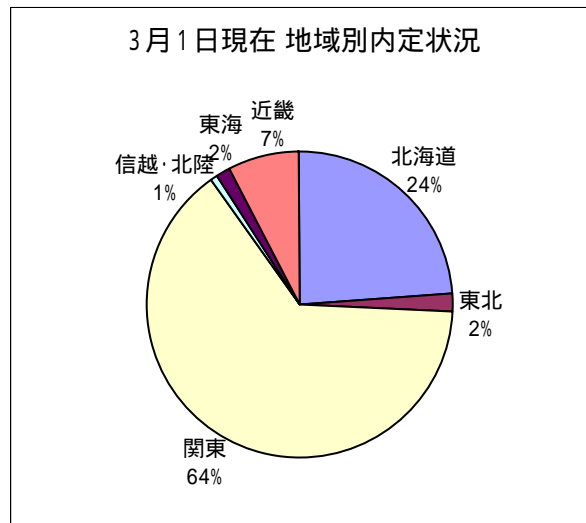
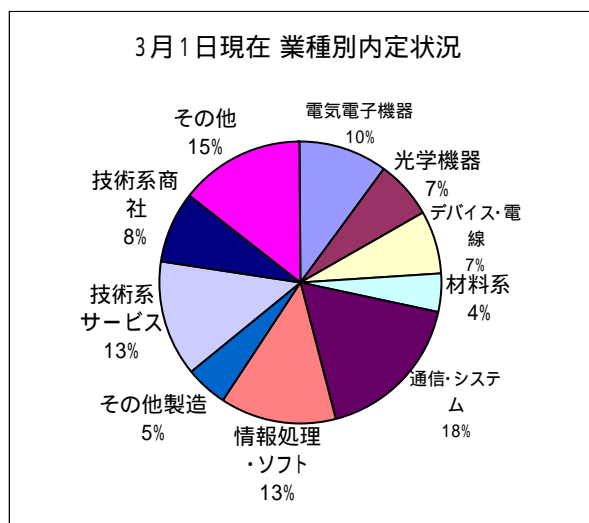
平成16年度は、多くの企業で採用意欲が高まりましたが、学生の採用決定期間が長期化する場合もありました。採用数を増やしても採用を決めるハードルは下げない企業が大半ですので、内定を獲得できる学生とできない学生がはっきりと分かれている状況にあります。

3月1日現在の主な内定企業、業種別・地域別内定内訳については次のとおりです。

地域別内定状況を見ると、約3分の2の学生が関東圏の企業に就職しており、北海道内の企業に就職する学生は4分の1程度となっています。道内では本学の専門を生かせる企業が限られており、また、関東圏と比較して景気の回復が本格化していないなど、就職の環境としては厳しいものとなっています。

【内定企業(東証一部上場企業、五十音順)】

旭電化工業(株)、(株)アドバンテスト、(株)アルファシステムズ、アルプス電気(株)、(株)SFCG、(株)関電工、キヤノン(株)、三洋電機(株)、住友化学工業(株)、セイコーエプソン(株)、総合警備保障(株)、ダイワボウ情報システム(株)、東京特殊電線(株)、日商エレクトロニクス(株)、日本通運(株)、(株)ニトリ、日本コムシス(株)、(株)日立国際電気、(株)日立製作所、HOYA(株)、ミネベア(株)、(株)メイテック、(株)吉野家ディー・アンド・シー



現代的教育ニーズ取組支援プログラムにおける本学の取組

文部科学省が平成16年度から実施している「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」とは、各大学等が応募する取組のうち、文部科学省が特に優れた教育プロジェクト(取組)を選定し、財政支援を行うものであり、高等教育の活性化の促進を目的とするものです。本学は、「地域活性化への貢献」と「ITを活用した実践的遠隔教育(e-learning)」の2つのテーマについて、各1件ずつ申請し、2件とも採択を受けております。主な概要は以下のとおりです。

- (1) 学生力を活用した理科e-learning 教材の開発 - 地域小中学校との連携による理科離れの抑制 -
 申請テーマ：地域活性化への貢献 代表者：光科学部 物質光科学科 教授 石田宏司

本取組では、学生が主体となり児童生徒との対話を通じて「光」をテーマとした教材を制作し、実験教材とe-learning教材が一体化した学習システムを制作することによって、本取組に参加する学生の既習知識の確認と企画力・実行力・対話力・表現力・達成力等の人間力の向上を図ります。また、地域小中学校の総合学習プログラムと連携し、制作した実験教材を用いて、本学学生が小中学生を対象とした、実験授業を行っています。さらに実験教材をもとにした理科e-learning教材を地域全体の教育現場で効果的に活用してもらうことで、大学教育の社会還元と理科教育の活性化および理科離れの抑制を目指しています。

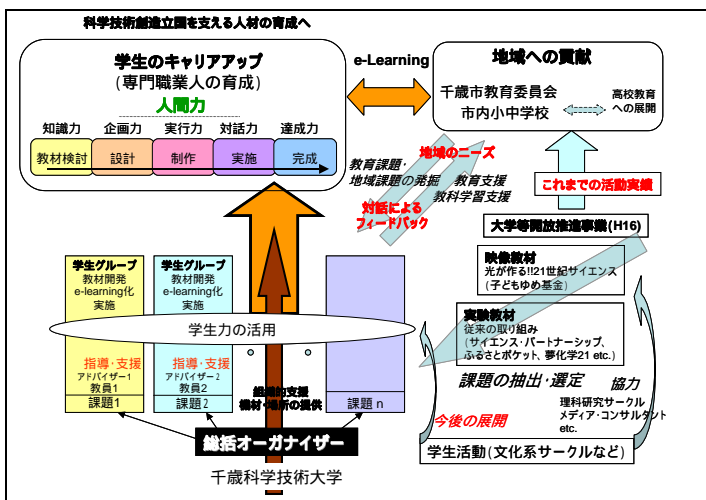
平成16年度は、学生による実験方法の検討、実験教材の制作、指導方法の検討が主な取組となっており、12月と3月には千歳市内の小中学生に対して、学生が制作した実験教材を用いた授業を行い、小学生も興味深げに「身のまわりのものを使って虹色を見てみよう」と「LEDで遊ぼう」というテーマの実験にチャレンジしました。今後の取組としては、実験教材をもとにしたe-learning教材の制作とともに、新たな実験テーマの検討も行います。

- (2) 新たな情報キャリアアップ教育の実現 - e-learning を介した全学情報教育の共有化 -
 申請テーマ：ITを活用した実践的遠隔教育(e-learning) 代表者：光科学部 光応用システム学科 助教授 小松川浩

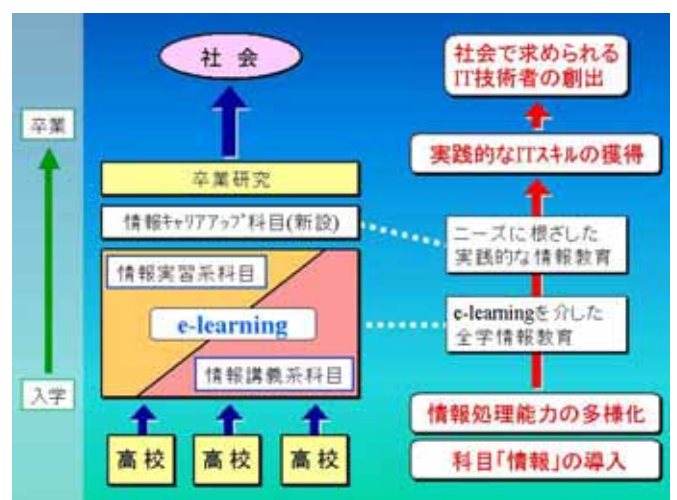
本取組では、情報実習系および情報講義系科目のすべてにおいてe-learning化を図り、それを入学から卒業に至る連続的な大学教育課程において効果的に活用し、配当年次・学期に関する制限や履修者数制限などを廃止し、学生に自由度の高い学習条件を提供します。また、e-learningと対面教育を併用した新たな授業へと変更していきます。

さらに、専門教育課程においては、情報キャリアアップ科目の開設を予定しています。本学がこれまでにやってきたe-learningに対する取組が学生参加型であるため、その取組を単位化し、e-learning教材の開発自体を教育内容に取り込み、利用する側だけではなく、作る側にも学生を介在させていき、社会で求められる実践的なITスキルの育成を図ります。

平成16年度では、公募により集められた40名程度の学生による教材の開発がプロジェクト形式ですで行われており、一般教育科目の『情報技術概論』や専門教育科目の『コンピュータプログラミング』等、複数の情報系科目の教材作りが進められています。今後の取組としては、すでに開発されているe-learning教材を実際の授業(対面教育)でも活用し、コンテンツの改良を図りながら情報キャリアアップ科目開設の準備を進めていきます。



『学生力を活用した理科e-learning 教材の開発』の概念図



『新たな情報キャリアアップ教育の実現』の概念図

平成17年度予算の概要

平成17年2月17日に開催された平成16年度第5回理事会において、平成17年度予算が決定しました。本予算は、「平成17年度事業計画」に基づく事業等に予算を重点配分する一方、業務委託費等の一般経費については、業務の見直しや経費の節減等により支出の抑制を図り、「認証評価を視野に入れた教育研究体制の整備」と「財政の健全性維持」の両立を目指して編成しています。

【平成17年度予算に計上した主な事業費】

1. 講義室・実験室の冷暖房設備設置・空調改良等施設整備費
2. 教員研究室の研究用機器等更新費
3. e-learningを活用した教育方法の改善経費
4. 就職・学生生活の支援対策費

資金収支予算

(単位：千円)

	平成16年度予算	平成17年度予算	
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,425,191	1,394,224
	手数料収入	22,314	16,254
	寄付金収入	40,000	10,000
	補助金収入	201,347	242,236
	資産運用収入	881	1,276
	事業収入	60,673	59,129
	雑収入	1,710	3,045
	前受金収入	237,504	217,484
	その他の収入	421,319	435,059
	資金収入調整勘定	242,829	224,835
	前年度繰越支払資金	1,579,996	1,444,884
	収入の部合計	3,748,106	3,598,756

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：千円)

	平成16年度予算	平成17年度予算	
支出の部	人件費支出	625,496	660,859
	教育研究経費支出	419,045	436,314
	管理経費支出	188,818	198,238
	施設関係支出	231,772	15,472
	設備関係支出	114,440	59,600
	資産運用支出	588,069	604,224
	その他の支出	223,213	243,489
	[予備費]	0	30,000
	資金支出調整勘定	72,493	79,474
	次年度繰越支払資金	1,429,746	1,430,034
支出の部合計	3,748,106	3,598,756	

消費収支予算

(単位：千円)

	平成16年度予算	平成17年度予算	
帰属収入	学生生徒等納付金	1,425,191	1,394,224
	手数料	22,314	16,254
	寄付金	40,000	10,000
	補助金	201,347	242,236
	資産運用収入	881	1,276
	事業収入	60,673	59,129
	雑収入	1,710	3,045
帰属収入合計	1,752,116	1,726,164	

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：千円)

	平成16年度予算	平成17年度予算	
消費支出	人件費	633,642	667,283
	(うち退職給与引当金繰入額)	(9,308)	(7,974)
	教育研究経費	750,358	785,135
	(うち減価償却額)	(331,313)	(348,821)
	管理経費	211,179	220,580
	(うち減価償却額)	(22,361)	(22,342)
	[予備費]	0	20,000
消費支出の部合計(イ)	1,595,179	1,692,998	

基本金組入額	306,212	43,900
消費収入の部合計(ア)	1,445,904	1,682,264

消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	149,275	10,734
翌年度繰越消費収入超過額	233,243	274,904

資金収支 ~ 当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出、および支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするためのもの。

消費収支 ~ 当該会計年度の帰属収入からの基本金の組入れ状況およびそれから導き出される消費収入に対応する消費支出との均衡状態を示し、さらに年度末の財政状態を明らかにするもの。

学生団体活動報告

千歳市立向陽台小学校5年生がソーラーカーを見学

平成16年10月8日、千歳市立向陽台小学校5年生51人が本学を来訪し、太陽電池を動力源にしたソーラーカーの講義・見学・試乗を通して、燃料資源や環境問題について学びました。本部棟の講義室においてソーラーカー部の学生から太陽の光を使うソーラーカーの仕組みや速度などの説明を受けた後、実際に試乗し、光とモーターで動き、排気ガスが一切なく環境に優しい車を実感しました。



第50回学生弓道争覇戦

男子弓道部 部リーグ優勝 部リーグに昇格

女子弓道部 部リーグ優勝 部リーグに昇格

10月下旬に行なわれた第50回学生弓道争覇戦において、男子弓道部が部リーグで優勝し、また部リーグ入替戦で室蘭工業大学に勝ち、部リーグに昇格しました。また女子弓道部は同大会の部リーグにおいて優勝し、部リーグ入替戦で藤女子大学、北海道教育大学旭川校に勝利し、部リーグに昇格しました。

第3回千歳地区フットサルリーグにおいてフットサル部優勝、サッカー部準優勝

平成16年10月24日から12月5日まで、恵庭市の島松体育館で行なわれた社会人チームを含む10チームが参加した「第3回千歳地区フットサルリーグ戦」において、本学のフットサル部が優勝し、またサッカー部が準優勝と上位を独占しました。

千歳・支笏湖水凇まつりにボランティアサークルが会場運営ボランティアとして協力

千歳市内の福祉施設を中心に活動しているボランティアサークルが昨年に続き、千歳・支笏湖水凇まつりに会場運営ボランティアとして協力しました。活動したのは1月31日と2月6日の2日間。子供たちが安全に遊べるように滑り台の管理を行いました。



〇近況報告とお知らせ

大学院博士後期課程に初の国費留学生が入学

平成16年9月12日、本学の初の留学生となるインド人のショウミャプラタ バナジーさん(27)が大学院光科学研究科博士後期課程に入学しました。バナジーさんは、首都ニューデリーから車で5時間の南部ハリドワール出身。インドの大学、大学院で電子工学、レーザー工学などを学び、3月まで民間の研究所に勤務。4月に来日し、8月まで日本語研修を北海道大学で受けていました。本学には平成19年3月まで在籍する予定で、現在加藤列教授の研究室でレーザー工学の研究をしています。

大学院博士前期課程定員増

大学院光科学研究科博士前期課程(修士課程)は、平成14年4月の開設時から、定員を上回る出願があり、年々、本学大学院への進学を希望する学生が増加していました。今年度の秋には大学院棟も整備され、大学院では光科学技術の高度専門職業人の育成・充実を図るため、平成17年度から入学定員を12名から20名(収容定員24名から40名)に変更する届出を文部科学省に提出しました。

第5回千歳光科学国際フォーラム開催



発表者による記念植樹が行われました。

開催日：平成16年10月19日(水)～20日(木) 2日間

会場：千歳科学技術大学(国際会議・ポスターセッション)

概要：第5回目の開催となる今回は、電気情報通信学会機構部品研究会国際研究会と連携し開催されました。“Plenary session” “Photonic Devices and Modules” “Photonic Science” “Photonic Sub-systems and Networks” “Information Systems and Media Technologies”の各テーマのセッションやポスターセッションに国内外の研究者、本学教員、大学院生による60件あまりの発表が行われました。

サイエンス会議

開催日：平成17年2月19日(土)(千歳市教育委員会・千歳科学技術大学主催)

会場：千歳科学技術大学大講義室

概要：本会議は平成14年度から開催しており、今年度で3回目となります。参加した千歳市内の小中学校21校の児童生徒が日頃の研究や体験の成果発表を行いました。本学からは物質光科学科主任の石田教授が出席し、児童生徒の発表に大きなエールを送っていました。



佐々木記念賞

第6回 佐々木記念賞授与式を開催しました。受章者は次のとおりです。

開催日：平成16年10月5日(火)12時30分

会場：本部棟101大講義室

奨励賞(学業成績優秀者(学部生)の表彰)

田中 敏博 君(物質光科学科) 石田 朝千 さん(光応用システム学科)

貢献賞(クラブ活動や正課外活動による功績に対する表彰)

弓道部 伊藤 大志 君、バスケットボール部

学術賞(大学院における学術・研究に関する成績又は業績の表彰)

光科学研究科光科学専攻 澤田 昌幸 君(博士前期課程1年)

江口 薫 君(博士前期課程2年)



田中君、石田さん、雀部学長、中原君(バスケットボール部主将)

江口君、澤田君、伊藤君、小林教授(左から順)

平成16年度 教育研究貢献賞

平成16年度において教育研究の充実に活躍した教員に学長から教育研究貢献賞が授与されました。

平成16年3月9日(水)開催の教授会において、各学科主任から推薦のあった川辺 豊 教授(物質光科学科)、長谷川 誠 講師(光応用システム学科)両名に記念の盾が授与されました。川辺教授は、学生実験・実習の構築とともに入試部主任として、学生募集および入学試験に傾注され教育研究体制の確立に大きく寄与されました。また、長谷川講師は、小中学校向け理科実験教材およびそれを用いた授業プログラムの開発により地域教育に貢献するとともに、開発プロジェクトを通じて学生の教育に寄与されました。

コラム

このコーナーでは、本学教員からコメントをいただいております。

今回は池田弘治教授にお願いしております。

テーマは「いやなこと、無理なことハッキリ断る?。」です。

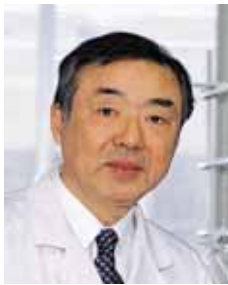
人生を楽しくする、六つのルールと題する堀田 力さんのエッセイの第一番目に登場するのがこのフレーズである。以前これを読んだときには、それができれば苦労はないかと思った。

いま、五十年足らずの仕事人生に区切りをつけるに当たって、これから先はそれができそうになると思うとつい顔がほころぶ。しかし、振り返ってみると、これまでの仕事を通じて無理なことやいやなことを、ずいぶん頼んだり頼まれたりしてきた。組織内でグループとの連携で仕事をすればそれがかなりの部分を占める。しかし、そのために鬱々と思いついた記憶はほとんどない。それを引き受けてもらったときや精一杯の努力を見せてもらったときの嬉しさは、なかなか忘れられないものである。お互いの信頼関係が育まれることもある。

また、普通なら自分ではやらないような仕事をする羽目になっても、ときには認識を新たにするような経験に出会うことがある。趣味の世界でもおなじようだ。

山登りでトラブルが生じたときなど、お互いに無理を頼んだり頼まれたりすることがある。古くからの仲間の絆は強い。いやなこと、無理なことを頼まれたり、頼んで引き受けてもらうことは、自分のことをそれなりに認めてくれる相手がいるということではないかとの思いがする。

これがなくなれば、なんとなく寂しい人生になるのではないか。そう考えると、これからも少しくらい、いやで無理な頼まれごとのある人生であっても良いと思う。



【プロフィール】

昭和34年 大阪大学工学部応用化学科卒業

平成 7年 日本合成ゴム株式会社筑波研究所参事

平成12年 千歳科学技術大学光科学部教授

学 位：工学博士

研究内容：イオン結合を有し有機溶剤に可溶性ポリマーを合成し、これに感光性化合物を加えた感光性組成物よりポジ型の画像を形成する新しい感光性樹脂やDNAの光機能化を研究

編集後記

今回は、今年度下半期のお知らせと来年度の予算等について掲載しました。本学は開学から7年が経過しようとしています。学部では4回目、大学院では2回目の卒業生が本学を後にし、新たな一歩を踏み出します。卒業する皆さんの今後の健闘を祈念いたします。



理事長就任あいさつ
小谷津 孝明

「天は富貴を人に与へずしてその人の働きに与ふるものなり」とは福澤諭吉の言葉です。古来、人は自分の生をよりよく生きるために、智を働かせ、技を磨き、家族をはじめ他者と心を寄せ合って、精一杯働いて来ました。そしてさらには社会全体・人類全体に貢献する意識をもって、知識の理論的構築に努め、先端技術の開発・応用に励み、物づくり・環境改善・創造を企図して来ました。人類の初期の進化が労働と愛による社会性の確立に向けられたとするならば、以後の進化は自己および社会全体が真の豊かさをめぐる内面の声に耳を傾けつつ、創造と陶冶による人間性・世界性の確立に向けられていると思います。

その意味で、千歳科学技術大学が未来をリードする「光テクノロジー」の教育と研究に重点を置き、かつ「人知環流」と「人格陶冶」を建学の精神に掲げ実践していることは素晴らしいことだと思います。新世紀は光の時代。科学技術の重点がエレクトロニクスからフォトニクスへとシフトしつつあることは、エネルギーや情報・通信の分野を例にとるならば、ソーラー・システムや光ファイバーの普及が即座に想起されるでしょう。それは人類、いやあらゆる生物との調和的共存の思想ともマッチしています。これからは医療や福祉の分野でもますます積極的・独創的な活用がなされていくでしょう。そのように揚々たる前途を見越して本学を開学され運営され

てこられた辻岡昭前理事長や多大なご支援をいただいた千歳市を始めとし、諸大学、諸企業の方々の慧眼に改めて心からの敬意を表します。ところで、「大事は天の定むるところにして己の定むるところにあらず、ときに天とは万人の心と言ふも可なり。」とか申します。辻岡前理事長の後を引き継がせて頂くことになった私の場合、確かに己の定むるところでなかったことはその通りだと思いますが、関係者の皆様方万人のご賛同が得られたなどと思いがってはおりませんし、また思いがってはならぬと自戒しております。何よりも本学草創の心を忘れず、その発展的守成のために誠心誠意努力して参る所存です。

少子化の影響で大学運営の危機が叫ばれる今、教育・研究・運営に直接携わる私たちにとって大切なことは、大学が私たちのために何をしてくれるかを期待することよりはむしろ私たち一人一人が自己のため、他者のため、大学のため、そして社会のために、何をなすべきか、何をなせるかを考え、協力し合って着実にそれを実行していくことだと思います。そのためには、皆様方から多様な視点からのご意見をいただき、傾聴・思考・練成・受容していく姿勢こそが肝要と考えております。辻岡前理事長始め皆様方のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

クロスアップ CIST 数字で見る就職実績

(平成16年度)

求人社数

1,115社

就職率

97.6%

平成17年度インターンシップ*

参加企業54社、
参加予定者113名

※インターンシップ
進路選択の参考に、在学中に企業現場を体験すること。夏休み中、1~2週間の研修が多い。本学では選択科目として、単位認定されている。

進路決定率

93.8%

※進路決定率=(就職決定者+大学院進学者)/全卒業者

就職決定者

179名

日本を代表する企業®に
毎年20%強の
学生が就職!

※東証一部・二部の上場企業で日立製作所、キヤノン、セイコーエプソン、住友化学工業、アルプス電気、HOYA、総合整備保障などなど。資本金が1億円を超える大企業には、毎年55~60%の学生が就職している。

CONTENTS

理事長あいさつ/クロスアップCIST…	1	教育・研究…	4・5
就職…	2	CISTライブ…	6・7
経営レポート…	3	インフォメーション…	8

就職

平成13年度に初の卒業生を送り出して以来、就職率は常に95%以上を記録。平成16年度にはついに、97%を突破(97.6%)しました。今年度の卒業予定者についても、順調に内定しています。光サイエンスを学ぶだけでなく、基礎学力や学習意欲、人間としての総合力をアップさせる本学の教育・研究が、即戦力を期待する企業の要望と、みごとに合致した結果といえるでしょう。今後も多くの学生が、希望をかなえられるよう、就職支援体制の充実・強化を図っていきます。

企業だけでなく、マスコミの注目度も急上昇中!

最近、本学の就職状況が、マスコミに取り上げられるようになりました。「なぜ、就職に強く、すぐれた人材を送り出せるのか?」、その点に関心が集まっているようです。

平成17年度の就職状況

採用活動の特徴としては、景気回復に伴う本州方面の雇用拡大のほか、平成19年ごろとみられる「団塊世代」の大量退職をにらみ、採用枠を前倒しで広げる傾向が強まっています。東証一部上場企業であれば、例年この時期に採用活動終了となるはずですが、今年はいまだに継続しているところも。

このような背景のもと、本学の就職状況は、今年度も好調に推移しています。求人は1,287件(9月1日現在)、昨年度の1,115件をすでに超えました。就職率は内定保留を含めると、7割と推定しており、今年度初採用の企業も珍しくありません。

一方、就職活動が遅れている学生、就職に迷う学生については、指導強化に努めています。6月には未内定者対象ガイダンスを実施し、就職状況の解説、NHKビデオ(自己PRの苦手な若者が就職を決めるまでのドキュメント番組)の視聴、フリーアナウンサーによる面接対策特別講座、希望者に個別面接指導を行いました。9月にも再度、未内定者対象のガイダンスを開く予定です。

主要内定先(9月1日現在)

旭電化工業(株)、アルプス電気(株)、アンリツ(株)、(株)SFCG、(株)関電工、キャノン(株)、(株)協和エクシオ、(株)ケーヒン、セイコーエプソン(株)、総合警備保障(株)、ダイワボウ情報システム(株)、(株)つうけん、(株)ディスコ、トヨクニ電線(株)、日商エレクトロニクス(株)、(株)ニトリ、日本コムシス(株)、日本発条(株)、(株)日立国際電気、(株)日立製作所、(株)日立ソフトエンジニアリング、ミネベア(株)

- 「週刊文春」(2005.7.14号)
特集「就職率で選ぶならこの11大学だ」
独自カリキュラムにも、簡単だがふれられている。
- 「週刊エコノミスト」(2005.7.12号)
特集「主要389大学の就職率」
「就職できる大学」部門で全国13位、
「学生力を育てる力の高い大学」部門で
全国5位にランクイン。

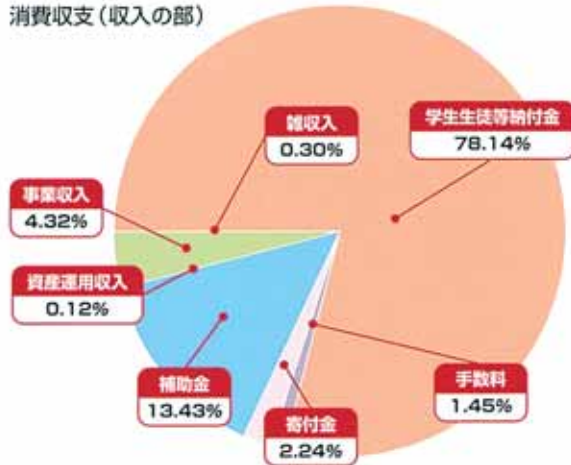
就職指導スケジュール(3年生)

4月	第1回就職ガイダンス インターンシップ・ガイダンス
5月	R-CAP 第2回就職ガイダンス
6月	インターンシップ事前研修
7月	第3回就職ガイダンス
8月	インターンシップ実施
9月	進路調査票提出
10月	個人面談 インターンシップ事後研修
11月	就職マナー講座
12月	第4回・第5回就職ガイダンス 学校推薦説明会
1月	第6回就職ガイダンス SPI模擬試験
2月	就職セミナー(学内企業説明会)
3月	就職希望調査提出 個人面談 学校推薦者決定 企業の採用試験始まる

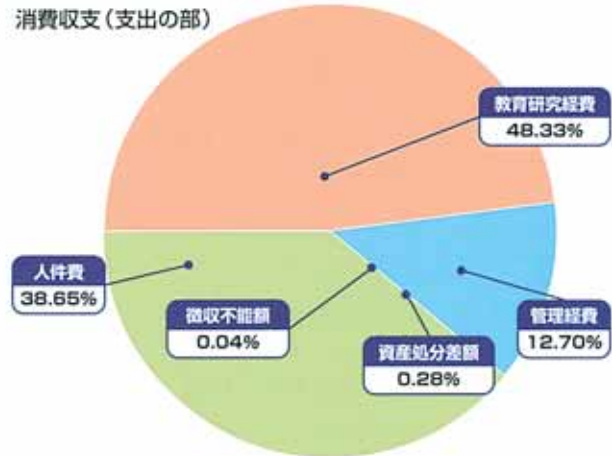
経営 レポート

【財務報告】支出超過は一過性で、経営安定・健全財政は、引き続き維持。
平成16年度は大学院関係を中心に、教育・研究の基盤整備を進める一方、国の経常費補助金の確保や業務見直しによる経費削減など、財政の健全性維持に努めました。この結果、学校法人の経営状況を表す消費支出比率（低いほどよいとされる）は、89.92%と全国平均を下回り、収支バランスを表す消費収支比率は、全国平均にほぼ近い105.87%に。平成16年度決算は大学院棟建設により、一時的に支出超過となりましたが、決算内容から経営の安定、財政の健全性は維持されていると判断できます。

消費収支（収入の部）



消費収支（支出の部）



消費収支（収入の部）

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,396,651	1,390,245	6,406
手数料	17,094	25,765	△8,671
寄付金	54,381	39,891	14,490
補助金	201,347	239,033	△37,686
資産運用収入	881	2,063	△1,182
事業収入	75,146	76,941	△1,795
雑収入	1,950	5,315	△3,365
帰属収入合計	1,747,450	1,779,253	△31,803
基本金組入額合計	△320,438	△268,131	△52,307
消費収入の部合計	1,427,012	1,511,122	△84,110

消費収支（支出の部）

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費	632,648	618,396	14,252
教育研究経費	794,100	773,157	20,943
(内減価償却費)	331,313	331,110	203
管理経費	218,561	203,147	15,414
(内減価償却費)	22,361	22,104	257
資産処分差額	0	4,439	△4,439
徴収不能額	0	679	△679
消費支出の部合計	1,645,309	1,599,818	45,491
帰属収支差額	102,141	179,435	△77,294
帰属収支差額比率	5.8	10.1	△4.2
当年度消費支出超過額	218,297	88,697	
前年度繰越消費収入超過額	503,935	503,935	
翌年度繰越消費収入超過額	285,638	415,238	

【貸借対照表】

【資産の部】

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,169,053	9,839,721	329,332
(有形固定資産)	(8,215,963)	(8,211,246)	(4,717)
(その他の固定資産)	(1,953,090)	(1,628,475)	(324,615)
流動資産	1,595,213	1,702,103	△106,890
合計	11,764,266	11,541,824	222,442

【負債の部】

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	47,838	47,628	210
流動負債	332,855	290,058	42,797
合計	380,693	337,686	43,007

【基本金の部】

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	10,968,335	10,700,203	268,132

【消費収支差額の部】

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
消費収支差額	415,238	503,935	△88,697

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
合計	11,764,266	11,541,824	222,442

基礎クラスの開講

本学のカリキュラムでは、科学と技術を融合させた理工学を、幅広く学んだ上で光サイエンスの専攻に進みます。理学と工学の総合的履修には、まず科学技術の基礎(化学・物理学・数学・情報)を、しっかりと固めなければなりません。

そのために、正規の授業に加え、基礎クラスが別に開講されています。高校で物理・化学の科目を履修していない、数学の単元が異なっている、学びはしたけれど基礎からもう一度勉強したい。そんな学生を対象にしています。

基礎クラス

● e-learningシステムと対面型個別指導*を組み合わせた補習授業

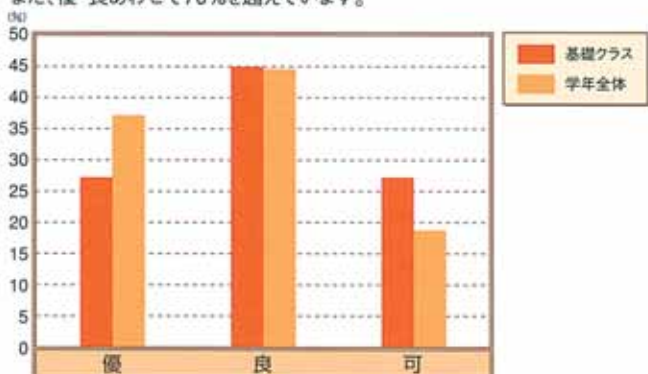
● 講義と演習を組み合わせた補習授業

● 演習と対面型個別指導による補習授業

*対面型個別指導 少人数の学生に対して、教員が個別に指導する。

物理学A(力学)における定期試験の結果

基礎クラス出席者の成績は、学年全体とほとんど差がありません。また、優・良あわせて70%を超えています。



「自己点検・評価報告書」より抜粋

e-learningシステム

e-learningとはインターネットを利用して行う、次世代の情報教育ツール。システムを独自に開発した、CISTオリジナルのe-learning教育は、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP※/平成15年度)」「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP/平成16年度)」に採択されたように、社会的に高い評価を受けています。

システム・コンテンツの開発・制作プロジェクトには、学生も2年次から参加。「使う側」から「つくる側」に立場を変え、高度なIT技術を修得しながら進めています。制作プロセスでは本質的な理解が求められ、豊かなコミュニケーション能力が養われます。

※GP=Good Practice

期待される効果

- コンピュータ・情報に関する知識、技術に磨きをかけられる。
- 使う側からつくる側に立場が変わるので、ユーザーを意識したものづくりを経験できる。
- 仕事の進め方や取り組む姿勢、コミュニケーション方法について学べる。
- 人に教える経験が自分の勉強にもなる。

多彩なコンテンツ

特色GPで数学(中学・高校・大学版)、現代GPで物理(高校版)、英語(中学・高校版)、情報系科目(大学版)のコンテンツを制作。授業はもとより、自主学習にも活用しています。

ホームページで公開

数学のe-learningは、すでに公開されており、本学学生の他に15,000人の高校生、大学生が利用しています。

<http://www.chitose.ac.jp/>



大学院博士後期課程研究中間発表

博士後期課程2年生の研究中間発表が、5月13日に大学院棟で行われました。1年間の成果を世に問う、ハイレベルな研究に注目が集まりました。

- 小山田 崇人 / 「Rubrene:TPPy 共蒸着膜を用いた有機発光型トランジスタと作動メカニズム」
- 合志 憲一 / 「 Ir(ppy)_3 の励起三重項準位におけるスピン緩和過程」
- ショウミ+プラタ+バナー / 「New Data On Parametric Oscillation at $2.1\ \mu\text{m}$ in Periodically Poled RbTiOAsO_4 」
- 今井 順一 / 「e-learningを介した基礎数学教育の取り組み」

現代的教育ニーズ 取組支援プログラム(現代GP)

社会的要請の高い教育テーマに取り組む大学・短大を選び、補助金を重点配分する文部科学省の事業。平成16年度は全国応募559件のうち、86件が採択され(北海道では5校)、その1校に選ばれました。2件採択された大学は、本学・北海道大学を含め、全国で5大学のみです。

テーマ

「学生力を活用した理科e-learning教材の開発
～地域小中学校との連携による理科離れの抑制～」

「新たな情報キャリアアップ教育の実現
～e-learningを介した全学情報教育の共有化～」

「学生力を活用した 理科e-learning教材の開発」とは?

平成16年10月から、千歳小学校・緑小学校(いずれも千歳市)と連携し、小学校教員のアドバイスを受けながら、学生たち自らの手で、児童が興味を持つ理科実験を企画・実施しています。今年度第1回目の実験授業は、「電気はどうやってつくるのか?」、「夕焼けはなぜ赤い?空はなぜ青い?」がテーマ。実験内容、実験風景、結果などは、今後インターネットで公開し、理科教育の現場で活用してもらう予定です。



千歳・エコ活動 プロジェクト2005

千歳市内の小・中学校、本学、企業、千歳市が「協働」で、環境をテーマにした総合学習や理科学習を支援するもの。本学は地域貢献、学生の企画力・実行力・対話力などの向上のため、千歳市における環境・理科教育の推進、自然保護に関する市民活動に参加しています。

今年度は昨年度に制作した学習カリキュラムや教材、構築した支援体制をベースに、さらなる活性化をめざして、いよいよ活動を本格化させます。



期待される効果

- 大 学:産官学連携事業の推進、環境・情報・教育各分野における研究の推進、プロセスを通じて学生のスキルアップ
- 小・中学校:地域一体となった学習の推進、情報教育推進
- 企 業:環境活動を市民に公開、地域連携による新製品・新産業の創出
- 行 政:地域に対する支援体制の確立、環境教育の推進、IT利用の活性化

サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)を今年も実施!

教育連携講座「光科学の世界:光サイエンスの基本と応用」が、文部科学省のサイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)事業に採択されました。3年連続の実施となります。

今年度は千歳中学校の理科科目と連携し、光の基本性質と、光ファイバ通信・デジタルカメラ・レーザなどに利用されている、最先端の光技術との関連を、講義やテーマに沿った実験で学習。光の基本性質、生活の中の光技術について理解を深めます。

平成16年度日本学生支援機構 奨学金採用状況

(単位:人)

貸与種別	学種	予約	定期採用	緊急・応急	年度計
第一種(無利子)	学 部	7	16	0	23
	大学院	1	3	0	4
第二種(有利子)	学 部	31	53	1	85
	大学院	1	0	0	1
その他奨学生(大学で把握しているもの)				5名



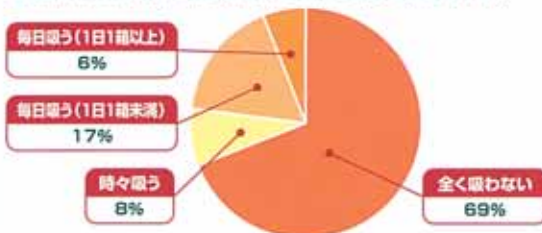
みんなの学生生活拝見!

「平成16年度千歳科学技術大学学生生活アンケート調査 結果報告」より抜粋

Q あなたは煙草を吸いますか。

選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	総計	
						回答数	比率
1.全く吸わない	139	120	120	63	10	452	69.5%
2.時々吸う	10	13	18	6	2	49	7.5%
3.毎日吸う(1日1箱未満)	25	30	27	28	2	112	17.2%
4.毎日吸う(1日1箱以上)	11	10	11	4	1	37	5.7%
計	185	173	176	101	15	650	100.0%

健康増進法の施行を受け、本学でも受動喫煙防止対策として、施設内禁煙となっています。道内の喫煙者率は男性で50%を超えています、それと比較するとかなり少ないようです。



Q あなたは現在アルバイト(学内アルバイトを含む)をしていますか。

選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	総計	
						回答数	比率
1.している	64	79	70	58	9	280	43.1%
2.していない	121	94	106	43	5	369	56.9%
計	185	173	176	101	14	649	100.0%

学年が上がるにつれ、アルバイトに精を出す傾向があります。

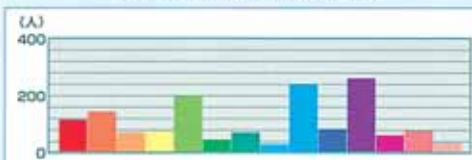


Q あなたが現在かかえている不安や悩みを選んでください(複数回答可)。

選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	総計	
						回答数	比率
1.不安や悩みはない	40	29	24	18	5	116	17.8%
2.健康上的こと	35	41	41	24	4	145	22.3%
3.身体上的こと	11	23	21	12	0	67	10.3%
4.性格のこと	16	16	26	15	0	73	11.2%
5.学費や借金等の金銭的なこと	53	58	47	31	5	194	29.8%
6.家族のこと	8	14	12	9	1	44	6.8%
7.友人関係のこと	23	17	19	5	1	65	10.0%
8.性に関する悩み	6	11	6	5	0	28	4.3%
9.勉学上的こと	64	73	75	29	1	242	37.2%
10.生活環境のこと	21	19	24	14	3	81	12.4%
11.就職のこと	39	72	115	37	3	266	40.9%
12.思想上のこと	11	23	21	7	0	62	9.5%
13.恋愛関係のこと	29	20	12	15	1	77	11.8%
14.その他	9	14	6	5	0	34	5.2%
計	365	430	449	226	24	1494	

「就職のこと」がもっとも多く、次いで「勉学上的こと」、「学費や借金等の金銭的なこと」となっています。金銭問題の上位登壇は、世相を反映しているのですが、注意が必要と思われます。

不安・悩み(回答数651)





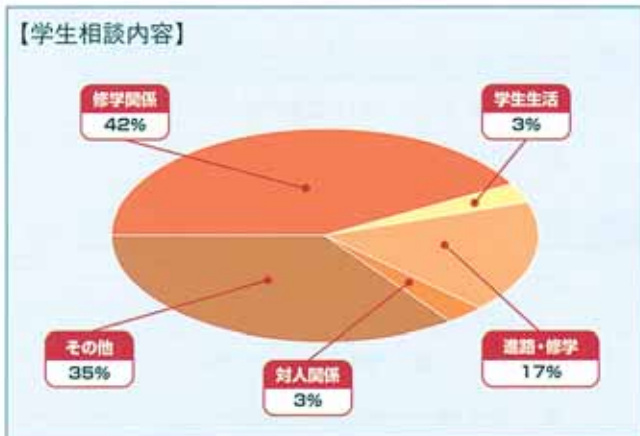
Q あなたは本学に「健康相談」や「学生相談」があることを知っていますか。

選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	統計	
						回答数	比率
1.はい	151	146	160	97	13	567	88.5%
2.いいえ	30	24	14	5	1	74	11.5%
計	181	170	174	102	14	641	100.0%

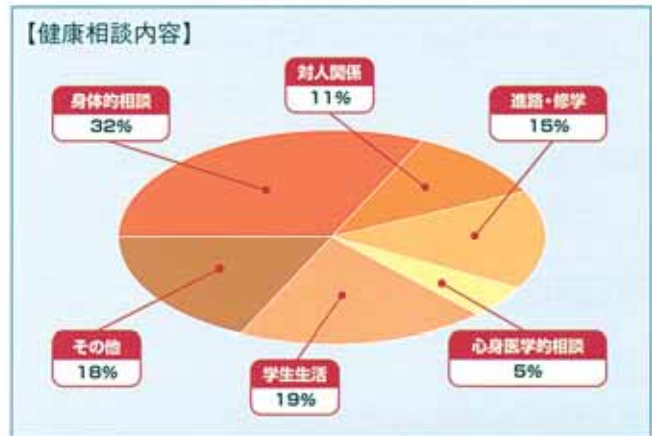


参考データ 平成16年度学生相談・健康相談の利用状況

学生相談 担当者/学生部教員
回数/月1~2回(長期休業期間を除く)計12回実施



健康相談 担当者/学校医
回数/月2~3回(長期休業期間を除く)計20回実施



第52回北海道地区大学体育大会の結果

勉学や研究の合間を縫って、練習に励んでいましたが、少々残念な結果に。しかし、初心者も多い中、よく健闘したのではないのでしょうか。次回に期待しましょう!

期間 平成17年7月8日~11日

男子バスケットボール部…ベスト8

※その他、男子バレー部、サッカー部、男子バドミントン部、弓道部が出場。



平成17年全国書初作品大会(全日本書芸文化院主催)で入賞!

文芸部(書道の部)の佐藤加那子さん(2年生)が、みごと金賞を受賞しました。



個人情報保護の取り組みの動き

- 個人情報保護法の施行(平成17年4月1日)に伴い、「千歳科学技術大学における個人情報の保護に関する要綱」を定めました。同時に、個人情報の適正な取り扱いについて、教職員に周知徹底を図りました。
- 在学生・入学生に対しては、オリエンテーション・ガイダンス(4月)で、本学が個人情報を利用する目的や、開示請求の手続きなどについて説明を行いました。

保護者などに関する個人情報について

- 本学では「学生の修学指導等に必要な連絡、各種郵送物(学業成績通知書、学費納付書、大学報、大学行事案内など)の発送」に利用します。ご理解をお願いします。
- 個人情報に関する苦情や相談は、企画総務課(0123-27-6001)までお寄せください。

学位記授与式、入学式を挙行

本学ホームページに、式の様子を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

平成16年度学位記授与式(3/19)

- 物質光科学科・中野谷一君、光応用システム学科・佐藤威君、大学院博士前期課程・江口薫君が、それぞれ代表で学位記を受領しました。
- 答辞:光応用システム学科 横井伸浩君

平成17年度入学式(4/9)

- 平成17年度入学者(271名):学部生240名、大学院博士前期課程27名、博士後期課程4名
- 入学生代表宣誓:吉岡 毅君(釧路湖陵高校卒)



「平成17年度千歳科学技術大学父母懇談会」開催のお知らせ

本学の教育・就職に対する取り組み、ご子息・ご息女の生活状況など、教職員から直接聞くことができます。ふるってのご参加、お待ちしております。

※詳細は9/20ごろ、郵送にてご案内します。

- 日時 10/29(土) 13:00~18:30
- 会場 本学本部棟教室、研究・実験棟、食堂ほか
- 対象 学部1~4年生の父母

人事異動

理事

- 退任 佐室有志 (株)日立製作所
就任 田島卓也 (株)日立製作所

評議員

- 退任 八木真介 (株)日立国際電気
熊谷直孝 北海道電力(株)
大川 實 (株)日立ビルシステム
就任 夏井健一 (株)日立国際電気
矢島泰司 北海道電力(株)
加藤 渥 (株)日立製作所

教育職員

- 採用 光科学部物質光科学科 助手 小田久哉

事務職員

- 派遣元復帰(千歳市) 就職課就職係長 小島一則
入試広報課入試広報係 藤木健一郎
- 採用 会計課長 井上利夫
学生課長 鳴海重明
情報管理課長 高橋智男
企画総務課企画総務係 主事 吉田慎吾
同 嘱託職員 伊藤孝子
入試広報課入試広報係 主事 河原木さやか
学生課学生係 保健師 富樫里美
就職課就職係 嘱託職員 田中 恵
情報管理課情報管理係 技師 山川広人
同 主事 木澤光暢



開学10周年記念事業の一環 多目的複合施設 平成19年度に完成へ

本学は平成19年度に、開学10周年の節目を迎えます。学生支援機能を強化した、多目的複合施設の建設は、その記念事業の一環。平成18年度に設計・建設に着手し、翌年度の完成を予定しています。

活発な教育・研究活動は、本学の特徴のひとつですが、現在の施設では次第に手狭に。ことに講義室については、基礎教育科目の拡充などのため、本部棟だけでは確保が難しくなってきました。施設が完成すれば問題が解決するだけでなく、より快適な学生生活を送るための支援機能も、これまで以上に充実します。プライバシーに配慮した学生相談室や医務室、憩いの場としてのカフェテリアなど、キャンパスの環境整備がさらに進む、と大いに期待されています。

計画概要

- 鉄筋コンクリート造、地上5階建て
- 延べ面積約2,000㎡
- 1、5階…学生相談室、医務室、カフェテリア など
- 2～4階…講義室



完成予想図

初の開催、好評のうちに終了 平成17年度 千歳科学技術大学 父母懇談会

平成17年10月29日、開学以来、初めての試みとして、父母懇談会が本学で開催されました。1～4年生の保護者を対象に、参加者は202名を数え、皆さんの関心の高さ、期待が伺えました。プログラムは全体説明会、HTB解説委員・小野塚勝氏による特別講演、個別相談、研究室見学、懇親会と盛りだくさんでしたが、特に全体説明会と個別相談がお目当てだったようです。

アンケートによれば全体として、98%以上の方が「大変満足」「ほぼ満足」。貴重なご意見、励ましもいただくことができ、まずは成功だったといえるのではないのでしょうか。今後もこういった機会を設け、保護者の皆さんとコミュニケーションを密にし、期待に応えられる大学づくりに反映させていきたいと考えています。



参加者の声(アンケートより抜粋・要約)

■全体説明会

- 具体的な資料をもとに、わかりやすい説明でためになった。
- 説明がていねいでよかった。

■個別相談

- とてもわかりやすかった。
- 気になったことを聞けただけでなく、今後の対応も考えてくれた。
- 親切だった。
- 心配の種が少なくなりました。
- 有意義な話を聞いた。

■自由回答

- 今後も開催を。
- 何かと参考になりました。
- 大学の方針、姿勢、社会での位置づけなどがわかった。
- 大学とコミュニケーションが図れてよかった。
- 大学を実感できた。
- 本当によい学校に巡り合えたことを感謝。
- 大学全体が見え、安心しました。



教育・研究

平成17年度佐々木記念賞

■受賞式 平成17年10月5日

受賞された皆さん、おめでとうございます！

※ 本学の開学に尽力した、初代学長・佐々木敬介氏（1936～1998）の業績を記念して、平成10年に創設された。毎年4名の学部生、2名の大学院生を表彰し、表彰状と奨学金を贈呈している。



左から泉和君、正木君、雀部学長、辻君、桃野君（弓道部）、中井君

学部2・3年生の学業成績優秀者に贈る

奨励賞

泉 和宏君 物質光科学科3年

正木 正嗣君 光応用システム学科3年

クラブ活動や学外活動において、全学生の模範となる者に贈る

貢献賞

辻 直也君 光応用システム学科2年（硬式テニス部）
弓道部

大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績をあげた者に贈る

学術賞

中井 直也君 光科学研究科光科学専攻 博士前期課程2年生

平成17年度教育研究貢献賞・特別功績賞

平成18年3月8日、教育・研究において活躍した、教員3名の功績を称えて、記念の盾が授与されました。また、今回は三戸学部長に、特別功績賞が贈られました。いずれも本学の教育・研究体制に、大きな影響を与えた方たちです。

特別功績賞

三戸 慶一氏（教授・光科学部長）

【受賞理由】

● 本学の設立・運営に携わり、発展の礎を築くなど、創成期からこれまでにかけて多大な尽力

教育研究貢献賞

今井 敏郎氏（助教授・物質光科学科）

【受賞理由】

- 化学系学生実験、カリキュラムの構築
- 授業評価アンケートの改善、実験で生じた廃液処理法の確立など

李 黎明氏（専任講師・物質光科学科）

【受賞理由】

- レーザによるガン診断・治療の分野で、本学の知名度向上に貢献

碓井 広義氏（助教授・光応用システム学科）

【受賞理由】

- 映像活用の教育、電子教材の構築
- 本学広報活動の推進
- 千歳市のポータルサイト開発、PRビデオ制作の監修、メディアへの出演などで、地域社会の活性化に貢献



左から雀部学長、今井助教授、李専任講師、碓井助教授、三戸教授

4年間の集大成、渾身の力を込めて 平成17年度卒業研究発表

■ 物質光科学科 平成18年2月9日

■ 光応用システム学科 平成17年12月16日、平成18年1月20日
大学院棟コラボレートルームで、プロジェクターなどを使い、一人ずつ口頭で概要を発表。その後、研究・実験棟のアトリウムで、ポスターセッションが行われました。一対一での質疑応答は、まさに審査担当の先生との真剣勝負。在学中に身につけた能力を総動員して、熱のこもった説明が繰り広げられました。



若き研究者たちの次代を創る研究 学位論文発表会

■大学院博士前期課程

平成18年2月15日(大学院棟コラボレートルーム)

■大学院博士後期課程

平成18年2月6日(大学院棟コラボレートルーム)

大学院博士後期課程

小山田崇人氏

Control of organic inorganic interfaces aiming for high performance organic optoelectronic devices

「有機・無機界面制御による高性能有機光電子デバイスの構築」

合志 憲一氏

Electroluminescence processes in organic light-emitting diodes
- Carrier injection, transport and exciton decay processes -

「有機LEDにおける電界発光過程 - キャリア注入・輸送及び励起子失活過程 -」

進化するCISTの特色GP・現代GP GPフォーラム、サイエンス会議開催



大講義室で発表する児童たち

採択されて以来、本学の特色GP^{※1}・現代GP^{※2}は、着実に進展を続けています。多様な成果を上げつつありますが、今回のイベントはそれを世に公表すると同時に、各分野の専門家を招いて情報交換を行い、さらなるステップアップをめざすもの。当日は多数の参加者が各会場に分かれて、講演や事例発表に耳を傾け、熱心な議論を展開しました。なお、サイエンス会議も同会場で同時開催。千歳市内の小・中学校の児童・生徒たちが、総合学習の時間に取り組んだ成果を発表しました。

■日時 平成18年2月18日(土)

■会場 本学本部棟

■平成17年度サイエンス会議

(主催/千歳市教育委員会、千歳科学技術大学)も同時開催

※1 「特色ある大学教育支援プログラム」の略で、GPとはGood Practiceのこと。

※2 「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の略。

現代GP CIST サイエンスフォーラム

テーマ「学生力を活用した地域貢献への取組」

【プログラム】

第1部 招待講演

●「金沢工業大学における人間力教育」

青木克比古氏(金沢工業大学・工学基礎教育センター次長)

●「地域への健康支援を融合・連携した学生教育(現代GP)」

千葉逸朗氏(北海道医療大学・歯学部教授)

学生による実験授業演示

学生による実験授業展示に興味津々



第2部 一般講演

●「広がる物理教育の領域 - 地域とのハーモニーを歌うモアレ -」

永田敏夫氏(北海道厚真高等学校校長)

●「高校理科サークルの活動」

「偏光板とポリプロピレンによる着色現象に関する考察」

～日本学生科学賞における内閣総理大臣賞受賞報告

堀 輝一郎氏(北海道南茅部高等学校教諭)

●「学生力を活用した理科e-learning教材の開発」

長谷川誠氏(千歳科学技術大学助教)

特色・現代GP CIST eラーニングフォーラム

テーマ「eラーニングを柱とした新しい教育システム」

【プログラム】

第1部 講演

●「リメディアル教育とeラーニング」

小野博氏(独立行政法人メディア教育開発センター教授)

●「インターネット大学院の取組」

不破泰氏(信州大学・大学院工学系研究科教授)

●「学生プロジェクトと連携したeラーニング開発」

小松川浩氏(千歳科学技術大学助教)

第2部 高大連携を介した講演・事例紹介

●講演「大学生の学力問題」

小野博氏(日本リメディアル教育学会会長)

●講演「高大連携を通じたeラーニングの取組」

大河内佳浩氏(北海道札幌稲雲高等学校教諭)

●事例紹介

岡部一良氏(北海道小樽桜陽高等学校教諭)

三関直樹氏(北海道札幌藻岩高等学校教諭)

中村文則氏(北海道札幌旭丘高等学校教諭)

瀧澤金光氏(北海道札幌稲雲高等学校教諭)

●eラーニング活用講習会

今井順一氏

(北海道札幌稲雲高等学校教諭)

●意見交換会(16:40~17:00)



熱心に聴講する参加者

平成18年度事業計画

事業計画の策定にあたって

大学を巡る情勢は少子高齢化の進む社会経済状況にあり、生き残りを賭けた競争が激化する中、大学選択の重要要素として財務情報の開示など、説明責任が各大学に求められています。また、基本金取り崩し要件の緩和を柱とする、学校法人会計基準が改正されました。

このような状況のもと、本学の教育・研究は各方面から、高い評価を受けていますが、さらに評価と信頼を高めるためには、「認証評価」を視野に入れつつ、教育・研究体制の整備と高度化を図る必要があります。また、平成19年度は開学10周年。これを機に収支構造の見直しや、経費の節減などで財政基盤の充実を図っていきます。同時に、開学10周年記念として、平成18年度から多目的複合施設の建設着手など、各種記念事業を実施します。

主な新規・重点事業

平成18年度は教育・研究、学生の福利厚生を充実させるため、以下の事業を実施します。

1 開学10周年記念事業(平成17~19年度/約5億円)

記念事業を推進する実行委員会を設置。

①多目的複合施設建設(建設委員会)

講義室、学生支援機能を強化した、複合施設の建設に着手。学習環境、学生支援の充実を図る。

②開学10周年記念行事の計画(式典委員会)

各種式典・行事の検討。

③開学10周年記念誌の作成(記念誌委員会)

開学からこれまでの、千歳科学技術大学の歩みをまとめた記念誌作成に着手。

④寄付金募集の拡充(募金委員会)

各種事業を実施するにあたり、寄付金の確保を図る。

2 中長期事業計画の策定

法人部門・大学部門において、計画的な運営を図るため、今後の中長期事業計画の検討を開始する。

3 既存施設整備事業

①本部棟電源設備補修工事

②本部棟・研究実験棟空調設備補修工事

③実験棟床補修工事

④施設内安全対策工事

●本部棟アトリウムなどの窓ガラスに、飛散防止フィルムを貼付。2次災害を防止する。

4 設備整備事業

①新規採用教員の研究用機器備品整備

②共同利用実験室の研究用機器備品整備

③講義室用プロジェクター更新

5 教育充実関連事業

①授業導入・単位認定型e-learningの運営

●光科学部の一部の授業で、既にe-learningを導入しているが、平成18年度には情報系科目のカリキュラム改訂に合わせ、e-learning利用の科目を拡大する。

●e-learningによる単位認定を前提とした、科目の開講に合わせて教材を整備する。

●e-learningシステムの利用者増加に対応するため、本学のインターネット接続回線、proxyサーバを増強し、安定した学習環境を整備する。

②学内コミュニケーションシステムの更新

学生・教職員が現在使用している、学内コミュニケーションシステムを更新する。

③特色ある大学教育支援プログラム事業(文部科学省補助事業)

④現代的教育ニーズ取組支援プログラム(文部科学省補助事業)

6 学生生活支援事業

本学に対する保護者の理解を深めるため、平成17年度に開催した父母懇談会を、継続して開催する。

平成18年度予算の概要

平成18年2月23日に開催された、平成17年度第5回理事会で、平成18年度予算が決定しました。

ポイント

「認証評価を視野に入れた教育研究体制の整備」、「財政の健全性維持」の両立をめざした編成。

■「平成18年度事業計画」に基づく事業などに重点配分。

■業務委託費などの一般経費について、業務の見直しや経費の節減に取り組み、支出の抑制を図っている。

■単年度の消費収支は、開学10周年記念事業(施設建設)に係る、第2号基本金の組入などにより支出超過。しかし、経営状況を表す、「消費支出比率(消費支出÷帰属収入)」は97.4%で、財政の健全性は維持されている。

【平成18年度予算に計上した主な事業費】

※詳細は「平成18年度事業計画」をご覧ください。

1. 開学10周年記念事業
2. 中長期事業計画の策定
3. 既存施設整備事業
4. 設備整備事業
5. 教育充実関連事業
6. 学生生活支援事業

■資金収支予算 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

収 入 (単位:千円)

	平成17年度予算	平成18年度予算
学生生徒等納付金収入	1,394,224	1,396,754
手数料収入	16,254	11,424
寄付金収入	10,000	50,000
補助金収入	242,236	224,852
資産運用収入	1,276	3,265
事業収入	59,129	24,230
雑収入	3,045	0
前受金収入	217,484	217,484
その他の収入	435,059	402,938
資金収入調整勘定	△224,835	△219,483
前年度繰越支払資金	1,444,884	1,328,844
収入の部合計	3,598,756	3,440,308

支 出 (単位:千円)

	平成17年度予算	平成18年度予算
人件費支出	660,859	691,833
教育研究経費支出	436,314	391,911
管理経費支出	198,238	187,686
施設関係支出	15,472	29,830
設備関係支出	59,600	84,815
資産運用支出	604,224	780,275
その他の支出	243,489	232,386
[予備費]	30,000	30,000
資金支出調整勘定	△79,474	△68,238
次年度繰越支払資金	1,430,034	1,079,810
支出の部合計	3,598,756	3,440,308

■消費収支予算 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

帰属収入 (単位:千円)

	平成17年度予算	平成18年度予算
学生生徒等納付金	1,394,224	1,396,754
手数料	16,254	11,424
寄付金	1,000	50,000
補助金	242,236	224,852
資産運用収入	1,276	3,265
事業収入	59,129	24,230
雑収入	3,045	0
帰属収入合計(A)	1,726,164	1,710,525
基本金組入額	△43,900	△283,962
消費収入の部合計(B)	1,682,264	1,426,563

消費支出 (単位:千円)

	平成17年度予算	平成18年度予算
人件費	667,283	694,468
(うち退職給与引当金繰入額)	(7,974)	(2,635)
教育研究経費	785,135	742,299
(うち減価償却額)	(348,821)	(350,388)
管理経費	220,580	209,651
(うち減価償却額)	(22,342)	(21,965)
[予備費]	20,000	20,000
消費支出の部合計(C)	1,692,998	1,666,418
帰属収支差額(A-C)	33,166	44,107
当年度消費収入超過額 または消費支出超過額(B-C)	△10,734	△239,855
翌年度繰越消費収入超過額	274,904	0
翌年度繰越消費支出超過額	0	15,155

4年生の内定状況

内定者数 199名(3/14現在)

物質光科学科86名/光応用システム学科103名/大学院10名

就職活動の記録

※平成17年10月～平成18年3月

低学年ガイダンス

(10/28、1・2年生対象)

昨年度に続いて2回目。企業が求めるコミュニケーション、ディベートなどの能力養成を目的としています。

■札幌吉本興業から講師を招いて、クリエイターテストを実施。

■少人数のグループに分かれ、心理テスト、表現や発表を通し、将来について考えました。

特別就職ガイダンス

(12/2、平成18年3月卒業予定者対象)

講演「職場に赴く若い諸君へ～先輩の立場から/職場生活の知恵」を実施しました。講師は日立製作所中央研究所出身の斧田誠一氏。

キックオフガイダンス

(12/15、3年生・修士1年生対象)

3年生・修士1年生にとっては、就職活動のスタートとなります。就職部主任・川瀬教授から、これからの活動で知っておくべき、基本事項(流れ・社会状況・業種の考え方など)についてお話がありました。

OBガイダンス(1/30、自由参加)

卒業生によるガイダンスです。自らの就職活動の経験をもとに、役に立ったことや失敗談、面接で聞かれる質問などを語っていただきました。

学内企業説明会

(2/13～17、2/20～24、3/3、3年生・修士1年生対象)

今回は期間を通して146社が参加。前半は体育館でブース形式、20日からの後半は、教室で講義形式の説明会が行われました。



平成17年度日本学生支援機構 奨学金受給状況

平成18年2月1日現在

貸与種別	学 種	学 年	奨学生数	
第一種(無利子)	学部	1年	18人	
		2年	24人	
		3年	22人	
		4年	20人	
	学部計			84人
	大学院	M1年	13人	
		M2年	2人	
		D1年	2人	
		D2年	0人	
	大学院計			17人
第一種計			101人	
第二種(有利子)	学部	1年	80人	
		2年	70人	
		3年	78人	
		4年	56人	
	学部計			284人
	大学院	M1年	7人	
		M2年	1人	
		D1年	2人	
		D2年	0人	
	大学院計			10人
第二種計			294人	
合計			395人	

みんなの学生生活拝見!

「平成17年度千歳科学技術大学学生生活アンケート調査 結果報告」より
在学生を対象に実施しました。

あなたは一日に何回食事しますか。

選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	総 計	
						回答数	比率
1. 1回	0人	1人	4人	4人	0人	9人	1.5%
2. 2回	36人	31人	59人	37人	4人	167人	28.7%
3. 3回	141人	94人	98人	43人	5人	381人	65.6%
4. 4回以上	12人	3人	4人	4人	1人	24人	4.1%
計	189人	129人	165人	88人	10人	581人	100%



約30%の学生が2回以下ですが、この数字は自宅外通学者の比率と、よく似ています。ひとり暮らしだとつい、ということなのかもしれません。また、学年が上がるにつれ、不規則になりがちです。

あなたは運動をしていますか。(体育実技の授業を除く)

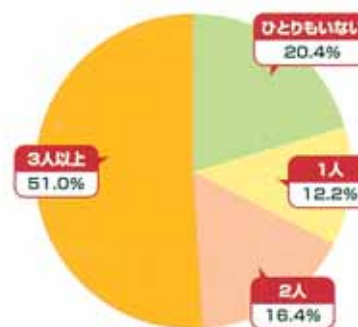
選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	総 計	
						回答数	比率
1. しない	49人	44人	66人	35人	5人	199人	33.8%
2. ときどきする	123人	85人	94人	43人	4人	349人	59.4%
3. 毎日する	17人	5人	7人	10人	1人	40人	6.8%
計	189人	134人	167人	88人	10人	588人	100%



全体として運動不足の傾向。30%を超える学生には、健康やかな人生を送る意識も不足しているようです。3年生以降、さらに顕著になるのは、研究に打ち込むからでしょうか。いずれにせよ、まずは歩くことから始めてみませんか。

あなたは不安や悩みを相談できる友人は何人いますか。

選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	総 計	
						回答数	比率
1. ひとりもない	42人	30人	30人	13人	2人	117人	20.4%
2. 1人	21人	10人	26人	13人	0人	70人	12.2%
3. 2人	28人	19人	28人	18人	1人	94人	16.4%
4. 3人以上	93人	71人	79人	42人	7人	292人	51.0%
計	184人	130人	163人	86人	10人	573人	100%



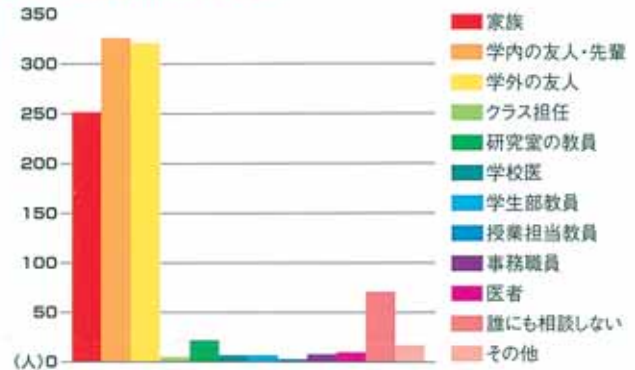
一人もない学生が約20%。これははたして多いのか少ないのか。判然としませんが、少なくとも周囲のサポートを、必要としていることは確かです。





不安や悩みを相談できる相手を選んでください。(複数回答可)

選択肢	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院生	総計	
						回答数	比率
1. 家族	76人	51人	72人	48人	5人	252人	42.7%
2. 学内の友人・先輩	105人	63人	97人	56人	5人	326人	55.3%
3. 学外の友人	120人	82人	93人	20人	6人	321人	54.4%
4. クラス担任	3人	1人	1人	0人	0人	5人	0.8%
5. 研究室の教員	4人	1人	4人	10人	3人	22人	3.7%
6. 学校医	2人	3人	1人	1人	0人	7人	1.2%
7. 学生部教員	1人	1人	4人	1人	0人	7人	1.2%
8. 授業担当教員	1人	0人	2人	0人	0人	3人	0.5%
9. 事務職員	3人	0人	2人	3人	0人	8人	1.4%
10. 医者	4人	4人	1人	1人	0人	10人	1.7%
11. 誰にも相談しない	27人	21人	11人	11人	1人	71人	12.0%
12. その他	8人	5人	3人	1人	0人	17人	2.9%
計	354人	232人	291人	152人	20人	1049人	



学年が上がるにつれ、「家族」「学内の友人・先輩」の比率も、上がる傾向にあります。家庭内孤立などが社会問題化することもあります。本学の学生にとって、家庭は安心できる居場所のようです。

第7回稜輝祭 photograph collection



- 日時 10/8(土)～10/9(日)
- 会場 本学キャンパス
- テーマ 「送りバント～未来へ送る千歳の光～」



「市民公開講座」が開催されました。

中国数千年の東洋医学、最先端のガン治療がテーマ。ふだんは聞くことができない専門家の話に、多数の市民の方が熱心に耳を傾けていました。健康にまつわる話だけに、関心も高かったようです。次回のご案内をお楽しみに。

プログラム紹介

光で癌を見つけ、退治しよう

～光線力学的癌診断、治療の先端研究

李黎明（本学専任講師）

癌は人間最大の脅威。これまでの化学、放射線、外科切除療法は、いずれも正常細胞も攻撃し、体にダメージを与えるなど、大きな副作用が問題でした。このため、光の技術を利用して、癌細胞だけを殺傷する光線力学診断・治療法が注目されています。資料や臨床映像を用いて、わかりやすく解説します。

人体の小宇宙・気・医食同源

～東洋医学の身体観と健康法

王建康（本学助教授）

健康維持は現代人の最大関心事。本講座は今も中国人の日常生活で活用されている、数千年の試行錯誤で創出した、東洋独特の医学知識・健康法について、資料を用いて解説します。自然と生命、気功、漢方、薬膳…。話題の「未病学」、その原点を探ります。



アスベスト問題について

全国でアスベスト被害が、大きな社会問題化しているのは周知の通り。本学でも学生の安全に万全を期し、建設業者に調査を依頼しました。その結果、問題はなし。ご安心ください。

奨学金制度の創設を検討

福永宗碧さんから100万円寄付

平成17年12月15日、千歳市の福永宗碧さんから、「学生のために」と100万円の寄付が手渡されました。表千家茶道教授でもある福永さんは、本学の文芸部（茶道の部）講師を5年前から務められています。4年生になると忙しく、アルバイトもままならない学生の現状に、「少しでも助けになれば」と善意を寄せられたもの。本学ではご厚意をありがたく受け取り、奨学金制度の創設など、有効な使い道を検討すると同時に、寄付受付の体制も整備していきます。



人事異動

理事

退任	辻岡 昭 永利 久志	学校法人千歳科学技術大学・最高顧問へ (株)東急エージェンシー
就任	小糸 彰 斎藤 信男	(株)小糸製作所 慶應義塾大学

評議員

退任	小谷津孝明 柴田 稔久 富永 基 瀬本 正博 正木 宏生	学校法人千歳科学技術大学 日本アイ・ピー・エム(株) (株)じょうてつ (財)光産業技術振興協会 (株)ダイナックス
就任	赤羽 正雄 足立 憲三 伊藤 隆一 斎藤 信男 塚越 久光 福井 素子	セイコーエプソン(株) (株)ダイナックス (財)光産業技術振興協会 慶應義塾大学 (株)じょうてつ 日本アイ・ピー・エム(株)

CONTENTS

クローズアップCIST	1・2
教育・研究	3~5
就職・進学	6
CISTライフ	7
インフォメーション	8



開学10年目の飛躍、キーワードは「新」

平成20年4月に開学10周年を迎えたCIST。常に時代の先頭を歩んできましたが、より質の高い教育・研究を実現するために、さまざまな面で開学以来となる大改革を推進します。節目の年に心機一転、新しい姿に生まれ変わった、本学のさらなる活躍にどうぞご注目ください。

「新」学部・「新」学科への改編

めざましい発展を続ける世界の光産業市場。中心的な役割を果たす人材の育成には、教育・研究の新たな体制・体系が必要と判断しました。

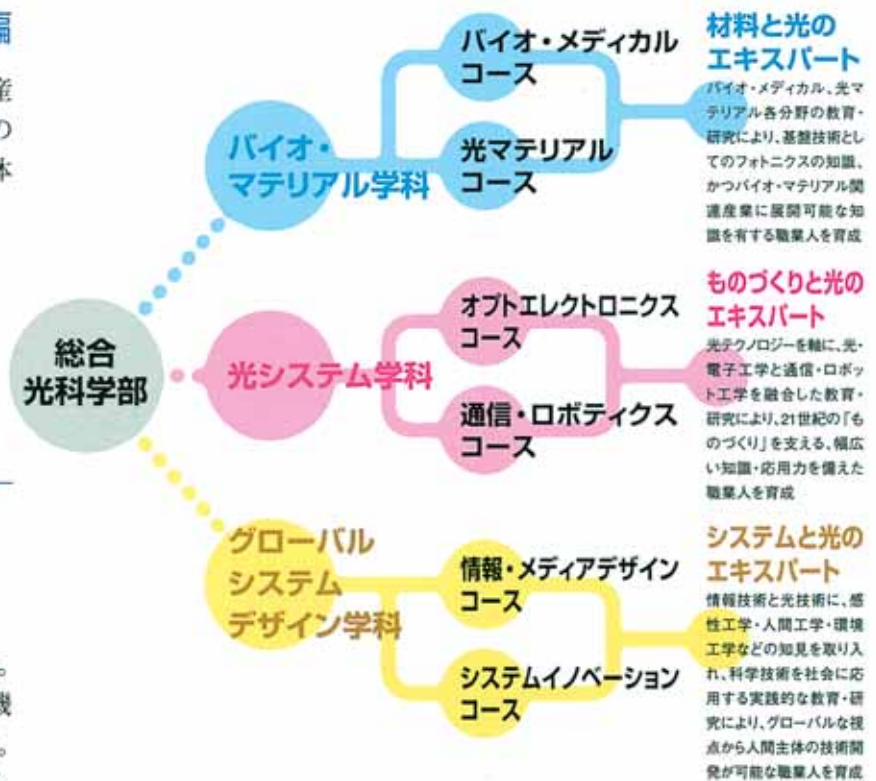
改編のポイント1(構成)

- 1学部2学科から
1学部3学科6コースに改編。
- 学部名を光科学部から
「総合光科学部」へ。

「新」棟建設

10周年記念棟

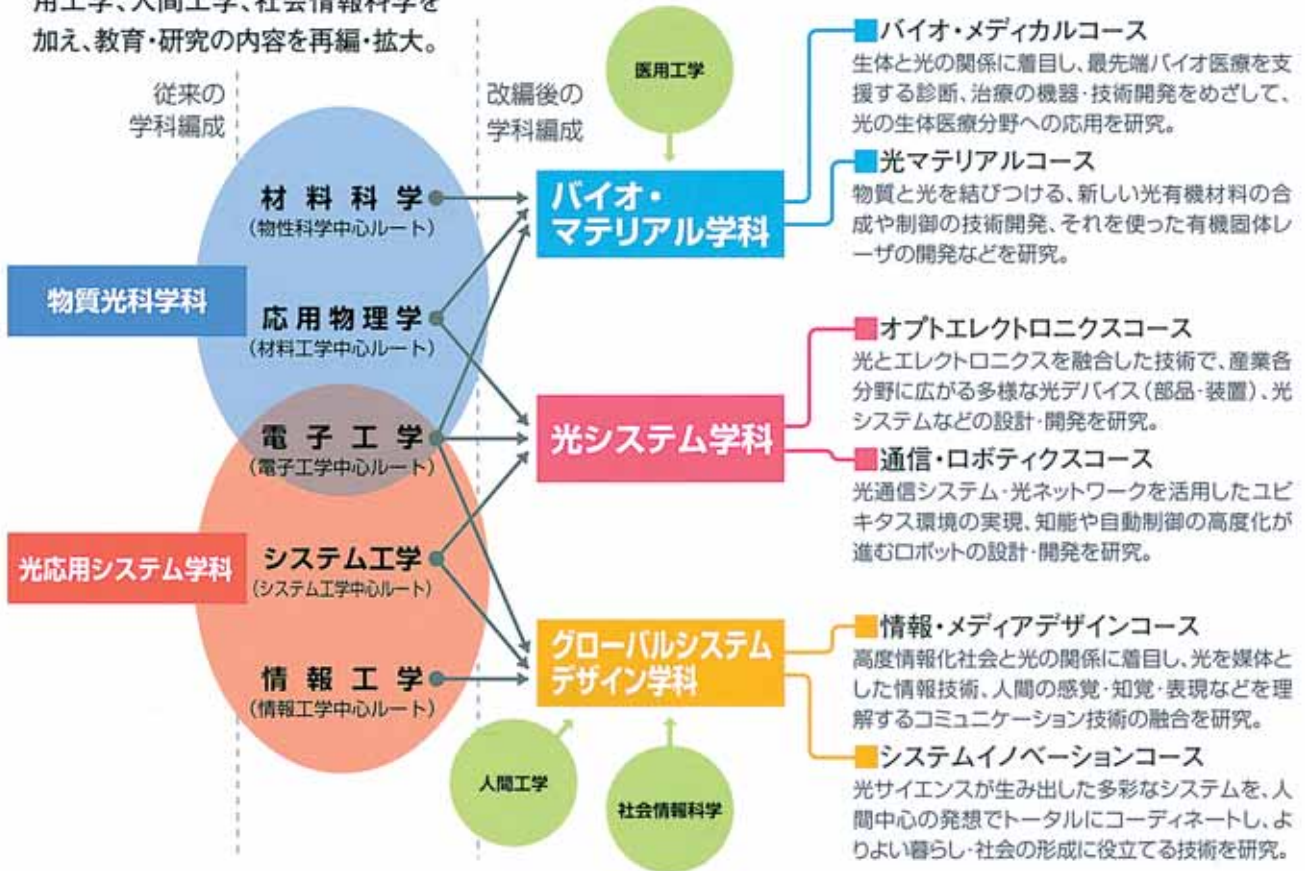
平成19年11月、無事竣工いたしました。本学の特徴である情報教育の先進機能を、重点的に強化・整備した施設です。コンピュータ実習、情報系プロジェクト教育、学生の学習サポート、eラーニング教育などで、大いに活用されることでしょう。



10周年記念棟(右側2階建ての建物)

改編のポイント2 (内容)

■ 光科学部でカバーしていた分野に医用工学、人間工学、社会情報科学を加え、教育・研究の内容を再編・拡大。



10周年記念棟

■概要

- 鉄筋コンクリート造、地上2階建て
- 延べ面積約2,120㎡

1F

学生ホール(売店、カウンセリングルーム、談話室、学生生活サポートルーム、スタッフルーム、保健室、事務室)

2F

メディアホール(コンピュータ教室2室、コンピュータラーニングルーム、プロジェクトルーム、メディア教育推進室)



News Flash

文部科学省の事業に採択されました! (平成19年度)

教育の充実・発展を図るため、文部科学省では各種事業を推進しています。それぞれ設定されたテーマについて、全国の教育機関などから、広く教育プロジェクトを公募。そのうち、特に優れた提案が選定・採択されるわけですが、かなりの狭き門となっています。

■先導的教育情報化推進プログラム

テーマ/ICT®活用を通じた横断的な機関・科目連携に基づく
理数系教育の実践と評価

※Information and Communication Technology (情報通信技術)の略。

■現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

テーマ/理工系学部での学習トレーサビリティ~理工系知識共有の
ためのICT教育システムの構築と社会への質保証の取組

申請・採択状況

	申請	採択
先導的教育情報化 推進プログラム	109	14(北海道では1校)
現代的教育ニーズ 取組支援プログラム(現代GP)	600	119(北海道では4校)

北星学園大学と共同研究協力協定を 締結しました!(平成19年6月)

目的/「eラーニングを活用した 新たな教育方法に関する共同研究」の推進

両大学は連携をとりながら、eラーニング教材の開発、および開発教材を活用した新たな教育方法の調査・研究を進めることになりました。双方の教育活動に多くの有益な効果をもたらす、と期待されています。

川瀬正明教授が春の紫綬褒章を 受章されました!(平成19年4月)

本学大学院研究科長・川瀬教授が、道内でただ一人、栄誉ある章を受章しました。心より、お祝い申し上げます。

【受章理由】

昭和56年ごろから10年間、光ファイバの研究に携わり、光ファイバ1000本収納(従来の10倍)の高密度通信ケーブルを開発。通信事業者と各家庭を結び、光ファイバ網整備に多大な貢献を果たした。

文科省事業関連

ICT活用教育研究フォーラム開催

ますます活発化する、本学のeラーニング教育。社会的な注目・評価が高いために、「いかに成果を還元するか」は重要な課題です。その一環として、関係者・専門家を招き、フォーラムを開催しました。「先導的教育情報化推進プログラム」、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」、両プロジェクトの取り組みなどを公開。会場では講演や事例発表に、熱心に耳を傾ける姿が見られました。

●日時 平成20年2月23日(土)

●会場 本学本部棟

プログラム

第1部 先導的教育情報化推進プログラム

- 「小中高大連携に基づくICTを活用した理数系教育の取組」
今井順一氏(千歳科学技術大学講師)
- 中間成果報告(小・中学校の部)
「理科教材の研究開発」5校からの報告
- 事例報告(高等学校の部)
実践事例等5校からの報告

第2部 現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

- 基調講演「ICTを活用した教育の生産性向上の課題」
斎藤信男氏(駒澤大学教授 グローバルメディアスタディーズ学部長)
- 「理工系学部における知識マップの構築」
川瀬正明氏(千歳科学技術大学教授 大学院光科学研究科長)
- 「理工系学部での学習トレーサビリティの取組」
小松川浩氏(千歳科学技術大学教授 情報・メディア教育センター長)

サイエンス・パートナーシップ・ プロジェクト(SPP)

中学校で学ぶ光の基本現象と、最先端の光技術との関連を、講義・実験を通じて学習。光の基本性質、生活の中の光技術について理解を深めました。

■日時 平成19年9月3日(月)・

4日(火)・5日(水)・7日(金)

■会場 本学研究・実験棟、大学院棟、本部棟、
千歳中学校体育館

■受講者 千歳中学校1年生

■テーマ 「光サイエンス入門」

日本で世界で注目 教員の研究活動

第7回インターナショナルポリマーワークショップ
(フランス・アンジェ市) / 平成19年6月14～15日

小林壯一教授が講演者として招かれ、「ポリマー光導波路」をテーマに講演。

インターオプト'07 (千葉県千葉市) / 平成19年7月11～13日
石田宏司教授が「光産業の最新動向」についてセミナー発表。

nano tech 2008 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
(東京都江東区) / 平成20年2月13～15日

ナノテクノロジー・ネットワークプロジェクト(文部科学省事業)の発表に本学が参加。カートハウス・オラフ教授が本学の活動状況などを報告、坂井賢一講師がブースでの説明を担当しました。

第12回おおた工業フェア (東京都大田区) / 平成20年2月14～16日
小林壯一教授と小林研究室が「光ファイバ振動センサー」を出展。

光サイエンスの国際会議 第8回千歳光科学国際フォーラム(CIF'8)開催



基調講演



学生によるポスターセッション

光サイエンスを研究する、トップクラスの専門家たちが、世界中から集まる一大イベント。本学を舞台に毎年開かれています。その国際会議に本学学生も参加しています。聴講するだけでなく、ポスターセッションなど学生自ら発表する機会も。他大学ではなかなか経験できない、研究者・技術者としての素養を磨く2日間といえます。

■日時 平成19年11月29日(木)・30日(金)

■会場 本学本部棟

■テーマ 「Optical Materials and Devices New Stage」

【プログラム】

29日

●基調講演「The Dawn of Printable Flexible Optoelectronics」
バーナード・キッペレン氏(アメリカ・ジョージア工科大学教授)

●基調講演「Fundamentals of Photonics Polymer and their Applications」
小池康博氏(慶應義塾大学理工学部教授・慶應義塾先端科学技術研究センター所長)

●セッション1 Optical Materials

●セッション2 Optical Devices (1)

●ポスターセッション

30日

●セッション3 Optical Systems

●セッション4 Optical Devices (2)

●ポスターセッション ●学生表彰

平成19年度佐々木記念賞

■受賞式 平成19年10月9日(火)

※本学の開学に尽力した、初代学長・佐々木敬介氏(1936～1998)の業績を記念して、平成10年に創設された。毎年4名の学部生、2名の大学院生を表彰し、表彰状と奨学金を贈呈している。

今年は以下の方が受賞されました。これを励みに、いっそうの精進を期待します。皆さん、おめでとうございます!



左から雀部学長、岡田君、福田君、佐藤さん、川原君(理工工房代表)、西出君、松原君
学部2・3年生の学業成績優秀者に贈る

奨励賞

岡田 孟矩君 物質光科学科3年

福田 智之君 光応用システム学科3年

クラブ活動や学外活動において、全学生の模範となる者に贈る

貢献賞

佐藤 加那子さん 物質光科学科4年(文芸部)
理工工房

大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績をあげた者に贈る

学術賞

西出 順一君 光科学研究科光科学専攻 博士後期課程3年生

松原 悠平君 光科学研究科光科学専攻 博士前期課程1年生

平成19年度学生表彰

学業や研究活動などで、優秀な成果をあげた卒業生を、学位記授与式で表彰します。

4年間の学業成績優秀者に贈る
優良賞

佐藤 加那子さん 物質光科学科4年

田中 俊輔君 物質光科学科4年

石川 智也君 光応用システム学科4年

石橋 克也君 光応用システム学科4年

研究活動や課外活動において、功績をあげた者に贈る
善行賞

秋山 慶造君 光応用システム学科4年

【受賞理由】

●本学ホームページ(英語版)改訂に際し、学生チームリーダーとして活躍。プロジェクト終了後も、長期にわたりボランティアで技術サポートに携わった。

レベルの高さに目を見張る 平成19年度卒業研究発表

■物質光科学科

平成20年2月7日(木)

■光応用システム学科

平成19年12月14日(金)・平成20年1月17日(木)

4年次の1年間を費やして打ち込んだ、いわば大学生活の総仕上げ。それだけに、どれもレベルが高く、すばらしい発表が続きました。学部生でも研究を学会で発表する、特許を取得するなど、努力次第では大学院クラスの活躍も可能です。本学の学びが、それを後押しします。

世界に挑戦するCISTの底力 平成19年度学位論文発表会

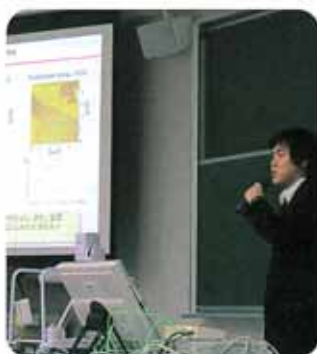
■大学院博士前期課程

平成20年

2月18日(月)・19日(火)

■大学院博士後期課程

平成20年2月4日(月)



大学院博士前期課程

氏名	修士論文タイトル
阿部 雅宏	希土類を添加した酸化ストロンチウム発光性の研究
上野 春毅	知的教授支援のための協調エージェントに関する研究
海老江邦敬	WDMネットワーク用OTDRに関する研究
遠藤 海平	多波長光源を用いたアクセス系WDMシステムの研究
加藤 隼	TiO ₂ 結晶の多段コヒーレント・アンチストークスラマン散乱
河崎 拓也	ポリジアセチレンを用いた有機FETに関する研究 ～側鎖アルキル長依存性とAmbipolar特性
木村 悟士	光機力学的治療法による一重項酸素の生成と細胞障害効果の研究
久保田直人	赤外線吸収スペクトルと蛍光イメージングによる光感受性物質Telaporfinの研究
小林 正和	義務教育での教科・総合学習環境に向けたICT教育システムに関する研究
齋藤健太郎	LiNbO ₃ 結晶等の倍及び3倍高調波発生と多段コヒーレント・アンチストークスラマン散乱
佐藤 秀	デジタルペンによる詳細な学習プロセス把握を可能とするICT教育システムに関する研究
清水 博之	ビジュアルフィードバックに基づくロボット車椅子のモーション制御
砂原 悟	知識データベースの動的生成モデルに基づく知的学習支援システムに関する研究
高橋 辰徳	eラーニング学習における自己組織化マップを利用した属性自動抽出アルゴリズムの開発

氏名	修士論文タイトル
中根 浩	構造変形を考慮した二足歩行ロボットの安定化制御
中原 誠	有機半導体中の不純物準位に関する研究
成澤 早紀	光機能デバイスの実現に向けた色素ドープDNA・脂質複合体の光学特性に関する基礎的研究
長谷川智一	チャープグレーティングを用いた固体化色素レーザーデバイスの作製
三浦 一乗	モアレグレーティングの作製とDFBレーザーへの応用
茂木 正憲	知識トレースのための学習カルテに関する研究
米田 毅浩	Javaプログラミング単位認定型e-Learning授業に関する一考察
和田 真廣	DNAを用いた新規光機能性材料の創製

大学院博士後期課程

氏名	博士論文タイトル
川西 雪也	A Case Study of Web-Based Learning in Higher Education - Instructional Design and Implementation using Digital Pens 「大学教育におけるe-Learning 活用に関する実証研究～デジタルペンの活用と教育デザイン」
西出 順一	Study on Polymeric Devices - Development of Polymer FET and Photorefractive Device 「高分子のデバイス化に関する研究～高分子FET及びフォトリフラクティブ素子の開発」

キャリアアップ。 理工工房プロジェクト

※カリキュラムを除く、本学独特の学びの総称。自由参加型、公募・プロジェクト型があり、理工工房は後者に属する。



子どもをはじめ多くの人に、科学の面白さを伝える活動に取り組みます。

- 小・中学校で出前授業やサイエンス実験の実施
- 小・中学生向け実験教材の開発

平成19年度実験デモンストレーション 主な実績 ※は本学で実施

5月	丹羽高校(愛知)*	10月	科学の祭典・北海道大会(小樽)千歳小
6月	科学の祭典・札幌南大会 緑小・支笏湖小	11月	緑小
7月	千歳小 光陵中学(岩見沢)	12月	科学の祭典・千歳大会
8月	科学の祭典(札幌清田大会・小樽大会・札幌手稲大会) 札幌開成高校(札幌)* 旭川北高校(旭川)	2月	大川小(余市)緑小* 新札幌・青少年科学館
9月	千歳中学校(SPP) 積輝祭(本学大学祭)* 札幌開成高校(札幌)*	3月	千歳小*

就職・進学

平成19年度卒業者の進路状況(3/1現在)

本学は「就職に強い大学」として、北海道・全国で常にトップクラスの評価を得ています。それは本学が確かな教育力、効果的な就職活動支援で、すぐれた学生を送り出している証。「光」の時代を見通せる人材が、のどから手がでるほど欲しい企業にとって、CIST生は魅力的な存在なのです。

内定者数 192名

就職率 98.0%

※就職率=就職決定者÷就職希望者

求人社数 1,892社



主な内定先 ※大学院生含む

●ADEKA ●KSK ●NTTエレクトロニクス●USEN ●VSN ●旭情報サービス ●アルファシステムズ ●アルプス電気 ●インターネットイニシアティブ ●エヌ・ティ・ティエムイー ●オプト・システム ●オリンパス ●カテナ ●キャノン ●キャノンシステムアンドサポート ●協和エクシオ ●江東電気 ●サンデン ●シスウェーブ ●スタンレー電気 ●住電ハイプレシジョン●住友大阪セメント ●セイコーエプソン ●総合警備保障 ●大日本印刷 ●ダイワボウ情報システム ●ディスコ ●つうけん ●東京通建 ●トヨクニ電線 ●日本コムシス●日本証券テクノロジー ●日立コンピュータ機器 ●日立製作所 ●日立ソフトウェアエンジニアリング ●富士電機ホールディングス ●ミネベア ●メイテック ●ルネサス北日本セミコンダクタ ●矢崎総業 など

進学大学院(3/1現在)

合格者数 27名

●千歳科学技術大学 ●北海道大学 ●東京工業大学 ●北陸先端科学技術大学院大学

就職指導スケジュール

第1・2学年

4・10月 低学年ガイダンス

第3学年

4月 第1回就職ガイダンス
インターンシップ・ガイダンス

5月 第2回就職ガイダンス

6月 インターンシップ事前研修

7月 第3回就職ガイダンス

8月 インターンシップ実施

9月 進路調査票提出

10月 個人面談
インターンシップ事後研修

11月 就職マナー講座

12月 第4回・第5回就職ガイダンス
キックオフガイダンス
学校推薦説明会

1月 第6回就職ガイダンス
OBガイダンス
就職模擬試験

2月 学内企業説明会(就職セミナー)

3月 就職希望調査提出
個人面談
学校推薦者決定
企業の採用試験開始

第4学年

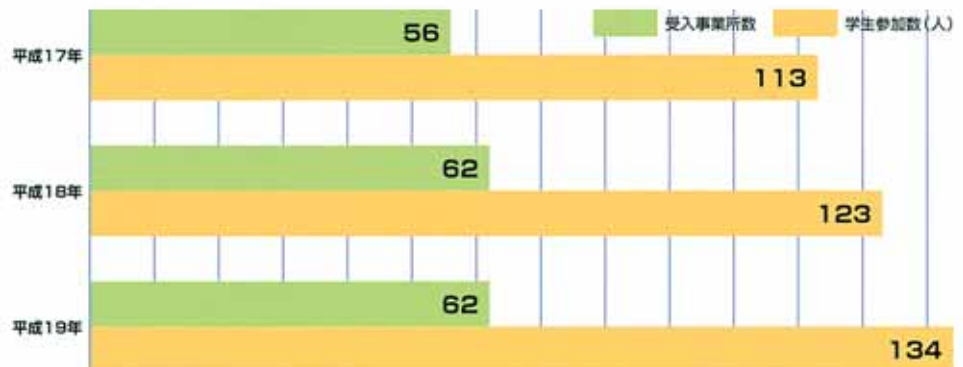
4月~ 公務員試験説明会
学生への個別対応(内定までのサポート)

6月 進路未決定者ガイダンス

12月 特別就職ガイダンス

単位認定される就業体験 インターンシップ

夏休み中に1~2週間の研修を受け、企業現場を体験する選択科目。年々希望者が増え、昨年は約6割の学生が参加しました。貴重な就業機会を体験できる場として、進路選択に役立っています。





平成19年度キャンパス・カレンダー (平成19年4月～平成20年3月)



平成19年度クラブ活動実績

バレーボール部

北海道大学バレーボールリーグ(春季大会)
男子6部・Bブロック2位
北海道大学バレーボールリーグ(秋季大会)
男子6部・Bブロック2位

軽音楽部

「FM大学LIVEバトル!2」出演
(NHK-FM・フレッシュサウンド北海道)

バドミントン部

北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会
男子4部・Bブロック3位
北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会
男子4部・Bブロック3位

弓道部

北海道地区大学体育大会
男子団体4位

YOSAKOIソーラン部

YOSAKOIソーラン祭 敢闘賞
千歳トーナメント ベスト16
空知支部大会 準大賞(2位)

バスケットボール部

北海道バスケットボール選手権大会
男子4部3位

硬式テニス部

全日本学生テニス選手権大会(夏大)
北海道地区予選通過、本戦出場



「市民公開講座」に出かけてみませんか？

異文化の視点で日本の教育・研究を分析、そして最先端の情報技術をわかりやすく語ります。講義とはひと味違う雰囲気、知的冒険をお楽しみください。学ぶ意欲を眠らせないために、一度のぞいてみてはいかがでしょうか。

■日時 平成20年3月22日(土)
14:00～16:00(13:40開場)

■会場 本学本部棟 大講義室

■参加費 無料

※事前の申し込みは不要です。会場に直接お越しください。

プログラム

第1部(14:00～15:00)

学ぶ力はどこから？

～ドイツ人から見た日本の教育・研究



カートハウス・オラフ氏
(千歳科学技術大学教授)
専門分野/非線形光学材料のナノ結晶化、
有機発光ダイオードの作製など

第2部(15:00～16:00)

情報技術で生活はどう変わる？

～身の回りのデジタルとブロードバンド



川瀬正明氏
(千歳科学技術大学教授)
専門分野/光ファイバ基本特性、光ファイ
バ応用システム、光通信システムなど

平成19年度

第4回オープンキャンパスのお知らせ

新学部・新学科の全貌、就職絶好調の秘密など、プログラムは盛りだくさん。10周年記念棟もいち早く見学できます。高校生・ご父兄の皆さん、春休みはぜひCISTのオープンキャンパスへ！多数のご参加、お待ちしております。

■日時 平成20年3月22日(土) 10:00開始～15:00終了

■受付 本学本部棟(9:30より)

■会場 本学本部棟、研究・実験棟、10周年記念棟

■対象 高校1・2年生、保護者、地域の方

オープンキャンパスプログラム

本部棟

- 大学紹介
- 10周年記念棟見学ツアー
- 大学ランチ試食会

研究・実験棟

- 研究室見学ツアー
- 研究室フリーツアー
- 個別相談会



会場までのアクセス

無料送迎シャトルバス

JR千歳駅、JR南千歳駅から無料シャトルバスが出ています。

※事前の申し込みは不要です。

※乗り場・時刻表は、チラシ・本学ホームページでご確認ください。

無料送迎バス

※乗り場・時刻表は、チラシ・本学ホームページでご確認ください。

旭川方面

● 3月21日(金) …JR旭川駅→本学

● 3月22日(土) …本学→JR旭川駅

札幌・新札幌方面

● 3月22日(土) …JR札幌駅 ↔ JR新札幌駅 ↔ 本学

【特別企画】無料宿泊体験

遠方から参加する方のためにご用意しました。

● 宿泊日(1泊2日) …3月21日(金)

● 無料(夕・朝食付)

● 宿泊先…「シェルブルー千歳」(本学指定学生会館)

詳細は本学ホームページ、または入試広報課
(0123-27-6011, nyushi@guppy.chitose.ac.jp)
までお問い合わせください。

千歳科学技術大学報

CONTENTS

学長あいさつ・新学部新学科	1
大学間連携・高大連携	2
教育・研究	3~5
就職・進学	6
CISTライフ	7
イベント・法人情報	8

vol.21 平成21年3月10日

発行/学校法人千歳科学技術大学学報編集班
千歳市美々758番地65 電話 0123-27-6001

ホームページ <http://www.chitose.ac.jp>

モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

Best Care, Best Success

開学10周年を機に、昨年、学問領域の既成概念を超えて学部学科を改編。
新しい時代へと踏み出したCISTは、これからも大学教育のBESTを追求していきます。



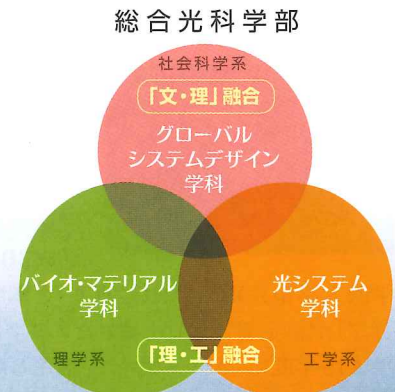
■千歳科学技術大学報・学長メッセージ

千歳科学技術大学のモットーは「Best Care, Best Success」です。学生の自主性を第一に、一人ひとりが活躍できる環境を大切にし、教職員が一体となって学生の教育・研究指導、生活支援に取り組んでいます。入学したばかりの1年次学生の頼りなげな姿は日を追うごとにたくましさを増し、基礎学力とともに社会人基礎力を具えた教養人へと成長していく姿を見ることは教育者冥利に尽きるものです。今年度1年間を振り返ってみても、モットー実現に向けたいろいろな事業が展開されてきました。今後も皆様方の温かいご支援を賜りつつ、本学の発展に邁進いたします。

千歳科学技術大学学長 雀部 博之

■新しい学部学科構成に生まれ変わりました

平成20年4月、本学は次の時代を見すえた新しい3学科構成に改組しました。「バイオ・マテリアル学科」は理学を基礎として、光を通して医療応用や新素材について学びます。「光システム学科」は工学をベースに、光を通して電子機器や通信、ロボット技術について学びます。「グローバルシステムデザイン学科」は情報システムをコア科目とし、社会のさまざまな問題を技術とコミュニケーションを用いて解決する課題解決型の人間を育成します。



Cooperation

【大学間連携・高大連携】

4大学連携でのeラーニングによる 教員免許状更新講習(KAGAC)を実施します

千歳科学技術大学は、金沢大学・東京学芸大学・愛知教育大学と連携し、eラーニングによる教員免許状の講習を全国に向けて展開します。私立・国立連携による取組は、全国初となります。本学からは、平成21年度は、グローバルシステムデザイン学科の吉田淳一（光工学）・小松川浩（情報システム学）・今井順一（教育工学）先生がeラーニング教材を提供します。なおeラーニング教材については、本学の情報系のプロジェクト教育に参加する学生によって開発されたものが採用されています。

KAGACという命名は、
金沢大学 (Kanazawa University)、
愛知教育大学 (Aichi University of Education)、
東京学芸大学 (Tokyo Gakugei University)、
千歳科学技術大学 (Chitose Institute of Science and Technology)
の4大学の名前から取りました。



平成20年度・文部科学省 「戦略的大学連携支援事業」に採択されました

平成20年度・文部科学省「戦略的大学連携支援事業」に、本学が札幌医科大学、室蘭工業大学、小樽商科大学、北海道医療大学と共同で申請した「北海道の地域医療の新展開を目指した異分野大学院連携教育プログラムによる人材育成」が選定されました。医療の基礎を有する技術者・経営者、情報・工学及び経営に精通した高度専門職業人の育成を目指します。



北星学園大学と「連携・協力に関する 包括的協定」を調印しました



本学は、北星学園大学と教育・研究の全般にわたって、人・技術・情報の連携・協力を両大学間で取り組む包括協定を締結するため、平成20年11月21日に北星

学園大学金井新二学長(写真右)と本学雀部博之学長(写真左)が協定書に調印しました。本学は、北星学園大学と平成19年度に「eラーニングを活用した新たな教育方法に関する共同研究」に関する共同研究協定書を取り交わしておりますが、両大学各分野の教育・研究において相互交流をとって連携・協力することにより、両大学の教育・研究上の目標を達成し、相互の発展に資することを目的に、包括的協定の締結を行いました。

北海道に広がるe-ラーニングシステム 高大連携・協力協定校

本学では、独自に開発したeラーニング教材を活用した新しい教育システムの確立と普及を進めています。平成15年度から千歳市教育委員会、道内高等学校、特別支援学校と連携・協力協定を締結し、平成21年2月末現在、道内23の高等学校で学生の基礎学力向上をサポートしています。コンテンツには、数学、物理、化学、情報、英語が用意されており、内容を充実させるために連携校の高校教員、他大学教員、本学教職員、学生による「ICT活用教育研究会」が毎月開催され、活発な活動を行っています。

高大連携・協定締結の状況

締結日	締結校
平成15年2月19日	北海道札幌稲雲高等学校
平成17年4月18日	北海道小樽桜陽高等学校
平成17年6月1日	北海道札幌藻岩高等学校
平成17年6月22日	北海道木古内高等学校
平成17年7月20日	駒澤大学附属岩見沢高等学校
平成17年9月28日	北海道札幌旭丘高等学校
平成17年10月17日	北海道静内高等学校
平成17年12月1日	北海道鹿追高等学校
平成18年6月28日	北海道八雲養護学校
平成18年9月25日	北海道平取高等学校
平成18年10月2日	北海道札幌新川高等学校
平成19年3月20日	北海道札幌厚別高等学校
平成19年4月27日	北海道南茅部高等学校
平成20年3月13日	北海道釧路明輝高等学校
平成20年3月13日	北海道尚志学園高等学校
平成20年3月19日	北海道札幌拓北高等学校
平成20年3月26日	北海道伊達緑丘高等学校
平成20年4月26日	旭川実業高等学校
平成20年5月23日	北海道知内高等学校
平成20年6月17日	北海道札幌丘珠高等学校
平成20年8月7日	北海道常呂高等学校
平成20年10月16日	北海道熊石高等学校
平成20年12月25日	北海道千歳北陽高等学校

文部科学省からも高い評価を受けている 教育支援システム

平成20年度・文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(略称:学生支援GP)」の選定結果が7月7日に発表され、本学が申請した「自ら成長する教養人の育成支援プログラム-アナログ・デジタル両手法を活用した成長度に応じた能動的キャリアアップ・人間力涵養システムへの変革」が選定されました。本取組は、本学において文部科学省から6件目に選定された教育プログラムであり、過去6件採択されている北海道内の私学は本学が唯一です。

新たな社会的ニーズに対応した 学生支援プログラム / 平成20年度

テーマ

自ら成長する教養人の育成支援プログラム～アナログ・デジタル両手法を活用した成長度に応じた能動的キャリアアップ・人間力涵養システムへの変革

取組の概要

学生にとって、基礎学力・専門知識に加え、職場や地域社会から求められる社会人基礎力を身につけることが本学の教育理念実現への道程であり、教員及び職員の指導・支援のもとに学生自らが能動的に行動し、真の教養人へと成長していくことが重要である。この課題に対し本申請では、在学年次を問わず学生個人の成長レベルに応じて、学生がキャリアアップを図りつつ様々な角度から自分自身を見つめ、社会ニーズを経験を通して理解する機会を与える。併せて個別対応を中心とした学生ニーズの把握とフォローアップによるフィードバックによって、総合的な人間力涵養に向けて成長する教養人として学生を育成することを目指している。具体的には、教職員との対話や社会人基礎力を養う表現力養成講座等のアナログ的手法と、ICT技術を活用した学習指導・支援(学生総合カルテ)やSNS同窓会等のデジタル的手法を併せて活用し、より効果的な学生支援システムへと展開する。

過年度に採択された教育プログラム

先導的教育情報化推進プログラム / 平成19年度

テーマ ICT活用を通じた横断的な機関・科目連携に基づく理数系教育の実践と評価

現代的教育ニーズ取組支援プログラム / 平成19年度

テーマ 理工系学部での学習トレーサビリティ～理工系知識共有のためのICT教育システムの構築と社会への質保証の取組

現代的教育ニーズ取組支援プログラム / 平成16年度 (2件採択)

テーマ 学生力を活用した理科eラーニング教材の開発～地域小中学校との連携による理科離れの抑制

テーマ 新たな情報キャリアアップ教育の実現～eラーニングを介した全学情報教育の共有

特色ある大学教育支援プログラム / 平成15年度

テーマ 知識を共有した効果的な授業の展開～高大連携によるeラーニング構築と教育現場での効果的活用

「情報プロジェクト」体験プログラム2008 を開催しました

8月6日より8月9日までの4日間、高大連携校の生徒を対象とし、本学の10周年記念棟コンピュータ教室で「情報プロジェクト」体験プログラム2008を開催し、北海道八雲養護学校の生徒2名を含む高大連携校9校より27名の参加がありました。



「大学eラーニング協議会」 設立記念フォーラムを開催しました

日本のeラーニングを先導的に推進している大学が集まり、教育・運用方法に関する知識交流を図りながら、緩やかな大学連携の在り方を検討する大学eラーニング協議会を設立し、2月6日に設立記念フォーラムを開催しました。今後は、eラーニングに関するノウハウ(知識)や、教育方法と密接に連携したFDの取組などを積極的に公開し、eラーニングを活用した効果的な授業展開や新たな教育方法の確立を検討していきます。また、具体的な知見を共有するための部会を設置して、各大学が保有する教材や運用システムの相互活用や、教育支援サービスに関する運用ノウハウの相互提供に関する検討も行っていきます。

■日時 平成21年2月6日(金) 16:00～17:00

■会場 千歳科学技術大学 本部棟

「ICT活用教育研究フォーラム」を 開催しました

文部科学省に採択されたICTの活用を通じた「先導的教育情報化推進プログラム」と、理工系学部でのトレーサビリティをテーマにした「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」両プロジェクトの平成20年度の取組成果を発表するフォーラムを開催しました。

■日時 平成21年2月7日(土) 10:00～15:00

■会場 千歳科学技術大学 本部棟

第9回千歳光科学国際フォーラム(CIF'9)を開催しました



平成20年10月23日(木)から25日(土)までの3日間、本学において9回目となる千歳光科学国際フォーラム「Chitose International Forum(CIF)」を「Korea-Japan Joint Forum(KJF)」と共同で開催し、国内外(日本180名、韓国140名、その他10名)から330名の研究者が集まりました。今回は、光・電子機能性材料を研究する日本と韓国の研究者が集い最新の情報交換や意見交換を行いました。

24日の基調講演では、2000年にノーベル化学賞を受賞したアラン J. ヒーガー博士(カリフォルニア大学サンタバーバラ校)と2007年に文化功労賞を受賞した国武豊喜博士が基調講演を行い、会議参加者をはじめ、本学学生など400名の方が講演に熱心に耳を傾けていました。また、23日と25日には25件の口頭発表と214件のポスターセッションが行われ、ポスターセッションでは日韓の学生を中心とする200名を超える若き研究者が研究内容をポスター掲示し、来訪した研究者と熱い議論を展開していました。

- 日時 平成20年10月23日(木)～25日(土)
- 会場 千歳科学技術大学

●基調講演:

テーマ 「Low Cost “Plastic” Solar Cells」
/ Alan J. Heeger 博士
(アメリカ・カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)

テーマ 「Fabrication and Hybridization of Giant Nanomembranes」
/ 国武 豊喜 博士
(財団法人北九州産業学術推進機構副理事長)

招待講演者

氏名(敬称略)	所属
Alan J. Heeger	カリフォルニア大学サンタバーバラ校
国武 豊喜	財団法人北九州産業学術推進機構 副理事長
筒井 哲夫	九州大学名誉教授
Jang-Joo Kim	ソウル大学校
Eun Jeong Jeong	サムスン総合技術院
松重 和美	京都大学大学院工学研究科 副学長
Jun Young Lee	成均館大学校
安達 千波矢	九州大学未来化学創造センター
Hyo Young Lee	韓国科学技術研究院
中西 八郎	東北大学多元物質科学研究所
Dong Hoon Choi	高麗大学校
橋本 和仁	東京大学大学院工学系研究科
Changjin Lee	韓国化学研究所
居城 邦治	北海道大学電子科学研究所

「光テクノロジー応用懇談会」で本学教員が講演しました

企業・専門家との技術交流を通して世界に誇れる技術の創出を目的とした光テクノロジー応用懇談会が開催され、本学の4人の教員が講演を行いました。

- 主催 特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)
- 共催 千歳科学技術大学

テーマ 「光パルスによる水面計測技術」

～機上搭載型近接光高度計を目指して～

講師 山林 由明 教授

- 日時 平成20年8月1日(金) 16:00～17:15
- 会場 千歳アルカディアプラザ多目的ホール

テーマ 「光技術とベンチャービジネス」

～光ファイバとその応用技術～

講師 小林 壮一 教授

- 日時 平成20年9月26日(金) 16:00～17:15
- 会場 千歳科学技術大学 大学院棟

テーマ 「医療における光テクノロジーの応用 兼ねて中国の光医療産業と市場について」

講師 李 黎明 准教授

- 日時 平成20年11月27日(木) 16:00～17:50
- 会場 千歳アルカディアプラザ多目的ホール

テーマ 「有機エレクトロニクスやフォトニクス デバイスのマイクロパターン化」

講師 オラフ・カートハウス 教授

- 日時 平成21年2月10日(火) 14:30～15:10
- 会場 千歳科学技術大学 本部棟

「CIST科学技術展示フェア2009」を開催しました

千歳市内及び近郊の地域企業との技術情報交流の場を設け、技術開発や新技術導入の促進に寄与することを目的とした、「CIST科学技術展示フェア2009」を開催しました。当日は、近隣企業10社と本学の15研究室が展示を行い、約500名の来場がありました。



- 日時 平成21年2月10日(火) 13:30～16:30
- 会場 千歳科学技術大学 本部棟

平成20年度佐々木記念賞 ※

■受賞式 平成20年10月3日(金)

※ 本学の開学に尽力した、初代学長・佐々木敬介氏 (1936～1998) の業績を記念し、平成10年に創設されました。科学技術教育に力を注いだ氏の意志を継ぎ、優秀な研究者の育成、学生の諸活動の応援を目的としています。

今年は以下の方が受賞されました。皆さんおめでとうございます!!



左から雀部学長、阿部さん、福田さん、須藤さん、木村さん(YOSAKOIソーラン部)、本多さん

奨励賞 学部2・3年生の学業成績優秀者に贈呈

- 阿部 祐樹さん(物質光科学科3年)
- 福田 裕士さん(光応用システム学科3年)
- 須藤 あすかさん(光応用システム学科3年)

貢献賞 クラブ活動や学外活動において功績があった者に贈呈

- YOSAKOIソーラン部

学術賞 大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

- 本多 真由子さん(光科学研究科博士前期2年)

花村教授に名誉教授の称号が授与されました

平成20年3月に定年により退任された花村榮一教授に本学学長より名誉教授の称号記(盾)が授与されました。本学では、緒方直哉名誉教授(H14年)、川合敏雄名誉教授(H14年)、三戸慶一名誉教授(H19年)に続き4人目の授与となります。



吉田教授に電子情報通信学会フェロウの称号が贈呈されました

グローバルシステムデザイン学科の吉田淳一教授に電子情報通信学会からフェロウの称号が贈呈されました。電子情報通信学会フェロウは、「学会への貢献が大でかつ学問・技術または関連する事業に関して功績が認められる正会員に対して贈呈される称号」です。吉田教授は、『通信用光半導体デバイスの研究開発と国際標準化への貢献』が認められて授与されました。本学では、雀部博之学長(H12年)、川瀬正明教授(H14年)に続き、3人目の授与となります。



小形さん(光科学研究科)が教育システム情報学会で優秀発表賞を受賞しました

本学大学院、小形淳さん(光科学研究科博士前期2年)が、教育システム情報学会学生・院生研究発表会、優秀発表賞を受賞しました。受賞した研究テーマは、インテリジェントシステムに関する教育応用についての研究で、具体的には、学習支援を目的とした知識ベースの自動生成に関する研究を行った成果に対する受賞となりました。教育システム情報学会は、日本のeラーニングシステムに関する権威ある学会で、その学会に参加する全国の大学の学生研究者の中でも、特に優秀な研究成果として認められました。



平成20年度学位論文テーマ

博士前期課程

氏名	論文タイトル(和文)
石黒 匠	外部共振器型チューナブルレーザ用ポリシラン光導波路グレーティング作製法の研究
市川 智也	強化学習アルゴリズムによるコース学習支援エージェントに関する研究
伊藤 大志	固体化色素レーザーの短パルス化に関する研究
岩館 浩希	波長可変光源を用いたWDMスイッチングネットワークの構成と特性に関する研究
小形 淳	eラーニングシステムにおける知識データベースの生成モデルに関する研究
梶川 寛幸	光線力学的治療(PDT)におけるフェムト秒光源の研究
加藤 尚斗	光インターコネクション用フレキシブル多チャンネル光導波路作製の研究
佐藤 卓	WDM用スペクトルスライス光源の雑音特性に関する研究
夢田 量宏	フォトニック結晶ファイバーから発生した基本ソリトンパルスを用いた広帯域コヒーレントアンチストークスラマン散乱顕微分光法
田中 瑛祥	高効率・高利得を目指した有機フォトリラクティブ材料に関する研究
丹野 宏昭	非線形光学結晶b-BaB ₂ O ₄ の熱光分散式とその応用
永瀬 亮介	レーザー励起による光感受性物質Talaporfinの細胞障害効果と治療メカニズムの研究
中田 悠	スペクトルスライス光源を用いたWDMアクセスネットワークの分散特性に関する研究
本多 真由子	水溶性色素とDNA脂質複合体薄膜を用いたレーザーの検討
松原 悠平	フォトニック結晶ファイバ作製法の研究
丸田 和弘	開放知識を用いた音声対話型インターフェースエージェントの研究
山川 耕平	自律的な学習に向けたeラーニングシステムのコースウェアに関する研究
山本 裕章	多波長同時発振DFB固体化色素レーザーに関する研究

博士後期課程

氏名	論文タイトル(和文)
白銀 玲	光感受性物質Talaporfinの光物性・レーザー光の組織透過性と癌細胞の自家蛍光の研究
小田 久哉	2次元AlGaAs系フォトニック結晶スラブ線欠陥導波路の非線形光学特性の研究
中井 直也	回折格子を用いた新機能固体化色素レーザーの研究

Course

[就職・進学]

平成20年度卒業者の進路状況(平成21年1月末現在)

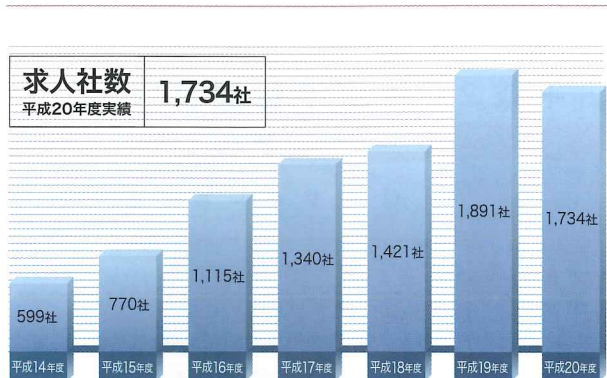
本学は「就職に強い大学」として、北海道・全国で常にトップクラスの評価を得ています。それは本学が確かな教育力、効果的な就職活動支援で、すぐれた学生を送り出している証。「光」の時代を見通せる人材が、のどから手がでるほど欲しい企業にとって、CIST生は魅力的な存在なのです。

内定者数 173名

就職率 92.0%

※就職率=就職決定者÷就職希望者

求人社数 1,734社



主な内定先 平成20年度卒業生実績(五十音順)

●ADEKA●KDDI●NTTエレクトロニクス●NTTワールドエンジニアリングマリノ●VSN●アルトナー●アルファシステムズ●アルプス技研●アルプス電気●インターネットイニシアティブ●ウシオ電機●応用医学研究所●岡谷電機産業●協栄産業●協和エクシオ●サンデン●シーエスアイ●住友大阪セメント●セイコーエプソン●総合警備保障●ソニーイーエムシーエス●大日本印刷●つうけん●つうけんアドバンスシステム●ツルハ●デンソーエレクトロニクス●東日本三電線●東芝ソリューション●トヨクニ電線●トランスコスモス●日商エレクトロニクス●日星電気●日本精機●日本電設工業●日本マイクロニクス●日立グローバルストレージテクノロジーズ●日立コミュニケーションテクノロジー●日立情報システムズ●日立製作所●日立ソフトウェアエンジニアリング●日立メディコ●富士電機システムズ●富士電機デバイステクノロジー●扶桑薬品工業●古河総合設備●北星学園●三菱電機ビルテクノサービス●ミネベア●ルネサス●北日本セミコンダクタ●矢崎総業 など

大学院進学先

平成20年度卒業生実績(五十音順)

合格者数 29名

- 慶應義塾大学
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 千歳科学技術大学
- 北海道大学

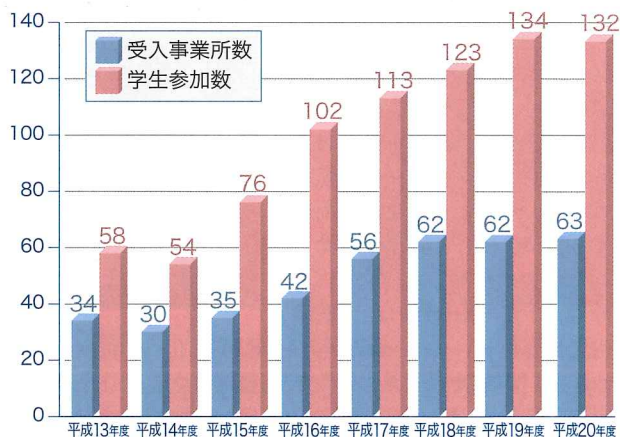
就職指導スケジュール

第1・第2学年	
10月	低学年ガイダンス
第3学年	
4月	第1回就職ガイダンス インターンシップ・ガイダンス
5月	第2回就職ガイダンス
6月	インターンシップ事前研修
7月	第3回就職ガイダンス
8月	インターンシップ実施
9月	進路調査票提出
10月	個人面談 インターンシップ事後研修
11月	就職マナー講座
12月	第4回・第5回就職ガイダンス キックオフガイダンス 学校推薦説明会
1月	第6回就職ガイダンス OBガイダンス 就職模擬試験
2月	学内企業研究セミナー
3月	就職希望調査提出 個人面談 学校推薦者決定 企業の採用試験開始
第4学年	
4月	公務員試験説明会 学生への個別対応(内定までのサポート)
12月	特別就職ガイダンス

インターンシップ

第3学年の夏休み中、2週間程度インターンシップ(就業体験)を実施しています。近年は学生の約半数が参加しており、受け入れ企業は千歳・札幌近郊、本州と広い範囲にわたり、業種もさまざまです。インターンシップは全国的に広がっており、本学学生の受け入れ企業の数も徐々に増えています。

インターンシップ参加学生と受入事業所



キャンパスカレンダー

<p>4・5月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●入学式 ●オリエンテーション(1年生) ●ガイダンス(2~4年生) ●春学期開講 ●定期健康診断 ●履修登録 	<p>6月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●開校記念日 ●第1回オープンキャンパス 	<p>7月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●春学期定期試験 ●春学期授業終了 	<p>8月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●夏期休業 ●インターンシップ(第3学年) ●第2回オープンキャンパス 	<p>9月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●秋学期開講 ●光の記念日 ●稜輝祭 ●第3回オープンキャンパス
<p>10・11月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●成績通知(春学期分) ●佐々木記念賞授与式 ●千歳光科学国際フォーラム 	<p>12月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●冬期休業 	<p>1月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●秋学期定期試験 ●秋学期授業終了 	<p>2月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●春期休業 ●学内企業研究セミナー 	<p>3月</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●成績通知(秋学期分) ●学位記授与式 ●第4回オープンキャンパス

平成20年度主なクラブ活動実績

<p>YOSAKOIソーラン部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第17回YOSAKOIソーラン祭り 新人賞・敢闘賞 ●旭川大学 旭川女子短期大学「北辰祭」 準大賞 ●YOSAKOIソーラン祭上川中央支部大会 準大賞 ●千歳トーナメント祭 ベスト16 ●胆振千歳支部大会 準大賞 ●空知支部大会 滝川市長賞 	<p>テニス部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子6部リーグ 2位 	<p>弓道部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インカレ個人予選(弓道) 全国大会出場権獲得 ●全道学生弓道新人戦 個人6位
<p>カーリングサークル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーカーリング大会 予選Hブロック2位 (所属している苫小牧のチームで出場) 	<p>卓球サークル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全国ラジボール大会 出場 (予選Bリーグ戦ブロック2位) 	<p>尺八サークル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●芳游会 箏のしらべ 出場

理科工房

小中学校での理科実験授業や市内外での科学教室などを行っています

地域の小中学校での理科の実験授業や、千歳市内や近郊での科学教室などで、理科の面白さを伝えようという学生主体の活動が「理科工房」。子どもたちが楽しみながら参加できる実験内容を考え、実験器具を自作しています。「夕焼けって、どうして赤いの?」「糸でんわって、どうして声が伝わるの?」、そんな子どもたちの疑問を解決するため、日々工夫を重ねています。「理科工房」の実験に触れた子どもたちの中から、理科に興味を持ち、将来の最先端技術を担う人材が育つかも知れません。



平成20年度 実験デモンストレーション実績・予定

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●4月10日 「1学年交流会」グループ作業の企画立案・準備・実施 ●5月17日 あそびの日in千歳2008(泉沢小) ●6月21日 札幌平岡高校サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト ●6月21日 オープンキャンパス 実験デモ ●6月26日 緑小6年生実験授業 ●7月3日 千歳市学校適応指導教室「おあしす」見学学習 ●7月10日 千歳小6年生実験授業 ●7月13日 千歳市市制施行50周年記念メインイベント 科学体験コーナー ●8月3日 オープンキャンパス「子ども工作教室」 ●8月26日 祝梅小5年生PTA親子レクリエーション ●8月31日 科学の祭典・札幌北大会(札幌市下水道科学館) ●9月6日 科学の祭典・札幌手稲大会(北海道工業大) ●9月13日~14日 科学の祭典・北海道大会(札幌市青少年科学館) ●9月21日 ふるさとポケット ●10月1日~7日 千歳中学校1年生サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト ●10月11日 石狩市紅南小PTA研修行事 | <ul style="list-style-type: none"> ●10月18日 札幌開成高校1年生ブレ先端科学特論 ●10月18日 未来高分子教室 ●10月19日 JST地域科学技術理解増進活動推進事業 工作教室 ●11月9日 科学の祭典・千歳大会 ●11月13日 緑小6年生実験授業 ●11月20日 恵み野旭小5年2組PTA親子レクリエーション ●11月25日 NHK総合テレビ「まるごとニュース北海道」まるごとライブ ●12月6日 高大連携システムデザイン演習 ●12月13日 高大連携システムデザイン演習 ●12月19日 千歳小6年生対象実験授業 ●12月19日 恵庭北高校2年生 ●2月19日 緑小5年生実験授業 ●3月3日 千歳小5年生対象実験授業 ●3月7日 札幌市・青少年科学館「大学生による科学教室」 ●3月最終週 千歳市・ほくおう児童館「お楽しみ会」 |
|---|--|

Event [イベント]

「市民公開講座」に出かけてみませんか?

テーマ「光の世界で活躍する透明プラスチック」

映像などの情報を記録する光ディスクやインターネットなどの高速通信ネットワークを支える光ファイバーをはじめ透明プラスチックはいまや不可欠の素材。身近にある製品を例に知的冒険心を刺激します。

講師 谷尾 宜久 准教授

■日時 平成21年3月20日(金・祝)

12:00~12:50 ランチ試食会
13:00~14:00 公開講座

■会場 千歳科学技術大学 本部棟

■参加費 無料(無料送迎バス運行します。)

■申込期限 3月16日(月)まで

お問い合わせ 0123-27-6001 (企画総務課)

創立10周年記念式典・祝賀会を開催しました

平成20年6月6日(金)の本学開校記念日に、創立10周年記念式典・祝賀会を開催。300名近い参加者をお招きして式典は盛大に行われ、本学10年の歩み紹介や弦楽四重奏などの催しを交えた祝賀会も和やかにとり行われました。

平成20年度

「父母懇談会」を開催しました

在学生のご父母の皆様と大学との理解を深めるための父母懇談会が開催され、学習指導や就職、学生生活など幅広いテーマで有意義な時間を持ちました。

■日時 平成20年11月8日(土) 11:00~16:00

■会場 千歳科学技術大学 本部棟、研究実験棟

今、CISTが面白い!

3月20日(金・祝)オープンキャンパス開催

オープンキャンパスを3月20日(金・祝)に本学で開催します。開催において千歳市内のほか、札幌、新札幌、小樽、苫小牧、東室蘭、帯広、旭川から大学までの無料送迎バスを運行します。また、道内外の遠方よりご参加いただく方を対象に、千歳市内の大学指定学生会館「シェルブルー千歳」への無料宿泊体験をご用意しています。



■日時 平成21年3月20日(金・祝) 10:00~15:00

■受付 本学本部棟(9:30より受付)

■会場 本学本部棟、研究・実験棟、10周年記念棟

■対象 高校1・2年生、保護者、地域の方

会場までのアクセス

無料送迎シャトルバス

全道各地より無料シャトルバスが運行されます。

●発着地 千歳・南千歳・札幌・新札幌・小樽・室蘭
苫小牧・旭川・帯広

※千歳市内以外から乗車される方は、事前申込が必要です。
※乗り場・時刻表は、本学ホームページでご確認ください。

【特別企画】無料宿泊体験

●宿泊日(1泊2日)・・・3月19日(木)

●無料(夕・朝食付)

●宿泊先・・・「シェルブルー千歳」(本学指定学生会館)

オープンキャンパスに関する詳細は本学ホームページ、または入試広報課
(0123-27-6011、nyushi@guppy.chitose.ac.jp)
まで、お問い合わせください。

法人情報

理事長

氏名	職名
小谷津 孝明	(学)千歳科学技術大学 理事長

理事

氏名	職名
雀部 博之	千歳科学技術大学 学長
鈴木 修	(学)千歳科学技術大学 専務理事
斎藤 信男	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部長
川瀬 正明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
石田 宏司	千歳科学技術大学 光科学研究科長
山口 幸太郎	千歳市長
岡 真則	北海道空港(株) 代表取締役社長
小糸 彰	小糸工業(株) 代表取締役会長
高橋 直也	(株)日立製作所 執行役専務
市川 昭司	(株)京急百貨店 取締役社長

監事

氏名	職名
木村 良臣	(財)北海道科学技術総合振興センター アドバイザー
檜森 聖一	(株)北洋銀行 常務執行役員

■教員人事

採用(平成20年4月1日) 小林 大二 准教授

退職(平成20年3月31日) 花村 榮一 教授 碓井 広義 教授

評議員 (五十音順)

※平成21年2月末現在

氏名	職名
赤羽 正雄	信州大学 国際交流センター 教授
我孫子 健一	元 北海道観光連盟 会長
石田 宏司	千歳科学技術大学 光科学研究科長
岩野 英明	セイコーエプソン(株) 常務取締役
小谷 泰久	(財)光産業技術振興協会 専務理事
金澤 広司	伊達観光開発(株) 代表取締役
川瀬 正明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
川辺 豊	千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科主任
草野 成郎	北海道ガス(株) 取締役会長
解良 和郎	(株)日立国際電気 執行役常務研究開発本部長
小林 壮一	千歳科学技術大学 光システム学科主任
斎藤 信男	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部長
佐々木 勝利	(財)千歳福祉サービス公社 理事長
雀部 博之	千歳科学技術大学 学長
渋谷 隆夫	(株)ダイナックス 常務取締役開発本部長
鈴木 修	(学)千歳科学技術大学 専務理事
塚越 久光	(株)じょうてつ 代表取締役社長
廣重 力	(学)東日本学園 理事長
福井 素子	日本アイ・ビー・エム(株) 執行役員 ITデリバリー・セクター・マネジメント担当
三ツ野 仁	(株)共立鉄工所 代表取締役
山口 義人	(学)活水学院 理事長
山田 範保	北海道電力(株) 常務取締役札幌支店長
山本 康裕	東日本電信電話(株) 理事・北海道支店長
吉田 淳一	千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科主任

千歳科学技術大学報

CONTENTS

学長あいさつ・教職課程設置認可…………… 1
 大学間連携・高大連携…………… 2
 教育・研究…………… 3~5
 就職・進学…………… 6
 CISTライブ…………… 7
 イベント・法人情報…………… 8

vol.22 平成22年3月10日
 発行/学校法人千歳科学技術大学学報編集班
 千歳市美々758番地65 電話0123-27-6001
 ホームページ <http://www.chitose.ac.jp>
 モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

Best Care, Best Success



■千歳科学技術大学報・学長メッセージ

千歳科学技術大学は「光科学技術に特化した大学」というイメージが定着しつつあります。近年はさらに、本学独自に開発したe-ラーニングをベースとするICT活用教育を展開し他大学のお手本となる教育システムを構築・推進している大学としても高い評価を受けています。これらの点は本年度に受けた日本高等教育評価機構の認証評価においても認められました。本学では教職員一体となって学生の満足度の高い教育・研究指導を行っています。名実ともに成果が現れるように努力を続けて参ります。今後とも皆様方の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

千歳科学技術大学学長 雀部 博之
 (平成22年3月)

平成22年度より教職課程が設置されます

本学では教職課程を設置すべく、平成21年7月に文部科学省に課程認定申請書を提出しましたが、平成22年1月25日付で文部科学省より正式に課程認定書を受領し、平成22年度からの教職課程の設置が認可されました。

認定免許状の種類・教科は、バイオ・マテリアル学科が高等学校教諭一種免許状(理科)、また光システム学科およびグローバルシステムデザイン学科が中学校教諭一種免許状(数学)、高等学校教諭一種免許状(数学・情報)です。

バイオ・マテリアル学科	高等学校教諭一種免許状(理科)
光システム学科	中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(情報)
グローバルシステムデザイン学科	中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(情報)



KAGACによる教員免許状更新講習を実施しました

本学では、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されたのに伴い、総合大学の金沢大学、教員養成大学の東京学芸大学・愛知教育大学と連携し、eラーニング教員免許状更新講習推進機構(KAGAC)を立ち上げ、それぞれの大学の強みを活かし、多様で質の高い講習プログラムをeラーニングで提供し、更新講習を開講しました。

KAGACという名称は、金沢大学(Kanazawa University)、愛知教育大学(Aichi University of Education)、東京学芸大学(Tokyo Gakugei University)、千歳科学技術大学(Chitose Institute of Science and

Technology)の4大学の名前から取りました。

平成21年度の講習では必修領域1科目、選択領域31科目を春学期、秋学期の2回開講し、全国で2,435名の受講生を集めました。この人数は全国的にも最も多い人数であり、更にスペイン在住の日本人教員からの受講もあり、eラーニングの需要を改めて確認することができました。eラーニングの利点は、いつでも、どこでも、多様な講習をパソコンとインターネットの環境があれば受講することができる点であり、多忙な教員の方々には好評をいただきました。

道内5大学の連携による異分野大学院連携教育プログラム

広大な医療圏を抱える北海道は現在、地域医療崩壊の危機に立たされています。医療人の不足ならびに偏在が地域医療を危機的状況に追い込み、ここに北海道全体の不況が加わり、地域の過疎化が進んだ結果、地域からの活力が急速に失われつつあります。

このような状況を打開する一つの方策として、本学と札幌医科大学、室蘭工業大学、小樽商科大学、北海道医療大学の5大学が連携し、医療および保健福祉を中心とした地域活性化を担う人材の育成を行うことを目指す取組「北海道の地域医療の新展開を目指した異分野大学院連携教育プログラムによる人材育成」が平成20年度文部科学省「戦略的大学連携支援事業」に選定されました。この取組によってそれぞれの大学院教育の特徴を融合した形の新しい教育体制を作り上げ、医学医療に関する基礎知識を有する技術者、経営者、情報・工学および経営に精通した医療者、またニーズに対応できる高度医療人を養成し、地域の今日的課題を発見し解決する能力を持つ、即戦力となる高度専門職業人の輩出を目指します。第一段階では地域医療共通プログラムを構築し、道内5大学が教育理念を共有し、かつ各大学の大学院修士課程の特性を生かしつつ、地域に貢献できる人材を育成し、さらに大学院教育が担う課題を把握した上で、次の段階として共同大学院の設立を目指します。

昨年9月には、札幌駅の近郊に合同サテライトキャンパスを開設し、また同年11月には5大学連携公開シンポジウムも開催しました。さらに現在、共同大学院の設置に向けた科目の整備を進めており、平成22年度からは、各大学大学院の修士課程の学生を中心に5大学の専門分野に応じた教育プログラムを開設します。

北海道に広がるeラーニングシステム 高大連携・協力協定校

本学では、独自に開発したeラーニング教材を活用した新しい教育システムの確立と普及を進めています。平成15年度から千歳市教育委員会、道内高等学校、特別支援学校と連携・協力協定を締結し、平成22年2月末現在、道内25の高等学校で学生の基礎学力向上をサポートしています。コンテンツには、数学、物理、化学、情報、英語が用意されており、内容を充実させるために連携校の高校教員、他大学教員、本学教職員、学生による「ICT活用教育研究会」が毎月開催され、活発な活動を行っています。

高大連携・協定締結の状況

締結日	学校名・教育機関名
平成15年2月19日	北海道札幌稲雲高等学校
平成15年9月1日	千歳市教育委員会
平成17年4月18日	北海道小樽桜陽高等学校
平成17年6月1日	北海道札幌藻岩高等学校
平成17年6月22日	北海道木古内高等学校
平成17年7月20日	駒澤大学附属岩見沢高等学校
平成17年9月28日	北海道札幌旭丘高等学校
平成17年10月17日	北海道静内高等学校
平成17年12月1日	北海道鹿追高等学校
平成18年6月28日	北海道八雲養護学校
平成18年9月25日	北海道平取高等学校
平成18年10月2日	北海道札幌新川高等学校
平成19年3月20日	北海道札幌厚別高等学校
平成19年4月27日	北海道南茅部高等学校
平成20年3月13日	北海道釧路明輝高等学校
平成20年3月13日	北海道尚志学園高等学校
平成20年3月19日	北海道札幌拓北高等学校
平成20年3月26日	北海道伊達緑丘高等学校
平成20年4月26日	旭川実業高等学校
平成20年5月23日	北海道知内高等学校
平成20年6月17日	北海道札幌丘珠高等学校
平成20年8月7日	北海道常呂高等学校
平成20年10月16日	北海道熊石高等学校
平成20年12月25日	北海道千歳北陽高等学校
平成21年7月6日	北海道標津高等学校
平成21年11月19日	北海道蘭越高等学校

学生支援推進プログラム採択

平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム」の選定結果が7月7日に独立行政法人日本学生支援機構「学生支援推進事業委員会」より発表され、本学が申請した「満足度の高い就職を目指す支援と情報収集・発信の強化への取組」が選定されました。本取組は、本学において文部科学省から7件目に選定された教育プログラムとなります。

大学教育・学生支援推進事業【テーマB】 学生支援推進プログラム／平成21年度

テーマ

満足度の高い就職を目指す支援と情報収集・発信の強化への取組

取組の概要

昨今の経済状況の悪化による厳しい雇用環境の中、学生の学士力の低落に伴う「就職する力」への対策及び企業状況を的確に把握した時宜を得た就職活動などが、大学に求められている。本学では「Best Care, Best Success」というモットーの下、今後の社会基盤の核となるべき学生が満足感を持って社会参画する意識・能力を習得するための支援を推進している。本取組では、志望企業への就職を可能にするスキルを体得できるキャリアアップ支援を行うとともに、より多くの最新企業情報を学生に提供する環境の整備を行う。また、北海道内企業と併せて、就職先企業の約85%（本社ベース）が所在する道外企業との関係強化を図るため、個別の企業訪問による関係の維持・強化、独自の情報収集を行うとともに、「企業と大学の情報交換会」等による交流を活発化する。これら大学の内外両面からの支援を通じて、全ての学生が希望職種、企業に就職することを目指す。

——— 過年度に採択された教育プログラム ———

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム／平成20年度

テーマ

自ら成長する教養人の育成支援プログラム～アナログ・デジタル両手法を活用した成長度に応じた能動的キャリアアップ・人間力涵養システムへの変革

先導的教育情報化推進プログラム／平成19年度

テーマ

ICT活用を通じた横断的な機関・科目連携に基づく理数系教育の実践と評価

現代的教育ニーズ取組み支援プログラム／平成19年度

テーマ

理工系学部での学習トレーサビリティ～理工系知識共有のためのICT教育システムの構築と社会への質保証の取組

現代的教育ニーズ取組支援プログラム／平成16年度(2件採択)

テーマ

学生力を活用した理科eラーニング教材の開発～地域小中学校との連携による理科離れの抑制

テーマ

新たな情報キャリアアップ教育の実現～eラーニングを介した全学情報教育の共有

特色ある大学教育支援プログラム／平成15年度

テーマ

知識を共有した効果的な授業の展開～高大連携によるeラーニング構築と教育現場での効果的活用

学生支援プログラム主な取組状況

SNSを使ったキャリアアップ

平成21年5月より、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の運用を開始しました。このSNSは、おもに在学生への就職支援を目的として、在学生・卒業生・教職員等の大学関係者が参加し、在学生が「興味をもっている業種・職種の仕事に就いている卒業生」や「希望している研究室の先輩」「教職員」と時間的・地理的制約を受けずに情報交換することができます。また、もちろん、在学生同士でも簡単に、授業、学生生活、趣味やサークルについてなどさまざまな情報交換ができるようになります。そして、卒業後には、「同窓会」活動の一環として同窓生同士の情報交換・交流の場として利用できます。

きめ細かな対応を可能にする学生総合カルテ

価値観が多様化している時代では、学生の興味・関心の方向や、学生生活に関する悩みもさまざま。本学では、一人ひとりの想いや考えていることを、教職員がきちんと把握し、相談にのれるよう学生総合カルテを運用しています。アドバイザー担当教員と職員・学生間で電子的にカルテを共有することで、学生へのきめ細かな対応が可能になりました。

表現力養成講座

表現力・文章力は「人とのコミュニケーション」の際に非常に重要で、大学生活をはじめ、社会に出てからも必須とされる力です。この能力を養うために、表現力養成講座（表現力養成合宿、文章力養成講座）を開設し、みなさんの学業や就職活動をより良く進めてもらうことを目的としています。

「ICT活用教育研究フォーラム」を開催しました

文部科学省に採択されたICTの活用を通じた「先導的教育情報化推進プログラム」と、理工系学部でのトレーサビリティをテーマにした「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」両プログラムの取組成果を発表するフォーラムを開催しました。

■日時 平成22年2月20日(土) 10:00～15:00

■会場 千歳科学技術大学 本部棟

第10回千歳光科学国際フォーラム(CIF-10)を開催しました

今年度で第10回目を迎える千歳光科学国際フォーラムは、テーマを"Optical Devices and Systems, Biomedical and Green Technologies"と題し、(1) Photonics systems and devices, (2) Biomedical photonics, (3) Network, Human, and Environmental technologiesの3つのセッションで会議を行いました。会議にはアイルランド、ドイツ、アメリカ、中国からの研究者を含む120名ほどの参加があり、最新の研究成果を踏まえた議論や意見交換が交わされました。

基調講演を行った、新素材(カーボンナノチューブ)研究の第一人者であるWerner Blau博士(アイルランド・トリニティカレッジ)、再生医療分野の権威である菊地眞博士(防衛医科大学校)を始め、国内外の多くの著名な研究者による貴重な研究発表に、本学学生も熱心に耳を傾けていました。

また、本学学生の発表を中心に行われたポスターセッションでは、海外の研究者からの質問に英語で対応する場面なども見られ、国際会議らしい雰囲気が漂っていました。

さらに今年度は初の試みとして、アメリカ・ニューマン大学音楽学部の石田雪子先生を審査員に招き、高校生が時事問題などのスピーチを英語で行う「高校生英語スピーチコンテスト」の実施や、近隣企業21社の研究成果などを展示した「千歳科学技術展示フェア」を併催するなど、フォーラムは大きな賑わいを見せました。



講演を行うBlau博士

- 主催 第10回千歳光科学国際フォーラム実行委員会
- 共催 千歳科学技術大学
特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
千歳商工会議所
- 日時 平成21年11月13日(金)14日(土)
- 会場 千歳科学技術大学

●基調講演:

テーマ

「Carbon Nanotube Photonics」

／ワーナー・J・ブラウ 博士
(アイルランド・トリニティカレッジ)

テーマ

「Biomedical photonics -from bench to beds」

／菊地 眞 博士 (防衛医科大学校)

招待講演者

氏名	所属
Werner Blau	アイルランド・トリニティカレッジ
菊地 眞	防衛医科大学校
伊藤 弘昌	東北大学 / 理化学研究所
Peter Meissner	ドイツ・ダルムシュタット大学
野田 進	京都大学
Sri Sriram	アメリカ・SRICO, Inc.
日比野 善典	NTTフォトニクス研究所
Zhu Jing	中国・上海仁濟病院
粟津 邦男	大阪大学
Liang-Yao Chen	中国・復旦大学
佐藤 昇志	札幌医科大学
來島 愛子	東京理科大学
山口 真史	豊田工業大学
宮下 忠	アメリカ・TM Photonics
浅羽 登志也	IIJイノベーションインスティテュート

平成21年度学位論文テーマ

博士前期課程

氏名	論文タイトル(和文)
相澤 直樹	環境変化に対応したパワーアシスト車椅子のモーション制御
相原 健治	授業支援型コースマネジメントシステムにおける協調学習支援機能に関する研究
秋山 慶造	初等中等教育でのICT活用型学習サービスに関する研究
池田 悠樹	知識を用いた学習カルテシステムに関する研究
石橋 克也	波長可変白添加ファイバレーザ構成法の研究
伊藤 正紀	柔軟な足首関節を有する二足歩行ロボットの安定歩行制御
岩田 圭祐	細胞障害効果による光感受性物質の評価と光線力学的治療のメカニズム解明
大澤 佑至	e-Learning型講義における成績と学習データから考えられるドロップアウト早期発見手法の研究
太田 徹	回転体に非接触で電力を供給する方法
長壁 飛鳥	0.6μm~6mmにおけるGaSeのセルマイヤー方程式とその応用
小幡 はるな	非晶構造制御による光学ポリマーの高透明化
金森 智法	WDMネットワーク用OTDRに関する研究
川村 拓哉	集光用テーパー光ファイバの損失低減化の研究
菊池 幸太	緑色ハイパワーLEDによる固体化色素の励起

氏名	論文タイトル(和文)
佐藤 望	(1)リチウムイオンおよびプロトン輸送ポロマーゲル材料 (2)ソルバトクロミック色素による有機溶媒の含水率定量 (3)色素/多糖複合材料の調整と応用の試み
志藤 友和	β-BaB ₂ O ₄ による0.193μm光発生と温度特性
高垣 充	オプティカルフローを活用した障害物回避能力を有する冗長マニピュレータの姿勢安定化制御
田村 圭	光学ポリマーの化学構造と透明性予測
成瀬 寛峰	Tiをドーブした酸化アルミニウムの作製とその青色発光特性の評価
長谷川 理	知識データベースを介したコース学習における自律学習支援のための教材推薦システムに関する研究
畑瀬 一人	2次元任意断面形状導波路の多層分割法を用いた等価屈折率法解析に関する研究
藤田 彰	コースウェアにおける学習支援メールの自動生成に関する研究
牧野 瑤子	赤外分光法によるグルコース濃度測定とガン細胞の判別

博士後期課程

氏名	論文タイトル(和文)
白銀 玲	光線力学的診断・治療用光感受性物質Talaporfinの光物性と励起光の組織透過性および細胞自家蛍光の研究
今 健一	無機ポラスフィルム作製の光触媒への応用
松下 健治	不均一伝送線路を用いた周期構造バンドストップフィルタに関する研究

平成21年度佐々木記念賞

■授賞式 平成21年10月5日(月)

※本学の開校に尽力した、初代学長・佐々木敬介氏(1936~1998)の業績を記念し、平成10年に創設されました。科学技術教育に力を注いだ氏の意思を継ぎ、優秀な研究者の育成、学生の諸活動の応援を目的としています。

今年は右記の方が受賞されました。これを励みにいっそうの精進を期待します。皆さんおめでとうございます！



左から雀部学長、古川さん、藤永さん、志藤さん、足達さん(YOSAKOIソーラン部)、冨田さん

奨励賞 学部2・3年生の学業成績優秀者に贈呈

- 古川 翔子さん (物質光科学科3年)
- 藤永 紀昭さん (光応用システム学科3年)

貢献賞 クラブ活動や学外活動において功績があった者に贈呈

- 志藤 友和さん (元 天文サークル, 光科学研究科博士前期課程2年)
- YOSAKOIソーラン部

学術賞 大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

- 冨田 量宏さん (光科学研究科博士後期課程1年)

本学出身の富田文菜さんが女性科学者奨励賞を受賞

「ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞」に本学出身の富田文菜さん(平成15年度本学卒業生・東京工業大学フロンティア研究センター博士研究員)が決まり、平成21年9月7日に同賞を授与されました。富田さんの研究では、生体の筋肉中に存在する酸素貯蔵タンパク質であるミオグロビンを用いて、ミオグロビン分子中を移動する一酸化炭素の動きを明らかにし、さらにミオグロビン分子内での一酸化炭素輸送に伴って起こるタンパク質の挙動の観測に成功しました。この研究の結果やその手法は、反応中のタンパク質の挙動を原子レベルで観測できるため、新薬開発への応用など、今後の発展が期待できます。



中央が富田さん

山林教授に電子情報通信学会フェローの称号が贈呈されました

グローバルシステムデザイン学科の山林由明教授に電子情報通信学会からフェローの称号が贈呈されました。電子情報通信学会フェローは、「学会への貢献が大でかつ学問・技術または関連する事業に関して功績が認められる正員に対して贈呈される称号」です。山林教授は、『超高速光通信システムの基盤研究および実用化への貢献』が認められて授与されました。本学では、雀部博之学長(平成12年)、川瀬正明教授(平成14年)、吉田淳一教授(平成20年)に続き、4人目の授与となります。



開学当初より長きに亘り本学での教育・研究に力を注いでくださったバイオ・マテリアル学科の加藤洌教授および芦高秀知教授が、本年3月いっぱいまで退任されます。退任にあたり、メッセージを頂きました。

何事においても先ず一歩前に出る、積極的な姿勢を持ち続けてください。

開学2年目の平成11年4月、千歳科学技術大学に就任しました。当時、本学は、日本で唯一の光科学を専門に教育研究する大学として大変注目されており、それから11年間、多くの学生の教育、研究を指導しました。また、学生とたくさんの意見も交わしました。学生には、もっと様々なことに興味を持ち、学内外で研究発表することで広い視野と知識を養い、本学の建学精神である「人格陶冶」を実践するため、何事に対しても先ず一歩前に出る積極的な姿勢を持ってもらいたいと思います。永い間ありがとうございました。



加藤 洌 教授

ありがとうございました。今後は、地元駒里から大学の応援をさせていただきます

大学設立推進本部時代を加えますと14年8ヶ月もの長い間、沢山の皆様のお世話になりました。開学に当たって、夢をいっぱい語られた佐々木初代学長、飛びぬけた行動力の日立の今村さん、東川市長の想いを受けて神がかり的な働きをされた市役所の皆様、真摯な努力を重ねられた教職員、卒業生など。大学の発展を間近で楽しめるように、隣の駒里に終の住家を定めました。地域に貢献する立派な大学になることを楽しみにしています。



芦高 秀知 教授

独自のキャリアアッププログラム

本学では、学生のキャリアアップをさまざまな角度からサポートしています。従来からの取組に加えて、平成22年度から新たにキャリア形成プログラムを開設します。これは、企業が求める人材像が、コミュニケーション力、主体性などを一層重視する傾向にあることから、入学後早い時期から、継続してキャリア形成を支援していくプログラムです。2年次及び3年次春学期の時間割上に組み込み、グループワークやOB・OG、企業、現4年生などからの講演等でプログラムを構成します。その後、従来から実施している3年次夏季休暇中のインターンシップを経験したうえで、3年次秋学期以降の就職に向けた準備、実際の就職活動へと接続させることを目的としています。

就職支援スケジュール

第1学年	
年間数回	キャリア形成プログラム(導入講座)
第2学年	
通年	キャリア形成プログラム
秋学期	1dayインターンシップ実施
第3学年 ※キャリア形成プログラムとして実施するものを含む	
4~7月	キャリア形成プログラム
4月	第1回就職ガイダンス インターンシップ・ガイダンス
5月	第2回就職ガイダンス
6月	インターンシップ事前研修
7月	第3回就職ガイダンス
8月	インターンシップ実施
9月	進路調査票提出 キックオフガイダンス
10月	個人面談 インターンシップ事後研修
11月	就職マナー講座
12月	第4回・第5回就職ガイダンス 学校推薦説明会 OB対話
2月	第6回就職ガイダンス 就職模擬試験 学内企業研究セミナー(就職セミナー)
3月	就職希望調書提出 個人面談 学校推薦者決定 企業の採用試験開始
第4学年	
4月	学生への個別対応(内定までのサポート)

インターンシップ

学生が夏休みなどを利用して職場体験する「インターンシップ」は、学業中心の学生たちにとって、企業の現場を直接体験できる貴重な機会。実社会とはどういうものか、そこで仕事をするとはどういうことなのか、身をもって学び、自分なりの職業観を持つきっかけにしてほしいと、本学でも第1期生より実施しています。

また、2003年度より、キャリア教育をさらに強化するため、インターンシップを単位化しました。就職部では学生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチングを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをよりいっそう強化しています。

平成21年度卒業者の進路状況

(平成22年2月末現在)

世界的な経済不況の影響もあり、今年度は非常に厳しい就職環境となりました。このような状況は今後もしばらく続くことが予想されますので、在学生のみなさんは早期から進路についての意識を持ち、就職活動に望むようお願いいたします。

内定者数 …………… 114名 求人社数 …… 1,284社
就職率 …………… 75.5%

※就職率=就職決定者÷就職希望者

主な内定先

平成21年度卒業生実績(五十音順)

●アイエックス・ナレッジ ●I・TECソリューションズ ●ID ●ADEKA ●アルトナー ●茨城製作所 ●エース ●エヌ・ティ・ティエムイー ●エム・ソフト ●オムロンフィールドエンジニアリング北海道 ●海上自衛隊 ●神奈川県警察 ●キャノン ●コーデンシ ●コシナ ●佐川急便 ●サンデン ●山藤三陽印刷 ●三友プラントサービス ●サンワテスコム ●三和電子 ●ジャパンテクニカルソフトウェア ●正電社 ●湘南光学工業所 ●新興サービス ●新和グループ ●スカイマーク ●スズキ技研 ●住電オプコム ●セノン ●先端フォトニクス ●綜警情報システムズ ●総合警備保障 ●ダイナム ●太平電業 ●つうけん ●つうけんアドバンスシステムズ ●東京通建 ●東芝ソリューション ●東日本三電線 ●ニックス ●ニッセイコム ●日星電気 ●ニッテツ北海道制御システム ●日本精機 ●日本電設工業 ●日本オプネクスト ●日本空港コンサルタンツ ●日本証券テクノロジー ●ニラク ●ネットワークバリューコンポネッツ ●日立コンピュータ機器 ●日立製作所 ●日立ソフトウェアエンジニアリング ●VSN ●富士通アドバンスエンジニアリング ●富士古河E&C ●北海電気工事 ●北海道旅客鉄道 ●三菱電機ビルテクノサービス ●三ツワフロンテック ●郵便事業 ●ラデックス ●リコーテクノシステムズ ●レッドフォックス ●和興エンジニアリング など

大学院進学

平成21年度卒業生実績

合格者数 …………… 33名


キャンパスカレンダー

4-5月




- 入学式
- オリエンテーション(1年生)
- ガイダンス(2~4年生)
- 春学期開講
- 定期健康診断 ●受講科目

6月




- 開講記念日
- 第2回オープンキャンパス

7月



- 春学期定期試験
- 春学期授業終了

8月




- 夏期休業
- インターンシップ(第3学年)
- 第3回オープンキャンパス
- 文章力養成講座

9月



- 秋学期開講
- 光の記念日
- 稜輝祭
- 第4回オープンキャンパス
- 学生チャレンジプログラム発表

10-11月




- 成績通知(春学期分)
- 佐々木記念賞授与式
- 千歳光科学国際フォーラム
- 父母懇談会
- 大学説明会

12月




- 冬季休業

1月




- 秋学期定期試験
- 秋学期授業終了

2月



- 春期休業
- 学内企業説明会(就職セミナー)
- 文章力養成講座

3月



- 成績通知(秋学期分)
- 学位記授与式
- 第1回オープンキャンパス

平成21年度 主なクラブ活動実績

YOSAKOIソーラン部

- 第18回YOSAKOIソーラン祭り セミファイナル 9位
- 千歳トーナメント祭 ベスト8
- シニアハウスゆうあい(篠路) 慰問演奏
- 胆振千歳支部大会 出場
- 日本リメディアル学会 演奏
- みちのくよさこい(仙台) ファイナル出場
- Dream 夜さ来い(東京・お台場) 出場
- CIF'10(第10回千歳光科学国際フォーラム) 演奏

硬式テニス部

- 全日本大学対抗 テニス王座決定試合 北海道地区予選 男子6部リーグ 2位

フットサル部

- 恵庭フットサル オータムカップ2009 優勝

バスケットボール部

- 第61回 北海道学生バスケットボール選手権大会 男子4部 3位

大東流合気柔術部

- 第10回 大東流合気柔術 無傳塾演舞大会

軽音楽部

- 三大学合同ライブ(本学・北海道情報大学・北海道文教大学)

都山流尺八サークル

- 芳游会 箏のしらべ

美術文学サークル

- 第5回 全日本学校ポスターコンテスト 光文堂賞 受賞

理工工房

小中学校での理科実験授業や市内外での 科学教室などを行っています

地域の小中学校での理科の実験授業や、千歳市内や近郊での科学教室などで、理科の面白さを伝えようという学生主体の活動が「理工工房」。子どもたちが楽しみながら参加できる実験内容を考え、実験器具を自作しています。「夕焼けって、どうして赤いの?」「糸でんわって、どうして声が伝わるの?」、そんな子どもたちの疑問を解決するため、日々工夫を重ねています。「理工工房」の実験にふれた子どもたちの中から、理科に興味を持ち、将来の最先端技術を担う人材が育つかも知れません。



平成21年度 実験デモンストレーション実績

- 4月10日 1年生交流行事 グループ作業の企画立案・準備・実施
- 5月16日 あそびの日in千歳2009(千歳市緑小学校)
- 6月 4日 名寄産業高校2年生
- 6月21日 オープンキャンパス
- 6月25日 千歳市緑小学校6年生実験授業
- 6月26日 札幌稲北高校2年生
- 7月 9日 千歳市学校適応指導教室「おあしす」見学学習
- 7月11日 千歳市ほくおう児童館まつり
- 7月14日 地上絵プロジェクト2009
- 7月16日 千歳小学校6年生実験授業
- 7月22日 千歳市緑小学校・緑っ子バザール
- 8月 6日 南富良野町教育委員会 社会教育事業「千里大学」科学講座
- 8月 8日 科学の祭典・苫小牧大会(苫小牧市科学センター)
- 8月 9日 科学の祭典・札幌手稲大会(北海道工業大学)
- 8月15日 自衛隊千歳地域事務所 夏のタベ「科学コーナー」
- 8月19日~21日、24日 千歳中学校1年生 サイエンスパートナーシップ・プロジェクト
- 8月29日 千歳市いずみさわ児童館「お楽しみ会」
- 8月30日 科学の祭典・札幌北大大会(札幌市下水道科学館)
- 9月 2日 恵み野池小学校3年2組学級レクリエーション
- 9月16日 千歳小学校4年2組PTA親子レクリエーション
- 9月20日 ふるさとポケット
- 9月26日 稜輝祭 工作教室+ブース出展
- 9月26日 千歳市しなの児童館まつり
- 10月3日 科目等履修生 「システムデザインプロジェクトA」実験授業
- 10月 4日 第20回物理教育に関するシンポジウム・理科実験実践交流会
- 10月10日 札幌開成高校1年生プレ先端科学特論
- 10月15日 札幌啓成高校理数科2年生 大学講義体験研修
- 10月17日 環境フェアinChitose2009
- 10月24日 科目等履修生「システムデザインプロジェクトA」実験授業補講
- 11月 1日 リフレッシュ理科教室・サイエンスオリエンテーリング2009in札幌
- 11月 7日 市民公開講座「身の回りのもので科学する(その1)」
- 11月10日 札幌清田高校「大学の学問2009」
- 11月11日 札幌新川高校「上級学校セミナー2009」
- 11月14日 科学の祭典・札幌豊平大会
- 11月15日 科学の祭典・千歳大会
- 11月18日 千歳小学校6年生実験授業
- 11月28日 市民公開講座「身の回りのもので科学する(その2)」
- 12月10日 千歳市緑小学校6年生実験授業
- 12月12日 千歳サケのふるさと館「科技大のおもしろ実験教室」
- 12月21日 恵庭北高校2年生 ミニ科学の祭典
- 2月 7日 札幌龍谷高校 出前講義TA
- 2月12日 サイエンス会議 ブース展示
- 2月14日 千歳市緑小学校5年生実験授業
- 2月16日 千歳小学校5年生実験授業
- 2月17日 千歳小学校5年生実験授業(大学生による科学教室)
- 2月27日 新札幌 青少年科学館

Event [イベント]

大学機関別認証評価を受審しました

学校教育法の改正により平成16年度よりすべての大学等はその教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営および施設整備等の総合的な状況について7年以内ごとに外部評価機関の実施する認証評価の受審が義務づけられています。そのため、本学においても財団法人日本高等教育評価機構による認証評価受審に向けて、学内において自己点検・評価活動を進めておりました。今年度の認証評価の受審にあたり、昨年5月には自己評価報告書を作成、また、同10月には外部評価員による実地調査も行われ、今年3月には本学の最終的な調査報告書が公表されます。なお、受審結果については、評価が確定した4月以降に本学ホームページに掲載する予定です。

市民公開講座を実施しました

光科学の分野を市民の皆様身近に感じてもらうため、千歳市の市民教養セミナーと連携して、本学教員による市民公開講座を実施しました。

第1回

- テーマ 「レーザー光とはどのような光か？」
 ■講師 光システム学科 福田 誠 准教授
 ■日時 平成21年6月20日(土) 13:30~15:30

第2回

- テーマ 「身近なもので科学する」
 ■講師 グローバルシステムデザイン学科 長谷川 誠 准教授
 ■日時 平成21年11月 7日(土) 13:30~15:30
 11月28日(土) 13:30~15:30

平成21年度

「父母懇談会」を開催しました

在学生のご父母の皆様と大学との理解を深めるための父母懇談会が開催され、学習指導や就職、学生生活など幅広いテーマで有意義な時間をもちました。

- 日時 平成21年10月24日(土) 11:00~16:00
 ■会場 千歳科学技術大学 本部棟、研究実験棟

今、CISTが面白い！

3月21日(日)オープンキャンパス開催

オープンキャンパスを3月21日(日)に本学で開催します。開催において千歳市内のほか、札幌、新札幌、小樽、苫小牧、東室蘭、北見、旭川、釧路、帯広、函館から大学までの無料送迎バスを運行します。また、道内外の遠方よりご参加いただく方を対象に、千歳市内の大学指定学生会館へ無料宿泊体験をご用意しています。



- 日時 平成22年3月21日(日) 10:00~15:00
 ■受付 本学本部棟(9:30より受付)
 ■会場 本学本部棟、研究・実験棟、10周年記念棟
 ■対象 高校1・2年生、保護者、地域の方

オープンキャンパスに関する詳細は本学ホームページ、または入試広報課
 (0123-27-6011、nyushi@guppy.chitose.ac.jp)
 まで、お問い合わせください。

法人情報

理事長

氏名	職名
小谷津 孝明	(学)千歳科学技術大学 理事長

理事

氏名	職名
雀部 博之	千歳科学技術大学 学長
川瀬 正明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
石田 宏司	千歳科学技術大学 光科学研究科長
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
山口 幸太郎	千歳市長
斉藤 信男	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部長
小糸 彰	小糸工業(株) 代表取締役会長
市川 昭司	(株)京急百貨店 取締役社長
国山 尊典	(株)日立製作所 北海道支社長

監事

氏名	職名
檜森 聖一	(株)北洋銀行 常務執行役員調査部長
新谷 俊一	(株)山三ふじや 図書館事業部図書館長

■教員人事

採用(平成21年4月1日) 深町 賢一 専任講師 石田 雪也 専任講師
 (平成21年12月1日) 木村 廣美 教授
 退職(平成21年3月31日) 高岡 詠子 准教授 堀之内 英 専任講師

評議員(五十音順)

※平成22年2月末現在

氏名	職名
赤羽 正雄	信州大学 国際交流センター教授
石田 宏司	千歳科学技術大学 光科学研究科長
打越 カナ	(株)NTTデータMSE 移動体端末ソフトプロダクトセンター
小谷 泰久	(財)光産業技術振興協会 専務理事
金澤 広司	伊達観光開発(株) 代表取締役
川瀬 正明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
川辺 豊	千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科主任
草野 成郎	北海道ガス(株) 取締役会長
小林 壮一	千歳科学技術大学 光システム学科主任
佐々木 勝利	(財)千歳福祉サービス公社 理事長
雀部 博之	千歳科学技術大学 学長
渋谷 隆夫	(株)ダイナックス 常務取締役開発本部長
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
高橋 正和	千歳市水道局料金課
塚越 久光	(株)じょうてつ 代表取締役社長
増子 洋行	(有)マスコスシステムズ 代表取締役
溝口 健二	セイコーエプソン(株) 経営戦略本部総務部長
三ツ野 仁	(株)共立鉄工所 代表取締役
山口 義人	(学)活水学院 理事長
山田 範保	北海道電力(株) 常務取締役札幌支店長
山本 康裕	東日本電信電話(株) 理事・北海道支店長
吉田 淳一	千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科主任

Educational foundation information

[法人情報]

法人情報

※平成22年8月31日現在

理事長

氏名	職名
小谷津 孝明	(学)千歳科学技術大学 理事長

理事

氏名	職名
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
山林 由明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
川辺 豊	千歳科学技術大学 光科学研究科長
石田 宏司	千歳科学技術大学 教授
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
山口 幸太郎	千歳市長
斎藤 信男	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部長
小糸 彰	小糸工業(株) 取締役相談役
市川 昭司	(株)京急百貨店 相談役
国山 尊典	(株)日立製作所 北海道支社長

監事

氏名	職名
檜森 聖一	(株)北海道二十一世紀総合研究所 代表取締役社長
新谷 俊一	(株)山三ふじや 図書館事業部図書館長

教員人事

採用(平成22年4月1日) 青塚 健一 教授 梅村 信弘 准教授
退職(平成22年3月31日) 芦高 秀知 教授 加藤 洸 教授

評議員

氏名	職名
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
山林 由明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
川辺 豊	千歳科学技術大学 光科学研究科長
Olaf Karthaus	千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科長
小林 壮一	千歳科学技術大学 光システム学科長
吉田 淳一	千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科長
石田 宏司	千歳科学技術大学 教授
高橋 正和	千歳市水道局
打越 カンナ	(株)NTTデータMSE
増子 洋行	(有)マスコシステムズ 代表取締役
山口 義人	(学)活水学院 理事長
佐々木 勝利	(財)千歳福祉サービス公社 理事長
塚越 久光	(株)じょうてつ 取締役相談役
赤羽 正雄	信州大学 国際交流センター 教授
金澤 広司	伊達観光開発(株) 代表取締役
三ツ野 仁	(株)共立鉄工所 代表取締役
渋谷 隆夫	(株)ダイナックス 常務取締役開発本部長
小谷 泰久	(財)光産業技術振興協会 専務理事
草野 成郎	北海道ガス(株) 取締役会長
山田 範保	北海道電力(株) 常務取締役札幌支店長
山本 康裕	東日本電信電話(株) 理事 北海道支店長
溝口 健二	セイコーエプソン(株) 経営戦略本部 総務部長

新しく赴任された先生からメッセージをいただきました

■バイオ・マテリアル学科に赴任

大自然とハイテク。千歳は多様性に富んだ環境

この度、千歳科学技術大学バイオ・マテリアル学科に赴任いたしました梅村です。千歳という街は大変美しい大自然とハイテク技術の結集である航空自衛隊の戦闘機が身近に同居する、実に多様性に富んだ環境だと考えます。これからは、その多様性こそが組織や地域、あるいは国全体の活性化をもたらすものでしょう。研究分野は、非線形光学結晶によるレーザ光の波長変換ですが、それをメインとして今後いろいろな分野にも進出していきたく思いますのでよろしくお願ひします。



梅村 信弘 准教授

■教職課程担当として赴任

「プロ教師」を目指す学生の夢を叶えたい

本年度4月より新設された教職課程の担当として赴任しました青塚です。これまで38年間、札幌市内の高等学校現場で「理科教育」を通し、21世紀を担う高校生の“生きる力”を育ててきました。これからは“一人ひとりの顔が見える教育”を目指す科技大で、4年後、高校や中学校で理科や数学、情報の「プロ教師」を目指す学生の夢を叶えられるよう、不転の意志を貫き取り組みます。科技大生の新しい分野の就職先へ向け、学生諸君の支援をいたします。ご支援ご協力をお願いいたします。



青塚 健一 教授

CIST NEWS

千歳科学技術大学報

CONTENTS

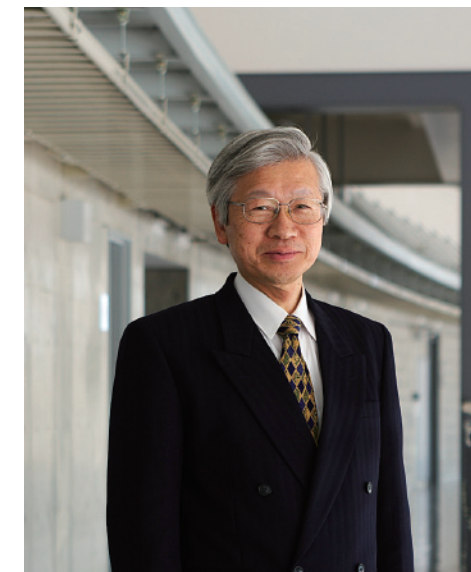
学長あいさつ・外部認証評価結果	1
大学間連携・高大連携・地域連携	2~3
教育・研究	4
イベント	5
就職・進学	6
財務情報	7
法人情報	8

vol.23 平成22年9月10日

発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課
千歳市美々758番地65 電話0123-27-6123

ホームページ <http://www.chitose.ac.jp>
モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

Best Care, Best Success



千歳科学技術大学学長 川瀬 正明
(平成22年9月)

■千歳科学技術大学報・学長メッセージ

4月から学長に就任いたしました。雀部博之前学長同様、ご支援、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

さて、本学は開学13年目を迎えました。ここ数年の学生募集は厳しい状況が続いていましたが、今年の入学者(13期生)は過去最多の296人に上りました。関係者はもちろん、大学をあげての努力が実を結んだものであり、全教職員と、ご支援を頂いた関係各位に心から感謝申し上げます。

また、昨年度末には日本高等教育評価機構から大学評価基準を満たしていることが認定されました。特に、少人数教育、実験・実習・演習の重視、eラーニングによる各種取り組みや、きめ細かな学生支援体制など本学が特徴とする点について高い評価をいただきました。

一方で、少子化の流れや厳しい経済状況など、環境の厳しさに変わりはありません。今年度は教員・事務局の組織と担当を一新しましたが、その狙いは「Best Care, Best Success」に代表されるきめ細かな教育をこれまで以上に推進することにあります。

「活力あふれる若い大学」として大きく飛躍すべく、教育・研究・地域貢献に対する学生、教職員の更なる努力はもちろんのこと、ご家族、同窓生ならびに関係する皆様のご支援、ご協力を切にお願いする次第です。

大学評価機関より認定を受けました

すべての大学は学校教育法第109条第2項により、文部科学大臣が認証した評価機関の実施する評価を定期的に受けることが義務付けられています。本学では、平成21年に文部科学大臣が認証する財団法人日本高等教育評価機構による認証評価(第三者評価)を受審し、平成22年3月24日付で、「同機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定されました。

認定期間 平成21年4月1日～平成28年3月31日



2009.4-2016.3

Cooperation

[大学間連携・高大連携・地域連携]

KAGACによる「教員免許状更新講習」を実施しました

本学では、平成21年4月より教員免許更新制が導入されたことに伴い、金沢大学、東京学芸大学、愛知教育大学と連携し、「eラーニング教員免許状更新講習推進機構(KAGAC)」を設立し、各大学の強みを活かした多様で質の高い講習プログラムをeラーニングで提供する、教員免許状更新講習を開講しています。

今年度の更新講習には、全国より1,487名の方が受講されました。なお、修了試験は北海道(千歳市)・東京都(小金井市)・愛知県(刈谷市)・石川県(金沢市)・兵庫県(西宮市)の5会場で8月28日(土)に実施しました。

戦略的大学連携支援事業 地域医療貢献を目指した 異分野大学院連携教育

平成20年度文部科学省の補助事業「戦略的大学連携支援事業」に、札幌医科大学、小樽商科大学、室蘭工業大学、北海道医療大学、千歳科学技術大学の5大学が連携した「北海道の地域医療の展開を目指した異分野大学院連携教育プログラムによる人材育成」が選定されました。

事業は平成20年度からスタートし、平成21年度に5大学共通カリキュラムの構築のためeラーニングコンテンツを準備し、平成22年度前期履修学生募集と教育配信を実施しました。本事業は、将来共同大学院設立を目指して実証に取り組んでいます。

平成22年度前期履修状況

前期授業科目(担当大学)	履修者
基礎医学概論I(札幌医科大学)	23名
基礎医学概論実習(札幌医科大学)	6名
地域医療経営の基礎論(小樽商科大学)	16名
生命情報学特論(室蘭工業大学)	19名
フィジカルアセスメント特論(北海道医療大学)	14名
情報技術特論(千歳科学技術大学)	23名
総延べ人数	101名

大学ごとの履修者(対象者:大学院修士課程)

札幌医科大学	4名
小樽商科大学	3名
室蘭工業大学	11名
北海道医療大学	15名
千歳科学技術大学	30名
実人数	63名

北海道に広がる高大連携・協力協定校

現在本学では、大学と高等学校が相互に連携して、高大連携事業を実施することにより、大学と高等学校との教育・研究に関する相互理解の促進に取り組むことを目的とし、道内の高等学校33校と高大連携協定を締結しています。

高大連携・協定締結の状況

締結日・学校名	締結日・学校名
平成15年2月19日 北海道札幌稲雲高等学校	平成20年5月23日 北海道知内高等学校
平成17年4月18日 北海道小樽桜陽高等学校	平成20年6月17日 北海道札幌丘珠高等学校
平成17年6月1日 北海道札幌藻岩高等学校	平成20年8月7日 北海道常呂高等学校
平成17年6月22日 北海道木古内高等学校	平成20年10月16日 北海道熊石高等学校
平成17年7月20日 駒澤大学附属岩見沢高等学校	平成20年12月25日 北海道千歳北陽高等学校
平成17年9月28日 北海道札幌旭丘高等学校	平成21年7月6日 北海道津田高等学校
平成17年10月17日 北海道静内高等学校	平成21年11月19日 北海道蘭越高等学校
平成17年12月1日 北海道鹿追高等学校	平成22年3月18日 北海道滝川高等学校定時制課程
平成18年9月25日 北海道平取高等学校	平成22年4月23日 北海道羽幌高等学校
平成18年10月2日 北海道札幌新川高等学校	平成22年4月23日 北海道富良野高等学校
平成19年3月20日 北海道札幌厚別高等学校	平成22年4月24日 北海道士別翔雲高等学校
平成19年4月27日 北海道南茅部高等学校	平成22年6月30日 北海道札幌開成高等学校
平成20年3月13日 北海道釧路明輝高等学校	平成22年6月30日 北海道札幌清田高等学校
平成20年3月13日 北海道尚志学園高等学校	平成22年6月30日 北海道札幌平岸高等学校
平成20年3月19日 北海道札幌拓北高等学校	平成22年6月30日 北海道札幌啓北商業高等学校
平成20年3月26日 北海道伊達緑丘高等学校	平成22年6月30日 市立札幌大通高等学校
平成20年4月26日 旭川実業高等学校	

札幌市立高等学校(8校)と 高大連携包括協定を締結しました

本学と札幌市立高等学校(8校)は、6月30日(水)に札幌市教育委員会4階会議室において、川瀬正明学長と大川徹札幌市立高等学校校長会会長(北海道札幌新川高等学校校長)により、高大連携に関する包括協定書に調印しました。今回の協定締結により、本学の高大連携校は33校となりました。

高大連携包括協定校

- ・北海道札幌旭丘高等学校
- ・北海道札幌開成高等学校
- ・北海道札幌藻岩高等学校
- ・北海道札幌清田高等学校
- ・北海道札幌新川高等学校
- ・北海道札幌平岸高等学校
- ・北海道札幌啓北商業高等学校
- ・市立札幌大通高等学校



左:川瀬正明学長 右:大川徹札幌市立高等学校校長会会長

高校生を対象に「情報プロジェクト」 体験プログラムを開催しました

8月4日(水)~7日(土)の4日間、Webデザイナーやクリエイター、プログラマーなどITに関心のある高校生が本学グローバルシステムデザイン学科の授業「情報プロジェクト」の一部を体験する短期集中プログラムを開催しました。今年度は25名が参加。Adobe Flashの基本操作を学んだ後、実際にアニメーションやゲームを作成しました。



Cooperation

[大学間連携・高大連携・地域連携]

4月24日に「第1回高大連携研究会」を開催しました

今年度第1回目となる高大連携研究会を4月24日にアスティ45ビル16階(ACU)で開催しました。

今回の研究会では、本年3月に事業を終了した「先導的教育情報化推進プログラム」の事業成果報告を始め、各連携校よりICT活用状況報告をしていただきました。また、研究会の最後に各学科長より学科紹介を行い、その後本年4月より設置した教職課程の概要についての説明を行いました。

当日の研究会の詳細は下記のとおりです。

千歳科学技術大学 平成22年度 第1回高大連携研究会 ■研究会次第 会場/中研修室1613

- 14:00~14:05 開会挨拶
千歳科学技術大学 学長 川瀬 正明
- 14:05~14:20 先導的教育情報化推進プログラム事業成果報告及び今年度の高大連携事業について
総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科 准教授 今井 順一
- 14:20~14:35 今年度の高大連携における事業内容について
情報・メディア教育センター メディア教育推進室長 米澤 一弘
- 14:35~14:50 今年度のコンテンツ開発について
総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科 講師 石田 雪也
- 14:50~15:20 CIST-Solomon 管理画面改良報告
- 15:20~15:35 コーヒーブレイク
- 15:35~16:50 各連携校利用状況報告
- 16:50~17:30 学科紹介
バイオ・マテリアル学科長 Olaf Karthaus
光システム学科長 小林 壮一
グローバルシステムデザイン学科長 吉田 淳一
教職課程設置について
事務局次長 表 忠明



6月20日に「eカレッジ講習会」を実施しました

eカレッジは、千歳市教育委員会主催のもと本学が連携協力し、市内の小中学生から希望者を募り、基礎学力向上のために、eラーニングシステムを利用してもらう家庭学習支援事業です。eラーニングシステムは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができるシステムです。この講習会では、本学総合光科学部グローバルシステムデザイン学科の石田雪也講師がeラーニングシステムの基本的な使い方を説明しました。

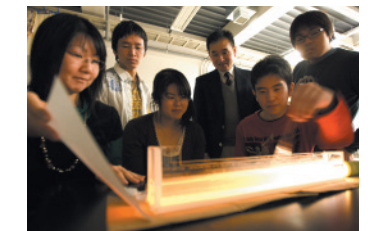


理科工房

小中学校での理科実験授業や市内外での 科学教室などを行っています

小中学生への理科の出前授業、道内各地でサイエンスデモ実験、小中学生のための理科電子教材や実験材料作りなどで、理科の面白さを伝えようという学生主体のプロジェクトチームが「理科工房」。

子どもたちが楽しみながら参加できる実験内容を考え、実験器具を自作しています。「夕焼けって、どうして赤いの?」「糸でんわって、どうして声が伝わるの?」、そんな子どもたちの疑問を解決するため、日々工夫を重ねています。「理科工房」の実験にふれた子どもたちの中から、理科に興味を持ち、将来の最先端技術を担う人材が育つかも知れません。



平成22年度 理科工房活動実績(予定) ※8/31現在決定分

5/8(土)	由仁サイエンスステージ
5/15(土)	あそびの日inちとせ2010(高台小学校)
6/20(日)	科学の祭典 札幌南大会(東海大学)
6/24(木)	千歳市教育委員会適応指導教室「おあしす」実験授業
6/25(金)	緑小学校6年生 実験授業
7/2(金)	祝梅小学校4年生 PTA事業
7/10(土)	千歳サケのふるさと館 科技大生による科学教室(第1回)
7/10(土)	ほくおう児童館 児童館まつり
7/16(金)	千歳小学校6年生 実験授業
7/24(土)	ちとせこ児童館 科学教室
7/24(土)	いずみさわ児童館 児童館まつり
7/29(木)	サマーアートキャンプ in 江別2010 科技大訪問・実験体験
7/31(土)~8/1(日)	ちとせモール 科学教室イベント(午前・午後 各1回)
8/6(金)	科学の祭典 札幌清田大会
8/7(土)	千歳サケのふるさと館 科技大生による科学教室(第2回)
8/19(木)・20(金)・23(月)・24(火)	千歳中学校1年生SPP事業
8/20(金)	千歳小学校6年生 実験授業(その1)
8/21(土)	文化祭2010カルチャーミックス工作教室・科学教室(千歳市民文化センター)
8/25(水)	千歳小学校6年生 実験授業(その2)
8/28(日)	千歳サケのふるさと館 科技大生による科学教室(第3回)
8/29(日)	科学の祭典 札幌南大会(札幌市下水道科学館)
9/4(土)	ひので児童館 科学教室
9/5(日)	稜輝祭 科学教室
9/18(土)	しなの児童館 児童館まつり
9/26(日)	ふるさとポケット(青葉公園)
10/17(日)	科学の祭典 千歳大会(千歳市民文化センター)
10/23(土)	環境フェア in CHITOSE(千歳市民文化センター)
10/27(水)	千歳まちめぐりガイド(「S事業」科技大見学会)
10/30(土)	リフレッシュ理科教室 サイエンスオリエンテーションin札幌(北海道大学)
10/31(日)	ほくてん科学教室1dayサイエンス(本学開催)

Research and Education

【教育・研究】

フォトニクス研究所設置

本学では大学院生及び若手教員の研究活性化を図り、大学の研究力を促進するために本年2月にフォトニクス研究所を設置しました。

研究所は企業と大学が共同研究する場を目指すものとし、光科学の新しい発展に対し先導的な役割を推進します。なお、フォトニクス研究所の所長には光システム学科小林壮一教授が就任しました。

本学主催の国際会議にてノーベル化学賞を受賞した白川博士が講演します

10月14日(木)、15日(金)に本学本部棟において第11回千歳光科学国際フォーラム(CIF'11)が開催されます。国際会議への参加は有料ですが、同時に開催される白川英樹博士(2000年ノーベル化学賞)による講演会は無料となっています。講演のテーマは、白川博士の小学校から大学・大学院での学びとセレンディピティー(思いがけない発見など)や34年に及ぶ研究生活を通して体験した学際融合や国際交流の大切さなど。一般の方々や学生の方々にもお聞きいただける内容となっております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



- 主催 千歳科学技術大学
- 共催 ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC) 千歳商工会議所
- 日時 平成22年10月14日(木)15日(金)
※白川博士の特別講演は10月14日(木)16:00~17:00
- 会場 千歳科学技術大学

●特別講演:

「導電性高分子の発見とセレンディピティー
～ポリアセチレン研究の34年を振り返って～」
白川英樹博士

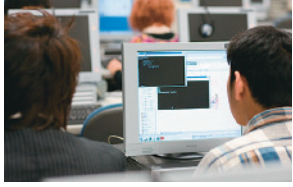

教職課程を設置しました

本学では、文部科学省より課程設置認可を受け、平成22年度から教職課程を設置しました。これにより、学生の進路に「教員」という選択肢ができ、卒業後の進路の幅が広がることとなります。さらに本学では、昨今の教育現場のニーズに答えるべく、「ICTを活用した効果的な授業」の展開を可能とする教員の人材育成を目指します。

取得可能な免許状の種類および教科

教育職員免許状の種類	種類及び教科
バイオ・マテリアル学科	高等学校教諭一種免許状(理科)
光システム学科	中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学)
グローバルシステムデザイン学科	高等学校教諭一種免許状(情報)

総合光科学部・光科学部行事予定表

4月	[1日]春学期開始 [1日~2日]第2~4学年ガイダンス・定期健康診断 [3日]入学式 [5日~7日]第1学年オリエンテーション [30日]振替休日 ※7/19(祝日)の授業分	1月	[25日~31日]秋学期定期試験 ※2/1予備日
6月	[6日]開校記念日	2月	[8日]秋学期再試験対象者発表 [8日~10日]秋学期再試験申込期間 [21日~25日]秋学期再・追加試験 [下旬]大学院博士前期課程2学年修士論文発表会
7月	[19日]祝日であるが月曜日の通常授業 [26~30日]春学期定期試験 ※31日予備日	3月	[1日~31日]春期休業 [11日]第1学年 学科分け決定者発表 [11日]第4学年 卒業生発表 [中旬]保護者へ成績表送付 [19日]学位記授与式
8月	[1日~9月5日]夏期休業 [6日]春学期再試験対象者発表 [6日~20日]春学期再試験申込期間 [30日~9月3日]春学期再・追加試験 [23日~9月3日]大学院博士前期課程2学年研究中間発表会		
9月	[6日]秋学期開始 [19日]光の記念日		
10月	[下旬]保護者へ成績表送付 [23日]父母懇談会		
12月	[23日~1月16日]冬期休業		

総務省の「地球温暖化対策 ICTイノベーション推進事業 (PREDICT)」に採択されました

PREDICTは地球温暖化対策に資するICTのシーズ(種)の創出を促進し、得られた成果による大幅なCO₂の排出削減を目指すとともに温暖化問題に対する我が国の国際貢献を目的としています。今回は本学の山林教授が研究代表者を務める研究テーマ「超低消費電力光IPルータ基本技術の研究開発」が採択となりました。(全国応募33件、採択4件)

川瀬教授が新学長に就任しました

雀部博之前学長の任期満了に伴い、平成22年4月より光システム学科川瀬正明教授が新学長に就任しました。なお、任期は4年間となります。

その他役職者については以下のとおりです。



左:雀部博之前学長 右:川瀬正明学長

学部長	山林 由明 教授
研究科長	川辺 豊 教授
学科長	バイオ・マテリアル学科 Olaf Karthaus 教授
	光システム学科 小林 壮一 教授
	グローバルシステムデザイン学科 吉田 淳一 教授

Event

【イベント】

4月3日に入学式を挙行了しました

今年度は学部生が296名、大学院博士前期課程33名、大学院博士後期課程4名の計333名の皆さんが入学されました。



4月5日に1年生交流会を実施しました

入学したての新入生同士がグループワークなどを通じて交流することにより、いち早く学生生活になれてもらうことを目的とした1年生交流会を実施しました。

今年度のグループワークのテーマは「風力発電」で、コンテストでは各グループが作成した風車の発電量を競いました。



5月29日に同窓会定期総会を実施しました

本学同窓会会員による同窓会定期総会を実施し、昨年度事業報告、同窓会会則の一部改正、次年度事業計画および予算などについて審議を行いました。

第12回 日中韓三カ国環境大臣会合 (TEM12)に本学学生が参加しました

5月22日から23日に千歳市・苫小牧市で開催されたこの会合に伴い、苫小牧高等専門学校、北海道大学(中韓留学生含む)、本学の3校から18名の学生が参加し、環境保全に関する議論を交わし、その成果を三カ国の環境大臣に提言する「TEM12学生会議」が行われました。WEB 会議・メールでのディスカッションを1週間ほど行い、さらに議論を深めるための合宿を実施し、環境についての課題を共有し、議論を深めました。そして、23日に苫小牧市「ウトナイ湖野生鳥獣保護センター」にて、「初等中等教育・社会人教育でのeラーニングなどのICTを活用した環境意識の向上」という2つの提案を、三カ国の言語でポスターにまとめ、各環境大臣に向け発表を行いました。



本学参加者

- 【発表者】・光科学研究科 博士前期課程1年 下村 一さん
・光科学研究科 博士前期課程1年 高橋 幸平さん
・光科学部 光応用システム学科4年 及川 大志さん
・光科学部 光応用システム学科4年 小川 心平さん
・光科学部 光応用システム学科4年 長屋 則宏さん

【学生サポーター(本学写真部)】

- ・総合光科学部 バイオ・マテリアル学科3年 金谷 貴史
・総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科3年 宮崎 雄太さん
・総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科2年 宮崎 碧さん
・総合光科学部 1年 幕田 涼平さん

父母懇談会を開催します

在学生のご父母の皆さまと大学との理解を深めるため父母懇談会を開催します。内容は全体説明会(授業について、学生生活について、就職について)や個別相談などを予定しています。

なお、在学生のご父母の皆さまには9月中旬に案内文書を送付する予定ですので、奮ってご参加ください。

- 日時 平成22年10月23日(土) 11:00~16:00
- 会場 千歳科学技術大学本部棟・研究実験棟

9月19日(日)オープンキャンパス開催

今年4回目のオープンキャンパスを9月19日(日)に本学で開催します。開催に際して千歳市内のほか、札幌、新札幌、小樽、苫小牧、東室蘭、北見、旭川、釧路、帯広、函館から大学までの無料送迎バスを運行します。また、道内外の遠方よりご参加いただく方を対象に、千歳市内の大学指定学生会館へ無料宿泊体験をご用意しています。

- 日時 平成22年9月19日(日)10:00~15:00
- 受付 本学本部棟(9:30より受付)
- 会場 本学本部棟、研究・実験棟、10周年記念棟
- 対象 高校生、保護者、高校関係者、地域の方

入試日程

入試タイプ	出願期間	試験日	合格発表日	
特別推薦入試 (指定校推薦)	11月 1日(月)	11月23日(火)	12月 1日(水)	
	11月 8日(月)			
公募推薦入試	12月 6日(月)	12月25日(土)	12月28日(火)	
	12月20日(月)			
一般 学力入試	1月 5日(水)	2月 5日(土)	2月16日(水)	
	1月26日(水)			
	2月16日(水)			
センター試験 利用入試	2月25日(金)	3月 3日(木)	3月 9日(水)	
	3月 4日(金)			
	3月22日(火)			
前期	1月 5日(水)	—	2月16日(水)	
	2月 3日(木)			
後期	2月16日(水)	—	3月17日(水)	
3月11日(金)	—	—	—	
入試タイプ	出願締切	面接日	合格発表日	
A型	第1~3クール	11月 8日(月)	11月23日(火)	12月 1日(水)
	第4クール	12月20日(月)	12月25日(土)	12月28日(火)
	第5クール	1月21日(金)	1月29日(土)	2月 2日(水)
B型	第1~9クール	11月 2日(火)	11月23日(火)	12月 1日(水)
	第10~14クール	11月15日(月)		
	第15~19クール	12月18日(土)	12月25日(土)	12月28日(火)
	第20~21クール	1月14日(金)		
	第22~24クール	1月24日(金)	1月29日(土)	2月 2日(水)
第25クール	1月26日(水)			
C型	—	11月 8日(月)	11月23日(火)	12月 1日(水)

※AO入試は出願前にエントリーが必要です。

オープンキャンパスや入試に関する詳細は本学ホームページ、または入試課
(0123-27-6011、nyushi@guppy.chitose.ac.jp)
まで、お問い合わせください。

Course

[就職・進学]

独自のキャリアアッププログラム

本学では、学生のキャリアアップをさまざまな角度からサポートしています。従来からの取組に加えて、平成22年度から新たにキャリア形成プログラムを開設しました。これは、企業が求める人材像が、コミュニケーション力、主体性などを一層重視する傾向にあることから、入学後早い時期から、継続してキャリア形成を支援していくプログラムです。1年次は月1回、2年次及び3年次は週1回時間割上に組み込み、グループワークやOB・OG、企業、現4年生などからの講演等で労働観や就業感を養います。その後、従来から実施している3年次夏季休暇中のインターンシップを経験したうえで、3年次秋学期以降の就職に向けた準備、実際の就職活動へと接続させることを目的としています。

就職支援スケジュール

第1学年	
年間回数	キャリア形成プログラム(導入講座)
第2学年	
通年	キャリア形成プログラム
秋学期	1dayインターンシップ実施
第3学年	
	※キャリア形成プログラムとして実施するものを含む
4~7月	キャリア形成プログラム
4月	第1回就職ガイダンス インターンシップ・ガイダンス
5月	第2回就職ガイダンス
6月	インターンシップ事前研修
7月	第3回就職ガイダンス
8月	インターンシップ実施
9月	進路調査票提出 キックオフガイダンス
10月	個人面談 インターンシップ事後研修
11月	就職マナー講座 OB・OG対話
12月	第4回・第5回就職ガイダンス 学校推薦説明会
1月	第6回就職ガイダンス 就職模擬試験
2月	学内企業研究セミナー(就職セミナー) 就職希望調査提出
3月	個人面談 学校推薦者決定 企業の採用試験開始
第4学年	
4月~	学生への個別対応(内定までのサポート)

インターンシップ

学生が夏休みを利用して職場体験する「インターンシップ」は、学業中心の学生たちにとって、企業の現場を直接体験できる貴重な機会。実社会とはどういうものか、そこで仕事をするとはどういうことなのか、身をもって学び、自分なりの職業観を持つきっかけにしたいと、本学でも第1期生より実施しています。

また、2003年度より、キャリア教育をさらに強化するため、インターンシップを単位化しました。キャリアセンターでは学生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチングを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをよりいっそう強化しています。

平成21年度卒業者の進路状況

(平成22年3月末現在)

今年度も就職環境は非常に厳しい状況が続きました。その中で今後ますます「質重視」の人材採用が継続されることは間違いありません。在学生のみなさんは早期から総合的な能力向上を意識して学生生活を送り、就職活動に臨むようお願いいたします。

就職決定者…… 128名 求人社数…… 1,284社
就職率…… 92.8%

※就職率=就職決定者÷就職希望者

文章能力養成合宿

8月4日(水)~6日(金)の3日間、ニセコいこいの村にて「文章能力養成合宿」を実施しました。この合宿は学生の読解力やプレゼンテーション能力などの向上を目指したもので、各グループがそれぞれ1冊の新書を精読し、その内容をまとめ10分間で発表するという内容です。

4回目の実施となった今回の合宿には、1年生から4年生まで32名の学生が参加し、本の要約やプレゼンテーション資料の作成などに夜遅くまで取り組んでいました。

文章能力養成合宿スケジュール

8月4日(水)	移動、文章講座1・2、精読
8月5日(木)	文章講座3、プレゼンテーション講座、要約・まとめ、リハーサル
8月6日(金)	グループ発表・講評、移動



Financial statements

[財務情報]

■貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

[資産の部]		(単位:千円)		
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	10,497,076	10,642,506	△145,430	
有形固定資産	7,043,887	7,410,446	△366,559	
土地	2,995,016	2,995,016	0	
建物	2,735,024	2,899,214	△164,190	
その他の有形固定資産	1,313,847	1,516,216	△202,369	
その他の固定資産	3,453,189	3,232,060	221,129	
流動資産	1,007,806	985,036	22,770	
現金預金	946,439	926,560	19,879	
その他の流動資産	61,367	58,476	2,891	
合 計	11,504,882	11,627,542	△122,660	

[負債の部] (単位:千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	78,281	75,955	2,326
流動負債	360,492	275,972	84,520
合 計	438,773	351,927	86,846

[基本金の部] (単位:千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	11,391,180	11,352,971	38,209
第4号基本金	97,005	97,005	0
基本金の部合計	11,488,185	11,449,976	38,209

[消費収支差額の部] (単位:千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
消費収支差額	△422,076	△174,361	△247,715

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計 (単位:千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
合 計	11,504,882	11,627,542	△122,660

■消費収支計算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

当該会計年度の学生納付金等の「帰属収入」から、当該会計年度における「基本金に相入る額」を控除した消費収入と人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

[消費収入の部] (単位:千円)

科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,107,735	1,098,650	9,085
手数料	10,560	18,410	△7,850
寄付金	2,000	7,367	△5,367
補助金	224,068	255,659	△31,591
国庫補助金収入	224,000	255,587	△31,587
地方公共団体補助金収入	68	72	△4
資産運用収入	28,468	42,800	△14,332
資産売却差額	0	92	△92
事業収入	47,256	74,885	△27,629
雑収入	12,229	9,098	3,131
帰属収入合計	1,432,316	1,506,961	△74,645
基本金相入額合計	△21,802	△38,210	16,408
消費収入の部合計	1,410,514	1,468,751	△58,237

[消費支出の部] (単位:千円)

科 目	予算	決算	差異
人件費	715,951	679,696	36,255
教育研究経費	841,115	824,980	16,135
(内減価償却費)	383,932	371,196	12,736
管理経費	211,491	204,470	7,021
(内減価償却費)	20,181	19,418	763
予備費	(5,000)		0
	0		0
資産処分差額	0	3,573	△3,573
徴収不能引当金繰入額	0	3,748	△3,748
徴収不能額	0	0	0
消費支出の部合計	1,768,557	1,716,467	52,090

帰属収支差額	△336,241	△209,506	△126,735
帰属収支差額比率	△23.5	△13.9	△9.6
当年度消費支出超過額	358,043	247,715	
前年度繰越消費収入超過額	0	0	
前年度繰越消費支出超過額	174,361	174,361	
翌年度繰越消費支出超過額	532,404	422,076	

■資金収支計算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

[資金収入の部] (単位:千円)

科 目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,107,735	1,098,650	9,085
手数料収入	10,560	18,410	△7,850
寄付金収入	2,000	5,850	△3,850
補助金収入	224,068	255,659	△31,591
国庫補助金収入	224,000	255,587	△31,587
地方公共団体補助金収入	68	72	△4
資産運用収入	28,468	42,800	△14,332
資産売却収入	0	92	△92
事業収入	47,256	74,885	△27,629
雑収入	12,229	9,098	3,131
前受金収入	160,895	265,557	△104,662
その他の収入	271,218	3,525,108	△3,253,890
資金収入調整勘定	△182,128	△231,630	49,502
当期資金収入合計	1,682,301	5,064,479	△3,382,178
前年度繰越支払資金	926,560	926,560	
収入の部合計	2,608,861	5,991,039	△3,382,178

[資金支出の部] (単位:千円)

科 目	予算	決算	差異
人件費支出	707,978	677,371	30,607
教育研究経費支出	457,183	453,783	3,400
管理経費支出	191,310	185,051	6,259
施設関係支出	0	342	△342
設備関係支出	49,408	43,115	6,293
資産運用支出	216,030	3,436,359	△3,220,329
その他の支出	250,239	329,547	△79,308
予備費	(5,000)		0
	5,000		5,000
資金支出調整勘定	△64,120	△80,968	16,848
当期資金支出合計	1,813,028	5,044,600	△3,231,572
次年度繰越支払資金	795,833	946,439	△150,606
支出の部合計	2,608,861	5,991,039	△3,382,178

千歳科学技術大学報

CONTENTS

学位記授与式	1
教育・研究	2~3
大学間連携・高大連携・地域連携	4~5
就職・進学	6
イベント	7
教育・研究	8

vol.24 平成23年3月31日

発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課
千歳市美々758番地65 電話0123-27-6123

ホームページ <http://www.chitose.ac.jp>

モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

Best Care, Best Success

平成22年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式を挙行

平成23年3月19日(土)、本学講堂において平成22年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、光科学部164名の卒業生、大学院博士前期課程24名、博士後期課程1名の修了者一人一人に川瀬正明学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして小谷津孝明理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ学業に精励努力した学生に贈られる優良賞に、物質光科学科西川直輝さん、浜田直樹さん、そして光応用システム学科佐々木規之さん、藤永紀昭さん、さらに、課外活動などで功績のあった学生に贈られる善行賞に物質光科学科福澤広大さんが選ばれ表彰されました。また、その中から佐々木規之さんが、卒業生・修了生を代表して答辞を述べました。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本日、本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれの新たな道を踏み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。



小谷津孝明理事長



山口幸太郎千歳市長



Education Research

[教育・研究]

雀部博之教授退職記念シンポジウム開催

本学前学長である雀部博之教授が本年3月末をもって定年退職されるため、去る3月11日(金)に退職記念シンポジウムが本学大講義室で開催されました。

シンポジウムでは、本学の元教授であり現在九州大学未来科学創造センター教授である安達千波矢氏、慶應義塾大学理工学部教授小池康博氏、東北大学多元物質科学研究所教授下村政嗣氏、独立行政法人産業技術総合研究所ナノシステム研究部部門長八瀬清志氏、オーストリア技術研究所・教授ウォルフガング・クノール氏の各講演があり、その後、前述の各先生方に雀部教授が加わったパネルディスカッションが行われ、最後に雀部博之教授の最終講義が行われました。

会場には100名以上の聴講者があり、特に雀部教授の最終講義は皆熱心に聞き入っていました。その後、会場をホテル日航千歳に移した記念パーティが行われ、皆、雀部先生との名残を惜しみつつ会話が弾んでいました。

雀部教授には、学長在任8年間を含む12年間、本学に多大なる貢献をいただいたことを心より感謝するとともに、さらなるご活躍と今後とも本学名誉教授としてご協力をお願いするしだいです。



退任のご挨拶

初代学長になられた故佐々木敬介先生が「北海道の千歳にユニークな大学を創る」とおっしゃって精力的に活動を始められたのが平成6年のことであり、我々研究者仲間をびっくりさせました。それから4年後の平成10年4月に、光科学技術の世界的な教育・研究拠点づくりを目指すこの「千歳科学技術大学」がスタートしました。残念なことに開学半年後に病に倒れ不帰の人とされましたが、佐々木先生の掲げられた「人知還流・人格陶冶」の建学精神は今なお本学の指針となっています。縁あって開学2年目から着任することになり、12年間の教授生活をここ千歳で送りました。小規模大学だからこそ可能なき細かい教育をベースに、社会から求められる人材を世に送り続けていることは、まさに建学精神を具現化しているといっても過言ではありません。学生も教職員も一体となって本学の活性化を図っていけば、必ずや目標を達成することができるものと確信しています。千歳科学技術大学の益々のご発展を心から祈念しています。



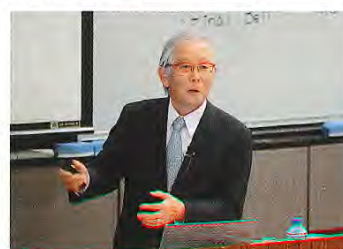
雀部 博之 教授(前学長)

第11回千歳光科学国際フォーラム(CIF'11)を実施しました

平成22年10月14日(木)、15日(金)の2日間、本学において第11回千歳光科学国際フォーラム(CIF'11)を実施し、日本のみならずアメリカ、スイス、ドイツ、韓国、メキシコから合計120名ほどの参加がありました。今年はテーマを「Polymer Photonics, and Novel Optical Technologies」と題し、(1)Photorefractive Polymers、(2)Photonics Polymers、(3)Optical Sensingの3つのセッションでフォーラムを行いました。

基調講演には、アメリカ・アリゾナ大学よりNasser Peyghambarian博士を招き、有機フォトリフラクティブ材料を応用した3Dホログラム(3次元立体)ディスプレイに関する最先端技術の講演が行われました。また、国際フォーラムに併せて2000年ノーベル化学賞受賞者である白川英樹博士による特別講演会も実施し、フォーラム参加者のほか本学学生や一般市民の皆さまなどたくさんの方が来場し、白川博士の講演に熱心に耳を傾けていました。

そのほかにも、国内外の著名な研究者による18件の口頭発表や、若き研究者による54件のポスター発表も行われ、優れたポスター発表者に贈られるポスター賞には、本学大学院光科学研究科2年馬淵奨平さん(小田研)、同1年日高公介さん(木村研)、同1年森博之さん(カートハウス研)が選ばれました。



白川 英樹 博士

Education Research

[教育・研究]

フォトニクス研究所コロキウム開催

千歳科学技術大学フォトニクス研究所では、大学院生の研究活動活性化や地域企業に向けての研究活動の情報発信を目的として定期的にコロキウム(研究討論会)を開催しています。

内容は本学の教員の研究発表や講師を招いての講演会を行うなど平成22年度は計5回開催しました。

■第1回 平成22年6月23日(水) 千歳科学技術大学

テーマ 「科学技術振興機構(JST)の研究支援と特許について」

科学技術振興機構知的財産センター大学支援担当特許化支援事務所(北海道) 特許主任調査員 三井 良一

テーマ 「FTIR イメージングによる食品分析」

バイオ・マテリアル学科 教授 木村 廣美

テーマ 「フォトニクス結晶スラブ線欠陥導波路の非線形光学特性に関する研究」

光システム学科 助教 小田 久哉

■第2回 平成22年7月28日(水) 千歳アルカディア・プラザ

テーマ 「キリンブランドの秘密」

キリンビール(株)千歳工場 工場長 小森 俊明

テーマ 「電子が主役のエレクトロニクスからプロトニクスへ:プロトン(陽子)ダイナミクスを利用した光機能性材料開発」

バイオ・マテリアル学科 准教授 坂井 賢一

テーマ 「作業員の行動に基づく労働災害と人的エラー防止の研究」

グローバルシステムデザイン学科 准教授 小林 大二

■特別講演会 平成22年8月18日(水) 千歳科学技術大学

“The Beginning of a Tradition”

University of Potsdam Heidi Granzow, Eric Schoenemann

■第3回 平成22年9月29日(水) 千歳科学技術大学

テーマ 「非線形光学結晶によるレーザ光波長変換技術の展望(真空赤外線からテラヘルツまで)」

バイオ・マテリアル学科 准教授 梅村 信弘

テーマ 「自宅にもPC教室のプログラミング環境を！」

グローバルシステムデザイン学科 専任講師 深町 賢一

■特別講演会 平成22年11月10日(水) 千歳科学技術大学

“Biotronics Research at the US Air Force Research Laboratory: Principal Electronics Research Engineer with the Air Force Research Laboratory, Materials and Manufacturing Directorate at Wright-Patterson Air Force Base”

Air Force Research Lab. Dr. James G. Grote

■第4回 平成22年7月28日(水) 千歳アルカディア・プラザ

テーマ 「低炭素社会の実現に貢献する天然ガス～北海道ガスの取り組みについて～」

北海道ガス(株)千歳支店 支店長 宮本 伸司

テーマ 「顔表情運動のオプティカルフロー解析と顔面神経麻痺の診断～豊かな表情とともに健やかな生活を～」

バイオ・マテリアル学科 教授 南谷 晴之

■第5回 平成23年2月15日(火) 千歳アルカディア・プラザ

テーマ 「社会を支える電力システム」

北海道電力(株)千歳支社 支社長 尾崎 伊智朗

テーマ 「資源枯渇時代に向けたマグネシウムエネルギーサイクルへの挑戦」

グローバルシステムデザイン学科 教授 山林 由明

※第2, 4, 5回はPWC「光テクノロジー応用懇談会」と共催です。

平成22年度学位論文テーマ

学生氏名	修士論文タイトル
有我 祐人	インターネットを活用した知識生成モデルの提案と学習コミュニティへの適用
石川 晴美	ジビリジリアミン-BF ₂ などのキレート錯体の合成とフォスフォルル化型毒性物質の検知への応用の試み
岩城 匠朗	継続的な学習活動を図るための自学自習向けコース管理システムの研究
大関 匠	SMF中のソリトンを用いたパルス等化回路の研究
隠岐 正義	光配線板用感光性ポリマー光導波路作製法の研究
小澤 祐也	自律学習支援のための教材推薦システムに関する研究
加藤 翔	DNAポリマーを用いたシアニン色素会合体形成と制御:光学特性による評価
亀山 慎矢	光学ポリマーの高透明化、透明性予測
川岸 知浩	光学ポリマーのエイジングに伴う光学特性変化
木下 智嗣	ダイシングを用いたポリマー光導波路作製の研究
佐川 康輝	電気接点表面の3次元形状計測システムの構築に関する研究
澤井 遼平	WDM用スペクトルスライス光源とネットワークの特性評価
杉山 紅城	DNAを用いたハニカム膜の表面吸着
高梨 雅弘	光パルスを用いた水面測距技術に関する研究
高橋 紗未	エノール-ケト互変異性可能な配位子をもつ金属錯体の結晶構造と分光学的研究

学生氏名	修士論文タイトル
高橋 拓也	Tb添加希土類酸化物単結晶における緑色蛍光特性
高島 嘉彦	基本ソリトンパルスを用いた光コヒーレンストモグラフィーと蛍光コヒーレンストモグラフィー
坪田 悠	自己組織化を用いたPolyvinylidene fluoride-Trifluoroethylene マイクロ構造物の作製
中山 博之	近赤外顕微ラマン分光法を用いた光学的細胞診断
畑中 優太郎	キロメートル長MMFIに対する超高速デジタル伝送特性改善方法に関する研究
濱田 恭介	高校授業向け数学デジタル教材の開発と評価
馬淵 奨平	視覚情報を利用したパワーアシスト車椅子の多角的支援制御
若井 宏文	ワイドギャップ酸化物β-Ga ₂ O ₃ の発光性に関する研究
和地 貴紀	自己組織化を用いた有機半導体材料のマイクロ構造の作製

学生氏名	博士論文タイトル
三上 拓哉	RTP及びCTAのセルマイヤ方程式及び熱光学分散式とその実用的応用

Cooperation

[大学間連携・高大連携・地域連携]

韓国の2大学と学術交流協定締結

本学は平成22年11月18日(木)に湖南大学校と、平成23年1月20日(木)に全南大学校と学術交流協定を締結しました。2大学とも韓国光州広域市にあり、湖南大学校は5学部、総学生数8,000名を有する私立総合大学であり、全南大学校は17学部37,000名を有する国立大学です。

この協定締結により、お互いの大学の発展のため、この2大学との国際交流を含めた、教育・研究等の交流と協力を促進していく予定です。



左:川瀬学長 右:湖南大学 朴企画総長



左:川瀬学長 右:全南大学 李光教育センター長

夕張市教育委員会と連携・協力に関する協定を締結しました

本学と夕張市教育委員会は、平成22年12月27日(月)にICTを活用した教育手法を柱とする新しい教育システムの確立とその普及に努めることを目的とし、協定を締結しました。

具体的な連携事業の内容は今後両機関で詰めて行くこととなりますが、当面は大学が夕張市の中学校に対してeラーニングシステム等の導入支援を行っていく予定です。

教育委員会との連携は、千歳市教育委員会(平成15年9月1日締結)に次いで2例目となります。

北海道寿都高等学校、札幌日本大学高等学校と高大連携協定を締結しました

北海道寿都高等学校、札幌日本大学高等学校と高大連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、本学の高大連携校は35校となりました。

協定締結日

平成22年10月7日(木) 北海道寿都高等学校

平成22年10月8日(金) 札幌日本大学高等学校



左:香川北海道寿都高等学校長 右:川瀬学長 左:伊藤札幌日本大学高等学校長 右:川瀬学長

平成22年度eカレッジ修了式を実施しました

本年度で5回目となる、千歳市内小中学生を対象としたeカレッジの修了式を3月5日(土)に千歳市総合福祉センターで実施しました。

このeカレッジ修了式は、本学のeラーニング教材を利用して、小学校3年生から中学校3年生までの科目(小学校理科・算数、中学校数学・英語・理科)の中で児童生徒が自分で申し込んだ科目の取り組み状況(取組回数、取組時間、演習問題達成度等)をもとに、年度末に学長名の修了証を交付するものです。

本年度は、19名に修了証を交付し、さらに取り組み状況が特に優秀だった17名に表彰状を授与しました。

※eカレッジとは、千歳市在住の児童生徒の基礎学力向上や家庭学習支援を目的とし、千歳市教育委員会が実施する行政サービスで、千歳科学技術大学が学習管理等の支援を行っている千歳市教育委員会との協働事業です。



理科工房

～子どもたちに理科を好きになってもらおう～

理科工房は、学生の自主性を重視した自立的プロジェクトとして活動を展開しています。主な活動内容は、地域の小中学校と連携した理科実験授業、児童館や科学館における科学教室、各地の理科実験イベントなどがあります。

現在ではクチコミなどを通して多くの活動依頼が寄せられるようになり、本年度の活動は60回以上にわたっています。

活動に参加する学生は、子どもたちに理科を好きになってもらうための資料作りや指導方法、興味をもってもらえるようなプレゼンテーション方法を考え行動に移すだけでなく、イベント企画能力やスケジュール管理能力など、この活動を通じて不足している能力を自覚したり、成長できた能力を学生自ら認識している点では、自主的・主体的な行動が求められる本プロジェクトの特徴といえるでしょう。



Cooperation

[大学間連携・高大連携・地域連携]

平成22年度第3回高大連携研究会を開催しました

今年度第3回目となる高大連携研究会を平成22年11月20日(土)にアスティ45ビル16階(ACU)で開催しました。

今回の研究会では、基調講演として株式会社ベネッセコーポレーション北海道事業所長の相武貴志様を招聘し、「高大連携の現状と今後について」ご講演いただきました。

また、昨年6月に包括協定を締結した札幌市立高等学校の高大連携の取り組みや、北海道釧路明輝高等学校からは、「LMSを活用したeラーニングによる不登校、長期入院療養生徒等の学習指導について」先進的な実践事例の報告をしていただきました。

当日の研究会の詳細は下記のとおりです。

千歳科学技術大学
平成22年度 第3回高大連携研究会
■研究会次第 会場/大研修室1606

- 14:00~14:05 **開会挨拶**
千歳科学技術大学 学長 川瀬 正明
- 14:05~15:05 **基調講演**
「高大連携の現状と今後について」
株式会社 ベネッセコーポレーション
北海道事業所長 相武 貴志 氏
- 15:05~15:25 **連携校実践事例発表 I**
「札幌市立高校の高大連携の取り組み」
札幌市立高等学校 進路探究学習推進委員会 事務局
北海道札幌開成高等学校 教頭 梅原 宏之
- 15:25~15:45 コーヒーブレイク
- 15:45~16:45 **連携校実践事例発表 II**
(1)「LMSを活用したeラーニングによる不登校、長期入院療養生徒等の学習指導について」
北海道釧路明輝高等学校 教諭 皆添 英二
教諭 宮館 健士
教諭 尾田 大樹
(2)「小規模校におけるeラーニングシステム活用方法」
北海道常呂高等学校 教諭 嶽山 敏嗣
(3)「中高連携におけるeラーニングの活用」
～地方部での現状と今後の課題～
北海道平取高等学校 教諭 源 和也
- 16:45~17:30 各校におけるeラーニング利用状況中間報告



平成22年度公開講座開催

平成22年度千歳科学技術大学公開講座を千歳市民文化センターを会場に2回にわたり開催しました。今年度は「大学をもっと身近に」をテーマに、バイオ・マテリアル学科及び光システム学科の研究内容の一端を、受講生の皆様によりわかりやすく知ってもらうため、日常生活においてどのように関わっているのか等の例をふんだんに取り入れ講演を行いました。

受講生は千歳市民を中心に第1回43名、第2回81名参加し、受講生からは「大変ためになった」「非常に有意義だった」等々の声が多数寄せられ、非常に好評でした。本学としては、地域に開かれた大学として、今後もこの公開講座をさらに充実させ開催していく予定です。なお、今年度公開講座の開催日、演題、講師等は下記のとおりです。



第1回

日時 平成22年11月27日(土)

第1部

演題 「光を使って食の安全を守る」

講師：バイオ・マテリアル学科 教授 木村 廣美

第2部

演題 「表情分析入門：顔の表情運動をコンピュータで分析する」
—豊かな表情とともに健やかな生活を！—

講師：バイオ・マテリアル学科 教授 南谷 晴之

第2回

日時 平成23年3月12日(土)

第1部

演題 「光ファイバが家庭まで／なぜ光なの？」

講師：光システム学科 学科長 小林 壮一

第2部

演題 「進化するTVの仕組み／地デジから3DTV、その未来」

講師：学長 川瀬 正明

Course

【就職・進学】

文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に採択されました

平成22年9月28日に文部科学省にて平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」の選定結果が発表され、本学の取り組み「離職率低減に向けたキャリア形成の取組」が採択されました。

本事業は、各大学・短期大学における、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取り組みを国として支援するものです。

本事業には全国より441件(大学341件・短期大学83件・共同申請17件)の申請があり、180件(大学157件・短期大学19件・共同申請4件)が採択されました。

【取組名称】

離職率低減に向けたキャリア形成の取組

【取組概要】

本取組は、離職率低減に向けたキャリア形成を目指し、3つの事業である「基盤となる基礎系教育プログラム」、「ミスマッチの少ない就業支援」、「幅広い教養人のための就業支援」を推進し、専門技術と人間力を具えた人材を育成することで、社会で実践的に活躍するための就業力を身につけた人材を輩出します。

学内企業研究セミナーを開催しました

平成23年2月14日(月)から18日(金)の5日間の日程で、111社の企業の方にご参加いただき、本学体育館で学内企業研究セミナーを開催しました。

道内外の様々な企業の説明を聞くことができる機会ということもあり、連日多数のリクルートスーツ姿の学生が企業の採用担当者やOB・OGの話に真剣に聞き入っていました。

また、14日(月)には、例年学内企業研究セミナー期間中に行っている「模擬面接」を実施しました。企業の採用担当者が面接官となり、他の学生の前で代表学生3名が面接を受けました。代表学生3名はもちろんのこと、参加した学生からも面接のやりとりについて活発な質問があり、有意義な講座となりました。



OB・OG対話を開催しました

平成22年11月16日(火)に本学で「OB・OG対話」を開催しました。

「OB・OG対話」は、文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に採択された「自ら成長する教養人の育成支援プログラム」の一環として、これから就職活動を行う学部3年や大学院博士前期課程1年の在学学生を対象に、卒業生との対話の場を設けるため2008年度より実施しています。

今年度は、全国各地より16名のOB・OGと約半数の在学学生が参加し、就職活動の体験談、現在の仕事、就職後の生活面などについて熱心にコミュニケーションをとり、在学学生は今後の進路選択や就職活動に向けて貴重な機会を得ることができました。



平成22年度卒業生の進路状況

(平成23年3月24日現在)

本学は平成10年開学の若々しい大学ですが、文部科学省の教育プログラムに9件も採択される(北海道内の私学では本学のみ)など、教育プログラムは全国的にもトップレベルとの評価を得ています。その成果である就職についても、理工系単科大学の中では高い評価を得ています。

主な就職先

平成22年度卒業生実績(五十音順)

株式会社イワクラ、株式会社エヌ・ティ・ティエムイー、NTTエレクトロニクス株式会社、株式会社エアフォース、株式会社オーティンフォース、医療法人社団三清会 小作クリニック、株式会社オプト・システム、海上保安庁、株式会社カミノ、木古内町役場、社会福祉法人希望の里、株式会社カメラ、株式会社協和エクスオ、グンダイ株式会社、有限会社ケイズユニオン、KDDI株式会社、小糸工業株式会社、株式会社コーンズ・エージ、株式会社コロワイド東日本、株式会社札幌ネクシス、株式会社三技協イオス、三幸総研株式会社、三和電子株式会社、株式会社シーテック、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、常光株式会社、新栄コンサルタント株式会社、新興サービス株式会社、株式会社信光社、新和グループ、株式会社スズキ技研、住電オプコム株式会社、住電通信エンジニアリング株式会社、住友重機械精機販売株式会社、株式会社セイコウ、総合警備保障株式会社、大明株式会社、株式会社丹波屋、学校法人千歳科学技術大

学、株式会社つうけん、株式会社つうけんアドバンスシステムズ、株式会社ツルハホールディングス、株式会社ニックス、日星電気株式会社、ニッテツ北海道制御システム株式会社、日本コムシス株式会社、株式会社日本コンピュータ開発、日本証券テクノロジー株式会社、株式会社日本トラフィックコンピューターセンター、ネットソフト株式会社、株式会社パブリックリレーションズ、株式会社日立国際電気、株式会社日立製作所、株式会社日立ソリューションズ、株式会社日立ハイテクフィールドイング、株式会社ビッツ、株式会社VSN、株式会社フォーラムエンジニアリング、株式会社フジキン、富士通アドバンスエンジニアリング、株式会社富士通北海道システムズ、富士電機ITソリューション、富士電機ホールディングス株式会社、ヘルツ株式会社、ホクダイ株式会社、北海道電気工事株式会社、北海道オリジン株式会社、株式会社北海道きのこ生産総合研究所、北海道旅客鉄道株式会社、本部三慶株式会社、株式会社マースエンジニアリング、三菱電機システムサービス株式会社、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、ミネベア株式会社、美和電気工業株式会社、株式会社ムトウ、ヤフー株式会社、株式会社ユードム、郵便事業株式会社、株式会社ランバーテック、陸上自衛隊、理研計器株式会社、リサイクルファクトリー株式会社 他

大学院進学

平成22年度卒業生実績(五十音順)

- 上越教育大学大学院
- 千歳科学技術大学大学院
- 山形大学大学院

求人票数

(平成23年3月24日現在)

1,173件

Event

[イベント]

平成22年度父母懇談会を開催しました

平成22年10月23日(土)午前11時から午後4時まで、本学を会場として父母懇談会が開催されました。午前中は本部棟にて学長挨拶を皮切りに、学部長による大学全体の説明、続いて大学教育センター・学生支援センター・キャリア支援センターの各センター長より、学習指導・学生生活・就職関係等の説明がなされました。昼食後、会場を研究・実験棟に移して個別相談、研究室見学が行われました。

今年度は223名の父母が参加され、学習面や生活面、そして上級学年になるにつれ就職面の相談が加わる等、担当の教職員との熱心な懇談が行われました。実施後は、本学の支援体制が充実している安心した等の意見を多数いただきましたが、更なる充実を期待したいとの意見もあり、本学としてはより一層の充実をはかるとともに、この父母懇談会の内容に関しても更に充実させていくつもりです。



稜輝祭を開催しました

平成22年9月5日(日)に第12回稜輝祭(大学祭)を開催しました。今年度の稜輝祭は天候にも恵まれ、来場者数も約450名を数えました。

野外に設置された特設ステージでは、YOSAKOIソーランの演舞やライブ演奏、陸上自衛隊第7師団による機甲太鼓の演奏、千歳沖縄クラブによるエイサー演舞、絵本読み聞かせ等が行われ、校舎内では、縁日イベント、フラッシュコンテスト、お茶会、写真展、作品展示(美術文芸サークル)、尺八演奏会、合唱等々のイベントが開催されました。

また、本学理工工房による来場者参加型の理科実験イベントも行われ、多くの方が参加されていました。最終プログラムのビンゴ大会、フラッシュコンテスト結果発表で会場は最後の盛り上がりを見せつつ、平成22年度稜輝祭は閉会を迎えました。



平成23年第1回 オープンキャンパスを開催

平成23年1回目となるオープンキャンパスを3月20日(日)に開催しました。当日は85名に参加いただき、大学説明、在学生とのフリートーク、研究室見学ツアー等のプログラムを用意し、参加者は教員・学生と交流し、また実際に研究室を見学し目を輝かせながら、大学の研究の一端に触れていました。

オープンキャンパスは今後以下の日程で開催いたします。また、道内各地より無料シャトルバスを運行いたしますので、お友達、ご家族お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

平成23年オープンキャンパス日程

第2回 6月19日(日)

第3回 8月6日(土)・7日(日)

第4回 9月18日(日)

第5回 10月30日(日)



平成24年度入試からの変更点について

※赤字が変更点です

1. 入試制度・入試教科について

(1) 入試制度の新設・募集定員の変更

現行	定員	新入試	定員
特別推薦(指定校推薦)	100名	特別推薦(指定校推薦)	85名
公募推薦	5名	公募推薦	5名
		併願入試	15名
一般学力入試Ⅰ期	50名	一般学力入試Ⅰ期	50名
一般学力入試Ⅱ期	12名	一般学力入試Ⅱ期	12名
一般学力入試Ⅲ期	3名	一般学力入試Ⅲ期	3名
センター利用入試前期	20名	センター利用入試前期	30名
センター利用入試後期	5名	センター利用入試後期	10名
AO入試A型	45名	AO入試A型	30名
AO入試B型		AO入試B型	
AO入試C型		AO入試C型	

(2) 入試教科の変更

一般入試Ⅰ期Ⅱ期の出題科目

数学に選択問題で数学Ⅲを、理科に選択問題で物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱを追加

教科	現行	新入試
外国語	英語Ⅰ・Ⅱ	英語Ⅰ・Ⅱ
数学	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ
理科	理科(物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰ)	理科(物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰ) 理科(物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ)
情報	情報C	情報C
国語	国語総合・国語表現Ⅰ(近代以降)	国語総合・国語表現Ⅰ(近代以降)

センター利用入試前期・後期の判定教科・科目

判定教科を国語から国語・地歴公民に変更し、国語と地歴公民科目を追加

理科に地学Ⅰを追加

教科	現行	新入試
外国語	英語(筆記とリスニング) 英語(筆記のみ)	英語(筆記とリスニング) 英語(筆記のみ)
数学	数学Ⅰ、数学Ⅰ・A、数学Ⅱ、数学Ⅱ・B、 工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎	数学Ⅰ、数学Ⅰ・A、数学Ⅱ、数学Ⅱ・B、 工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎
国語・地歴 公民	国語(近代以降)	国語(近代以降)、国語 世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B、現代社会、倫理、 政治・経済、「倫理、政治・経済」
理科	理科総合A、理科総合B、物理Ⅰ、 化学Ⅰ、生物Ⅰ	理科総合A、理科総合B、物理Ⅰ、化学Ⅰ、 生物Ⅰ、地学Ⅰ

Education Research

[教育・研究]

平成22年度 佐々木記念賞※

■授賞式 平成22年10月5日(火)

※本学の開校に尽力した、初代学長・佐々木敬介氏(1936~1998)の業績を記念し、平成10年に創設されました。科学技術教育に力を注いだ氏の意思を継ぎ、優秀な研究者の育成、学生の諸活動の応援を目的としています。

今年は下記の方が受賞されました。これを励みにいっそうの精進を期待します。皆さんおめでとうございます。

奨励賞

学部2・3年の成績優秀者に贈呈

- 和田 誠太さん(バイオ・マテリアル学科3年)
- 出雲 恭輔さん(光システム学科3年)
- 鈴木 杏奈さん(グローバルシステムデザイン学科3年)

貢献賞

クラブ活動や学外活動において功績があった者に贈呈

- 卓球部
- 理工工房

学術賞

大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

- 加藤 翔さん(光科学研究科博士前期課程2年)
- 山川 広人さん(光科学研究科博士後期課程2年)



左から和田さん、出雲さん、鈴木さん、川瀬学長、木下さん(卓球部)、三浦さん(理工工房)、加藤さん、山川さん

平成22年度 教育研究社会貢献賞※

■授賞式 平成23年3月9日(水)

※教育・研究・社会そして大学において貢献のあった教職員を対象として、教育研究社会貢献賞を授与し、その功績を讃えることを目的としています。今年には下記の2名の教員が受賞されました。

●バイオ・マテリアル学科 角田 敦教授

【受賞理由】 学生実験に対して熱心に取り組み、特に3年のフォトリソグラフィ実験では基礎と応用を兼ねた特徴ある「液晶」実験を実施し、学生の高い評価を得るなど実験のテーマの立ち上げに尽力された。他方、本学開学以来昨年度まで長きにわたり就職部副主任、主任を歴任され、本学の高い就職率の確立に貢献された。さらに、本年度まで3年間、学生支援GPの取りまとめとして、新たな取り組みの総括責任者として本学の基幹的な役割を果たされ、本学の教育に大いに貢献した事により。

●光システム学科 浜中 宏一教授

【受賞理由】 学生の教育、特に留年した学生のケアに長年留意され、自身の研究室はもとより学科内のドロップアウトしそうな学生と熱心に関わり、単位未取得学生を叱咤激励するとともに、就職活動にあたっては具体的に企業との橋渡しに努められ、さらに卒業研究の指導においては懇切丁寧な卓越した指導力を発揮され、本学の教育に大いに貢献した事により。



左:浜中 宏一教授 右:角田 敦教授

平成22年度 主なクラブ活動実績

YOSAKOIソーラン部

- ・第19回YOSAKOIソーラン祭り(札幌) 一次審査賞
- ・千歳トーナメント ベスト8
- ・上川中央支部大会 準優勝
- ・旭川YOSAKOIバトル 優勝
- ・仙台みちのくYOSAKOI ファイナル出場
- ・静岡ソーラ祭り 演舞
- ・大乱舞in白老 演舞

硬式テニス部

- ・北海道学生テニストーナメント 男子ダブルス本戦出場
- ・北海道学生テニス選手権大会 男子シングルス本戦 ベスト32
- ・北海道学生テニス新進戦 男子シングルス本戦 ベスト16

バスケットボール部

- ・第62回北海道大学バスケットボール選手権大会 男子 4部リーグ優勝

卓球部

- ・春季全道学生卓球選手権大会 4部 3位
- ・秋季全道学生卓球選手権大会 4部 2位
- ・第23回全国ラジボール卓球大会 男子ダブルス一般B 優勝 混合ダブルス80歳代B 3位
- ・第11回北海道ラジボール卓球大会 男子シングルス49歳以下の部 準優勝 男子ダブルス119歳以下の部 3位

弓道部

- ・第56回全道学生弓道男子争覇戦 4部リーグ優勝

バレーボールサークル

- ・春季バレーボール祭り(千歳市) 1位

写真部

- ・千歳市市民協働事業 「広報ちとせ」表紙撮影
- ・日中韓三カ国環境大臣会合(千歳市) 記録係
- ・国際学会「Opto Electronics and Communication Conference 2010」(札幌市) 記録係

軽音楽部

- ・三校合同ライブ (本学・北海道文教大学・北海道情報大学)
- ・クリスマスライブ(本学・北海道文教大学・北海道ハイテクノロジー専門学校が参加)

美術文学サークル

- ・第6回全日本学校ポスターコンテスト ヤマト運輸賞 受賞

都山流尺ハサークル

- ・現代邦楽コンサート(札幌) 演奏
- ・第25回チャリティー納涼伝統芸能祭(札幌) 演奏
- ・宮の森音楽祭(札幌) 演奏
- ・第23回箏のしらべ(札幌) 演奏

Best Care, Best Success

千歳科学技術大学報



CONTENTS

学長メッセージ・学事日程	1	就職・進学	5
イベント	2	入試情報・オープンキャンパス	6
大学間連携・高大連携・地域連携	3	財務情報	7
教育・研究	4	法人情報	8

volume **25** 平成23年7月31日

発行 / 学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL0123-27-6123

■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

千歳科学技術大学報・学長メッセージ

現在、大学教育に対して求められているのは、単に知識や技能を身につける、ということではなく、社会人としての基礎的な能力、特に大学で身につけるべき力として「学士力」が求められています。

その中身は知識のほか、コミュニケーション・スキルや論理的思考力、リーダーシップ、倫理観など対社会的な能力や、対人能力、さらにそれらを総合的に活用する課題解決能力まで、まさに総合的な力が要求されています。また、経済・産業界からは社会人基礎力として、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」が期待されています。

これらの能力は単に講義を受ければ身につくものではなく、教職員と学生の交流を基本とするベストケアの活動や課外活動の活性化など、大学にとってもより幅広い教育の場を提供することが求められています。

本学では文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」、「大学生の就業力育成支援事業」の採択を受けて、能動的キャリアアップ・人間力涵養システムへの変革に全学的に取り組んでいます。また、学生が自由な発想で企画する意欲的かつチャレンジングなプロジェクト活動を大学として資金面等で支援する「学生プロジェクト」制度も設定しています。

若い学生諸君の「前に踏み出す力」で、これらの環境を大いに活用してくれることを願っています。



千歳科学技術大学 学長

山本 正明

学事日程

- 4月**
- 入学式 オリエンテーション(1年生)
 - ガイダンス(2~4年生)
 - 春学期開講
 - 定期健康診断
 - 受講科目履修登録
- 6月**
- 開校記念日(6日)
 - 第2回オープンキャンパス
- 7月**
- 輪講発表(4年生)
 - 春学期定期試験
 - 春学期授業終了
- 8月**
- 夏季休業
 - インターンシップ
 - 第3回オープンキャンパス

- 9月**
- 光の記念日(19日)
 - 秋学期開講
 - 授旗祭
 - 第4回オープンキャンパス
- 10月**
- 成績通知(春学期分)
 - 佐々木記念賞授与式
 - 千歳光科学国際フォーラム
 - 父母懇談会
 - 第5回オープンキャンパス
- 12月**
- 冬季休業

- 1月**
- 卒業論文提出(4年生)
 - 卒業論文最終発表(4年生)
 - 秋学期授業終了
 - 秋学期定期試験
- 2月**
- 春季休業
 - 就職セミナー(学内企業説明会)
- 3月**
- 成績通知(秋学期分)
 - 学位記授与式



平成23年度千歳科学技術大学・ 大学院入学式を挙行

平成23年4月2日(土)、本学講堂において平成23年度千歳科学技術大学・大学院入学式が挙行されました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午前10時から始まりました。

開式後、川瀬正明学長による式辞が述べられ、次に、総合光科学部235名、大学院博士前期課程32名、博士後期課程1名、計268名の新入学生を代表して総合光科学部新入生木原桜子さんによる新入生宣誓が行われました。その後、小谷津孝明理事長並びにご来賓を代表



表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただき、続いて、ご列席のご来賓さらに本学教員の紹介が行われました。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

1年生交流会を実施

平成23年4月4日(月)に1年生交流会が実施されました。この交流会は、1年生がグループワーク等を通じて交流することによる友達づくりや早く学生生活に慣れてもらえるよう、さらにクラスアドバイザー(教員)も参加することにより、気軽に相談できる関係づくりの機会となるよう毎年実施しております。開催内容はオリエンテーション、グループワーク(工作とコンテスト)、クラブ・サークル紹介で、グループワークでは、今年度のテーマである「風力発電」について共同で工作作業を行い、その成果を競いあいました。殆ど初対面の新入生同士が、工作作業を通じて話さきっかけができ、終了時にはかなりの盛り上がりを見せる等、非常に有意義な会となりました。



同窓会総会を開催しました

平成23年5月28日(土)に平成23年度同窓会総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告、収支決算が報告され、さらに今年度の事業計画や予算を審議しました。その中で、特に今後の同窓会活動の更なる充実に向けて活発な意見交換がなされました。

テレビCMを放映しました

テレビCMの撮影を札幌市、交洋不動産(株)のご協力のもと、札幌市大通のBisse前でを行い、7月23日より放映しました。

今後も9月、10月、12月、翌年1月とCMの放送を予定しております。

また、本CMは本学で学ぶことができるScience(科学)は、「私たちの身近に溢れている」ということをテーマに制作しております。



Bisse前での撮影風景



CMの映像

駐日ドイツ大使による講演会を開催しました

平成23年5月9日(月)に、フォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ大使が本学に来学され、「科学技術分野における日独関係」というテーマで本学学生に講演を行いました。

本講演会は、日独交流150周年を記念したドイツ大使館による交流事業の一環として実施され、日本での留学経験もあるシュタンツェル大使は大講義室に詰めかけた200名以上の学生を前に日本語で講演を行い、複雑化する国際社会の中で両国が果たす役割や日独間の歴史、さらには環境問題、とりわけ省エネルギー対策や再生可能エネルギーの推進など、科学技術が担う分野における両国の協力について述べられました。

学生からは、少子高齢化問題、移民問題、理科離れや学力低下、さらには原子力発電の是非等々についての質問がなされ、大使にはドイツの例と比較しながら適切に答えていただきました。

この学生からの活発な質問からもわかるとおり、学生にとって非常に興味深い、有意義な講演会となりました。



フォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ大使

北海道清里高等学校、北海道礼文高等学校と高大連携協定を締結しました

北海道清里高等学校、北海道礼文高等学校と高大連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、本学の高大連携校は36校となりました。

協定締結日

平成23年4月23日(土) 北海道清里高等学校

平成23年7月14日(木) 北海道礼文高等学校



左:北海道清里高等学校 阿部校長 右:川瀬学長 左:北海道礼文高等学校 佐竹校長 右:川瀬学長

平成23年度「第1回高大連携研究会」を開催しました

今年度第1回目となる高大連携研究会を、平成23年4月23日(土)にアスティ45ビル16階(ACU)で開催しました。

今回の研究会では、本学からの今年度の高大連携事業についての説明、各学科紹介および各学科で行われる高大連携プロジェクトの説明を行いました。

研究会には、本学の連携校並びに連携を検討している道内高等学校25校より36名の教員の参加がありました。

当日の研究会の詳細は下記のとおりです。

千歳科学技術大学 平成23年度第1回高大連携研究会

■研究会次第 会場/大研修室1606

- 14:00~14:10 開会挨拶
学長 川瀬 正明
- 14:10~14:25 今年度の高大連携事業概要について
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 准教授 今井 順一
- 14:25~15:10 3学科紹介、「高大連携プロジェクト2011」の実施について
 - 自然科学プロジェクト
総合光科学部バイオ・マテリアル学科長 Olaf Karthaus
 - 光サイエンスプロジェクト
総合光科学部光システム学科長 小林 壮一
 - 情報プロジェクト
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科長 吉田 淳一
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 講師 石田 雪也
- 15:10~15:25 高大連携事業に関わる募集方法ならびに制度変更について
事務局教育連携推進課
- 15:25~15:40 コーヒーブレイク
- 15:40~17:00 各連携校eラーニングシステム利用状況報告



eカレッジ講習会を実施しました

平成23年度eカレッジ講習会を、平成23年6月19日(日)に本学で開催しました。

eカレッジは、千歳市教育委員会主催のもと本学が連携協力し、千歳市内の小中学生から希望者を募り、基礎学力向上のために、eラーニングシステムを利用してもらう家庭学習支援事業です。eラーニングシステムは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができるシステムです。

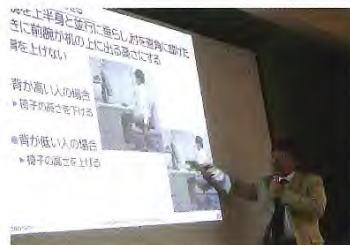
この講習会では、本学総合光科学部グローバルシステムデザイン学科の石田雪也講師がeラーニングシステムの基本的な使い方を説明しました。



平成23年度第1回公開講座開催

平成23年度第1回公開講座を、5月28日(土)に千歳市民文化センターを会場に開催しました。今回はグローバルシステムデザイン学科の小林大二准教授が、「人にやさしい工学って?」と題した「私たちの生活を支える人間工学のはなし」をわかりやすく解説しました。

当日は千歳市内をはじめ、札幌市、登別市等々から計34名の受講があり、熱心に質問する受講生も見られ、終了後のアンケートの結果も非常に好評でした。当日の公開講座の詳細は下記のとおりです。



日時 平成23年5月28日(土) 14:00~15:30

会場 千歳市民文化センター 3階視聴覚室

演題 「人にやさしい工学って?」

～私たちの生活を支える人間工学のはなし～

講師 総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科
准教授 小林 大二

日本赤十字社に「東日本大震災義援金」を 寄付しました

この度の東日本大震災で被災された方々を支援するため、本学学生有志による卒業式、入学式での募金活動、そして同窓会からも募金を募り、計13万5,525円の義援金を日本赤十字社に寄付いたしました。また、5月の連休を利用して、学生有志が被災地においてボランティア活動も行いました。

さらに、本学教職員に対して募金を募ったところ103万6,000円の義援金が集まり、この義援金は、4月28日(木)に本学を代表して小谷津孝明理事長と川瀬正明学長が日本赤十字社北海道支部千歳市地区(千歳市社会福祉協議会)に持参しました。

被災された多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



(左から)千歳市社会福祉協議会力示会長、小谷津理事長、川瀬学長

本学大学院生が (財)慶応工学会奨学生に採用されました

本学大学院光科学研究科の千田寿文さん(博士前期課程1年)、大門智範さん(博士前期課程2年)の2名が、平成23年度財団法人慶応工学会奨学生に採用され、6月23日(木)に慶応工学会渡辺浩志事務局長より給費奨学金授与証書が授与されました。

この奨学金制度は、全国の理工系大学院生を対象に募集され、採用されると年額36万円(1年間)支給されます。



(前列左から)小谷津理事長、慶応工学会渡辺事務局長、千田さん、大門さん、川瀬学長

理工工房が千歳市青少年顕彰を 受賞しました

本学の学生プロジェクトチーム「理工工房」が千歳市青少年顕彰を受賞し、7月9日(土)に千歳市民文化センターにおいて授賞式が執り行われました。

この顕彰は、青少年の健全な育成を目的として3年以上継続的に活動している団体等に贈られる賞で、本学からは初めての受賞となります。

当日は、林代表(光システム学科3年)をはじめ、7名のメンバーと顧問の長谷川教授が出席し、会場に集まった約140名の青少年健全育成団体の方々から大きな祝福の拍手をいただきました。



道内5大学の連携による 異分野大学院連携教育プログラム

戦略的大学連携支援事業(文部科学省採択事業)として平成20年度に採択された本事業も、平成22年度をもって事業期間の終了を迎えました。本取組は、北海道の地域に密着した医療系、工学系、情報系、経営系の国・公・私立大学法人5大学(札幌医科大学、室蘭工業大学、小樽商科大学、北海道医療大学、本学)が連携し、医療ないし保健福祉を中心とした地域活性化のための人材育成を行うことを目指した取組です。事業最終年度にあたる平成22年度は、5大学大学院教育プログラムによる共通カリキュラムのeラーニングによる学習を前・後期開講し、99名の大学院生が受講しました。

この事業は、教育プログラムも確立し、地域活性化のための人材育成という重要な使命を持っているという観点から、5大学で協議のうえ、採択事業としては平成22年度で終了となりますが、平成23年度も継続することとなりました。

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名

平成22年9月11日から平成23年7月31日まで

福永 宗碧

及川 茂子

嘉藤 理江子

村松 弥須子

落合 美和子

間口 四郎

(敬称略)

キャリア形成プログラム(就職支援体制)

本学は、平成22年度文部科学省の「大学生の就業力育成事業」に採択されています。本取り組みでは、離職率低減に向けたキャリア形成を目指し、3つの事業である「基盤となる基礎系教育プログラム」、「ミスマッチの少ない就業支援」、「幅広い教養人のための就業支援」を推進し、専門技術と人間力を備えた人材を育成することで、社会で実践的に活躍するための就業力を身につけた人材を輩出することを目的としています。

本取り組みの一環で、今年度は以下のスケジュールで学生のキャリア支援を行っています。

学部1年	
春学期	○オリエンテーション ○基礎学力調査
秋学期	○学科選択における専門領域 ○OBによるガイダンス
学部2年	
春学期	○人間力養成の必要性 ○企業によるガイダンス ○グループワーク
秋学期	○アカデミックスキルの必要性 (英語力、日本語力、IT力、経営と会計等) ○就職マナー講座 ○自己表現基礎講座 ○教養基礎講座 ○1dayインターンシップ実施
学部3年 / 博士前期1年	
春学期	4月 ○オリエンテーション ○インターンシップガイダンス ○自己発見・適職診断テスト
	5月 ○領域グループワーク
	6月 ○自己分析 ○インターンシップ事前研修
	7月 ○志望職種・企業の選び方
8月 ○インターンシップ実施	
秋学期	9月 ○進路調査票提出 ○キックオフガイダンス ○履歴書・エントリーシート対策
	10月 ○個人面談 ○領域グループワーク ○インターンシップ事後研修
	11月 ○面接練習 ○OB・OG対話
	12月 ○企業人事によるガイダンス ○学校推薦説明会
	1月 ○就職模擬試験
	2月 ○学内企業研究セミナー(就職セミナー) ○就職希望調査提出
	3月 ○個人面談 ○学校推薦者決定 ○企業の採用試験開始
学部4年 / 博士前期2年	
4月	○学生への個別対応 (内定までのサポート)

インターンシップ

夏季休業期間を利用し実施するインターンシップは、学部3年生が秋から始まる就職活動に備え、勤労観や職業観を養うことを目的とし、企業等の現場を直接体験できる貴重な機会です。

本学では第1期生より実施しており、平成15年度よりキャリア教育を強化すべく、インターンシップを単位化しております。キャリアセンターでは学生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをよりいっそう強化しています。

今年度は、61事業所に119名を派遣することになり、学生の参加率は全国の理系学生参加率45.1%(平成24年卒マイコミ学生就職モニター調査より)に対し、本学は62.6%と高い参加率となっております。

主な派遣先

道内・千歳市内

- ANAクラウンプラザホテル千歳
- 麒麟ビール株式会社 千歳工場
- フォトニックサイエンステクノロジー株式会社
- ホテルグランテラス千歳
- リサイクルファクトリー株式会社
- 株式会社エルス
- 株式会社カミノ
- 株式会社ダイナックス
- 株式会社ダイヘン
- 株式会社ダスキンプログラクト北海道
- 株式会社山三ふじや
- 社会福祉法人千歳市社会福祉協議会
- 千歳印刷株式会社
- 日本赤十字社血漿分画センター
- 北海道電力株式会社 千歳支社
- 北海道日興電気通信株式会社
- 千歳市 産業振興部産業支援室 科学技術振興課
- 千歳市教育委員会教育部生涯学習課
- 千歳市立図書館
- 千歳市内小学校(3校)
- 千歳科学技術大学

道内・その他

- USOL北海道株式会社
- キャリアバンク株式会社
- 株式会社ジー・オーノ株式会社
ベックスシステム(共同実施)
- 株式会社ジャパンテクニカル
ソフトウェア
- 株式会社つうけん
- 株式会社つうけん
アドバンスシステムズ
- 株式会社協和エクシオ
- 株式会社札幌ネクシス
- 株式会社富士通北海道システムズ
- 環境NGO ezorock
- 東芝ホクト電子株式会社
- ホクダイ株式会社
- サッポロビール株式会社
北海道工場
- 株式会社エフピーエス
- ナラサキスタックス株式会社
- 株式会社I・TECソリューションズ
- 函館エヌ・デー・ケー株式会社
- ニッテツ北海道制御システム株式会社
- 室蘭まちづくり放送株式会社

道外

- 富士電機株式会社(東京事業所・鈴鹿事業所・吹上事業所・大田原工場・松本製作所)
- 株式会社フジキン
- 株式会社ハイマックス
- ネットエスアイ東洋株式会社
- 株式会社クロステック
- 株式会社ソフテム
- 株式会社湘南光学工業所
- 株式会社日本コンピュータ開発
- 株式会社三ツツフロンテック
- 総合情報システム株式会社
- 日本アルゴリズム株式会社

平成24年度入試概要

入試タイプ	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験(面接)会場	備考	募集定員
特別推薦入試 (指定校推薦)	11月 1日 火 11月 8日 火	(面接日) 11月26日 土	12月 1日 木	第1次・第2次とも 12月26日 月	本学		85名
併願入試	10月25日 火 10月31日 月	(面接日) 11月 5日 土	11月10日 木	第1次・第2次とも 12月26日 月	本学		15名
公募推薦入試	12月 5日 月 12月20日 火	(面接日) 12月26日 月	12月28日 水	第1次・第2次とも 1月30日 月	本学		5名
一般学力入試	I期 1月 5日 木 1月26日 木	2月 4日 土	2月15日 水	第1次 3月 5日 月 第2次 3月30日 金	本学・旭川 函館・釧路 仙台		65名 ●I期:50名 ●II期:12名 ●III期: 3名
	II期 2月16日 木 2月27日 月	3月 3日 土	3月 9日 金	第1次 3月19日 月 第2次 3月30日 金	本学		
	III期 3月 5日 月 3月21日 水	3月24日 土	3月26日 月	第1次・第2次とも 3月30日 金	本学		
センター試験 利用入試	前期 1月 5日 木 2月 6日 月	—	2月15日 水	第1次 3月 5日 月 第2次 3月30日 金	—		40名 ●前期:30名 ●後期:10名
	後期 2月16日 木 3月12日 月	—	3月16日 金	第1次・第2次とも 3月30日 金	—		
AO入試	A型 第1クール 第6クール 11月 1日 火 2月15日 水	(面接日) 11月26日 土 12月26日 月 1月21日 土 2月18日 土 *3月 3日 土 ※B型のみ	12月 1日 木 12月28日 水 1月23日 月 2月20日 月 *3月 5日 月 ※B型のみ	第1次・第2次とも 12月26日 月 *1月20日 金 1月30日 月 2月10日 金 3月 9日 金 *3月23日 金 ※B型のみ	本学	エントリー期間 A型 8月1日 月～1月23日 月 B型 8月1日 月～1月26日 木 (毎週木曜日締切) C型 7月1日 金～7月25日 月 ※詳しくは「AO入試ガイド」を ご参照ください。	30名 ●A型 ●B型 ●C型
	B型 第1クール 第25クール 11月 1日 火 2月28日 火						
	C型 11月 1日 火 11月 8日 火	(面接日) 11月26日 土	12月 1日 木	第1次・第2次とも 12月26日 月			

※出願に際しましては学生募集要項で必ずご確認ください。

特別推薦入試助成制度

特別推薦入試にて入学された方を対象に授業料の一部免除、通学費・家賃の一部助成を行います。なお、これらの優遇制度につきましては、いずれか一つを選択することとなります。

	対象・対象者数	金額	備考
特別推薦優遇制度	出願時に住所が恵庭市、北広島市、苫小牧市、夕張市、厚真町、安平町、栗山町、白老町、長沼町、南幌町、むかわ町、由仁町の特別推薦入学生	授業料の一部減免 ※入学金相当180,000円	第1学年秋学期納付金についてのみ
通学助成制度	出願時に住所が札幌市、小樽市、石狩市、江別市、当別町、新篠津村の特別推薦入学生	年額45,000円×4年 =180,000円	最大4年間
家賃(賃貸住宅)助成制度	特別推薦入学生のうち、千歳市内の賃貸住宅を利用する者で千歳市優遇制度または特別推薦優遇制度・通学助成制度のいずれにも該当しない者	月額15,000円×12ヶ月×4年間 =720,000円	最大4年間

平成23年度 第2回オープンキャンパスを開催

平成23年第2回目となるオープンキャンパスを6月19日(日)に開催しました。当日は93名に参加いただき、大学説明、在学生とのフリートーク、研究室見学ツアー等のプログラムを用意し、参加者は教員・学生と交流し、また実際に研究室を見学し目を輝かせながら、大学の研究の一端に触れていました。

オープンキャンパスは今後以下の日程で開催いたします。また、道内各地より無料シャトルバスを運行いたしますので、お友達、ご家族お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

- 第3回 8月6日(土)・7日(日)**
- 第4回 9月18日(日)**
- 第5回 10月30日(日)**



■貸借対照表 ※平成23年3月31日現在

【資産の部】 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,257,512	10,497,076	△239,564
有形固定資産	6,710,609	7,043,887	△333,278
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	2,573,891	2,735,024	△161,133
その他の有形固定資産	1,141,701	1,313,847	△172,146
その他の固定資産	3,546,903	3,453,189	93,714
流動資産	1,131,960	1,007,806	124,154
現金預金	1,045,049	946,439	98,610
その他の流動資産	86,911	61,367	25,544
合計	11,389,472	11,504,882	△115,410

【基本金の部】 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	11,436,464	11,391,180	45,284
第4号基本金	97,005	97,005	0
基本金の部合計	11,533,469	11,488,185	45,284

【消費収支差額の部】 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
消費収支差額	△561,577	△422,076	△139,501

【負債の部】 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	75,678	78,281	△2,603
流動負債	341,902	360,492	△18,590
合計	417,580	438,773	△21,193

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
合計	11,389,472	11,504,882	△115,410

■消費収支計算書 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

当該会計年度の学生納付金等の「帰属収入」から、当該会計年度における「基本金に組入れる額」を控除した消費収入と人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

【消費収入の部】 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,253,487	1,238,758	14,729
手数料	9,940	15,418	△5,478
寄付金	3,000	23,296	△20,296
補助金	222,264	244,107	△21,843
国庫補助金収入	222,186	243,998	△21,812
地方公共団体補助金収入	78	109	△31
資産運用収入	32,468	32,221	247
事業収入	28,425	98,665	△70,240
雑収入	6,703	8,174	△1,471
帰属収入合計	1,556,287	1,660,639	△104,352
基本金組入額合計	△53,436	△45,284	△8,152
消費収入の部合計	1,502,851	1,615,355	△112,504

【消費支出の部】 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費	697,494	678,145	19,349
教育研究経費	824,723	873,070	△48,347
(内減価償却費)	372,660	371,267	1,393
管理経費	198,759	195,042	3,717
(内減価償却費)	19,510	23,677	△4,167
予備費	(5,000)		
	0		0
資産処分差額	0	2,832	△2,832
徴収不能引当金繰入額	0	5,768	△5,768
消費支出の部合計	1,720,976	1,754,857	△33,881

帰属収支差額	△164,689	△94,218	△70,471
帰属収支差額比率	△10.6	△5.7	△4.9
当年度消費支出超過額	218,125	139,502	
前年度繰越消費支出超過額	422,076	422,076	
翌年度繰越消費支出超過額	640,201	561,577	

■資金収支計算書 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

【資金収入の部】 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,253,487	1,238,758	14,729
手数料収入	9,940	15,418	△5,478
寄付金収入	3,000	4,645	△1,645
補助金収入	222,264	244,107	△21,843
国庫補助金収入	222,186	243,998	△21,812
地方公共団体補助金収入	78	109	△31
資産運用収入	32,468	32,221	247
事業収入	28,425	98,665	△70,240
雑収入	6,703	7,765	△1,062
前受金収入	201,713	222,770	△21,057
その他の収入	257,746	2,181,571	△1,923,825
資金収入調整勘定	△267,771	△347,195	79,424
当期資金収入合計	1,747,975	3,698,725	△1,950,750
前年度繰越支払資金	946,439	946,439	
収入の部合計	2,694,414	4,645,164	△1,950,750

【資金支出の部】 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	693,979	680,339	13,640
教育研究経費支出	452,063	501,711	△49,648
管理経費支出	179,249	171,366	7,883
施設関係支出	8,124	3,423	4,701
設備関係支出	47,741	40,095	7,646
資産運用支出	101,558	1,973,906	△1,872,348
その他の支出	284,194	306,076	△21,882
予備費	(5,000)		
	5,000		5,000
資金支出調整勘定	△64,794	△76,801	12,007
当期資金支出合計	1,707,114	3,600,115	△1,893,001
次年度繰越支払資金	987,299	1,045,049	△57,750
支出の部合計	2,694,414	4,645,164	△1,950,750

法人情報

※平成23年5月27日現在

理事長

氏名	職名
小谷津 孝明	(学)千歳科学技術大学 理事長

理事

氏名	職名
石田 宏司	千歳科学技術大学 教授
市川 昭司	(株)京急百貨店 相談役
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 光科学研究科長
國山 尊典	(株)日立製作所 北海道支社長
小糸 彰	小糸工業(株) 取締役相談役
斎藤 信男	文教大学 客員教授
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
山口 幸太郎	千歳市長
山林 由明	千歳科学技術大学 総合光科学部長

監事

氏名	職名
新谷 俊一	(株)山三ふじや 図書館事業部図書館長
檜森 聖一	(株)北海道二十一世紀総合研究所 代表取締役

■教員人事

採用(平成23年4月1日) 三谷 正信 教授 大越 研人 准教授
 退職(平成23年3月31日) 雀部 博之 教授

評議員

氏名	職名
赤羽 正雄	信州大学 国際交流センター 教授
石田 宏司	千歳科学技術大学 教授
打越 カンナ	(株)NTTデータMSE
小谷 泰久	(財)光産業技術振興協会 専務理事
オラフ カートハウス	千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科長
金澤 広司	伊達観光開発(株) 代表取締役
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 光科学研究科長
草野 成郎	北海道ガス(株) 取締役
小林 壮一	千歳科学技術大学 光システム学科長
佐々木 勝利	(財)千歳福祉サービス公社 理事長
渋谷 隆夫	(株)ダイナックス 常務取締役開発本部長
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
高橋 正和	千歳市 総務部 税務課
塚越 久光	(株)じょうてつ 取締役相談役
増子 洋行	(有)マスコスシステムズ 代表取締役
溝口 健二	セイコーエプソン(株) 経営戦略本部 総務部長
三ツ野 仁	(株)共立鉄工所 代表取締役
山田 範保	北海道電力(株) 常務取締役札幌支店長
山林 由明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
山本 康裕	東日本電信電話(株) 理事 北海道支店長
吉田 淳一	千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科長

(五十音順)

新しく赴任された先生からメッセージをいただきました

バイオ・マテリアル学科に赴任

多様性を武器にイノベーションにチャレンジ

4月より、バイオ・マテリアル学科に赴任いたしました大越です。これまで、産(民間企業)官(国家プロジェクト)学(大学)で、テレビやパソコンなどの表示デバイスに使われる「液晶」の研究開発に取り組んで参りました。本学は、小さな所帯に「光」を共通テーマとしたあらゆる分野の専門家が結集した、いわば光技術の梁山泊です。学際化が進む中、この予め担保された多様性を武器に、イノベーションの創出に学生と共に取り組みたいと思います。どうかご支援の程、宜しくお願いいたします。



大越 研人 准教授

グローバルシステムデザイン学科に赴任

ユビキタス健康医療社会の実現をめざして

グローバルシステムデザイン学科に赴任しました三谷です。これまで臨床医学の現場で研究・教育・診療に携わってきました。近年、医療情報分野においてもICTの活用が進み、情報共有のあり方が変わろうとしています。本学では、これまでの臨床現場での経験を生かし、「いつでも、どこでも最良の保健・医療・福祉サービスを受けられる情報環境」としての“ユビキタス健康医療社会”の実現に向けて研究を進めていきたいと考えています。よろしくお願ひします。



三谷 正信 教授

Best Care, Best Success

千歳科学技術大学報



CONTENTS

第12回千歳光科学国際フォーラム・・・1 教育・研究・・・5～6
 イベント・・・2 就職・進学・・・7
 大学間連携・高大連携・地域連携・・・3～4 入試情報・オープンキャンパス・・・8

volume 26 平成23年11月30日

発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL0123-27-6123

■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

第12回千歳光科学国際フォーラム(CIF'12)を開催しました

本年で第12回目を迎える千歳光科学国際フォーラムはOptical materials、Nano- and Bio- imaging、Communicationsの3つのテーマからなるセッションおよび2つの基調講演、そして特別講演として2010年にノーベル化学賞を受賞した鈴木章教授を招聘し10月13日、14日の2日間にわたり開催されました。3つのセッションでは国外から5名、国内から10名の研究者を招聘しそれぞれの研究分野において活発な意見が交換されました。13日の基調講演では東北大学の中澤教授、ドイツのユーリヒ総合研究機構のOffenhausser教授による講演が行われました。

特別講演では「ノーベル化学賞を受賞して」と題して、鈴木章教授が化学を研究するようになった動機や米国での生活の様子、ノーベル賞受賞にいたる経緯やクロス・カップリング反応についての講演を行い、会場に集まった約250名の方々が熱心に耳を傾けていました。

14日にはポスターセッションが開催され、本学の大学院生や北海道大学の研究員、全南大学の学生らが自身の研究について積極的に発表し、国外からの研究者とも活発に意見を交換する姿が見受けられました。こうして非常に有意義な2日間が過ぎ、第12回千歳光科学国際フォーラムは幕を閉じました。



稜輝祭を開催しました

平成23年9月11日(日)に第13回稜輝祭(大学祭)を開催しました。幸い天候にも恵まれ、来場者数も約350名を数えました。

野外に設置された特設ステージでは、恒例のYOSAKOIソーラン演舞や学生ライブをはじめ、ここにゴダンスサークルやストリートダンスサークルによる演舞、ピンゴ大会、じゃんけん大会、千歳科学技術大学クイズ、腕相撲大会等が行われました。

校内でも、縁日イベント、フラッシュコンテスト、薄茶会、合唱、紙飛行機大会、テーブルゲーム大会、カードゲーム大会などの学生団体イベントが行われました。

また、市内合唱グループ「ベストチェッカーズ」による合唱、絵本読み聞かせ、航空研究会の企画による「航空自衛隊第2航空団司令との座談会」、本学理工工房による来場者参加型の理科実験イベント等も開催されました。最終プログラムのフラッシュコンテストの結果発表及び大抽選会で大きな盛り上がりを見せ、平成23年度稜輝祭は盛況のうちに閉会を迎えました。



平成23年度父母懇談会を開催しました

平成23年10月22日(土)午前10時30分から午後4時まで、本学会場として父母懇談会を開催しました。午前中は本部棟にて全体説明会として学長挨拶に始まり、学部長による大学全体の説明、続いて大学教育センター・学生支援センター・キャリア支援センターの各センター長より、学習指導・学生生活・就職関係等の説明がなされ、次に年々厳しさを増す就職状況について採用する側から見るとどうなるかということで、(株)日本コンピュータ開発相談役最高顧問の高瀬拓士様をお招きし「企業側から見た就職活動について」と題した講演が行われました。昼食後、会場を研究・実験棟に移して個別相談・研究室見学が行われました。

今年度は過去最高となる240名の父母が参加され、学習面や生活面、そして上級学年になるにつれ就職面の相談が加わる等、担当の教職員との熱心な懇談が行われました。実施後は、本学の様々な取り組み、支援体制について知ることができ、さらにそれが充実していることに対して安心した等の意見を多数いただきましたが、更なる充実を求める意見、さらに本会の改善すべき点等の意見もいただき、本学として真摯にその意見に耳を傾け、一層の充実をはかっていくつもりです。



英語スピーチコンテストを開催します

本学では、特別事業として高校生を対象とした英語スピーチコンテストを開催してきました。今年度からは、千歳エリアの学生・社会人の英語教育意識向上のため、新たにオープン・ディビジョンとして学生・社会人の部門を設け、高校生のカテゴリとの2部構成とする予定です。

日頃の学習の成果をこの機会に存分にご披露下さるよう期待しております。開催日程等は以下のとおりです。

学生・社会人の部	日時	平成24年1月28日(土)10:00~
	会場	本学本部棟1F B101講義室

高校生の部	日時	平成24年1月28日(土)13:00~
	会場	本学本部棟1F B101講義室

学生支援GPフォーラムを開催しました

平成20年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)に採択された取り組みの総括となるフォーラムを下記のとおり開催しました。このフォーラムでは、学生・本学教員・企業・外部評価委員等による発表・パネルディスカッションがあり、活発な意見交換が行われました。フォーラムの詳細は以下のとおりです。

日時	平成23年8月30日(火)13:00~15:40
会場	本学本部棟1F B102講義室
テーマ	「アナログ・デジタル両手法を活用した成長度に応じた能動的キャリアアップ・人間力涵養システムへの変革」

13:00	開会
13:05	学長挨拶
13:10	千歳科学技術大学学生支援GPの取組概要の説明 角田 学生支援センター長
13:30	基調講演 テーマ「学生支援をめぐる考え方の変遷 -戦後から今日まで」 講師 学校法人北星学園大学 理事長 土橋 信男 氏
14:15	休憩
14:30	学生体験報告
	インターンシップ 福井 佳奈美(バイオ・マテリアル学科3年) 本九町 智大(光システム学科4年)
	文章能力養成講座 池本 真澄(グローバルシステムデザイン学科3年) 吉田 大輔(グローバルシステムデザイン学科4年)
14:55	パネルディスカッション テーマ「現代における学生支援のあり方について」 パネリスト 学校法人北星学園大学 理事長 土橋 信男 氏 北星学園大学 前事務局長 長澤 武雄 氏 富士電機株式会社 人事部採用センター長 松園 健也 氏 千歳科学技術大学 学長 川瀬 正明
	コーディネーター 千歳科学技術大学 学生支援センター長 角田 敦
15:40	閉会

千歳市議会議員との意見交換会を実施しました

平成23年8月23日(火)に、千歳市議会議員・副議長及び産業建設常任委員会委員7名の計9名が本学に来学され「意見交換会」を実施しました。川瀬学長より本学の沿革について、山形学部長より本学の現況についての説明があり、その後各議員との活発な意見交換がおこなわれました。引き続き、小松川教授よりeラーニングを用いた初等・中等教育への支援について、長谷川教授より理工工房による地域活動について、小林壮一教授より光ファイバを用いた最先端研究の紹介などを行い、議員の皆様へ本学の教育・研究を紹介しました。

北海道新得高等学校と高大連携協定を締結しました

平成23年8月20日(土)に北海道新得高等学校と高大連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、本学の高大連携校は37校となりました。

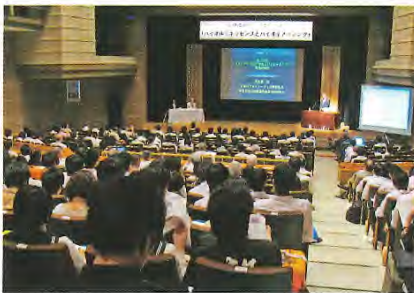
左:北海道新得高等学校 井口校長 右:川瀬学長



平成23年度第2回公開講座を開催しました

平成23年度千歳科学技術大学第2回公開講座を、8月31日(水)に千歳市民文化センターを会場に開催しました。今回は日本バイオイメーシング学会と共催し、「バイオルミネッセンスとバイオイメーシング」と題して、本学教授をはじめ、国内大学・研究機関から7名の講師が、「バイオルミネッセンスとは」「バイオイメーシングとは」から始まり、発光するメカニズムについて実演を交えての解説があり、病気の細胞を映像化する技術など、現代医療を支える光映像技術をわかりやすく解説されました。

当日は学会関係者(大学・研究機関・企業)、高校生や一般の方など、千歳市をはじめ道内外から約250名の参加者があり、質問等も活発になされ、アンケートの結果も非常に好評でした。当日の公開講座の詳細は下記のとおりです。



日時 平成23年8月31日(水) 13:00~17:00

会場 千歳市民文化センター 中ホール

共催 日本バイオイメーシング学会

講演内容

- ・バイオイメーシング学会とバイオイメーシング技術の紹介
田之倉 優(東京大学大学院農学生命科学研究科・教授)
- ・ホテルの光 ~生物発光のメカニズム~
Olaf Karthaus(千歳科学技術大学総合光科学部・教授)
- ・大自然からの素晴らしい贈り物 ~緑色蛍光タンパク質とイクオリン~
永井 健治(北海道大学電子科学研究所・教授)
- ・1分子イメーシングによってわかるタンパク質の働き
船津 高志(東京大学大学院薬学系研究科・教授)
- ・ますます進化するバイオイメーシング技術 ~最先端の顕微鏡可視化法~
加藤 薫(産業技術総合研究所・主幹研究員)
- ・生活習慣病のバイオイメーシング
西村 智(東京大学医学部循環器内科・特任助教)
- ・バイオイメーシングの今後の展望
川西 徹(国立医薬品食品衛生研究所薬品部・部長)

平成23年度「第2回・第3回高大連携研究会」を開催しました

平成23年8月20日(土)に今年度第2回目、11月19日(土)に第3回目の高大連携研究会を開催しました。

第2回目の研究会では、高大連携プロジェクトの実施報告および今後の高大連携事業についての説明、eラーニングを活用した地域連携と学校の特色づくりについての講演、参加者が実際にeラーニングシステムを管理するための講習等を行い、さらに第3回目の研究会では、本学のキャリア教育についての講演、連携校の実践事例発表、連携校におけるeラーニング利用状況中間報告等を行い、本学の連携校ならびに連携を検討している道内高等学校より第2回目は25校31名、第3回目は29校41名の教員の参加がありました。

千歳科学技術大学 平成23年度第2回高大連携研究会

日時 平成23年8月20日(土) 14:00~

研究会次第 会場/本学10周年記念棟2F G202コンピュータ教室

- 14:00~14:05 開会挨拶
千歳科学技術大学 学長 川瀬 正明
- 14:05~14:20 高大連携プロジェクト2011 実施報告
今後の高大連携事業について
- 14:20~14:50 講演「eラーニングを活用した地域連携と学校の特色づくり」
千歳科学技術大学総合光科学部グローバルシステムデザイン学科
准教授 今井 順一
- 15:00~16:30 eラーニング講習会
-学習管理システムの利用方法-
1 アカウント作成方法
2 コース機能について
3 学習管理について
4 新eラーニングシステム(2012年4月稼働)について
- 16:30~16:45 授業支援型コンテンツの開発状況について

千歳科学技術大学 平成23年度第3回高大連携研究会

日時 平成23年11月19日(土) 14:00~

研究会次第 会場/アスティ45 16F(ACU) 大研修室1606

- 14:00~14:05 開会挨拶
千歳科学技術大学 学長 川瀬 正明
- 14:05~14:55 講演「本学のキャリア教育について」
千歳科学技術大学 キャリアセンター長 小松川 浩
- 15:00~15:25 連携校実践事例発表1
北海道札幌開成高等学校 教頭 川瀬 雅之 氏
「未来への架け橋 ~コズモサイエンス学科プレ先端科学特論の取組と職場体験学習~」
- 15:25~15:45 コーヒーブレイク
- 15:45~16:10 連携校実践事例発表2
北海道札幌拓北高等学校 教諭 河村 真一郎 氏
「4年目の高大連携 ~連携から協働を目指して~」
- 16:10~16:35 連携校実践事例発表3
北海道新得高等学校 教頭 岩田 努 氏
「新得町『全町教育』におけるeラーニング活用計画」
- 16:35~17:20 各校におけるeラーニング利用状況中間報告



札幌開成高等学校の 「プレ先端科学特論」を実施しました

北海道札幌開成高等学校で行われている「プレ先端科学特論」は、同校のコモサイエンス学科1年生が大学や野外で授業を実施する特色ある科目で、毎年本学において講義や実験を実施しています。

今年は9月23日(金)に、本学の研究・実験棟にて午前と午後1テーマずつ講義と実験を行いました。詳細は以下のとおりです。

テーマ1 「光の波動性を探る」(物理系講義・実験)

担当 グローバルシステムデザイン学科 教授 長谷川 誠

内容 光の二重性に関する講義の後、透過性回折格子フィルムを使って白色光の分光やレーザーの回折の様子を観察し、さらにレーザー光の波長を計算する実験を行いました。

テーマ2 「光化学反応」(化学系講義・実験)

担当 バイオ・マテリアル学科 教授 オラフ・カートハウス

内容 光化学に関する講義の後、スピロピランという有機化合物を使い、紙に文字を書き、紫外光(日光)を当てると文字が浮かびあがるフォトクロミズムという現象を観察し、さらに熱を加えると文字が消えるという実験を行いました。



札幌市立高等学校職場体験 学習プログラムを開催しました

平成23年8月24日(水)及び31日(水)に札幌市立高等学校の生徒を対象に、本学において「職場体験学習プログラム」を開催しました。

このプログラムは、札幌市立高等学校の必修授業として開講されている体験プログラムで、本学は通信関係の職場体験の受け入れ先として光システム学科教員の指導のもと、光通信実験や光ファイバを製造する工場の見学、そして最後に、光システム学科長小林壯一教授による光ファイバについての講義を行い、全員で今日1日の職場体験学習を振り返りました。詳細は以下のとおりです。



参加生徒

8月24日(水)

北海道札幌藻岩高等学校 2年生9名
北海道札幌旭丘高等学校 2年生6名
北海道札幌新川高等学校 2年生2名

8月31日(水)

北海道札幌開成高等学校 1年生13名
北海道札幌清田高等学校 2年生8名

プログラム

- 9:30 オリエンテーション
- 9:40 実験1
 - 第1グループ:光ファイバを使った光伝送実験
 - 第2グループ:フォトダイオード作製とフォトダイオードを使った実験
- 10:50 実験2
 - 第1グループ:フォトダイオード作製とフォトダイオードを使った実験
 - 第2グループ:光ファイバを使った光伝送実験
- 12:00 昼食
- 13:00 バスでフォトニクスサイエンステクノロジー株式会社へ移動
- 13:20 工場内を見学
- 14:30 バスで大学に移動
- 15:00 講義(担当:小林光システム学科長)
- 15:30 まとめ
- 16:00 感想発表
- 16:30 終了



KAGACによる 「教員免許状更新講習」を実施しました

本学では、平成21年4月から教員免許状更新制が導入されたことに伴い、金沢大学・東京学芸大学・愛知教育大学と連携し、「eラーニング教員免許状更新講習推進機構(KAGAC)」を設立し、各大学の強みを活かした多様で質の高い講習プログラムをeラーニングで提供する教員免許状更新講習を開講しており、今年で3年目となります。今年度の更新講習には、全国から2,313名の方が受講されました。修了試験は北海道(札幌市・旭川市・帯広市)、東京都(小金井市)、愛知県(刈谷市・豊橋市)、石川県(金沢市)、兵庫県(西宮市)の8会場で8月27日(土)に実施しました。

理工工房が平成23年度 北海道青少年顕彰を受賞しました

本学の学生プロジェクトチーム「理工工房」が平成23年度北海道青少年顕彰を受賞し、11月9日(水)に北海道庁赤れんが庁舎において授賞式が執り行われました。この顕彰は、自立心豊かで行動力に富み他の範となる青少年を顕彰し、本道発展の担い手としての自覚と責任感の高揚に資することを目的として贈られる賞で、本学からは初めての受賞となります。当日は、4名のメンバーが出席し、荒川剛北海道石狩振興局長から高橋はるみ知事名の表彰状と記念品が贈呈され、その後「子供達への理科実験授業を通じ、日頃から青少年の健全な育成にご協力いただいていることに感謝します。今後みなさまのますますのご活躍を期待します。」とお言葉をいただきました。



平成23年度佐々木記念賞が授与されました

授賞式 平成23年10月5日(水)

※本学の開校に尽力した、初代学長・佐々木敬介氏(1936～1998)の業績を記念し、平成10年に創設されました。科学技術教育に力を注いだ氏の意思を継ぎ、優秀な研究者の育成、学生の諸活動の応援を目的としています。

奨励賞 学部2・3年の成績優秀者に贈呈

- 上村 舞さん(バイオ・マテリアル学科3年) ●今 優大さん(光システム学科3年)
- 斉藤 佑太さん(グローバルシステムデザイン学科3年)

貢献賞 クラブ活動や学外活動において功績があった者に贈呈

- 俵谷 邦仁朗さん(理工工房、バイオ・マテリアル学科3年) ●バスケットボール部

学術賞 大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

- 松田 和也さん(光科学研究科博士前期課程2年)



左から上村さん、今さん、斉藤さん、川瀬学長、俵谷さん(理工工房)、田中さん(バスケットボール部)、松田さん

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名	平成23年8月1日から平成23年11月30日まで	(敬称略)
嘉藤 理江子	及川 茂子	島山 淑子
落合 美和子	村松 弥須子	最上 雅樹

平成23年度部・サークル活動実績(8月～)

硬式テニス部

- 8月13日～8月22日(予選)、9月5日～9月10日(本戦)
北海道学生テニス選手権大会(夏大)
シングルス:本戦出場(本戦1回戦) 荒木(4年) / ベスト32(本戦2回戦) 伊藤(2年)
- 9月23日～10月4日
平成23年度 北海道学生テニス県進戦
シングルス:ベスト16(5回戦) 伊藤(2年) / ベスト32(4回戦) 阿部(1年)
- 10月30日
第33回 江別テニス選手権大会 男子B組ダブルス 優勝 伊藤(2年)、阿部(1年)

弓道部

- 10月22日～10月23日
第57回 全道学生弓道男子争覇戦 IV部リーグ戦
IV部リーグ2位 (入替戦敗退、IV部残留)

YOSAKOI ソーラン部

- 8月 5日 函館港祭り
- 8月30日 がんばれ日本チャリティイベント北海道 牛をまるごと楽しむ会(むかわ町)
- 9月 4日 大乱舞 in 白老
- 10月8日 みちのく YOSAKOI(仙台市)
- 11月5日 東京ドリーム夜さ来い祭り(東京・お台場)

卓球部

- 9月19日 平成23年度 北海道卓球選手権 千歳支部予選
準優勝 原田(2年)、他2名全道大会出場
- 10月7日～10月9日 平成23年度 北海道卓球選手権大会 3回戦進出(2名)
- 11月12日～11月13日 秋季全道学生卓球選手権大会 男子団体4部リーグ 2位

サッカー部

- 5月～9月 千歳地区社会人リーグサッカー大会 3部優勝(2部昇格)

軽音楽部

- 8月10日 岩教合同ライブ(161倉庫)
- 10月7日～10月9日 楽凜祭 学生一般ライブ(文教大学)
- 11月3日 四校合同ライブ(東海大・文教大・科技大・樽商大)(Links)

バドミントンサークル

- 10月16日 第35回千歳市民バドミントン大会 2部男子ダブルス 1位 藤坂(2年)

都山流尺ハサークル

- 8月 7日 第33回現代邦楽コンサート 参加
- 9月22日 特別養護老人ホーム「やまとの里」慰問演奏会
- 10月15日 コンサート「尺八 The 菅原組」参加
- 11月19日 コンサート「創明音楽会芳游会 第24回争のしらべ」参加

陸上競技サークル

- 8月21日 第47回北商ロードレース大会 男子10km 2位 楠本(1年)
- 9月11日 第66回道北陸上競技選手権大会 男子5000m 4位 楠本(1年)
- 9月24日～25日 第40回北海道学生陸上競技選手権大会
男子3000mSC 9位 楠本(1年)

交換留学生の歓迎会を開催しました

平成23年11月4日(金)午後6時より、本学が学術協定を結んでいる韓国の全南大学校からの交換留学生ベ・チョルホンさんとソン・サンウクさんの歓迎会が本学学生食堂を会場として開催されました。お二人は本学初の交換留学生として本年9月に来学し来年2月までの6ヵ月間、本学にて留学生活を送る予定となっております。

この歓迎会は今年9月から始まった「SNS国際交流コミュニティ」という学生団体が企画し、学生支援課の協力・指導のもと開催されたもので、歓迎会当日はべさんとソンさんを囲んで、計34名の学生・教職員が参加しました。尺八演奏、カラオケ熱唱、クイズ大会、留学生による日本語スピーチ等様々な催し物が行われ、非常に盛り上がりのある賑やかで楽しい会となりました。



本学学生が災害ボランティアの体験発表をおこないました

平成23年9月16日(金)に千歳市民文化センターにて開催された「石狩管内女性大会兼千歳市民活動者研修会」において、本年5月のゴールデンウィーク中に災害ボランティアとして東日本大震災で被災した宮城県石巻市を訪問した、本学1年生福岡真之介さんがボランティア体験発表を行いました。この日会場には168名の方々が参加し、「新たな地域活動を目指して」をテーマに本学学生を含む4名の東日本大震災のボランティア体験発表を熱心に聞いていました。



本学奨学生認定書証授与式が行われました

平成23年9月15日(木)に平成23年度千歳科学技術大学奨学生認定証授与式が行われました。この制度は、経済的に修学が困難な学生に対して本学が奨学金を給付する制度で、今年度は13名の学生が奨学生として採用されました。この奨学金制度は年額24万円(1年間)支給されます。

文章能力養成合宿が行われました

平成23年8月8日(月)～10日(水)の3日間、ニセコこいの村にて「文章能力養成合宿」を実施しました。この合宿は平成20年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」に採択されたプログラムの中の一取り組みで、学生の読解力やプレゼンテーション能力などの向上を目指したもので、各グループがそれぞれ一冊の新書を精読し、その内容をまとめ10分間で発表するという内容です。

6回目の実施となった今回の合宿には、1年生から4年生までの39名の参加学生が8グループに分かれ、グループ毎に本の要約やプレゼンテーション資料の作成に夜遅くまで取り組んでいました。最終日にはその成果のプレゼンテーションを行い、担当教員からの講評に一喜一憂しながら、非常に有意義な合宿が終了しました。



経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」に採択されました

経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」は、鋳造、鍛造、切削加工、めっき等の20技術分野の向上につながる研究開発からその試作までの取組を支援することが目的で、複数の中小企業者、最終製品製造業者や大学、公設試験研究機関等が協力した研究開発に対して支援がされるものです。今回は本学のバイオ・マテリアル学科、李准教授の研究テーマ「胃癌センチネルリンパ節診断用近赤外線蛍光画像腹腔鏡システムの研究開発」が採択されました。

研究概要

早期胃癌は再発率3%以下とさわめて低いにも関わらず、胃癌の手術は再発予防のため、リンパ転移の有無を問わず、腹部の切開手術で胃2/3以上切除する定型手術が標準手術として適用されており、多くの患者に過大な負担を与えている。手術現場の外科医にとっても患者にとっても胃癌センチネルリンパ節診断による機能温存胃切除は、一日も早く実現したい術式であり、そのためにも本研究開発の胃癌センチネルリンパ節診断用近赤外線蛍光画像腹腔鏡システムの開発が切に期待されている。そこで本研究開発は、患者の負担を軽減すべく腹腔鏡下低侵襲小手術による早期胃癌の新しい診断と治療領域の開拓を目指して、システム制御、画像処理、スペクトル解析の研究による高度な組込ソフトウェアと腹腔鏡用近赤外線ファイババンドルを開発することにより、企業ニーズに応えた胃癌センチネルリンパ節診断用近赤外線蛍光画像腹腔鏡システムを開発する。

「OB・OG対話」を開催しました

平成23年11月22日(火)に「OB・OG対話」を本学で開催しました。「OB・OG対話」は、文部科学省『新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム』に採択された「自ら成長する教養人の育成支援プログラム」の一環として、これから就職活動を行う学部3年生や大学院博士前期課程1年生を対象に平成20年度より実施しており、今年度で4回目の実施となります。本学では、卒業生の約7割が関東圏へ就職しており、就職活動におけるOB・OG訪問を行う際には、負担が大きくなってしまいますが、「OB・OG対話」は本学にいながら一度に複数のOB・OG訪問が可能となる、まさに夢のイベントです。今年度も多くの企業様のご協力を得て、全国各地より1期生から10期生まで17名のOB・OGの方々にご参加いただき、就職活動を控えた140名の学生が参加しました。卒業生の方の勤務年数に応じて、就職活動の体験談、現在の仕事のやりがいなど、「卒業生だからこそ」可能となるアドバイスをいただきました。



■平成23年度「OB・OG対話」参加者一覧 ※敬称略

企業名	氏名
アルプス電気株式会社	坂本 堯也
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	藤井 彬矢
NTTエレクトロニクス株式会社	海老江 邦敬
株式会社協和エクシオ	野口 亮太
株式会社ニックス	小幡 はるな
日星電気株式会社	山上 祐弥
ニッテツ北海道制御システム株式会社	野村 高徳
日本コムシス株式会社	甲田 光弘
株式会社日本コンピュータ開発	赤羽 達也
日本精機株式会社	小堀内 聖弥
日立建機ビジネスフロンティア株式会社	佐々木 良太
日立コンピュータ機器株式会社	猿川 智明
株式会社日立ハイテクフィールドイング	中山 博之
富士電機株式会社	大畑 渡
ミネベア株式会社	衣斐 洋助
美和電気工業株式会社	小滝 七瀬
株式会社ユードム	佐藤 巧

「インターンシップ事後研修会」を開催しました

平成23年10月25日(火)に「インターンシップ事後研修会」を本学で開催しました。今年度は、63事業所に121名(学部3年生119名、学部4年生1名、大学院博士前期課程1年生1名)の学生がインターンシップに参加しました。当日は、17事業所21名の受入担当者にご参加いただき、学生の発表を聞いていただきました。また、発表終了後、受入事業所のご担当者とは本学教職員による「意見交換会」を開催し、事後研修会の感想、受入に際しての課題、今後のあり方などについて、貴重なご意見をいただきました。



インターンシップ事後研修会プログラム

開会の挨拶(キャリアセンター長 小松川 浩)
 出席企業様紹介
 インターンシップ参加学生による研修報告
 受入事業所ご担当者様からのコメント
 受入事業所のご担当者より、インターンシップ参加学生の発表の感想、インターンシップにおける企業側の考えなどのコメントをいただきました。
 開会の挨拶(キャリア支援課長 米澤 一弘)

■インターンシップ研修報告発表学生 ※敬称略

インターンシップ受入先	学科・研究科	氏名
株式会社協和エクシオ	光システム学科3年	佐藤 幸弘
	グローバルシステムデザイン学科3年	渋谷 結花
株式会社富士通北海道システムズ	グローバルシステムデザイン学科3年	斉藤 佑太
株式会社ダイナックス	グローバルシステムデザイン学科3年	林 滉希
株式会社ジャパントクニカルソフトウェア	光システム学科3年	宇田川 透
ナラサキスタックス株式会社	グローバルシステムデザイン学科3年	木村 僚
USOL北海道株式会社	バイオ・マテリアル学科3年	清田 智哉
	光システム学科3年	高橋 朋也
千歳市立緑小学校	光システム学科3年	石橋 知也
	バイオ・マテリアル学科3年	上村 舞
	光システム学科3年	笠原 啓高
	光システム学科3年	齋藤 毅
	光システム学科3年	林 新太郎
株式会社ハイマックス	バイオ・マテリアル学科3年	増田 優造
富士電機機器制御株式会社 吹上事業所	バイオ・マテリアル学科3年	豊田 純平
株式会社日立国際電気	大学院光科学研究科博士前期課程1年	三島 僚介
		武井 佑樹

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

今年は札幌会場が10月31日(月)にホテル札幌ガーデンパレスにて、東京会場が11月15日(火)に新宿ワシントンホテルビル本館にて開催し、両会場合わせ139社168名の参加がありました。今回は初めての試みとして、学生の研究紹介をプログラムに取り入れましたが、企業の方からも一定の評価を得ることができ、その後の名刺交換会においても活発な意見交換が行われていました。当日のプログラムは右記の通りです。

札幌・東京共通

開会

学長挨拶(学長 川瀬 正明)
 本学のキャリア教育について(キャリアセンター長 小松川 浩)
 本学の教育・研究活動についてのご説明
 光システム学科の人材育成について 札幌会場(小林 壮一 学科長)
 東京会場(小田 尚樹 光システム学科 キャリアセンター委員)
 学生による研究紹介(光システム学科4年 本九町 智大)
 グローバルシステムデザイン学科の人材育成について(吉田 淳一 学科長)
 学生による研究紹介 札幌会場(光科学研究科博士前期課程1年 森田 恭介)
 東京会場(グローバルシステムデザイン学科4年 山本 奏)
 バイオ・マテリアル学科の人材育成について(Olaf Karthaus 学科長)
 学生による研究紹介 札幌会場(光科学研究科博士前期課程1年 岡本 拓也)
 東京会場(光科学研究科博士前期課程1年 金沢 恭祐)

名刺交換会 開会

平成24年度入試概要

入試タイプ		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験(面接)会場	募集定員
一般学力入試	I期	1月 5日(木) 1月26日(木)	2月 4日(土)	2月15日(水)	第1次 3月 5日(月) 第2次 3月30日(金)	本学・旭川 函館・釧路 仙台	65名 ●I期:50名 ●II期:12名 ●III期: 3名
	II期	2月16日(木) 2月27日(月)	3月 3日(土)	3月 9日(金)	第1次 3月19日(月) 第2次 3月30日(金)	本学	
	III期	3月 5日(月) 3月21日(水)	3月24日(土)	3月26日(月)	第1次・第2次とも 3月30日(金)		
センター試験 利用入試	前期	1月 5日(木) 2月 6日(月)	—	2月15日(水)	第1次 3月 5日(月) 第2次 3月30日(金)	—	40名 ●前期:30名 ●後期:10名
	後期	2月16日(木) 3月12日(月)	—	3月16日(金)	第1次・第2次とも 3月30日(金)		

※出願に際しましては学生募集要項で必ずご確認ください。

優遇・助成制度

	対象・対象者数	金額	備考
特待生制度	一般学力入試、センター試験利用入試の成績上位者	学費(入学金除く) 1,357,000円を700,000円に減免	原則4年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時に在籍している、 2人目以降の者(ただし、特待生制度に該当する者は除く)	授業料の半額減免 (年間466,500円相当)	在籍が一人になったら、 正規授業料を納入
帰省旅費助成制度	○道外出身者 ○道内出身者(JR千歳駅から到着駅までの距離が 200km以上)	○道外出身 ※上限20,000円 帰省旅費(航空機、鉄道運賃)の半額 ○道内出身 ※上限10,000円 帰省旅費(鉄道運賃)の半額	年1回
千歳科学技術大学 奨学金	経済的に修学が困難な者(約12名)	年間240,000円支給	返還の必要なし 給付期間は1年間

※各種制度の利用(申請)方法は、入学後にお知らせします。 ※このほかに日本学生支援機構、地方公共団体、各種民間団体の奨学金制度が利用できます。

オープンキャンパスへのご参加、 ありがとうございました

平成23年のオープンキャンパスは3月20日(日)の第1回を皮切りに、10月まで計5回開催し、多くの方にご参加いただき、無事に全日程を終了することができました。

来年も魅力あるプログラムで皆様の参加をお待ちしております。日程につきましては、決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。





平成24年オープンキャンパス日程

平成24年のオープンキャンパスは以下の日程で開催します。

- 第1回 6月24日(日)
- 第2回 8月4日(土)・5日(日)
- 第3回 9月30日(日)
- 第4回 11月4日(日)



平成25年度入試からの変更点について

一般学力入試II期試験において総合試験型(1教科選択+面接)を廃止し、一般試験型(2教科選択)のみとなります。

旧	一般学力入試II期試験	一般試験型:2教科選択 総合試験型:1教科選択+面接
新	一般学力入試II期試験	一般試験型:2教科選択

進学相談会

質問や不安にお答えします。お近くの会場にお越しください。お待ちしております。

開催地	会場	開催日	備考	
北海道	旭川	旭川ターミナルホテル	4月26日(木)	
		ロワジールホテル旭川	5月9日(水)	
		ロワジールホテル旭川	6月11日(月)	
		ロワジールホテル旭川	8月30日(木)	
	石狩	花川南コミュニティセンター	4月23日(月)	
		岩見沢コミュニティプラザ	9月19日(水)	資料配付のみ
		枝幸町中央コミュニティセンター	5月11日(金)	
	小樽	グランドパーク小樽	4月24日(火)	
		グランドパーク小樽	9月18日(火)	
	帯広	ホテル日航ノースランド帯広	5月10日(木)	
		ホテル日航ノースランド帯広	6月15日(金)	
		ホテル日航ノースランド帯広	8月27日(月)	
		ホテル日航ノースランド帯広	11月15日(木)	
	北見	ホテルベルクラシック北見	5月8日(火)	
		ホテルベルクラシック北見	6月12日(火)	
		ホテルベルクラシック北見	8月29日(水)	
ホテルベルクラシック北見		11月13日(火)		
釧路	釧路市観光国際交流センター	5月11日(金)		
	釧路プリンスホテル	6月14日(木)		
	釧路市観光国際交流センター	8月28日(火)		
	釧路市観光国際交流センター	11月14日(水)		
札幌	札幌パークホテル	4月18日(水)		
	札幌ファクトリーホール	5月13日(日)		
	北翔クロテック月寒ドーム	5月15日(火)		
	札幌パークホテル	5月25日(金)		
	札幌パークホテル	6月21日(木)		
	ガトーキングダム	6月26日(火)		
	札幌ファクトリーホール	7月16日(月)		
	札幌パークホテル	8月24日(金)		
	札幌パークホテル	11月16日(金)		
	札幌グランドホテル	12月10日(月)		

※開催地は随時追加されます。最新情報は大学ホームページでご確認ください。

開催地	会場	開催日	備考	
新札幌	シェラトンホテル札幌	5月17日(木)		
	シェラトンホテル札幌	6月18日(月)		
	シェラトンホテル札幌	9月13日(木)		
	シェラトンホテル札幌	11月20日(火)		
滝川	滝川スポーツセンター	6月22日(金)		
	滝川三浦ホテル華園	9月19日(水)	資料配付のみ	
苫小牧	グランドホテルニュー王子	4月25日(水)		
	ホワイトパークサンシャイン	7月13日(金)		
	グランドホテルニュー王子	9月12日(水)		
北海道	函館国際ホテル	4月22日(日)		
	ベルクラシック函館	5月15日(火)		
	ベルクラシック函館	6月7日(木)		
	ベルクラシック函館	6月20日(水)		
	ベルクラシック函館	8月23日(木)		
室蘭	中嶋神社蓬莱殿	4月26日(木)		
	中嶋神社蓬莱殿	9月11日(火)		
	紋別	ホテルオホーツクパレス	5月10日(木)	
	稚内	稚内海員会館	5月29日(火)	
青森県	八戸	八戸グランドホテル	5月11日(金)	
	弘前	ベストウェスタンホテルニューシティ弘前	6月7日(木)	
	青森	青森国際ホテル	6月8日(金)	
宮城県	仙台	ホテルメトロポリタン仙台	6月5日(火)	
新潟県	新潟	朱鷺メッセ	5月20日(日)	
東京都	東京	東京国際フォーラム	7月7日(土)	
	東京	東京ビッグサイト	7月14日(土)	
静岡県	静岡	ツインメッセ静岡	5月27日(日)	
	静岡	ツインメッセ静岡	12月15日(土)	
愛知県	名古屋	ポートメッセ名古屋	7月19日(木)	
	名古屋	吹上ホール	7月22日(日)	
大阪府	大阪	インテックス大阪	6月23日(土)	
	大阪	グランキューブ大阪	8月26日(日)	
福岡県	北九州	西日本総合展示場	5月26日(土)	

CONTENTS

学位記授与式	1	就職・進学	7
教育・研究	2~5	入試情報・オープンキャンパス	8
大学間連携・高大連携・地域連携	6		

volume **27** 平成24年3月31日

発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

平成23年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式を挙行了しました

平成24年3月17日(土)、本学講堂において平成23年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。開式の辞の後、総合光科学部・光科学部131名の卒業生、大学院博士前期課程31名、博士後期課程2名の修了者一人ひとりに川瀬正明学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして小谷津孝明理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ学業に精励努力した学生に贈られる優良賞に、バイオ・マテリアル学科伊藤菜月さん、中島野々香さん、光システム学科豊島洋昭君、渡邊和輝君、グローバルシステムデザイン学科佐藤竜君、鈴木杏奈さんがそれぞれ選ばれ表彰されました。また、その中から中島野々香さんが、卒業生・修了生を代表して答辞を述べました。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は皆笑顔で学舎を後にしました。4月から社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれ新たな道を歩み出しますが、より大きく成長し飛躍されることを願っています。



小谷津孝明理事長



山口幸太郎千歳市長

浜中宏一教授並びに石田宏司教授 退職記念最終講話を開催しました

光システム学科浜中宏一教授並びにグローバルシステムデザイン学科石田宏司教授が本年3月末をもって定年退職されるため、去る3月1日(木)に退職記念最終講話が本学大講義室で開催されました。最終講話では、浜中教授は「私の履歴書」と題して先生が生まれてから現在に至るまでの学歴、職歴、教育・研究歴、さらにはスポーツ歴までをユーモアに富んだ語り口で話されました。また石田教授は「40年を振り返って」と題して、大学・大学院を修了後から現在までの約40年間の職歴、教育・研究歴についてわかりやすく話されました。会場には学生、両先生の研究室を巣立った卒業生、教職員等々100名以上の聴講者があり、皆熱心に聞き入っていました。その後、会場をANAクラウンプラザホテル千歳に移し懇親会が行われ、皆、両先生との名残を惜しみつつ会話が弾んでいました。

浜中教授には、学部長在任2年間を含む13年2ヶ月間、石田教授には本学開学時より研究科長在任2年間を含む14年間、本学に多大なる貢献をいただいたことを心より感謝するとともに、両先生のさらなるご活躍と今後も本学名誉教授としてご協力をお願いする次第です。



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名 平成23年12月1日から平成24年3月31日まで (敬称略)
福永 宗碧 高島 秀聡 小原 一己 (株)カミノ

浜中 宏一 教授

長きにわたる企業人生活から転じて千歳科学技術大学の教員として着任したのが1999年2月。誕生したばかりの本学の礎を築く一員として参画し、以来13年間佐々木敬介初代学長の建学精神である「人知還流・人格陶冶」を実践すべく、微力ながらも尽力し続けることが出来たのは大いに満足するところです。大学院の創設、入試制度改革、新学部・学科のスタート、10周年記念棟の建設、地域社会への催事など、教職員と共同で進めてきた様々な取り組みの思い出は尽きません。現在も「Best Care, Best Success」を掲げて、きめ細やかな教育、活発な研究活動並びに地域貢献に教職員が一丸となって取組んでおり、これらが本学をより価値あるものにしていくものと確信しています。私はこの度大学を去りますが、在校生・卒業生が立派な学生・社会人として活躍し、千歳科学技術大学が一層存在感のある大学へと発展していく姿を、これからはOBとして楽しみに見守っていきたくと思います。最後になりましたが、在任中にいただいた公私にわたる御指導・御支援並びに御鞭撻に深く御礼を申し上げます。



石田 宏司 教授

平成10年に本学が開学してから14年間、本当にお世話になりました。大学卒業以来、日立での26年間と併せて40年になります。このあいだ一貫して光エレクトロニクス、なかでも光ファイバー通信にかかわりのある仕事をしてきました。一つの新しい技術が生まれ、それによって世の中が大きく変わって行く経過を間近に経験できたことは、とても幸運であったと思っています。また企業と大学との両方の世界を経験できたことも大変幸運であったと思っています。大学に来てからは教育・研究のほかに就職・入試(学生募集)などの仕事をいくつか担当しました。しんどい思いもしましたが、幸い一緒に仕事をする教員・職員の仲間に恵まれて大学にいざさかの貢献ができたのではないかと、と思っています。



この14年間で大学を取り巻く環境は大きく変わりました。1990年代の「高度成長」から「安全・安心で持続可能な社会」へと、社会全体が大きく舵を切ろうとしているように思えます。来るべき新しい社会の中で千歳科学技術大学がますますの発展を遂げますように、切に願っています。

英語スピーチコンテストを開催しました

今回で3回目となる千歳科学技術大学英語スピーチコンテストは本学フォトニクス研究所主催の特別事業で、千歳光科学国際フォーラムの一環で行っているものです。今年是一般の部と高校生の部の二つのカテゴリーを設け、一般の部には6名、高校生の部には23名の参加者がありました。また、今年度からは千歳市及び千歳市教育委員会からの後援をいただき、一般の部の最優秀者には千歳市長賞、高校生の部の最優秀者には千歳市教育長賞を授与することとなりました。

当日は悪天候のため開催時間が遅れる等のアクシデントがありましたが、参加者の皆さんは日頃から練習している成果を存分に発揮し、非常に白熱した大会となりました。

開催日程等の詳細及び結果は以下のとおりです。

日時	平成24年1月28日(土)
	一般の部 9:30から 高校生の部 12:00から
場所	本学本部棟大講義室(B101)
主催	本学フォトニクス研究所
共催	ホトニクスワールドコンソーシアム
後援	千歳市、千歳市教育委員会

一般の部	千歳市長賞	平澤 梓(千歳科学技術大学 2年)
	First Prize	西 義一(北海道札幌東商業高等学校 教諭)
	Second Prize	遠藤 まりか(北海道千歳高等学校 1年)
	Third Prize	成田 公平(株式会社ダイナックス)
高校生の部	千歳市教育長賞	長谷部 芳佳(函館白百合学園高等学校 2年)
	First Prize	栗栖 絵奈(北海道千歳高等学校 2年)
	Second Prize	三原 有里奈(函館白百合学園高等学校 2年)
	Third Prize	竹田 真子(函館白百合学園高等学校 2年)



一般の部参加者



高校生の部参加者

フォトニクス研究所コロキウムを開催しました

千歳科学技術大学フォトニクス研究所では、大学院生の研究活動活性化や地域企業に向けての研究活動の情報発信を目的として定期的にコロキウム(研究討論会)を開催しています。内容は本学の教員の研究発表や講師を招いての講演会を行うなど、平成23年度は計8回開催しました。

第1回 平成23年4月25日(月)千歳科学技術大学

「核反応と放射能の基礎」

バイオ・マテリアル学科 教授 Olaf Karthaus

「ドイツでの共同研究:ヤヌス粒子のラマン測定」

千歳科学技術大学 研究員 清野 裕司

第2回 平成23年7月27日(水)千歳アルカディア・プラザ

「命を支える白い血液製剤」

日本赤十字社血漿分画センター 所長 脇坂 明美

「医療分野におけるICTの利活用について」

グローバルシステムデザイン学科 教授 三谷 正信

特別講演会 平成23年7月28日(木)千歳科学技術大学

「Stochastic modeling of intra cellular calcium signaling」
Max Delbrueck Center (Berlin, Germany) Mr.Gregor Moenke

「How I came to Japan and what I have done so far」
Potsdam University (Germany) Ms.Teresa Schlamp

第3回 平成23年10月26日(水)千歳科学技術大学

「学校経営におけるICT 活用~高大連携の可能性」

グローバルシステムデザイン学科 准教授 今井 順一

第4回 平成23年11月22日(火)千歳アルカディア・プラザ

「光輝く分子材料の設計方法と応用展開」

北海道大学大学院工学研究院物質化学部門 教授 長谷川 靖哉

「単純な棒状ポリマーが形成する多彩な液晶相とその応用」

バイオ・マテリアル学科 准教授 大越 研人

特別講演会 平成23年12月22日(木)千歳科学技術大学

「生物多様性に学ぶ新しい材料科学:バイオメテイクスの新潮流」

東北大学多元物質科学研究所 教授 下村 政嗣

特別講演会 平成24年1月25日(水)千歳科学技術大学

「My experience in Japan(日本で経験したこと)」

韓国全南大学 交換留学生 ベ・ Cholhon

「My life in Japan (留学生活の経験)」

韓国全南大学 交換留学生 ソン・サンウク

「Tunable Dye Laser Using DNA-Surfactant Cyanine Complex」

千歳科学技術大学博士前期課程 千田 寿文

第5回 平成24年2月29日(水)千歳アルカディア・プラザ

「プラズモニクスの応用展開」

北海道大学電子科学研究所所属 ナノテクノロジー研究センター 准教授 上野 貢生

「液晶など有機光機能材料の新しい展開」

バイオ・マテリアル学科 教授 角田 敦

※第2,4,5回はPWC「光テクノロジー応用懇談会」との共催です。

交換留学生の送別会を開催しました

2月3日(金)午後5時より、本学が学術交流協定を結んでいる韓国の全南大学校からの交換留学生ベ・チョルホンさんとソン・サンウクさんの送別会が本学学生食堂を会場として開催されました。

お二人は本学初の交換留学生として昨年9月から本年2月までの6か月間、本学にて留学生を送りました。当日はべさんとソンさんとの別れを惜む33名の学生・教職員が集まりました。

会では、二人を囲んだ楽しい歓談の後、留学生生活を振り返ったスライド動画が上映されました。また川瀬学長より留学修了記念品の贈呈などが行われました。最後に二人それぞれ、留学生生活に関わった方への感謝の気持ちを日本語で語り、感動と惜別が入り混ざった大きな盛り上がりのうちに、会は終了となりました。帰国後のお二人の益々の活躍を楽しみにしております。



文章能力養成合宿が行われました

3月8日(木)～10日(土)の3日間、ニセコいこいの村にて「文章能力養成合宿」を実施しました。この合宿は平成20年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」に採択されたプログラムの中の一取り組みで、学生の読解力やプレゼンテーション能力などの向上を目指したもので、各グループがそれぞれ一冊の新書を精読し、その内容をまとめ10分間で発表するという内容です。

7回目の実施となった今回の合宿には、1年生から4年生までの34名の参加学生が8グループに分かれ、グループ毎に本の要約やプレゼンテーション資料の作成に夜遅くまで取り組んでいました。最終日にはその成果のプレゼンテーションを行い、担当教員からの講評に一喜一憂しながら、非常に有意義な合宿が終了しました。

なお、平成20年度に文部科学省に採択されたこのプログラムは今年度が最終年度となりますが、この合宿は学生にとって非常に有意義であるということにより、本学独自の取り組みとして今後も継続することが決定しております。

平成23年度学位論文テーマ

学生氏名	修士論文タイトル
黒川 広志	日本語文章力養成のためのeラーニングシステムに関する研究
阿部 貴弘	二足歩行ロボットの視覚画像に基づいたZMP推定および歩行安定性の評価
石倉 隆広	レーザ直接描画による光配線版用交差光導波路の作製法に関する研究
大井 岳	義務教育での学力向上のための持続可能なICT活用型学習サービスに関する研究
小野 晴子	地域連携型のボランティア体験学習支援システムに関する研究
加藤 弘樹	人工光光源を用いた根菜類の栽培に関する基礎的研究
川原 宗貴	スペックルパターンの変動を利用した押圧検出システムに関する研究
河村 歩	高速MMF伝送の信号品質評価技術に関する研究
河村 直幸	水耕栽培によるルッコラ植物工場の基礎的研究
北内 千裕	赤外イメージングとラマン分光を用いた「カンゾウ」(生薬)の分析
小林 菜々絵	揮発ガス雰囲気中で動作するリレー接点の接触抵抗特性に関する研究
齋藤 幹親	光感受性物質の光物性と細胞内発光効果
坂口 宗	光線力学的治療筋起用波長による組織透過性の研究
下村 一	水蒸気とマグネシウムからの水素製造用特殊燃焼炉構成法
大門 智範	Ti-Al ₂ O ₃ の青色発光とそのUV照射・アニール効果
高橋 幸平	MMFスプールにおける10Gbps伝送特性改善のためのスポットサイズ変換器に関する研究
高橋 祐介	スペックルパターンの回転現象に関する研究
丹野 清志	学習者のスキルの可視化を図るeポートフォリオに関する研究
長原 健太	電子とプロトンを受容可能なラマンによる光・電子機能性の創出
樋岡 拓弥	光学ポリマーの屈折率制御、屈折率予測
日高 公介	赤外分光とラマン分光を用いた慢性腎臓病ラットの腎臓・心臓・肝臓の病態の可視化
平谷 修平	モバイルを活用したeラーニングの成績管理機構の開発と義務教育での実証評価
福田 裕士	POFによる短距離伝送の特性評価に関する研究
松浦 克文	厚いホログラフにおけるモードカップリング方程式の解および磁気非線形光学テンソルの対称性の導出の研究
松田 和也	高出力Ybファイバレーザーの発振及び励起法に関する研究
室崎 雅文	WDM用スペクトルスライス光源の特性評価
最上 卓嗣	小規模波長ルーティング光ネットワークに関する研究
森 博之	ディウエット現象を用いた立体表面の高分子マイクロパターンの研究
安川 大	時間分解分光法によるワイドギャップ酸化物質β-Ga ₂ O ₃ の研究
吉田 周平	2軸性ディスコティック液晶の合成
吉田 翔太	バナナ型液晶材料の合成と特性測定

学生氏名	博士論文タイトル
埴田 量宏	ソリトンパルスを用いたコヒーレントアンチストークスラマン散乱分光法(Coherent anti-Stokes Raman scattering spectroscopy using soliton pulses)
山川 広人	理工系の知識体系に基づく学習履歴可視化システムとその活用に関する研究(Study on a visualization system for students' study records linked with the knowledge database of science and technologies)

応用物理学会北海道支部学術講演会発表奨励賞を受賞しました

2012年3月に卒業した安川大さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程 指導教員:山中明生教授)が、第47回応用物理学会北海道支部/第8回日本光学会北海道地区合同学術講演会において応用物理学会北海道支部学術講演会発表奨励賞を受賞しました。

受賞した発表は、「遷移金属ドーパβ-Ga₂O₃の時間分解分光:入射偏光依存性」です。安川さんからは「これまでの研究を評価していただき、このような賞が受賞できたことを大変光栄に思います」とのコメントをいただきました。



平成23年度教育研究社会貢献賞

授賞式 平成24年3月7日(水)

※教育・研究・社会そして大学において貢献のあった教職員を対象として、教育研究社会貢献賞を授与し、その功績を讃えることを目的としています。今年度は下記の2名の教員が受賞されました。

バイオ・マテリアル学科 南谷 晴之教授



【受賞理由】

講義及び学生実験に熱心に取り組むとともに、生体医工学分野の教育、生体生命現象の解明に関わる先導的な研究指導に重要な役割を果たされました。2011年度には、国内外の研究者を招き、第20回日本バイオイメージング学会学術集会を主催し、当該分野の発展に大いに貢献されました。さらに、本学と学会が共催した公開市民講座では、高校生から一般市民など250名を超える受講者を集め、生物発光とバイオイメージングの基礎から応用の講演を企画実行し、新聞や日経BP誌に掲載されるなど、本学のPRや社会に大きく貢献しました。また、キャリアセンターの支援教員として真摯な態度で学生への助言・指導を行うなど就学・就職支援に大いに貢献した事により。

バイオ・マテリアル学科 李 黎明准教授



【受賞理由】

永年にわたり、レーザと生体組織の相互作用などの研究開発に努め、戦略的基盤技術高度化支援事業において「胃癌センチネルリンパ節診断用近赤外線蛍光画像腹腔鏡システムの開発」が採択され、当該研究内容が高い評価を受け、本学の研究推進に大いに貢献しました。また、多くの大学院生や学部生の研究指導に熱心に取り組むとともに、あらたに留学生の受け入れに率先して取り組むなど本学の海外との連携に大いに貢献した事により。

部活動実績

弓道部	2011年10月22日～23日 第57回全道学生弓道男子争覇戦 IV部リーグ戦 2位
軽音楽部	2011年10月7・8・9日 榮康祭 学生一般ライブ(北海道文科大学) 2011年11月3日 四校合同ライブ(Links) ※北海道文科大学・小樽商科大学・東海大学と合同 2011年12月3日 オリジナルバンド限定ライブ(161 倉庫) 2011年12月10日 クリスマスライブ(SOUND CRUE) ※北海道文科大学・北海道ハイテクノロジー専門学校と合同 2012年2月6日 「TURN AROUND」(SPIRITUAL LOUNGE) 2012年2月18日 「道産フェア vol.1 ~観ないで損しちゃいます~」(mole)
硬式テニス部	2011年9月23日～10月4日 平成23年度北海道学生テニス新進戦 5回戦(ベスト16) 伊藤 4回戦(ベスト32) 阿部 2011年10月30日 第33回江別テニス選手権大会 男子B級ダブルス 優勝 伊藤・阿部 2011年12月12日～15日 平成23年度北海道学生選抜室内テニス選手権大会 1回戦 伊藤
サッカー部	2012年1月29日 千歳地区社会人リーグ(3部) 優勝
卓球部	2011年11月12日～13日 北海道学生卓球選手権大会 4部リーグ 2位
YOSAKOI ソーラン部	2011年10月8日～9日 みちのく YOSAKOI まつり 参加(宮城) 2011年11月5日～6日 お台場 DREAM 夜さ来い 参加(東京) 2011年12月22日 伊東温泉 冬のよさこいソーラン祭り 参加(静岡) 2012年2月5日 YOSAKOI ソーラン in さっぽろ雪まつり SPECIAL STAGE 参加
バドミントンサークル(4月より部に昇格)	2011年10月16日 市民バドミントン大会(千歳市) 男子ダブルス2部 藤坂・内山 優勝 清水・今村 2位 2011年11月13日 全町バドミントン大会(南幌町) 男子ダブルス 2部 2011年11月20日 チーム対抗バドミントン大会(北広島市) 男子団体1部 参加
都山流尺八サークル	2011年10月15日 コンサート「尺八 The 菅原組」参加 2011年11月19日 「箏のしらべ」参加

平成23年度eカレッジ修了式を実施しました

本年度で6回目となる、千歳市内小中学生を対象としたeカレッジの修了式を3月3日(土)に千歳市総合福祉センターで実施しました。

このeカレッジ修了式は、本学のeラーニング教材を利用して、小学校3年生から中学校3年生までの科目(小学校理科・算数、中学校数学・英語・理科)の中で児童・生徒が自分で申し込んだ科目の取組み状況(取組回数、取組時間、演習問題達成度等)をもとに、年度末に学長名の修了証を交付するものです。

本年度は、24名に修了証を交付し、取組み状況が特に優秀だった23名に表彰状を授与しました。



※eカレッジとは、千歳市在住の児童・生徒の基礎学力向上や家庭学習支援を目的とし、千歳市教育委員会が実施する行政サービスで、千歳科学技術大学が学習管理等の支援を行っている千歳市教育委員会との協働事業です。

北海道美深高等学校、北海道函館西高等学校、北海道雄武高等学校と高大連携協定を締結しました

北海道美深高等学校、北海道函館西高等学校、北海道雄武高等学校と高大連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、本学の高大連携校は3月31日現在で40校となりました。



左:北海道美深高等学校 大鐘校長 右:川瀬学長

協定締結日

平成24年1月16日(月)
北海道美深高等学校

平成24年3月19日(月)
北海道函館西高等学校

平成24年3月29日(木)
北海道雄武高等学校



左:北海道函館西高等学校 安房校長 右:川瀬学長



左:北海道雄武高等学校 丸山校長 右:川瀬学長

平成23年度第3回公開講座を開催しました

平成23年度第3回公開講座を3月24日(土)に千歳市民文化センターを会場に開催しました。今回は光システム学科の福田誠教授が、「アナログとデジタルは何がちがうか?」と題して、アナログとデジタルの基礎的な説明から物理や数学の専門的なところまで、デモンストレーションや携帯電話・CDなどの実物を見せながらわかりやすく解説しました。

当日は千歳市内をはじめ、恵庭市、苫小牧市などから54名の受講があり、熱心に質問する受講生の姿も見られ、終了後のアンケートの結果も非常に好評でした。当日の公開講座の詳細は下記のとおりです。



日時 平成24年3月24日(土) 14:30~16:00

会場 千歳市民文化センター 3階視聴覚室

演題 アナログとデジタルは何がちがうか?
~携帯電話はどのように進化したか~

講師 総合光科学部光システム学科
教授 福田 誠

理科工房が第8回小柴昌俊科学教育賞・奨励賞を受賞しました

平成24年3月18日(日)、東京大学・本郷キャンパスの小柴ホールで第8回小柴昌俊科学教育賞の最終選考会が開催され、本学の理科工房が奨励賞を受賞しました。

小柴昌俊科学教育賞は、ノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊先生(東京大学特別栄誉教授)が理事長を務められている公益財団法人平成基礎科学財団によるものであり、「児童・生徒の基礎科学への興味と関心を高めるため、新しい発想と工夫に満ちた理科教育プログラムを開発・実践し、理科教育に関し著しい教育効果を上げた団体及び個人」に対して贈られます。今回は、理科工房の活動における「学生主体の理科教育活動による自己開発」が、優秀賞・奨励賞の受賞候補に推薦されておりましたが、このたび見事に奨励賞を受賞いたしました。理科工房では、日頃から地域の皆様のご協力を得て、理科・科学技術に対する啓蒙につながる活動を展開しており、平成23年度の地域連携関連活動の件数は53件になりました。こうした日々の活動が認められたことに対する喜びとともに、今後の活動の大きな糧になる受賞となりました。

1dayインターンシップを実施しました

平成24年2月20日(月)から3月30日(金)の期間で「1dayインターンシップ」を実施いたしました。本取組みは一昨年度より実施しており、学部2年生の学生が1日もしくは半日実際に企業にお伺いし、見学及び社員の方との懇談等を通じて、勤労観や職業観を養うことを目的としております。

今年度は、18事業所に70名の学生が参加しました。



※本取組みは、平成20年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に採択された「自ら成長する教養人の育成支援プログラム」の一環として実施しております。

学内企業研究セミナーを開催しました

平成24年2月13日(月)から17日(金)の5日間で、122社の企業の方にご参加いただき、本学体育館で学内企業研究セミナーを開催いたしました。2013年3月卒業の学生は「採用選考に関する企業の倫理憲章」変更の影響で、企業側の広報活動が10月1日以降から12月1日以降に変更になりました。実際の広報活動期間が2ヶ月間短縮になったことにより、今年の参加企業が減少することを当初懸念しておりましたが、最終的には昨年を上回る企業の参加がありました。期間中は本学の採用実績企業を中心に、道内外の様々な企業の説明を聞くことができる機会ということもあり、連日多数のリクルートスーツ姿の学生が企業の採用担当者やOB・OGの話に真剣に聞き入っていました。



平成23年度卒業生の進路状況 (平成24年3月31日現在)

今年度は昨年3月の東日本大震災の影響もあり、大手企業や中堅企業が採用活動を例年より遅らせたり、また、採用を見合わせる企業も数多くありました。これらの要因もあり、昨年より引き続き厳しい就職環境に変わりはなく、また、企業による「買い手市場」「厳選採用」の傾向はより一層強まったように感じられました。学生はこのような状況下の中で、厳しい就職戦線を強いられましたが、本学においては昨年よりも若干向上に転じました。

主な就職先

平成23年度卒業生実績(五十音順)

株式会社アルトナー、アルプス電気株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、ACJ株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティエムイー、長田電機工業株式会社、株式会社オプト・システム、株式会社カーネルコンセプト、海上自衛隊、株式会社カミノ、河村電器産業株式会社、キヤノンオプトロン株式会社、九州ナノテック光学株式会社、株式会社協和エクシオ、株式会社クロステック、グンダイ株式会社、株式会社恒栄工業、株式会社コロワイド東日本、株式会社三技協イオス、山藤三陽印刷株式会社、三和電子株式会社、株式会社シーテック、株式会社ジャパンテックニカルソフトウェア、株式会社湘南光学工業所、新興サービス株式会社、新和グループ、住電オプコム株式会社、株式会社セイコウ、株式会社セントラル情報センター、セントラルリーシングシステム株式会社、綜警情報システム株式会社、総合警備保障株式会社、株式会社ダイナックス、多治見無線電機株式会社、株式会社つうけんアドバンスシステムズ、株式会社デンコードー、株式会社東京精密、トヨタカローラ道北株式会社、株式会社ニッセイコム、日本精機株式会社、日本エイム株式会社、日本高圧コンクリート株式会社、日本コムシス株式会社、株式会社日本コンピュータ開発、日本アータスキル株式会社、株式会社日本トラフィックコンピューターセンター、株式会社ハイパーネット、株式会社白山製作所、日立建機ビジネスフロンティア株式会社、日立コンシューママーケティング株式会社、株式会社日立製作所、株式会社日立ハイテクフィールドティング、株式会社VSN、株式会社フォーラムエンジニアリング、富士精機株式会社、富士通アドバンスエンジニアリング、富士電機テクニカ株式会社、富士古河E&C株式会社、フラワーヒルズ株式会社、株式会社ベガスベガス、株式会社防災コンサルタント、北栄機装株式会社、北海産業株式会社、北海電気工事株式会社、北海道警察、北海道厚生農業協同組合連合会、北海道赤十字血液センター、北海道総合通信網株式会社、北海道日本電気ソフトウェア株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、ミネベア株式会社、株式会社メイテックフィルタース、紋別市役所、ヤフー株式会社、株式会社コードム、株式会社ラテックス、陸上自衛隊、理研計器株式会社、リコーテクノシステムズ株式会社、和興エンジニアリング株式会社、三樹テクノ株式会社 他

大学院進学 平成23年度卒業生実績(五十音順)

- 上越教育大学大学院
- 千歳科学技術大学大学院
- 北海道大学大学院

求人票数
(平成24年3月31日現在)

807件

平成23年度卒業生の
進路状況
(平成24年3月31日現在)

就職決定者 118名

就職率 92.2%

進路決定率 81.4%

※就職率=就職決定者÷就職希望者
※進路決定率=就職決定者÷(全卒業生数-進学決定者数)

CONTENTS

学長メッセージ・学事日程	1	就職・進学	5
イベント	2	入試情報・オープンキャンパス	6
大学間連携・高大連携・地域連携	2	財務情報	7
教育・研究	4	法人情報	8

Volume

28

千歳科学技術大学報

平成24年7月31日



Cist News



発行／学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■Eメール <http://go.chitose.ac.jp>



千歳科学技術大学学報・学長メッセージ



千歳科学技術大学 学長
川瀬 正明

今年の夏は北海道でも計画停電のアナウンスがあり、節電に協力されている方が多いと思います。

ある大手企業の北海道支社で、本社の指示に従って空調の設定温度を28度にしたところ暖房が入ってしまった、という笑話も聞きました。かけ声ばかりに気を奪われて、その真の目的とは別な行動をとってしまうことはよくある事で、他山の石としなければいけません。

昨今の就職活動における求人スバックでは「グローバル人材」の要求が多く、英語が苦手だから自分には関係ない、と最初から敬遠する学生もいますが、英語ができればグローバル人材というわけではありません。

かつて企業の研究開発を担当していたときに、事業サイドの新サービス担当者から、「こういう機能を実現できないか」と問われたことがあります。研究者にとって実現できるかできないかは「原理的に出来るかできないか」であり、つい「それほど難しくない」と答えてしまいました。

ところが設計して見ると大きさも価格も相手のイメージとはかけ離れていることが判明し、「これはできるとは言わない、できないと言うことだ」と怒らせてしまった経験があります。

今後世の中がグローバルな方向に向かう中で、相手の立場と自分の立場の違いをきちんとわきまえられる、そして立場の違い、考え方の違いを肯定的にとらえることができる、そんな能力がグローバル人材に限らず、社会人として要求されるもっとも基本であるに違いありません。

学事日程

- 4月**
 - 入学式 オリエンテーション(1年生)
 - ガイダンス(2~4年生)
 - 春学期開講
 - 定期健康診断
 - 受講科目履修登録
- 6月**
 - 開校記念日(6日)
 - 第1回オープンキャンパス
- 7月**
 - 論議発表(4年生)
 - 春学期定期試験
 - 春学期授業終了
- 8月**
 - 夏季休業
 - インターシップ
 - 第2回オープンキャンパス

- 9月**
 - 光の記念日(19日)
 - 秋学期開講
 - 後援祭
 - 第3回オープンキャンパス
- 10月**
 - 成績通知(春学期分)
 - 佐々木記念賞授与式
 - 千歳光科学国際フォーラム
 - 父母懇談会
- 11月**
 - 第4回オープンキャンパス
- 12月**
 - 冬季休業

- 1月**
 - 卒業論文提出(4年生)
 - 卒業論文最終発表(4年生)
 - 秋学期授業終了
 - 秋学期定期試験
- 2月**
 - 春季休業
 - 就職セミナー(学内企業説明会)
- 3月**
 - 成績通知(秋学期分)
 - 学位授与式

Event イベント

平成24年度 千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行



平成24年4月7日(土)、本学講堂において平成24年度千歳科学技術大学・大学院入学式が挙行された。

式は、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午前10時から始まった。

開式後、川瀬正明学長による式辞が述べられ、次に、総合光科学部225名、大学院博士前期課程20名、計245名の新入学生を代表して総合光科学部新入生田中百香さんによる新入生宣誓が行われた。その後、小谷津孝明理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただき、続いて、本日ご列席のご来賓さらに本学教員の紹介が行われた。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了した。

1年生交流会を実施

平成24年4月5日(木)に1年生交流会が実施されました。この交流会は1年生がグループワーク等を通じて交流することによる友達づくりや早く学生生活に慣れてもらえるよう、さらにクラスアドバイザー(教員)も参加することにより、気軽に相談できる関係づくりの機会となるよう毎年実施しております。開催内容はオリエンテーション、グループワーク(工作とコンテスト)、図書館ガイダンス、クラブ・サークル紹介で、グループワークでは、今年度のテーマである「クリップモータ」について共同で工作作業を行い、その成果を競いあいました。

殆ど初対面の新入生同士が、工作作業を通じて話すきっかけができ、終了時にはかなりの盛り上がりを見ることが出来、非常に有意義な会となりました。



同窓会総会を開催しました

平成24年5月26日(土)に平成24年度同窓会総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告、収支決算が報告され、さらに今年度の事業計画や予算を審議しました。その中で、特に今後の同窓会活動の更なる充実に向けて活発な意見交換がなされました。

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

北海道千歳高等学校定時制課程、北海道阿寒高等学校、札幌静修高等学校と高大連携協定を締結しました



千歳高等学校・釣校長(左)川瀬学長(右)



阿寒高等学校・吉田校長(左)川瀬学長(右)



札幌静修高等学校・加島校長(左)川瀬学長(右)

北海道千歳高等学校定時制課程、北海道阿寒高等学校、札幌静修高等学校と高大連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、本学の高大連携校は40校となりました。

協定締結日

平成24年4月19日(木) 北海道千歳高等学校定時制課程

平成24年4月19日(木) 北海道阿寒高等学校

平成24年5月31日(木) 札幌静修高等学校

平成24年度 「第1回高大連携研究会」を開催しました

今年度第1回目となる高大連携研究会を5月12日(土)に本学で開催しました。今回の研究会では、午前には本学からの今年度の高大連携事業についての説明、各学科紹介および各学科で行われる高大連携プロジェクトの説明を行いました。

午後は、各連携校からeラーニング活用事例、計画の報告をいただき、その後の分科会ではeラーニング学習管理システムの講習会と「光ファイバ通信実験」の体験プログラムを行いました。

研究会には、本学の連携校ならびに連携を検討している道内高等学校30校より37名の教員の参加がありました。

当日の研究会の詳細は下記のとおりです。

千歳科学技術大学 平成24年度第1回高大連携研究会

■ 日時/平成24年5月12日(土)11:00~

■ 会場/千歳科学技術大学本部棟、10周年記念棟、研究実験棟

11:00~11:05

開会挨拶

千歳科学技術大学 総合光科学部長 山林 由明

11:05~11:20

今年度の高大連携事業概要について

総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 准教授 今井 順一

11:20~11:50

3学科紹介、「高大連携プロジェクト2012」の実施について

○光システム学科紹介、光サイエンスプロジェクト

総合光科学部光システム学科長 山中 明生

○グローバルシステムデザイン学科紹介、情報プロジェクト

総合光科学部グローバルシステムデザイン学科長 吉田 淳一

総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 講師 石田 雪也

○バイオ・マテリアル学科紹介、自然科学プロジェクト

総合光科学部バイオ・マテリアル学科長 Olaf Karthaus

11:50~12:05

高大連携事業に関わる募集方法等について

教育連携推進課長 大西 哲也

13:00~14:45

各連携校 eラーニングシステム利用状況報告(参加連携校27校)

○平成23年度eラーニング利用状況報告

○平成24年度eラーニング利用計画報告

15:00~17:00

分科会

○eラーニング・学習管理システム活用講習会

総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 講師 石田 雪也

○「光ファイバ通信実験」体験プログラム

総合光科学部光システム学科長 山中 明生

17:00

閉会



eカレッジ講習会を実施しました

平成24年6月24日(日)に本学において、平成24年度eカレッジ講習会を実施しました。

eカレッジは、千歳市教育委員会主催のもと本学が連携協力し、千歳市内の小中学生から希望者を募り、eラーニングシステムを学習に役立てもらうことにより基礎学力向上を図る、家庭学習支援事業です。eラーニングシステムは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができるシステムです。

この講習会では、本学総合光科学部グローバルシステムデザイン学科の石田雪也講師がeラーニングシステムの基本的な使い方を説明しました。



平成24年度 第1回公開講座開催

平成24年度千歳科学技術大学第1回公開講座を6月9日(土)に千歳市民文化センターを会場に開催しました。今回はグローバルシステムデザイン学科の三谷正信教授が、「ユビキタス健康社会へのアプローチ」と題して、近年環境が整いつつあるユビキタス健康社会(いつでも、どこでも、誰でもが簡単に健康情報を利用できる社会)の一例として、スマートフォンやipad等の携帯情報端末で健康に関する情報や病院での診療の情報を利用する仕組みについて、わかりやすく解説されました。

当日は千歳市内をはじめ、札幌市、登別市などから39名の受講があり、熱心に質問する受講生も見受けられました。当日の公開講座の詳細は下記のとおりです。



日時 平成24年6月9日(土) 14:30~16:00

会場 千歳市民文化センター 3階視聴覚室

演題 「ユビキタス健康社会へのアプローチ~いつでも、どこでも、誰でもが簡単に健康情報を利用できる社会を目指して~」

講師 総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科
教授 三谷 正信

Research and Education 教育・研究

YOSAKOIソーラン部がYOSAKOIソーランちとせトーナメントで優勝しました

本学YOSAKOIソーラン部「光一天」が平成24年7月14日～15日に開催された「第14回YOSAKOIソーランちとせトーナメント」で見事優勝しました。「光一天」はこれ以外にも、6月6日～10日に開催された「第21回YOSAKOIソーラン祭り」においてセミファイナルに進出し4位に入っております。本学YOSAKOIソーラン部は旭川のチーム「遊～すさび～」と合同で活動しており、合同チーム「遊～すさび～&光一天」として出場しました。今後も様々なイベントに参加予定であり、一層の活躍を期待しています。



平成24年度 学生チャレンジプログラム採択決定

本学では学生が自主的で自由な発想から企画した、意欲的かつチャレンジ精神溢れるプロジェクト活動を大学として奨励し、資金面等で支援する「学生チャレンジプログラム」制度を平成21年度に設立しています。学生が主体的に活動するプロジェクト活動または活動した実績ある取り組みの補助を行うことを目的とし、学生活動全般を対象とする「大学生生活貢献部門」と社会的ニーズを踏まえたコンテンツ及びシステム開発を行った学生チーム(個人も可)を対象とする「情報メディア貢献部門」の2部門がありますが、平成24年7月12日(木)に「大学生生活貢献部門」についての審査が行われ、以下の4団体(チーム)の取り組みを採択しました。

【大学生生活貢献部門】(補助金上限額)

1. テーマ: ストリートダンス部創設(254,120円)
2. テーマ: 全日本8時間耐久ママチャリレース出場(137,000円)
3. テーマ: 千歳市市議会の表紙ボランティア
写真部による校内行事などの撮影project(309,956円)
4. テーマ: 柔道サークルによる備品充実(524,580円)

本学大学院生が (財)慶応工学会奨学生に採用されました

本学大学院光科学研究科の阿部正裕さん(博士前期課程2年)が、平成24年度財団法人慶応工学会奨学生に採用され、7月12日(木)に給費奨学金授与証書が授与されました。

この奨学金制度は、全国の理工系大学院生を対象に募集され、採用されると年額36万円(1年間)支給されます。



健康に関する講話を開催しました

7月25日(水)の5講時目(16:45～18:15)に本部棟B101講義室において1年生を対象とした本学FD委員会主催による健康講話を開催いたしました。当日は学校医の遠藤 昭先生と医療法人社団いすみ会 北星病院の氏家 志乃(うじけ しの)管理栄養士が講師となり、運動・栄養・休養などの日常生活全般、特に朝食、食生活の重要性についてお話をさせていただきました。

具体的には、日本人の食事摂取基準による必要カロリーや個人に合わせたカロリーの求め方、さらには食品の栄養表示の見方についても教えていただき、親元を離れひとりで生活している学生の食生活を例に栄養のバランス、食事の評価を行い、必要なタンパク質や野菜をどのように確保するか具体的なメニューを示しながらアドバイスをしていただきました。

また、朝食を摂ることにより体内リズムを整え、脳を活性化させる効果について詳しく説明があり、食べるボリュームがなぜ朝食>昼食>夕食なのかについても解説していただきました。

この日は、学生(1年生)、教職員合わせて160名の参加があり、「話の内容がとても身近なことなので興味深く、機会があればまたお話を聞いてみたい」と感想を述べていた学生もいました。

Course 就職・進学

キャリア形成プログラム(就職支援体制)

本学では、学生のキャリアアップを支援するため、「キャリア形成プログラム」を開講しています。

1年次は、今後の学生生活を目的・目標を持って過ごすことができるよう、将来の進路について考える講座などを、2・3年次は外部講師やOB・OGなどを招き、自己分析や業界研究などを含め、企業が求める「社会人基礎力」を身に付けられる講座を開講しています。

今年度は以下のカリキュラムで学生のキャリア支援を行っています。

学部1年	
春学期	・オリエンテーション ・基礎学力調査 ・企業調査(グループワーク) など
秋学期	・企業によるガイダンス ・学科選択に向けたガイダンス ・内定した学生による就職体験談 など

学部2年	
春学期	・アカデミックスキル養成講座(経営と会計) ・コミュニケーションスキルアップ講座 ・グループディスカッション など
秋学期	・就職マナー講座 ・R-CAP(自己発見・職業適性検査)受検・ガイダンス ・1 dayインターンシップ実施 など

学部3年 / 博士前期1年		
春学期	4月	・オリエンテーション ・R-CAP(自己発見・職業適性検査)受検 ・企業人事担当者からのガイダンス
	5月	・領域グループワーク ・筆記試験対策講座
	6月	・インターンシップガイダンス ・R-CAP(自己発見・職業適性検査)解説・活用セミナー(～7月) ・就職活動マナー講座(～7月)
	8月	・インターンシップ実施
秋学期	9月	・進路調査票提出 ・履歴書・エントリーシートの書き方 ・筆記試験対策講座(～10月)
	10月	・履歴書対策 ・インターンシップ事後研修 ・企業人事担当者からのガイダンス
	11月	・面接トレーニング(～12月) ・OB・OG対話
	12月	・就職活動サイトの利用方法について
	1月	・モチベーションアップガイダンス ・進路決定に向けてのガイダンス ・学校推薦説明会
	2月	・学内企業研究セミナー(就職セミナー) ・就職希望調書提出
	3月	・個人面談 ・学校推薦者決定 ・企業の採用試験開始

学部4年 / 博士前期2年	
4月	・学生への個別対応(内定までのサポート)

インターンシップ

夏季休業期間を利用し実施するインターンシップは、学部3年生が秋から始まる就職活動に備え、勤労観や職業観を養うことを目的とし、企業等の現場を直接体験できる貴重な機会です。

本学では第1期生より実施しており、平成15年度よりキャリア教育を強化すべく、インターンシップを単位化しております。キャリアセンターでは学生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをよりいっそう強化しています。

今年度は、56事業所に113名の学生を派遣します。7月4日に読売新聞(朝刊)で掲載された「大学の实力調査」において、昨年度のインターンシップで単位を認定した学生数が道内国公立大学の中で最も多く、本学がいかに関係するインターンシップに力を入れているのかを表しています。

主な派遣先

道内・千歳市内

- ANAクラウンプラザホテル千歳
- 株式会社エルス
- 株式会社カミノ
- キリンビール株式会社北海道千歳工場
- 社会福祉法人千歳市社会福祉協議会
- 株式会社ダイナックス
- 株式会社ダイヘン
- 株式会社ダスキンプロダクト北海道
- 千歳印刷株式会社
- 千歳科学技術大学
- 千歳市教育委員会教育部生涯学習課
- 千歳市総務部防災学習交流施設
- 千歳市立図書館
- 千歳市内小学校(5校)
- 千歳市内中学校(1校)
- 日本赤十字社血漿分画センター
- フォトニックサイエンス
テクノロジー株式会社
- プリーズペイオレーション
株式会社ホテルグランテラス千歳
- 北海道電力株式会社千歳支社
- 北海道日興電気通信株式会社
- 陸上自衛隊第11普通科連隊

道内・その他

- 株式会社I・TECソリューションズ
- 株式会社エフビーエス
- 環境NGO ezorock
- 株式会社協和エクシオ
- 社会福祉法人北海道リハビリリー
- セントラルリーシング
システム株式会社
- 中央コンピューター
サービス株式会社
- 株式会社つうけん
- 株式会社つうけん
アドバンスシステムズ
- 東芝ホクト電子株式会社
- ナラサキスタックス株式会社
- 北海道立正学園旭川実業高等学校
- 室蘭まちづくり放送株式会社
- 株式会社モロオ

道外

- 株式会社三技協イオス
- 株式会社湘南光学工業所
- 株式会社ソフテム
- 株式会社ニッセイコム
- 日本アルゴリズム株式会社
- 株式会社日本コンピュータ開発
- ネットズエスアイ東洋株式会社
- 株式会社ハイマックス
- 富士電機機器制御株式会社吹上事業所
- 株式会社フジキン

Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成25年度 入試概要

入試タイプ	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験(面接)会場	備考	募集定員
特別推薦入試 (指定校推薦)	11月 1日(木)～ 11月 8日(木)	11月23日(金)	12月3日(月)	第1次・第2次とも 12月26日(木)	本学	———	85名
併願入試	10月23日(火)～ 10月29日(月)	11月 3日(土)	11月 8日(木)	第1次・第2次とも 12月26日(木)	本学	———	15名
公募推薦入試	12月 3日(月)～ 12月19日(水)	12月26日(水)	12月28日(金)	第1次・第2次とも 1月28日(月)	本学	———	5名
一般学力入試	I期 1月 7日(月)～ 1月28日(月)	2月 6日(木)	2月15日(金)	第1次 3月 5日(火) 第2次 3月29日(金)	本学・旭川・函館 釧路・仙台	———	65名 ■ I期:50名 ■ II期:12名 ■ III期: 3名
	II期 2月18日(月)～ 2月28日(木)	3月 4日(月)	3月 8日(金)	第1次 3月18日(月) 第2次 3月29日(金)	本学		
	III期 3月11日(月)～ 3月21日(木)	3月25日(月)	3月26日(火)	第1次・第2次とも 3月29日(金)			
センター試験 利用入試	前期 1月 7日(月)～ 2月 6日(水)	———	2月15日(金)	第1次 3月 5日(火) 第2次 3月29日(金)	———	———	40名 ■前期:30名 ■後期:10名
	後期 2月18日(月)～ 3月12日(火)	———	3月18日(月)	第1次・第2次とも 3月29日(金)			
AO入試	A型 第1クール 第6クール 11月1日(木) } 2月14日(木)	(面接日) 11月23日(金) 12月26日(水) 1月26日(土) 2月23日(土) *3月 4日(月) *B型のみ	12月 3日(月) 12月28日(金) 1月28日(月) 2月25日(月) *3月 6日(水) *B型のみ	第1次・第2次とも 12月26日(水) 1月28日(月) 2月13日(水) 3月13日(水) *3月20日(水) *B型のみ	本学	エントリー期間 A型 8月3日(金)～1月17日(木) B型 8月17日(金)～1月24日(木) (毎週木曜日締切) C型 7月2日(月)～7月25日(水) *詳しくは「AO入試ガイド」を ご参照ください。	30名 ■A型 ■B型 ■C型
	B型 第1クール 第22クール 11月1日(木) } 2月28日(木)						
	C型 11月1日(木) } 11月8日(木)	(面接日) 11月23日(金)	12月 3日(月)	第1次・第2次とも 12月26日(水)			

※出願に際しましては学生募集要項で必ずご確認ください。

特別推薦入試助成制度

特別推薦入試にて入学された方を対象に授業料の一部免除、通学費・家賃の一部助成を行います。
なお、これらの優遇制度につきましては、いずれか一つを選択することになります。

	学部1年	金額	備考
特別推薦優遇制度	出願時に住所が恵庭市、北広島市、苫小牧市、夕張市、厚真町、安平町、栗山町、白老町、長沼町、南幌町、むかわ町、由仁町の特別推薦入学生	授業料の一部減免 *入学金相当180,000円	第1学年秋学期納付金に ついてのみ
通学助成制度	特別推薦入学生のうち、千歳市以外から公共交通機関を利用して通学する者で、千歳市優遇制度または特別推薦優遇制度・家賃助成制度のいずれにも該当しない者	年額45,000円×4年=180,000円	最大4年間
家賃(賃貸住宅)助成制度	特別推薦入学生のうち、千歳市内の賃貸住宅を利用する者で千歳市優遇制度または特別推薦優遇制度・通学助成制度のいずれにも該当しない者	月額15,000円×12ヶ月×4年間 =720,000円	最大4年間

平成24年度 第1回オープンキャンパスを開催

平成24年第1回目となるオープンキャンパスを6月24日(日)に開催しました。当日は101名に参加いただき、大学説明、学生との交流会、研究室見学ツアー等のプログラムを用意し、参加者は教員・学生と交流し、また実際に研究室を見学し目を輝かせながら、大学の研究の一端に触れていました。

オープンキャンパスは今後以下の日程で開催いたします。また、道内各地より無料シャトルバスを運行いたしますので、お友達、ご家族お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

■ 第3回 9月30日(日) ■ 第4回 11月4日(日)



Financial statements 財務情報

貸借対照表 ※平成24年3月31日現在

資産の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,986,996	10,257,512	△ 270,516
有形固定資産	6,460,414	6,710,609	△ 250,195
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	2,428,037	2,573,891	△ 145,854
その他の有形固定資産	1,037,361	1,141,701	△ 104,340
その他の固定資産	3,526,582	3,546,903	△ 20,321
流動資産	1,333,454	1,131,960	201,494
現金預金	1,259,445	1,045,049	214,396
その他の流動資産	74,009	86,911	△ 12,902
合計	11,320,450	11,389,472	△ 69,022

負債の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	109,370	75,678	33,692
流動負債	428,981	341,902	87,079
合計	538,351	417,580	120,771

基本金の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	11,469,145	11,436,464	32,681
第4号基本金	97,005	97,005	0
基本金の部合計	11,566,150	11,533,469	32,681

消費収支差額の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 784,051	△ 561,577	222,474

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
合計	11,320,450	11,389,472	△ 69,022

消費収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

当該会計年度の学生納付金等の「帰属収入」から、当該会計年度における「基本金に組入れる額」を控除した消費収入と人件費・教育研究費等の「消費支出」との均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

消費収入の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,310,702	1,271,995	38,707
手数料	11,615	14,206	△ 2,591
寄付金	3,000	21,107	△ 18,107
補助金	229,087	240,090	△ 11,003
国庫補助金	229,000	240,002	△ 11,002
地方公共団体補助金	87	88	△ 1
資産運用収入	38,468	38,953	△ 485
事業収入	69,005	95,323	△ 26,318
雑収入	23,417	24,092	△ 675
帰属収入合計	1,685,294	1,705,766	△ 20,472
基本金組入額合計	△ 87,736	△ 32,681	△ 55,055
消費収入の部合計	1,597,558	1,673,085	△ 75,527

消費支出の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費	732,515	736,628	△ 4,113
教育研究経費	955,538	944,471	11,067
(内減価償却費)	361,992	361,644	348
管理経費	213,788	205,081	8,707
(内減価償却費)	23,787	24,125	△ 338
予備費	(5,000)		0
資産処分差額	0	4,629	△ 4,629
徴収不能引当金繰入額	0	4,749	△ 4,749
徴収不能額	0	0	0
消費支出の部合計	1,901,841	1,895,558	6,283

帰属収支差額	△ 216,547	△ 189,792	△ 26,755
帰属収支差額比率	△ 12.8	△ 11.1	△ 1.7
当年度消費支出超過額	304,283	222,474	
前年度繰越消費収入超過額	0	0	
前年度繰越消費支出超過額	561,577	561,577	
翌年度繰越消費支出超過額	865,860	784,051	

資金収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応する全ての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

資金収入の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,310,702	1,271,995	38,707
手数料収入	11,615	14,206	△ 2,591
寄付金収入	3,000	16,688	△ 13,688
補助金収入	229,087	240,090	△ 11,003
国庫補助金収入	229,000	240,002	△ 11,002
地方公共団体補助金収入	87	88	△ 1
資産運用収入	38,468	38,953	△ 485
事業収入	69,005	95,323	△ 26,318
雑収入	23,417	24,092	△ 675
前受金収入	205,655	197,745	7,910
その他の収入	329,290	888,133	△ 558,843
資金収入調整勘定	△ 222,770	△ 292,746	69,976
当期資金収入合計	1,997,469	2,494,479	△ 497,010
前年度繰越支払資金	1,045,049	1,045,049	
収入の部合計	3,042,518	3,539,528	△ 497,010

資金支出の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	729,374	727,078	2,296
教育研究経費支出	593,546	582,827	10,719
管理経費支出	190,001	180,465	9,536
施設関係支出	24,379	24,911	△ 532
設備関係支出	138,287	107,903	30,384
資産運用支出	105,533	556,790	△ 451,257
その他の支出	319,784	295,026	24,758
予備費	(5,000)		0
資金支出調整勘定	5,000	5,000	0
資金支出調整勘定	△ 113,264	△ 194,917	81,653
当期資金支出合計	1,922,640	2,280,083	△ 287,443
次年度繰越支払資金	1,049,878	1,259,445	△ 209,567
支出の部合計	3,042,518	3,539,528	△ 497,010

法人情報

※平成24年5月29日現在

理事長

氏名	職名
小谷津 孝明	(学)千歳科学技術大学 理事長

理事

氏名	職名
石田 宏司	千歳科学技術大学 名誉教授
市川 昭司	京浜急行電鉄(株) 顧問
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 光科学研究科長
小糸 彰	KIホールディングス(株) 相談役
斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
橘 滋夫	(株)日立製作所 北海道支社長
山口 幸太郎	千歳市長
山林 由明	千歳科学技術大学 総合光科学部長

監事

氏名	職名
新谷 俊一	(株)山三ふじや 図書館事業部図書館長
檜森 聖一	(株)北海道二十一世紀総合研究所 代表取締役社長

■教員人事

採用(平成24年7月1日) ・佐々木 慎也 教授
 退職(平成24年3月31日) ・浜中 宏一 教授 ・石田 宏司 教授
 ・johnathon john 准教授

評議員

氏名	職名
赤羽 正雄	信州大学 国際交流センター 教授
石田 宏司	千歳科学技術大学 名誉教授
打越 カンナ	(株)NTTデータMSE
小谷 泰久	(財)光産業技術振興協会 専務理事
オラフカートハウス	千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科長
金澤 広司	伊達観光開発(株) 代表取締役
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 光科学研究科長
佐々木 勝利	(財)千歳福祉サービス公社 理事長
渋谷 隆夫	(株)ダイナックス 常務取締役開発本部長
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事兼事務局長
杉岡 正三	北海道ガス(株) 取締役 常務執行役員
高橋 正和	千歳市総務部税務課
長谷川 豊	千歳商工会議所 専務理事
増子 洋行	(有)マスコシステムズ 代表取締役
溝口 健二	セイコーエプソン(株) 人事部
三ツ野 仁	(株)共立鉄工所 代表取締役
三野 耕一	東日本電信電話(株) 理事 北海道支店長
山口 義人	(学)活水学院 理事長
山田 範保	北海道電力(株) 顧問
山中 明生	千歳科学技術大学 光システム学科長
山林 由明	千歳科学技術大学 総合光科学部長
吉田 淳一	千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科長

(五十音順)

新しく赴任された先生からメッセージをいただきました



佐々木 慎也 教授

光システム学科に赴任

技術立国日本の復権を目指して

7月より、光システム学科に赴任いたしました佐々木です。これまで、民間企業の研究所で、光通信システムと光デバイスの研究開発並びにその事業化に携わって参りました。

近年、日本の技術力に陰りが見えてきた、などと言われております。本学では、これまでの企業での研究開発の経験を生かし、使いやすくまたエコな将来の通信システムの実現を目指した研究に取り組み、技術立国日本の復権に少しでもお役に立てれば、と考えております。どうぞご支援の程、よろしくお願い致します。

CONTENTS

千歳光科学国際フォーラム開催 … 1	就職・進学 …………… 6
イベント …………… 2	入試情報・オープンキャンパス …… 8
大学間連携・高大連携・地域連携 …… 2	法人情報 …………… 8
教育・研究 …………… 5	

Volume 29

千歳科学技術大学報

平成24年11月30日

Cist News

発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>



第13回千歳光科学国際フォーラム(CIF' 13)を開催しました

本年度で第13回目を迎える千歳光科学国際フォーラムはOptical Sensing and Instrumentation, Photonics Sensing and Networks, biomimeticsの三つのテーマからなるセッションおよび特別講演として2002年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊教授を招聘し10月11日、12日の二日間にわたり開催されました。三つのセッションでは国外から7名、国内から6名の研究者を招聘しそれぞれの研究分野において活発な意見が交換されました。

特別講演では「宇宙、人間、素粒子」のタイトルで小柴昌俊教授にニュートリノを観測する仕組みの解説や、ニュートリノなどの素粒子が地球、人類の成り立ちにどのように関わっているかを講演して頂き、会場に集まった約350名の方々が熱心に耳を傾けていました。

11日にはポスターセッションが開催され、本学の学部生、大学院生や北海道大学、関西大学の研究者らが自身の研究について積極的に発表し、国外からの研究者とも活発に意見を交換する姿が見受けられました。こうして非常に有意義な2日間が過ぎ、第13回千歳光科学国際フォーラムは幕を閉じました。



Event イベント

稜輝祭を開催しました

平成24年9月23日(日)に第14回稜輝祭(大学祭)を開催しました。幸い天候にも恵まれ、来場者数は昨年度の2倍以上となる約800名を数えました。

野外に設置された特設ステージでは、恒例のYOSAKOIソーラン演舞や学生ライブをはじめ、「和太鼓Team千舞泉美太鼓」「陸上自衛隊第7特科連隊」による太鼓演奏、ここにダンスサークルやストリートダンスサークルによる演舞、ビンゴ大会、コーラ早飲み大会、腕相撲大会、学生抽選会等が行われました。

校舎内でも、映画上映、Web動画コンテスト、薄茶会、紙飛行機大会、テーブルゲーム大会、球技大会などの学生団体イベントが行われました。

また、SFライトノベル作家「笹本祐一先生」による講演、航空研究会の企画による「航空自衛隊第2航空団との座談会」、公開講座等も開催されました。最終プログラムのWeb動画コンテストの結果発表及び学生抽選会で大きな盛り上がりを見せ、平成24年度稜輝祭は盛況のうちに閉会を迎えました。



平成24年度父母懇談会を開催しました

平成24年10月20日(土)午前11時から午後4時まで、本学を会場として父母懇談会を開催しました。午前中は本部棟にて全体説明会として学長挨拶に始まり、学部長による大学全体の説明、続いて大学教育センター・学生支援センター・キャリア支援センターの各センター長より、学習指導・学生生活・就職関係等の説明がなされました。昼食後、会場を研究・実験棟に移して個別相談・研究室見学が行われました。

今年度は過去最高となる255名の父母が参加され、個別相談では学習面や生活面、そして上級学年になるにつれ就職面の相談が加わる等、担当の教職員との熱心な懇談が行われ、また研究室見学では各研究室の研究内容等について、教員や研究室所属の学生が説明し、本学で行われている研究について理解を深めていただきました。実施後は、「本学の様々な取り組み、支援体制について知ることができた」「大学が身近に感じられた」等々の意見をいただきました。本学としては、今後もご父母の方に安心していただけるよう、支援体制のより一層の充実をはかっていくつもりです。



Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

海星学院高等学校、北海道上ノ国高等学校、北海道美瑛高等学校と高大連携協定を締結しました

海星学院高等学校、北海道上ノ国高等学校、北海道美瑛高等学校と高大連携協定を締結しました。

今回の協定締結により、本学の高大連携校は43校となりました。

協定締結日

平成24年10月15日(木) 海星学院高等学校
平成24年10月29日(月) 北海道上ノ国高等学校
平成24年11月19日(月) 北海道美瑛高等学校



(左)海星学院高等学校・香川校長 (右)川瀬学長



(左)北海道上ノ国高等学校・松原校長 (右)川瀬学長



(左)北海道美瑛高等学校・山本校長 (右)川瀬学長

平成24年度 第2回・第3回・第4回公開講座開催

平成24年度千歳科学技術大学第2回・第3回・第4回公開講座を下記のとおり開催しました。第2回は「光を操る～現代技術の応用～」を共通テーマに本学の3名の教員による連続講座(全3回)の形式で、第3回は稜輝祭(大学祭)と同時開催という形式で現在身の回りに溢れている液晶について、基本性質や様々な液晶の種類と特性、どのようにディスプレイに使われているか等の解説を、第4回では語学や文化など人文科学系の内容について、本学の人文科学系の教員3名による連続講座(全3回)の形式で実施しました。どの講座の形式も本学としては初の試みであり、市民の方にどのように受け入れられるか心配の面もありましたが、結果としてどの講座も従来にも増して受講者があり、講座終了後のアンケートも非常に高い評価をいただきました。本学ではこれからも市民の方の期待に応えるべく、さらなる充実を図っていくつもりです。各公開講座の詳細は下記のとおりです。

第2回

①日時:平成24年7月19日(木)19:00～20:30

会場:千歳市民文化センター 4階小会議室1

演題:「光通信への道」

講師:総合光科学部長・グローバルシステムデザイン学科 教授 山林 由明

②日時:平成24年7月25日(水)19:00～20:30

会場:千歳市民文化センター 4階小会議室1

演題:「レーザー光の応用」

講師:総合光科学部光システム学科 教授 唐澤 直樹

③日時:平成24年8月2日(木)19:00～20:30

会場:千歳市民文化センター 4階小会議室1

演題:「光と安全」

講師:総合光科学部バイオ・マテリアル学科 准教授 梅村 信弘

第3回

①日時:平成24年9月23日(日)13:00～14:30

会場:千歳科学技術大学 本部棟2階 B203教室

演題:「光を操る～液晶の世界～」

講師:総合光科学部バイオ・マテリアル学科 准教授 大越 研人

第4回

①日時:平成24年10月6日(土)14:30～16:00

会場:千歳市民文化センター 3階中会議室2

演題:「How Can I Learn English? (外国語を学ぶ良い方法)」

講師:総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 専任講師 Randy Evans

②日時:平成24年10月19日(金)19:00～20:30

会場:千歳市民文化センター 3階視聴覚室

演題:「チャップリンの『街の灯』を観る/読む」

講師:総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 准教授 小川 正浩

③日時:平成24年10月27日(土)14:30～16:00

会場:千歳市民文化センター 4階小会議室1

演題:「日本人と中国人一日中国民性の比較」

講師:総合光科学部光システム学科 教授 王 建康



平成24年度 「第2回高大連携研究会」を開催しました



平成24年11月17日(土)に今年度第2回目の高大連携研究会を開催しました。

今回の研究会では、本学教員による研究分野の講演、高大連携事業の事例発表、連携校におけるeラーニング利用状況中間報告等を行い、本学の連携校ならびに連携を検討している道内高等学校より33校44名の教員の参加がありました。

研究会の詳細は下記のとおりです。

千歳科学技術大学 平成24年度第2回高大連携研究会

日時:平成24年11月17日(土)14:00～

会場:KKRホテル札幌

■ 研究会次第

14:00～14:05

開会挨拶

総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 准教授 今井 順一

14:05～14:45

講演

「アナログとデジタルの基礎知識」

総合光科学部光システム学科 教授 福田 誠

14:45～15:55

事例報告

①「教職希望学生のインターンシップ受入れ」

旭川実業高等学校 教諭 倉谷 学氏

②「基礎的・基本的な学力の定着を図る高大連携の取組」

北海道千歳高等学校定時制課程 教諭 今井 憲一氏

③「eラーニングの活用方法について考える」

北海道南茅部高等学校 教諭 本城 直幸氏

15:55～16:00

高大連携事業のご報告と予定

教育連携推進課長 大西 哲也

16:10～17:25

各校におけるeラーニング利用状況中間報告

17:25～17:40

eラーニングシステム・新機能のご紹介

総合光科学部グローバルシステムデザイン学科4年 三浦 鈺輝・寺田 拓海

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

札幌開成高等学校の 「プレ先端科学特論」を実施しました

北海道札幌開成高等学校で行われている「プレ先端科学特論」は、同校のコズモサイエンス学科1年生が大学や野外で授業を実施する特色ある科目で、毎年本学において講義や実験を実施しています。

今年は9月22日(土)に、本学の研究・実験棟にて午前と午後1テーマずつ講義と実験を行いました。詳細は以下のとおりです。

■テーマ1「光の波動性を探る」(物理系講義・実験)

担当: 総合光科学部が「ロバールシステム」学科 教授 長谷川 誠
内容: 光の二重性に関する講義の後、透過性回折格子フィルムを使って白色光の分光やレーザーの回折の様子を観察し、さらにレーザー光の波長を計算する実験を行いました。

■テーマ2「光化学反応」(化学系講義・実験)

担当: 総合光科学部バイオ・マテリアル学科 教授 Karthaus Olaf
内容: 光化学に関する講義の後、スピロピランという有機化合物を使い、紙に文字を書き、紫外光(日光)を当てると文字が浮かびあがるフォトクロミズムという現象を観察し、さらに熱を加えると文字が消えるという実験を行いました。



文部科学省の「大学間連携 共同教育推進事業」に採択されました

文部科学省平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、本学が代表校として申請しておりました「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」が採択されました。本事業には、全国の国公私立大学等から153件の申請があり、49件が選ばれました。

【取組名称】

「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」

【連携大学等】

本学、山梨大学、愛媛大学、佐賀大学、北星学園大学、創価大学、愛知大学、桜の聖母短期大学、大学eラーニング協議会、日本リメディアル教育学会、日本情報科教育学会

【取組期間】

平成24年度～28年度

【取組概要】

学士力における質保証に課題意識を持つ国立・私立、理系・文系、学部・短大の8大学と学協会が連携し、学士力に関わる共通基盤的な教育要素(教材・モデルシラバス・到達度テスト)を、クラウド上の共通基盤システム上に共有する。その上で、①各大学の入学段階の学生の学習や学習観特性を把握・共有し、各大学で実施すべき初年次系の学修支援プログラムや②社会の要請に呼応した共通の到達度テストに基づく弱点箇所をeラーニングで主体的に学ぶキャリア系の共通の学修支援プログラム

を実施する。③大学間のFD・SDを通じて各大学の特色ある教育方法も共有しながら質の高い教育プログラムを展開して、基盤的な知識・技術を上手に活用して自ら問題の解決にあたる自律型人材の養成を目指す。さらに、一連の取組を学協会と協働して、他大学や地域社会で活用できる汎用性の高い学習内容や方法を模索し、ユニバーサル時代の日本の高等教育の質向上へ寄与する。

札幌市立高等学校 職場体験学習プログラムを開催しました

平成24年8月29日(水)及び9月19日(水)に札幌市立高等学校の生徒を対象に、本学において「職場体験学習プログラム」を開催しました。

このプログラムは、札幌市立高等学校の必修授業として開講されている体験プログラムで、本学は通信関係の職場体験の受け入れ先として光システム学科教員の指導のもと、光通信実験や光ファイバを製造する工場の見学、そして最後に、光システム学科小林壮一教授による光ファイバについての講義を行い、全員で今日1日の職場体験学習を振り返りました。詳細は以下のとおりです。



・参加生徒

8月29日(水)

北海道札幌藻岩高等学校 2年生4名
北海道札幌新川高等学校 2年生6名
北海道札幌開成高等学校 1年生5名

9月29日(水)

北海道札幌清田高等学校 2年生2名
北海道札幌平岸高等学校 2年生7名
北海道札幌旭丘高等学校 1年生7名



・プログラム

9:30 オリエンテーション

9:40 実験①

第1グループ: 光ファイバを使った光伝送実験

第2グループ: フォトダイオード作製とフォトダイオードを使った実験

10:50 実験②

第1グループ: フォトダイオード作製とフォトダイオードを使った実験

第2グループ: 光ファイバを使った光伝送実験

12:00 昼食

13:00 バスでフォトニックサイエンステクノロジー株式会社へ移動

13:20 工場内を見学

14:30 バスで大学に移動

15:00 講義(担当: 小林壮一・光システム学科教授)

15:30 まとめ作業

16:00 感想発表

16:30 終了

Research and Education 教育・研究

KAGACによる 「教員免許状更新講習」を実施しました

本学では、平成21年4月より教員免許状更新制が導入されたことに伴い、金沢大学・東京学芸大学・愛知教育大学と連携し、「eラーニング教員免許状更新講習推進機構(KAGAC)」を設立し、各大学の強みを活かした多様で質の高い講習プログラムをeラーニングで提供する教員免許状更新講習を開講しており、今年度で4年目となります。

今年度の更新講習には、全国より2,282名の方が受講されました。

なお、修了認定試験は、北海道(札幌市・旭川市・帯広市)、東京都(小金井市)、愛知県(刈谷市・豊橋市)、石川県(金沢市)、兵庫県(西宮市)の8会場で平成24年8月25日(土)に実施しました。

平成24年度佐々木記念賞



左から佐々木さん、戸田さん、高野さん、川瀬学長、安念さん(YOSAKOIソーラン部)、阿部さん(硬式テニス部)、高橋さん、千田さん

■授賞式 平成24年10月5日(金)

※本学の開校に尽力した、初代学長・佐々木敬介氏(1936～1998)の業績を記念し、平成10年に創設されました。科学技術教育に力を注いだ氏の意思を継ぎ、優秀な研究者の育成、学生の諸活動の応援を目的としています。

今年度は下記の方が受賞されました。これを励みにいっそうの精進を期待します。皆さんおめでとうございます。

奨励賞

学部2・3年の成績優秀者に贈呈

- 佐々木 将伍さん(バイオ・マテリアル学科3年)
- 戸田 一也さん(光システム学科3年)
- 高野 泰臣さん(グローバルシステムデザイン学科3年)

貢献賞

クラブ活動や学外活動において功績があった者に贈呈

- YOSAKOIソーラン部
- 硬式テニス部

学術賞

大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

- 高橋 佳佑さん(光科学研究科博士前期課程2年)
- 千田 寿文さん(光科学研究科博士前期課程2年)

本学奨学生

認定証授与式が行われました

9月11日(火)に平成24年度千歳科学技術大学奨学生認定証授与式が行われました。この制度は、経済的に修学が困難な学生に対して本学が奨学金を給付する制度で、今年度は13名の学生が奨学生として採用されました。この奨学金制度は年額24万円(1年間)支給されます。

文章能力養成合宿が行われました

平成24年8月6日(月)～8日(水)の3日間、ニセコいこいの村にて「文章能力養成合宿」を実施しました。この合宿は平成20年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」に採択されたプログラムの中の一取り組みとして始まり、学生の読解力やプレゼンテーション能力などの向上を目指したもので、各グループがそれぞれ一冊の新書を精読し、その内容をまとめ10分間で発表するという内容です。

平成20年度に文部科学省に採択されたこのプログラムは昨年度で終了しましたが、この取り組みは学生にとって非常に有意義であるということから今年度より本学独自の取り組みとして実施することとなりました。

8回目の実施となった今回の合宿には、1年生から4年生までの学部生に加え、大学院生も参加し、計24名の参加学生が6グループに分かれ、グループ毎に本の要約やプレゼンテーション資料の作成に夜遅くまで取り組んでいました。最終日にはその成果のプレゼンテーションを行い、担当教員からの講評に一喜一憂しながら、非常に有意義な合宿が終了しました。



奨学金及び教育研究資金の 寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育研究活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名

平成24年8月1日から平成24年11月30日まで
(敬称略)

伊藤 憲仁	大西 拓弥	青山 晴美	榮坂 俊雄
小川 芳樹	天野 雅好	中村 彰	織田 昌英
上野 隆利	福永 宗碧	(有)マスコンシステムズ	千葉 啓太
中谷 英一	嘉藤 理江子	中田 尚行	
松田 良枝	落合 美和子	工藤 浩之	
宮浦 茂樹	及川 茂子	工藤 義男	
菅野 浩	村松 弥須子	小山内 眞	
桐越 一	畠山 淑子	高村 明良	
熊谷 勝幸	横山 治司	堀 清志	

Research and Education 教育・研究

文部科学省の「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に採択されました

文部科学省平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に、本学が申請した「学生の主体的な学びを促進する学修支援システムの構築」が採択されました。

【事業名称】

「学生の主体的な学びを促進する学修支援システムの構築」

【事業目的】

本事業の目的は、本学の教育目的である「人格に優れ、次代の日本を担う自立心と人間力に満ちた社会人の育成」に資するため、正課と正課外両面での全学的な教育課程の中で学生一人一人の学修状況の把握を行える情報システム(学生の主体的な学びを促進するポートフォリオ型学修支援システム)の設備整備を通じて、初年次教育やキャリア教育等の全学的な教育内容の連関を図り、学生一人一人の学びの状況を教職員がきめ細かく把握しながら学生の主体的な学びを支援する全学的な教育活動の推進にある。上記設備を効果的に活用する中で、(1)eラーニングを介した入学前教育の学修状況やWebで実施する初年次系科目でのプレースメントテストの学修状況を蓄積し、こうしたデータを活用したアドバイジングを通じて学生一人一人に主体的に学ぶことの意識付けを図ることを目指す。次に、(2)1年次のキャリア教育を中心に、数学・英語・日本語・情報に関連した学士力のベースの部分となるeラーニングのコース課題を設定し、自ら課外での学修計画を立てさせると同時に、到達度テストの実施やその振り返りを通じた自立心の高い学びの促進を図ることを目指す。さらに、(3)学生自身に人間力の重要性を認識させるための学習観の自己診断テストのWebでの実施を図り、その結果や学生の振り返りに基づき、キャリア教育で用意した様々な正課外の問題解決型学習に主体的に参加させ、自立心と人間力に満ちた人材の育成に努める。

文部科学省の「ナノテクノロジープラットフォーム 分子・物質合成領域」に採択されました

本学は、ナノテクノロジー研究の特性にふさわしい機器を配し、ナノテクノロジー研究環境に求められる研究機能を有する機関として採択され、全国の産学官の研究者に最先端の研究環境を提供します。施設共用の運転実施に係る経費や研究者が利用しやすい支援体制を構築するための経費が文部科学省から支援されます。

【事業の目的】

本事業は、ナノテクノロジーに関わる最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する機関が、緊密に連携して全国的なナノテクノロジーの研究基盤(プラットフォーム)を構築することにより、産学官の多様な利用者による共同利用を促進し、個々の利用者に対して問題解決への最短アプローチを提供するとともに、産学官連携や異分野融合を促進することを目的としています。分子・物質合成プラットフォームにおいては、ナノテクノロジー分子・物質合成に要求される先端機器群を供給し、産学官すべての利用者へ設備利用に留まらず、データの解析等も含めた総合的な支援を実施していきます。

Course 就職・進学

「インターンシップ事後研修会」を開催しました

平成24年10月23日(火)に「インターンシップ事後研修会」を本学で開催しました。

今年度は、59事業所に117名(学部3年生114名、大学院博士前期課程1年生2名、大学院博士前期課程2年生1名)の学生がインターンシップに参加しました。

当日は、16事業所19名の受入担当者にご参加いただきました。

初めに、受入事業所のご担当者とは本学教職員による「意見交換会」を開催し、受け入れに際しての課題、インターンシップの今後のあり方などについて、貴重なご意見をいただきました。

続いて、インターンシップに参加した学生による「研修報告会」を開催しました。今年度の研修報告会は、従来の発表方法を変更し、インターンシップに参加した全学生が、各講義室に分かれ、発表を行いました。発表練習は、就職が決まった先輩がT A(ティーチングアシスタント)として1ヶ月前からグループワーク方式で指導に当たりました。参加いただいた受入担当者からは、「とても有意義な事後研修会であった」とご感想をいただきました。

《インターンシップ事後研修会 参加事業所》

株式会社カミノ、環境NGO ezorock、株式会社協和エクシオ、株式会社三技協イオス、株式会社ダイナックス、学校法人千歳科学技術大学、千歳市内小学校(2校)、千歳市内中学校(1校)、中央コンピューターサービス株式会社、株式会社つうけん、一般社団法人日本血液製剤機構千歳工場、株式会社ハイマックス、社会福祉法人北海道リハビリ、室蘭まちづくり放送株式会社、株式会社モロオ(50音順:敬称略)



「企業と大学の情報交換会」を開催しました

今年も「企業と大学の情報交換会」を東京・札幌の2会場で開催しました。東京会場は10月31日(水)に新宿ワシントンホテルビル本館(99社、126名参加)で、札幌会場は11月6日(火)に札幌ガーデンパレス(49社、64名参加)にて開催しました。昨年と同様に、企業の方に本学の学生理解を深めていただくために、学生の研究紹介をプログラムに取り入れ実施し、その後の名刺交換会においても活発な意見交換が行われていました。

当日のプログラムは下記の通りです。

(札幌・東京共通)

開 会

■ 学長挨拶(学長 川瀬 正明)

■ 教育・研究活動についてのご説明

総合光科学部の人材育成について(学部長 山林 由明)

・学部生による研究紹介 東京会場(光工学学科 4年 山根 央高)

・学部生による研究紹介 札幌会場(バ・マ・マテリアル学科4年 伊藤 哲平)

・学部生による研究紹介 東京会場(グローバルシステム工学学科 4年 米谷 奈那美)

・学部生による研究紹介 札幌会場(光工学学科 4年 石橋 知也)

■ 大学院の人材育成について(大学院研究科長 川辺 豊)

・大学院生による研究紹介 東京会場(光科学研究科 博士前期課程 守谷 大樹)

・大学院生による研究紹介 札幌会場(光科学研究科 博士前期課程 阿部 正裕)

■ フォトニクス研究所による企業等への技術サポートについて

(バ・マ・マテリアル学科長 Olaf Karthaus)

■ キャリアセンターの紹介

(キャリアセンター長 小松川 浩)

名刺交換会

閉 会



「OB・OG対話」を開催しました



平成24年11月13日(火)、11月27日(火)に本学にて「OB・OG対話」を開催しました。

「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生を対象に、少人数制での双方向のコミュニケーションを通して、仕事への理解を深めることを目的としています。

平成20年度より実施している「OB・OG対話」は、就職活動において重要な位置づけとなるOB・OG訪問に代わる企画として学生からのニーズが高く、また今年は学部3年生と

大学院博士前期課程1年生の在籍数が例年より多いことから、今年度初めての試みとして2度開催致しました。2度の開催により、参加学生は多くのOB・OGの方々から、お話を伺う機会を得られるというメリットもあります。

今年も多くのご協力を得て、全国各地より25名のOB・OGの方々にご参加頂き、参加学生は12月から本格的に始動する就職活動へ向けての意識を高める絶好の機会となりました。

【平成24年度「OB・OG対話」にご参加頂いた皆様】(敬省略)

11月13日(火)

企業名	氏名
日星電気株式会社	大関 匠
アルプス電気株式会社	歌川 博紀
富士精機株式会社	豊嶋 洋昭
株式会社協和エクシオ	國分 純太
株式会社つうけん	久保 寛晃
株式会社クロステック	島尻 圭佑
ニッテツ北海道制御システム株式会社	三浦 隆治
三菱電機ビルテクノサービス株式会社	田崎 寛康
株式会社シーテック	細川 俊介

11月27日(火)

企業名	氏名
日本精機株式会社	高橋 悠樹
富士電機株式会社	小川 心平
	馬淵 晃平
株式会社芙蓉ビデオエージェンシー	森熊 良太
NTTエレクトロニクス株式会社	相澤 和宏
株式会社フジキ	数藤 大輔
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	藤上 巨
日本コムシステム株式会社	甲田 光弘
北海道総合通信網株式会社	石山 横信
株式会社つうけんアドバンスシステムズ	高田 将央
日興ソフトウェア株式会社	堀 典輔
	川村 晃太
株式会社日立ハイテクフィールドینگ	安藤 正顕
	植村 拓也

※ 都合により、ご紹介できる企業様のみ掲載しております。

文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択されました

文部科学省平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に、本学が申請した「産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成」(代表校:秋田県立大学)が採択されました。本事業には、全国の国公立大学等から9件の申請があり、8件が選定されました。

【取組名称】 「産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成」

【連携大学等】 本学、室蘭工業大学、小樽商科大学、旭川大学、札幌市立大学、北翔大学、弘前大学、青森公立大学、岩手大学、岩手県立大学、盛岡短期大学、宮古短期大学、秋田大学、秋田県立大学、山形大学、会津大学、桜の聖母短期大学

【取組期間】 平成24年度～26年度

【取組概要】 本取組は、北海道・東北ブロックにおける「地域・社会のニーズを学生に知らせる(ミスマッチを解消する)」ものです。「学生が将来目標を具体的に持っていない」、「地元を含め社会や企業を十分に知らない」、「学業(学生生活)と社会・未来がリンクしていない」という現実、また他地域に比べて学生が「大人しい」、「発信力・自己PR力が弱い」と評されるなど真面目だが大人しい学生が多い点、加えて東日本大震災が今に地域情勢に大きな影響を与えている点などが地域の課題だと認識しています。こうした中、産業界や大学が「未来を語る」ことで学生の積極性や目標意識を引き出す必要性を感じています。雇用情勢が悪く夢や希望を持ちにくい地域だからこそ、将来のために「何をしたいのか」、「何ができるのか」、企業が、大学が、学生がそれぞれ考え、意見交換し、行動することが必要であり、本取組を通じて、企業と学生の意見や立場をつなぐことがキーになると考えています。

Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成25年度入試概要

入試タイプ		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験(面接)会場	募集定員
一般学力入試	I期	1月7日【月】～ 1月28日【月】	2月6日【水】	2月15日【金】	第1次 3月5日【火】 第2次 3月29日【金】	本学・旭川・函館 釧路・仙台	65名 ●I期:50名 ●II期:12名 ●III期:3名
	II期	2月18日【月】～ 2月28日【木】	3月4日【月】	3月8日【金】	第1次 3月18日【月】 第2次 3月29日【金】	本学	
	III期	3月11日【月】～ 3月21日【木】	3月25日【月】	3月26日【火】	第1次・第2次とも 3月29日【金】		
センター試験 利用入試	前期	1月7日【月】～ 2月6日【水】	—	2月15日【金】	第1次 3月5日【火】 第2次 3月29日【金】	—	40名 ●前期:30名 ●後期:10名
	後期	2月18日【月】～ 3月12日【火】	—	3月18日【月】	第1次・第2次とも 3月29日【金】		

※出願に際しましては学生募集要項で必ずご確認ください。

優遇・助成制度

	対象・対象者数	金額	備考
特待生制度	一般学力入試、センター試験利用入試の 成績上位者	学費(入学金除く) 1,357,000円を700,000円に減免	原則4年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時に在籍している、2人目以降の者 (ただし、特待生制度に該当する者は除く)	授業料の半額減免 (年間466,500円相当)	在籍が一人になったら、 正規授業料を納入
帰省旅費助成制度	○道外出身者 ○道内出身者(JR千歳駅から到着駅までの距離が 200km以上)	○道外出身 ※上限20,000円 帰省旅費(航空機、鉄道運賃)の半額 ○道内出身 ※上限10,000円 帰省旅費(鉄道運賃)の半額	年1回
千歳科学技術大学 奨学金	経済的に修学が困難な者(約12名)	年間240,000円支給	返還の必要なし 給付期間は1年間

オープンキャンパスへのご参加、ありがとうございました

平成24年のオープンキャンパスは6月24日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催し、多くの方にご参加いただき、無事に全日程を終了することができました。

来年も魅力あるプログラムで皆様の参加をお待ちしております。日程につきましては、決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。



Education foundation information 法人情報

小谷津孝明理事長が瑞宝中綬章を受章しました

平成24年11月3日に発表された平成24年度秋の叙勲において、本学の小谷津孝明理事長が私学振興功労及び教育研究功労により瑞宝中綬章を受章しました。

※瑞宝章は国及び地方公共団体の公務又は公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方に授与されます。



CONTENTS

学位記授与式	1	就職・進学	6
教育・研究	2	法人情報	7
大学間連携・高大連携・地域連携	5	入試情報・オープンキャンパス	8



Volume
30

千歳科学技術大学報

平成25年3月31日



Cist News

発行／学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>



平成24年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式を挙りました

平成25年3月16日(土)、本学講堂において平成24年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、総合光科学部・光科学部155名の卒業生、大学院博士前期課程27名、博士後期課程1名の修了者一人一人に川瀬正明学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして小谷津孝明理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ学業に精励努力した学生に贈られる優良賞に、バイオ・マテリアル学科上村舞さん、櫻庭並優生さん、光システム学科今優大さん、山根央嵩さん、グローバルシステムデザイン学科斉藤佑太さん、小山内涼さんがそれぞれ選ばれ表彰されました。また、その中から今優大さんが、卒業生・修了生を代表して答辞を述べました。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれ新たな道を歩み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。



川瀬正明学長



小谷津孝明理事長



山口幸太郎千歳市長



卒業生代表 今優大さん

Research and Education 教育・研究

英語スピーチコンテストを開催しました

千歳科学技術大学英語スピーチコンテストは道内高校生、および千歳市在住または在勤の大学生・社会人を対象に、グローバルな人材の育成ならびに地域への貢献を目的として実施しており、今年度で4回目の開催となります。

今回から、参加人数を各学校・企業等から最大3名までと上限を設けましたが、ハイスクール・ディビジョン23名、オープン・ディビジョン5名と、多くの方に参加いただきました。

参加者の皆さんは日頃から練習している成果を存分に発揮し、非常に白熱した大会となりました。

開催日程等の詳細及び結果は以下のとおりです。

日時	平成25年1月26日(土) (ハイスクール・ディビジョン) 9:00から (オープン・ディビジョン) 14:00から
場所	本学本部棟大講義室(B101)
主催	本学
共催	ホトニクスワールドコンソーシアム
後援	千歳市、千歳市教育委員会

結果

ハイスクール・ディビジョン

千歳市教育長賞	南山 亜也花 (札幌創成高等学校 3年)
Second Prize	金子 光 (双葉高等学校 3年)
Third Prize	山本 あまね (札幌聖心女子学院高等学校 2年)
奨励賞	金崎 杏菜 (札幌創成高等学校 2年)

オープン・ディビジョン

千歳市長賞	谷本 泰規 (株式会社ダイナックス)
Second Prize	佐藤 杏希 (千歳科学技術大学 3年)
Third Prize	部田 夏希 (株式会社ダイナックス)



オープン・ディビジョン参加者



ハイスクール・ディビジョン参加者

文章能力養成合宿

平成25年3月7日(木)～9日(土)の3日間、北海道地区国立大学大滝セミナーハウスにて「文章能力養成合宿」を実施しました。この合宿は、学生の読解力やプレゼンテーション能力などの向上を目指したもので、各グループがそれぞれ一冊の新書を精読し、その内容をまとめ10分間で発表するという内容です。

9回目の実施となった今回の合宿には、11名の参加学生が3グループに分かれ、グループ毎に本の要約やプレゼンテーション資料の作成に夜遅くまで取り組んでいました。最終日にはその成果のプレゼンテーションを行い、担当教員からの講評に一喜一憂していました。

終了後に実施したアンケートでは、参加学生全員が「今後の学生生活に役立つ」と回答しており、非常に有意義な合宿だったことが窺えました。



フォトニクス研究所コロキウムを開催しました

千歳科学技術大学フォトニクス研究所では、大学院生の研究活動活性化や地域企業に向けての研究活動の情報発信を目的として定期的にコロキウム(研究討論会)を開催しています。

内容は本学の教員・大学院生の研究発表や講師を招いての講演会を行うなど平成24年度は計4回開催しました。

第1回 平成24年8月1日(水)千歳アルカディア・プラザ 「驚きと感動を与えるエプソンプロジェクター～HTPS技術のご紹介～」

セイコーエプソン・ビジュアルプロダクツ事業部 矢崎 正幸

「人間生活支援のためのロボット制御技術」

光システム学科 准教授 小田 尚樹

第2回 平成24年11月2日(金)千歳科学技術大学

「電気接点表面の損傷形状の評価手法の検討」

長谷川研究室 高橋 佳佑

「ビジョンセンサを用いた二足歩行ロボットの安定化制御に関する研究」

小田(尚)研究室 米田 淳一

「慢性腎臓病に伴うミネラル代謝異常の可視化」

木村研究室 金沢 恭介

第3回 平成24年11月30日(金)千歳アルカディア・プラザ

「地球温暖化と再生可能エネルギー」

竹中工務店 山崎 慶太

「安全保障を支える光技術」

バイオ・マテリアル学科 准教授 梅村 信弘

第4回 平成24年12月5日(水)千歳科学技術大学

「合成高分子の一次構造制御と機能発現」

東京工業大学フロンティア研究機構・JST-ERATO 河内 岳大

「量子ビームを用いたソフトマテリアルの精密解析」

山形大学大学院理工学研究科 松葉 豪

社会福祉善行表彰を受賞しました

平成25年2月16日(土)に行われた第49回千歳市社会福祉大会表彰式にて、本学がボランティア活動や事業協力等を通して、地域福祉の向上に貢献した個人団体に贈られる「社会福祉善行表彰」を受賞しました。

本学では学生会が主体となり、学内でペットボトルキャップ・リングルを回収し、定期的に千歳市社会福祉協議会様に寄付を行っております。今回この活動が評価されての受賞となりました。



学生会長 榎本さん

平成24年度教育研究社会貢献賞

授賞式 平成25年3月6日(水)

教育・研究・社会そして大学において貢献のあった教職員を対象として、教育研究社会貢献賞を授与し、その功績を讃えることを目的としています。

今年下記教員が受賞されました。

◎バイオ・マテリアル学科

オラフ・カートハウス 教授

【受賞理由】積極的に研究開発の推進及び共同研究ネットワークの構築に努め、本年度、本学が文部科学省「分子・物質合成プラットフォーム」の担当機関として採択されるにあたり、中心的な役割を担いました。本プロジェクトは学術的にも大きな意義を有し、今後の本学のさまざまな発展に寄与することと期待されています。



平成24年度学位論文テーマ

学生氏名	修士論文タイトル
随 念 徹	FDTD解析法によるシングルモード光ファイバとシリコン光導波路との結合損失に関する研究
阿部 正裕	キロメートル長MMFに対するスポットサイズ変換器接続による10Gbps伝送特性改善に関する研究
飯田 大輔	両面受光型太陽電池の発電量シミュレーション
牛嶋 優佑	義務教育での実利用のためのiPad用モバイルラーニングアプリケーションの実証開発
大森 幹也	配位子内水素結合をもつ亜鉛錯体のイミダゾール誘起フォトクロミズム
岡本 拓也	ポリアニリンハニカムフィルムの作製とアンモニアセンサーへの応用
加藤 拓也	ポリシランを用いた有機薄膜太陽電池の作製と特性の検討
金沢 恭祐	4/5腎切除慢性腎臓病モデルラットのミネラル代謝異常の可視化
斉藤 史徳	キャリア教育を想定したeポートフォリオシステムに関する研究
佐藤 佑生	二足歩行ロボットのビジョンベースの安定化制御による段差対応に関する研究
高橋 佳佑	電気接点の損傷形状評価システムの構築と電極転移・消耗現象に関する研究
武井 佑樹	小規模波長ルーティング光ネットワークに関する研究
千田 寿文	DNA-脂質複合体を用いた有機色素DFB波長可変色素レーザー
知花 優太郎	希土類酸化物 $Y_{2(1-x)}Tb_{2x}O_3$ 混晶系の光学特性
長屋 則宏	植物成長における緑色光照射効果の研究
芳賀 俊哉	キノキサリン骨格を用いた蛍光イオンセンサの開発
林 宗一郎	超短パルスレーザーを用いた胆石治療の基礎研究
藤永 紀昭	冗長マニピュレータの粒子フィルタを用いたビジュアル姿勢推定及び零空間制御
古川 翔子	希土類を添加した酸化アルミニウムの作製と蛍光性の評価
堀 亮太	$Cd_xHg_{1-x}Ga_2S_4$ の位相整合特性と $CdGa_2S_4$ のSellmeier方程式
本間 教嗣	表面増強ラマン散乱分光法(SERS)を用いた生薬の分析
森田 恭介	マルチデバイス対応の教材作成システムによる共有知形成に関する研究
築田 収	二足歩行ロボットの人間らしい歩行動作を目指したモーション制御手法に関する研究
山本 諒	SAMLシステムにおけるService Provider機能対応のためのPerl module検証
横 瀨 悟	新規な蓄電型有機薄膜太陽電池の研究
吉岡 侑相	日本語文章力養成のためのeラーニング手法に関する研究
米田 淳一	二足歩行ロボットの視覚情報に基づく上体回転運動による安定化制御

学生氏名	博士論文タイトル
清野 裕司	高分子の自己組織化現象によるメゾスコピック構造の形成方法研究 (Novel formation methods of mesoscopic structure by self-assembly and self-organization of polymer)

部活動実績

硬式テニス部

- 平成24年度全日本学生テニス選手権大会北海道地区予選北海道学生テニス
トーナメント大会
- 本戦シングルス 2回戦 伊藤
- 千歳テニス協会春季大会
- シングルス A級 優勝 小山田
- ダブルス A級 準優勝 小山田
- プリジストン杯ダブルス選手権
- A級 3位 小山田
- 平成24年度北海道学生テニス新進戦
- シングルス 4回戦 阿部
- ダブルス 3回戦 阿部・嘉屋
- 室蘭室内選手権
- ダブルス 優勝 小山田

弓道部

- 第58回全道学生弓道争覇戦(4部リーグ)
- 男子団体 優勝

YOSAKOIソーラン部

- 第21回YOSAKOIソーラン祭り
- セミファイナル 4位
- 上川中央支部大会
- 優勝
- 第14回YOSAKOIソーランチとせトーナメント
- 優勝

卓球部

- スポーツ振興基金造成大会
- 混合ダブルス 3位 茶木
- 男子ダブルス 3位 村越

- 平成24年度全道新人学生卓球選手権大会 兼 中田杯争奪納会試合
- 男子団体戦予選リーグ Aチーム2位 Bチーム3位

サッカー部

- 千歳社会人リーグ
- 2部リーグ 優勝

バドミントン部

- 第54回北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会
- 男子4部リーグ 1位

軽音楽部

- 2校合同新入生歓迎ライブ(北海道文教大学)
- 3校合同ライブ(北海道文教大学、北海道情報大学)
- 3校合同ライブ(北海道東海大学、札幌大学)

写真部

- 第31回学生写真道展
- 北海道写真協会賞 新家

都山流尺ハサークル

- 芳友会箏の調べ 参加

エコサークル

- 千歳市社会福祉協議会でのボランティア活動
- 千歳市総合福祉センターでのボランティア活動

ストリートダンスサークル

- 千歳市立富丘中学校でのダンス授業補助

本学同窓会より奨学資金の寄付をいただきました

平成25年1月28日(月)に千歳科学技術大学同窓会を代表して齊藤岳人会長が来学され、奨学資金24万円(千歳科学技術大学奨学金1名分相当)の寄付をいただきました。

目録の贈呈の後、学長と対談した齊藤会長は、「この奨学資金が学生の修学支援のお役に立てれば」と話していました。

千歳科学技術大学奨学金は、経済的な理由により修学が困難な学生に対して給付を行っており、平成24年度までに89名の学生に給付しています。



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名

平成24年12月1日から平成25年3月31日まで

(敬称略)

- ・福永 宗碧
- ・(株)カミノ
- ・菊池 俊文
- ・千歳科学技術大学同窓会

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

平成24年度 eカレッジ修了式を実施しました

平成24年度で7回目となる、千歳市内小中学生を対象としたeカレッジの修了式を3月9日(土)に千歳市総合福祉センターで実施しました。

このeカレッジ修了式は、本学のeラーニング教材を利用して、小学校3年生から中学校3年生までの科目(小学校理科・算数、中学校数学・英語・理科、小中社会)の中で児童生徒が自分で申し込んだ科目の取り組み状況(取組日数、取組時間、演習問題進捗率等)をもとに、年度末に学長名の修了証を交付するものです。また、修了証交付者の中で特によく取り組んだ児童・生徒や、学校単位でeカレッジへお申し込みいただいた「ICT活用推進協力校」の中でよく取り組んだ児童・生徒には、表彰状を授与しました。

本年度は、20名の児童・生徒に修了証、27名の児童・生徒に表彰状を授与しました。

※eカレッジとは、千歳市在住の児童生徒の基礎学力向上や家庭学習支援を目的とし、千歳市教育委員会が実施する行政サービスで、千歳科学技術大学が学習管理等の支援を行っている千歳市教育委員会との協働事業です。



平成24年度 第5回公開講座を 開催しました

平成24年度千歳科学技術大学第5回公開講座を3月30日(土)に千歳市民文化センターを会場に開催しました。今回は光システム学科の佐々木慎也教授が、「多種多様な通信システム～光通信から無線通信まで～」と題して、電波や光などの電磁波を用いた通信の仕組みや、家庭までの光ファイバシステム・国々を結ぶ海底光通信システムについて、無線通信システムの仕組みや携帯電話・スマートフォンについて、Kitaca(近距離無線通信)とVoyager(深宇宙通信)などについて、わかりやすく解説しました。

当日は千歳市内をはじめ、恵庭市、札幌市、苫小牧市などから48名の参加者の受講がありました。講座終了後にはたくさんの質問が寄せられ、盛況のうちに講座を終了いたしました。



日時:平成25年3月30日(土) 14:30～16:30

会場:千歳市民文化センター 3階視聴覚室

演題:「多種多様な通信システム～光通信から無線通信まで～」

講師:総合光科学部 光システム学科

教授 佐々木 慎也

北海道白糠高等学校、北海道津別高等学校と高大連携協定を締結しました

北海道白糠高等学校、北海道津別高等学校と高大連携協定を締結しました。今回の協定締結により、本学の高大連携校は45校となりました。

協定締結日

平成24年12月27日(木) 北海道白糠高等学校

平成25年 3月21日(木) 北海道津別高等学校



(左)北海道白糠高等学校・佐竹校長
(右)川瀬学長

(左)北海道津別高等学校・吉村校長
(右)川瀬学長

Course 就職・進学

1 dayインターンシップを実施しました

平成25年3月4日(月)から28日(木)の期間で「1 dayインターンシップ」を実施いたしました。

本取組は平成21年度より学部2年生の学生を対象に実施しており、1日もしくは半日実際に企業にお伺いし、見学及び社員の方との懇談等を通じて、勤労観や職業観を養うことを目的としております。

今年度は、昨年度から実施した札幌市内にあるIT企業を訪問するバスツアーの他に、「材料・化学・バイオ系」、「デバイス・部品系」の企業を訪問するバスツアーや異なる業種の企業を訪問するバスツアーを新たに追加し、20事業所に延べ122名の学生が参加しました。



航空自衛隊(千歳基地)



北海道曹達株式会社

学内企業研究セミナーを開催しました

平成25年2月7日(木)から15日(金)の平日6日間で、147社の企業の方にご参加いただき、本学体育館で学内企業研究セミナーを開催いたしました。2014年3月卒業の学生は、例年2月下旬に札幌で実施していた就職支援業者の合同企業説明会が、全国に足並みを揃え12月に前倒しになったこともあり、学生の就職に対する意識は例年よりも高いように感じられます。また、参加企業数も昨年を25社上回る企業の参加があり、採用実績企業を中心とし、道内外の様々な企業の説明を聞くことができる機会ということもあり、連日多数のリクルートスーツ姿の学生が企業の採用担当者やOB・OGの話に真剣に聞き入っていました。



平成24年度卒業者の進路状況

(平成25年3月31日現在)

今年度はリーマンショック後の採用抑制が底を打つとともに、東日本大震災の復興需要に伴う求人増はあったものの、引き続き厳しい就職環境に変わりはありませんでした。また、企業による「買い手市場」「厳選採用」の傾向はより一層強まりを見せておりますが、学生はこのような状況下の中でも、厳しい就職戦線を勝ち抜き、本学においてはほぼ昨年並みの結果となりました。

主な就職先

平成24年度卒業者実績 (五十音順)

○ 企業

株式会社iD、株式会社アベックスシステム、株式会社アルファシステムズ、岩崎メンテナンス・サービス株式会社、株式会社インクスエンジニアリング、株式会社イー・エル・ピー、ACJ株式会社、株式会社エジソン、株式会社エスイーシー、株式会社エス・ティ通信、株式会社エヌ・ティ・ティエムイー、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、大井電気株式会社、株式会社オーディンフーズ、長田電機工業株式会社、株式会社オプト・システム、株式会社オリエンタル工芸社、株式会社カーネルコンセプト、カゴヤ・ジャパン株式会社、有限会社北警備保障、キヤノン株式会社、株式会社協和エクシオ、株式会社クロステック、KDDI株式会社、株式会社恒栄工業、株式会社コムズ、坂口電熱株式会社、さくらインターネット株式会社、株式会社桜川ポンプ製作所、株式会社三技協イオス、三甲株式会社、株式会社シーイー・フォックス、株式会社シーテック、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、株式会社正栄プロジェクト、正和電工株式会社、株式会社常光、新興サービス株式会社、セーフティガード警備株式会社、株式会社セントラル情報センター、総合警備保障株式会社、大丸藤井株式会社、株式会社長栄通建、株式会社つうけん、株式会社つうけんアドバンスシステムズ、ドゥウェル株式会社、東京美装北海道株式会社、東芝ソリューション株式会社、株式会社とまみんアドバンス、日鋼情報システム株式会社、日興ソフトウェア株式会社、日産通信株式会社、株式会社日本コンピュータ開発、日本精機株式会社、日本アルゴリズム株式会社、有限会社ネオ・コンチネンタル・アイズ、株式会社ネクストワン、長谷川産業株式会社、日立公共システムエンジニアリング株式会社、日立コンピュータ機器株式会社、株式会社ヒップ、株式会社ヒラテ技研、株式会社VSN、株式会社フォーラムエンジニアリング、富士エン지니어リング株式会社、株式会社富士通アドバンスエンジニアリング、富士電機ITソリューション株式会社、富士古河E&C株式会社、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、株式会社弁釜、ホクダイ株式会社、株式会社ほくやく・竹山ホールディングス、北海道システム・サイエンス株式会社、北海道富士電機株式会社、北海道保証牛乳株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、ミハル通信株式会社、株式会社ミライト・テクノロジー、株式会社メイテックフィルダース、株式会社ユー・エス・イー、株式会社ラデックス、株式会社リード・レックス、リコーテクノシステムズ株式会社、株式会社電巧社ネットワークエ、三菱電機エンジニアリング株式会社、株式会社ワールド山内 他

○ 公務員

自衛隊(航空、陸上)、北海道警察

大学院進学 平成24年度卒業者実績 (五十音順)

- 千歳科学技術大学大学院
- 北海道大学大学院
- 北陸先端科学技術大学院大学

求人票数
(平成25年3月31日現在)

841件

平成24年度卒業者の
進路状況
(平成25年3月31日現在)

就職決定者 132名
就職率 93.0%
進路決定率 79.5%

※就職率=就職決定者÷就職希望者 ※進路決定率=就職決定者数÷(全卒業者数-進学決定者数)

保護者対象就職セミナーを開催しました

平成25年2月3日(日)に保護者対象就職セミナーを開催しました。本セミナーは、昨今の厳しい雇用情勢において、これからむかえる厳しい就職戦線を保護者の皆様にもご理解いただくために、就職内容に特化した内容で開催をしました。当日は2部構成の内容で、第1部は「企業が求める人材像について」本学の採用実績企業でもある、株式会社日本コンピュータ開発相談役最高顧問 高瀬拓士氏の講演をはじめ、キャリアセンター長より今年度の就職内定状況や今後の就職支援についての全体説明がありました。第2部は希望者による個別相談や各学科の内定学生による就活体験報告会が行われ、内定学生は保護者からの就活に関する数多くの質問に受け答えをしておりました。



株式会社日本コンピュータ開発
相談役最高顧問 高瀬 拓士 氏



内定学生による就活体験報告会

E ducation foundation information

法人情報

新しく赴任された先生からメッセージをいただきました



平井 悠司 専任講師

バイオ・マテリアル学科に赴任

ともに学び、ともに成長

2月よりバイオ・マテリアル学科に赴任致しました平井です。

これまでは大学の研究機関に所属していたため、材料に関する基礎的な研究を中心に行ってまいりました。本学には民間出身の先生方が多数おられ応用研究が盛んですので、積極的なコラボレーションにより基礎から応用までの一貫した研究を行っていただければと考えております。

また、年齢的に学生と近いことを活かし、自分の学生時代と照らし合わせながら、学生に寄り添った授業や研究、教育活動を行っていきたくと考えております。どうぞご支援、よろしくお願い致します。



金井 彩香 助教

基礎教育担当教員として赴任

ともに広い世界への一歩を

2月1日付で着任しました金井です。専門はイギリス文学で、本学では、おもに1、2年生の英語科目を担当します。

英語が専門でない学生の中には、英語アレルギーの学生も多くいます。しかし、やっとなんて受験英語の足かせから自由になった学生には「暗記科目」ではなく「道具」としての英語を知ってほしいと思います。そして、英語力によって広げられる自身の可能性に気づいてほしいと思います。光科学の専門家として、より広い世界とつながるために。

■教員人事

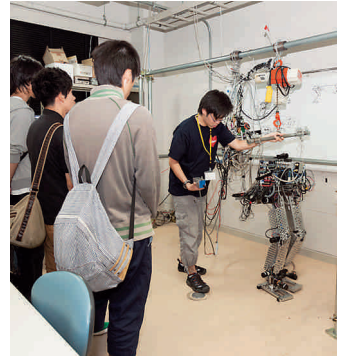
採用(平成25年2月1日) ・平井 悠司 専任講師
 ・金井 彩香 助教
 退職(平成25年3月31日) ・角田 敦 教授

Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成25年オープンキャンパス日程

平成25年のオープンキャンパスは以下の日程で開催します。

- 第1回 6月23日(日)
- 第2回 8月3日(土)・4日(日)
- 第3回 9月29日(日)
- 第4回 11月3日(日)



進学相談会

質問や不安にお答えします。お近くの会場にお越しください。お待ちしております。

開催地	会場	開催日	
北海道	旭川	旭川ターミナルホテル	4/22(月)
		ロワジュールホテル旭川	5/8(水)
		ロワジュールホテル旭川	6/17(月)
		ロワジュールホテル旭川	8/22(木)
		ロワジュールホテル旭川	8/29(木)
		ロワジュールホテル旭川	11/11(月)
	石狩	花川南コミュニティセンター	4/22(月)
	岩見沢	岩見沢コミュニティプラザ	8/22(木)
	枝幸	枝幸町中央コミュニティセンター	5/16(木)
	小樽	グランドパーク小樽	4/26(金)
		グランドパーク小樽	9/17(火)
	帯広	ホテル日航ノースランド帯広	5/9(木)
		ホテル日航ノースランド帯広	6/14(金)
		ホテル日航ノースランド帯広	8/27(火)
		ホテル日航ノースランド帯広	11/14(木)
	北見	ホテルベルクラシック北見	5/13(月)
		ホテルベルクラシック北見	6/18(火)
		ホテルベルクラシック北見	8/28(水)
		ホテルベルクラシック北見	11/12(火)
	釧路	釧路市観光国際交流センター	5/10(金)
		釧路プリンスホテル	6/13(木)
釧路市観光国際交流センター		8/26(月)	
釧路市観光国際交流センター		11/13(水)	
札幌	札幌パークホテル	4/23(火)	
	札幌ファクトリーホール	4/25(木)	
	札幌ファクトリーホール	5/12(日)	
	札幌パークホテル	5/24(金)	
	ガトーキングダム	6/7(金)	
	札幌パークホテル	6/20(木)	

開催地	会場	開催日	
北海道	札幌	ガトーキングダム	6/25(火)
		ホテルロイトン札幌	6/27(木)
		札幌ファクトリーホール	7/15(月)
		札幌パークホテル	8/23(金)
		APAホテル	11/8(金)
		札幌パークホテル	11/15(金)
	静内	ガトーキングダム	11/19(火)
		新ひだか町公民館	5/8(水)
	新札幌	シェラトンホテル札幌	5/13(月)
		シェラトンホテル札幌	6/21(金)
シェラトンホテル札幌		9/18(水)	
シェラトンホテル札幌		11/19(火)	
滝川	滝川スポーツセンター	6/19(水)	
	滝川三浦ホテル華園	8/22(木)	
苫小牧	グランドホテルニュー王子	4/25(木)	
	ホワイトパークサンシャイン	7/12(金)	
	グランドホテルニュー王子	9/10(火)	
	グランドホテルニュー王子	11/18(月)	
名寄	名寄市スポーツセンター	5/15(水)	
函館	函館国際ホテル	4/20(土)	
	ベルクラシック函館	4/23(火)	
	ベルクラシック函館	6/11(火)	
	ベルクラシック函館	9/12(木)	
深川	ベルクラシック函館	11/7(木)	
	深川総合体育館	11/15(金)	
室蘭	中嶋神社蓬莱殿	4/24(水)	
	中嶋神社蓬莱殿	9/11(水)	
紋別	ホテルオホーツクパレス	5/15(水)	
稚内	稚内海員会館	5/29(水)	

開催地	会場	開催日	
宮城県	仙台	ホテルメトロポリタン仙台	6/4(火)
新潟県	新潟	朱鷺メッセ	5/26(日)
東京都	東京	東京国際フォーラム	7/6(土)
		東京ビッグサイト	7/13(土)
山梨県	山梨	アイメッセ山梨	6/2(日)
静岡県	静岡	ツインメッセ静岡	5/26(日)
		ツインメッセ静岡	11/9(土)
愛知県	名古屋	吹上ホール	7/15(月)
大阪府	大阪	ポートメッセ名古屋	7/20(土)
		インテックス大阪	6/22(土)
福岡県	福岡	グランキューブ大阪	9/7(土)
		マリンメッセ福岡	10/19(土)



※ 開催地は随時追加されます。最新情報は大学ホームページでご確認ください。

CONTENTS

学長メッセージ・学事日程	1	就職・進学	5
イベント	2	入試情報・オープンキャンパス	6
大学間連携・高大連携・地域連携	2	財務情報	7
教育・研究	4	法人情報	8

Volume 31

千歳科学技術大学報

平成25年7月31日



CIST News

発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■Eメール <http://go.chitose.ac.jp>

千歳科学技術大学学報・学長メッセージ



千歳科学技術大学 学長
川瀬 正明

「秘訣」

辞書を引くと「とっておきの手段、もっとも効果的であるが人には知られていない方法」と書かれています。

ある女性の脳科学者が自分の子供を教育するに当たって、過去の天才と言われる人物の特徴を調査し、天才になるためのルールを探した、と言う本を読んだことがあります。いろいろな特徴がデータとして得られましたが、最後まで共通項として残ったのはきわめて基本的なこと、「早寝、早起き、朝ご飯、読書」だったと言います。

また、ある長寿の部族にその秘訣を探るために出かけた調査隊のレポートは「早寝、早起き、腹八分目」だった、と言う話もあります。

いずれもだれでも知っている「良いこと」で「人に知られていない」方法ではありません。

『人生には、難しそうに思えることがたくさんある。だが、その大半は簡単なことの積み重ねでできる(本多時生)』 ということばがあるように、英会話にしてもダイエットにしても「誰も知らない秘訣」を追い求めるより、あたり前のことをしっかりと継続する、その習慣こそが成功するための「秘訣」と言えるでしょう。

あれこれ「楽な方法」を追い求めるより、愚直にあたり前のことをしっかりと継続する、学生であれば予習復習をしっかりと、講義をまじめに聞く、それが「成功の秘訣」に違いありません。

学事日程

- 4月**
- 入学式 オリエンテーション(1年生)
 - ガイダンス(2~4年生)
 - 春学期開講
 - 定期健康診断
 - 受講科目履修登録

- 6月**
- 開校記念日(6日)
 - 第1回オープンキャンパス

- 7月**
- 論議発表(4年生)
 - 春学期定期試験
 - 春学期授業終了
 - 千歳光科学国際フォーラム

- 8月**
- 夏季休業
 - インターシップ
 - 第2回オープンキャンパス

- 9月**
- 光の記念日(19日)
 - 秋学期開講
 - 後援祭
 - 第3回オープンキャンパス

- 10月**
- 成績通知(春学期分)
 - 佐々木記念賞授与式
 - 父母懇談会

- 11月**
- 第4回オープンキャンパス

- 12月**
- 冬季休業

- 1月**
- 卒業論文提出(4年生)
 - 秋学期授業終了
 - 秋学期定期試験

- 2月**
- 卒業論文最終発表(4年生)
 - 春季休業
 - 学内企業研究セミナー

- 3月**
- 成績通知(秋学期分)
 - 学位記授与式

Event イベント

平成25年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙りました



平成25年4月6日(土)、本学講堂において多くのご来賓・ご父母のご臨席を賜り、平成25年度千歳科学技術大学・大学院入学式が挙られ、学部生191名、大学院生21名、計212名が新たな一歩を踏み出しました。

式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して総合光科学部1年生の竹原友里恵さんによる宣誓が行われました。また、小谷津孝明理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

終わりに全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

1年生交流会を実施しました

平成25年4月3日(水)に1年生交流会が実施されました。この交流会は1年生がグループワーク等を通じて交流することによる友達づくりや、早く学生生活に慣れてもらえるよう、さらにクラスアドバイザー(教員)も参加することにより、気軽に相談できる関係づくりの機会となるよう、毎年実施しております。開催内容はオリエンテーション、グループワーク(工作とコンテスト)、クラブ・サークル紹介で、グループワークでは、今年度のテーマである「風力発電」について共同で工作作業を行い、その成果を競いあいました。初対面の新入生同士が工作作業を通じて話すきっかけができ、終了時にはかなり盛り上がるなど、大変有意義な会となりました。



同窓会総会を開催しました

平成25年5月25日(土)に平成25年度同窓会総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告、収支決算が報告され、さらに今年度の事業計画や予算を審議しました。その中で、特に今後の同窓会活動の更なる充実に向けて活発な意見交換がなされました。

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

北海道壮警高等学校、函館大学付属有斗高等学校と高大連携協定を締結しました



北海道壮警高等学校・谷坂校長(左)川瀬学長(右)



函館大学付属有斗高等学校・宮岡校長(左)川瀬学長(右)

北海道壮警高等学校(谷坂常年校長)、函館大学付属有斗高等学校(宮岡秀昌校長)と高大連携協定を締結しました。

今回の両校との締結により、高大連携校は47校となりました。

協定締結日

平成25年4月18日(木) 北海道壮警高等学校

平成25年4月19日(金) 函館大学付属有斗高等学校

本学が平成25年度情報通信月間北海道総合通信局長表彰を受けました

平成25年6月3日に平成25年度「電波の日・情報通信月間」記念式典が総務省及び各地方総合通信局において挙られ、北海道の記念式典において本学が「北海道総合通信局長表彰」を受けました。受賞は、地域ICT利活用広域連携事業において、夕張市、千歳市及び栗山町と連携し、デジタル教材やeラーニングシステムを提供するとともに、運営支援を行うなど、教育分野におけるICT利活用の推進に貢献したことが認められたものです。当日は、川瀬正明学長が出席し、北海道総合通信局杉浦誠局長から表彰状を授与されました。

本学の当該表彰の受賞は、平成15年度に続き2度目となりました。



平成25年度 「第1回高大連携研究会」を開催しました

今年度第1回目となる高大連携研究会を5月11日(土)に本学で開催しました。

今回の研究会では、午前は本学からの今年度の高大連携事業についての説明、各学科紹介および各学科で行われる高大連携プロジェクトの説明を行いました。

午後は、各連携校からeラーニング活用事例、計画の報告をいただき、その後の分科会ではeラーニング学習管理システムの講習会と「光ファイバ通信実験」の体験プログラムを行いました。

研究会には、本学の連携校ならびに連携を検討している道内高等学校33校より40名の教員の参加がありました。

当日の研究会の詳細は下記のとおりです。

千歳科学技術大学 平成25年度第1回高大連携研究会

■ 日時/平成25年5月11日(土)11:00~

■ 会場/千歳科学技術大学本部棟、10周年記念棟、研究実験棟

11:00~11:05 開会挨拶

千歳科学技術大学 学長 川瀬 正明

11:05~11:20 今年度の高大連携事業概要について

総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 准教授 今井 順一

11:20~11:50 3学科紹介、「高大連携プロジェクト2013」の実施について

- 光システム学科紹介、光サイエンスプロジェクト
総合光科学部光システム学科長 山中 明生
- グローバルシステムデザイン学科紹介、情報プロジェクト
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科長 吉田 淳一
- バイオ・マテリアル学科紹介、自然科学プロジェクト
総合光科学部バイオ・マテリアル学科長 Olaf Karthaus

11:50~12:05 高大連携事業に関わる募集方法等について

教育連携推進課長 大西 哲也

13:00~14:45 各連携校 eラーニングシステム利用状況報告

- 平成24年度 eラーニング利用状況報告
- 平成25年度 eラーニング利用計画報告

15:00~17:00 分科会

- eラーニング・学習管理システム活用講習会
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 講師 石田 雪也
- 「光ファイバ通信実験」体験プログラム
総合光科学部光システム学科長 山中 明生

17:00 閉会



eカレッジ講習会を実施しました

平成25年6月23日(日)、本学において平成25年度eカレッジ講習会を開催しました。

eカレッジは千歳市教育委員会主催のもと本学が連携協力し、市内の小中学生から希望者を募り、eラーニングシステムを学習に役立ててもらうことにより、基礎学力向上を図る家庭学習支援事業です。

eラーニングシステムは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができるシステムであり、今回の講

習会は本学総合光科学部グローバルシステムデザイン学科の石田雪也講師がeラーニングシステムの基本的な使い方を説明しました。本講習会は、初めてeラーニングシステムを利用される方にもスムーズにご利用いただくために毎年開催しております。



平成25年度第1回公開講座開催



平成25年6月1日(土)、千歳市民文化センターにおいて今年度第1回目となる公開講座を開催しました。

今回の公開講座では本学グローバルシステムデザイン学科の小松川浩教授と千歳市立勇舞中学校の大西智彦教諭の2名の講師が「ICTを活用した未来の学び~千歳市内の中学校での最先端の取組を交えて~」と題して講演を行いました。

講演では教育の情報化(ICT活用)を取り巻く国の動き、千歳市や夕張市・栗山町・初山別村・遠別町などでの展開事例、ICT活用の成果や利用生徒の声、千歳市立勇舞中学校での活用状況などについての解説やご紹介を行うとともに、電子黒板・書画カメラを用いた模擬授業、火山に関する実験、タブレットを用いた復習・演習問題の体験などが行われました。

当日は千歳市内をはじめ、恵庭市、札幌市、長沼町、東京都などから42名の参加者の受講がありました。講座終了後にはたくさんの質問が寄せられ、盛況のうちに講座を終了いたしました。

日時 平成25年6月1日(土)14:30~16:30

会場 千歳市民文化センター 3階 視聴覚室

演題 「ICTを活用した未来の学び~千歳市内の中学校での最先端の取組を交えて~」

講師 千歳科学技術大学 総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 教授 小松川 浩
千歳市立勇舞中学校 教諭 大西 智彦

平成25年度第2回公開講座開催



平成25年7月20日(土)、千歳市民文化センターにおいて今年度第2回目となる公開講座を開催しました。今回の公開講座では本学安田 富久一 教授が「中国四千年との遭遇 ~これであなたも中国通~」と題して講演を行いました。

講演では、21年前に訪中した際の経験や、その頃の中国と今の中国について、クイズを交えた中国の歴史・文化・言葉などの紹介、本学の中国人留学生による中国観光紹介や日本と中国で意味の違う漢字などについての発表などが行われました。当日は千歳市内をはじめ、恵庭市、室蘭市などから54名の方々に受講いただき、講座終了後にはたくさんの質問が寄せられ、盛況のうちに講座を終了いたしました。詳細は以下の通りです。

日時 平成25年7月20日(土)14:30~16:30

会場 千歳市民文化センター 3階 視聴覚室

演題 「中国四千年との遭遇 ~これであなたも中国通~」

講師 千歳科学技術大学 総合光科学部 教授 安田 富久一

Research and Education 教育・研究

YOSAKOIソーラン部がYOSAKOIソーランちとせトーナメントで優勝しました

本学YOSAKOIソーラン部「光一天」が平成25年7月13日～14日に開催された「第15回YOSAKOIソーランちとせトーナメント」で昨年に続き優勝しました。「光一天」はこれ以外にも、6月5日～9日に開催された「第22回YOSAKOIソーラン祭り」において「一次審査員賞」を受賞しております。

本学YOSAKOIソーラン部は旭川のチーム「遊～すさび～」と合同で活動しており、合同チーム「遊～すさび～&光一天」として出場しました。

今後も様々なイベントに参加予定であり、一層の活躍を期待しています。



本学大学院生が (財)慶応工学会奨学生に採用されました

本学大学院光科学研究科の福澤広大さん(博士前期課程2年)が、平成25年度一般財団法人慶応工学会奨学生に採用され、7月15日(月)に給付奨学金授与証書が授与されました。この奨学金制度は、全国の理工系大学院生を対象に募集され、採用されると年額36万円(1年間)支給されます。



整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名

平成25年4月1日から平成25年7月31日まで (敬称略)

・菊池 俊文 ・嘉藤 理江子 ・及川 茂子 ・畠山 淑子
・福永 宗碧 ・落合 美和子 ・村松 弥須子

千歳科学技術大学 オープンセミナー2013を開催しました

平成25年5月23日から7月11日までの期間、千歳科学技術大学B203講義室(コンピュータ教室)において、グローバルシステムデザイン学科 三谷 正信 教授が「創ろう、使おう、モバイルアプリ」をテーマにモバイル用アプリケーションの作成と、「情報とデザイン」について学ぶオープンセミナーを6回開催しました。セミナーには中学生から60歳代までの一般の方17名と学生18名、計35名が参加し、住所録、電話帳、日記などのiPhone, iPad, iPad mini用のアプリケーションを作成しました。



写真部が「北新商店街新聞」 作成のお手伝いをしました



本年4月、千歳市内の北新商店街振興組合が発行した「北新商店街新聞」の作成にあたり、本学写真部(藤田 圭一 部長)が協力しました。写真部は北新地域の商店街取材し、新聞の原稿作成、写真撮影、記事の割り振りなど、全般にわたりお手伝いをしました。写真部は今後も北新商店街新聞の作成に携わり、地域に根ざした活動を行ないます。



福永宗碧先生から 奨学資金の寄附をいただきました

平成25年7月17日、福永宗碧先生(表千家茶道教授)と社中の皆様より奨学資金としてご寄附をいただきました。福永先生は、本学の文芸部(茶道)の指導をいただくとともに、毎年ご寄附をいただき、本年で9回目となります。本学の奨学金制度は、福永先生をはじめ、多くの方々のご寄附により、平成18年度に創設し、運営されております。千歳科学技術大学奨学金は、経済的な理由により修学が困難な優れた学生に対して給付を行っており、平成24年度までに89名の学生に給付を行ってきました。



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境

第14回千歳光科学 国際フォーラム(CIF'14)を開催しました



本年で第14回目を迎える千歳光科学国際フォーラムは「Laser - From Science to Applications」をテーマとして三つのセッション、そして特別講演として元文部科学省宇宙開発委員会委員長の池上徹彦氏を招聘し、7月8日、9日にそれぞれ開催されました。

三つのセッションでは国外から3名、国内から9名の研究者を招聘し、それぞれの研究分野において活発な意見交換が行われました。

特別講演会では「宇宙はたのしい！ - 宇宙の時間と地球の時間 -」のタイトルで池上徹彦氏に日本や世界の宇宙開発の現状から地球の文明の移り変わりまで幅広くスケールの大きな内容で講演して頂き、約300名の方々が熱心に耳を傾けていました。

8日にはポスターセッションが開催され、本学の学部生、大学院生や北海道大学、和歌山大学の研究者らが自身の研究について熱心に発表し、国外からの研究者とも活発に意見交換を行っていました。

Course 就職・進学

キャリア形成プログラム(就職支援体制)

本学では、学生のキャリアアップを支援するため、「キャリア形成プログラム」を開講しています。1・2年次は、今後の学生生活を目的・目標を持って過ごすことができるよう、将来の進路について考える講座などを、3年次は外部講師やOB・OGなどを招き、自己分析や業界研究などを含め、企業が求める「社会人基礎力」を身に付けられる講座を開講しています。また、低年次から将来の進路を強く意識してもらうために、今年度から1・2年次は正課の授業とし、高い出席率を目指しています。

今年度は以下のカリキュラムで学生のキャリア支援を行っています。

学部1年	
春学期	・大学生生活の過ごし方 ・人間力育成講座 ・グループディスカッション など
秋学期	・企業によるガイダンス ・学科選択に向けたガイダンス ・内定した学生による就活体験談 など

学部2年	
春学期	・アカデミックスキル養成講座(経営と会計) ・コミュニケーションスキルアップ講座 ・R-CAP(自己発見・職業適性検査)受検・ガイダンス など
秋学期	・各種スキルアップ講座 (日本語力、英語力、プレゼンテーション能力 など) ・1dayインターンシップ、企業見学ツアー実施 など

学部3年 / 博士前期1年		
春学期	4月	・オリエンテーション ・筆記試験対策講座
	5月	・領域グループワーク ・企業人事担当者からのガイダンス ・新聞の活用講座
	6月	・インターンシップガイダンス ・R-CAP(自己発見・職業適性検査)解説・活用セミナー(～7月) ・就職活動マナー講座(～7月)
	8月	・インターンシップ実施
秋学期	9月	・進路調査票提出 ・履歴書・エントリーシートの書き方 ・筆記試験対策講座(～11月)
	10月	・履歴書対策 ・インターンシップ事後研修 ・企業人事担当者からのガイダンス
	11月	・面接トレーニング(～12月) ・OB・OG対話
	12月	・就職活動サイトの利用方法について
	1月	・モチベーションアップガイダンス ・進路決定に向けてのガイダンス ・学校推薦説明会
	2月	・学内企業研究セミナー ・就職希望調査提出
	3月	・個人面談 ・学校推薦者決定

学部4年 / 博士前期2年	
4月	・学生への個別対応(内定までのサポート)

インターンシップ

夏期休業期間を利用し実施するインターンシップは、学部3年生が12月から始まる就職活動に備え、勤労観や職業観を養うことを目的とし、企業等の現場を直接体験できる貴重な機会です。

本学では第1期生より実施しており、平成15年度からキャリア教育を強化すべく、インターンシップを単位化しております。キャリアセンターでは学生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをよりいっそう強化しています。

今年度は、66事業所に130名の学生を派遣し、学生の参加率は約60%と高い参加率となっております。

主な派遣先

道内・千歳市内

- 株式会社カミノ
- 千歳市農業委員会事務局管理課
- キリンビール株式会社北海道千歳工場
- 千歳市立図書館
- 社会福祉法人千歳市社会福祉協議会
- 千歳市内小学校(4校)
- 株式会社ダイナックス
- 千歳市内中学校(1校)
- 株式会社ダイヘン千歳工場
- 一般社団法人日本血液製剤機構千歳工場
- 株式会社ダスキンプロダクト北海道
- プリーズペイオペレーション株式会社ホテルグランテラス千歳
- 千歳印刷株式会社
- 千歳科学技術大学
- 北海道日興電気通信株式会社
- 千歳市教育委員会教育部生涯学習課
- 千歳市民環境部環境課
- 陸上自衛隊第11普通科連隊 他
- 千歳市総務部防災学習交流施設

道内・その他

- 株式会社エスイーシー
- 東芝ホクト電子株式会社
- 株式会社I・TECソリューションズ
- ナラサキスタックス株式会社
- 株式会社協和エクスシオ北海道支店
- ニッテツ北海道制御システム株式会社
- 株式会社GSI
- 株式会社北海道産直センター
- 株式会社札幌ネクシス
- 北海道システム・サイエンス株式会社
- サッポロビール株式会社北海道工場
- 北海道立正学園旭川実業高等学校
- 株式会社ジースタイル
- 室蘭まちづくり放送株式会社
- 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア
- 株式会社モロオ
- 社会福祉法人北海道リハビリー
- 陸上自衛隊真駒内駐屯地
- 株式会社つうけん
- 理研興業株式会社 他

道外

- 株式会社三技協イオス
- 株式会社ハイマックス
- 株式会社湘南光学工業所
- 富士アイティ株式会社
- 株式会社ニッセイコム
- 富士電機機器制御株式会社吹上事業所
- 日本アルゴリズム株式会社
- 株式会社フジキン
- 株式会社日本コンピュータ開発
- 株式会社芙蓉ビデオエージェンシー
- ネットスエアイ東洋株式会社
- 株式会社リード・レックス 他

Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成26年度 入試概要

入試タイプ	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験(面接)会場	備考	募集定員
特別推薦入試 (指定校推薦)	11月 1日(金)～ 11月 8日(金)	11月23日(土)	12月2日(月)	第1次・第2次とも 12月25日(水)	本学	———	85名
併願入試	10月22日(火)～ 10月28日(月)	11月 2日(土)	11月 7日(木)	第1次・第2次とも 12月25日(水)	本学	———	15名
公募推薦入試	12月 9日(月)～ 12月18日(水)	12月25日(水)	12月27日(金)	第1次・第2次とも 1月28日(火)	本学	———	5名
一般学力入試	I期 1月 7日(火)～ 1月28日(火)	2月 5日(水)	2月14日(金)	第1次 3月 5日(水) 第2次 3月28日(金)	本学・旭川・函館 釧路・仙台	———	65名 ■ I期:50名 ■ II期:12名 ■ III期: 3名
	II期 2月17日(月)～ 2月27日(木)	3月 4日(火)	3月10日(月)	第1次 3月17日(月) 第2次 3月28日(金)	本学		
	III期 3月11日(火)～ 3月19日(水)	3月25日(火)	3月27日(木)	第1次・第2次とも 3月31日(月)			
センター試験 利用入試	前期 1月 7日(火)～ 2月 4日(火)	———	2月14日(金)	第1次 3月 5日(水) 第2次 3月28日(金)	———	———	40名 ■前期:30名 ■後期:10名
	後期 2月17日(月)～ 3月11日(火)	———	3月17日(月)	第1次・第2次とも 3月28日(金)			
AO入試	A型 第1クール 第5クール 11月1日(金) } 2月14日(金)	(面接日) 11月23日(土) 12月25日(水) 1月25日(土) 2月22日(土) *3月 4日(火) *B型のみ	12月 2日(月) 12月27日(金) 1月27日(月) 2月24日(月) *3月 6日(木) *B型のみ	第1次・第2次とも 12月25日(水) 1月28日(火) 2月12日(水) 3月12日(水) *3月20日(木) *B型のみ	本学	エントリー期間 A型 8月19日(月)～1月16日(木) B型 8月23日(金)～1月23日(木) (毎週木曜日締切) C型 7月8日(月)～7月24日(水) *詳しくは「AO入試ガイド」を ご参照ください。	30名 ■A型 ■B型 ■C型
	B型 第1クール 第20クール 11月1日(金) } 2月27日(木)						
	C型 11月1日(金) } 11月8日(金)	(面接日) 11月23日(土)	12月 2日(月)	第1次・第2次とも 12月25日(水)			

※出願に際しましては学生募集要項で必ずご確認ください。

特別推薦入試助成制度

特別推薦入試にて入学された方を対象に授業料の一部免除、通学費・家賃の一部助成を行います。
なお、これらの優遇制度につきましては、いずれか一つを選択することになります。

	学部1年	金額	備考
特別推薦優遇制度	特別推薦入学生すべてが対象になります	授業料の一部減免 *入学金相当180,000円	第1学年秋学期納付金に ついてのみ
通学助成制度	特別推薦入学生のうち、千歳市以外から公共交通機関を利用して通学 する方で、千歳市優遇制度または特別推薦優遇制度・家賃助成制度の 適用を受けていない方	年額45,000円×4年=180,000円	最大4年間
家賃(賃貸住宅)助成制度	特別推薦入学生のうち、千歳市内の賃貸住宅を利用する方で千歳市 優遇制度または特別推薦優遇制度・通学助成制度の適用を受けて いない方	月額15,000円×12ヶ月×4年間 =720,000円	最大4年間

平成25年度 第1回オープンキャンパスを開催

平成25年第1回目となるオープンキャンパスを6月23日(日)に開催しました。当日は79名に参加いただき、大学説明、学生との交流会、研究室見学ツアー等のプログラムを用意し、参加者は教員・学生と交流し、また実際に研究室を見学し目を輝かせながら、大学の研究の一端に触れていました。

オープンキャンパスは今後以下の日程で開催いたします。また、道内各地より無料シャトルバスを運行いたしますので、お友達、ご家族お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

■ 第3回 9月29日(日) ■ 第4回 11月3日(日)



Financial statements 財務情報

貸借対照表 ※平成25年3月31日現在

資産の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,758,663	9,986,996	△ 228,333
有形固定資産	6,142,444	6,460,414	△ 317,970
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	2,264,523	2,428,037	△ 163,514
その他の有形固定資産	882,905	1,037,361	△ 154,456
その他の国定資産	3,616,219	3,526,582	89,637
流動資産	1,332,381	1,333,454	△ 1,073
現金預金	1,286,355	1,259,445	26,910
その他の流動資産	46,026	74,009	△ 27,983
合計	11,091,044	11,320,450	△ 229,406

負債の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	115,758	109,370	6,388
流動負債	309,890	428,981	△ 119,091
合計	425,648	538,351	△ 112,703

消費収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

当該会計年度の学生納付金等の「帰属収入」から、当該会計年度における「基本金に組入れる額」を控除した消費収入と人件費・教育研究費等の「消費支出」との均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

消費収入の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,304,679	1,303,369	1,310
手数料	10,835	11,321	△ 486
寄付金	3,000	19,527	△ 16,527
補助金	243,302	268,896	△ 25,594
国庫補助金	242,915	268,515	△ 25,600
地方公共団体補助金	87	81	6
資産運用収入	41,468	39,664	1,804
事業収入	96,720	82,719	14,001
雑収入	5,544	7,636	△ 2,092
帰属収入合計	1,705,548	1,733,132	△ 27,584
基本金組入額合計	△ 88,941	△ 24,786	△ 64,155
消費収入の部合計	1,616,607	1,708,346	△ 91,739

消費支出の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費	717,567	692,306	25,261
教育研究経費	968,671	891,700	76,971
(内減価償却費)	381,719	357,058	24,661
管理経費	232,837	224,563	8,274
(内減価償却費)	24,758	23,270	1,488
予備費	(3,000)		
	2,000		2,000
資産処分差額	0	37,218	△ 37,218
徴収不能引当金繰入額	0	4,049	△ 4,049
消費支出の部合計	1,921,075	1,849,836	71,239

帰属収支差額	△ 215,527	△ 116,704	△ 98,823
帰属収支差額比率	△ 12.6	△ 6.7	△ 5.9
当年度消費支出超過額	304,468	141,490	
前年度繰越消費収入超過額	784,051	784,051	
基本金取崩額	0	149,759	
翌年度繰越消費支出超過額	1,088,519	775,782	

基本金の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	11,319,386	11,469,145	△ 149,759
第4号基本金	121,792	97,005	24,787
基本金の部合計	11,441,178	11,566,150	△ 124,972

消費収支差額の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 775,782	△ 784,051	8,269

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
合計	11,091,044	11,320,450	△ 229,406

資金収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応する全ての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

資金収入の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,304,679	1,303,369	1,310
手数料収入	10,835	11,321	△ 486
寄付金収入	3,000	7,895	△ 4,895
補助金収入	243,302	268,896	△ 25,594
国庫補助金収入	242,915	268,515	△ 25,600
地方公共団体補助金収入	87	81	6
資産運用収入	41,468	39,664	1,804
事業収入	96,720	82,719	14,001
雑収入	5,544	7,636	△ 2,092
前受金収入	205,655	181,289	24,366
その他の収入	344,599	1,430,935	△ 1,086,336
資金収入調整勘定	△ 197,746	△ 243,380	45,634
当期資金収入合計	2,058,056	3,090,344	△ 1,032,288
前年度繰越支払資金	1,259,445	1,259,445	
収入の部合計	3,317,501	4,349,789	△ 1,032,288

資金支出の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	713,298	690,853	22,445
教育研究経費支出	586,952	534,642	52,310
管理経費支出	208,079	198,916	9,163
施設関係支出	4,229	4,934	△ 705
設備関係支出	99,812	84,366	15,446
資産運用支出	106,866	1,141,456	△ 1,034,590
その他の支出	470,224	497,581	△ 27,357
予備費	(3,000)		
	7,000		7,000
資金支出調整勘定	△ 96,093	△ 89,314	△ 6,779
当期資金支出合計	2,100,367	3,063,434	△ 963,067
次年度繰越支払資金	1,217,134	1,286,355	△ 69,221
支出の部合計	3,317,501	4,349,789	△ 1,032,288

法人情報

※平成25年7月1日現在

理事長

氏名	職名
小谷津 孝明	(学)千歳科学技術大学 理事長

理事

氏名	職名
石田 宏司	千歳科学技術大学 名誉教授
市川 昭司	京浜急行電鉄(株) 顧問
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 総合光科学部長
小糸 彰	KIホールディングス(株) 相談役
斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事
橘 滋夫	(株)日立製作所 北海道支社長
山口 幸太郎	千歳市長
山林 由明	千歳科学技術大学 光科学研究科長

監事

氏名	職名
新谷 俊一	元千歳市代表監査委員
檜森 聖一	(株)北海道二十一世紀総合研究所 代表取締役社長

■教員人事

採用(平成25年 4月1日) ・安田 富久一 教授
 (平成25年 4月1日) ・山川 広人 助教
 (平成25年 7月1日) ・青木 広宙 准教授

評議員

氏名	職名
赤羽 正雄	信州大学 国際交流センター 教授
石田 宏司	千歳科学技術大学 名誉教授
打越 カンナ	(株)NTTデータMSE
小谷 泰久	一般財団法人 光産業技術振興協会 専務理事
オラフカートハウス	千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科長
金澤 広司	伊達観光開発(株) 代表取締役
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 総合光科学部長
佐々木 勝利	(財)千歳福祉サービス公社 理事長
渋谷 隆夫	(株)ダイナックス 常務取締役開発本部長
菅原 敏	(学)千歳科学技術大学 専務理事
杉岡 正三	北海道ガス(株) 取締役 常務執行役員
高橋 正和	千歳市総務部税務課
長谷川 豊	千歳商工会議所 専務理事
増子 洋行	(有)マスコシステムズ 代表取締役
溝口 健二	セイコーエプソン(株) 人事部
三ツ野 仁	(株)共立鉄工所 代表取締役
三野 耕一	東日本電信電話(株) 理事 北海道支店長
山口 義人	(学)活水学院 理事長
山田 範保	北海道電力(株) 顧問
山中 明生	千歳科学技術大学 光システム学科長
山林 由明	千歳科学技術大学 光科学研究科長
吉田 淳一	千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科長

(五十音順)

新しく赴任された先生からメッセージをいただきました

基礎教育担当教員として赴任



社会貢献を果たす
人材としての成長を願う

安田 富久一 教授

4月から基礎教育担当教員として赴任した安田です。1年生の数学の講義と演習を担当しています。数学は全ての科学に必要な基礎的道具として、4年間の学究生活の土台になる基礎教育科目です。また、卒業後及び就活時に欠かせないスキルである、人の話や書物を論理的に読み、理解し、自分が考えを正しく的確に表現し、伝える基本練習をすること、このことも数学教育の大きな役目です。将来社会に有為な人材として活躍してくれることを期待し、講義・演習を行っています。

光システム学科に赴任



社会貢献につながる
ような研究活動を
学生とともに

青木 広宙 准教授

7月1日付けで、光システム学科に着任いたしました青木です。これまでは、大学で、光を利用した人体形状計測、生体信号計測、ロボティクスに関する研究に従事して参りました。

本学のキャッチフレーズである「Best Care, Best Success」に則り、学生の成長に主眼を置いた教育研究活動に取り組んでいく所存です。大学の自由度を活かし、新規性・進歩性に富み、更には社会貢献につながるような研究テーマを設定し、学生の皆さんとともに取り組むことで、学生の皆さんの成長を促すことができたらと思っています。どうぞ、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

基礎教育担当教員として赴任



学生の夢や将来への
助力を目指して

山川 広人 助教

4月から着任しました山川です。私は千歳科学技術大学に2期生として入学し、卒業後はeラーニングやポータルサイトをはじめとする本学の情報システムの開発・運用に職員として従事してきました。今後は研究者として、より有用なサービスの提供を目指した情報システムの研究開発に取り組みたいと考えております。また、自身のこれまでを振り返りますと、学びたいことや興味のあることに挑戦する際、本学のたくさんの先生・仲間達からご助力をいただけてきました。今度は私が、夢や将来へ挑戦する学生の皆さんの助力となれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

CONTENTS

第15回稜輝祭(大学祭)開催 ……	1	大学間連携・高大連携・地域連携 …	5
イベント ……	2	入試情報・オープンキャンパス ……	8
教育・研究 ……	2	法人情報 ……	8
就職・進学 ……	4		

Volume 32

千歳科学技術大学報

平成25年11月30日



CIST News



発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

第15回稜輝祭(大学祭)を開催しました

9月22日(日)、稜輝祭実行委員会主催による第15回稜輝祭(大学祭)を開催しました。幸い天候にも恵まれ、来場者数は昨年度を上回る約900名を数えました。

今年は、新しいことに挑戦し、いままでとは違う稜輝祭を目指すという意味を込め、「新輝一転」というテーマが掲げられました。各部・サークルや研究室による模擬店、学生団体によるイベントをはじめ、縁日、移動動物園や大画面を使用したゲーム大会など、お子さま向けのイベントもあり、ご家族で楽しんでいる姿が多く見られました。

また、「サンモジ」さん「キングオブコメディ」さんによるお笑いライブにより会場の熱気は最高潮に達しました。

さらに昨年に引き続き、航空研究会企画による「航空自衛隊第2航空団座談会」、公開講座なども開催され、平成25年度の稜輝祭は盛況のうちに閉会を迎えました。



E vent イベント

平成25年度父母懇談会を開催しました

10月19日(土)、本学において平成25年度父母懇談会が開催され、170名の皆様にご参加いただきました。

午前11時から大会議室で「全体説明会」が実施され、成績表の見方、学生生活で注意すべき点、また、就職活動に対する心構えなど、各担当教員より説明があり、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。

午後からは、「学習・生活個別相談」と「就職セミナー(企業担当者による講演、就職個別相談、内定学生による就活体験報告会)」が同時に開催されました。

個別相談では、学生一人ひとりの成績や大学生活の様子、就職状況など参加者の皆様が日頃疑問や不安に思っていることについて、担当教職員が回答いたしました。

また、就職セミナーでは、三菱電機ビルテクノサービス株式会社 人事部 参与 採用部長の二馬康昌氏による講演や内定学生から就職活動について生の声が聞けるといこうことで、多くの方が参加されました。

アンケート結果においても「大変有意義な時間だった」「多様な形でアプローチ頂き感謝しております」などのご意見をいただき、参加された皆様にご満足いただけたようです。

本学としては、今後もご父母の方々に安心していただけるよう、支援体制のより一層の充実を図っていきます。



個別相談の様子



二馬氏による講演

R esearch and E ducation 教育・研究

KAGACによる「教員免許状更新講習」を実施しました

本学では、平成21年4月から教員免許状更新制が導入されたことに伴い、金沢大学・東京学芸大学・愛知教育大学と連携し、「eラーニング教員免許状更新講習推進機構(KAGAC)」を設立し、各大学の強みを活かした多様で質の高い講習プログラムをeラーニングで提供する教員免許状更新講習を開講しており、今年度で5年目となります。

今年度の更新講習には、全国から2,237名の方が受講されました。

なお、修了認定試験は、北海道(札幌市・旭川市・帯広市)、東京都(小金井市)、愛知県(刈谷市)、石川県(金沢市)、兵庫県(西宮市)の7会場で平成25年8月24日(土)に実施しました。

第15回佐々木記念賞受賞式を実施しました

10月3日(木)に第15回佐々木記念賞の受賞式を行い、4名と1団体に表彰状と副賞の贈呈を行いました。

奨励賞

学部2・3年生の学業成績優秀者に贈呈

- 平井郁乃さん(バイオ・マテリアル学科3年)
- 越智大貴さん(光システム学科3年)
- 石郷岡芳さん(グローバルシステムデザイン学科3年)

貢献賞

クラブ活動や学外活動において功績があった者に贈呈

- 理工工房

学術賞

大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

- 伊藤哲平さん(光科学研究科博士前期課程1年)



左から越智さん、石郷岡さん、川瀬学長、大川さん(理工工房)、伊藤さん

奨学生認定証授与式が行われました

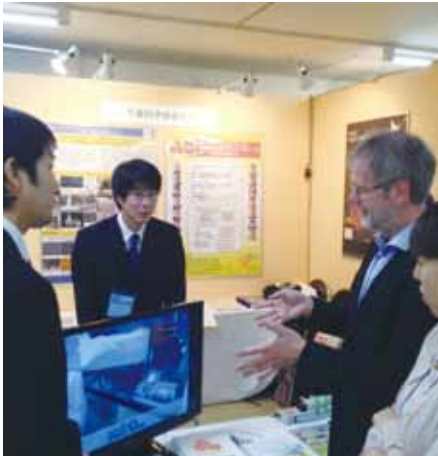
11月7日(木)に平成25年度千歳科学技術大学奨学生認定証授与式が行われました。

この制度は、経済的に修学が困難な学生に対して本学が奨学金を給付する制度で、今年度は11名の学生が奨学生として採用されました。この奨学金制度は年額24万円(1年間)支給されます。

第27回ビジネスEXPOに出展しました

11月7日(木)、8

日(金)の2日間にわたり、札幌市白石区のアクセスサポロで「第27回ビジネスEXPO」が開催されました。これは北海道の企業または研究所・大学等の機関が持つ技術・商品を全道や全国に発信していく道内最大級の展示イベントで、本学



は特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)などの関係機関とともに、研究開発を実施している新技术・新製品について毎年出展しています。

今回出展している研究開発は、大学が保有する最先端の技術を利用できる「ナノテクノロジープラットフォーム事業」、小林壮一教授が研究している医療・計測分野等に利用される「特殊光ファイバ」、李黎明教授が研究している早期胃癌患者の手術後の負担を軽減する「新たな胃癌診断システム」の3事業です。

来場者からは、「自社製品の品質改善につながる」、「通信以外に利用できる光ファイバの相談先が見つかり新事業の展開ができる」、「新たな胃癌診断システムはいつから医療機関で使われ始めるのか」などの声が聞かれ、研究開発の評判は上々でした。

奨学金及び教育研究資金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育研究活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名

平成25年8月1日から平成25年11月30日まで

青山 晴美 様	工藤 浩之 様	前田 一幸 様
上原 保 様	工藤 義男 様	松田 良枝 様
太田 勝之 様	高村 明良 様	森江 秀昭 様
小川 芳樹 様	武山 めぐみ 様	矢萩 直敏 様
尾久 慎祐 様	千葉 等 様	
菊池 俊文 様	中村 彰 様	

平成25年度教育実習協議会を開催しました

11月1日(金)、本学において教育実習協議会を開催しました。

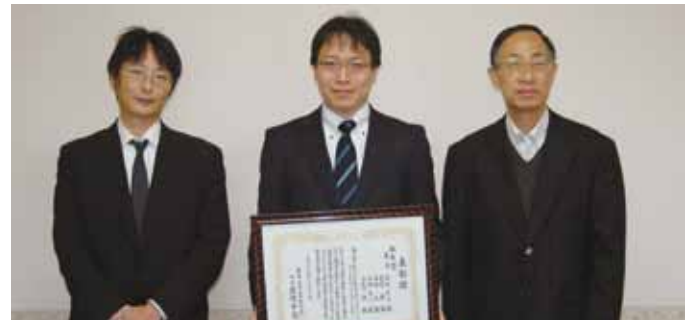
教育実習協議会では、地元の千歳市教育委員会、千歳市内中学校の他、教育実習受入校の先生方等にお集まりいただき、

本学教職課程の実施報告や教育実習を終了した学生のアンケート結果の報告及び教育実習の報告を行いました。

また、教育実習受入各校からは、教育実習を行った本学学生についての状況報告や本学実習生以外に関する教育実習生の現状等についても報告があり、本学教員との活発な意見交換が行われました。



本学教員が論文賞を受賞しました



左から小松川教授、山川助教、吉田教授

●本学の山川広人助教を筆頭著者とする研究論文が教育システム情報学会の平成25年度論文賞を受賞しました。

この賞は、教育システム情報学会の会誌に掲載された論文(表彰を行う年の前前年の4月からその年の3月までの2年間に教育システム情報学会の会誌に発表された論文が対象)のうち、特に優秀なものを選び表彰することにより優れた研究を評価し、研究活動の促進、ならびに研究発表論文の投稿を奨励することを目的としています。

受賞論文のタイトル:理工系学部の知識の学習体系を意識したICTの活用による全学的な学習支援サービスの提供

教育システム情報学会誌, vol.29, No.1, pp.39-48, 2012

著者:山川広人, 長谷川理, 立野仁, 吉田淳一, 小松川浩

●本学バイオ・マテリアル学科の大越研人准教授が日本液晶学会の論文賞を受賞しました。

この賞は、日本液晶学会誌に掲載された最優秀な解説論文等の著者へ贈られるものです。

受賞論文のタイトル:棒状高分子が形成する多様な液晶相

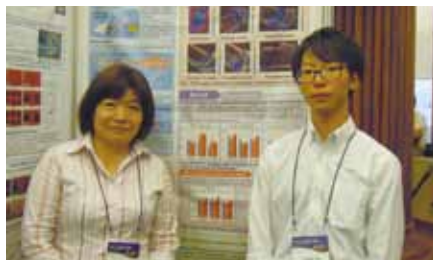
日本液晶学会誌「液晶」, 第16巻, 第3号, pp.172-180(2012)



大越准教授

本学の学生がポスター賞を受賞しました

本学大学院生の伊藤哲平さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年 指導教員:木村廣美 教授)が平成25年8月に韓国・釜山にて開催された国際会議(KJF International Conference on Organic Materials for Electronic and Photonics 2013)において、「Excellent Poster Presentation Award(優秀ポスター発表賞)」を受賞しました。



木村教授(左) 伊藤さん(右)

この賞は同会議において発表された354件のポスター発表の中から優秀なトップ10の発表に対して贈られました。

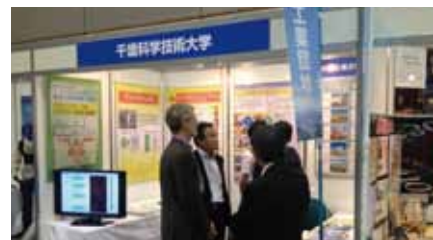
●タイトル: Analysis of collagen structure in rat tibia by FTIR imaging

●演者: Teppei Ito, Kyosuke Kanazawa, Hiromi Kimura-Suda

北洋銀行ものづくりテクノフェア2013に出展しました

7月24日(水)に札幌市白石区の札幌コンベンションセンターで「北洋銀行ものづくりテクノフェア2013」が開催されました。これは北洋銀行が主催で、北海道内の優れた技術や製品を有する中小企業、大学、支援機関等が一堂に会する場を提供し、販路拡大や企業間連携の促進、情報交換や技術交流を通じて、北海道のものづくり産業の振興を図ることを目的とした展示会です。

今回は産学官金連携の分野で千歳市の企業振興課、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)と連携して出展し、本学からは、文部科学省から受託している「ナノテクノロジープラットフォーム事業」を展示しました。当日の全体の来場者数は、4,000名に達し、千歳市の職員と本学の教員、研究員がブースに来られた方々に熱心に説明し、訪れた方々も熱心に耳を傾けていました。今後も本学が持っている研究シーズを様々な形で情報発信していきます。



交換留学生送別会を開催しました

8月2日(金)に本学食堂にて馬ユリさん(韓国全南大学校・交換留学生)の送別会が開催され、学生や教職員合計29名が参加しました。



千歳市内や旅行先の風景など、ユリさんが日本で撮影した写真の紹介もあり、参加者から感嘆の声があがっていました。最後に川瀬学長から記念品が贈呈され、ユリさんの挨拶で締めくくりとなりました。

2011年に締結した全南大学校との学術交流協定に基づき、これまで合計3名の交換留学生が本学で学ぶことができました。相互交流として、今後は本学からも交換留学生を送り出せるように支援体制を整えていきます。

Course 就職・進学

「インターンシップ事後研修会」を開催しました

10月22日(火)に「インターンシップ事後研修会」を本学で開催し、当日は19事業所34名の受入事業所担当者にご参加いただきました。

今年度は67事業所に学部3年生132名の学生がインターンシップに参加し、学部3年生の参加率は60.8%でした。

初めにインターンシップに参加した学生による「研修報告会」を開催しました。研修報告会ではインターンシップに参加した全学生が各講義室に分かれ、発表を行いました。発表練習は就職が決まった先輩がTA(ティーチングアシスタント)として1ヶ月前からグループワーク方式で指導に当たりました。また、参加いただいた受入事業所からは「とても有意義な事後研修会であった」という感想をいただきました。

続いて受入事業所のご担当者とは本学教職員による「意見交換会」を開催し、受入に際しての課題、インターンシップの今後のあり方などについて貴重なご意見をいただきました。

《インターンシップ事後研修会 参加事業所》

株式会社エスイーシー、株式会社カミノ、キャリアバンク株式会社、キリンビール株式会社
北海道千歳工場、株式会社協和エクシオ北海道支店、株式会社三技協、株式会社三技協イオス、自衛隊、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、千歳科学技術大学、千歳市内中学校(1校)、中央コンピューターサービス株式会社、株式会社つうけん、株式会社ディスコ、一般社団法人日本血液製剤機構千歳工場、株式会社ハイマックス、株式会社芙蓉ビデオエイジェンシー、社会福祉法人北海道リハビリ、室蘭まちづくり放送株式会社 (50音順:敬称略)



企業と大学の情報交換会を開催しました

企業と大学の情報交換会を10月30日(水)に東京の新宿ワシントンホテルビル本館において、11月5日(火)に札幌ガーデンパレスにおいて開催しました。今年度は東京会場には107社147名、札幌会場には72社99名の企業の方にご参加いただき、本学教職員と積極的な情報交換が行われました。

今年度のプログラムは次のとおりです。



(東京・札幌会場共通)

開 会

■講演 「開学15周年を迎えて」 学長 川瀬 正明

■教育・研究活動についてのご説明

①就職状況・キャリア教育について(キャリアセンター長 小松川 浩)

②学生による研究紹介

東京会場:大学院光科学研究科博士前期課程1年 伊藤 哲平

札幌会場:総合光科学部 光システム学科4年 吉田 詠一

③文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業紹介

(バイオ・マテリアル学科長 Olaf Karthaus)

④教員紹介

名刺交換会

個別相談会 東京会場のみ実施

経営者セミナーを開催しました

9月27日(金)、本学大学院棟コラボレートルームにおいて、株式会社三技協の仙石通泰代表取締役社長を講師にお招きし、「経営者セミナー」を開催しました。

当日は約40名の学生及び教職員が参加し、「時代に適合した経営の最適化」というテーマで、通信業界の現況や株式会社三技協で利用されてい

るサイバーマニュアルについて説明があり、学生は真剣に聞き入っていました。また、最後に行われた質疑応答においては、学生らが熱心に質問していました。



「OB・OG対話」を開催しました

11月19日(火)、本学にて「OB・OG対話①」を開催しました。

「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することによって業界・仕事への理解を深めることを目的として開催しています。

就職活動において重要な位置づけとなるOB・OG訪問に代わるこの行事を学内で実施することによって、学生の負担を軽減するとともに多くの業種、企業の方のお話を1日で聞くことのできる貴重な機会となっています。

今回は、全国各地より12社12名のOBの方々にご参加いただき、所属する企業の事業内容や実際に自分が関わっている業務内容などについて説明され、学生の様々な質問にも丁寧に答えていただきました。参加学生からのアンケートでは「仕事をするのが楽しくなった」、「就職活動の仕方のイメージがわいた」、「英会話が重要であることが分かった」など、12月から本格的に始動する就職活動へ向けて、意識を高める絶好の機会となりました。

2008年度から実施している「OB・OG対話」は学生からのニーズも高く、昨年度から年2回実施しています。今年度の第2回目「OB・OG対話②」は、2014年1月14日(火)に実施予定です。

【2013年度 「OB・OG対話①」(2013年11月19日) にご参加頂いた皆様】(敬称略)

企業名	氏名	企業名	氏名
株式会社ADEKA	岡 憲志	株式会社協和エクスオ	國分 純太
三幸総研株式会社	竹村 祐亮	株式会社NTTデータMSE	片沼 怜
長田電機工業株式会社	坂口 宗	株式会社ユー・エス・イー	菅原 一馬
富士電機株式会社	馬淵 爽平	新興サービス株式会社	藤川 勇輝
東京精密株式会社	松田 和也	富士ゼロックス北海道株式会社	田畑 雄平
日本精機株式会社	村井 文彬	三菱電機ビルテクノサービス株式会社	石原 京悟

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

札幌創成高等学校、北海道留辺蘂高等学校と高大連携協定を締結しました



札幌創成高等学校武田校長(左)川瀬学長(右)



北海道留辺蘂高等学校渡部校長(左)川瀬学長(右)

札幌創成高等学校、北海道留辺蘂高等学校と高大連携協定を締結しました。今回の協定締結により、本学の高大連携校は49校となりました。

協定締結日

平成25年8月20日(火) 札幌創成高等学校

平成25年11月13日(水) 北海道留辺蘂高等学校

平成25年度 第3回・第4回公開講座を開催しました

平成25年度千歳科学技術大学第3回・第4回公開講座を下記のとおり開催しました。第3回は稜輝祭(大学祭)と同時開催という形式で宇宙航空研究開発機構(JAXA)から講師を招き、「太陽系外惑星などの精査をめざして～次世代赤外線天文衛星SPICAとコロナグラフ光学系」と題して講演を行っていただきました。また、第4回は「生物に学ぶ、古くて新しい機能性表面の創製～蝶の構造色からサメ肌の整流効果まで～」をテーマに本学の平井講師が担当しました。

第3回・第4回ともにたくさんの方々を受講していただき、講座終了後のアンケートも非常に高い評価をいただきました。本学ではこれからも市民の方の期待に応えるべく、さらなる充実を図っていくつもりです。各公開講座の詳細は下記のとおりです。



【第3回公開講座】

■日時:平成25年9月22日(日)13:00～14:30

■会場:千歳科学技術大学 1階 B102教室

■後援:千歳市教育委員会

特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)

■演題:「太陽系外惑星などの精査を目指して

～次世代赤外線天文衛星SPICAとコロナグラフ光学系」

■講師:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系 助教 塩谷 圭吾 氏

講演では、JAXAの紹介(施設立地や組織など)から、様々な天文衛星の紹介、赤外線で何がわかるのか、なぜ宇宙から(天文衛星で)観測をするのか、太陽系外惑星とは何か、その発見の難しさと最近の発見例とその方法、そしてSPICAのしくみとコロナグラフ光学系について、SPICAに期待されること、などについてわかりやすく説明がありました。



【第4回公開講座】

■日時:平成25年10月26日(土)14:30～16:30

■会場:千歳市民文化センター 3階 視聴覚室

■後援:千歳市教育委員会

特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)

■演題/講師:「生物に学ぶ、古くて新しい機能性表面の創製 ～蝶の構造色からサメ肌の整流効果まで～」

講師:平井 悠司(総合光科学部バイオ・マテリアル学科 講師)

講演では、バイオメテックスと呼ばれる生体・生物の持つ機能・構造を模倣して製品や材料の製作に活かす学問分野の歴史から、蓮の葉の超撥水性やカタツムリの殻の超親水性(雨で汚れが落ちる)、貝殻や蝶の鱗粉の構造色(色褪せない)、蛾の目やセミの羽などの無反射表面、サメ肌の整流効果、など様々な生物たちが持つ機能とそのしくみについて、製品化したものは実用例を交えながら説明がありました。

平成25年度 「第2回高大連携研究会」を開催しました

今年度第2回目となる高大連携研究会を11月30日にアスティ45 16階 ACUで開催しました。今回の研究会では高大連携事業の報告と来年度の予定、本学教職課程についての説明、eラーニング



の新機能等についての説明などを行った後、今回初めてとなる分科会を開催いたしました。分科会は、学校規模ごとに利用・活用の方や抱えている悩みなどに共通項が多いことから、学校規模別に2つのグループに分かれ、eラーニングの利用の拡大についての中間報告や情報交換を行いました。分科会終了後には、本学の就職支援・キャリア形成プログラムの取組についての説明も行いました。研究会には、本学の高大連携校ならびに連携を検討している道内高等学校36校より40名の教員の参加がありました。

当日の研究会の詳細は以下のとおりです。

日時:平成25年11月30日(土) 14:00～
場所:アスティ45 16階 ACU (札幌市中央区北4西5)

- 14:00～14:05 開会挨拶 学長 川瀬 正明
- 14:05～14:10 高大連携事業のご報告と予定 教育連携推進課長 大西 哲也
- 14:10～14:20 本学教職課程について 総合光科学部 准教授 今井 順一
- 14:20～14:40 eラーニング新機能等について メディア教育センター
- 14:40～14:50 eラーニング利用中間報告(分科会への話題提供) 北海道南茅部高等学校 教諭 本城 直幸氏 札幌日本大学高等学校 教諭 柴崎 浩志氏
- 15:10～16:20 分科会「eラーニングの利活用について」 分科会A:小規模校での利活用 分科会B:中～大規模校での利活用
- 16:30～16:50 両分科会からの討議報告
- 16:50～17:20 本学の就職支援・キャリア形成プログラムの取組について
- 17:20 閉会

理工工房が「青少年のための科学の祭典」に参加しました



【札幌清田大会】

■日時:平成25年11月3日(日) ■会場:北海道札幌平岡高等学校
 ■展示:「ハイスピードカメラの世界」「偏光フィルムで遊んでみよう」
 「偏光万華鏡を作ってみよう」

全体の来場者数が昨年度の大会を大きく上回る約1400名と大盛況であったことから、理工工房の3ブースにも多くの子どもたちが立ち寄りくれました。また、ハイスピードカメラで撮影・作成した動画(ハイスピードムービー)を紹介するブースでは、新しく導入したタブレット端末を活用して、過冷却状態の溶液が結晶化する様子や炎が燃える様子を撮影したムービー作品を見てもらいました。



【千歳大会】

■日時:平成25年11月10日(日) ■会場:千歳市民文化センター
 ■展示:「偏光万華鏡を作ってみよう」「偏光フィルムで遊んでみよう」
 「光の三原色と色つきの影」「ビー玉顕微鏡を作ってみよう」

科学の祭典・千歳大会では、千歳市内や近隣の企業・青少年の教育に関わる機関・学校など様々な団体からブース展示・科学教室などを実施いただいており、総計35ブースの展示と3つの科学教室及び科学イベントが行われました。本大会には、本学グローバルシステムデザイン学科の長谷川 誠 教授が実行委員長として計画段階から関わっており、理工工房は4種類の展示と、科学教室「ホットケーキはなぜふくらむの?」を実施致しました。当日は雨・風や寒さなどあいにくの天気模様ではありましたが、昨年を上回る約2,750名の来場者を迎え大盛況であり、一部のブースでは終了時刻を30分延長するなど、最後まで大変な賑わいでした。

理工工房が「環境フェア in Chitose 2013」に参加しました

10月19日(土)に千歳市民文化センターで開催された「環境フェア in Chitose 2013」に今年も理工工房が参加しました。

千歳市主催のこのイベントに理工工房は毎年参加しています。今年度は、おなじみの手回し発電機による発電で白熱電球を点灯させる実験セットや、ソーラーパネルを積んだ模型の電車や自動車を走らせる実験セットに加えて、自転車をこいで発電することでLEDを順に点灯させていく実験セットを出展しました。会場には朝から多くの親子連れなどが来場し、理工工房のブースにもぎわいました。



理工工房が「ふるさとポケット」に参加しました

9月29日(日)、千歳市内青葉公園において開催された「第18回ちとせ生涯学習まちづくりフェスティバル ふるさとポケット」に理工工房が参加しました。



「ふるさとポケット」には毎年の参加になりますが、今年の出し物も、定番の「空気砲」、「スライム作り」、「ふしぎな沼」の3テーマでした。各テーマともに、たくさんのお子どもたちが楽しんでくれました。

本学学生が学習ボランティアを行いました

千歳市教育委員会からの依頼により教職課程を履修している学生51名(2年生～4年生)が8月1日から8月20日までの期間、千歳市内の10小学校、3中学校に学習ボランティアとして児童生徒の学習のサポートを各校3日間から5日間程度行いました。



この事業は昨年12月から本年1月に試行的に実施した際、児童生徒及び現場の先生方から大変好評だったことから、今回が初めての本格実施となりました。

サポート期間中、学生は実際に教室に入り、児童生徒に夏休みの宿題やプリントの解き方などを教えたり、理科実験のお手伝いをするなど熱心に取り組んでいました。

この学習ボランティアは現場で指導経験を積む絶好の機会であり、将来教員を目指す学生にとりまして貴重な体験となりました。また、学内においては教職科目の一環として位置付けています。

本学では今後も千歳市教育委員会と連携しながら学習ボランティア事業を推進していきます。

Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成26年度入試概要

入試タイプ	職名	試験日	合格発表日	手続締切日	試験【面接】会場	募集定員	
一般学力入試	I期	1月7日【火】～ 1月28日【火】	2月5日【水】	2月14日【金】	一次 3月5日【水】 二次 3月28日【金】	本学・旭川・函館 釧路・仙台	65名 ●I期:50名 ●II期:12名 ●III期:3名
	II期	2月17日【月】～ 2月27日【木】	3月4日【火】	3月10日【月】	一次 3月17日【月】 二次 3月28日【金】	本学	
	III期	3月11日【火】～ 3月19日【水】	3月25日【火】	3月27日【木】	第1次・第2次とも 3月29日【土】		
センター試験 利用入試	前期	1月7日【火】～ 2月4日【火】	—	2月14日【金】	一次 3月5日【水】 二次 3月28日【金】	—	40名 ●後期:30名 ●前期:10名
	後期	2月17日【月】～ 3月11日【火】	—	3月17日【月】	第1次・第2次とも 3月31日【月】		

優遇・助成制度

	対象・対象者数	金額	備考
特待生制度	一般学力入試、センター試験利用入試の成績上位者	学費(入学金除く) 1,357,000円を700,000円に減免	原則4年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時に在籍している、2人目以降の者 (ただし、特待生制度に該当する者は除く)	授業料の半額免除 (年間466,500円相当)	在籍が一人になったら、 正規授業料を納入
帰省旅費助成制度	○道外出身者 ○道内出身者(居住地の最寄駅等から帰省先最寄駅等までの距離が200km以上)	○道外出身 ※上限20,000円 帰省旅費の半額 ○道内出身 ※上限10,000円 帰省旅費の半額	年1回
千歳科学技術大学奨学金	経済的に修学が困難な方(約12名)	年間240,000円支給	返還の必要なし 給付期間は1年間

オープンキャンパスへのご参加、 ありがとうございました

平成25年のオープンキャンパスは6月23日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催し、多くの方にご参加いただき、無事に全日程を終了することができました。

来年も魅力あるプログラムで皆様の参加をお待ちしております。日程につきましては決定次第、ホームページ等でご案内させていただきます。



Education foundation information 法人情報



伊澤理事長(左) 小谷津前理事長(右)

理事長交代のお知らせ

平成17年9月から4期8年にわたり本法人理事長を務められた小谷津孝明氏が平成25年11月27日付けをもって任期満了により退任し、同年11月28日付けで伊澤達夫氏が理事長に就任しました。

伊澤理事長略歴

昭和45年 3月 東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程 修了

平成 8年 6月 日本電信電話株式会社 取締役 基礎技術総合研究所 所長

平成10年 6月 NTTエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長

平成19年10月 東京工業大学 理事・副学長

平成25年11月 学校法人千歳科学技術大学 理事長

CONTENTS

平成25年度、学位授与式 …………… 1	就職・進学 …………… 6
教育・研究 …………… 2	入試情報・オープンキャンパス …… 8
大学間連携・高大連携・地域連携 … 4	法人情報 …………… 8

Volume

33

千歳科学技術大学報

平成26年3月31日



CIST News



発行／学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>



平成25年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式を挙行了しました

平成26年3月15日(土)、本学講堂において平成25年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、総合光科学部・光科学部236名の卒業生、大学院博士前期課程22名の修了者一人一人に川瀬正明学長から学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして伊澤達夫理事長並びにご来賓を代表して山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ、学業に精励努力した学生に贈られる優良賞に、バイオ・マテリアル学科の佐々木将伍さん、山本一仁さん、光システム学科の池田学駿さん、山崎美奈さん、グローバルシステムデザイン学科の高野泰臣さん、平島加菜さんがそれぞれ選ばれ表彰されました。また、その中から平島加菜さんが卒業生・修了生を代表して答辞を述べました。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれ新たな道を歩み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。



川瀬正明学長

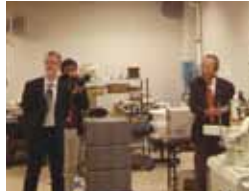


卒業生代表 平島加菜さん

Research and Education 教育・研究

ナノテクノロジープラットフォーム 新装置披露会を開催しました

11月25日(月)に、千歳科学技術大学研究棟F203室で「ナノテクノロジープラットフォーム新装置披露会」が開催され、他大学や市内外の企業から約70名の研究者、技術者が参加されました。今回導入された新装置は日本電子(東京)社製の走査電子顕微鏡とレニショー(英国)社製のラマン顕微鏡で国内でも10台程度しか導入されていない稀少価値の高い設備になっています。今回は広くその性能と応用範囲を知ってもらうために開催しました。



プログラムは、千歳科学技術大学ナノテクノロジープラットフォームの責任者であるオラフ・カートハウス教授の挨拶から始まり、ラマン装置のメーカーであるレニショー株式会社三浦一郎氏の「2D・3Dラマンイメージング、最新アプリケーションの紹介」と題する講演、続いて日本電子株式会社の小倉一道氏による「フィールドエミッション低真空分析走査電子顕微鏡 JSM-7800Fの紹介と観察例」と題する講演が行われました。講演終了後、2つのグループに分かれて各々の装置を見学していただきました。見学者は最新鋭の装置を熱心に見学され、活発な質疑応答がなされました。その後は軽食を摂りながら和やかな雰囲気の中で自由に懇談していただきました。

※文部科学省の「ナノテクノロジープラットフォーム」事業は、最先端の研究設備を有する全国の大学、研究機関が設備の共同利用を通じて産業界や研究現場の技術的課題の解決を目指すものです。千歳科学技術大学は、3つの事業のうち分子・物質合成プラットフォームに所属しています。

第5回千歳科学技術大学 英語スピーチコンテストを開催しました

千歳科学技術大学英語スピーチコンテストは、道内高校生、および千歳市内在住または在勤の社会人・大学生を対象に、グローバルな人材の育成ならびに地域への貢献を目的として実施しており、今年度で5回目の開催となります。

昨年度から、より多くの学校・企業の皆様に参加いただくため、参加人数を各学校・企業3名までと上限を設けさせていただいておりますが、ハイスクール・ディビジョンは27名、オープン・ディビジョンには8名と、今年度もたくさんの方々にご参加いただきました。

前日までは不安の残る天候が続いておりましたが、当日は天候にも恵まれ、盛況のうちにコンテストを終了いたしました。

開催日時 平成26年2月1日(土)
オープン・ディビジョン 9:30~
ハイスクール・ディビジョン 12:30~

開催場所 千歳科学技術大学 B101大講義室

主催 千歳科学技術大学

共催 特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム

後援 千歳市、千歳市教育委員会

コンテスト結果

オープン・ディビジョン

千歳市長賞 山本 名津美 (株式会社ダイナックス)
Second Prize 久元 義明 (航空自衛隊第2航空団)
Third Prize 小野 玲世 (北海道栄高等学校 2年)

ハイスクール・ディビジョン

千歳市教育長賞 太田 紫苑 (札幌創成高等学校 1年)
Second Prize 柴田 伊真 (札幌聖心女子学院高等学校 2年)
Third Prize 輪島 瑠子 (北海学園札幌高等学校 1年)
奨励賞 片岡 幸咲 (札幌創成高等学校 2年)



オープン・ディビジョン集合写真



ハイスクール・ディビジョン集合写真

木村教授が北海道骨粗鬆症研究会で 優秀論文賞を受賞しました

本学バイオ・マテリアル学科の木村廣美教授が第26回北海道骨粗鬆症研究会で優秀論文賞を受賞しました。

受賞タイトル:「慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常(CKD-MBD)の骨質の解析」

著者:木村-須田廣美、金沢恭祐、伊藤哲平、日高公介、植野秀俊、居城邦治、小林幸雄、坂本尚義



平成25年度 博士前期課程 論文タイトル一覧

学生氏名	修士論文タイトル
岡部 将希	TinCanAPIを実装した分散学習システムに関する研究
久保 智也	義務教育におけるeラーニング学習の有効性に関する事例研究
福澤 広大	アゾ・カルバゾール色素及び関連する化合物をドーブした高分子における光誘起回折格子の形成
伊藤 菜月	透明ポリマーの不均一構造制御による高透明化
植野 秀俊	振動分光法を用いた喫煙モデルラットの骨質の解析
榮坂 大地	ヒト血管内皮細胞の酸化ストレスに対する反応に関する研究
木田 光太郎	希土類を添加したシーライト型化合物の蛍光特性
今 雄矢	赤外分光法を用いた生薬「オウレン」の分析
佐藤 竜	実用性の高い適応型テスト機能を有するeラーニングシステムに関する研究
鈴井 悠平	義務教育向けの仮想理想実験ソフトに関する研究
土橋 勇太	紫外線照射による表皮細胞の細胞死に関する基礎的研究
中澤 央	金属元素を添加したβ-Ga ₂ O ₃ の光学特性
中野 裕輔	義務教育での基礎学力向上のためのモバイルラーニングシステムに関する研究
仲村 龍太郎	光パルス等化器のためのソリトンの発生
任 格	ICGを用いた生体組織の蛍光画像処理と分析
松崎 智	Flashコンテンツ変換機能による配布プリント自動生成に関する研究
松村 昂	地域の初等中等教育における教材共有システムに関する研究
三浦 賢信	PDT用664nm超短パルスfsレーザの発生及びその組織透過性の研究
孟 令飞	腹腔鏡医用光ファイババンドルの基礎研究と評価
本九町 智大	動的環境とのビジョンベースの連携によるパワーアシスト車椅子の操縦支援制御
守谷 大樹	5-ALAを用いた細胞障害効果と蛍光寿命イメージング
山本 奏	人間工学的視点に基づく視線入力方式の研究

平成25年度教育研究社会貢献賞 授賞式 平成26年3月5日(水)

教育・研究・社会そして大学において貢献のあった教職員を対象として、教育研究社会貢献賞を授与し、その功績を讃えることを目的としています。

本年度は下記の教職員が受賞しました。

◎教職課程担当 青塚 健一 教授

グローバルシステムデザイン学科 今井 順一 准教授

学生支援課長 木村 聡

【受賞理由】

教職課程の教育体制の整備に多大な貢献を上げるとともに、教職課程において卓越した授業を行い、大きな成果を修めました。また、教職課程の活動を通じ、千歳市内の小・中学校の児童生徒への教育支援を行い、地域貢献についても大きな成果を修めました。

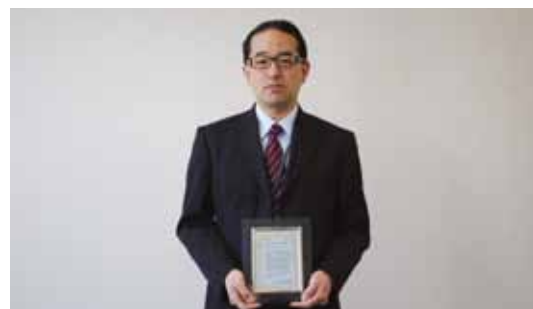
◎バイオ・マテリアル学科 大越 研人 准教授

【受賞理由】

キャリアセンター副センター長として特に厳しい状況にある本学バイオ・マテリアル学科学生の材料・化学・バイオ分野への就職状況の改善に率先して取り組み先導的な役割を果たしました。また、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業の本学実施担当者として学内分析機器類の整備を行い、大型機器を修理・再稼働させ、外部のプラットフォーム支援の新しいユーザーを開拓し、多方面にわたる活躍で本学に貢献しました。さらに日本液晶学会の平成25年度論文賞を受賞しました。



左から今井准教授、青塚教授、木村課長



大越准教授

部活動実績

CIST Cycling Circle

- 全日本ママチャリ8時間耐久レース
- 96位(211チーム中)

YOSAKOIソーラン部

- 第22回YOSAKOIソーラン祭
- 一次審査賞 受賞
- 2013スカイピア&YOSAKOI祭
- 大賞 受賞
- 上川中央支部大会
- 大賞 受賞

ストリートダンスサークル

- 北広島市立大曲中学校でのダンス授業補助
- 千歳市立富丘中学校でのダンス授業補助

バドミントン部

- 第55回 北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会
- 男子4部リーグ戦 ベスト4
- 第60回 北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会
- ダブルス ベスト4 今村・内山
- 第60回 北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会
- シングルス 3位 内山

弓道部

- 第60回 全道学生弓道選手権大会
- 女子個人 2位 宮田

写真部

- 北新商店街新聞 第2号・第3号の発行
- 第53回 富士フィルムフォトコンテスト
- ネイチャーフォト部門 優秀賞 新家

卓球部

- 平成25年度 春季全道学生卓球選手権大会
- 男子団体戦 4部校A 2位
- 平成25年度 国民体育大会卓球競技千歳支部予選
- 成年男子シングルス 3位 原田
- 準決勝進出 村越
- 第80回 全日本大学総合卓球選手権大会
- 北海道予選 男子シングルス 全道進出 茶木・原田・村越

軽音楽部

- 3校合同ライブ(北海道文教大学、北海道情報大学)

硬式テニス部

- ヨネックスカップチーム対抗戦
- 団体戦 優勝 小山田
- 春季大会
- ダブルス A級 4位 小山田
- シングルス A級 3位 小山田
- 宮の森スポーツ倶楽部杯ダブルス選手権テニス大会
- A級 優勝 小山田
- 近隣市町村一村一品大会
- 男女団体戦 B級 準優勝 小山田
- 第19回苫小牧チーム対抗テニス大会
- 優勝 阿部・伊藤・小山田・嘉屋・三浦
- 会長杯コート納め大会
- ダブルス A級 優勝 小山田

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名

平成25年12月1日から平成26年3月31日まで

■ 株式会社カミノ 様 ■ 福永 宗碧 様 ■ 千歳科学技術大学同窓会 様

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

理工工房が「青少年のための科学の祭典・北広島大会」に参加しました

平成25年12月7日(土)に理工工房の学生が、札幌日本大学高等学校で開催された「青少年のための科学の祭典・北広島大会」に参加しました。

今回は「偏光フィルムで遊んでみよう」のブースを展開しました。偏光フィルムを使ったブラックウォールの紹介や着色現象のデモ、自作した偏光メガネを使った観察などの演示体験を通して、偏光現象のふしぎな世界を楽しんでもらいました。



理工工房が千歳市立千歳小学校で理科実験授業を実施しました

理工工房の学生が、12月10日(火)、千歳市立千歳小学校で6年生を対象にした理科実験授業を実施しました。

千歳小学校については、平成16年度の小学5年生の学年から毎年5年生から6年生にかけて、理工工房の学生による実験授業を計3回に渡って実施しています。現在の6年生の学年は9学年目になり、今回は3回目の実験授業となりました。

今回は、6年生理科の単元に含まれる「電気の利用と私たちの生活」に関する内容を、「電気のみみつ」と題して実施しました。手回し発電機で発電ができること、発電した電気をコンデンサに蓄えることができること、蓄えた電気を音や光、運動に変換できることなどを、いくつかの実験を通して確かめるとともに、電気と発熱に関する実験なども行いました。

さらに今回は、新しい試みとして、班ごとの実験内容や手順の説明でタブレットを使用しました。これまでは教員役の学生が大きなスクリーンに説明用スライドを表示してクラス全体に説明していましたが、今回は各班についた学生が1台ずつのタブレットを持ち、そこに説明用スライド画面を表示しながら班ごとに実験の流れを説明しました。児童の反

応を細かく見ながら話を進められるので、より分かりやすい説明が実現できたようです。



全体の説明



タブレットを使った班ごとの説明

理工工房が千歳市立緑小学校で理科実験授業を実施しました

理工工房の学生が、12月24日(火)、千歳市立緑小学校で6年生を対象にした理科実験授業を実施しました。12月10日(火)に理科実験授業を実施した千歳小学校と同様、緑小学校では平成16年度の小学5年生の学年から毎年5年生から6年生にかけて、理工工房の学生による実験授業を計3回に渡って実施しています。千歳小学校と同じく現6年生の学年は9学年目で、今回は3回目の実験授業となりました。

6年生理科で学習する「電気の利用と私たちの生活」に関連した「電気のみみつ」と題する今回の実験授業では、まず前半で、手回し発電機による発電やコンデンサへ蓄電体験、電気による発熱の実験などを行いました。後半では、フィルムケースを利用した手作りコンデンサの作製を行うとともに、おなじみの「百人おどし」で楽しんでもらいました。

また、今回も、班ごとの実験内容や手順の説明ではタブレットを活用しました。

これで現6年生を対象とした一連の理科実験授業は終了ですが、本年2月下旬には現在の5年生の学年を対象とした理科実験授業を実施しました。



全体の説明



班ごとの実験

平成25年度 第5回・第6回公開講座を開催しました

【第5回公開講座】

- 日時:平成25年12月14日(土)14:30~16:30
- 会場:千歳市民文化センター 4階 大会議室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:「科学があふれる街をめざして」
- 講師:長谷川 誠(総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 教授)

講演ではまず、北海道における調査結果をもとに「理科離れ」が本当に起きているのかどうか、児童・生徒が体験したことのある自然体験の数と理科の学習に対する意欲や好き嫌いなどとの間に何らかの相関関係があるのかなどについて解説を行い、子どもたちに実験を通して理科(科学)を学ぶ面白さを感じさせることの重要性を呼びかけました。そして、様々な科学体験をしてもらうべく日々活動を行っている学生プロジェクトチーム「理工工房」の活動実績や具体例について、また活動を通して得られる学生への教育効果などについて、説明を行いました。当日は千歳市内をはじめ、室蘭市、札幌市、北広島市、江別市、苫小牧市などから42名の参加者に受講いただきました。



講座の様子



学生による演示実験の様子

【第6回公開講座】

- 日時:平成26年3月29日(土)14:30~16:30
- 会場:千歳市民文化センター 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:「ロボットの目」の最前線 ~三次元画像計測技術とその応用~
- 講師:青木 広宙(総合光科学部光システム学科 准教授)

講演では、従来の二次元情報(カメラ画像等)から三次元情報に変わることで何ができるようになるのか、三次元画像計測の方法のうちステレオ法と能動的ステレオ法と呼ばれる2つの手法についての原理と身近な応用例について説明・紹介し、これまでに行った三次元画像計測の医療・福祉分野への応用に関わる研究成果についてお話ししました。

講演終了後には三次元画像計測体験を実施しました。Kinectや様々なアプリケーションを用いて実際に計測を行いながら、三次元画像情報がどのように計測されるのか、取得した情報がどのように表示されるのか、どんなことができるのか、について見学・体験いただき、盛況のうちに講座を終了いたしました。

当日は千歳市内をはじめ、室蘭市、登別市、恵庭市、北広島市などから44名の参加者に受講いただきました。



講座の様子



三次元画像計測体験の様子

本学学生が2014年応用物理学会の 注目講演に選ばれました

平成26年3月18日(火)、青山学院大学(東京都)を会場として実施された「2014年応用物理学会春季学術講演会」において、本学総合光科学部グローバルシステムデザイン学科の長谷川 誠 教授と、3月15日に卒業したばかりの井上奈々さん(グローバルシステムデザイン学科卒業)と狩野沙代子さん(グローバルシステムデザイン学科卒業)、並びに徳光聖茄さん(総合光科学部1年生)による研究成果(ポスターセッション発表)が3526件の発表(口頭講演2660件、ポスター発表866件)の中から19件の注目講演に選ばれ、発表しました。当日はたくさんの学会参加者がポスター前に集まり、夕焼け実験装置を使った実験の説明を熱心に聞き入っていました。

- 中分類分科名 教育
- 講演番号 18a-PA1-8
- 講演タイトル 「夕焼け実験装置における白色LED射出光の透過スペクトル測定」



左:徳光 聖茄さん 右:狩野 沙代子さん



右:井上 奈々さん

理工工房が商店街の 「ふゆまつり」に参加しました



平成26年2月8日(土)、9日(日)の両日、理工工房の学生が千歳タウンプラザにて開催された「仲の橋通り商店街ふゆまつり」に参加しました。今年で3回目の参加でしたが、今回は、ふゆまつりのイベントの一つとして開催された「ミニ科学の祭典」に、いくつかのブースなどを出展しました。

おなじみの「偏光フィルムで遊んでみよう」「光で音を飛ばしてみよう」のブースでは、いつものように偏光フィルムによる着色現象やLEDの光による音楽伝送の実演などで楽しんでもらいました。屋外のテントで出展した「自転車発電」では、自作の自転車発電装置によるLEDの点灯にたくさんの子どもたちがチャレンジしていました。

また今回は、「果物電池」をテーマにした30分ほどの科学教室を何回か開催しました。その中では、実験に使用する果物や野菜を子どもたちを選んでもらい、一緒にタウンプラザ内のお店に買いに行くなど、新しい趣向も盛り込んだ内容となりました。

平成25年度eカレッジ修了式を実施しました

本年度で8回目となる、市内小中学生を対象としたeカレッジの表彰式を3月8日(土)に千歳市総合福祉センターで実施しました。

このeカレッジでは、本学のeラーニング教材を利用し、小学3年生から中学3年生までの科目(小学校算数・理科、中学校数学・理科・英語、小中社会・英語)の中で、児童・生徒が自分で申し込んだ科目の取り組み状況(取組日数、取組時間、演習問題進捗率等)をもとに、よく取り組んだ児童・生徒に表彰状を授与しています。

本年度は、29名の児童・生徒に表彰状を授与しました。

※eカレッジとは、千歳市在住の児童・生徒の基礎学力向上や家庭学習支援を目的とし、千歳市教育委員会が実施する行政サービスで、千歳科学技術大学が学習管理等の支援を行っている千歳市教育委員会との協働事業です。



表彰式の様子



学長あいさつ

Course 就職・進学

企業見学会および企業見学バスツアーを実施しました

大学生の早い時期から「働く現場」、「働く人」に触れることで、職業観や勤労観を醸成することを目的に、学部2年次のキャリア形成授業の一環として企業見学会および企業見学バスツアーを2月3日～14日の間で実施しました。本取組は、平成21年度から継続して実施しています。

主に地元千歳市のものづくり企業に半日～1日訪問し、工場見学の他そこで働く社員の方と交流する「企業見学会」コースと、バスで近隣市町村のIT系、ものづくり系、材料・化学・バイオ系企業を訪問するバスツアーコースが用意され、合計101名の学生がそれぞれ希望するコースに参加しました。

各コース参加後には事後研修を行い、見学会で学んだこと、それぞれの職業観等についてグループで討議することで、将来社会で働くことへの意識をさらに高めることができました。



ニッテツ北海道制御システム(株)を訪問



企業見学で得たものをグループで話し合う様子

「OB・OG対話②」を開催しました

平成26年1月14日(火)に今年度2回目の「OB・OG対話」を実施し、今回は、全国各地より14社14名のOB・OGの方々にご参加いただきました。



OB・OGの話を聴く学生

【平成25年度「OB・OG対話②」(平成26年1月14日)にご参加頂いた皆様】(敬省略)

企業名	氏名
株式会社常光	杉山 紅城
理研計器株式会社	檜田 基
アルプス電気株式会社	前畑 武晃
NTTエレクトロニクス株式会社	海老江 邦敬
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	藤井 彬矢
日本コムシス株式会社	和田 祐樹
北海道総合通信網株式会社	石山 慎悟
旭情報サービス株式会社(中部支社)	後藤 隆昭
株式会社エスイーシー	荘司 大輔
中央コンピューターサービス株式会社	長谷 政彦
富士電機ITソリューション株式会社	斉藤 史徳
日鋼情報システム株式会社	山谷 尚己
総合警備保障株式会社	増田 和人
リコーテクノシステムズ株式会社	牧野 里香

2014年「学内企業研究セミナー」を開催しました

平成26年2月6日(木)から14日(金)の土・日・祝日を除く6日間の日程で、本学体育館で学内企業研究セミナーを開催しました。

今年度は、昨年度よりも29社多い176社の企業の方にご参加いただきました。

学生も道内外の様々な企業の説明を聞くことができる機会ということもあり、連日多数のリクルートスーツ姿の学生が企業の採用担当者やOB・OGの話に真剣に聞き入っていました。



参加企業によるPRタイムの様子



セミナーの様子

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー、株式会社NTTデータMSE、株式会社オーテック、岡本興業株式会社、長田電機工業株式会社、株式会社オプトライン、株式会社カーネルコンセプト、河村電器産業株式会社、キョウエー北海道株式会社、株式会社協和エクシオ、株式会社クリエイティブリパティ、株式会社クレスソフト、株式会社クロスストック、景観緑化株式会社、KDDI株式会社、株式会社恒栄工業、五島冷熱株式会社、株式会社コムズ、株式会社サッポロドラッグストアー、株式会社札幌ネクシス、株式会社三技協、株式会社三技協イオス、三甲株式会社、サンマルコ食品株式会社、三和コンピュータ株式会社、株式会社GSI、株式会社ジー・オー、株式会社シーテック、シグマトロン株式会社、株式会社繁富工務店、島津メディカルシステムズ株式会社、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、シュレン国分株式会社、株式会社湘南光学工業所、昭和木材株式会社、職人工房株式会社、株式会社白石製作所、新興サービス株式会社、スタック電子株式会社、セーフティガード警備株式会社、株式会社ゼネット、株式会社セノン、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、セントラル警備保障株式会社、総合警備保障株式会社、株式会社ソフトウェアサービス、株式会社ソフトコム、株式会社ダイナム、ダイハツ北海道販売株式会社、大丸藤井株式会社、株式会社立岩、株式会社タナカ、WDB工学株式会社、株式会社超人ノ開発、株式会社つうけん、株式会社つうけんアドバンスシステムズ、株式会社TKC、株式会社ディンプレックス・ジャパン、株式会社テクノプロ・エンジニアリング、株式会社デンソーエレクトロニクス、東京コンピュータサービス株式会社、東芝テックソリューションサービス株式会社、株式会社ドン・キホーテ、株式会社ニスコ(ニスコグループ)、日鋼情報システム株式会社、日興ソフトウェア株式会社、日興電気通信株式会社、日商プロパン石油株式会社、株式会社ニッセイコム、日本コムシス株式会社、日本データスキル株式会社、日本郵便株式会社、株式会社ネクストワン、ノースプラセントラ研究所株式会社、株式会社白山製作所、株式会社樋口、日立情報通信エンジニアリング株式会社、株式会社日立ビルシステム、株式会社ビッグ、株式会社ヒップ、株式会社フォーラムエンジニアリング、株式会社富士通アドバンスエンジニアリング、株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ、株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ、富士電機株式会社、株式会社富士メガネ、株式会社芙蓉ビデオエイジェンシー、ホクトヤンマー株式会社、株式会社ほくやく・竹山ホールディングス、北洋情報システム株式会社、株式会社ホクレン商事、北海道エア・ウォーター株式会社、株式会社北海道クボタ、北海道富士電機株式会社、北海道立正学園旭川実業高等学校、北海道旅客鉄道株式会社、株式会社マースエンジニアリング、株式会社マイクロソフトウェア、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、ミハル通信株式会社、株式会社ミライト、株式会社ミライト・テクノロジーズ、美和電気工業株式会社、株式会社ムトウ、株式会社メイテックフィルダース、矢崎総業株式会社、株式会社ユー・エス・イー、UTホールディングス株式会社、株式会社ユードム、ユニアデックス株式会社、株式会社ユニシス、吉田プラ工業株式会社、株式会社リード・レックス、リコーテクノシステムズ株式会社、株式会社リリアブル、株式会社りんゆう観光、株式会社ルーセントスクエア

○ 公務員

自衛隊(海上・陸上)、島牧村役場、深川市消防、北海道警察、北海道公立高等学校教員(高校数学)

平成25年度卒業生の進路状況

(平成26年3月31日現在)

今年度は、アベノミクス効果に伴う円安・株高を背景に、景気が多少回復傾向にあることもあり、昨年と比較すると企業の採用意欲が上がったように思われました。しかしながら、厳しい就職環境に変わりはなく、企業による「買い手市場」「厳選採用」の傾向は継続しております。このような状況下の中でも、厳しい就職戦線を勝ち抜き、本学においては昨年度に比べ、就職率・進路決定率ともに高くなりました。

主な就職先

平成25年度卒業生実績 (五十音順)

○ 企業

株式会社IS、株式会社ISIDインターテクノロジー、アイフォーコム株式会社、旭川スズキ販売株式会社、旭情報サービス株式会社、厚木プラスチック株式会社、株式会社アベックスシステム、株式会社アルトナー、株式会社アルファシステムズ、株式会社アルプス技研、株式会社イー・エム・エス、株式会社イーストン、株式会社エイチ・エル・シー、株式会社イー・エル・ピー、株式会社エコノス、恵庭商工会議所、NECネットエスアイ株式会社、

大学院進学 平成25年度卒業生実績 (五十音順)

●千歳科学技術大学大学院 ●北海道大学大学院

求人票数

(平成26年3月31日現在)

893件

平成25年度卒業生の進路状況

(平成26年3月31日現在)

就職決定者 **210名**

就職率 **95.9%**

進路決定率 **86.8%**

※就職率=就職決定者÷就職希望者 ※進路決定率=就職決定者数÷(全卒業生数-進学決定者数)

Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成26年オープンキャンパス日程

平成26年のオープンキャンパスは以下の日程で開催します。

第1回 6月22日(日) 第2回 8月2日(土)・3(日) 第3回 9月28日(日) 第4回 11月2日(日)

進学相談会

質問や不安にお答えします。お近くの会場にお越しください。お待ちしております。

開催地	会場	開催日	時間
北海道	旭川	ロワジールホテル旭川	5/9(金) 15:00 ~ 18:00
		ロワジールホテル旭川	6/16(月) 15:30 ~ 18:15
		ロワジールホテル旭川	8/25(月) 15:00 ~ 18:00
		ロワジールホテル旭川	9/17(水) 15:00 ~ 18:00
		旭川グランドホテル	11/10(月) 15:00 ~ 18:00
	石狩	花川南コミュニティセンター	4/22(火) 13:00 ~ 17:30
	岩見沢	岩見沢コミュニティプラザ	9/18(木) 資料配付のみ
	小樽	グランドパーク小樽	4/21(月) 15:00 ~ 18:00
		グランドパーク小樽	9/16(火) 14:30 ~ 18:00
	帯広	ホテル日航ノースランド帯広	5/8(木) 15:00 ~ 18:00
		ホテル日航ノースランド帯広	6/18(木) 15:30 ~ 18:15
		ホテル日航ノースランド帯広	9/11(木) 15:00 ~ 18:00
		ホテル日航ノースランド帯広	11/13(木) 15:00 ~ 18:00
	北見	ホテルベルクラシック北見	5/13(火) 15:00 ~ 18:00
		ホテルベルクラシック北見	6/17(火) 15:30 ~ 18:15
		ホテルベルクラシック北見	8/26(火) 15:00 ~ 18:00
		ホテルベルクラシック北見	11/11(火) 13:30 ~ 18:00
	釧路	釧路市観光国際交流センター	5/12(月) 15:00 ~ 18:00
		釧路プリンスホテル	6/12(木) 15:30 ~ 18:15
釧路市観光国際交流センター		9/10(水) 15:00 ~ 18:00	
釧路市観光国際交流センター		11/12(水) 15:00 ~ 18:00	
札幌	札幌コンベンションセンター	4/13(日) 14:30 ~ 16:30	
	札幌ファクトリーホール	4/24(木) 15:30 ~ 18:15	
	ホテルさっぽろ芸文館(旧厚生年金会館)	5/2(金) 14:00 ~ 18:00	

開催地	会場	開催日	時間
札幌	札幌	札幌ファクトリーホール	5/11(日) 13:30 ~ 17:00
		札幌パークホテル	5/23(金) 14:00 ~ 18:00
		札幌パークホテル	6/19(木) 14:30 ~ 18:15
		札幌パークホテル	8/29(金) 15:00 ~ 18:00
		札幌パークホテル	9/16(火) 15:00 ~ 18:00
		札幌パークホテル	11/14(金) 14:30 ~ 18:00
	新札幌	シェラトンホテル札幌	5/29(木) 15:00 ~ 18:00
		シェラトンホテル札幌	9/17(水) 15:00 ~ 18:00
		シェラトンホテル札幌	11/19(水) 15:00 ~ 18:00
	北海道	滝川	滝川三浦ホテル華園
グランドホテルニュー王子			4/22(火) 15:00 ~ 18:00
苫小牧		グランドホテルニュー王子	8/22(金) 15:00 ~ 18:00
		グランドホテルニュー王子	11/18(火) 15:00 ~ 18:00
函館		ベルクラシック函館	4/23(水) 15:00 ~ 18:00
		ベルクラシック函館	6/10(火) 15:30 ~ 18:15
		ベルクラシック函館	8/28(木) 15:00 ~ 18:00
		ベルクラシック函館	11/6(木) 15:00 ~ 18:00
室蘭		中嶋神社蓬萊殿	4/24(木) 13:45 ~ 18:00
		中嶋神社蓬萊殿	11/17(月) 15:00 ~ 18:00
宮城県	仙台	夢メッセみやぎ	10/4(土) 11:00 ~ 17:30
東京都	東京	東京ビッグサイト	7/12(土) 11:00 ~ 17:30
愛知県	名古屋	ポートメッセ名古屋	7/22(火) 11:00 ~ 17:30
大阪府	大阪	インテックス大阪	6/21(土) 11:00 ~ 17:30
福岡県	福岡	マリンメッセ福岡	10/18(土) 11:00 ~ 17:30

※ 開催地は随時追加されます。最新情報は大学ホームページでご確認ください。

Education foundation information 法人情報

南谷教授が最終講義を行いました

3月5日(水)午後、大学院棟F203講義室(コラボレートルーム)において3月31日付で退職するバイオ・マテリアル学科の南谷晴之教授が「生体工学の歩みとともに」というテーマで最終講義を行いました。

講義では南谷先生から略歴、研究内容、北海道との関わりなどについて当時を振り返りながら様々なエピソードを交え、楽しく、また分かりやすく説明があり、出席した教職員・学生約50名は大変興味深く南谷先生のお話を聞いていました。

■教員人事 退職(平成26年3月31日) 南谷 晴之 教授



CONTENTS

学長メッセージ・学事日程 ……	1	入試情報・オープンキャンパス ……	5
イベント ……	2	就職・進学 ……	6
大学間連携・高大連携・地域連携 ……	3	財務情報 ……	7
教育・研究・学生活動 ……	4	法人情報 ……	8

Volume 34

千歳科学技術大学報

平成26年7月31日



CIST News



発行／学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>

千歳科学技術大学学報・学長メッセージ

「理工学の科技大」

本学では来年度から学部名称を「理工学部」とする予定で手続きを進めています。

開学以来、先端技術としての「光科学」、「フォトンクス」を特徴とし、学部名称にも「光科学」を冠してきましたが、開学から16年を過ぎた現在、光科学は先端分野だけではなく、広く技術の裾野にまで広がり、基幹技術の様相を呈しています。

開学の頃は先端技術と考えられていた「立体ディスプレイ」、「新型光デバイス」、「家庭までの高速光通信」などの多くがすでに実用化され、店頭で手に入る物も少なくありません。

もちろんこれからも最先端のナノテク、医療応用、電子・通信、情報システムなどの分野で、「光科学」と言うスパイスのきいた教育研究が本学の特徴に違いありませんが、上記分野を「光科学」という言葉だけで表すのは外部の方からはわかりにくい、と言う声を多くいただいています。このような状況を元に、開学当時佐々木初代学長が唱えられていた「サイエンスをベースに実用技術まで一体での教育を実践する、真の理工融合を目指す」原点に立ち返り、建学精神「人知還流」の始点である、すぐれた人材や研究成果を社会に輩出しようと学内が一致した次第です。

OBの皆さんや、これまで応援いただいていた関係各位には「光科学」が表に出ない寂しさを感じられるかもしれませんが、本学がさらに大きく発展するためにご理解をいただき、今後もう一層のご支援をお願いする次第です。



千歳科学技術大学 学長

川瀬 正明

学事日程

4月	<ul style="list-style-type: none"> ■入学式・オリエンテーション(1年生) ■ガイダンス(2~4年生) ■春学期開講 ■定期健康診断 ■受講科目履修登録 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ■光の記念日(19日) ■秋学期開講 ■校輝祭 ■第3回オープンキャンパス 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ■卒業論文提出(4年生) ■秋学期授業終了 ■秋学期定期試験
6月	<ul style="list-style-type: none"> ■開校記念日(6日) ■第1回オープンキャンパス 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ■成績通知(春学期分) ■佐々木記念賞授与式 ■父母懇談会 ■千歳光科学国際フォーラム 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ■卒業論文最終発表(4年生) ■春期休業 ■学内業界研究セミナー
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■輪講発表(4年生) ■春学期定期試験 ■春学期授業終了 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ■第4回オープンキャンパス 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ■成績通知(秋学期分) ■学内企業研究セミナー ■学位記授与式
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■夏期休業 ■インターシップ ■第2回オープンキャンパス 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■冬期休業 		

Event イベント

平成26年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙りました

平成26年4月5日(土)、本学講堂において平成26年度千歳科学技術大学・大学院入学式が挙られ、学部生165名、大学院生17名、計182名が新たな一歩を踏み出しました。ご多忙にもかかわらず、多くのご来賓・ご父母のご臨席を賜り、式は午前10時から始まりました。

式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して総合光科学部1年生の新家悠介さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式の終了後は、引き続き保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。川辺豊学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学習、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



1年生交流会を実施



平成26年4月2日(水)に1年生交流会が実施されました。この交流会は、新入生がグループワーク等を通じて交流することによって、友達づくりや早く学生生活に慣れてもらえるよう、さらにクラスアドバイザー(教員)も参加することにより、気軽に相談できる関係づくりの機会となるよう、毎年実施しております。開催内容はオリエンテーション、グループワーク(工作とコンテスト)、クラブ・サークル紹介で、グループワークでは、今年度のテーマである「クリップモーター」について共同で工作作業を行い、その成果を競いあいました。初対面の新入生同士が工作作業を通じて話すきっかけができ、大変有意義な会となりました。

同窓会総会を開催しました

平成26年6月28日(土)に平成26年度同窓会総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告、収支決算が報告され、さらに今年度の事業計画や予算を審議しました。その中で、特に学生団体への助成制度の確立など、今後の同窓会活動の更なる充実に向けて活発な意見交換がなされました。

大学キャンパス内で桜の植樹を行いました



平成26年5月10日(土)に、駒里地区住民からなる「桜の駒里」計画推進委員会(玉置連会長)メンバーと本学「エコサークル」・「菜園サークル」の学生および教職員が、大学キャンパス内に桜の苗木100本を植樹しました。本学での植樹活動は昨年春にスタートし、今年は2年目となります。

同推進委員会では、将来的に本学を起点に駒里・安平に繋がる道内一の桜並木になることを目指しています。

ドイツ連邦共和国大使館公使の クラウス・アウアー氏が本学で講演しました

平成26年5月14日(水)にドイツ連邦共和国大使館駐日公使のクラウス・アウアー氏が来学され、本学学生や教職員を対象としてご講演い

ただきました。講演では「エネルギーシフト」と題して、ドイツのエネルギーシフト政策についてお話しいただきました。

現代社会が抱える大きな課題であるエネルギー問題に関わる外国の政策について、直接その国の公使からお話を聞くことができる貴重な機会であり、聴講した多数の学生や教職員は熱心に聞き入っていました。また、講演後には電力の安定供給や産業界の反響などについてさまざまな質問が寄せられ、盛況のうちに講演を終えました。



タイ王国ラーチャパット大学から 教職員が来訪しました

平成26年5月30日(金)にタイ王国バーンソムデットチャオプラー・ラーチャパット大学から教職員85名が来訪しました。

当日は川辺豊学部長から大学概要について説明を受けた後、6つの研究室を訪問し、研究内容や今後の課題などについて熱心に質問していました。本学においてタイ王国からの訪問は今回が初めてです。



千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」に認定されました

本学は、昨年度における電力量やLPG量の削減などの環境負荷低減についての取り組みが、千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」の審査基準に適合していることが認められ、千歳市より認定証(継続認定)およびCO₂排出削減証明書が交付されました。

認定証の有効期間は、平成26年7月1日から平成27年6月30日までとなります。本学における平成25年度のCO₂排出量は1,345,293kgであり、前年度比75,572kg(5.4%)の削減を達成しました。

今年度も環境負荷低減についての取り組みを継続し、「ECOちとせ」認定期間の更新を目指します。



Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

北海道苫小牧総合経済高等学校、北海学園札幌高等学校、北海道追分高等学校と 高大連携協定を締結しました

北海道苫小牧総合経済高等学校(土井博之校長)、北海学園札幌高等学校(大西修夫校長)、および北海道追分高等学校(三浦勉校長)と高大連携協定を締結しました。

今回の3校との締結により、高大連携校は52校となりました。

協定締結日

平成26年3月27日(木) 北海道苫小牧総合経済高等学校

平成26年7月 9日(水) 北海学園札幌高等学校

平成26年7月25日(金) 北海道追分高等学校



苫小牧総合経済高等学校・土井校長(左) 川瀬学長(右)



北海学園札幌高等学校・大西校長(左) 川瀬学長(右)



追分高等学校・三浦校長(左) 川瀬学長(右)

平成26年度 第1回高大連携研究会 を開催しました

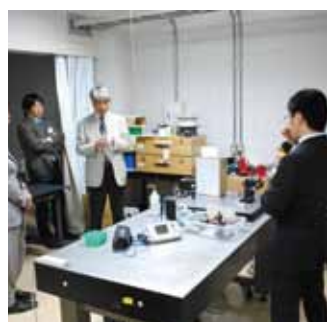
今年度第1回目となる高大連携研究会を5月10日(土)に本学で開催しました。

今回の研究会では、午前は本学からの今年度の高大連携事業についての説明、各学科紹介および各学科で行われる高大連携プロジェクトの説明を行いました。

午後は各連携校からeラーニング活用事例、計画の報告をいただき、その後の分科会ではeラーニング学習管理システムの講習会と「光ファイバ通信実験」の体験プログラムを行いました。

研究会には、本学の連携校ならびに連携を検討している道内高等学校31校より33名の教員の参加がありました。

当日の研究会の詳細は後述のとおりです。



千歳科学技術大学 平成26年度第1回高大連携研究会

■日時/平成26年5月10日(土)10:30~

■会場/千歳科学技術大学本部棟、10周年記念棟、研究実験棟

- 10:30~ 開会挨拶
学長 川瀬 正明
- 10:35~10:45 学部・学科名称の変更について
学長 川瀬 正明
- 10:45~11:00 今年度の高大連携事業概要について
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 准教授 今井 順一
- 11:00~11:30 「高大連携プロジェクト2014」について
○自然科学プロジェクト(バイオ・マテリアル学科)
○光サイエンスプロジェクト(光システム学科)
○情報プロジェクト(グローバルシステムデザイン学科)
- 11:30~11:45 本学教職課程について
教職課程担当 教授 青塚 健一
- 11:45~11:55 札幌日本大学高等学校SSH講座との連携について
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科 教授 長谷川 誠
- 11:55~12:10 eラーニングシステムについて
情報・メディア課 課長 大河内 佳浩
- 12:10~12:20 高大連携事業に関する募集方法及び特待生制度について
教育連携推進課 課長 大沼 友一郎
- 13:30~15:15 各連携校利用状況・利用計画報告
- 15:15~15:30 会場移動・休憩
- 15:30~17:00 分科会
○eラーニング・学習管理システム活用講習会
総合光科学部グローバルシステムデザイン学科
専任講師 石田 雪也
○光ファイバ通信実験体験プログラム
総合光科学部光システム学科長 教授 山中 明生
- 17:00 閉会

平成26年度第1回・第2回公開講座を開催しました

【第1回公開講座】

日時：平成26年6月14日(土) 14:30～16:30

会場：千歳市民文化センター 3階 視聴覚室

後援：千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム

演題：「大学教育におけるキャリア教育の重要性～昨今の大学教育とICT活用～」

講師：石田雪也(総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科 専任講師)

講演では、大学を取り巻く環境の変化とそれに伴う大学教育の変化、卒業後に社会に出るにあたり求められる力(社会人基礎力)とそれに適えるため大学で行っているキャリア教育などについて、本学での例を交えながら説明を行いました。

また講座の終わりには、就職試験でよく用いられているSPIという試験を3問ほど用意し、来場者の皆様にも体験してもらい、盛況のうちに講座を終了いたしました。

当日は千歳市内をはじめ、室蘭市、札幌市などから27名の参加者に受講いただきました。

【第2回公開講座】

日時：平成26年7月19日(土) 14:30～16:30

会場：千歳市民文化センター 3階 視聴覚室

後援：千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム

演題：女性として生きること：『めぐりあう時間たち』にみる作家ヴァージニア・ウルフ

講師：金井彩香(千歳科学技術大学 総合光科学部 専任講師)

講演では、まず作家ヴァージニア・ウルフの家族とその人生から根底にある価値観や考えについて考察しました。次に映画『めぐりあう時間たち』の概要やストーリーについて簡単に触れ、ウルフを含む主要人物3名それぞれを描いた一幕を紹介するとともに、その中に隠された3名の共通点やテーマについて説明を行いました。

当日は千歳市内をはじめ、室蘭市、苫小牧市、北広島市などから37名の参加者に受講いただき、盛況のうちに講座を終えました。



eカレッジ講習会を実施しました

平成26年6月22日(日)、本学において平成26年度eカレッジ講習会を開催しました。

eカレッジとは、千歳市教育委員会主催のもと本学が連携協力し、市内の小中学生から希望者を募り、eラーニングシステムを学習に役立ててもらうことにより基礎学力向上を図る家庭学習支援事業です。

eラーニングシステムは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができるシステムであり、今回の講習会では、本学総合光科学部グローバルシステムデザイン学科の石田雪也講師が基本的な使い方を説明しました。

本講習会は、初めてeラーニングシステムを利用される方にもスムーズに利用いただくために毎年開催しております。



Education, Research and Student activity 教育・研究・学生活動

本学大学院生が(財)慶応工学会給費奨学生に採用されました

本学大学院光科学研究科の田中汰久治さん(博士前期課程2年)が、平成26年度財団法人慶応工学会給費奨学生に採用され、7月23日(水)に給費奨学金授与証書が授与されました。この奨学金制度は、全国の理工系大学院生を対象に募集され、採用されると年額36万円(1年間)支給されます。



本学大学院生が第34回日本骨形態計測学会若手研究者賞を受賞しました

本学大学院生の伊藤哲平さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程指導教員：木村廣美 教授)が、第34回日本骨形態計測学会において若手研究者賞を受賞しました。

またそれに伴い、6月13日(金)に札幌で開催された同学会において口頭発表とポスター発表を行いました。

演題名：赤外イメージングを用いた仮骨におけるコラーゲン配向性の評価
演者：1)伊藤 哲平、2)清水 智弘、2)高畑 雅彦、3)木村-須田 廣美

- 1)千歳科学技術大学大学院 光科学研究科
- 2)北海道大学医学研究科 整形外科
- 3)千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科



木村教授(左)と伊藤さん(右)

平成26年度 在学生対象特待生認定式を行いました

平成26年4月22日(火)、平成26年度在学生対象特待生認定式を行いました。

在学生対象特待生制度は今年度創設された制度で、学部3年生及び4年生の各学科の成績優秀者1名を特待生として認定し、授業料等の減免を行うものです。

認定式では川瀬学長から認定通知書が手渡された後、激励の言葉が贈られました。



【在学生対象特待生制度について】

対象者：学部3年生、4年生の各学科成績優秀者1名

(3年生は1～2年次の成績、4年生は3年次の成績により選考します。)

3年生で特待生として認定された場合でも、成績により4年生で再度特待生として認定される可能性があります)

減免後の授業料等：年間70万円(減免期間は1年間)

下村教授が高分子学会賞を受賞しました

本学バイオ・マテリアル学科の下村政嗣教授が「平成25年度 高分子学会賞」(技術)を受賞しました。

この賞は公益社団法人高分子学会が主催するもので、高分子科学および技術の進歩を図るため、独創的かつ優れた業績を挙げた会員を対象としてその功労を顕彰するものです。

今年度は、5月28日(水)～30日(金)に名古屋で開催された「第63回高分子学会年次大会」において授賞式が行われました。

受賞研究題目：ハニカムフィルムの生産技術とその応用

受賞者：山崎英数・小橋創一・伊藤晃寿(富士フィルム(株))、居城邦治(北海道大学)、下村政嗣



授賞式の様子

本学学生が第53回富士フィルム フォトコンテストで優秀賞を受賞しました

本学写真部の新家浩平さん(バイオ・マテリアル学科3年)が、第53回富士フィルムフォトコンテスト ネイチャーフォト部門において優秀賞を受賞しました。

今後も精力的に活動していきます。



第23回YOSAKOIソーラン祭り セミファイナル審査優秀賞を受賞しました

平成26年6月4日(水)～8日(日)の5日間にわたり開催された「第23回YOSAKOIソーラン祭り」に、旭川の「遊～すさび～」との合同チーム「遊～すさび～&光一天」として本学YOSAKOIソーラン部が出場しました。

皆さまから多くのご声援をいただき、セミファイナル審査優秀賞を受賞することができました。今後も様々なイベントに参加し演舞を披露してまいります。



エコサークルの学生が 大学周辺の清掃活動を行いました

平成26年5月27日(火)、エコサークルの学生が大学周辺道路(南千歳駅から大学付近へと続く市道)の清掃活動を行いました。

放課後の限られた時間での活動でしたが、軽トラックの荷台がいっぱいになるほどのゴミが集まりました。

エコサークルでは定期的に大学周辺の清掃活動を行っており、次回は千歳湖周辺の清掃活動を行う予定です。



Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成26年度第1回オープンキャンパスを開催

平成26年第1回目となるオープンキャンパスを6月22日(日)に開催しました。当日は101名の参加者が大学紹介、在学生との交流会、研究室見学等に参加し、本学についての理解を深めていました。また今回初めて、学生プロジェクトチーム「理工工房」による科学教室が開催され、和やかな雰囲気の中で、実験を体験する機会が設けられました。

今年度のオープンキャンパスは、今後以下の日程で開催いたします。道内各地より無料送迎バスを運行いたしますので、お友達、ご家族お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

■第3回 9月28日(日) ■第4回 11月2日(日)



Course 就職・進学

キャリア形成プログラム(就職支援体制)

本学では、学生のキャリアアップを支援するため、1年次より「キャリア形成プログラム」を開講しています。1・2年次は、学生生活をどのように過ごし、「社会人基礎力」を身につけていくか、目標と手段を明確にし、実践する、という内容を正課の授業として開講しています。3年次/博士前期1年次には、業界研究、企業研究を進めるための企業人講話、OB・OG対話を実施するとともに、就職活動で必要となる筆記試験対策、履歴書対策、面接対策、グループディスカッションなど実践的な内容を実施しています。

今年度は以下のカリキュラムで学生のキャリア支援を行っています。

学部1年	
春学期	・大学生生活の過ごし方 ・人間力に関するガイダンス ・グループワーク ・文章力講座 など
秋学期	・企業によるガイダンス(職業理解) ・学科選択に向けたガイダンス ・内定した学生による就活体験談 など

学部2年	
春学期	・目標設定 ・業界、企業の情勢と本学の就職状況についての理解 ・文章力講座 など
秋学期	・各種スキルアップ講座 (日本語力、英語力、プレゼンテーション能力 など) ・企業見学ツアー、学内業界研究セミナー など

学部3年 / 博士前期1年	
4月	・ガイダンス ・業界、企業研究 ・筆記試験模試
5月	・領域グループワーク ・企業人講話 ・筆記試験対策講座
6月	・インターンシップガイダンス ・自己分析講座 ・就職活動マナー講座
8月	・インターンシップ実施
9月	・企業研究 ・履歴書、エントリーシート対策
10月	・進路調査票提出 ・インターンシップ成果発表会
11月	・OB・OG対話 ・面接対策講座 ・企業人事担当者からのガイダンス
12月	・内定した学生による就活体験談 ・進路決定に向けてのガイダンス ・個人面談
1月	・OB・OG対話 ・企業へのアプローチ ・就職活動の進め方、ルール
2月	・学内業界研究セミナー
3月	・学内企業研究セミナー

学部4年 / 博士前期2年	
4月以降	・ガイダンス ・履歴書、エントリーシート添削 ・模擬面接 ・学内合同企業説明会 ・学内個別企業説明会兼選考会 ・個別就職相談 ・内定者フォローセミナー

インターンシップ

夏期休業期間を利用し実施するインターンシップは、学部3年生が約半年後から始まる就職活動に備え、勤労観や職業観を養うことを目的とし、企業等の現場を直接体験できる貴重な機会です。

本学では第1期生より実施しており、平成15年度からキャリア教育を強化すべく、インターンシップを単位化しております。キャリアセンターでは学生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをよりいっそう強化しています。

今年度は66事業所に110名の学生を派遣し、学生の参加率は約53%となっています。

道内・千歳市内

- 株式会社エルス
- 株式会社カミノ
- キリンビール株式会社北海道千歳工場
- 株式会社ダイナックス
- 株式会社ダイヘン千歳工場
- 株式会社ダスキンプロダクト北海道
- 千歳印刷株式会社
- 千歳市
- 社会福祉法人千歳市社会福祉協議会
- 千歳市立図書館
- 千歳市内小学校(5校)
- 千歳市内中学校(1校)
- 一般社団法人日本血液製剤機構千歳工場
- フォトリックサイエンステクノロジー株式会社
- 北海道ガス株式会社千歳支店
- 北海道日興電気通信株式会社 他

道内・その他

- 株式会社iD
- 株式会社エスイーシー
- 株式会社協和エクシオ北海道支店
- 株式会社札幌ネクシス
- サッポロビール株式会社北海道工場
- 株式会社GSI
- 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア
- ダイホク工業株式会社
- 中央コンピューターサービス株式会社
- 株式会社つうけん
- 株式会社つうけんアドバンスシステムズ
- 東芝ホクト電子株式会社
- トヨタカローラ道北株式会社
- 日生バイオ株式会社
- 株式会社北海道産直センター
- 旭川実業高等学校
- 社会福祉法人北海道リハビリ
- 美和電気工業株式会社札幌支店
- 室蘭まちづくり放送株式会社
- 株式会社モロオ
- 陸上自衛隊真駒内駐屯地 他

道外

- 株式会社エム・ソフト
- 大井電気株式会社水沢製作所
- 長田電機工業株式会社
- 株式会社湘南光学工業所
- スタック電子株式会社
- 株式会社ニッセイコム
- 日本アルゴリズム株式会社
- 株式会社日本コンピュータ開発
- 日本通信エレクトロニクス株式会社
- ネッツエスアイ東洋株式会社
- 株式会社ハイマックス
- 富士アイティ株式会社
- 株式会社フジキン
- 株式会社芙蓉ビデオエージェンシー 他

Financial statements 財務情報

貸借対照表 ※平成26年3月31日現在

資産の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,623,206	9,758,663	△ 135,457
有形固定資産	5,950,638	6,142,444	△ 191,806
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	2,195,685	2,264,523	△ 68,838
その他の有形固定資産	759,937	882,905	△ 122,968
その他の固定資産	3,672,568	3,616,219	56,349
流動資産	1,324,144	1,332,381	△ 8,237
現金預金	1,288,565	1,286,355	2,210
その他の流動資産	35,579	46,026	△ 10,447
合計	10,947,350	11,091,044	△ 143,694

負債の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	106,188	115,758	△ 9,570
流動負債	276,593	309,890	△ 33,297
合計	382,781	425,648	△ 42,867

基本金の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	11,043,991	11,319,386	△ 275,395
第4号基本金	121,792	121,792	0
基本金の部合計	11,165,783	11,441,178	△ 275,395

消費収支差額の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 601,214	△ 775,782	174,568

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
合計	10,947,350	11,091,044	△ 143,694

消費収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

当該会計年度の学生納付金等の「帰属収入」から、当該会計年度における「基本金に組入れる額」を控除した消費収入と人件費・教育研究費等の「消費支出」との均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

消費収入の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,249,928	1,248,606	1,322
手数料	10,835	10,982	△ 147
寄付金	8,068	9,512	△ 1,444
補助金	200,656	226,545	△ 25,889
国庫補助金	200,569	226,475	△ 25,906
地方公共団体補助金	87	70	17
資産運用収入	41,468	39,760	1,708
事業収入	191,579	205,669	△ 14,090
雑収入	22,964	26,213	△ 3,249
帰属収入合計	1,725,498	1,767,287	△ 41,789
基本金組入額合計	△ 82,470	0	△ 82,470
消費収入の部合計	1,643,028	1,767,287	△ 124,259

消費支出の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費	754,014	744,915	9,099
教育研究経費 (内減価償却費)	885,262	825,638	59,624
管理経費 (内減価償却費)	238,089	226,194	11,895
	11,792	12,116	△ 324
予備費	(5,000)		
	0		0
資産処分差額	0	70,688	△ 70,688
徴収不能引当金繰入額	0	679	△ 679
消費支出の部合計	1,877,365	1,868,114	9,251

帰属収支差額	△ 151,867	△ 100,827	△ 51,040
帰属収支差額比率	△ 8.8	△ 5.7	△ 3.1
当年度消費支出超過額	234,337	100,827	
前年度繰越消費支出超過額	775,781	775,781	
基本金取崩額	0	275,394	
翌年度繰越消費支出超過額	1,010,118	601,214	

資金収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応する全ての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

資金収入の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,249,928	1,248,606	1,322
手数料収入	10,835	10,982	△ 147
寄付金収入	4,991	6,141	△ 1,150
補助金収入	200,656	226,545	△ 25,889
国庫補助金収入	200,569	226,475	△ 25,906
地方公共団体補助金収入	87	70	17
資産運用収入	41,468	39,760	1,708
資産売却収入	0	53	△ 53
事業収入	191,579	205,669	△ 14,090
雑収入	22,964	26,213	△ 3,249
前受金収入	176,571	145,608	30,963
その他の収入	333,288	1,201,507	△ 868,219
資金収入調整勘定	△ 181,289	△ 213,008	31,719
当期資金収入合計	2,050,991	2,898,076	△ 847,085
前年度繰越支払資金	1,286,355	1,286,355	
収入の部合計	3,337,346	4,184,431	△ 847,085

資金支出の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	752,158	740,769	11,389
教育研究経費支出	659,787	619,325	40,462
管理経費支出	226,297	214,069	12,228
施設関係支出	7,119	9,021	△ 1,902
設備関係支出	83,227	81,671	1,556
資産運用支出	73,827	923,074	△ 849,247
その他の支出	356,712	381,385	△ 24,673
予備費	(5,000)		
	5,000		5,000
資金支出調整勘定	△ 93,411	△ 73,448	△ 19,963
当期資金支出合計	2,070,716	2,895,866	△ 825,150
次年度繰越支払資金	1,266,630	1,288,565	△ 21,935
支出の部合計	3,337,346	4,184,431	△ 847,085

法人情報

※平成26年7月1日現在

理事長

氏名	職名
伊澤 達夫	(学)千歳科学技術大学 理事長

理事

氏名	職名
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 総合光科学部長
小林 光	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授
佐々木 慎也	千歳科学技術大学 光科学研究科長
橘 滋夫	(株)日立製作所 北海道支社長
田原 米起	(株)つうけん 取締役会長
山口 幸太郎	千歳市長
渡邊 信幸	(学)千歳科学技術大学 専務理事

監事

氏名	職名
新谷 俊一	元千歳市代表監査委員
檜森 聖一	(株)北海道二十一世紀総合研究所 代表取締役社長

■教員人事

採用 平成26年 4月1日 下村 政嗣 教授
 平成26年 4月1日 曾我 聡起 教授
 平成26年 4月1日 吉本 直人 教授
 平成26年 4月1日 高田 知哉 准教授

評議員

氏名	職名
赤羽 正雄	信州大学 名誉教授
石田 宏司	千歳科学技術大学 名誉教授
江原 カンナ	(株)NTTデータMSE
小川 真	(株)ダイナックス 取締役執行役員
小谷 泰久	一般財団法人 光産業技術振興協会 専務理事
表 忠明	千歳科学技術大学 事務局長
Olaf Karthaus	千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科長
川瀬 正明	千歳科学技術大学 学長
川辺 豊	千歳科学技術大学 総合光科学部長
菊田 直哉	医療法人社団大蔵会 札幌佐藤病院
小柴 正則	北海道大学 キャリアセンター長・特任教授
佐々木 慎也	千歳科学技術大学 光科学研究科長
杉岡 正三	北ガスジェネックス(株) 代表取締役社長
杉本 正和	(株)デンソー北海道 取締役社長
高橋 正和	千歳市総務部税務課
増子 洋行	(有)マスコシステムズ 代表取締役
三ツ野 仁	(株)共立鉄工所 代表取締役
三野 耕一	(株)協和エクシオ NTT事業本部 NTT営業本部長
山田 範保	北海道電力(株) 元常務取締役札幌支店長・囃託
山中 明生	千歳科学技術大学 光システム学科長
山林 由明	千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科長
矢満田 恵三	セイコーエプソン(株) ビジュアルプロダクツ事業部 VP総務部 部長
渡邊 信幸	(学)千歳科学技術大学 専務理事

(五十音順)

新しく赴任された先生からメッセージをいただきました

バイオ・マテリアル学科に赴任



下村 政嗣 教授

自然を学び、生物に学ぶ：
技術革新を担う人材育成

4月にバイオ・マテリアル学科に着任しました。資源やエネルギーが制約された環境条件のもとで、今、我が国の科学技術は持続可能性に向けた新たな展開が求められています。生物の多様性は、長い進化の過程において環境に適応した結果であり、その背景には「光エネルギーを基盤とする物質循環型技術」ともいべき戦略があります。生物に学ぶことで、人類が抱える問題解決に向けたパラダイム変換が可能です。光科学を特徴とし、豊かな自然に囲まれた本学において、生物学と工学に通じた人材の育成に寄与できればと思っています。

グローバルシステムデザイン学科に赴任



曾我 聡起 教授

学生と切り開く
PostPC時代

4月から着任し、早速、千歳科学技術大学の素晴らしい教育・研究環境で、新入生や3年生の皆さんと共に過ごさせて頂いております。現在、タブレットやスマートフォンなどの携帯情報端末を用いたPostPC時代の社会における応用情報処理などについて研究しています。この春学期には、システムデザインプロジェクトという授業でGPSを用いた観光情報を受発信するデータベースシステムを学生さんと一緒に開発するなど、小さいながらも成果が出始めました。これからも学生さんと一緒に楽しく研究していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

光システム学科に赴任



吉本 直人 教授

学生の創意・感性を
地域活性化に繋げたい

この4月に着任しました吉本です。道産子です。26年ぶりに戻って参りました。前職のNTT研究所では、一貫して光デバイス・ネットワークの分野に携わってきました。日本では、各家庭まで光サービスを楽しむことができる世界一の光アクセス網があります。今後は、この貴重な社会インフラを活用し、エネルギーや物流、交通インフラとの協調連携を目指した研究テーマへの取り組みを通じて、学生のみならずの創意・感性を伸ばし、また社会や産業の発展、北海道地域の活性化に貢献していきたいと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。

バイオ・マテリアル学科に赴任



高田 知哉 准教授

理想的な環境で
学問を楽しむ

今年度より本学に着任いたしました高田と申します。前任校は高等専門学校で、物理化学・化学工学およびそれらの関連科目を教えてきました。現在の主な研究分野は炭素材料化学で、特にナノカーボン材料の化学反応とその工学的応用を研究しています。着任して数ヶ月経ちましたが、本学は学問をするには理想的な環境だと感じています。学生の皆さんには、この環境で存分に学問を楽しんでほしいと思います。私もこれから、学生諸君の成長に貢献できるよう、教育研究に全力で取り組んで参ります。よろしくお願いたします。

CONTENTS

第16回稜輝祭(大学祭)開催……………	1	大学間連携・高大連携・地域連携 ……	4
ニュース・イベント……………	2	就職・進学……………	6
教育・研究・学生活動……………	2	入試情報・オープンキャンパス……………	8

Volume 35

千歳科学技術大学報

平成26年11月30日



CIST News



発行/学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ <http://www.chitose.ac.jp> ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>



第16回稜輝祭(大学祭)を開催しました

平成26年9月19日(金)、20日(土)に稜輝祭実行委員会主催による第16回稜輝祭(大学祭)を開催しました。

今年は、大学そのものを地域の皆様やご来場の皆様により身近に感じてほしいという願いを込め、「ふれ愛」というテーマが掲げられました。

模擬店、公開講座、女装コンテストやYOSAKOIソーラン演舞といった学生団体のイベントをはじめ、縁日、移動動物園や大画面を使用したゲーム大会などお子さま向け催しもあり、ご家族で楽しめる姿が多くみられました。さらに、「市原」「エハラマサヒロ」「U字工事」によるお笑いライブで会場の熱気は最高潮に達しました。

当日は、多くの方にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。また、稜輝祭の企画・運営にあたり、ご協力賜りました各方面の皆様方に厚く御礼申し上げます。



YOSAKOIソーラン演舞



模擬店



模擬店



お笑いライブ「U字工事」



お笑いライブ「エハラマサヒロ」



お笑いライブ「市原」



学生ライブ



理科工房の出演



移動動物園

News and Event ニュース・イベント

第15回千歳光科学国際フォーラム (CIF'15)を開催しました



本年度で第15回目を迎える千歳光科学国際フォーラムは「Nanotechnology - From Synthesis to Devices」をテーマとして三つのセッション、そして特別講演として東京理科大学学長の藤嶋昭氏を招聘し、10月2日(木)、3日(金)の2日間に渡り開催されました。

三つのセッションでは国外から2名、国内から10名の研究者を招聘し、それぞれの研究分野において活発な意見が交換されました。

藤嶋昭氏による特別講演会では「TiO₂光触媒とダイヤモンドによるCO₂還元」のタイトルで光触媒の性質を解説するとともに、これまでの研究成果をご講演して頂き、約300名の方々が熱心に耳を傾けていました。

3日にはポスターセッションが開催され、本学の学部生、大学院生や北大の研究者らが自身の研究について熱心に発表し、国外からの研究者とも活発に意見を交換していました。

千歳市民納涼盆踊り大会に参加しました

平成26年8月20日(水)に開催された千歳市民納涼盆踊り大会に参加いたしました。

千歳市産業振興部の皆様の列に加えていただき、稜輝祭実行委員会やYOSAKOIソーラン部の学生たち9名とともに、大学や大学祭「稜輝祭」のPRを行いました。



平成26年度父母懇談会を開催しました



個別相談の様子



講演の様子

平成26年10月25日(土)、本学において平成26年度父母懇談会が開催され、約140名の皆様にご参加いただきました。

午前10時30分より、大講義室で「全体説明会」および「就職について」の説明を各担当教員より行い、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。

その後会場を移し、「学習指導・学生生活について」と「大学生にみられる困り感について」の説明・講演を行いました。

午後からは、「学習・生活個別相談」と「就職セミナー(就職情報会社による講演、就職個別相談、内定学生による就活体験報告会)」を同時に開催しました。

個別相談では学生一人ひとりの成績や大学生活の様子、就職状況など参加者の皆様が目撃疑問や不安に思っていることについて、担当教職員が回答いたしました。

また、就職セミナーでは、株式会社ジェイ・ブロード 北海道支社長 前田 健郎 氏による講演や内定学生から就職活動について生の声が聞けるといことで、多くの方が参加されました。

アンケート結果においても「安心しました。先生もよく子供の事を見ていてくれる様子が良くわかりました」「今の就職についてよくわかり、大変ためになりました。今回の1番の収穫になりました」などのお言葉をいただき、参加された皆様にご満足いただけたようです。次年度も開催を予定しておりますので、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

Research, Education and Activity 教育・研究・学生活動

平成26年度「私立大学等改革総合支援事業(タイプ1・タイプ2)」に選定されました

本学は、私立大学等改革総合支援事業の支援対象校に選定されました。私立大学等改革総合支援事業は、文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団と共同で実施されている事業で、教育の質的転換、地域発展、産業界・他大学との連携、グローバル化などの改革に全学的・組織的に取り組む私立大学等に対して、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援することを目的としています。

支援対象校の選定は4つのタイプ毎に行われ、本学はタイプ1「教育の質的変換」(申請校706校中、314校が選定(選定率44%)とタイプ2「地域発展」(申請校499校中、155校が選定(選定率31%)において、選定されました。

私立大学等改革総合支援事業の支援対象校においては、私立大学等経常費補助金の増額のほか、取り組みの実施に必要な設備費がある場合は補助対象となり、本学では、学生自身が積極的に学ぶ姿勢を身に付けるための学習環境の構築として、可動式の机や椅子、ホワイトボード等を主とする設備を今年度中に導入し、学習環境の整備を図ってまいります。

第16回佐々木記念賞授賞式を実施しました

平成26年10月6日(月)に第16回佐々木記念賞の授賞式を行い、5名と1団体に表彰状と副賞の贈呈を行いました。

奨励賞

学部2・3年生の学業成績優秀者に贈呈

- 手島駿さん(バイオ・マテリアル学科3年)
- 熊谷圭祐さん(光システム学科3年)
- 藤井佑梨奈さん(グローバルシステムデザイン学科3年)

貢献賞

クラブ活動や学外活動において功績があった者に贈呈

- YOSAKOIソーラン部
- 新家浩平さん(バイオ・マテリアル学科3年)

学術賞

大学院生の学業成績優秀者、顕著な研究業績を修めた者に贈呈

- 吉井達也さん(光科学研究科博士前期課程2年)



左から手島さん、熊谷さん、藤井さん、川瀬学長、金井さん(YOSAKOIソーラン部)、新家さん、吉井さん

本学の学生が平成26年度北海道高分子若手研究会優秀ポスター賞を受賞しました

本学大学院生の伊藤哲平さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程 指導教員:木村廣美 教授)が、平成26年8月29日(金)~30日(土)に札幌で開催された平成26年度北海道高分子若手研究会において、優秀ポスター賞を受賞しました。



この賞は同研究会における59件のポスター発表の中から優秀な発表に対して授与されました。

演題:ラット大腿骨のコラーゲン線維配向性の解析
 演者:○伊藤哲平・佐々木了平・金沢恭祐・木村・須田廣美

本学奨学生認定証授与式が行われました

11月4日(火)に平成26年度千歳科学技術大学奨学生認定証授与式が行われました。

この制度は、経済的に修学が困難な学生に対して本学が奨学金を給付する制度で、今年度は7名の学生が奨学生として採用されました。この奨学金制度は年額24万円(1年間)給付されます。

平成26年度教育実習協議会を開催しました

教育実習協議会を平成26年10月31日(金)に本学で開催しました。

教育実習協議会では、地元千歳市教育委員会、千歳市内中学校の他、教育実習受入校の先生方等に

お集まりいただき、本学教職課程の実施報告や教育実習を終了した学生のアンケート結果報告及び教育実習報告を行いました。

また、教育実習受入各校等からは、教育実習を行った本学学生についての状況報告や本学実習生以外に関する教育実習生の現状等についても報告され、本学教員との活発な意見交換が行われました。



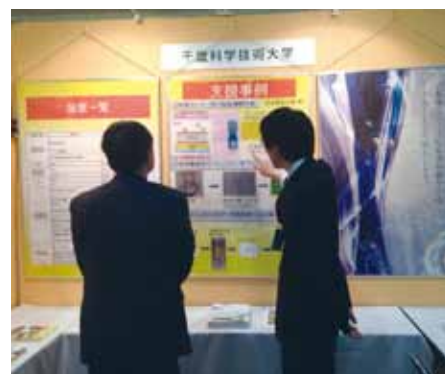
第28回ビジネスEXPOに出展しました

平成26年11月6日(木)、7日(金)の二日間にわたり、札幌市白石区のアクセスサッポロで「第28回ビジネスEXPO」が開催されました。これは北海道の企業または研究所・大学等の機関が持つ技術・商品を全道や全国に発信していく道内最大級の展示イベントで、本学は「ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)」などの関係機関とともに、研究開発を実施している新技術・新製品について毎年出展しています。

今回出展している研究開発は、大学が保有する最先端の技術を利用できる「ナノテクノロジープラットフォーム事業」、小林壮一教授が研究している医療・計測分野等に利用される「特殊光ファイバ」、青木広宙准教授が千歳市内の企業と共同研究しているペダルこぎ運動中の呼吸を3次元形状計測の技術で可視化する「非接触生体信号計測」の3事業です。

今回出展している研究開発は、大学が保有する最先端の技術を利用できる「ナノテクノロジープラットフォーム事業」、小林壮一教授が研究している医療・計測分野等に利用される「特殊光ファイバ」、青木広宙准教授が千歳市内の企業と共同研究しているペダルこぎ運動中の呼吸を3次元形状計測の技術で可視化する「非接触生体信号計測」の3事業です。

来場者からは、「自社製品の品質改善につながる」、「通信以外に利用できる光ファイバの相談先が見つかり新事業の展開ができる」などの声が聞かれ、研究開発の評判は上々でした。



KAGACによる 「教員免許状更新講習」を実施しました

本学では、平成21年4月から教員免許状更新制が導入されたことに伴い、金沢大学・東京学芸大学・愛知教育大学と連携し、「eラーニング教員免許状更新講習推進機構(KAGAC)」を設立し、各大学の強みを活かした多様で質の高い講習プログラムをeラーニングで提供する教員免許状更新講習を開講しており、今年度で6年目となります。今年度の更新講習には、全国から2,254名の方が受講されました。

なお、修了認定試験は、北海道(札幌市・旭川市・帯広市)、東京都(小金井市)、愛知県(刈谷市)、石川県(金沢市)、兵庫県(西宮市)の7会場で平成26年8月23日(土)に実施しました。

奨学金及び教育研究資金の寄付 に深く感謝申し上げます

本学の教育研究活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成26年4月1日から平成26年11月30日まで)

石 沢 淳 様	菅 原 敏 様	福 永 宗 碧 様
上 原 保 様	高 橋 和 敬 様	松 田 良 枝 様
落 合 美 和 子 様	武 山 め ぐ み 様	宮 下 紀 子 様
加 登 讓 様	長 尾 多 佳 子 様	村 松 弥 須 子 様
嘉 藤 理 江 子 様	中 村 彰 様	矢 萩 直 敏 様
木 下 隆 政 様	畠 山 淑 子 様	伊 澤 達 夫 様
渋谷 進一郎様	福 澤 恵 真 様	

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

北海道鷹栖高等学校、北海道富川高等学校、北見藤女子高等学校と高大連携協定を締結しました

北海道鷹栖高等学校、北海道富川高等学校、および北見藤女子高等学校と高大連携協定を締結しました。今回の3校との締結により、高大連携校は55校となりました。

協定締結日

平成26年 8月25日(月) 北海道鷹栖高等学校
平成26年10月31日(金) 北海道富川高等学校
平成26年11月14日(金) 北見藤女子高等学校



北海道鷹栖高等学校高村校長(左)川瀬学長(右)



北海道富川高等学校山崎校長(左)川瀬学長(右)



北見藤女子高等学校大坪校長(左)川瀬学長(右)

北海道教育大学と協力協定を締結しました



北海道教育大学本間学長(左)川瀬学長(右)

平成26年8月22日(金)、KKRホテル札幌において北海道教育大学(本間 謙二学長)と教員養成の高度化に関する協力協定を締結しました。

北海道教育大学は教員養成の専門大学として、将来教員を希望する道内私立大学の優秀な学生を集め、生涯にわたり教育の発展に寄与できる人材を育成する責務を有することから、このたび本学を含む、札幌大学、札幌大谷大学、札幌学院大学、札幌国際大学、道都大学、北海道情報大学、稚内北星学園大学と連携協定を締結しました。

この協定は本学において教職課程を履修している学生に、北海道教育大学の教員養成に係る高度な専門的研究力や実践力について学ぶ機会を提供することを目的としています。具体的には、同大学大学院教育研究科(修士課程)へ学外推薦特別選抜を通じて出願が可能となり、平成27年4月から入学することができます。

締結式には本学から川瀬正明学長が出席し、協定書に署名しました。

平成26年度 「第2回高大連携研究会」を開催しました

今年度第2回目となる
高大連携研究会を11月
15日(土)に札幌で開催
しました。

今回の研究会では、高大
連携事業の報告など大学
からの説明のほか、グルー
プA・B・Cに分かれてe
ラーニング中間利用報告
書をもとに各高校から事
例報告や大学への要望など活発な意見交換が行われました。また、終わりに本学グローバルシステムデザイン学科の学部生と大学院生による「高大連携とICT活用について」というテーマで研究発表があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

研究会には、本学の連携校ならびに連携を検討している道内高等学校31校から32名の教員の参加がありました。

当日の研究会の詳細は下記のとおりです。



〔千歳科学技術大学 平成26年度第2回高大連携研究会〕

- 日時:平成26年11月15日(土)14:00~
- 会場:アスティ45 16階 ACU 札幌市中央区北4条西5丁目

- 14:00 開会挨拶 学部長 川辺 豊
- 14:05~14:10 平成26年度高大連携事業の報告と予定
教育連携推進課長 大沼 友一郎
- 14:10~14:30 eラーニングシステムについて
情報・メディア課長 大河内 佳浩
- 14:30~15:00 高大連携事業について(高校での取組み事例)
北海道追分高等学校 教諭 今井 憲一氏
旭川実業高等学校 教諭 倉谷 学氏
- 15:20~16:20 グループ討議「高大連携事業について」
グループA・B・Cに分かれて意見交換
- 16:20~16:35 各グループからの報告
- 16:35~17:00 高大連携とICT活用について
グローバルシステムデザイン学科学部生・大学院生
(今井 順一研究室)による研究発表
- 17:00 終了

本学学生が 学習ボランティアを行いました

千歳市教育委員会からの依頼により教職課程を履修している学生44名(2年生~4年生)が7月28日(月)から8月20日(水)までの期間、千歳市内の11小学校、3中学校に学習ボランティアとして児童生徒の学習を各校2日間から5日間程度サポートしました。

サポート期間中、学生は実際に教室に入り、児童生徒に夏休みの宿題やプリントの解き方などを教えたり、理科実験のお手伝いをするなど熱心に取り組んでいました。

この学習ボランティアは現場で指導経験を積む絶好の機会であり、将来教員を目指す学生にとって貴重な体験となりました。また、学内においては教職科目の一環として位置付けています。

本学では今後も千歳市教育委員会と連携しながら学習ボランティア事業を推進していきます。

平成26年度第3回・第4回 公開講座を開催しました

〔第3回公開講座〕

- 日時:平成26年9月20日(土) 12:00~14:00
- 会場:千歳科学技術大学 本部棟1階 B102教室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールド
コンソーシアム
- 演題:「パナソニックの人工光合成技術~人工光合成で二酸化炭素をエネルギーに~」
- 講師:四橋 聡史 氏(パナソニック株式会社 R&D本部 先端技術研究所 主幹研究員)

講演では、現在日本や世界をとりまく環境・エネルギーの問題から講演テーマにもある人工光合成に着目した理由、どのようにして人工光合成を起こすのかその仕組み、実現に向けての課題と道のり、効率向上やメタン生成への現在までの開発状況とこれからの展望についてお話いただきました。

当日は千歳市内をはじめ、札幌市、登別市、苫小牧市、赤平市などから41名の参加者に受講いただき、盛況のうちに講座を終えました。



〔第4回公開講座〕

- 日時:平成26年10月26日(日) 14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールド
コンソーシアム
- 演題:炭素の科学~炭からナノカーボンまで~
- 講師:高田 知哉
(千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科 准教授)

講演ではまず、炭素を含む物質は非常に多く存在し、生物に欠かせないタンパク質や脂肪などの自然界にあるものからプラスチックなどの人工物まで身近にあるものの多くに含まれていること、「低炭素社会」など良くないイメージで用いられることの多い炭素という言葉への誤解について触れました。

さらに今回は炭素を主たる要素とする材料であるグラファイト(黒鉛)やダイヤモンド、ナノカーボンなどに着目し、それぞれの構造の違いについて、炭・活性炭の作られ方や構造の違いからくる能力(ろ過や消臭など)の違い、炭素化合物の電気伝導性とエジソン電球、新しい炭素材料・ナノカーボン材料(フラーレン・カーボンナノチューブ・グラフェンなど)の発見と構造についてと現在研究が行われている医学への応用について、またその際に考えられるリスクとどのように向き合うべきかなどについてお話いただきました。

当日は千歳市内をはじめ、室蘭市、恵庭市、赤平市などから33名の参加者に受講いただき、盛況のうちに講座を終えました。



理工工房が「青少年のための科学の祭典」に参加しました

〔札幌清田大会〕

- 日時:平成26年11月2日(日) ■ 会場:北海道平岡高等学校
- 展示:「LEDで光通信」「ペットボトル空気砲」
「ハイスピードムービーの世界」

全体の来場者数が約1,200名と昨年度並みに多く大盛況であったことから、理工工房の3ブースにも多くの子どもたちが立ち寄ってくれました。特に、新しく作成し今回初めての展示となるペットボトル空気砲は、ペットボトルとゴム風船を加工し作成した空気砲の先に詰めたスポンジを飛ばしダーツ的に命中させ得点を競うというものでしたが、小さな子どもから小学校高学年までたくさんの子どもたちを楽しんでもらいました。また、ランキング上位を目指して繰り返しチャレンジする子どもたちも多く、一日を通して盛況でした。

〔千歳大会〕

- 日時:平成26年11月9日(日)
- 会場:北ガス文化ホール(市民文化センター)
- 展示:「偏光万華鏡を作ってみよう」「ガウス加速器」
「ハイスピードムービーの世界」「LEDで光通信」



科学の祭典・千歳大会では、千歳市内や近隣の企業・青少年の教育にかかわる機関・学校など様々な団体からブース展示・科学教室などを実施いただいております。今年は総計36ブースの展示と3つの科学教室及び科学イベントが行われました。本大会には、

本学グローバルシステムデザイン学科の長谷川 誠 教授が実行委員長として計画段階から関わっており、理工工房は4種類の展示と、科学教室「味覚の不思議」を実施いたしました。当日は昨年よりは少ないですが約2,100名もの来場者を迎え、様々な展示を楽しんでもらいました。

Course 就職・進学

インターンシップ成果発表会を開催しました

インターンシップ成果発表会を、10月21日(火)、28日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果発表会は、インターンシップでの学びをまとめ、発表する場として例年開催しております。平成26年度は、66事業所に学部3年生110名が参加し、参加率は55.0%となりました。

10月21日(火)に開催した「インターンシップ成果発表会(1)」では、発表会にご出席くださる受入事業所で実習を行った学生が、インターンシップで学んだことなどを発表しました。当日は、30の受入事業所より38名の方々がご参加くださり、発表学生に対して多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学習を深めることができました。

また、同日、第2部として、発表会にご参加いただいた受入事業所担当の皆様と、本学教職員の「意見交換会」を実施し、インターンシップのあり方などについて、大変貴重な情報やご意見をいただきました。いただいた情報やご意見は、今後のインターンシップ事業の改善に役立てたいと思います。

10月28日(火)には「インターンシップ成果発表会(2)」として、(1)で発表した以外の学生が同様に発表を行いました。この日も2事業所より3名の担当者がご参加くださいました。

なお、学生が成果発表の準備をするにあたっては、本学の4年生や大学院生がティーチングアシスタントとして、発表資料の作成や発表練習を1ヶ月以上にわたりサポートしました。



【インターンシップ成果発表会 参加事業所】

(50音順/敬称略)

株式会社iD、株式会社エスイーシー、特定非営利活動法人 ezorock、株式会社エム・ソフト、大井電気株式会社水沢製作所、長田電機工業株式会社、株式会社カミノ、キャリアバンク株式会社、株式会社協和エクシオ 北海道支店、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、株式会社札幌ネクシス、自衛隊、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、SOLIZE Engineering株式会社、千歳市、千歳市内中学校(1校)、中央コンピューターサービス株式会社、株式会社つうけん、株式会社ニッセイコム、日生バイオ株式会社、株式会社ハイテックシステム、株式会社ハイマックス、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、北海道ガス株式会社 千歳支店、株式会社北海道産直センター、北海道立正学園 旭川実業高等学校、室蘭まちづくり放送株式会社、株式会社モロオ

(50音順/敬称略)

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で実施しました。東京会場は11月18日(火)に東京ガーデンパレス(180社、226名参加)で、札幌会場は11月28日(金)に札幌ガーデンパレス(91社、123名参加)にて開催しました。この会は平成14年度より実施しておりますが、両会場とも過去最高の参加者となり、盛況のうちに終えることができました。

2016年3月卒業・修了見込者より、企業の採用活動が後ろ倒しになることもあり、第2部の名刺交換会では、これまでにない活発な意見交換が行われていました。

当日のプログラムは下記の通りです。

〔札幌・東京会場共通〕

【第1部】

学長挨拶(学長 川瀬 正明)

大学紹介

- ・学部紹介(学部長 川辺 豊)
- ・2016年卒対象学内イベントのご案内(キャリア支援課長 米澤 一弘)
- ・就職状況及び2016年卒採用について(キャリアセンター長 小松川 浩)
- ・キャリアセンター教員紹介
- ・教職員紹介

【第2部】

名刺交換会

個別相談会



会場の様子(東京会場)



名刺交換会の様子

OB・OG対話を開催しました



平成26年11月4日(火)、本学にて「OB・OG対話(1)」を開催しました。

「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することによって、業界・仕事への理解を深めることを目的として開催しています。

就職活動において重要な位置づけとなる、OB・OG訪問に代わるこの行事を学内で実施することによって、学生の負担を軽減するとともに、多くの業種、企業の方のお話を1日で聞くことのできる貴重な機会となっています。

今回は、全国各地より11社12名のOBの方々にご参加いただき、所属する企業の事業内容や、実際に自分が関わっている業務内容などについて説明され、学生の様々な質問にも丁寧に答えていただきました。

参加学生からのアンケートでは、「社会人として将来働くというイメージがわいた」、「自分の希望する業界について理解を深められた」、「ものづくりの楽しさ、大変さを知ることができた」など、来年3月から本格的に始動する就職活動へ向けて、意識を高める絶好の機会となりました。

「OB・OG対話」は、平成24年度から年2回実施しており、学生からのニーズも高まっています。今年度、第2回目の「OB・OG対話(2)」は、平成27年1月13日(火)に実施予定です。

【平成26年度 「OB・OG対話(1)」にご参加頂いた皆様】(敬称略)

企業名	氏名
大井電気株式会社	今 優 大
株式会社常光	杉 山 紅 城
NTTエレクトロニクス株式会社	泉 一 孝
株式会社オプライン	土 橋 勇 太
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	加 藤 圭 亮
株式会社協和エクシオ	佐 藤 公 平

企業名	氏名
株式会社つうけんアドバンスシステムズ	水 上 博 人
日興ソフトウェア株式会社	水 野 孝 志
	鈴 木 孝 幸
株式会社瑞穂	楠 本 高 司
三菱電機ビルテクノサービス株式会社	石 原 京 悟

※ 都合により、ご紹介できる企業のみ掲載しております。

Examination 入試情報・オープンキャンパス

Weekday Campus Visitを 開催しました

授業公開型オープンキャンパス「Weekday Campus Visit(以下WCV)」を平成26年9月15日(月)に開催しました。WCVは、学期中の大学キャンパスで高校生が大学生と同じ授業に参加し、入学後と同じ「普段の一日」を体験してもらうプログラムで、本学では初めての開催となりました。



参加者からは、「実際に講義を受けることにより、多くの発見とイメージをつかむことができた」、「普段の生の学生生活を体験できて良かった」などの声がありました。WCVについては、次年度も開催を予定しています。

オープンキャンパスへのご参加、 ありがとうございました

平成26年のオープンキャンパスは6月22日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催しました。毎回多くの方にご参加いただき、無事に全日程を終了することができました。

来年も魅力あるプログラムで皆様のご参加をお待ちしております。日程につきましては決定次第、ホームページ等でご案内させていただきます。



平成27年度入試概要

入試タイプ	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験会場	募集定員
一般学力入試	I 期 1月 6日【火】～ 1月27日【火】	2月 4日【水】	2月13日【金】	一次 3月 5日【木】 二次 3月30日【月】	本学・旭川・函館 釧路・仙台	62名 ● I 期:50名 ● II 期:10名 ● III 期: 2名
	II 期 2月16日【月】～ 2月25日【水】	3月 3日【火】	3月 9日【月】	一次 3月16日【月】 二次 3月30日【月】	本学	
	III 期 3月 9日【月】～ 3月18日【水】	3月24日【火】	3月27日【金】	第一次・第二次とも 3月31日【火】		
センター試験 利用入試	I 期 1月 6日【火】～ 2月 3日【火】	—	2月13日【金】	一次 3月 5日【木】 二次 3月30日【月】	—	43名 ● I 期:30名 ● II 期:10名 ● III 期: 3名
	II 期 2月16日【月】～ 3月 2日【月】		3月 9日【月】	一次 3月16日【月】 二次 3月30日【月】		
	III 期 3月 9日【月】～ 3月23日【月】		3月27日【金】	第一次・第二次とも 3月31日【火】		

優遇・助成制度

	対 象	金 額	備 考
特待生制度	(入学生対象特待生) 一般学力入試、センター試験利用入試の成績上位者	学費(入学金除く) 1,357,000円を700,000円に減免	原則4年間
	(在学生対象特待生) 3年、4年進級時の成績優秀者	学費 1,357,000円を700,000円に減免	1年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時に在籍している、2人目以降の者 (ただし、特待生制度に該当する者は除く)	授業料の半額免除 (年間466,500円相当)	在籍者が一人になったら、 正規授業料を納付
帰省旅費助成制度	○道外出身者 ○道内出身者(居住地の最寄駅等から帰省先最寄駅等までの距離が200km以上)	○道外出身者 ※上限20,000円 帰省旅費の半額 ○道内出身者 ※上限10,000円 帰省旅費の半額	年1回
千歳科学技術大学奨学金	経済的に修学が困難な学生(約13名)	年間240,000円支給	返還の必要なし 給付期間は1年間

CONTENTS

平成26年度 学位記授与式 …… 1	就職・進学 …… 6
教育・研究・学生活動 …… 2	入試情報・オープンキャンパス …… 8
大学間連携・高大連携・地域連携 …… 4	法人情報 …… 8



Volume

36

千歳科学技術大学報

平成27年3月31日



CIST News

発行／学校法人千歳科学技術大学企画広報課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6123 ■ホームページ www.chitose.ac.jp ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>



平成26年度学位記授与式を挙行了しました

平成27年3月14日(土)、本学講堂において平成26年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、総合光科学部・光科学部191名の卒業生、大学院博士前期課程19名の修了者一人一人に川瀬正明学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして伊澤達夫理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ、学業に精励努力した学生に贈られる優良賞にバイオ・マテリアル学科種山遥歌さん、同学科古屋一成さん、光システム学科越智大貴さん、同学科渡邊奈々美さん、グローバルシステムデザイン学科石郷岡芳さん、同学科清田大樹さんが、研究活動や課外活動において功績をあげた学生に贈られる善行賞には、グローバルシステムデザイン学科福嶋真ノ祐さんがそれぞれ表彰されました。また、その中から、バイオ・マテリアル学科古屋一成さんが、卒業生・修了生を代表して答辞を述べました。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれの新たな道を踏み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。



川瀬正明学長



卒業生代表 古屋一成さん

Research and Education Activity 教育・研究・学生活動

第6回千歳科学技術大学英語スピーチコンテストを開催しました

千歳科学技術大学英語スピーチコンテストは、道内高校生、および千歳市内在住または在勤の社会人・大学生を対象に、グローバルな人材の育成ならびに地域への貢献を目的として実施しており、今年度で6回目の開催となります。

今年度は、オープン・ディビジョン3名、ハイスクール・ディビジョン20名の方々にご参加いただきました。内容的にも非常に良いスピーチが多い熱戦となり、審査が例年以上に難しい大会でしたが、盛況のうちにコンテストを終了しました。



オープン集合写真



ハイスクール集合写真

開催日時 平成27年2月14日(土)
オープン・ディビジョン 10:00~
ハイスクール・ディビジョン 13:00~

開催場所 千歳科学技術大学大講義室B101

主催 千歳科学技術大学

共催 特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム

後援 千歳市、千歳市教育委員会

コンテスト結果

オープン・ディビジョン

千歳市長賞 芳賀 慎也 (航空自衛隊第2航空団)
Second Prize 北川 園美 (株式会社ダイナックス)

ハイスクール・ディビジョン

千歳市教育長賞 小島 まり (北星学園女子高等学校 1年)
Second Prize 本田 知世 (北海道千歳高等学校 2年)
Third Prize 湯浅 七瀬 (北海道札幌厚別高等学校 2年)
奨励賞 室田 恵里 (札幌聖心女子学院高等学校 2年)

本学の学生が第37回(2014年秋季)応用物理学会講演奨励賞を受賞しました

本学学部生の手島駿さん(総合光科学部 バイオ・マテリアル学科 3年)が、平成26年9月17日(水)~20日(土)に北海道大学で開催された第75回応用物理学会秋季学術講演会において行った口頭発表「学生プロジェクトによる理科実験授業におけるタブレット端末の活用」について、第37回(2014年秋季)応用物理学会講演奨励賞を受賞しました。

この賞は、講演会において対象となる710件の口頭、ポスター講演の発表者の中



手島駿さん

から40名の方々に対して授与され、平成27年3月11日(水)~14日(土)に東海大学で行われた第62回応用物理学会春季学術講演会において、表彰式・受賞記念講演が行われました。

この発表は、平成25年度に学生プロジェクト「理工工房」が本学学術チャレンジプログラムに採択され実施してきた取り組み「タブレットを用いた先進的な理科実験授業・実験教室の企画」の成果や、その後のプロジェクト活動をもとに実施したものです。

■ タイトル: 学生プロジェクトによる理科実験授業におけるタブレット端末の活用
■ 発表者: ○手島駿・長谷川誠

本学の学生が研究発表会において優秀講演賞を受賞しました

本学学部生の徳光聖茄さん(総合光科学部 バイオ・マテリアル学科 2年)が、平成27年1月27日(火)~28日(水)に札幌で開催された化学系学協会北海道支部「2015年冬季研究発表会」において、優秀講演賞(ポスター部門)を受賞しました。

この賞は、研究発表会において対象となる66件のポスター発表の中から優秀な発表5件に対して授与されました。

■ 受賞タイトル: プロトン脱着をスイッチとした固体蛍光クロミック材料の開発
■ 発表者: ○徳光聖茄¹・坂井賢一¹・芥川智行²(千歳科技大¹・東北大多元研²)



受賞の様子



受賞した徳光さん

本学の学生が精密工学会北海道支部の学生奨励賞を受賞しました

本学学部生の片山斗史哉さん(総合光科学部 光システム学科 4年)が、公益社団法人精密工学会北海道支部学生奨励賞を受賞しました。

この賞は精密工学会会員が所属する道内の大学等の学業成績優秀な学生に対し、その学修成果と精進を讃える目的で贈られるものです。

平成27年3月14日(土)の学位記授与式において、川瀬学長より表彰状が授与されました。



受賞の様子



受賞した片山さん

本学学生が第33回学生写真道展で 札幌市長賞を受賞しました

本学写真部の新家浩平さんが、第33回学生写真道展において「札幌市長賞」を受賞しました。

新家さんは学生写真道展において、これまで第30回入選、第31回北海道写真協会賞を受賞し、今回で3度目の表彰となります。

今後も精力的に活動していきますので、皆さまからのご声援を賜りますようお願い申し上げます。



受賞した新家さん



受賞作品「夏の思い出」

部活動実績

YOSAKOIソーラン部

- 第23回YOSAKOIソーラン祭り
- セミファイナル3位
- スカイピア&千歳トーナメント
- ベスト8指宿市長賞
- アンカレッジ姉妹都市交流
- アジア君のふるさと祭り
- 上川中央支部 準大賞

卓球部

- 第84回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)北海道予選兼第46回会長杯争奪卓球選手権大会
- 4部リーグ順位 3位
- 秋季北海道学生卓球選手権大会(団体の部)
- 4部リーグ順位 2位

バドミントン部

- 第61回北海道学生バドミントン会長杯争奪戦選手権大会
- 内山 泰孝 ベスト4

ストリートダンス部

- 富丘中学校、大曲中学校へ体育の授業補助として参加

軽音楽部

- 文教大学、情報大学との三校合同ライブ

写真部

- CAPA月例フォトコンテスト 生きものの部
- 入選「極寒の地」新家 浩平

第33回学生写真道展

- 札幌市長賞「夏の思い出」新家 浩平

津山流尺ハサークル

- チトセ市民芸術祭2014(演奏会)

CIST Cycling Circle

- 全日本ママチャリ12時間耐久レース

- 千歳科学技術大学CCC-Aチーム 総合 (40位/194チーム)
- クラス別 (19位/129チーム)

麻雀サークル

- 青雀旗杯第19回全国大学対抗麻雀選手権大会

- 北海道:ハートランド札幌予選
- 準優勝

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

- 寄付者ご芳名 (平成26年12月1日から平成27年3月31日まで)
- 株式会社 カミノ 様 ■ 千歳科学技術大学同窓会 様

平成26年度 博士前期課程 論文タイトル一覧

学生氏名	修士論文タイトル
石橋 知也	アルミン酸ストロンチウムの結晶育成と蛍光性の評価
伊藤 哲平	赤外イメージングによる新規骨形態計測法の開発:赤外二色性イメージによる配向性評価法と硬組織凍結切片法
岩城 和朗	学生の主体的な学びを支援するポートフォリオ型eラーニングシステムに関する研究
織田 晃輔	ハニカム構造をもつ酸化チタン触媒の作製
川原 正裕	ティウエッティング現象を利用したCT錯体結晶のバターンニング
河村 大地	電気接点の損傷形状評価システムの構築と電極転移・消耗現象に関する研究
櫛田 一志	視覚情報による足平浮き角度の推定に基づく二足歩行ロボットの安定化制御
齋藤 琢磨	光感受性物質Talaporfinを用いた生体内リンパ節がん転移の光線力学的診断
三宮 秀樹	メタ認知を促すテストと連動した振り返り支援システムに関する研究
篠原 成輝	スメクチック液晶を鋳型にした金属ナノバターンニング
白畑 貴瑛	教員による教材作成と授業実践を一体的に支援するタブレットアプリケーションに関する研究
田中 汰久治	棒状高分子のスメクチック相における枯渇作用による構造形成
中村 亮太	遠隔授業における仮想機間巡視の研究
松岡 利憲	高分子中のアゾ色素における光誘起回折格子の研究
松田 大輔	5mol.% MgO-doped congruent LiNbO ₃ における異常光線Sellmeier方程式及び屈折率温度分散式
三浦 鈺輝	知識マップを用いた作問型協調学習支援システムに関する研究
水野 琢磨	組成の異なるLiNbO ₃ の位相整合特性に関する研究
山本 隼也	初等中等教育における地域連携体制モデルに基づく教育情報システムの一提案
吉井 達也	水面距離と歪みに対するレーザ光計測技術に関する研究

Cooperation 大学間連携・高大連携・地域連携

理工工房が小学校で理科実験授業を実施しました

理工工房の学生が、千歳市立緑小学校ならびに千歳小学校で6年生を対象にした理科実験授業を実施しました。

両小学校では、平成16年度の小学5年生から、毎年5年生から6年生にかけて理工工房の学生による実験授業を計3回に渡って実施しています。現在の6年生は10学年目になり、今回が3回目の実験授業となりました。

両小学校ともに理科の単元である「電気の利用と私たちの生活」に関する内容でしたが、今回は、現場の先生方のご意向に沿って、両校で異なる方法で実施しました。千歳小学校には計4回訪問し、理工工房の学生が授業に参加する形式で、電気による発熱に関する実験、手回し発電機で作った電気をコンデンサに溜める実験、コンデンサに溜めた電気を音や光、運動に変換する実験、LEDと豆電球の比較に関する実験を、それぞれ体験してもらいました。緑小学校では、これまで通り理工工房の学生が進行役を務めて、2コマの授業の中で前述のような実験を体験してもらいました。

■ 日程・対象:

11月11日(火)、14日(金)、18日(火)、21日(金) 千歳市立千歳小学校 6年1組、2組
12月2日(火) 千歳市立緑小学校 6年1組、2組



理科実験授業の様子1



理科実験授業の様子2

理工工房の学生が小学5年生対象の理科実験授業を実施しました

今年も千歳市立千歳小学校、緑小学校の5年生が大学を訪れて、理工工房の学生による理科実験授業を受けました。

この取り組みは、子どもたちに理科・科学を学ぶ面白さを伝えるとともに本学学生の教育の場とすることを目的として平成16年度から継続して実施しています。今回で11年目(11学年目)となるこの行事は、両小学校ではすっかり定着しています。今年の5年生にも「虹のひみつ」「光通信」の2テーマの授業を行いました。

「虹のひみつ」では、学生が手作りしたゼラチンでできたプリズムを使って光の進み方(直進、反射、屈折)を観察した上で、白色光が様々な色の光に分かれて虹のように見える分光現象を観察して、光の進み方や虹ができる仕組みを学んでもらいました。また、赤・緑・青の三色の光(光の三原色)を重ねると白く見える様子も観察しました。一方、「光通信」では、発光ダイオード(LED)の点灯実験に続いて、簡単な回路を班毎に作って、自分たちが作った回路で実際にCDの音楽をLEDの光で伝えることができることを確認し、光通信の原理を体験してもらいました。さらに、両テーマに関係するおみやげとして、それぞれ回折格子フィルム、光ファイバを持ち帰ってもらいました。

6年生になってからの平成27年6~7月及び11~12月には、理工工房の学生たちが両小学校に出掛けて、実験授業を実施する予定です。

理工工房の学生による活動は、今年度は年間80回を超えました。様々な年代の地域の皆様との交流は、学生たちが育つ場になっています。貴重な機会を提供して頂いていることに、あらためて感謝申し上げます。

■ 日程・対象:

2月13日(金) 千歳市立千歳小学校 5年1組、2組
2月24日(火) 千歳市立緑小学校 5年1組、2組



千歳小緑小実験教室1



千歳小緑小実験教室2

平成26年度 第5回・第6回公開講座を開催しました

【第5回公開講座】

- 日時:平成26年12月20日(土)14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 4階 大会議室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:科学のまち千歳を目指して~市民協働を通じた科学による街の活性化~
- 講師:長谷川 誠(千歳科学技術大学 総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科 教授)

講演ではまず、「科学とは何か」について触れ、「理科」の授業で勉強することだけでなく、あらゆる分野において様々なことに興味・好奇心をもち、「なぜ?」と考え探求する姿勢そのものであるとした「実学」という考えについて説明を行いました。続いて千歳での市民協働の起こりや制度について説明し、講師が実行委員長を務める「青少年のための科学の祭典 千歳大会」を平成24年度より市民協働で実施したことで、市の協力により地元企業の出展が増え、より幅広い科学体験ができる大会へ発展した事例などを紹介しました。

次に、7年前から市民協働事業として「まちめぐりガイドバス」事業を展開しているほか、無料情報誌「市民文化情報ひろば」の発行などを行っている「NPO法人千歳ひと・魅力まちづくりネットワーク(ひとまちネット)」さんに、活動内容等についてご紹介いただき、それらの活動を通して得た成果を科学の祭典千歳大会で発表されたことや、実際に展示するにあたり注意された点などについてお話をいただきました。

その後、本学の学生プロジェクトチーム「理工工房」による科学体験ショー「花の色が変わる...?~お花に色をつけてみよう~」を来場者の皆様にも体験いただき、理工工房の活動実績を紹介しました。

最後に、理工工房が参加した商店街のお祭りでの科学教室や、様々な講師を招いて実施してきた「サイエンス・カフェ」を通しての街の活性化の可能性、さらに今後の展望などについてお話をいたしました。

講演終了後には、ひとまちネットさんによる縄文文化・遺跡に関する展示や、理工工房の光通信や色つきの影の展示などを行い、来場者の皆様に見学・体験いただき盛況のうちに講座を終えました。

当日は千歳市内をはじめ、室蘭市、恵庭市、登別市などから46名の参加者に受講いただきました。



講座の様子



ひとまちネット展示

【第6回公開講座】

- 日時:平成27年3月21日(土)14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 中会議室2
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:青色発光ダイオード(LED)が拓く輝く未来
~不可能を可能にした物語から新たな挑戦へ向けて~
- 講師:吉本 直人(千歳科学技術大学 総合光科学部 光システム学科 教授)

講演ではまず、青色LEDの実用例、青色LEDにより実現された白色LEDの構造と実用例、そして取り巻く環境について紹介をしました。次に、LEDの光る原理と歴史、作製にあたっての条件などについて説明し、青色LEDを取り巻く背景とその実現までにつづかる多数の困難とそれをどのような発想や発見により解決してきたのかについてお話ししました。

そして最後に今後の展開として、より自然光に近くなる白色LEDと期待される環境負荷軽減効果、食品衛生や医療など新たな応用が期待される青色よりも波長の短い深紫外LEDへの挑戦、電力変換効率に優れた青色LEDの材料をインバータに用いることで期待される節電効果とその課題などについてご紹介しました。

講演終了後には、本学で学生が行っている照明と双方向通信をLEDで両立させる研究についての概要紹介や簡易的な実験装置の展示などを行いました。

当日は千歳市内をはじめ、室蘭市、恵庭市、赤平市、東京都などから54名の参加者に受講いただき、盛況のうちに講座を終えました。



講座の様子



展示の様子

理科工房が仲の橋通り商店街の「ふゆまつり」に参加しました

平成27年2月7日(土)、8日(日)の両日、理科工房の学生が千歳タウンプラザにて開催された「仲の橋通り商店街ふゆまつり」に参加しました。

今年で4回目の参加となり、今回は「偏光万華鏡作り」「手回し発電機で電球を光らせよう」「風の力で電気を作ろう」などのブース出展と、発電の種類としくみをテーマにした30分ほどの実験教室を期間中3回ほど開催しました。

ブースでは、手作りしたオリジナルの偏光万華鏡に絵を描いて楽しむ子供たちや、電球を光らせるため友人や家族と懸命に手回し発電機を回している姿などが見られました。

実験教室では、発電の種類やしくみの説明から、火で蒸気を起こしタービンを回す実験装置を用いた目で見てわかる火力発電の演示実験や、風力発電・温度差発電の体験などを行いました。



実験教室の様子

平成26年度eカレッジ表彰式を実施しました

本年度で9回目となる、市内小中学生を対象としたeカレッジの表彰式を平成27年3月7日(土)に千歳市総合福祉センターで実施しました。

このeカレッジでは、本学のeラーニング教材を利用し、小学校3年生から中学校3年生までの科目(小学校算数・理科、中学校数学・理科・英語、小中学校社会)の中で、児童・生徒が自分で申し込んだ科目の取り組み状況(取組日数、取組時間、演習問題進捗率等)をもとに、よく取り組んだ児童・生徒に表彰状を授与しています。

本年度は、40名の児童・生徒に表彰状を、小学校から中学校卒業まで6年間連続して表彰を受けてきた生徒1名に最優秀特別賞を授与しました。

※eカレッジとは、千歳市在住の児童・生徒の基礎学力向上や家庭学習支援を目的とし、千歳市教育委員会が実施する行政サービスで、千歳科学技術大学が学習管理等の支援を行っている千歳市教育委員会との協働事業です。



表彰式の様子



学長あいさつ

Course 就職・進学

企業見学会および 企業見学バスツアーを実施しました

大学生の早い時期から「働く現場」、「働く人」に触れることで、職業観や勤労観を醸成することを目的として、学部2年次のキャリア形成授業の一環として企業見学会および企業見学バスツアーを3月3日～19日の間で実施しました。本取組は、平成21年度より継続して実施しています。

主に地元千歳市のものでづくり企業に半日～1日訪問し、工場見学の他そこで働く社員の方と交流する「企業見学会」コースと、バスで近隣市町村のIT系、ものでづくり系、材料・化学・バイオ系企業を訪問するバスツアーコースが用意され、約30名の学生がそれぞれ希望するコースに参加しました。

各コース参加者からは、「将来社会で働くことへの意識を高めることができた」という声が聞かれました。



理研興業(株) 見学の様子

「OB・OG対話②」を開催しました

平成27年1月13日(火)、本学にて今年度2回目の「OB・OG対話②」を開催しました。

「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生

が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深めることを目的としています。

今回は、13社14名のOB・OGの方々にご協力いただき、参加した学生からは、「大学で学ぶことと、働く際に必要な知識の違いを知ることができた」、「希望業界の企業に就職するためのプロセスについてお話が聞けた」、「ただ内定を得るのではなく、入社してから長期的に取り組める仕事を探そうと思った」など、進路を見据えた姿勢で参加していた様子が伺えました。



OB・OGの話を聴く学生

【平成26年度 「OB・OG対話②」 にご参加頂いた皆様】 (敬省略)

企業名	氏名
株式会社エム・ソフト	島岡 美穂
河村電器産業株式会社	高橋 祐介
株式会社札幌ネクシス	賀数 海人
三幸総研株式会社	田岡 嗣敏
株式会社チノー	北村 拓也
株式会社つうけん	辻ノ内 大
日本コムシス株式会社	中根 浩
日本精機株式会社	佐々木 亮介
富士電機株式会社	本九町 智大
株式会社芙蓉ビデオエージェンシー	吉田 花菜
北海道富士電機株式会社	北野 博之
株式会社ミライト・テクノロジーズ	山本 諒
美和電気工業株式会社	小滝 七瀬
	野岡 慎吾

学内業界研究セミナーを開催しました

平成27年2月9日(月)から13日(金)の祝日を除く4日間の日程で、本学体育館にて学内業界研究セミナーを開催し、期間中107社の企業にご参加いただきました。本セミナーは、キャリア教育の一環として、希望業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動に向け、ミスマッチがおきないよう業界・仕事への理解を深めることを目的として今年度初めて実施しました。参加対象は、学部2・3年生及び進学予定の4年生と大学院1年生とし、幅広い学年を対象としました。特に、学部2年生については「キャリア形成B2」の授業科目で、本セミナーの受講を必修として位置付け、参加前に自分の興味のある企業について、会社概要、OB就職状況、なぜこの企業に興味を持ったのか、この企業に入社するとした場合の自己PR等についてレポートを提出させ、期間中最低5社の説明を聞き、自分の考えていたものを検証するとともに、幅広い業界について研究する良い機会となりました。



2月 業界研究セミナーの様子

2016卒対象学内企業研究セミナー (学内合同企業説明会)を開催しました

平成27年3月17日(火)から24日(火)の土日を除く平日6日間の日程で、本学体育館にて学内企業研究セミナーを開催しました。本セミナーは、学部3年生と大学院1年生を対象としており、今年は企業の採用意欲も非常に高く、期間中182社の企業にご参加いただきました。例年、本セミナーは2月に実施しておりましたが、2016卒採用から就職活動が後ろ倒しになったこともあり、時期を遅らせての開催となりました。連日多数のリクルートスーツ姿の学生が企業の話に真剣に聞き入っていました。



3月 参加企業によるPRタイムの様子

平成26年度卒業生の進路状況

(平成27年3月31日現在)

今年度は景気の回復傾向に伴い、昨年度よりも企業側の採用意欲の向上が感じられました。来年度の2016卒採用スケジュールの大幅な変更を見据えて、今年度採用において計画的に人材確保を図る目的もあり、採用数を大幅に増加した企業も多く見られました。このような状況から、本学では昨年度に比べて就職率も高くなり、特に進路決定率においては、リーマン・ショック以前の水準まで回復しました。

主な就職先

平成26年度卒業生実績 (五十音順)

○ 企業

株式会社 I S I D インターテクノロジー、アイエックス・ナレッジ株式会社、株式会社アシスト北海道、株式会社アダービジネスコンサルタント、株式会社アベックスシステム、株式会社アルトナー、株式会社アルファ・ウェーブ、株式会社アルファシステムズ、株式会社アルプス技研、株式会社アルメックス、イオン北海道株式会社、株式会社イグアス、石垣電材株式会社、イトキン株式会社、医療システムズ株式会社、株式会社インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン、株式会社エイチ・アイ・ディ、株式会社エイチ・エル・シー、株式会社エー・エル・ピー、AVCテクノロジー株式会社、SOC株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー、NTTエレクトロニクス株式会社、エヌ・ティ・ティ北海道テレマート株式会社、株式会社エム・ソフト、株式会社OCC、長田電機工業株式会社、学校法人共育の森学園 小樽明峰高等学校、株式会社オプトライン、株式会社カーネルコンセプ

ト、株式会社ガラッシア、河村電器産業株式会社、株式会社協和エクシオ、株式会社グローバル・コミュニケーションズ、KDDI株式会社、株式会社工房、株式会社コンピュータネットワーク札幌、株式会社サカイ引越センター、株式会社札幌ネクシス、株式会社三技協イオス、三和コンピュータ株式会社、シグマトロン株式会社、株式会社繁富工務店、株式会社ジャパンテックニカルソフトウェア、株式会社正栄プロジェクト、ジョンソンコントロールズ株式会社、スタック電子株式会社、住電通信エンジニアリング株式会社、西進商事株式会社、株式会社セノン、総合警備保障株式会社、大丸藤井株式会社、武ダ技建創株式会社、株式会社チノー、株式会社つうけん、株式会社ティー・エス・アール、株式会社DMM、COM OVER RIDE、株式会社デジック、株式会社デンソー北海道、ドウエル株式会社、東芝ソリューション株式会社、東芝電波プロダクツ株式会社、東芝ホクト電子株式会社、中北薬品株式会社、夏目光学株式会社、ナトリ株式会社、株式会社ナノシステムソリューションズ、日興電気通信株式会社、日精機工株式会社、株式会社ニッセイコム、日本コムシス株式会社、日本システムランド株式会社、日本精機株式会社、日本テクニカル・サービス株式会社、日本アイビーエム・ソリューション・サービス株式会社、一般財団法人日本食品分析センター、日本通信エレクトロニクス株式会社、株式会社ネクストワン、ネットヨタ札幌株式会社、野口観光株式会社、株式会社ハイマックス、パナソニックデバイス帯広株式会社、株式会社ハルソフト、株式会社ビスポイント、株式会社日立公共システム、株式会社ヒップ、株式会社ヒューエンス、株式会社フェリアード、株式会社フォーラムエンジニアリング、富士ゼロックス北海道株式会社、株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ、富士古河 E & C 株式会社、株式会社芙蓉ビデオエイジェンシー、プラチナゲームズ株式会社、株式会社ホープス、ホシザキ北海道株式会社、北海道エア・ウォーター株式会社、北海道エナジティック株式会社、北海道システム・サイエンス株式会社、北海道消防機材株式会社、北海道セキスイハイム株式会社、北海道総合通信網株式会社、株式会社北海道畜産公社、北海道旅客鉄道株式会社、株式会社ホンダカーズ札幌中央、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、株式会社ミライト、株式会社ミライト・テクノロジーズ、美和電気工業株式会社、株式会社メイクスレント、株式会社メイテックフィルダース、株式会社安井測量設計事務所、株式会社ユードム、株式会社ユニシス、リコー・ジャパン株式会社、和興エンジニアリング株式会社、和光電工業株式会社

○ 公務員

札幌市教育委員会、苫小牧市教育委員会、北海道岩見沢高等養護学校

大学院進学 平成26年度卒業生実績 (五十音順)

●千歳科学技術大学大学院

求人票数 (平成27年3月31日現在)

1,042件

平成26年度卒業生の進路状況 (平成27年3月31日現在)

就職決定者 184名

就職率 98.9%

進路決定率 93.4%

※就職率=就職決定者÷就職希望者 ※進路決定率=就職決定者数÷(全卒業生数-進学決定者数)

Examination 入試情報・オープンキャンパス

平成27年オープンキャンパス日程

平成27年のオープンキャンパスは以下の日程で開催します。

第1回 6月21日(日) 第2回 8月1日(土)・2(日) 第3回 9月27日(日) 第4回 11月1日(日)

進学相談会

質問や不安にお答えします。お近くの会場にお越しください。お待ちしております。

開催地	会場	開催日	時間	
北海道	旭川 トーヨーホテル	4/23(木)	16:00 ~ 19:00	
	旭川 グランドホテル	5/11(月)	13:00 ~ 18:00	
	旭川	ロワジールホテル旭川	6/18(木)	15:30 ~ 18:15
		ロワジールホテル旭川	8/24(月)	15:00 ~ 18:00
		旭川 グランドホテル	11/4(水)	15:00 ~ 18:00
	岩見沢	岩見沢コミュニティプラザ	9/17(木)	資料配付のみ
	小樽	グランドパーク小樽	4/20(月)	15:00 ~ 18:00
		グランドパーク小樽	9/15(火)	15:00 ~ 18:00
	帯広	とかちプラザ	4/21(火)	15:00 ~ 18:00
		ホテル日航ノースランド帯広	5/28(木)	15:00 ~ 18:00
		ホテル日航ノースランド帯広	6/12(金)	15:30 ~ 18:15
		ホテル日航ノースランド帯広	9/10(木)	15:00 ~ 18:00
	北見	ホテル日航ノースランド帯広	11/12(木)	15:00 ~ 18:00
		ホテルベルクラシック北見	5/26(火)	15:00 ~ 18:00
		ホテルベルクラシック北見	6/16(火)	15:30 ~ 18:15
		ホテルベルクラシック北見	8/25(火)	15:00 ~ 18:00
	釧路	ホテルベルクラシック北見	11/10(火)	15:00 ~ 18:00
		釧路市観光国際交流センター	5/27(水)	15:00 ~ 18:00
		釧路プリンスホテル	6/11(木)	15:30 ~ 18:15
		釧路市観光国際交流センター	9/9(水)	15:00 ~ 18:00
札幌	釧路市観光国際交流センター	11/11(水)	15:00 ~ 18:00	
	札幌ファクトリーホール	4/23(木)	15:30 ~ 18:15	
	札幌コンベンションセンター	4/24(金)	15:30 ~ 18:00	
	ホテルさっぽろ芸文館(旧厚生年金会館)	4/28(火)	14:00 ~ 18:00	
	札幌パークホテル	5/29(金)	未定	
	ホテルさっぽろ芸文館	6/19(金)	15:30 ~ 18:15	
	札幌パークホテル	8/28(金)	15:00 ~ 18:00	

開催地	会場	開催日	時間	
北海道	札幌	札幌パークホテル	11/13(金)	15:00 ~ 18:00
		札幌グランドホテル	12/8(火)	15:00 ~ 18:00
	新札幌	ホテルエミシア札幌(旧シエラトンホテル札幌)	4/28(火)	15:00 ~ 18:00
		ホテルエミシア札幌(旧シエラトンホテル札幌)	9/16(水)	15:00 ~ 18:00
	滝川	ホテルエミシア札幌(旧シエラトンホテル札幌)	11/19(木)	15:00 ~ 18:00
		滝川三浦ホテル華園	9/17(木)	資料配布のみ
	苫小牧	グランドホテルニュー王子	4/21(火)	15:00 ~ 18:00
		グランドホテルニュー王子	9/14(月)	15:00 ~ 18:00
		グランドホテルニュー王子	11/16(月)	15:00 ~ 18:00
	函館	ベルクラシック函館	4/22(水)	15:00 ~ 18:00
		ベルクラシック函館	6/9(火)	15:30 ~ 18:15
		ベルクラシック函館	8/27(木)	15:00 ~ 18:00
		ベルクラシック函館	11/18(水)	15:00 ~ 18:00
	室蘭	中嶋神社蓬莱殿	4/23(木)	13:40 ~ 18:00
		中嶋神社蓬莱殿	11/17(火)	15:00 ~ 18:00
	江別	江別市民会館	4/28(火)	15:30 ~ 18:15
	青森	リンクステーション青森(青森市文化会館)	5/21(木)	未定
		青森国際ホテル	9/8(火)	15:30 ~ 18:30
		ねぶたの家 ワ・ラッセ	11/12(木)	15:00 ~ 18:00
	弘前	ホテルナクアシティ弘前(旧ベストウエスタンホテル弘前)	5/22(金)	15:00 ~ 18:00
宮城	仙台	仙台サンプラザ	6/30(火)	15:00 ~ 18:00
		ホテルメトロポリタン仙台	9/7(月)	15:00 ~ 18:30
		夢メッセみやぎ	10/3(土)	10:30 ~ 17:00
		アエル	11/16(月)	15:00 ~ 18:00
東京	東京	池袋サンシャインシティ	6/20(土)	11:00 ~ 16:00
		東京ビッグサイト	7/11(土)	10:30 ~ 17:00
大阪	大阪	ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター	7/26(日)	11:00 ~ 16:00

※ 開催地は随時追加されます。最新情報は大学ホームページでご確認ください。

Education foundation information 法人情報

バイオ・マテリアル学科 今井教授の最終講義を行いました

平成27年3月4日(水)に、本年3月末をもって定年を迎えられる総合光科学部バイオ・マテリアル学科 今井敏郎教授の最終講義が行われました。

今井教授は、16年間の長きにわたり、本学の教育・研究にご尽力戴いており、最終講義では、自身のこれまでの研究活動の概要や今井研究室歴代学生の卒業研究成果などを当時のエピソードを交えながら紹介されました。

当日は、学生や教職員のほか、今井研究室の卒業生もお祝いに駆けつけ、当時のことを懐かしんでいました。





Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6001 ■ホームページ www.chitose.ac.jp ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>



アクティブラーニング環境を整備しました

本学は、アクティブラーニングの実施環境を整えるべく、文部科学省平成26年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金を活用して、パソコン、プロジェクター、可動式の机や椅子、ホワイトボード等の設備を整備しました。この事業により、本学が重視する学生自らが手を動かして学ぶ環境、少人数のグループによる成果発表場所の提供、他者への説明や互いのディスカッションを通じた問題解決及び課題発見能力の向上を促進させる環境が整い、授業での利用や自主学習での積極的な利用を通じて社会が必要とする人材の育成を行います。

本事業により、整備した場所は次のとおりです。

- ・本部棟 1階 多目的ホール
- ・本部棟 2階 図書館閲覧室
- ・10周年記念棟 1階 学生ホール
- ・研究実験棟 1階 アトリウム

*アクティブラーニングとは、教員が講義形式で一方向的に教えるのではなく、学生が主体性を持ち互いに協力しながら学ぶ学習方法です。

学長からのメッセージ

北海道唯一の理工学部がスタートしました

本学は平成10年に「光サイエンス」を基本とし、科学技術を幅広く学ぶ理工系大学として開学し、これまで多様な産業界で活躍する人材を社会に送り出してきました。

この20年ほどの間に光科学の発展は我々の予想を遥かに超えて進み、現在は先端分野だけではなく、広く産業技術の裾野にまで広がりを見せています。本学では最先端のナノテクから情報システム・サービスまでの幅広い分野を教育・研究のフィールドとしていますが、それらを「光科学」で表現するには広がりが見えにくい、と言うのも事実です。

これらの背景から、第34号の学報においてご報告した「サイエンスをベースに実用技術まで一体での教育を実践し、真の理工融合を目指す」と言う開学時の原点に立ち返り、建学精神「人知還流」の始点となる、すぐれた人材や研究成果を社会に輩出しようと学内が一致したことから、その考えの基に学部名称を「理工学部」に変更予定である事をお知らせしました。

予定通り今年度から、基礎から実用技術まで理学と工学が横断的に融合した学びで、総合的・複眼的な思考力と柔軟な発想力を備えた人材を育成する、北海道唯一の理工学部がスタートしました。学科はバイオ・マテリアル学科及び光システム学科から名称変更した応用化学生物学科・電子光工学科とグローバルシステムデザイン学科の構成で発足しました。グローバルシステムデザイン学科については、平成28年度からは、より情報系を充実させた「情報システム工学科」として新たにスタートします。

学部、学科の名称は変わりましたが、1年生で幅広く理工学の基礎を学び、2年進級時に学科に所属してさらに専門分野を深く学ぶという教育の基本は変わっておりません。

また、高校新課程とのよりスムーズな接続を目指して共通基盤カリキュラムの改訂も図りました。今年度から新たに学習や生活に関する相談コーナーを常設するなど、高校での履修科目の多様化に対しても安心して学生が学べる環境を整備しました。

本学は教育に強い大学として実績を積んでいますが、今後も学生一人ひとりに対してeポートフォリオ(あらゆる履歴を「個人カルテ」として蓄積する学生総合カルテ)をベースに、熱意あふれる教職員が個々の学生の学習面や学生生活に対して最善の支援を行い、社会で活躍できる人材の輩出を目指してまいりますので、変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げます。



千歳科学技術大学 学長

川瀬 正明

平成28年4月情報システム工学科を新設します

先にも述べたように、来年度から「情報システム工学科」を新設し、本学が目指す理工学部の新体制が完成します。

現代の高度なシステムやサービスはその基本に情報技術が大きく寄与しています。卒業生の就職分野を見ても情報系企業への就職割合が着実に増加しています。

このような背景のもとで、グローバルシステムデザイン学科で目標とした、人間中心の技術開発の考えを引き継ぎ、情報通信、情報処理、情報活用の3分野を柱に教育を展開する「情報システム工学科」として、カリキュラムの全面見直しを行いました。

ネットワークの基本技術や誰もが違和感なく情報を活用できるためのサービス科学、実践的な情報技術の教育に加えて、少人数のチーム形式で目標達成に向けて問題解決を図るプロジェクト系科目により、社会で通用するチームワーク、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等の涵養を図り、幅広い分野で総合的な視点を持った技術系リーダーとして活躍できる人材の育成を目指します。

新しい「情報システム工学科」の船出に大いに期待をいただき、従来に増してのご支援をお願い申し上げます。

平成28年4月以降の学部・学科等の概要

理工学部	応用化学生物学科	大学院	光科学研究科光科学専攻博士前期課程
	電子光工学科		博士後期課程
	情報システム工学科		

トピックス

平成27年度 入学式を挙りました

平成27年4月4日(土)、本学講堂において、平成27年度千歳科学技術大学・大学院入学式が挙られ、理工学部175名、大学院光科学研究科16名、計191名が新たな一歩を踏み出しました。

式は、ご多忙にも関わらず、多くのご来賓・ご父母のご臨席を賜りました。

式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の成田弥矢さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式終了後は、引き続き保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。川辺豊学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学習、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



川瀬学長

プログラミング言語Javaの最新技術を学ぶセミナーを開催しました

平成27年6月3日(水)、プログラミング言語「Java」をテーマとした「Javaセミナーin千歳」を本学にて開催しました。講師には日本オラクル株式会社のシニアJavaエバンジェリストである寺田佳央様をお招きし、今年で20周年を迎えるJavaのこれまでの歴史とこれからの動向、そして最新技術についてご講演をいただきました。学生向けミニセミナーには36名が、学生・一般向けセミナーには67名が参加し、Javaによるプログラミングや情報システム開発の奥深さに興味深く耳を傾けていました。

参加した学生からは、「大学でこういう最先端の技術であるJavaの知識を身につける機会があるので、もっとJavaを勉強したいという気持ちになりました」、「今学んでることで満足せず、もっともっと貪欲に新しい技術を吸収していかないと駄目だと感じた」といった声が聞かれました。

開催にあたり、お力添えをいただいた寺田佳央様、日本オラクル株式会社様にお礼を申し上げます。



講師の寺田佳央 様

本学大学院生が(財)慶応工学会給費奨学生に採用されました

本学大学院生の柳直樹さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年)が、平成27年度一般財団法人慶応工学会給費奨学生に採用され、7月29日(水)に給費奨学金授与と証書が授与されました。

この奨学金制度は全国の理工系大学院生から募集され、奨学生として採用されると年額36万円を1年間支給されます。

平成27年度 在学生対象特待生認定式を行いました

平成27年5月11日(月)、平成27年度在学生対象特待生認定式を行いました。在学生対象特待生制度は平成26年度に創設された制度で、学部3年生及び4年生の各学科の成績優秀者1名を特待生として認定し、授業料等の減免を行うものです。認定式では川瀬学長から認定通知書が手渡された後、激励の言葉が贈られました。

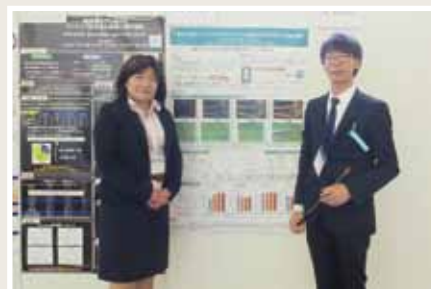
特待生の皆さん、今後も勉学に励んで充実した大学生活を送ってください。



川瀬学長と特待生の皆さん

本学大学院生が第35回日本骨形態計測学会若手研究者賞を受賞しました

本学大学院生の伊藤哲平さん(光科学研究科光科学専攻博士後期課程1年 指導教員:木村廣美 教授)が、第35回日本骨形態計測学会において若手研究者賞を受賞しました。昨年に続き2度目の受賞です。



木村教授(左)と伊藤さん(右)

演題:赤外二色性イメージによるコラーゲン繊維配向性の定性的・定量的検討
演者:伊藤 哲平1)、兼平裕也1)、佐々木了平2)、金沢恭祐1)、木村-須田 廣美3)

- 1)千歳科学技術大学大学院 光科学研究科
- 2)千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科
- 3)千歳科学技術大学 応用化学生物学科



川瀬学長(左)と柳さん(右)

学生活動

本学YOSAKOIソーラン部が、セミファイナル審査優秀賞を受賞しました！

平成27年6月10日(水)～14日(日)の5日間にわたり開催された「第24回YOSAKOIソーラン祭り」に、旭川の「遊～すさび～」との合同チーム「遊～すさび～&光一天」として本学YOSAKOIソーラン部が出場しました。

皆さんの温かいご声援のもと、セミファイナル審査優秀賞を受賞することができました。今後も様々なイベントに参加し、演舞を披露してまいりますので、本学YOSAKOIソーラン部「光一天」をよろしくお祈りします。



花壇の花植えを行いました



平成27年5月30日(土)、菜園サークル、理工工房、エコサークルの学生団体と教職員が協力して、研究実験棟ロータリー内の花壇に花を植えました。当日は天候にも恵まれ、20人近くの参加者がそれぞれに爽やかな汗を流していました。

なお、当花壇は公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第28回(平成27年度)花いっぱいコンクール」に参加し、花壇部門中学校等の部「優秀賞」を受賞しました。

理工工房が千歳市の認定こども園で科学実験体験教室を行いました

千歳市立の認定こども園「つばさ」と「ひまわり」で、本学理工工房が科学実験体験教室を行いました。

「つばさ」には6月18日(木)・19日(金)の2日間、「ひまわり」には7月16日(木)・17日(金)の2日間にわたって理工工房の学生たちが訪問し、1日目には4歳クラス・5歳クラスの児童たちを対象に「空気のちから」をテーマとした科学実験教室と「ペットボトル空気砲の工作」を、2日目には3歳クラス・4歳クラス・5歳クラスの児童たちを対象に「色つきの影」「ブラックウォール」「空気砲」などの科学実験体験を行いました。

児童たちは、目の前でされる様々な実験に驚きの声を上げた

り、ペットボトル空気砲の的当てや色つきの影・ブラックウォール・空気砲などに夢中になるなど、楽しみながら科学を体験している様子でした。



第1回オープンキャンパスを開催しました



平成27年6月21日(日)、本年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。当日の朝は曇り空だったにもかかわらず、大勢の皆さんにご参加いただきました。

高校生の皆さんに、本学に入学するとどんなことが学べるのか、学生は普段勉強の他に何をしているのか、大学とはどんなところかなどを、正しく、楽しく知ってもらおうと様々なプログラムを用意しました。当日は学生が中心となってオープンキャンパスを盛り上げました。研究室紹介や模擬講義、学食体験や在学生とのフリートークなど、保護者の方々も含めた参加者からは「具体的に説明してもらえてわかりやすかった」や「学食がおいしかった」、「千歳市以外から通っている学生も沢山いるのを知って安心しました」などの感想をいただきました。参加の皆さんが帰る頃には、青空も見え始め、若干の名残惜しさを感じながら、本学マスコットキャラクターである「カーギー」に見送られて解散となりました。

年間4回を予定しているオープンキャンパスは毎回プログラム内容を変えて、何度来ても楽しめるものになるよう工夫しています。

LINE 始めました!!

本学では、受験生向けにLINEによる情報発信をスタートしました。受験情報やオープンキャンパス等のイベント情報、進学相談会情報などの最新情報を随時発信しています。

入試に関する情報のみならず、レアな情報も流れるかも…!?

ぜひチェックしてくださいね。



オープンキャンパス
今後の予定

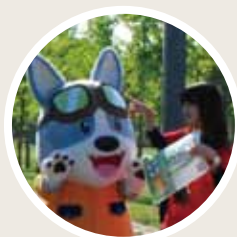
9月27日(日)

11月1日(日)

入試に関するお問合せ 担当:入試課

TEL:0123(27)6011 FAX:0123(27)6076

E-mail:nyushi@photon.chitose.ac.jp



本学マスコットキャラクターである「カーギー」が「ゆるキャラグランプリ2015」にエントリー中!

オープンキャンパスで、おもてなしを担当する本学マスコットキャラクター「カーギーズ」のカーギーが、「ゆるキャラグランプリ2015」にエントリーしました。投票期間は8月17日(月)から11月16日(月)までとなります。皆さん、奮ってご投票お願いします!

カーギーとは

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげることも多い。

本学公式ツイッターで大学情報発信中!

@cistkoho 検索

連携事業

平成27年度第1回・第2回公開講座を開催しました

【第1回公開講座】

- 日時:平成27年6月6日(土)14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:“PostPC”時代に生きる –情報化社会今昔物語–
- 講師:曾我 聡起(グローバルシステムデザイン学科 教授)

講演では、コンピュータの歴史を振り返りながら“PostPC”時代について説明を行い、次にディスプレイ等のアウトプット用インターフェイスやキーボード・マウスのようなインプット用インターフェイスが作成されるまでの歴史や最新のインターフェイスについて解説を行いました。

そして、PostPC時代に入り世界中で新たに生み出されているサービスおよびアプリケーションの例について紹介を行い、これからの高齢化・労働者人口が減少していく社会においてはITとアイデアで効率化を徹底するなど、新しい価値観に基づくサービス創生が必要であることや、それを支えるためにはプログラミング教育が重要であることを説明しました。



曾我教授

【第2回公開講座】

- 日時:平成27年7月19日(日)14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:幼少期からの二ヶ国語会話がもたらすもの
- 講師:Randy L.Evans(グローバルシステムデザイン学科 講師)



Evans講師

講演では、子どもが言語を獲得していくステップについて解説を行い、移住や国際結婚など子どもがバイリンガルになりやすい様々なケースのメリット・デメリット、また言語を獲得していく過程について実例を挙げながらお話ししました。その後、子どもは環境に適応し言語を獲得していくが必要性を感じない言語は使わず忘れていってしまうことを、例を挙げ説明し、子どもがバイリンガルになるためにはどうしたら良いのか、またどのような問題が考えられるのかについて説明しました。講演の最後には、事例として講師の子どもがバイリンガルになっていった過程について当時の映像も紹介しながら説明を行いました。

平成27年度eカレッジ講習会を実施しました

平成27年6月21日(日)本学において、平成27年度eカレッジ講習会を開催しました。

eカレッジとは、千歳市教育委員会主催のもと本学が連携協力し、千歳市内の小中学生から希望者を募り、eラーニングシステムを学習に役立ててもらふことにより基礎学力向上を図る家庭学習支援事業です。

eラーニングシステムは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができるシステムであり、今回の講習会ではeラーニングシステムの基本的な使い方を説明しました。

今年の講習会には39名の小中学生が参加しました。本講習会は、初めてeラーニングシステムを利用される方にもスムーズに利用いただくために毎年開催しています。



講習会の様子

財務情報

貸借対照表 ※平成27年3月31日現在

資産の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,531,118	9,623,206	△ 92,088
有形固定資産	5,839,413	5,950,638	△ 111,225
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	2,126,589	2,195,684	△ 69,095
その他の有形固定資産	717,808	759,938	△ 42,130
その他の固定資産	3,691,705	3,672,568	19,137
流動資産	1,341,923	1,324,144	17,779
現金預金	1,273,259	1,288,565	△ 15,306
その他の流動資産	68,664	35,579	33,085
合計	10,873,041	10,947,350	△ 74,309

負債の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	75,779	106,188	△ 30,409
流動負債	302,501	276,593	25,908
合計	378,280	382,781	△ 4,501

基本金の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	11,005,874	11,043,992	△ 38,118
第4号基本金	121,791	121,791	0
基本金の部合計	11,127,665	11,165,783	△ 38,118

消費収支差額の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 632,904	△ 601,214	△ 31,690

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
合計	10,873,041	10,947,350	△ 74,309

消費収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

当該会計年度の学生納付金等の「帰属収入」から、当該会計年度における「基本金に組入れる額」を控除した消費収入と人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

消費収入の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,074,590	1,074,272	318
手数料	9,813	12,242	△ 2,429
寄付金	8,000	41,981	△ 33,981
補助金	206,134	245,144	△ 39,010
国庫補助金	206,064	245,085	△ 39,021
地方公共団体補助金	70	59	11
資産運用収入	46,468	53,745	△ 7,277
資産売却差額	0	103	△ 103
事業収入	65,291	66,561	△ 1,270
雑収入	12,146	35,228	△ 23,082
帰属収入合計	1,422,442	1,529,276	△ 106,834
基本金組入額合計	△ 79,750	0	△ 79,750
消費収入の部合計	1,342,692	1,529,276	△ 186,584

消費支出の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費	762,963	729,273	33,690
教育研究経費	696,939	638,731	58,208
(内減価償却費)	177,825	170,441	7,384
管理経費	230,422	224,268	6,154
(内減価償却費)	12,280	12,885	△ 605
資産処分差額	0	1,744	△ 1,744
予備費	(5,000)		
	0		0
徴収不能引当金繰入額	0	5,068	△ 5,068
消費支出の部合計	1,690,324	1,599,084	91,240

帰属収支差額比率	△ 18.8	△ 4.6	△ 14.3
当年度消費支出超過額	347,632	69,808	
前年度繰越消費収入超過額	0	0	
前年度繰越消費支出超過額	601,214	601,214	
基本金取崩額	0	38,118	
翌年度繰越消費支出超過額	948,846	632,904	
翌年度繰越消費収入超過額	0	0	

資金収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応する全ての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

資金収入の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,074,590	1,074,272	318
手数料収入	9,813	12,242	△ 2,429
寄付金収入	8,000	13,113	△ 5,113
補助金収入	206,134	245,144	△ 39,010
国庫補助金収入	206,064	245,085	△ 39,021
地方公共団体補助金収入	70	59	11
資産運用収入	46,468	53,745	△ 7,277
資産売却収入	0	6,103	△ 6,103
事業収入	65,291	66,561	△ 1,270
雑収入	12,146	20,834	△ 8,688
前受金収入	178,529	161,890	16,639
その他の収入	319,020	924,865	△ 605,845
資金収入調整勘定	△ 145,608	△ 208,648	63,040
当期資金収入合計	1,774,383	2,370,121	△ 595,738
前年度繰越支払資金	1,288,565	1,288,565	
収入の部合計	3,062,948	3,658,686	△ 595,738

資金支出の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	746,765	731,576	15,189
教育研究経費支出	519,114	468,290	50,824
管理経費支出	218,142	211,324	6,818
施設関係支出	8,762	3,974	4,788
設備関係支出	69,323	37,697	31,626
資産運用支出	66,027	598,921	△ 532,894
その他の支出	363,505	396,754	△ 33,249
予備費	(6,920)		
	3,080		3,080
資金支出調整勘定	△ 93,932	△ 63,110	△ 30,822
当期資金支出合計	1,900,786	2,385,426	△ 484,640
次年度繰越支払資金	1,162,162	1,273,260	△ 111,098
支出の部合計	3,062,948	3,658,686	△ 595,738

KAGIDAIからのお知らせ

これからの行事予定

※平成27年7月31日現在

根岸先生(平成22年ノーベル賞受賞)と國武先生(平成26年文化勲章受章)が本学にて講演されます

■日程:9月30日(水)15時～ ■場所:本学本部棟



根岸英一先生
(Photo by Purdue University)



國武豊喜先生

根岸英一先生(Purdue大学特別教授)と國武豊喜先生(九州大学名誉教授)が本学主催のCIF(Chitose International Forum on Photonics Science & Technology)にて9月30日(水)15時から講演されます。無料でどなたでもご参加できますので、この機会に是非ともお越しいただければと思います。

詳細はCIFのホームページ(<https://www.chitose.ac.jp/CIF16/>)をご確認ください。

平成27年度千歳科学技術大学父母懇談会 開催

■日程:10月3日(土) ■場所:本学 本部棟
■時間:10:00～16:00(※9:30受付開始) ■対象:全学年の保護者

学習、就職支援などの本学における取り組みや状況について説明させていただくとともに、個別相談等を通じて本学への理解をいっそう深めていただくことを目的としています。午前は全体説明会や、学習について、午後からは学習・生活に関する個別相談、又は就職セミナー(就職支援会社による講演、内定学生による就活体験報告会、就職個別相談)のいずれかを選択してご参加いただきます。皆様のご出席をお待ちしております。

なお、父母の皆様には別途、ご案内文書を郵送いたします。

第17回稜輝祭 開催

お笑い芸人の「流れ星」、「花香よしあき」が本学にてライブを行います!

■日程:9月13日(日)15:30～16:30 ■場所:本学本部棟

お笑い芸人の「流れ星」、「花香よしあき」が第17回稜輝祭(大学祭)にてライブを行います!また、稜輝祭では本学YOSAKOIソーラン部による演舞や移動動物園など、小さいお子様も楽しめるイベントを多数企画しております。無料でどなたでもご参加できますので、ご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。最新情報は稜輝祭のTwitter(@cistryoukaisai)をご確認ください。



花香よしあき



流れ星

新しい教職員からのメッセージ

平成27年度、本学に着任した教職員をご紹介します。

メディア教育センター 助手



砂原 悟

大学卒業後、最先端のネットワーク技術でサービスの開発、保守運用を行なっておりました。人知還流という建学精神のもと、貢献していきたいと思っております。

学生支援課 学生係



西尾 佳久

着任してから4ヶ月が経過しましたが、まだまだ学ぶべきことがたくさんあります。失敗することもあります、日々の業務を円滑に進めることができるよう努力して参りますので、宜しくお願い致します。

学生支援課 教務係



百井 利奈

ご縁があり、4月から教務係の一員として日々を過ごしています。まだまだ至らない点が多いと思いますが、仕事を通じ大学生生活のサポートが出来るよう精一杯努めて参ります。

キャリア支援課 キャリア支援係



小川 峻

4月の着任以来、キャリア支援課にて、4年生の就職支援を行っております。学生の皆様から見ると、一番身近な社会人でもありますので、良い手本になれるよう頑張ります。



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課 ■ 千歳市美々758番地65 ■ TEL 0123-27-6001 ■ ホームページ www.chitose.ac.jp



第17回稜輝祭(大学祭)を開催しました

平成27年9月13日(日)に稜輝祭実行委員会主催による第17回稜輝祭(大学祭)を開催しました。

今年は、ご来場いただいた全ての方を楽しませたいという思いを込め、「AMUSE」というテーマが掲げられました。

当日はあいにくの空模様となり屋内でのイベント進行となりましたが、ご家族で楽しめる姿が多く見られ終日賑わいをみせました。また、今年は理科実験で好評を得ている理工工房が10周年ということで、高校生や他大学の学生が参加するなど例年より規模を大きくした催しを行い、たくさんのお子さまの笑顔と驚きの表情が溢れていました。

さらに、恒例となったお笑いライブでは、「流れ星」「花香よしあき」に出演いただき、稜輝祭を盛り上げていただきました。

昨年を大きく上回る来場者を迎え、盛況のうちに終了することができました。また、稜輝祭の企画・運営にあたりご協力賜りました各方面の皆様方、足もとが悪い中ご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

トピックス

千歳光科学国際フォーラム(CIF'16)を開催しました

本年で第16回目を迎える千歳光科学国際フォーラムを平成27年9月30日(水)、10月1日(木)の両日、本学において開催しました。

本年は“Applied Material for Photonics”と“Optical Devices and Systems”をテーマとして三つのセッション、そして特別講演として、2010年のノーベル化学賞を受賞されたパデュー大学特別教授の根岸英一先生と、2014年に文化勲章を受章された九州大学名誉教授の國武豊喜先生のお二人をお迎えし、根岸先生は「夢を持ち続けよう!」、國武先生は「ナノテクと分子の組織化」というタイトルで講演していただきました。

特別講演当日は、会議参加者、学生等学内関係者、一般市民合わせて約200名の方々が熱心に耳を傾けていました。

三つのセッションでは国内外から6名の研究者を招聘し、それぞれの研究分野において活発な意見が交換されました。

また、ポスターセッションも開催され、本学の学部生、大学院生や北海道大学、名古屋工業大学などの大学院生らが自身の研究について熱心に発表し、国外からの研究者とも活発に意見を交換していました。

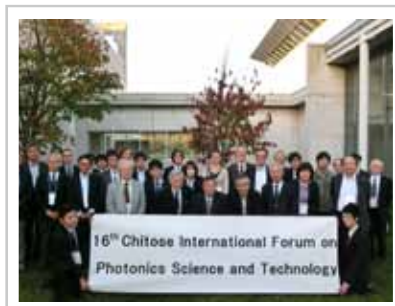
来年度も千歳光科学国際フォーラムを開催する予定です。日程が決まり次第、ホームページでご案内いたします。



根岸先生



國武先生



記念植樹



オーラル発表

平成27年度父母懇談会を開催しました



個別相談

平成27年10月3日(土)、本学において平成27年度父母懇談会が開催され、約120名の皆様にご参加いただきました。

午前10時より、大講義室で「全体説明会」及び「就職について」の説明を各担当教員より行い、参加者の

皆様は熱心に耳を傾けていました。その後会場を移し、1年生の父母向けに「初年次教育について」と題して本学の初年次教育の取り組みについての紹介、2年生以上の父母向けには各学科における「学科教育について」と題して各学科の特色ある教育内容や卒業後の進路等について紹介を行いました。

また、午後からは、「学習・生活個別相談」と「就職セミナー(就職支援会社による講演、就職個別相談、内定学生による就活体験報告会)」を同時に開催しました。個別相談では学生一人ひとりの成績や大学生活の様子、就職状況など参加者の皆様が日頃疑

問や不安に思っていることについて、担当教職員が回答いたしました。

また、就職セミナーでは、株式会社学生就職支援会代表取締役熊谷功吉氏による講演や内定学生から就職活動について生の声が聞けるということで、多くの方が参加されました。

アンケート結果においても「先生方が一人ひとりの学生を普段から見下り、大学生生活の現状を知る事ができました。」「手厚い支援体制に感謝しています。この大学に入学させてよかったと感じています。」などのお言葉をいただき、参加された皆様にご満足いただけたようです。

次年度も開催を予定しておりますので、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



就職について



内定学生による就活体験報告会

学生受賞報告

学部生の高村さんが 優秀プレゼンテーション賞を受賞



高村さん(右):受賞の様子

総合光科学部光システム学科 4年の高村琳平さんが、平成27年8月29日(土)に本学で開催された「2015年度精密工学会北海道支部学術講演会」において、優秀プレゼンテーション賞を受賞しました。

この賞は、学術講演会において対象となるポスター発表の中から優秀な発表に対して授与されるものです。

タイトル: Kinectを用いた就寝者モニタリングに関する基礎的検討
発表者: ○高村琳平、青木広宙(千歳科学技術大学)

学部生の土屋さんが優秀講演賞を受賞

総合光科学部バイオ・マテリアル学科4年の土屋早紀さんが、平成27年7月18日(土)に、函館にて開催された「日本化学会北海道支部2015年夏季研究発表会(函館大会)」での発表で、優秀講演賞を受賞しました。受賞式は9月29日(火)に、執り行われました。

この賞は、日本化学会北海道支部所属学生会員の、より一層の進展と研究活動の活性化をはかることを目的として設置されたものです。



土屋さん

タイトル: 分子内水素結合を切換え可能なESIPT色素の置換基効果と蛍光制御
発表者: ○土屋早紀※1、坂井賢一※1、菊地毅光※2、芥川智行※2
(※1 千歳科技大、※2 東北大多元研)

大学院生の伊藤さんがアメリカ骨代謝学会で Travel Grant を獲得

光科学研究科光科学専攻博士後期課程の伊藤哲平さん(指導教員: 木村廣美 教授)が、アメリカ・シアトルで開催された「ASBMR(※) 2015 Kidney Symposium」において Young Investigator Travel Grant を獲得しました。



伊藤さん:会場にて

伊藤さんはASBMR 2015 Annual meeting(10月9日~12日開催)に参加するため、要旨を投稿したところ、前日に開催されるSymposiumに Young Investigator Travel Grant として、招待を受けました。また、Annual meetingにおいてもポスタープレゼンテーションに参加し、実りのあるディスカッションが盛況の内に行われました。
※ASBMR: The American Society for Bone and Mineral Research(アメリカ骨代謝学会)

タイトル: Characterization of Collagen Fiber Orientation in Bone with Chronic Kidney Disease Using FTIR Imaging
発表者: ○Teppei Ito, Kyosuke Kanazawa, Yuya Kanehira, Hiromi Kimura-Suda

学部生の大鐘さんと西田さんが プレゼンテーションスキル賞を受賞

平成27年11月14日(土)、15日(日)に、北見工業大学にて行われた「PCカンファレンス北海道2015」において、総合光科学部グローバルシステムデザイン学科4年の大鐘幸一郎さんと、同じく西田理貴さんが、プレゼンテーションスキル賞を受賞しました。



大鐘さん(左)と西田さん(中央):受賞の様子

この賞は、発表内容や発表態度などを総合的に評価するもので、今年度は本学の2名が選ばれました。

タイトル: 近接通信とウェアラブルデバイスを組み合わせたデジタルコンテンツの表示に関する実験-千歳水族館を例にして-
発表者: 大鐘幸一郎、西田理貴、曾我聡起

公開講座を開催しました

平成27年度の公開講座(第3回、第4回、第5回)を以下の通り開催しました。多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

【第3回公開講座】

- 日時:平成27年8月25日(火) 18:30~20:00
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 4階 小会議室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人 ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:食の安全・安心の科学
- 講師:元 千歳科学技術大学 教授 芦高秀知
- 参加者数:42名

【第4回公開講座】

- 日時:平成27年9月13日(日) 13:00~15:00
- 会場:千歳科学技術大学 1階 B102教室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人 ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:太陽系探査の紫外観測の現状とその技術、また今後について
- 講師:宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所 太陽系科学系 山崎敦 氏
- 参加者数:53名

【第5回公開講座】

- 日時:平成27年10月25日(日) 14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人 ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:癌転移検出と癌治療の最新レーザー医療技術
- 講師:千歳科学技術大学 応用化学生物学科 教授 李黎明
- 参加者数:28名

就職・キャリア支援

インターンシップ

学部3年生が夏期休業期間を利用して実施するインターンシップは、約半年後から始まる就職活動に備え、勤労観や職業観を養うことを目的として実施しており、企業等の現場を直接体験できる貴重な機会となっています。本学では第1期生より実施しており、平成15年度よりキャリア教育を強化すべく、インターンシップを単位化しております。キャリアセンターでは学

生の就業意識の向上や、入社後のミスマッチを防ぐために、インターンシップを非常に重要なものと捉え、事前研修やマナー講座などのバックアップをより一層強化しています。

今年度も多くの事業所にご協力いただき、58事業所に104名の学生を派遣しました。

インターンシップの流れ

Step.1

学生と企業のマッチング

より実りのあるインターンシップの実現に向け、学生の希望や目標に合わせ、受け入れ先企業を決定します。

学生と企業双方のニーズを考慮し、最適なマッチングを実現

- 4月~5月下旬 受入の依頼
実習内容や受入条件等を事前に確認させていただき、さまざまな企業に対し、受入をお願いしています。
- 6月上旬 インターンシップガイダンス
受入企業の情報をまとめた一覧表を学生に提示し、参加希望を募ります。
- 6月中旬 学生とのマッチング
学生の希望を基に面談(マッチング)を行い、派遣者を決定します。
- 7月上旬 受入企業へ書類の提出
インターンシップ実施に関する確認書類と自己紹介書を受入企業に送付します。
- 7月中旬 学生への事前研修
学生はインターンシップへ向けてマナー講座の受講、および受入企業についての事前レポートを提出します。

Step.2

インターンシップを実施

夏期休業期間を利用し、最低5日間以上のインターンシップを行います。

企業での就業体験を通して、実際の仕事を肌で感じる機会を実現

8月(夏期休業期間) インターンシップの実施



Step.3

学生から成果を報告

インターンシップで得た経験や成果を学生自らがプレゼンテーションします。

学生参加による成果発表

- 10月 インターンシップ成果発表会
本学では学部3年生を対象としたインターンシップを平成15年度より選択科目として単位化しております。
より有意義なプログラムにするため、貴重な体験から学んだ成果をアウトプットする場である成果発表会までを、インターンシップとして捉えています。
平成27年度は成果発表会へ30事業所、38名の担当者にご参加いただき、発表へのコメントなどを頂戴しました。



Step.4

次年度に向けた意見交換

受け入れ企業の担当者と本学教職員による意見交換の場を設け、次年度に向けた改善を検討します。

次年度に向けた実施状況の検証

- 10月 企業との意見交換会
学生と企業双方にとって、より効果的なインターンシップを実現すべく、成果発表会の後に受入事業所の担当者と本学教職員による「意見交換会」を開催しています。
平成27年度は19事業所25名の担当者にご参加いただき、受入に際しての課題、インターンシップの今後のあり方などについて意見交換を行いました。頂いた貴重なご意見を次年度のインターンシップにつなげていきます。



平成27年度インターンシップ受入事業所

【道内】

株式会社iD、株式会社I・TECソリューションズ、株式会社エスイーシー、特定非営利活動法人 ezorock、株式会社エフビーエス、株式会社エルス、株式会社カミノ、キャリアバンク株式会社、株式会社協和エクシオ 北海道支店、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、コスモ設計株式会社、株式会社札幌ネクシス、サッポロビール株式会社 北海道工場、株式会社GSI、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、シンセメック株式会社、株式会社ダイナックス、株式会社ダイヘン 千歳工場、千歳印刷株式会社、千歳市 企画部交通政策担当、千歳市 市民病院事務局医事課、千歳市 総務部防災学習施設、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市内小学校(1校)、千歳市内中学校(1校)、千歳市立図書館、中央コンピューターサービス株式会社、株式会社つうけん、株式会社つうけんアドバンスシステムズ、東芝ホクト電子株式会社、苫東ファーム株式会社、トヨタローラ道北株式会社、ナラサキスタックス株式会社、一般社団法人 日本血液製剤機構 千歳工場、北海道ガス株式会社 千歳支店、株式会社北海道産直センター、北海道日興電気通信株式会社、学校法人北海道立正学園 旭川実業高等学校、社会福祉法人北海道リハビリー、美和電気工業株式会社 札幌支店、室蘭まちづくり放送株式会社、株式会社モロオ

【道外】

株式会社エム・ソフト、大井電気株式会社 水沢製作所、株式会社湘南光学工業所、スタック電子株式会社、株式会社ソフテム、株式会社ニッセイコム、日本アルゴリズム株式会社、株式会社日本コンピュータ開発、日本通信エレクトロニクス株式会社、株式会社ハイマックス、富士アイティ株式会社、富士インフォックス・ネット株式会社、株式会社フジキン、株式会社芙蓉ビデオエイジェンシー、株式会社マイスターエンジニアリング

(50音順/敬称略)

若年求職者向け就職セミナーを開催しました

千歳市との共催事業である若年求職者向け就職セミナーを本学で開催しました。

第1回は、平成27年11月18日(水)、AIR-G'(エフエム北海道)のパーソナリティでおなじみのタレント北川久仁子さんを講師にお招きし、「北川久仁子ラジオの時間～ハ・タ・ラ・クということの意味～」と題してご講演いただきました。参加者からは「働くことへの意識が変わった」などの感想が寄せられました。

第2回は、平成27年12月2日(水)、千歳市にも拠点を持つ、東洋アドレ株式会社代表取締役社長根本裕之さんを講師にお招きし、「海外ビックリ！体験談～企業人としての勉強の心構え～」と題してご講演いただきました。こちらの開催には千歳工業クラブにもご協力をいただいております。参加者からは「海外の文化や日本と海外の関わりについて興味が湧きました」などの感想が寄せられました。



第1回就職セミナー



第2回就職セミナー

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で実施しました。東京会場は平成27年11月13日(金)に新宿ワシントンホテル(134社、165名参加)で、札幌会場は平成27年11月26日(木)に札幌ガーデンパレス(85社、113名参加)にて開催しました。第1部の大学紹介では、平成28年度から新設される情報システ

ム工学科の紹介や本学における就職状況等についての説明があり、第2部の名刺交換会においても活発な意見交換が行われました。今年も両会場とも多数の企業の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

当日のプログラムは以下の通りです。

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
- ・学部紹介(学部長 川辺 豊)
- ・就職状況について(キャリアセンター長 小松川 浩)
- ・キャリアセンター教員紹介
- ・教職員紹介

【第2部】

- 名刺交換会
- 個別相談会



会場の様子



名刺交換会の様子

お知らせ

大学紹介動画を作成しました

千歳科学技術大学の紹介動画4編を作成しました。
この動画は学内で撮影し、理学や工学の実験・実習の面白さ、各学科の学びの特色、学生インタビューなどをまとめたものです。ぜひご覧ください。



大学紹介動画は
こちらから



大学のシャトルバスが自主運行になりました



平成27年8月から、
本学の無料シャトルバスが自主運行になりました。新しい車体は白地に「千歳科学技術大学」の校名と校章が入ったデザインとなっています。運行区

間は以前と変わらず、JR千歳駅・南千歳駅と本学の間となっています。本学にお越しの際は、お気軽にご乗車ください。

北海道東川高等学校、北海道紋別高等学校、北海道長万部高等学校と高大連携協定を締結しました

北海道東川高等学校、北海道紋別高等学校、北海道長万部高等学校と高大連携協定を締結しました。今回の3校との締結により、高大連携校は57校となりました。

【協定締結日】

平成27年8月18日(火) 北海道東川高等学校
平成27年9月10日(木) 北海道紋別高等学校
平成27年11月6日(金) 北海道長万部高等学校



北海道東川高等学校田邊校長(左) 川瀬学長(右)



北海道紋別高等学校猪股校長(左) 川瀬学長(右)



北海道長万部高等学校中坪校長(左) 川瀬学長(右)

ゆるキャラグランプリ 2015 結果報告

本学マスコットキャラクターのカーギーが、今年初めてエントリーした『ゆるキャラグランプリ2015』の結果が平成27年11月23日(月・祝)に発表されました。結果は、全体(全1,727体)で1,468位、企業その他部門(全635体)では504位となりました。皆様のご協力に、深くお礼申し上げます。

これからも愛されるキャラクターとして、大学広報に力を注いでいきたいと思っております。今後とも皆様のご応援よろしくお願いいたします。

大学公式Twitterにて、 つぶやき中!



本学の何気ない情報を写真も交えて、ゆる々と発信しています。ごくたまにミニ・カーギーが登場します。

？カーギーとは？

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探索すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげることが多い。



大学公式ツイッターにて情報発信中!

@cistkoho 検索

エコサークルが チャリティバザー収益金を寄付しました

平成27年10月21日(水)、エコサークルが社会福祉法人千歳市社会福祉協議会に、9月13日(日)に開催した「第17回 稜輝祭・チャリティバザー」の収益金1万4,380円を寄付しました。

当日はエコサークルを代表して3名が社会福祉法人千歳市社会福祉協議会を訪問し、目録を手渡しました。寄付をするのは、昨年に続き2度目です。



入試情報

オープンキャンパスへのご参加ありがとうございました

平成27年度のオープンキャンパスは6月21日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催しました。毎回多くの方にご参加いただき、無事に全日程を終了することが出来ました。

来年も魅力あるプログラムで皆様の参加をお待ちしております。来年度の日程につきましては決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。

「1日科技大生」を開催しました

「1日科技大生」を平成27年11月23日(月・祝)に開催しました。「1日科技大生」とは学期中の大学キャンパスで高校生が大学生と同じ授業に参加し、入学後と同じ「普段の一日」を体験してもらうプログラムです。当日は道内各地から高校生17名にご参加いただき、科技大の日常を体験してもらいました。

参加者からは「実際に大学の講義を受けられて楽しかった」「講義が自分が考えていたほど堅苦しくなく、受けやすいものだった」などの感想をいただきました。



平成28年度入試概要

入試区分		出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	手続締切日	募集定員
一般学力入試	I期	1月 6日(水) ～ 1月27日(水)	2月 4日(木)	本学・旭川・釧路・函館・仙台	2月15日(月)	第一次:3月 7日(月) 第二次:3月30日(水)	50
	II期	2月15日(月) ～ 2月25日(木)	3月 3日(木)	本学	3月 9日(水)	第一次:3月16日(水) 第二次:3月30日(水)	10
	III期	3月 9日(水) ～ 3月18日(金)	3月24日(木)	本学	3月28日(月)	3月30日(水)	2
センター試験 利用入試	I期	1月 6日(水) ～ 2月 3日(水)	—	—	2月15日(月)	第一次:3月 7日(月) 第二次:3月30日(水)	30
	II期	2月15日(月) ～ 3月 2日(水)	—	—	3月 9日(水)	第一次:3月16日(水) 第二次:3月30日(水)	10
	III期	3月 9日(水) ～ 3月23日(水)	—	—	3月28日(月)	3月30日(水)	3

優遇・助成制度

制度	対象	金額	備考	
特待生・奨励生制度	入学生 特待生 A	(一般学力入試I・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率90%以上の者)	1,357,000円を全額免除	原則 4年間
	特待生 B	(一般学力入試I・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率80%以上90%未満の者)	1,357,000円を700,000円に減免	原則 4年間
	奨励生	(一般学力入試I・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率70%以上80%未満の者)	授業料の一部180,000円を免除	第1学年秋学期納付金についてののみ
	在學生 特待生	(3年、4年進級時の成績優秀者)	1,357,000円を700,000円に減免	1年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時に在籍している、2人目以降の者(ただし、特待生制度に該当する者は除く)	授業料の半額免除(年間 466,500円相当)	在籍者が1人になったら正規授業料を納付	
千歳市優遇制度	出願時、本人または保護者が千歳市民であった者 千歳市内の高等学校を卒業した者	授業料の一部免除(年間 180,000円)	第1学年秋学期納付金についてののみ	
帰省旅費助成制度	道外出身者	帰省旅費の半額 ※上限 20,000円	年 1回	
	道内出身者 (居住地の最寄り駅等から帰省先最寄り駅等までの距離が 200 ㌾以上)	帰省旅費の半額 ※上限 10,000円	年 1回	
千歳科学技術大学奨学金制度	経済的に修学が困難な学生	年間 240,000円支給	返還の必要なし(在学中に1回ののみ)	

法人情報

本学へのご寄付についてのご案内

千歳科学技術大学は、平成10年4月の開学以来、建学の精神である「人知還流」と「人格陶冶」の実現を目指しつつ、教育・研究及び学生生活向上に必要な資金として学生保護者、一般有志及び法人の皆様からの温かいご支援をいただく中で、多くの卒業生を社会に送り出してまいりました。

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に以下の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

【募集の趣旨】

千歳科学技術大学の教育・研究環境の整備・充実を図るための資金確保を目的とします。

【募金の使途】

①教育研究活動の充実 ②施設・設備の充実 ③奨学金制度の充実

【募金内容】

- 個人の寄付 1口 5,000円
- 法人寄付 金額は特に定めていません。

【申込・払込方法】

- 金融機関で申し込む場合
本学ホームページより寄付申込書を印刷し、必要事項をご記入の上、財務課までご持参もしくはご郵送後に、指定口座にお振り込みください。
- インターネットから申し込む場合
クレジットカード、コンビニ決済、銀行決済(Pay-easy)の各決済手段をご利用になれます。寄付申込書の提出は不要です。

詳しくは本学ホームページ

(URL <https://www.chitose.ac.jp/new-info/contribution.html>)をご覧ください。

【領収書】

- 個人の場合
お振込後に本学より領収書を発行させていただきます。確定申告に必要となりますので大切に保管してください。
- 法人の場合
ご入金確認後、本学より領収書を発行させていただきます。

【寄付者の顕彰】

ご寄付をいただいた方の中で、ご了承いただいた方には、「寄付金申請書」に記載されたお名前が芳名簿を作成(1年毎)し、本学のホームページや、学報等に発表させていただきます。なお、匿名ご希望の方はその旨をお知らせください。

インターネットでの寄付金受付が可能になりました

本学では、平成27年9月1日より株式会社エフレジが提供するインターネット寄付金収納サービス「F-REGI寄付支払い」を導入しました。これにより、クレジットカード払いやコンビニ支払い、Pay-easy支払いによる寄付金の受付ができるようになりました。パソコン、携帯電話、スマートフォンから寄付支払い画面へのアクセスが可能となり時間、場所を問わず寄付受付が可能となりました。なお、インターネットからの申込みの際は、寄付申込書の提出は不要となります。

平成27年より、本学への寄付が寄付金控除【税額控除】の対象となる証明を受けました

平成27年より、寄付金控除【税額控除】の対象となる証明を、文部科学省より受けました。これにより、本学に寄付をされた場合、寄付金控除は、①税額控除制度と②所得控除制度の2種類となり、確定申告の際には、どちらか一方の制度をご選択いただくことが出来ます。

①税額控除制度をお選びいただいた場合は、所得税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、多くの方において、②所得控除制度と比較して減税効果が大きくなります。②所得控除制度の場合は、所得控除を行った後に所得税率をかけるため、所得金額に対して寄付金額が大きい場合に減税効果が大きくなります。詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

寄付金ページ



奨学金及び教育研究資金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育研究活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成27年8月1日から11月30日まで)

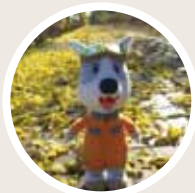
(寄付日順)

岡野 篤志 様	武山 佳世子 様	福永 宗碧 様	石澤 淳 様	渋谷 進一郎 様
板宮 慎 様	三谷 正信 様	落合 美和子 様	矢萩 直敏 様	原 健司 様
中村 彰 様	木下 隆政 様	畠山 淑子 様	池田 弘治 様	吉田 秀一 様
角田 敦 様	栗原 義則 様	川合 敏雄 様	小山 祐治 様	千葉 一夫 様

編集後記

前号から学報デザインを一新しました。全体に明るいイメージを想起していただくため、写真を多く掲載し、読みやすい内容を心がけました。まだまだ試行錯誤の状態ですが、より良い紙面を目指しています。

今号では、本学のキャリア支援の中でも、特に力を入れているインターンシップについてご紹介しました。これからも本学の活動や学内の出来事など、積極的に発信していきたいと思っておりますので、よろしくご期待いたします。





Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6001 ■ホームページ www.chitose.ac.jp



Volume
39
平成28年3月31日

平成27年度学位記授与式を挙りました

平成28年3月19日(土)、本学講堂において平成27年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、学部卒業生、大学院修了生一人一人に川瀬正明学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして伊澤達夫理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ、その中から、光システム学科熊谷圭祐さんが、卒業生・修了生を代表して答辞を述べました。

最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれの新たな道を踏み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。

トピックス

第7回千歳科学技術大学英語スピーチコンテストを開催しました



発表の様子

千歳科学技術大学英語スピーチコンテストは、道内高校生、及び千歳市内在住または在勤の社会人・大学生を対象に、グローバルな人材の育成ならびに地域への貢献を目的として実施しており、今年度で7回

目の開催となります。

今回の参加者数は、オープン・ディビジョン4名、ハイスクール・ディビジョン14名と若干少ない人数での開催ではありましたが、たいへん素晴らしいスピーチの多い熱戦となり、盛況のうちコンテストを終了することができました。



オープンディビジョン



ハイスクールディビジョン

- 開催日時：平成28年2月6日(土)
(オープン・ディビジョン) 午前10時00分から
(ハイスクール・ディビジョン) 午後13時00分から
- 開催場所：千歳科学技術大学大講義室(B101)
- 主催：千歳科学技術大学
- 共催：ホトニクスワールドコンソーシアム
- 後援：千歳市、千歳市教育委員会

【コンテスト結果】

オープン・ディビジョン

千歳市長賞 野村 季代 (株式会社ダイナックス)
Second Prize 知地 あいり (株式会社ダイナックス)

ハイスクール・ディビジョン

千歳市教育長賞 志釜 優斗 (札幌大谷高等学校 2年)
Second Prize 齊藤 颯太 (旭川明成高等学校 1年)
Third Prize 東 友花 (札幌聖心女子学院高等学校 2年)
奨励賞 藤田 首成 (旭川明成高等学校 1年)

JICA青年研修マレーシア職業訓練研修コース参加者のみなさんにお越しいただきました



学長挨拶

平成28年1月20日(水)マレーシアの職業訓練に従事する、行政官及び職業訓練機関に勤務する職員の方々(15名)が本学を訪れました。今回の訪問目的は、2020年为目标に先進国入りを目指してマレーシア政府が掲げる、「第10次マレーシア計画」において、高付加価値経済の実現に

向けた重要課題の一つとして職業訓練分野の研修充実、人材育成を強化することが掲げられており、日本における職業訓練の概要、教育体制の現状を中心とした基本的な知識を学ぶこと及び現場の視察や関係者との意見交換を通じて、当該分野にかかる日本の経験または社会の背景などを学ぶことを主な目的として来道され、本学では本学のキャリア教育・就職支援制度について紹介させていただきました。当研修はJICAの青年研修事業として実施されています。



キャリア教育について



参加者全員で

「子ども化学実験」を行いました



地域貢献の一環として、平成28年2月3日(水)、4日(木)、ひばりが丘明星幼稚園(札幌市厚別区)において、年長組36名及び年中組35名を対象に「子ども化学実験」を行いました。

本学から応用化学生物学科の谷尾宣久教授と同研究室の学生2名が幼稚園を訪問し、ポリマーに関する実験(スライム作り)を行いました。当日はたくさんの子供達が初めての化学実験を楽しんでいました。

学生受賞報告

第17回佐々木記念賞を授与しました

平成28年3月19日(土)に挙行した学位記授与式において、「佐々木記念賞」の授与が行われ、下記の大学院生2名と学部生6名に表彰状と副賞が贈呈されました。

大学院光科学研究科

博士前期課程

山崎美奈

水本朝

総合光科学部

バイオ・マテリアル学科

品川政寛

脇本諒

光システム学科

熊谷圭祐

荘司晃久

グローバルシステムデザイン学科

藤井佑梨奈

上原雄太

※佐々木記念賞について

本学の開学に尽力した初代学長 佐々木敬介教授(1936～1998)の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生に対し、授与します。

院生の兼平さんが高分子学会北海道支部研究発表会において優秀ポスター賞を受賞

大学院生の兼平裕也さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程 指導教員:木村廣美教授)が、平成28年1月21日(木)に北海道大学で開催された第50回高分子学会北海道支部研究発表会において優秀ポスター賞を受賞しました。

発表タイトル:

喫煙による骨質変化の解析

発表者:

兼平裕也1)、植野秀俊1)、久保 薫2)、友田恒一2)、木村弘2)、木村須田廣美1)

1)千歳科学技術大学、2)奈良県立医科大学



兼平さん(左)

院生の柳さんが帝人21世紀フォーラムにおいて賞を受賞

大学院生の柳直樹さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年 指導教員:下村政嗣教授)が、平成28年1月30日(土)・31日(日)に開催された、2016帝人21世紀フォーラムにおいて優秀賞を受賞しました。

この賞は、30件程のポスター発表の中から優秀な発表をした2名に授与されました。

受賞した柳さんは「著名な技術者・研究者の方々が集まるフォーラムにおいて、賞を頂くことができ非常に光栄です。また、最先端の研究・技術・製品等について知見を得られ、大変貴重な経験ができました。」と語ってくれました。

タイトル:

昆虫のプラストロンから着想を得た水中酸素供給デバイスの開発

発表者:

柳直樹



柳さん

院生の山崎さんが精密工学会北海道支部の学生奨励賞を受賞

大学院生の山崎美奈さん(光科学研究科光科学専攻 博士前期課程2年)が、公益社団法人精密工学会北海道支部学生奨励賞を受賞しました。

この賞は精密工学会会員が所属する道内の大学等の学業成績優秀な学生に対し、その学修成果と精進を讃える目的で贈られるものです。

平成28年3月19日(土)の学位記授与式において、川瀬学長より表彰状が授与されました。



山崎さん

学部生の荒川さんが中級バイオ技術者認定試験で優秀な成績を収めました

学部生の荒川卓巳さん(総合光科学部バイオ・マテリアル学科2年)が、平成27年12月20日(日)に行われた第24回中級バイオ技術者認定試験に合格し、主催者である特定非営利活動(NPO)法人日本バイオ技術教育学会のホームページに成績優秀者として名前が掲載されました。

合格者数1,406名中、掲載された成績優秀者は10名でした。

※バイオ技術者認定試験とは、日本バイオ技術教育学会が実施するバイオ技術の進歩に対しての総合学力を認定する試験です。(日本バイオ技術教育学会には本学も会員校として登録しています。)

学部生の新家さんが第34回学生写真道展で北海道写真協会賞を受賞



新家さん

学部生の新家浩平さん(総合光科学部バイオ・マテリアル学科4年)が、第34回学生写真道展において北海道新聞社賞を受賞しました。

平成28年3月20日(日)に表彰式が行われ、賞状と盾が授与されました。



受賞作品「祭魂」

研究・学生活動

大学院の学位論文発表会が行われました

平成28年1月28日(木)学位論文発表会が行われました。本学博士後期課程の辻慶子さんがICTを活用した教育支援システムに関わる研究で発表しました。研究内容は、学問の知識体系をWeb上でマップとして可視化し、これを見ながら eラーニングを用いて問題を解いたり、他の学習者と協同で問題を作成したりできる新しい情報システムに関するものでした。一連の研究は現在の日本の教育改革の中でも根幹に関わる内容で、大変注目されました。発表会では、教育システム情報学会会長の仲林清先生(千葉工業大学教授)をはじめ、関連分野の研究者の先生方にご参加頂き、有益なご意見を頂きました。

辻さんは、産業医科大学産業保健学部で教員として活躍されています。今後もご自身の研究成果である教育情報システムを活用して人材育成に努められ、その知見を本学に戻して頂き、人知還流を実践頂けることを期待しています。

平成27年度 博士論文一覧

平成27年度 博士前期課程 論文タイトル一覧

学生氏名	修士論文タイトル
梅津 敬太	主体的な学びを支援するeラーニングシステムの機能検討
加藤 樹	太さの異なる棒状高分子の混合系におけるスメクチック相の相分離
佐藤 杏希	自己組織化を利用した階層構造の作製と物性評価
園部 寛弥	電気接点の開離アーク放電特性に対する接点开離速度及び外部磁界の影響に関する研究
高野 泰臣	知識マップを用いた知識の修得・活用・拡充を一元的に図る学習支援システムに関する研究
高橋 未紀	ビスマス添加石英光ファイバ増幅器の広帯域増幅利得特性に関する研究
林 遼馬	光感受性物質Talaporfinを用いた腹膜転移癌の光線力学的診断
平澤 梓	項目反応理論を用いた適応型eラーニングシステムの実用化に関する研究
水本 朔	赤外分光法及び超短パルスレーザを用いた胆石治療の基礎研究
宮浦 一樹	クモの糸と導電性高分子との複合材料作製
村上 和希	義務教育におけるモバイルラーニングシステムの運用指針に関する研究
村上 祐今	ユウロピウムをドーパしたゾルゲルシリカガラスの作製と発光特性の研究
山口 潤	高校及び大学でのモバイルラーニングシステムの利用モデルに関する研究
山崎 美奈	視覚情報に基づく二足歩行ロボットの不整地歩行に関する研究
吉田 詠一	液体充填フォトニック結晶ファイバの開発
中津川 翼	地面反射以外の反射光入射がある場合の太陽電池発電量シミュレーションに関する研究

平成27年度 博士後期課程 論文タイトル一覧

学生氏名	博士論文タイトル
辻 慶子	知識可視化機能システムの開発
長谷川 理	初等中等教育におけるeラーニングの運用方策とその活用方法に関する研究

平成27年度 部・サークル活動実績

- YOSAKOIソーラン部
 - ・第24回YOSAKOIソーラン祭り 優秀賞(セミファイナル3位)
 - ・第25回石狩川フェスティバル 水祭YOSAKOI王座決定戦 王座(優勝)
 - ・第17回YOSAKOIソーラン祭り 上川中央支部大会 大賞(優勝)
- 軟式野球部
 - ・春季リーグ 3部リーグ2位(4勝2敗)
- 卓球部
 - ・第70回国民体育大会卓球競技北海道予選会千歳支部予選 成年男子シングルス ベスト4 畠山 梯
- バドミントン部
 - ・第57回北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会 男子4部リーグ 団体戦 2位
- ストリートダンス部
 - ・千歳市立富丘中学校ダンス指導ボランティア
- 写真部
 - ・大学案内サブパンフレット用写真撮影会
- 理工工房
 - ・タカトシ牧場ガーデンプロジェクト 自転車発電
 - ・平成27年度恵庭市環境・エネルギー展 参加
 - ・市民公開講座「理工工房のサイエンスショー」
- CCC(CIST Cycling Circle)
 - ・全日本ママチャリ12時間耐久レース 千歳科学技術大学CCC-Aチーム クラス別(18位/111チーム中)
- 数検サークル
 - ・2級合格者:1名

就職・キャリア支援

学内業界研究セミナーを開催しました

平成28年2月8日(月)から10日(水)の3日間の日程で、本学体育館にて「学内業界研究セミナー」を開催し、期間中88社の企業にご参加いただきました。

本セミナーは、キャリア教育の一環として希望する業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動へ向け、ミスマッチ

がおきないよう業界・仕事への理解を深めることを目的として、昨年度より実施しています。学生も最初は緊張した面持ちでしたが、各企業の採用担当者の方や本学出身の先輩社員などから様々なお話をいただき、これから本番を迎える就職活動に向け、意識が高まった様子でした。

なお、参加対象学生は学部2・3年生と進学予定の4年生、及び大学院1年生と幅広い学年を対象としており、特に学部2年生については、「キャリア形成B2」の授業科目においてセミナー受講を必修として位置付けており、早い段階から職業への意識付けを促進しております。

学内企業研究セミナー (学内合同企業説明会)を開催しました



平成28年3月23日(水)から30日(水)の土日を除く平日6日間の日程で、本学体育館にて「学内企業研究セミナー」を開催しました。本セミナーは、翌年に卒業を迎える学部3年生と大学院1年を対象として毎年実施しております。今年は昨年に引き続き企業の採用意欲が非常に高く、期間中171社の企業にご参加いただきました。学生も道内外の様々な企業の説明を聞くことができる機会ということもあり、連日リクルートスーツ姿の学生が企業の話に真剣に聞き入っていました。

工場見学バスツアー・ITバスツアーを実施しました

「働く現場」、「働く人」に触れることで、職業観や勤労観を醸成することを目的として、3つのバスツアーを3月に実施しました。

工場見学バスツアーは、地域企業、特にものづくり企業への理解を深めるため、地元千歳市に立地する、株式会社アンソー北海道様を3月8日(火)に、東洋アドレ株式会社様を3月16日(水)に、それぞれ見学させていただきました。事後学習では、ディスカッション型学びにより、体験したことをまとめ、企業への理解を深めるとともに、企業研究の方法も学びました。

また、3月10日(木)に実施したITバスツアーでは、札幌市内のIT企業3社(株式会社いずみホールディングス様、システムマインズ株式会社様、HISホールディングス株式会社様)を訪問し、「IT企業とは」、「地域への思い」などについて説明いただき、地域のIT企業について理解を深めました。また、このツアーには、本学のほか3大学からも学生が参加し、午後のワークショップでは活発に意見を出し合いました。

各コース参加者からは、「企業の見方が変わった」、「他大学の学生とディスカッションし、良い刺激を受けた」という声が聞かれました。

「OB・OG対話」を開催しました

平成28年1月12日(火)、本学にて「OB・OG対話」を開催しました。「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。

今回は、10社12名のOB・OGの方々にご協力いただきました。参加した学生からは、「業界・企業研究は時間がかかるので早めに始めたほうがよいとアドバイスをもらった」、「経験よりも入社してからの努力が大切だとわかった」などの声が聞かれ、就職活動や就職してからについて、あらためて考えるきっかけになった様子が伺えました。また、終了後のアンケートでは、参加学生の約90%が、就職に対する意識について「高くなった」または「やや高くなった」と答えました。

【2015年度「OB・OG対話」(2016年1月12日)にご参加頂いた皆様】(企業名順/敬省略)

企業名	氏名
株式会社アルファシステムズ	高倉 裕基
株式会社インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン	加藤 大吾 林 恵太
長田電機工業株式会社	坂口 宗
三幸総研株式会社	田岡 嗣敏 高梨 雅弘
日本コムシス株式会社	中根 浩
日本精機株式会社	伊藤 正紀
株式会社樋口	北岡 弘章
北海道富士電機株式会社	田中 伊織
三菱電機ビルテクノサービス株式会社	原 将大
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイーより1名	

求人数・就職率

求人票数 (平成28年3月31日現在)
1,008件

平成27年度卒業者の進路状況 (平成28年3月31日現在)

就職決定者 167名
就職率 97.7%

※就職率=就職決定者÷就職希望者

進路決定率 90.8%

※進路決定率=就職決定者数÷(全卒業者数-進学決定者数)

平成27年度卒業者の進路状況

(平成28年3月31日現在)

今年度は景気の回復傾向に伴い、昨年度と同様に企業側の採用意欲の向上が感じられました。また、採用スケジュールの大幅な変更があり、就職活動開始時期が後る倒しになったことから、就職活動が長期化した学生もおりました。このような状況下の中でも、企業側の採用数も増加傾向にあったため、昨年度と同様に就職率・進路決定率ともに高い水準となりました。

主な就職先 平成27年度卒業者実績(五十音順)

○企業

株式会社ISIDインターテクノロジー、株式会社iD、株式会社アイティ・コミュニケーションズ、アイフォーコム東京株式会社、株式会社アウトソーシングテクノロジー、厚木プラスチック株式会社、株式会社アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング、株式会社アルブス技研、株式会社アルメックス、株式会社インサイトテクノロジー、株式会社INDETAIL、株式会社上田商會、株式会社エイチ・アイ・ティ、ANA新千歳空港株式会社、株式会社エー・エル・ビー、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー、株式会社エム・ソフト、大井電気株式会社、株式会社OST札幌、株式会社オーエスピー、株式会社OCC、長田電機工業株式会社、協業組合カンセイ、株式会社キョウエイアドインターナショナル、クオリサイトテクノロジー株式会社、株式会社グロウステージ、KDDI株式会社、コムシス株式会社、株式会社コンピュータネットワーク札幌、札幌花き園芸株式会社、サンマルコ食品株式会社、三友プラントサービス株式会社、株式会社CIJ、シーシーアイ株式会社、CTCシステムマネジメント株式会社、株式会社ジェイテック、シグマトロン株式会社、株式会社繁富工務店、システムサービス株式会社、株式会社システム設計事務所、株式会社渋谷工業、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、株式会社ジョイフルエーカー、ジョンソンコントロールズ株式会社、スタック電子株式会社、株式会社スタッフサービス、株式会社Speee、住電通信エンジニアリング株式会社、株式会社セノン、株式会社セントラル情報センター、総合警備保障株式会社、大和冷機工業株式会社、高砂熱学工業株式会社、WDBエウレカ株式会社、中央システム株式会社、株式会社つうけん、株式会社ツルハ、株式会社DMM、Com OVERRIDE、ティ・エス テック株式会社、株式会社テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社、株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社、株式会社東京エネシス、東芝ソリューション株式会社、東芝ホクト電子株式会社、東テク北海道株式会社、株式会社トラスト・テック、夏目光学株式会社、日鋼情報システム株式会社、日興電気通信株式会社、日精機株式会社、株式会社ニッセイコム、日本コムシス株式会社、日本精機株式会社、日本電設工業株式会社、日本アルゴリズム株式会社、日本テクニカル・サービス株式会社、日本郵便株式会社、株式会社ノア、株式会社ハイマックス、東山フィルム株式会社、株式会社ビズリーチ、株式会社日立ソリューションズ・クリエイト、株式会社日立ハイテクフィールドディング、株式会社日立ビルシステム、株式会社日比谷プロワーク、株式会社VSN、株式会社フォーラムエンジニアリング、富士エレクトロニクス株式会社、株式会社富士通アドバンスエンジニアリング、株式会社富士通システムズ・イースト、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、株式会社平成観光、株式会社ベンチャーアソシエイツ、株式会社ホープス、北都システム株式会社、株式会社ホクレン商事、ホシザキ北海道株式会社、株式会社北海道日立システムズ、北海道富士電機株式会社、北海道マツダ販売株式会社、株式会社北海道吉野家、北海道旅客鉄道株式会社、株式会社ポディワークホールディングス、三菱電機システムサービス株式会社、三菱電機照明株式会社、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、ミハル通信株式会社、株式会社ミライト、株式会社ミライト・テクノロジー、美和電気工業株式会社、武蔵エンジニアリング株式会社、株式会社メイテックフィルダーズ、矢崎総業株式会社、ユニアテックス株式会社、株式会社ユニシス、リコージャパン株式会社、株式会社ルーセントスクエア

○公務員

航空自衛隊、札幌市教育委員会、苫小牧市役所、北海道運輸局、北海道教育委員会、北海道警察、陸上自衛隊

大学院進学 平成27年度卒業者実績(五十音順)

- 大阪大学大学院
- 千歳科学技術大学大学院
- 北海道大学大学院

お知らせ

【教職課程】新たな課程が認可されました

本学は応用化学生物学科にて中学校教諭一種免許状(理科)、及び情報システム工学科にて中学校教諭一種免許状(数学)、高等学校教諭一種免許状(数学・情報)の教育職員免許状を取得できる課程を設けるべく、平成27年3月に文部科学大臣に課程認定申請書を提出しておりましたが、この度申請を行った全ての課程が認可されました。

平成28年度より、本学にて取得可能な教育職員免許状は次のとおりです。(既存の課程も含む)

【本学にて取得可能な教育職員免許状】

- 理工学部応用化学生物学科 高等学校教諭一種免許状(理科)
中学校教諭一種免許状(理科)※
- 理工学部電子光工学科 高等学校教諭一種免許状(数学・情報)
中学校教諭一種免許状(数学)
- 理工学部情報システム工学科 高等学校教諭一種免許状(数学・情報)※
中学校教諭一種免許状(数学)※

※朱書は今回認定された免許教科で、平成28年度入学者より取得可能となります。

北海道檜山北高等学校と 高大連携協定を締結しました

平成27年12月10日(木)、北海道檜山北高等学校(佐竹 卓 校長)と本学(川瀬 正明 学長)との高大連携協定調印式を本学にて執り行いました。

今回の締結により、高大連携校は58校となりました。



北海道檜山北高等学校佐竹校長(左)と
本学川瀬学長

「北海道における雇用創出・若者定着 に係る協定」に調印しました



調印式

道内4大学(室蘭工業大学、北見工業大学、北海道科学大学、千歳科学技術大学)・4高専(苫小牧、釧路、旭川、函館)と9自治体(北海道、室蘭市、北見市、札幌市、千歳市、苫小牧市、釧路市、旭川市、函館市)が文部科学省の「地(知)

の拠点大学による地方創生推進事業(略称:CO-C+事業)」を活用して相互に連携・協力し、意欲と能力のある若者が北海道内において活躍できる魅力のある就職先や雇用を創出・開拓するとともに、地域が求める「ものづくり・人材」を養成することにより、地方創生の中心となる「ひと」を地方へ集積し、北海道の人口減少と地域経済の縮小に歯止めをかけ、自律的で持続的な地域社会の創生に寄与することを目的として、「北海道における雇用創出・若者定着に係る協定」を締結しました。

平成27年12月18日(金)、京王プラザホテル札幌において調印式が開催され、高橋はるみ北海道知事をはじめ、本学からは川瀬学長が出席し、協定書に署名しました。

また、調印式終了後、同ホテルにおいてキックオフミーティングが開催され、本年度の事業について報告がありました。



キックオフミーティング

大学公式Twitterにて、大学情報発信中！

@cistkoho 検索

本学のイベント情報や何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。校内写真にはミニ・カーギーが登場します。



?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげることも多い。

カーギーとひかるが活躍する本学オリジナルコミックス『研Q探Qカーギーズ第7巻(最新号)』も配布中です！



入試情報

平成28年オープンキャンパス日程

平成28年のオープンキャンパスは以下の日程で開催します。

- 第1回 6月19日(日) ■ 第2回 8月6日(土)・7日(日)
- 第3回 9月25日(日) ■ 第4回 11月6日(日)



LINE@chitose.ac.jp

受験生向けの本学公式LINEアカウントです。受験情報やオープンキャンパス等のイベント情報、進学相談会情報などの最新情報を随時発信しています。入試に関する話題以外に、学内の出来事もタイムラインに載せてご紹介。多くの方の友だち登録をお待ちしています！

I D 検索は @chitose.ac.jp



進学相談会参加予定 4月～6月

質問や不安にお答えします。お近くの会場にお越しください。お待ちしております。

開催地	会場名	開催日	時間	
札幌	札幌ファクトリーホール	4/21(木)	16:00～18:15	
	ホテルさっぽろ芸文館	4/22(金)	16:00～19:00	
	ホテルエミシア札幌	4/26(火)	15:00～18:00	
	ホテルさっぽろ芸文館	4/27(水)	14:00～18:30	
	札幌ファクトリーホール	5/15(日)	13:30～17:00	
	札幌パークホテル	5/27(金)	14:00～18:00	
	札幌コンベンションセンター	6/8(水)	16:00～17:30	
	ガトーキングダムサッポロ	6/10(金)	12:30～17:30	
	ホテルさっぽろ芸文館	6/24(金)	15:30～18:30	
	ガトーキングダムサッポロ	6/28(火)	15:00～16:30	
北海道	小樽	グランドパーク小樽	4/18(月)	15:00～18:00
	石狩	花川南コミュニティセンター	4/22(金)	15:30～18:00
	苫小牧	グランドホテルニュー王子	4/22(金)	15:00～18:00
	室蘭	中嶋神社蓬莱殿	4/21(木)	15:00～18:00
	伊達	だて歴史の杜カルチャーセンター	6/3(金)	16:00～18:00
	新ひだか	新ひだか町公民館	4/28(木)	15:00～17:00
	旭川	旭川市民文化会館	4/21(木)	11:30～19:00
		旭川グランドホテル	5/9(月)	15:00～18:00
		アートホテルズ旭川(旧:ロワジュールホテル旭川)	6/22(水)	16:00～18:30
	滝川	滝川スポーツセンター	6/22(水)	15:00～16:30
名寄	名寄市スポーツセンター	5/11(水)	15:00～17:15	
	名寄市民文化センター	6/13(月)	16:00～18:00	
稚内	稚内海員会館	6/14(火)	14:00～17:30	
函館	ベルクラシック函館	4/20(水)	15:00～18:00	

開催地	会場名	開催日	時間	
北海道	函館	ベルクラシック函館	6/9(木)	16:00～18:30
	八雲	八雲町シルバープラザ	6/7(火)	15:45～17:45
	今金	今金町民センター	6/8(水)	16:00～18:00
	江差	ホテルニューえさし	6/16(木)	16:00～18:00
	釧路	釧路市観光国際交流センター	5/25(水)	15:00～18:00
		釧路センチュリーキャッスルホテル	6/17(金)	16:00～18:30
	中標津	中標津寿宴	6/15(水)	16:00～18:00
	帯広	ホテル日航ノースランド帯広	4/25(月)	15:00～18:00
		ホテル日航ノースランド帯広	6/16(木)	16:00～18:30
	大樹	大樹町経済センター	4/20(水)	16:00～18:00
北見	ホテルベルクラシック北見	5/24(火)	15:00～18:00	
	ホテルベルクラシック北見	6/21(火)	16:00～18:30	
紋別	紋別市スポーツセンター	5/12(木)	16:00～18:00	
青森県	青森	リンクステーションホール青森	5/23(月)	15:00～18:30
	弘前	ホテルナクアシティ弘前	5/24(火)	15:00～18:30
	八戸	八戸プラザアーバンホール	5/25(水)	15:00～18:30
	むつ	むつ菜さまい館	6/17(金)	15:30～18:00
秋田県	秋田	アルヴェ	5/18(水)	15:00～18:30
岩手県	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング	5/19(木)	15:00～18:30
宮城県	仙台	仙台サンプラザ	6/27(月)	15:00～19:00
東京都	東京	池袋サンシャインシティ	6/18(土)	13:00～18:00
		東京ビックサイト	7/9(土)	10:30～17:00
大阪府	大阪	ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター	7/10(日)	11:00～16:00

※開催地は随時追加されます。最新情報は大学ホームページでご確認ください。

法人情報

【訃報】名誉教授 緒方直哉氏が 逝去されました



緒方名誉教授

千歳科学技術大学名誉教授 緒方直哉氏が平成27年12月22日(火)、83歳にて逝去されました。

先生は昭和7年3月、東京都に生まれ、昭和29年東京大学理学部化学科を卒業。その後、昭和36年に東京大学大学院化学系研究科において理学博士号を取得。昭和41年から上智大学理工学部にて教鞭をとり、昭和50年から同大副学長を務められた後、平成10年4月に本学学長に就任されました。学長として平成14年3月まで務められ、同年4月からは名誉教授にられました。

学外においても、有限会社緒方材料科学研究所を設立し、複数の研究機関の共同研究による材料開発や、政府系競争的資金・民間研究費を獲得するなどの研究活動に勤しまれました。

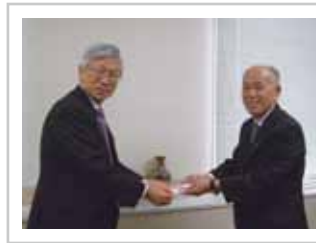
生前の数々のご功績を偲び、ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

奨学金の寄付に 深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成27年12月1日から平成28年3月31日まで)(日付順)

- 株式会社 カミノ 様
- 芦高 秀知 様
- 福永 宗碧 様
- 千歳科学技術大学同窓会 様



株式会社カミノ様



千歳科学技術大学同窓会様

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただきます。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



編集後記

今回の表紙は学位記授与式でした。卒業生はそれぞれの思いを胸に巣立って行きました。本学で学んだ知識や経験が、将来への糧となる事を祈っています。卒業生のみなさん、本当におめでとうございます。

科技大のマスコットキャラクター「カーギー」が本学公式のTwitterやLINEで活躍中です。皆さんご覧いただけただけでしょうか？構内のあちこちでスナップ写真を撮っていますが、今年をもっと外に出て行こうと画策中です。写真撮影の姿を見かけたら、お気軽に声をかけてくださいね。



▶ 本学の紹介動画を **You Tube** 公式チャンネルで公開中!





Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6001 ■ホームページ www.chitose.ac.jp



Volume
40

平成28年7月31日

第29回(平成28年度)花いっぱいコンクールで最優秀賞を受賞しました

平成28年5月下旬に菜園サークル、理工工房の学生らと、本学の職員らが協力して植付けをし、手入れを続けてきた、研究・実験棟前ロータリーの花壇が、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団主催の「第29回(平成28年度)花いっぱいコンクール」において、最高の賞である最優秀賞を受賞しました。昨年度の優秀賞から、順位を一つ上げての快挙です。授賞式は千歳市内で8月29日(月)に執り行われる予定で、本学からは菜園サークルの学生3名が代表で出席します。

学長からのメッセージ

「初心に返って」

昨年の学報でもお知らせしましたが、本年4月に「情報システム工学科」が発足し、新「理工学部」の体制が完成しました。

建学時当初、初代佐々木敬介学長は「理工融合」を目指しておられましたので、まさに「初心に返って」新たな千歳科学技術大学の歴史を刻む体制がスタートした、ということになります。

学部名称として、理学、工学、理工学などが存在しますが、学位として理学、工学では無く、「学士(理工学)」としている大学は国内でもわずかしきありません。その中で特に理工融合を目指す意味は「大学としてコアとなる教育をしっかりと行った上で、産官学共同体制の下で真に社会に役立つ研究開発を行い、人材を輩出する」という趣旨を意味しています。

大学で教育・開発した人材と技術が真に社会に役立つ、その成果を持って社会とともに発展する大学を目指す、という趣旨の建学精神「人知還流」の意味するところです。

一方、世の中では基礎研究と実用化開発の間の大きなギャップを魔の谷、死の川などと表現しますが、出口に近づくほど担当者の人間性が開発や事業の成否に大きく関係してきます。その意味で本学のもう一つの建学精神「人格陶冶」は単に「人格を磨く」という以上の意味が含まれています。

さて、ここ数年「教育改革」、「大学改革」の動きが大きく進んでいます。

前者は「高大接続改革」という表現の方が良く耳にされるかもしれませんが、この少子化の状況の中で、個々人の力を最大限に活かし、我が国の総合力を維持・発展させていくために必須の改革です。求められている内容は「知識や技能」付与の教育だけではなく、知識技能を活用した「思考力・判断力・表現力」、さらには「主体的に取り組む態度(主体性、協働性等)」が教育の3要素とされています。本学は卒業時の質保証の取り組みで、今年度文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」に採択され、上述した初心に返ってその遂行を目指しているところです。

本事業の推進には産官界に加えて、卒業生の力も大いに必要となりますので、関係各位のご支援をこの場を借りてお願い申し上げます。



千歳科学技術大学 学長

川瀬 正明

平成28年度文部科学省大学教育再生加速プログラム(AP)に採択されました

「大学教育再生加速プログラム(以下“AP”とする)」は、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組みを実施する大学を支援することを目的としています。

平成28年度は「テーマV 卒業時における質保証の取組の強化」の公募が行われ、116の応募校の中から、採択されたのは本学を含め19校でした。

文部科学省では本事業を「高大接続改革推進事業」と位置づけ、入口(入学)から出口(卒業)まで質保証を伴った大学教育を実現するため、総合的な取組みを一層強力に推進する事と、全国の大学に対して積極的に情報発信することを期待しています。

【取組みの概要】

本学は本AP事業を中核事業と位置づけ、GP等の成果を一体化させて教育改革の加速を目指しています。従来のディプロマ・ポリシーを、学力観を意識したコンピテンシーベースのものに改訂し、カリキュラムの体系化を図ります。その上で、コンピテンシー養成のためにICT活用教育環境を構築し、これと並行して、初年次系修学支援室の体制強化、キャリア教育、クラスアドバイザーの実働、専門科目・指導教員によるパフォーマンス評価を行います。

これらを組み合わせ、反転学修とアクティブラーニングなどの推進とでディプロマ・サブリメントの活用などにより、授業改善を一体的に行います。

本事業では、これらを学修過程・学修成果の可視化として提示し、社会の要請に基づく質保証に応え、高大接続システム改革に資する教育システムの確立を目指します。



トピックス

平成28年度 千歳科学技術大学・大学院 入学式を実施しました

平成28年4月9日(土)、本学講堂において平成28年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行し、理工学部197名、大学院光科学研究科17名、計214名が新たな一歩を踏み出しました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多くのご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午前10時から始まりました。式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の川端泰成さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式の終了後は、保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。山中明生学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学習、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



伊澤理事長



保護者説明会の様子

大学見学を実施しました

本学では、中・高校生に対し大学の教育内容についての理解を深めていただくことを目的とし、大学見学を実施しています。模擬講義や研究室見学を通して、大学での学びや研究に触れ、進路意識・進学意欲を高めるため、また大学に興味を持っていただくきっかけ作りに役立っています。

平成28年度4月から7月にかけて、以下の学校にこの制度を活用して大学見学に来学いただきました。

中学校

- ・えりも町立えりも中学校:7月13日(水)
- ・恵庭市立恵庭中学校:7月14日(木)

高等学校

- ・北海道千歳北陽高等学校:4月22日(金)
- ・北海道札幌西陵高等学校:6月9日(木)
- ・北海道苫小牧南高等学校:6月21日(火)
- ・北海道浦河高等学校:6月23日(木)
- ・北海道室蘭東翔高等学校:6月23日(木)
- ・北海道札幌平岡高等学校:7月21日(木)



苫小牧南高校



室蘭東翔高校



札幌平岡高校

北海道千歳高等支援学校の 生徒さんが現場実習を行いました

平成28年6月13日(月)から24日(金)までの2週間にわたり、北海道千歳高等支援学校の生徒さん3名が本学で現場実習を行いました。実習中は車の点検作業や花壇手入れ、体育館清掃などに従事し、皆さん真剣に作業に取り組んでいました。

最終日の24日(金)は、理工工房の部室を訪れ、初めて見る実験に興味津々の様子でした。ロケットの発射では歓声が上がリ、最後は自作の万華鏡を手に笑顔で実習を締めくくりました。



作業の様子1



作業の様子2



理科実験の様子1



理科実験の様子2

ライトアート工房が苫小牧市の 「美術博物館祭」に参加しました

電子光工学科の青木広宙准教授が率いるライトアート工房が平成28年7月23日(土)から31日(日)まで、苫小牧市美術博物館で開催された「美術博物館祭2016」に参加しました。

芸術家の藤沢レオさんと作曲家の中坪敦彦さん、そしてライトアート工房の3者がコラボレートしたスペシャルライブや、夜の美術博物館にライトアート工房制作のプロジェクションマッピングが流れる企画など、盛りだくさんの内容でした。会期中は多くの方が苫小牧市美術博物館を訪れ、博物館祭を楽しみました。



ライブの様子



藤沢さん、中坪さんとライトアート工房

木村研究室の院生2名が第36回骨形態計測学会において賞を受賞しました

木村研究室所属の大学院生、浅井恵さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程)と伊藤哲平さん(光科学研究科光科学専攻博士後期課程)が、平成28年6月23日(木)から25日(土)に新潟コンベンションセンター(新潟県)で開催された、第36回骨形態計測学会において、それぞれ若手研究者賞と学術奨励賞を受賞しました。



写真左から 浅井さん、木村教授、伊藤さん

◇学術奨励賞

演題:骨アパタイトとコラーゲン繊維の配向性の関係

演者:伊藤哲平、金沢恭祐、木村・須田廣美

◇若手研究者賞

演題:慢性腎臓病に伴う低回転骨の骨質解析

演者:浅井恵、兼平裕也、伊藤哲平、屋代充、園生智弘、小林幸雄、居城邦治、塚本尚義、重松隆、木村・須田廣美

院生が第65回高分子学会年次大会において賞を受賞しました

大学院生の瀬川雄太さん(光科学研究科光科学専攻 博士前期課程1年 指導教員:下村政嗣教授)が、平成28年5月25日(水)から27日(金)に神戸国際会議場・展示場(兵庫県)で開催された、第65回高分子学会年次大会において優秀ポスター賞を受賞しました。この賞は、高分子学会年次大会において、優れたポスター発表を行った発表者に対して、授与されるものです。



瀬川さん

受賞した瀬川さんからは「今回は修士課程1年になって初めての学会発表で、賞をいただけるとは思っていませんでしたが、自分の研究が認められたのは本当に嬉しいです。いただいた賞に甘んじることなく、今後も研究に精進していきたく思います。」とのコメントをいただきました。

タイトル:自己組織化多孔質薄膜を用いたMoth eye構造の作製

発表者:瀬川 雄太

江口先生が電子情報通信学会総合大会において賞を受賞しました

理工学部電子光工学科の江口真史准教授が、平成28年3月18日(金)、九州大学伊都キャンパス(福岡県)で開催された「2016年電子情報通信学会総合大会」において開催されたエレクトロニクスシミュレーションセッションにおいて、電子情報通信学会エレクトロニクスシミュレーション研究会2015年度 一般部門 優秀論文発表賞を受賞しました。



江口先生(右端)

この賞は電子情報通信学会エレクトロニクスシミュレーション研究会における1年間の全論文発表の中から一般、若手それぞれ2名を表彰するものです。

受賞論文発表タイトル

・4倍精度演算による1mm径規模極太ファイバの全モード解析に向けた検討

・大規模数値シミュレーションの精度と4倍精度浮動小数点演算の実装の現状

受賞者:江口真史

青木先生が平成27年度日本生体医工学会論文賞・阪本賞を受賞しました

理工学部電子光工学科の青木広宙准教授が、平成28年4月27日(水)に開催された「第55回日本生体医工学会大会」中において執り行われた選奨報告および表彰式にて、平成27年度日本生体医工学会論文賞・阪本賞を受賞しました。

論文賞・阪本賞は、日本生体医工学会の対象とする領域における学問および技術に大きな貢献をする論文の著者を表彰するもので、同会の機関誌に発表された研究論文のうち特に優秀なもの(年度中一編)を選びその著者に贈呈されるものです。

対象となった論文は以下の通りです。

論文タイトル:

グリッドアクティブステレオを用いた三次元消化器内視鏡におけるキャリブレーション手法

(『生体医工学 Vol. 52(2014) No. 2』pp.97-107)

著者:青木 広宙、古川 亮、西谷 維心、青山 正人、日浦 慎作、

小南 陽子、松尾 泰治、吉田 成人、田中 信治、佐川 立昌、

川崎 洋

平井先生が一般社団法人日本ゴム協会2016年年次大会において賞を受賞しました

理工学部応用化学生物学科の平井悠司専任講師が、平成28年5月19日(木)、20日(金)に、大宮ソニックシティ(埼玉県)において開催された「一般社団法人日本ゴム協会2016年年次大会」若手発表の部において優秀発表賞を受賞しました。

この賞は全体の参加者の中から35歳以下の発表者に対して授与されるもので、今回は28名中4名が受賞しました。

発表タイトル:

加硫ゴムの微細加工と撥水性評価

発表者:

○平井悠司1)、田村陸1)、下村政嗣1)、松尾保孝2)、岡松隆裕3)、有田稔彦4)

1)千歳科学技術大学、2)北大電子研、3)横浜ゴム株式会社、

4)東北大多元研

下村先生が日本顕微鏡学会の論文賞を受賞しました

理工学部応用化学生物学科の下村政嗣教授が、日本顕微鏡学会において論文賞を受賞しました。

この賞は、学会誌『Microscopy (旧誌名 Journal of Electron Microscopy)』に掲載された論文の中より、前2ヶ年の実績を審査し、学術上または技術上特に優秀な論文に対し贈られるものです。

受賞表題:

Dressing living organisms in a thin polymer membrane, the NanoSuit, for high-vacuum FE-SEM observation

受賞者名:

Ohta I, Takaku Y, Suzuki H, Ishii D, Muranaka Y, Shimomura M, Hariyama T

入試情報

平成28年度第1回オープンキャンパスを開催しました



平成28年6月19日(日)、本年度第1回のオープンキャンパスを開催しました。

当日は研究室ツアーや模擬講義、学食体験、学生との交流会といったプログラムをご用意。研究室ツアーや模擬講義では、本学で行われている研究や学びに触れ、学生との交流会では、教職員にはなかなか聞く事のできない大学生活について知ってもらいました。オープンキャンパスの1日はあっという間に過ぎ去り、名残惜しさを感じつつも、参加者の皆さんは学生とカーギー、ひかるくんに見送られて解散となりました。

年間4回を予定しているオープンキャンパスでは、何度来ても楽しめるものになるよう毎回プログラムを工夫しています。

「1日科技大生」を開催しました

「1日科技大生」を平成28年4月29日(金・祝)に開催しました。「1日科技大生」とは学期中の大学キャンパスで高校生が大学生と同じ通常授業に参加し、入学後と同じ「普段の一日」を体験してもらうプログラムです。当日は道内各地から21名の高校生にご参加いただき、科技大の日常を体験してもらいました。

参加者からは「他の参加者と意見交換できたので、よい機会だった」「大学生の雰囲気を知ることができた」などの感想をいただきました。



オープンキャンパス今後の予定

9月25日(日) 11月6日(日)

入試に関するお問合せ 担当:入試課

TEL:0123(27)6011 FAX:0123(27)6076

E-mail:nyushi@photon.chitose.ac.jp

「研Q探Qカーギーズ」の第7巻が完成しました

本学の研究を分かりやすく紹介した、「研Q探Q(けんきゅうたんきゅう)カーギーズ」の最新号(第7巻)が完成しました。今回登場するのは首我先生、川辺先生、福田先生の研究室です。先生が取り組んでいる研究についてカーギーズが質問をぶつけます。ご興味のある方は入試課までお問合せ下さい。

大学公式Twitterにて、大学情報発信中！

@cistkoho 検索



本学のイベント情報や学生活動、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。スナップ写真には、たまにミニ・カーギーが登場します。

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。

カーギーとひかるが活躍する本学オリジナルコミックス『研Q探Qカーギーズ第7巻(最新号)』も配布中です！



連携事業

北海道札幌丘珠高校でeラーニング講習会を行いました

平成28年6月17日(金)北海道札幌丘珠高校で、eラーニング講習会を行いました。eラーニングでは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができ、今回の講習会ではeラーニングシステムの基本的な使い方を説明しました。

講習会を受講した生徒さんからは、「使いやすく、わかりやすい」「自宅でもeラーニングを活用したい」等の感想をいただきました。



一般社団法人千歳観光連盟と包括連携に関する協定書を交わしました



川瀬学長(左)と瀧澤会長



調印式の様子

平成28年4月20日(水)、ANAクラウンプラザホテル千歳において「千歳科学技術大学と一般社団法人千歳観光連盟との包括連携に関する協定書」を取り交わしました。当日は本学から川瀬正明学長以下6名、千歳観光連盟からは瀧澤順久会長以下7名が出席し締結式が行われました。

これまで「観光」をキーワードとした教育の向上及び調査・研究並びに千歳観光、北海道観光の振興を目的に連携してきましたが、今回の締結により大学が有しているICT技術や研究ノウハウ、観光連盟が有する企画・開発力がこれまで以上に強い結びつきとなり、相互に地域経済の発展に寄与していけるよう協力体制を密にしていきます。

第1・2回公開講座報告

【第1回公開講座】

講演では、数学に関わる人物の紹介から、歴史とともに発展していく数学とテクノロジーの説明、数学の性質、数学はなぜ勉強しなければならないのか、その理由についてお話ししました。また講座の最後には数学を通して身につける事ができる能力とその活用について、分数を例に来場者にもわかりやすく説明しました。

当日は千歳市内をはじめ、恵庭市、室蘭市、岩見沢市、登別市、苫小牧市などから48名の参加者に受講いただきました。

- 日時:平成28年6月4日(土)14:30~16:30
- 会場:千歳市民文化センター 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:数学は役に立ちますか?数学と日常生活の関係性
- 講師:今井 順一(情報システム工学科 教授)



講座の様子(今井教授)

【第2回公開講座】

講演では、中国にて生み出された食文化の成り立ち、その文化が日本へ伝わり変化していった経緯などを日中双方の観点から説明しました。写真を多く用いた解説や講義の資料を手に取り、講師と参加者が交流するなど盛況のうちに講座を終了いたしました。

当日は千歳市内をはじめ、札幌市、北広島市、恵庭市などから40名の参加者に受講いただきました。

- 日時:平成28年7月30日(土)14:30~16:30
- 会場:千歳市民文化センター 3階 中会議室2
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:「薬食同源」と「素材重視」 ー 日中食文化の歴史、交流、特長、異同について ー
- 講師:王 建康(電子光工学科 教授)



講座の様子(王教授)

財務情報

貸借対照表

※平成28年3月31日現在

資産の部

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,497,331	9,531,118	△ 33,787
有形固定資産	5,739,102	5,839,413	△ 100,311
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	2,070,781	2,126,589	△ 55,808
その他の有形固定資産	673,305	717,808	△ 44,503
特定資産	3,756,251	3,686,425	69,826
その他の固定資産	1,978	5,280	△ 3,302
流動資産	1,243,592	1,341,923	△ 98,331
現金預金	1,205,190	1,273,260	△ 68,070
その他の流動資産	38,402	68,663	△ 30,261
資産の部合計	10,740,923	10,873,041	△ 132,118

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	118,352	75,779	42,573
流動負債	289,198	302,501	△ 13,303
負債の部合計	407,550	378,280	29,270

純資産の部

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	11,111,569	11,127,665	△ 16,096
第1号基本金	10,989,778	11,005,874	△ 16,096
第4号基本金	121,791	121,791	0
繰越収支差額	△ 778,196	△ 632,904	△ 145,292
翌年度繰越収支差額	△ 778,196	△ 632,904	△ 145,292
純資産の部合計	10,333,373	10,494,761	△ 161,388
負債及び純資産の部合計	10,740,923	10,873,041	△ 132,118

活動区分資金収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

科目	金額	科目	金額
収入		収入	
学生生徒等納付金収入	998,240	退職給与引当特定資産取崩収入	3,999
手数料収入	12,576	研究特定資産取崩収入	771
特別寄付金収入	5,455	預り金受入収入	311,990
経常費等補助金収入	242,112	立替金回収収入	24
付随事業収入	82,126	小計	316,784
雑収入	16,284	受取利息・配当金収入	43,058
教育活動資金収入計	1,356,793	過年度修正収入	462
支出		その他の活動資金収入計	360,304
人件費支出	723,205	退職給与引当特定資産繰入支出	48,219
教育研究経費支出	455,658	研究特定資産繰入支出	894
管理経費支出	195,226	預り金支払支出	348,446
教育活動資金支出計	1,374,089	立替金支払支出	24
差引	△ 17,296	小計	397,583
調整勘定等	49,279	過年度修正支出	917
教育活動資金収支差額	31,983	その他の活動資金支出計	398,500
		差引	△ 38,196
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	△ 38,196
施設整備等活動による資金収支		支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	△ 68,070
施設設備寄付金収入	5	前年度繰越支払資金	1,273,260
施設設備売却収入	108	翌年度繰越支払資金	1,205,190
減価償却引当特定資産売却収入	218,557		
減価償却引当特定資産取崩収入	659,357		
施設整備等活動資金収入計	878,027		
施設関係支出	17,525		
設備関係支出	31,157		
減価償却引当特定資産繰入支出	890,975		
施設整備等活動資金支出計	939,657		
差引	△ 61,630		
調整勘定等	△ 227		
施設整備等活動資金収支差額	△ 61,857		
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 29,874		

事業活動収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

当該会計年度における[事業活動収入]及び[事業活動支出]の均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,028,723	998,240	30,483
手数料	10,813	12,576	△ 1,763
寄付金	8,000	5,455	2,545
経常費等補助金	190,896	242,112	△ 51,216
国庫補助金	190,826	242,048	△ 51,222
地方公共団体補助金	70	63	7
付随事業収入	54,645	82,126	△ 27,481
雑収入	7,296	16,285	△ 8,989
教育活動収入計	1,300,373	1,356,794	△ 56,421
事業活動支出の部			
人件費	748,134	767,426	△ 19,292
教育研究経費(内減価償却額)	640,417	595,565	44,852
管理経費(内減価償却額)	209,254	207,809	1,445
徴収不能額等	11,950	12,583	△ 633
徴収不能額等	0	2,714	△ 2,714
教育活動支出計	1,597,805	1,573,514	24,291
教育活動収支差額	△ 297,432	△ 216,720	△ 80,712
教育活動外収入の部			
受取利息・配当金	50,000	43,058	6,942
教育活動外収入計	50,000	43,058	6,942
教育活動外支出の部			
借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	50,000	43,058	6,942
経常収支差額	△ 247,432	△ 173,662	△ 73,770
特別収入の部			
資産売却差額	10,000	12,422	△ 2,422
その他の特別収入	0	3,180	△ 3,180
特別収入計	10,000	15,602	△ 5,602
特別支出の部			
資産処分差額	0	2,412	△ 2,412
その他の特別支出	0	917	△ 917
特別支出計	0	3,329	△ 3,329
特別収支差額	10,000	12,273	△ 2,273
予備費	(5,000)	0	0
基本金組入前当年度収支差額	△ 237,432	△ 161,389	△ 76,043
基本金組入額合計	△ 40,262	0	△ 40,262
当年度収支差額	△ 277,694	△ 161,389	△ 116,305
前年度繰越収支差額	△ 632,903	△ 632,903	0
基本金取崩額	0	16,095	△ 16,095
翌年度繰越収支差額	△ 910,597	△ 778,197	△ 132,400

資金収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん未を明らかにするもの。

収入の部

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,028,723	998,240	30,483
手数料収入	10,813	12,576	△ 1,763
寄付金収入	8,000	5,460	2,540
補助金収入	190,896	242,112	△ 51,216
国庫補助金収入	190,826	242,048	△ 51,223
地方公共団体補助金収入	70	63	7
資産売却収入	0	218,665	△ 218,665
付随事業・収益事業収入	54,645	82,126	△ 27,481
受取利息・配当金収入	50,000	43,058	6,942
雑収入	7,296	16,746	△ 9,450
前受金収入	178,529	185,307	△ 6,778
その他の収入	832,353	1,036,116	△ 203,763
資金収入調整勘定	△ 161,889	△ 193,709	31,820
当期資金収入合計	2,199,366	2,646,697	△ 447,331
前年度繰越支払資金	1,273,260	1,273,260	0
収入の部合計	3,472,626	3,919,957	△ 447,331

支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費支出	743,351	723,205	20,146
教育研究経費支出	495,856	455,658	40,198
管理経費支出	197,304	196,144	1,160
施設関係支出	18,144	17,525	619
設備関係支出	36,763	31,157	5,606
資産運用支出	494,432	940,088	△ 445,656
その他の支出	372,493	431,427	△ 58,934
予備費	(5,643)	4,357	4,357
資金支出調整勘定	△ 96,098	△ 80,437	△ 15,661
当期資金支出合計	2,266,602	2,714,767	△ 448,165
翌年度繰越支払資金	1,206,024	1,205,190	834
支出の部合計	3,472,626	3,919,957	△ 447,331

KAGIDAIからのお知らせ

千歳光科学国際フォーラム(CIF'17)を開催します

本年11月14日(月)、15日(火)、本学を会場に第17回千歳光科学国際フォーラムを開催します。

今回の国際会議は、本学の元学長の故 緒方 直哉氏のメモリアル会議として開催されます。緒方元学長(第二代学長)は、鮭の白子からDNAを抽出分離する技術を開発し、光・電子材料をはじめとする分離材料、医用材料に応用する研究開発を行ってきました。11月14日(月)の会議においては、緒方先生の研究成果とこのDNAに関する最新のトピックスをお伝えする日本語による公開講演を予定しております。

千歳光科学国際フォーラムではこれまで国際会議に合わせて6名のノーベル賞受賞者を招聘し、市民向けの特別講演を行っております。昨年は、2010年にノーベル化学賞を受賞された米国バドュー大学特別教授の根岸英一先生から「夢を持ち続けよう!」というテーマで講演をいただき、会議参加者、学生等学内関係者、一般市民合わせて約200名の方々が熱心に耳を傾けていました。



根岸英一先生



記念植樹

※写真は昨年のもので

福永宗碧先生よりご寄付(奨学資金)をいただきました

平成28年7月20日(水)に福永宗碧先生(表千家茶道教授)より奨学資金として100万円のご寄付をいただきました。福永先生は、長年にわたり本学の文芸部(茶道)をご指導いただくとともに、これまでも、毎年ご寄付をいただいております。

本学の奨学金制度は、福永先生からのご寄付を契機とし、平成18年度に創設し、運営されております。千歳科学技術大学奨学金は、経済的な理由により修学が困難な優れた学生に対して給付を行っており、延べ124名の学生に給付を行ってきました。

これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただきます。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



新しく赴任された先生からメッセージをいただきました。

大好きなことが研究に結びつく教育をめざしたい

情報システム工学科 村井哲也教授



この4月から情報システム工学科に着任しました。今後ともよろしくご指導の程お願いいたします。

これまで、前職での学生実験などの経験から構想を温めてきた「人が溶け込むAI環境デザイン」計画が、本学科に着任させていただいて、いよいよ実現可能になったと、ワクワクしながら現在準備を進めています。近年、日本の高校生たちが自信を失っている、という報道もあり、自分には何ができるか、私なりに自問し、顧みるに、結局、大好きなことがそれぞれの研究に結び付けば楽しいことこの上ないわけです。そこでそれをアフォードし、それに気付いてもらえる研究室の教育環境を作りたいと思います。

学生の皆さんは研究を存分に楽しむ中で、数学を含む科学の普遍力を実感し、「自ら成長する教養人」を目指してもらえれば、うれしい限りです。

編集後記

今回の表紙は、花いっぱいコンクールで優勝!という嬉しいご報告です。雨の中、花摘みに勤しんだり、休日の暑い日に水やりに通ったり、学生らの地道な努力が優勝という結果をもたらしました。カーギーもごくたまに花壇を見に行っていました。その様子は本学公式ツイッターをご覧くださいね。





Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6001 ■ホームページ www.chitose.ac.jp



Volume

41

平成28年11月30日

第18回稜輝祭(大学祭)を開催しました

平成28年9月18日(日)に稜輝祭実行委員会主催による第18回稜輝祭(大学祭)を開催しました。

今年は、人々の思いを乗せた飛行機が飛び交う「そら」のように、幅広い世代の方々に楽しんで頂きたいという願いを込め、「そら」というテーマが掲げられました。

当日はあいにくの空模様となり屋内でのイベント進行となりましたが、ご家族で楽しめる姿が多く見られ終日賑わいをみせました。さらに、恒例となったお笑いライブでは、「キンタロー。」「スキンヘッドカメラ」に稜輝祭を盛り上げていただきました。

稜輝祭の企画・運営にあたりご協力賜りました各方面の皆様方、足もとが悪い中ご来場いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

トピックス

平成28年度慶応工学会給費 奨学生に採用されました

大学院生の鈴木優稀さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年)が、平成28年度一般財団法人慶応工学会給費奨学生に採用されました。

平成28年8月8日(月)、本学において給費奨学生の伝達式を執り行い、川瀬学長より給費奨学金授与証書を授与いただきました。この奨学金制度は全国の理工系大学院生から募集され、奨学生として採用されると年額36万円を1ヵ年支給されます。



川瀬学長(左)と鈴木さん(右)

平成28年度父母懇談会を 開催しました

平成28年10月1日(土)、本学において平成28年度父母懇談会が開催され、約110名の皆様にご参加いただきました。

午前10時より、大講義室で「全体説明会」および「就職について」の説明を各担当教員より行い、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。その後会場を移し、「学部教育」「大学院」「研究成果」「父母向け情報サイト」についての説明と本学相談員による「大学生活における困り感について」の講演を行いました。

午後からは、「学習・生活個別相談」と「就職セミナー(就職支援会社による講演、就職個別相談、卒業生による就職活動体験報告会)」を同時に開催しました。個別相談では学生一人ひとりの成績や大学生活の様子、就職状況など参加者の皆様が日頃疑問や不安に思っていることについて、担当教職員が説明いたしました。また、就職セミナーでは、株式会社ジェイ・ブロード 北海道支社長 前田 健郎氏による講演や卒業生から就職活動について生の声が聞けるということで、多くの方が参加されました。

次年度も開催を予定しておりますので、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



千歳光科学国際フォーラム(CIF'17)を開催しました

本年で第17回目を迎える千歳光科学国際フォーラムを、平成28年11月14日(月)、15日(火)の両日、本学において開催しました。

本年は、本学第2代学長の緒方直哉名誉教授(平成27年12月逝去)のメモリアルとして開催されました。緒方先生は北海道の資源を活かした研究活動にご尽力され、サケ白子からDNAを抽出し、光・電子材料をはじめとする分離材料、医用材料への応用について研究開発を行ってきました。

今回の光科学国際フォーラムでは、緒方先生と親交の深い方々を国内外から11名招聘して講演していただきましたが、中でも大日本印刷株式会社の高橋洋一氏によるDNAの特性や機能性高分子の最新研究についての講演は学生約200名が熱心に聴講していました。

また、ポスターセッションも開催され、本学の学生や大学院生、九州大学、旭川工業高等専門学校等の学生が自身の研究について熱心に発表し、国外からの研究者とも活発に意見を交換していました。

来年度の千歳光科学国際フォーラムの日程は決まり次第、ホームページ等でご案内いたします。



記念植樹



高橋洋一氏による講演の様子



フォーラムの様子

学生受賞報告

精密工学会北海道支部学術 講演会で賞を受賞しました

大学院生の及川貴才さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 指導教員:小田尚樹教授)が、平成28年8月27日(土)に旭川市大雪クリスタルホール(旭川市)で開催された、「2016年度精密工学会北海道支部学術講演会」において、優秀プレゼンテーション賞を受賞しました。

この賞は、同学術講演会において、優れたポスター発表を行った発表者に対して、授与されるものです。

タイトル:広角カメラを用いたパワーアシスト
車椅子の衝突回避支援に関する研究

発表者: 及川 貴才, 小田 尚樹(千歳科学技術大学)



及川さん

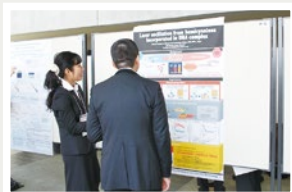
CIF'17で賞を受賞しました

大学院生の鈴木優稀さん(光科学研究科光科学専攻 博士前期課程川辺研究室所属)が、平成28年11月14日(月)、15日(火)に本学で開催された、千歳光科学国際フォーラム(CIF'17)においてPoster Awardを受賞しました。

受賞した鈴木さんからは「DNAの研究を始めた緒方先生のメモリアルであったCIF'17で、関連研究をしている私がPoster Awardを受賞できたこと、素直にとっても嬉しいです。成果を出すためにかなり遠回りしましたが研究が報われたと感じています。賞を受賞できたのは、川辺先生の細やかなご指導やデータ解析のプログラムを書いてくれた佐々木研究室の越智くんの協力、その他大勢の方の支えがあってのことです。卒業間近で研究も大詰めですが、より一層気を引き締めて研究に励んでいきます。」とのコメントをいただきました。

タイトル:Laser oscillation from
hemicyanines incorporated
in DNA complex

発表者: Yuki Suzuki, Yutaka Kawabe
(Chitose Institute of
Science and Technology)



ポスター発表の様子

第67回コロイドおよび 界面化学討論会で賞を受賞しました

大学院生の田村陸さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年下村・平井研究室所属)が、平成28年9月22日(木)から24日(土)に北海道教育大学旭川校(旭川市)で開催された、第67回コロイドおよび界面化学討論会においてポスター賞を受賞しました。

受賞した田村さんからは「受賞の報をいただいたときはとても驚きましたが、良いデータが発表できるように直前まで努力したので、報われた感じがしました。今回いただいた賞を励みに今後も研究に勤んでいきたいと思っています。」とのコメントをいただきました。



田村さん

タイトル:超撥水微細構造ゴム表面の作製
発表者: 田村 陸¹, 平井 悠司¹, 下村 政嗣¹,
松尾 保孝², 岡松 隆裕³, 有田 稔彦⁴
(¹千歳科技大院,²北大電子研,
³横浜ゴム,⁴東北大多元研)

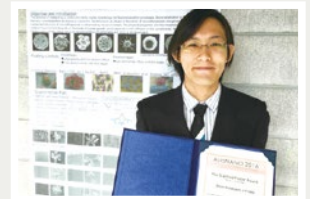
AsiaNANO 2016 国際会議で賞を受賞しました

大学院生の小林翔太さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年 指導教員:オラフ・カートハウス教授)が、平成28年10月11日(火)から13日(木)に札幌コンベンションセンター(札幌市)で開催された、AsiaNANO 2016においてポスター賞を受賞しました。

受賞した小林さんからは「このような国際学会での受賞を大変光栄に思います。今の結果に満足せずに、より多く実績を収められるよう尽力したいと思います。」とのコメントをいただきました。

タイトル: Micro-Ikebana by Biomimetic
Crystallization of Alkaline
Earth Carbonates

発表者: Shota Kobayashi¹, Viktor
Fischer^{1,2,#}, Olaf Karthaus¹
(¹Chitose Institute of Science
and Technology,²Japan Society
for the Promotion of Science,
[#]present address:Mitsubishi
Polyester GmbH,Germany)

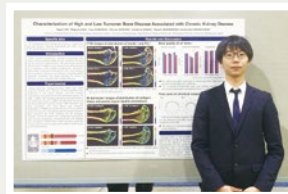


小林さん

ASBMR 2016 Travel Awardを受賞しました

大学院生の伊藤哲平さん(光科学研究科光科学専攻博士後期課程指導教員:木村廣美 教授)が、日本骨代謝学会よりASBMR(※) 2016 Travel Awardを受賞しました。

※ASBMR:The American Society for Bone and Mineral Research
(アメリカ骨代謝学会)



ASBMR 2016 Annual Meeting
でのポスター発表の様子

演題: Characterization of High and
Low Turnover Bone Disease
Associated with Chronic Kidney
disease(慢性腎臓病に伴う高・低回
転骨のキャラクターゼーション)

演者: Teppei Ito, Megumi Asai,
Yuya Kanehira, Mitsuru Yashiro,
Tomohiro Sonou,
Takashi Shigematsu,
Hiromi Kimura-Suda

日本人間工学会 第57回大会で賞を受賞しました

大学院生の鈴木康弘さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 指導教員:小林大二准教授)が、平成28年6月25日(土)から26日(日)に三重県立看護大学(三重県)で開催された、日本人間工学会第57回大会において優秀研究発表奨励賞を受賞しました。この賞は、人間工学会年次大会において、優れた研究成果を発表した若手研究者に対して、授与されるものです。

受賞した鈴木さんからは「受賞と聞いて、とても嬉しかったです。自分の取り組んでいる研究内容は、製品をより使いやすくするもので、今後は就職先でも活かしていきたいと思っています。」とのコメントをいただきました。

タイトル: ユーザ・インタフェースの
触覚と操作イメージとの関係
発表者: 鈴木 康弘



鈴木さん

教育連携

高大連携プロジェクト2016が終了しました

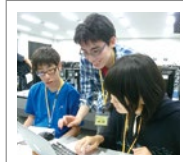
平成28年8月8日(月)から10日(水)の3日間、本学にて高大連携プロジェクトを行いました。

道内各地から高校生が参加し、「自然科学プロジェクト」「光サイエンスプロジェクト」「情報プロジェクト」に分かれ大学の実験や実習を体験し、最終日には3日間の成果をグループごとに発表しました。最初は緊張していた高校生ですが、徐々に他校の生徒や本学学生と会話がはずみ、協力しながら実験や作業を行い、3日間で友人が出来たようです。

参加した高校生からは「初めてプログラミングを体験したので難しかったが、またやりたいと思った」「普段では体験できない実験をしたので、興味深かった」等の感想が聞かれました。



開講式での川瀬学長の挨拶



プロジェクトの様子(情報)



参加者全員による集合写真

各プロジェクトの内容

- ・自然科学プロジェクト……アルギンサンナトリウムと塩化カルシウム水溶液で生体ゲルを作成する実験、電子顕微鏡を使った実験。
- ・光サイエンスプロジェクト……フォトダイオードと光ファイバを使った通信実験。
- ・情報プロジェクト……センサーとプログラムを組み合わせる様々なツールを作るIoT(Internet of Things)の基礎技術を修得。

北海道標津高等学校にてeラーニング講習会を行いました

平成28年9月2日(金)、北海道標津高等学校にて教員対象eラーニング講習会を行いました。

当日は授業でのeラーニングシステムの発展的な活用法及び生徒に自宅学習でeラーニングを使用させる方法等の紹介をしました。

講習を受講された先生方からは学習管理システム(LMS)についての理解が深まり、「学び直しをパソコンでできることが良い」等の意見が寄せられました。



北海道阿寒高等学校にてeラーニング講習会を行いました

平成28年9月16日(金)北海道阿寒高等学校にて1年生を対象に、eラーニングの利用方法について講習会を行いました。

当日は阿寒高校を卒業後、本学に進学し、現在グローバルシステムデザイン学科に在籍中の西澤陽奈乃さん(2年生)にOGとしてeラーニング講習会の手伝いをしていただきました。

講習会に参加した高校生からは、「自宅でも楽しく簡単に勉強できる」「中学生の体験入学でeラーニングを利用し、高校に入学するきっかけとなったのでeラーニング学習が好き」との感想が寄せられました。



北海道富川高等学校の生徒が施設巡検の一環で本学を見学しました

平成28年10月19日(水)、北海道富川高等学校の1年生が自らの進路に対する意識を高めるきっかけとするための施設巡検の一環で本学を訪れました。

当日は光変色反応の実験授業と大学概要説明を受け、実験の楽しさや大学の学科等について学びました。生徒からは「丁寧でわかりやすい説明だった」、「親しみやすい先生の実験で楽しかった」等の声が上がりました。



実験授業の様子



大学概要説明の様子

研究活動

北洋銀行ものづくりテクノフェア2016に出展しました

平成28年7月21日(木)アクセスサッポロ(札幌市)にて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2016」で、本学で行っている「ナノテクノロジープラットフォーム事業」の紹介を行いました。

ナノテクノロジープラットフォーム事業は、文部科学省にて平成24年度から開始された事業で、物質合成に要求される先端機器群を供給し、産官学の研究者に対して合成に関するノウハウの提供、データ解析等を含めた支援を実施しています。

当日は、利用可能な機器の種類や成果物について来場者から多数の問い合わせがありました。



「インターオプト2016」に出展しました

平成28年9月14日(水)から16日(金)、パシフィコ横浜(横浜市)において開催された「インターオプト2016」に、千歳市・特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)とともに出展しました。

展示ブースでは、本学から青木広准教授(電子光工学科)が三次元画像センサを用いて運動中の呼吸の非接触計測の研究についてエアロバイクを用いて紹介しました。また、青木准教授と共同研究を行っている株式会社エルスも、同ブースにおいて同センサを活用したシステムについて紹介しました。期間中、展示ブースには大学・企業等の研究者をはじめ、本学の卒業生など500名を超える方々が来訪し、熱心に説明を聞いていました。



平井先生の研究が「積水化学 自然に学ぶものづくり研究助成プログラム」に選定されました

理工学部応用化学生物学科の平井悠司専任講師の研究テーマが、積水化学工業株式会社による「積水化学 自然に学ぶものづくり研究助成プログラム」の助成テーマに選定され、平成28年10月14日(金)、積水化学工業株式会社京都研究所(京都市)において、授与式が執り行われました。

このプログラムは、自然に学んだ基礎サイエンスの知見を活かし、「自然」の機能を「ものづくり」に活用する研究に対して助成を行うもので、社会課題の解決に向け短中期的に実用化に進み、一つのテーマとして独立した研究が対象です。「ものづくり」テーマにおいて

は、応募総数102件のうち、選定されたのは平井先生のテーマを含めた6件でした。



平井先生(中)

〈研究テーマ〉
金属製パンチングメッシュを用いた高効率液滴捕集システムの開発
〈助成期間〉
平成28(2016)年10月1日より
平成29(2017)年9月30日

就職・キャリア支援

若年求職者向け就職セミナーを開催しました

千歳市との共催事業である若年求職者向け就職セミナーを本学で開催しました。

第1回は、平成28年10月19日(水)、テレビ番組やCMでおなじみのお笑いコンビ「オクラホマ」の河野真也さんを講師にお招きし、「働くきっかけ～むいてる むいてないって なんやねん～」と題して、自分らしく働くための秘訣を、ユーモアたっぷりにご講演いただきました。参加者からは、「自分の身に起きる失敗を自分の成長に変えられるようにしていきたい」など、前向きな感想が寄せられました。

第2回は、平成28年11月2日(水)、株式会社マテック千歳支店長大野勝己さんを講師にお招きし、「I hope ～必要なことは…～」と題してご講演いただきました。こちらの開催には千歳工業クラブ様にもご協力をいただいております。参加者からは「就職について難しく考えすぎていたが、これからできることを実行していこうと思う」などの感想が寄せられました。



第1回就職セミナー



第2回就職セミナー

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で開催しました。東京会場は平成28年11月21日(月)にホテル東京ガーデンパレス(164社、207名参加)で、札幌会場は11月29日(火)にホテル札幌ガーデンパレス(92社、122名参加)にて開催しました。

第1部の大学紹介では、本学での様々な取り組みや今年度採択された大学教育再生加速プログラム(AP)高大接続改革推進事業について等の説明がありました。また、札幌会場ではインターンシップ参加学生による成果発表も行いました。第2部の名刺交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。今年度も両会場とも多数の企業にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

当日のプログラムは下記の通りです。

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
- ・大学紹介(学部長 山中 明生)
- ・就職状況について
- (キャリアセンター長 吉本 直人)
- ・(札幌会場のみ)インターンシップ参加学生による成果発表
- ・キャリアセンター教員紹介
- ・教職員紹介

【第2部】

- 名刺交換会
- 個別相談会



【第1部】大学紹介の様子



【第2部】名刺交換会の様子

「インターンシップ成果発表会」を開催しました

インターンシップ成果発表会を、平成28年10月18日(火)、25日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果発表会は、夏休み中に参加したインターンシップでの学びをまとめ、発表する場として例年開催しております。平成28年度は、46事業所に学部3年生70名がインターンシップに参加し、参加率は48.6%となりました。

10月18日(火)に開催した「インターンシップ成果発表会①」では、発表会にご出席くださる受入事業所で実習を行った学生が、インターンシップで学んだことなどを発表しました。当日は、34の受入事業所より53名の方がご参加くださり、発表学生に対して多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学習を深めることができました。

また同日、第二部として、発表会にご参加いただいた受入事業所担当者の皆様と、本学教職員の「意見交換会」を実施し、インターンシップのあり方や、本学学生に求める能力や資質についてなど、大変貴重な情報やご意見をいただきました。いただいた情報やご意見は、今後のインターンシップ事業の改善や本学の教育に役立てていきたいと思っております。



成果発表会の様子



意見交換会の様子

10月25日(火)には「インターンシップ成果発表会②」として、①で発表した以外の学生が同様に発表を行いました。

なお、発表会実施にあたっては、本学の4年生や大学院生がティーチングアシスタントとして、3年生の発表資料の作成や発表練習を1ヶ月以上にわたりサポートし、また、発表会当日は各教室での司会進行も担当しました。

平成28年度 インターンシップ成果発表会 参加事業所一覧

株式会社iD、株式会社I・TECソリューションズ、株式会社上田商会、株式会社エイチ・エル・シー、株式会社エスイーシー、株式会社エム・ソフト、大井電気株式会社、長田電機工業株式会社、株式会社カミノ、キャリアバンク株式会社、株式会社協和エクシオ北海道支店、麒麟ビール株式会社北海道千歳工場、株式会社札幌ネクシス、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、株式会社積水化成品北海道、千歳工業クラブ、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市保健福祉部子育て支援室子育て総合支援センター、千歳市総務部職員課、千歳市立図書館、株式会社つうけん、株式会社東和コンピューターマネジメント、ナラサキスタックス株式会社、株式会社ニッセイコム、株式会社ハイマックス、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、株式会社ブリッジ、ヘルツ株式会社、北海道ガス株式会社千歳支店、社会福祉法人北海道リハビリ、室蘭まちづくり放送株式会社、株式会社もりもと、ヤンマーアグリジャパン株式会社北海道カンパニー、陸上自衛隊(五十音順/敬称略)

地域貢献

第3・4回公開講座開催報告

第3回公開講座

第3回公開講座では、キリンビール株式会社北海道千歳工場総務広報担当部長 谷猪秀和氏が『キリンビール北海道千歳工場の「生産活動」及び「地域コミュニケーション活動」』と題して講演を行いました。

最初にキリンビール株式会社の概要、歴史、創始者から引き継がれる製品への「こだわり」についてご紹介いただき、続いて研究開発について、新しい酒類の開発や時代とともに変化する顧客のニーズに合わせた新商品の開発やビール作りの工程で丁寧にされる仕込みについて、また使用されている素材一つがどのような役割を持ち製品を引き立たせているか等についてご説明いただきました。

講演の後半では、キリンビール千歳工場の「地域コミュニケーション活動」についてお話しいただき、千歳工場ならではの地域企業や団体との関わり方やキリングループの力を用いた大型地域イベントの企画・運営、地元高校との協同企画や地元特産品をPRするための新商品開発などの活動を紹介いただきました。

講演終了後には、受講した方々が講師と積極的に意見交換する様子や非売品の麦芽や麦汁を希望者が試食・試飲する様子が見られ、盛況のうちに講座を終了いたしました。

当日は千歳市内をはじめ、札幌市、恵庭市などから41名が参加しました。

日時：平成28年9月18日(日)13:00～15:00

会場：千歳科学技術大学 本部棟 B102

後援：千歳市教育委員会、特定非営利活動法人

ホトニクスワールドコンソーシアム

演題：キリンビール北海道千歳工場の「生産活動」

及び「地域コミュニケーション活動」

講師：キリンビール株式会社北海道千歳工場総務広報担当部長 谷猪秀和氏



講座の様子

第4回公開講座

第4回公開講座では、応用化学生物学科 下村政嗣教授が、『トコトンやさしいバイオメティクス』と題して講演を行いました。

講演では、バイオメティクスの歴史や、身の回りでバイオメティクスと関連があるものについてご紹介しました。講演終了後には、講師と直接質問する様子が見られ盛況のうちに講座を終了いたしました。

当日は千歳市内をはじめ、札幌市、恵庭市、室蘭市などから36名が参加しました。

日時：平成28年10月15日(土)14:30～16:30

会場：千歳市総合福祉センター 4階 402室

後援：千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム

演題：トコトンやさしいバイオメティクス

講師：下村 政嗣(千歳科学技術大学 応用化学生物学科 教授)



講座の様子

市立札幌開成中等教育学校の生徒が来学しました

平成28年10月1日(土)、2日(日)市立札幌開成中等教育学校の4年次生が、実験や大学の授業等を通して先端科学技術に興味・関心をもち科学的要素を身につけることを目的に本学で実験を行いました。

実験は「光の波動性を探る」物理系実験と、「光変色反応」の化学系実験に分かれて行われ、生徒は教員や実験補助の本学学生に積極的に質問をしていました。

参加した生徒からは、「理科系の科目がとても苦手で不安だったけど、先生や学生さんが優しく、楽しく実験できました」「高校では出来ないレベルの実験・講義を受けることができ知識が深まった」という感想が寄せられました。



化学系実験の様子

札幌光星中学校の生徒が本学へ見学学習に来学しました

平成28年9月28日(水)札幌光星中学校の生徒が見学学習のため本学に來学しました。

生徒の皆さんには研究室見学や実験授業を体験していただき、大学ではどのような研究を行っているか、実験授業はどのように行われているか等について学んで頂きました。研究室見学では、動くロボットに興味深く見つめる様子が見られました。



研究室見学の様子



実験授業の様子(LEDの原理と応用)

千歳高星大学※の方々が本学に來学しました

※千歳高星大学：千歳市教育委員会が千歳市に住む高齢者の学びの場として開講している大学

平成28年10月4日(火)千歳高星大学の方々が地域探訪の一環として本学を訪れました。

当日は大学概要説明や研究室見学を行い、高星大学の皆さんは大学の沿革やカリキュラムについて質問したり、研究の実用化について意見交換するなどとても熱心に見学されていました。

今回の見学を通し「大学が身近なものに感じた」、「素晴らしい教育をしているのですね」等の声をいただきました。



大学概要説明の様子

北海道千歳市立千歳小学校でeラーニング講習会を行いました

平成28年9月8日(木)、9日(金)、14日(水)に北海道千歳市立千歳小学校にてeラーニング講習会を行いました。

講習は3～6年生を対象に行い、始めにeラーニングのログイン方法や学習方法について説明し、後半は現在学習している内容の演習問題を各自に取り組んでもらいました。

講習を受けた生徒からは「簡単に勉強できる」、「絵が動いて楽しい」などの声が上ががり、eラーニング学習に興味をもって取り組んでいただくことができました。



講習会の様子

千歳市まちめぐりガイドバスの参加者が大学見学に来学しました

平成28年8月24日(水)、千歳市民の方々が市内施設各所をバスで巡るまちめぐりガイドにて本学を訪問しました。

当日は山林研究室(情報システム工学科)にて、研究内容の説明を受け、電子顕微鏡などの設備を見学するなど、大学について理解を深めていただきました。市民の方々からも、研究についての熱心な質問がなされ、技術の発展や大学での学びについて知っていただく機会となりました。

入試情報

オープンキャンパスへのご参加ありがとうございました

平成28年度のオープンキャンパスは6月19日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催しました。毎回多くの方にご参加いただき、無事に全日程を終了することが出来ました。来年も魅力あるプログラムで皆様の参加をお待ちしております。来年度の日程につきましては決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。



■平成29年度入試概要

入試タイプ		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験会場	募集人員
一般学力入試	I期	1月6日(金) ～1月26日(木)	2月 4日(土)	2月13日(月)	第一次:3月 6日(月) 第二次:3月30日(木)	本学・旭川・釧路・ 函館・仙台	50
	II期	2月13日(月) ～2月27日(月)	3月 3日(金)	3月9日(木)	第一次:3月16日(木) 第二次:3月30日(木)	本学	15
	III期	3月6日(月) ～3月21日(火)	3月24日(金)	3月28日(火)	3月30日(木)	本学	10
センター試験 利用入試	I期	1月6日(金) ～2月3日(金)	-	2月13日(月)	第一次:3月 6日(月) 第二次:3月30日(木)	-	30
	II期	2月13日(月) ～3月2日(木)	-	3月9日(木)	第一次:3月16日(木) 第二次:3月30日(木)	-	15
	III期	3月6日(月) ～3月23日(木)	-	3月28日(火)	3月30日(木)	-	10

インターネット 出願について

平成29年度入試から、これまでの「紙」の願書による出願に加えて、「インターネット出願」を導入することになりました。「インターネット出願」では、入学検定料をクレジットカードやコンビニでお支払いいただくことも可能となります。出願を予定されている方は、是非ご利用ください。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

■優遇・助成制度

制度	対象	金額	備考	
特待生・ 奨励生制度	入学生	特待生A (一般学力入試・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率90%以上の者)	1,357,000円を全額免除	原則4年間
		特待生B (一般学力入試・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率80%以上90%未満の者)	1,357,000円を700,000円に減免	原則4年間
		奨励生 (一般学力入試・II期、センター試験利用入試I・II期において得点率70%以上80%未満の者)	授業料180,000円を免除	第1学年秋学期 納付金についてのみ
	在学生	特待生(3,4年進級時の成績優秀者)	1,357,000円を700,000円に減免	1年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時に在籍している、2人目以降の者 (ただし、特待生制度に該当する者は除く)	授業料の半額免除 (年間466,500円相当)	在籍者が1人になったら 正規授業料を納付	
千歳市優遇制度	出願時、本人または保護者が千歳市民であった者 千歳市内の高等学校を卒業した者	授業料の一部免除 (年間180,000円)	第1学年秋学期 納付金についてのみ	
帰省旅費 助成制度	道外出身者	帰省旅費の半額 上限20,000円	年1回	
	道内出身者 (居住地の最寄駅等から帰省先最寄駅等までの距離が200km以上)	帰省旅費の半額 上限10,000円	年1回	
千歳科学技術大学 奨学金	経済的に修学が困難な学生	年間240,000円支給	返還の必要なし	

法人情報

【訃報】本学名誉教授 石田宏司 先生が逝去されました



石田宏司先生

千歳科学技術大学名誉教授 石田宏司先生が平成28年10月21日(金)、75歳にて逝去されました。

石田先生は、昭和40年に北海道大学理学部物理学科を卒業。昭和47年同大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了後、株式会社日立製作所中央研究所に入社されました。

平成10年4月、本学の開学と同時に光科学部物質光科学科教授に就任。その後、光科学部物質光科学科主任(平成14年4月)、大学院光科学研究科長(平成20年4月)、学校法人千歳科学技術大学理事(同年5月)を歴任され、平成24年4月からは名誉教授として長年に渡って本学の運営にご尽力いただきました。

生前の数々のご功績を偲び、ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

公立大学法人化の 検討について

本学は、将来を見据えた大学改革を推進し、地域社会における知的・文化的拠点としての中心的役割を担う大学として、これからも一層教育と研究を発展させ、さらに全学的に地域活性化に貢献してゆくために、平成28年11月30日(水)に開催した第2回理事会において、公立大学法人化の検討に関する『要望書』を千歳市へ提出することを決定しました。

要望書、概要については本学ホームページをご覧ください。

大学HP URL

<https://www.chitose.ac.jp/target/toent/000751.html>

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式Twitterにて、大学情報発信中！

@cistkoho 検索

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。カーギーとひかるが活躍する本学オリジナルコミックス『研Q探Qカーギーズ第7巻(最新号)』も配布中です！



編集後記

毎号、学生の受賞報告を掲載していますが、取材の際に受賞者の皆さんが口にするのが「これまでやってきたことが報われました」という一言です。その後さらに「でも、今回の受賞に甘んじることなくこれからも頑張りたいです」と、続きます。この言葉を聴くたびに、研究活動の大変さを感じ、皆さんの向上心に頭が下がる思いです。

彼らに刺激を受けつつ、当係もより良い誌面作りを目指してまいりますので、よろしく願いいたします。



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

Volume

42

平成29年3月31日



平成28年度学位記授与式を挙りました



2017年3月18日(土)、本学講堂において平成28年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、学部卒業生、大学院修了生一人一人に川瀬正明学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして伊澤達夫理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ、その中から、ハイオ・マテリアル学科徳光聖加さんが、卒業生・修了生を代表して答辞を述べました。最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するための進学する者等々、皆それぞれの新たな道を踏み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。

発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課
千歳市美々758番地65
TEL.0123-27-6001
ホームページ www.chitose.ac.jp

「オール北海道雇用創出・若者定着プロジェクト」 シンポジウム in Chitoseを開催しました



2017年3月25日(土)北ガス文化ホール(旧千歳市民文化センター)にて、『「オール北海道雇用創出・若者定着プロジェクト」シンポジウム in Chitose』を開催しました。

当シンポジウムは、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の一環として実施され、当日は道内企業採用担当者、行政担当者、大学及び学校等関係者約170名が参加し、人材教育や地域で活躍できる理工系人材とは何かを探りました。

第一部では、文部科学省高等教育局専門教育課長の浅野敦行氏より「大学における工学系教育の改革について」講演いただき、大学における工学系教育を取り巻く状況や工学系学部卒業者の進路状況について説明いただきました。続いて室蘭工業大学の溝口光男副学長

から、室蘭工業大学で行われている地方創生推進教育プログラムの取組みについて説明がなされました。

第二部では、実際に当教育カリキュラムにて授業を受けた1、2年次学生による発表があり、本学からは理工学部電子光工学科2年千葉涼平さんがものづくりの楽しさについて発表しました。パネルディスカッションでは、本学の理工学部情報システム工学科の小松川浩教授がモデレータとなり、5名のパネリストと共に企業が大学に望む今後の人材育成や自治体の協力のあり方について議論がなされました。

第三部では会場をANAクラウンプラザホテル千歳に移し、企業の方と各学校の就職等関係教職員との情報交換会が行われました。

第18回佐々木記念賞を授与しました

2017年3月18日(土)に挙行した学位記授与式において、「佐々木記念賞」の授与が行われ、下記の大学院生2名と学部生5名に表彰状と副賞が贈呈されました。

●大学院光科学研究科

博士前期課程

鈴木 優稀／越智 大貴

●総合光科学部

バイオ・マテリアル学科

徳光 聖茄／館山 拓矢

光システム学科

草野 友紀／武田 郁哉

グローバルシステムデザイン学科

鷲尾 駿

佐々木記念賞について

本学の開学に尽力した初代学長・佐々木敬介教授(1936～1998)の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生に対し、授与します。

精密工学会北海道支部の 学生奨励賞を受賞

大学院生の及川貴才さん(光科学研究科博士前期課程2年)が、公益社団法人精密工学会北海道支部学生奨励賞を受賞しました。

この賞は精密工学会会員が所属する道内の大学等の学業成績優秀な学生に対し、その学修成果と精進を讃える目的で贈られるものです。

2017年3月18日(土)の学位記授与式において、川瀬学長より表彰状が授与されました。

旭川市・帯広市で 科技大サイエンスライブを実施しました

2017年3月5日(日)に旭川市民文化会館(旭川市)及びとかちプラザ(帯広市)の2会場において、高校生を対象に科学の不思議やおもしろさを紹介する講義ライブ「科技大サイエンスライブ」を実施しました。

旭川会場では、応用化学生物学科坂井賢一准教授により「色鮮やかな光をつくる化学の魅力」というテーマで、蛍光物質の開発研究を通して、分子科学のおもしろさを伝える内容の講義が行われました。

また、帯広会場では、応用化学生物学科平井悠司専任講師により「古くて新しい最先端の科学～生き物が持つすごいチカラから学ぶ～」というテーマで、生物の持つ性能や仕組みを探り模倣する生体模倣技術(バイオミメティクス)についての講義が行われました。

参加された高校生からは、「とても興味深い内容だった」「実験が楽しかった」「また参加したい」などの声が寄せられました。



高 大連携・地域貢献

平成28年度は47校の高等学校で 出張講座を実施しました

本学では、高校での学びを深め、大学の学びを知ってもらうために、道内の高等学校に本学教員が訪問して出張講座を行っています。講義は、「化学分野」「生物分野」「電気・電子分野」「情報分野」の各分野の講義の実施及び理工系の大学での学びを紹介する「進学ガイダンス」から希望する内容での実施を行っており、昨年度は延べ47校の高等学校において出張講座を実施しました。



北海道追分高等学校の2年生が 大学見学に来学しました

2016年12月2日(金)北海道追分高等学校の2年生が、進路に対する意識の高揚を図り、自己の進路決定に役立てるため本学を訪れました。生徒の皆さんは大学の説明を受け学部の特徴について学び、人工イクラの実験では実際にイクラを作成し、実験の楽しさを体験しました。



高大接続システム改革フォーラム ～北海道における教育の情報化と質の向上～の開催について

平成28(2016)年度に文部科学省の補助事業である大学教育再生加速プログラムに採択されたことに伴い、平成29(2017)年2月18日(土)「高大接続システム改革フォーラム～北海道における教育の情報化と質の向上～」を、本学にて開催しました。

このフォーラムは、本学と北海道教育委員会の共催で、日本学術振興会理事長の安西祐一郎氏による基調講演「高大接続改革の展望とICTの活用」をはじめとして、北海道の高等学校でのICT活用教育推進事業の事例発表、本学における大学教育再生加速プログラム(AP)「卒業時の質保証の取組の強化」についての計画に関する報告、大学間連携共同教育推進事業「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」(8大学連携)成果報告が行われました。また、分科会として、高大連携研究会、公開FD研修会、研究室・施設見学ツアー、eラーニングシステム体験も行われ、学内外から141名の参加がありました。



2016年度第5回公開講座を 開催しました



2016年度最後となった公開講座では、情報システム工学科の長谷川誠教授が、『学問のすすめ』と題して講演を行いました。

始めに講師が学問・教育の本質について講演し、その後の学生による実験授業では、味覚の不思議を受講者の皆さんに体験して頂きました。講演終了後には学生による実験体験ブースを展開し、受講者の方々が学生と交流しながら実験する様子や講師との対話を楽しむ姿が見られ、盛況のうちに講座を終了いたしました。

当日は千歳市内をはじめ、札幌市、恵庭市などから27名が参加しました。

- 日時：2016年12月17日(土)14:30～16:30
- 会場：北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)4階 大会議室
- 後援：千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題：学問のすすめ
- 講師：長谷川 誠(千歳科学技術大学 情報システム工学科 教授)

千歳市立図書館との連携事業で 王教授による講演会が開催されました



千歳市立図書館との連携事業として、電子光工学科の王建康教授による講演会が千歳市立図書館で開催されました。

アニメ、小説、料理、ファッション等誰もが興味のあるテーマをイラストや動画などを使って講演しました。インターネットの発達により、中国の若者を中心に日本文化が想像以上に浸透している実態を紹介。合わせて日中関係を良くするためにも文化的交流を積極的に進めていく必要があることを紹介しました。

また、参加者はメモを取りながら真剣に聴いており、質疑応答の時間には積極的に質問をされる方も多数見られ、関心の高さが伺われた講演でした。

- 日 時：2017年2月18日(土)14:00～16:00
- 会 場：千歳市立図書館2階AV室
- 演 題：アニメ、小説、料理、ファッション…今中国で日本文化が親しまれている～日本文化の中国進出と私の翻訳活動～
- 講 師：王 建康(千歳科学技術大学 理工学部電子光工学科 教授)
- 参加者：40名

2016(平成28)年度 博士前期課程 論文タイトル一覧

高分子の自己組織化を用いた
金属ナノパターンニングの研究

井川 知美

チタン窒化物ナノ構造体による可視光
応答表面増強ラマン散乱デバイスの開発

江本 智

フィッシュアイカメラを用いた
パワーアシスト車椅子の操縦支援制御

及川 貴才

マダラシミ鱗片表面の解析及び
摩擦係数測定

奥田 直人

CAP方式を用いた短距離光通信
システムの研究

越智 大貴

2モードファイバを用いた
2次元歪み計測についての研究

坂井 凌

ユーザーインタフェースのボタンの
触感に関する研究

鈴木 康弘

DNA複合体とヘミシアニン色素の相互
作用及び薄膜レーザー発振に与える効果

鈴木 優稀

自己組織化マップを用いた退学者特
性発見システムに関する研究

高橋 駿嗣

耐熱性・低熱膨張性透明ポリマーの
光学特性

中村 翔平

光によるラジカル生成を利用する
カーボンナノチューブとポリマーの複合化

馬場 拓麻

光感受性物質 Talaporfin を用いた
大腸癌リンパ節転移の光線力学的診断

古屋 一成

水生昆虫のプラストロンから着想を
得た水中酸素供給デバイスの開発

柳 直樹

2016(平成28)年度 部・サークル活動実績

バスケットボール部

男子第68回女子第61回北海道大学バス
ケットボール選手権大会 兼
第68回全日本大学バスケットボール選手
権大会北海道予選会 4部 7位(1勝3負)

弓道部

第二十四回千歳市長杯争奪弓道大会
一般団体 優勝(辻岡 一真)

YOSAKOI ソーラン部

第25回YOSAKOIソーラン祭り
セミファイナル優秀賞
第26回石狩川フェスティバル 準大賞
上川中央支部大会 準大賞
第20回みちのくYOSAKOIまつり
決勝ステージ 4位

軟式野球部

第23回春季リーグ戦 4部リーグ 2位
2016年度新人戦 ベスト4
第23回秋季リーグ戦 4部リーグ 優勝

卓球部

平成28年度北海道秋季学生卓球選手権大会
団体戦 4部リーグ 6位 Bリーグ 3位

バドミントン部

第63回北海道学生バドミントン会長杯争
奪選手権大会
男子シングルスB ベスト32(渡邊 純平)

ストリートダンス部

認定ダンス指導員(2級) 3名ライセンス取得
認定ダンス指導員(初級) 2名ライセンス取得

写真部

合同写真展「華 Vol.2」参加
合同写真展「華 Vol.3」参加
札幌圏大学生合同写真展「EX 15th」参加

尺八サークル

三曲協会第83回定期演奏会
千歳邦楽邦舞の会

菜園サークル

花いっぱいコンクール 最優秀賞

数検サークル

数学検定 2級1次 2名合格
2級2次 2名合格
準1級1次 1名合格

ライトアート工房

苫小牧美術博物館祭2016特別企画 Time
of Flight 開催
苫小牧 文化公園アートフェスティバル
2016 オープニングセレモニー 参加
「カガク・ヒカル・千歳」 参加
ミニ科学の祭典ふゆ2017 参加

理工工房

あそびの日 in千歳2016 参加
旭川市緑新小学校3年生PTA学年レクリエー
ション科学実験教室
ニューサンロード商店街なつまつり兼
ミニ科学の祭典2016なつ 参加
千歳リバーシティプロジェクト 参加
千歳市9館合同児童館まつり 参加
札幌日大高校SSH実験研修
札幌開成中等教育学校4年生SSH科目プレ
先端科学特論
カガク・ヒカル・千歳 参加
サケのふるさと千歳水族館「理工工房サイエ
ンス教室」
科学の祭典・札幌サウスイーストオータム
大会 参加
千歳市緑町4/5丁目町内会合同子どもク
リスマス会科学教室
市民公開講座「学問のすすめ」内 科学教室、
演示ブース出席
第7回仲の橋通り商店街ふゆまつり兼
ミニ科学の祭典2017ふゆ 参加
札幌市青少年科学館「大学生による科学教室」
千歳市サイエンス会議 サイエンス実験演示
ほか

就職・キャリア支援

学内企業研究セミナー (学内合同企業説明会)を開催しました

2017年3月13日(月)から15日(水)の3日間の日程で、本学体育館にて「学内企業研究セミナー」を開催しました。今年度は、午前の部と午後の部に分け、計6回実施しました。本セミナーは、翌年に卒業を迎える学部3年生と大学院1年生を対象として毎年実施しております。今年は昨年に引き続き企業の採用意欲が非常に高く、期間中179社の企業にご参加いただきました。学生も道内外の様々な企業の説明を聞くことができる機会ということもあり、連日リクルートスーツ姿で企業の話に真剣に聞き入っていました。

「OB・OG対話」を開催しました

2016年12月13日(火)、本学にて「OB・OG対話」を開催しました。「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。

今回は、10社12名のOB・OGの方々にご協力いただきました。参加した学生からは、「業界・企業研究は時間がかかるので早めに始めたほうがよいとアドバイスをもらった」、「経験よりも入社してからの努力が大切だとわかった」などの声が聞かれ、就職活動や就職してからについて、あらためて考えるきっかけになった様子が伺えました。

ご参加頂いた皆様(敬省略)

- クローバー電子工業株式会社/松原 潤樹
- 三幸総研株式会社/田岡 嗣敏
- 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア/芝木 友耶
- 大丸株式会社/四辻 陸
- 株式会社つうけん/武花 聡
- 日鋼情報システム株式会社/小山田 泰斗
- 日本コムシス株式会社/甲田 光弘
- 富士電機株式会社/馬淵 奨平、小川 心平
- 三菱電機ビルテクノサービス株式会社/西館 健司
- 美和電気工業株式会社/江口 洋介、岩崎 亮子

学内業界研究セミナーを開催しました

2017年2月14日(火)から16日(木)の3日間の日程で、本学体育館にて「学内業界研究セミナー」を開催し、期間中91社の企業にご参加いただきました。

本セミナーは、キャリア教育の一環として希望する業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動へ向け、ミスマッチがおきないよう業界・仕事への理解を深めることを目的として実施しています。学生も最初は緊張した面持ちでしたが、各企業の採用担当者の方や本学出身の先輩社員などから様々なお話をさせていただき、これから本番を迎える就職活動に向け、意識が高まった様子でした。

なお、参加対象学生は学部2・3年生と進学予定の4年生、及び大学院1年生と幅広い学年を対象としており、特に学部2年生については、「キャリア形成B2」の授業科目においてセミナー受講を必須としており、早い段階から業界、業種、職種などへの意識付けを促進しております。

地元ものづくり企業による講演および バスツアーを実施しました

低学年時から実施しているキャリア教育の取組みのひとつとして、「地域に貢献できるものづくり人材の育成」をテーマに、2つの行事を開催しました。

2月17日(金)には、「地元ものづくり企業による講演」として、株式会社もりもとのご担当者をお招きし、ものづくりに興味のある学部2年生を対象にご講演をいただきました。また、3月6日(月)には、同じ学生を対象に、バスツアーにて、東洋製罐株式会社千歳工場の見学をさせていただきました。

参加学生は、講演をいただいたあと、実際のものづくりの現場を見学することで、「ものづくり企業」に対する理解を深め、将来の進路を考えるうえで貴重な経験をすることができました。

求人数・就職率

■求人票数
(平成29年3月31日現在)

800件

■平成28年度卒業者の
進路状況
(平成29年3月31日現在)

就職決定者 **144**名

就職率 **99.3**%

※就職率=就職決定者÷就職希望者

進路決定率 **95.4**%

※進路決定率=就職決定者÷
(全卒業者数-進学決定者数)

平成28年度卒業者の進路状況

平成28年度は、採用スケジュール変更2年目となり、多くの企業が早期に採用活動を開始し、本学の学生も多くが早期に内定を得ました。また、早期に進路決定とならなかった学生についても粘り強く就職活動をしたため、昨年度同様、就職率・進路決定率ともに高い水準となりました。

●主な就職先 平成28年度卒業者実績(五十音順)

- 株式会社ISIDインターテクノロジー ■アイ・ティ・エス株式会社 ■株式会社I・TECソリューションズ ■株式会社アウトソーシングテクノロジ ■厚木プラスチック株式会社 ■株式会社アドウィック ■株式会社アルトナー ■株式会社アルバック ■株式会社アルファシステムズ ■株式会社アルプス技研 ■イオン北海道株式会社 ■医療システムズ株式会社 ■株式会社インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン ■株式会社上田商会 ■株式会社エイチ・アイ・ティ ■株式会社エスイーシー ■株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー ■エム・エス・ケー 農業機械株式会社 ■株式会社エム・ソフト ■エムテック株式会社 ■株式会社オーテック ■学校法人帯広渡辺学園 帯広北高等学校(高校理科) ■オムロンフィールドエンジニアリング北海道株式会社 ■株式会社カイジョー ■株式会社かねひろ ■株式会社カミノ ■京セミ株式会社 ■株式会社協和エクシオ ■クローバー電子工業株式会社 ■株式会社KSK ■KDDI株式会社 ■コニカミノルタジャパン株式会社 ■学校法人駒澤大学 駒澤大学附属苫小牧高等学校(高校数学) ■コムシス株式会社 ■株式会社札幌ネクシス ■サンデンホールディング株式会社 ■三友プラントサービス株式会社 ■株式会社C1J ■株式会社シークス ■株式会社ジェイアイエヌ ■株式会社繁富工務店 ■株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア ■株式会社秀英予備校 ■株式会社正栄プロジェクト ■ジョンソンコントロールズ株式会社 ■新興サービズ株式会社 ■株式会社新和 ■株式会社セノン ■株式会社セントラル情報センター ■総合警備保障株式会社 ■第一鉄鋼株式会社 ■大丸株式会社(旧:大丸藤井株式会社) ■株式会社竹山 ■中央化学株式会社 ■株式会社つうけん ■株式会社つうけんアドバンスシステムズ ■株式会社テクノプロ ■テクノプロ・デザイン社 ■株式会社ドコモCS北海道 ■ドコモ・テクノロジ株式会社 ■日興ソフトウェア株式会社 ■日弘ビックス株式会社 ■日本コムシス株式会社 ■日本精機株式会社 ■日本電設工業株式会社 ■日本アイ・ピー・エム・ソリューション・サービス株式会社 ■日本データスキル株式会社 ■日本都市設計株式会社 ■ネットソフト株式会社 ■有限会社ノースカンパニー ■株式会社ノーステクノロジー ■株式会社ハイマックス ■早来エグワインファーム ■株式会社バルテック ■株式会社樋口 ■株式会社日立公共システム ■株式会社日立ソリューションズ・クリエイト ■株式会社日立ビルシステム ■株式会社ヒップ ■ファームTORAO株式会社 ■富士ゼロックス北海道株式会社 ■富士電機ITセンター株式会社 ■富士電機ITソリューション株式会社 ■株式会社実習ビデオエージェンシー ■ヘルツ株式会社 ■株式会社ホープス ■ホシザキ北海道株式会社 ■株式会社北海道クボタ ■北海道総合通信網株式会社 ■株式会社北海道通信社 ■北海道日興電気通信株式会社 ■株式会社北海道日立システムズ ■北海道ワイン株式会社 ■株式会社マースエンジニアリング ■三菱電機ビルテクノサービス株式会社 ■株式会社ミライト ■株式会社メイテックフィルダース ■明和工業株式会社 ■株式会社もりもと ■株式会社安井測量設計事務所 ■ヤンマーアグリジャパン株式会社 ■北海道カンパニー ■ユニオンデータシステム株式会社 ■株式会社ユニス ■リコージャパン株式会社
- 【公務員】■北海道公立高等学校教員(高校理科・化学)
- 【大学院進学】■千歳科学技術大学院大学 ■北陸先端科学技術大学院大学

合格者対象の大学見学会を実施しました

2017年2月26日(日)、3月4日(土)、3月14日(火)の3回にわたり、2017年度入学試験の合格者を対象とした大学見学会を開催しました。

大学見学会では、学部・学科での学びや学生生活についての紹介、先輩がいろいろな疑問に答える在学生との交流会、就職状況や学費などについての説明を行う保護者向け説明会、各学科の研究内容の紹介や研究室見学を行う体験ラボなどが行われました。

当日参加された方からは「大学のことをよく知ることができた」「早く入学して研究に携わってみたい」などの声が寄せられ、満足された様子でした。

2017年度オープンキャンパス日程

2017年度のオープンキャンパスは以下の日程で開催します。

6/18 (日) 8/5 (土)・6 (日)
9/24 (日) 11/5 (日)



2017(平成29)年度 進学相談会日程

(2017年4月～2017年7月分)

開催地	会場	開催日	時間	
北海道	サッポロファクトリーホール	4/19(水)	16:00～18:15	
	ホテルエミシア札幌	4/25(火)	15:00～18:00	
	サッポロファクトリーホール	5/14(日)	13:30～17:00	
	札幌パークホテル	5/26(金)	15:00～18:00	
	ホテルエミシア札幌	6/8(木)	16:00～17:30	
	札幌パークホテル	6/20(火)	16:00～19:00	
	ガトーキングダムサッポロ	6/20(火)	14:30～17:30	
	ホテルさっぽろ芸文館	6/23(金)	16:00～18:15	
	ガトーキングダムサッポロ	6/27(火)	15:00～16:30	
	小樽	グランドパーク小樽	4/24(月)	15:00～18:00
	石狩	花川南コミュニティセンター	4/21(金)	15:30～18:00
	苫小牧	グランドホテルニュー王子	4/19(水)	15:00～18:00
		ホワイトパークサンシャイン	7/14(金)	15:00～18:00
	室蘭	蓬岫殿	4/20(木)	15:00～18:00
	伊達	だて歴史の杜カルチャーセンター	6/2(金)	16:00～17:30
新ひだか	新ひだか町公民館・コミュニティセンター	4/27(木)	15:00～17:00	
旭川	旭川市民文化会館	4/18(火)	13:00～19:00	
	旭川グランドホテル	5/8(月)	15:00～18:00	
	アートホテル旭川	6/22(木)	16:00～18:15	
滝川	滝川市スポーツセンター	6/21(水)	15:00～16:30	
名寄	名寄市スポーツセンター	5/10(水)	15:00～17:15	
	名寄市民文化センター	6/23(金)	15:45～17:45	
稚内	稚内海員会館	6/14(水)	14:00～17:30	

開催地	会場	開催日	時間	
北海道	函館	ベルクラシック函館	5/24(水)	15:00～18:00
		ベルクラシック函館	5/26(金)	15:30～18:30
		ベルクラシック函館	6/8(木)	16:00～18:15
	八雲	八雲町シルバープラザ	6/13(火)	15:30～17:45
	江差	ホテルニューえさし	6/15(木)	16:00～17:30
	釧路	釧路市観光国際交流センター	5/10(水)	15:00～18:00
		釧路センチュリーキャッスルホテル	6/16(金)	16:00～18:15
	中標津	ウエディングプラザ寿宴	6/14(水)	16:00～18:00
	帯広	ホテル日航ノースランド帯広	4/17(月)	15:00～18:00
		ホテル日航ノースランド帯広	6/15(木)	16:00～18:15
	大樹	大樹町経済センター(コスモール大樹)	4/19(水)	16:00～18:00
	北見	ホテルベルクラシック北見	5/9(火)	15:00～18:00
		ホテルベルクラシック北見	6/20(火)	16:00～18:15
	紋別	ホテルオホーツクパレス紋別	5/11(木)	16:00～18:00
	青森	八戸	プラザアーバンホール	5/12(金)
青森		青森国際ホテル	6/8(木)	14:30～18:00
弘前		アートホテル弘前シティ	6/9(金)	14:30～18:00
秋田	秋田	アルヴェ	5/19(金)	15:00～18:00
岩手	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング	6/21(水)	15:00～18:00
宮城	仙台	仙台サンプラザホール	6/26(月)	15:00～18:30
東京	東京	サンシャインシティ	6/18(日)	11:00～16:00
		東京ビッグサイト	7/22(土)	10:30～17:00
大阪	大阪	グランフロント大阪ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター	7/9(日)	11:00～16:00

公立大学法人化の検討に関する要望書を千歳市へ提出しました

2016年12月6日(火)、千歳科学技術大学は、将来を見据えた大学改革を推進し、地域社会における知的・文化的拠点としての中心的役割を担う大学として、これからも一層教育と研究を発展させ、さらに全学的に地域活性化に貢献してゆくために、公立大学法人化の検討に関する要望書を千歳市へ提出しました。

公立大学法人化に関する詳細な情報は、今後、本学ホームページにて発信してまいります。



左から山口千歳市長、伊澤理事長、川瀬学長、渡邊専務理事

故 石田宏司名誉教授の奥様より ご寄付(奨学資金)をいただきました

2016年10月21日に逝去された 故 石田宏司名誉教授の奥様より、本学の将来発展を祈念し、奨学資金として100万円のご寄付をいただきました。故 石田先生におかれましては、開学から長年にわたり本学学生へ熱心なご指導をいただくとともに、本学の教育環境改善等にご尽力されました。

ここに改めまして故人のご冥福を祈念するとともに、この度の御厚情に対し深く感謝申し上げます。



株式会社カミノ様より ご寄付(奨学資金)をいただきました

2017年1月11日(水)に株式会社カミノ様より奨学資金としてご寄付をいただきました。株式会社カミノ様は、千歳市の地元企業として千歳周辺地域を中心に事務用機器販売を主に行うとともに、本学の売店運営を行っております。

この度のご厚情に深く感謝申し上げます。



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

平成28年度も、本学の教育活動、学生支援に対しまして多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

石田 絢子	大澤 一仁	渋谷 進一郎	中村 雅樹	吉田 秀一
伊藤 正一	加登 譲	武山 佳世子	奈良 裕幸	伊澤 達夫
今井 敏郎	川合 敏雄	永井 立雄	福永 宗碧	喜多 英司
岩佐 範行	木下 隆政	中條 晃幸	山田 範保	
上原 保	小山 祐治	長廻 省悟		

千歳科学技術大学同窓会
株式会社カミノ

敬称略

電子光工学科 小林壮一教授の最終講義を行いました

2017年2月24日(金)に、3月末をもって退職された理工学部電子光工学科 小林壮一教授の最終講義が行われました。小林教授は、17年間の長きにわたり、本学の教育・研究にご尽力戴いており、最終講義では、自身のこれまでの研究活動や、本学着任後に行ってきた研究プロジェクトの概要について当時のエピソードを交えながら紹介されました。

当日は、学生や教職員のほか、小林研究室の卒業生もお祝いに駆けつけ、当時のことを懐かしんでいました。



本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式Twitterにて、
大学情報発信中！

@cistkoho 検索



本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。



?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、^{かきた}科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探究すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。

カーギーとひかるが活躍する本学オリジナルコミックス『研Q探Qカーギーズ第7巻(最新号)』も配布中です！

編集
後記

今号の表紙は学位記授与式です。卒業された皆さんのこれからのご活躍を期待しています。本学は空港が近いので、周辺に空をさえぎるものがなく、お天気の良い日は抜けるような青空を楽しむことができます。当係では、皆さんが社会に出てふと思い出す本学が、その青空のように明るく楽しい景色であるように、そんな話題を提供できたらと考えながら、学報制作に取り組んでいます。これからも「千歳科学技術大学報」をよろしく願っています。



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

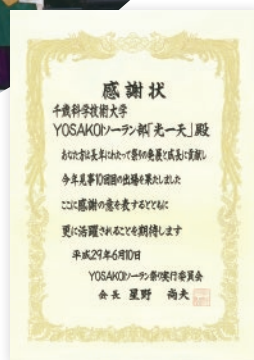
Volume

43

平成29年7月31日



「光一天」が第26回 YOSAKOI ソーラン祭りで表彰されました



2017年6月7日(水)から11日(日)にかけて開催された「第26回 YOSAKOIソーラン祭り」に、「千歳科学技術大学 YOSAKOIソーラン部」が「光一天」が出場しました。

2003年にサークルとして誕生し2006年に初出場を果たして以来、今年で参加10回目を数えたことに伴い、YOSAKOIソーラン祭り実行委員会より感謝状が授与されました。

また、皆さまからの温かいご声援のおかげで今年もは敢闘賞を受賞することができました。

今後も様々なイベントに参加し演舞を披露してまいりますので、千歳科学技術大学 YOSAKOIソーラン部「光一天」をよろしくお願いたします。

発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課
千歳市美々 758 番地 65
TEL.0123-27-6001
ホームページ www.chitose.ac.jp

大学改革

本学は2018年4月に開学20年を迎えます。

「光科学」を専門とし、「光科学の産業ならびに技術拠点を形成する」目的で1998年に開学しましたが、その後のITバブル崩壊などを経て光産業の勢いが当初もくろみ通りには推移しなかったこともあり、開学10周年で光科学をベースにしながらも分野の幅を広げた「総合光科学部」3学科体制とし、2015年にはさらに幅広く「理工学部」に変更しました。この間、大学受験層の18歳人口は大幅に減少し、開学時の約160万人が現在は120万人と25%減になりました。外部条件がすべてではありませんが、本学の学生募集も苦戦しており、近年は定員割れが続いています。

このような状況の打開に向けて抜本的な大学改革を検討した結果、地域社会における知的・文化的拠点としての中心的役割を担う大学として、これからも一層教育と研究を発展させ、さらに全学的に地域活性化に貢献してゆくために、公立大学法人化の検討に関する要望書を昨年12月、千歳市へ提出しました。

今回の大学改革が過去の組織再編時と大きく異なるのは、もっとも基本となる法人組織変更でもあり、その方向性をトップダウンで打ち出したことです。もちろんその後、特別チームを組んで教育・研究・地域貢献について基本からの議論を進めています。

公立のブランド力、授業料の大幅な低減など、実現すれば大きなアドバンテージを得るには違いありませんが、名前だけでブランド力を維持できるはずはありません。公立に相応しい教育・研究・地域貢献に対する体制を整え、名実ともにブランドに恥じない大学に脱皮できなければブランドを毀損しかねません。

そのために昨年採択された文部科学省補助事業である「大学教育再生加速プログラム／卒業時の質保証」に向けた教育改革を全教職員参加のもとに進めています。また、大学の地域に向けた構想として“Smart Nature City”を提唱し、地元千歳市をまるごとブランド化する“Smart Nature City ちとせ”を提案しています。また大学の特徴として「光科学やシステム基盤技術と最先端のICT応用技術を融合」することで、AIやIoTがキーワードとなる今後の社会で活躍できる人材を輩出することを志向しています。

公立化の実現は、千歳市ならびに千歳市議会の判断が今年度末の予定であり、確定してはいませんが、成人を迎える本学の進むべき道として鋭意具体的な計画立案を進めておりますので、ご意見、ご支援をいただければ幸いです。



千歳科学技術大学 学長
川瀬 正明

平成29年度千歳科学技術大学・大学院入学式を実施しました

2017年4月8日(土)、本学講堂において平成29年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行し、この日理工学部213名、大学院光科学研究科12名の計225名が新たな一歩を踏み出しました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多くの来賓・保護者のご臨席を賜り、午前10時から始められました。式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の五十嵐恵吾さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式終了後は、引き続き保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。山中明生学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学習、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



▲伊澤理事長



保護者説明会の様子▶

トピックス

夢ナビライブ2017東京会場に参加しました

2017年7月22日(土)東京ビッグサイトで開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2017」に参加しました。夢ナビライブとは、自分が学びたい学問を発見し、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になることを大学関係者に直接質問したり、説明を受けることができるイベントです。毎年、究めたい学問の発見から学べる大学との出会いまで、一度に体験できるまたとない機会となっており、当日は47,170名の来場者がありました。

本学からは、2名の先生が右記のテーマで講義を行い、大勢の聴講者が集まり、講義の後に相談ブースに熱心に質問に来る生徒もおりました。



「コーヒーイクラを作ろう！
ブースで試食可！」

応用化学生物学科
オラフ・カートハウス 教授



「色鮮やかな
光をつくる化学の魅力」

応用化学生物学科
坂井 賢一 准教授

台湾の高校生が 大学見学に来学しました

2017年5月26日(金)台湾の台北市立中正高級中学(高等学校)の生徒33名と引率者6名が大学見学に来学しました。

5泊6日の日程で来日し、北海道の自然や歴史に触れ、道内の高校生と交流しました。本学では学食体験と大学施設見学、授業見学を行いました。皆さん楽しんでいただけたようでした。



千歳版環境マネジメントシステム 「ECOちとせ」に認定されました

本学の昨年度における電力量やLPG量の削減など、環境にやさしい取り組みが千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」の審査基準に適合していることが認められ、千歳市より認定証(継続認定)が交付されました。

認定証の有効期間は、2017年7月1日から2018年6月30日までとなります。

今年度も環境にやさしい取り組みを継続し、「ECOちとせ」認定期間の更新を目指します。



平成29年度第1回光テクノロジー 応用懇談会を開催しました

2017年7月14日(金)特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)主催の第1回光テクノロジー応用懇談会において、情報システム工学科 山川広人助教が招待講演を行いました。

山川助教は千歳市内の路線バスを対象としたバスロケーションシステムの実証開発を千歳市、本学、地元IT企業の産学官連携体制で平成26年冬から行っています。昨年からは試験運用を開始し、バス事業者を区別することなくリアルタイムの運行情報をパソコンやスマートフォンから確認出来るようにしました。また、JR千歳駅や市民病院、市内のスーパーにも電光掲示板を設置し、利用者の利便性向上に役立っています。このシステムは利用者だけではなく、バス事業者の運行管理にも役立っており、今後機能や性能の向上を目指しています。



「ものづくり学校祭2017」に参加しました

2017年7月31日(月)に市立札幌開成中等教育学校で開催された「ものづくり学校祭2017」に参加しました。

「ものづくり学校祭2017」は、主に札幌市内の高校1年生が「ものづくり」、「IT」、「たべもの」、「エコ」、「バイオ」に関連する出展を体験し楽しむことで、ものづくりの楽しさや意義、今の学びがどのように将来に繋がっているのかを実感してもらうことを目的として開催されました。(主催：札幌市)

本学は、「素材からつくる、新しい光・電子デバイス」をテーマとして、応用化学生物学科の大越研人教授、高田知哉准教授、平井悠司専任講師、電子光工学科の長谷川誠教授とそれぞれの研究室の学生が来場者にもものづくりのおもしろさを伝えました。



公開講座を開催しました

2017年度の公開講座(第1回、第2回)を以下のとおり開催しました。多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

第1回公開講座

- 日 時：2017年6月3日(土)14:30~16:30
- 会 場：北ガス文化ホール(千歳市民文化ホール)3階視聴覚室
- 後 援：千歳市教育委員会、
特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演 題：AIとVRがクリエイトする近未来像
～キーワードは「だまし」?～
- 講 師：千歳科学技術大学 情報システム工学科
教授 村井 哲也
- 参加者数：37名

第2回公開講座

- 日 時：2017年7月22日(土)14:30~16:30
- 会 場：北ガス文化ホール(千歳市民文化ホール)4階小会議室1
- 後 援：千歳市教育委員会、
特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演 題：これも詩ですか？
北園克衛のプラスチック・ポエムについて
- 講 師：千歳科学技術大学 情報システム工学科
准教授 小川 正浩
- 参加者数：12名

オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにすごい!! 身近な生き物たち

2017年7月29日(土)、30日(日)に「オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにすごい!! 身近な生き物たち」が、市内の小中学生を集めて開催されました。

29日はサケのふるさと千歳水族館の学習室で講義が行われました。千歳水族館の菊池館長をはじめとする博物館や大学、研究所の先生方がサケの生態や昆虫の擬態、生物の持つ構造色やナメクジの粘液分泌機構に学んだ材料などについての講義を行いました。講義の間には千歳水族館内やバックヤード見学、サケへの餌やり体験も行われました。

30日は天気に恵まれ、千歳科学技術大学研究棟周辺や千歳湖などでの昆虫採集が行われ、千歳湖周辺ではノコギリクワガタやコクワガタ、カブトムシなどが採集されました。昆虫採集後は大学設備である電子顕微鏡を使用して昆虫の表面を観察し、それぞれの昆虫にはどのような構造があってどのような機能を持っているかを学びました。



◀餌やり体験の様子(29日)



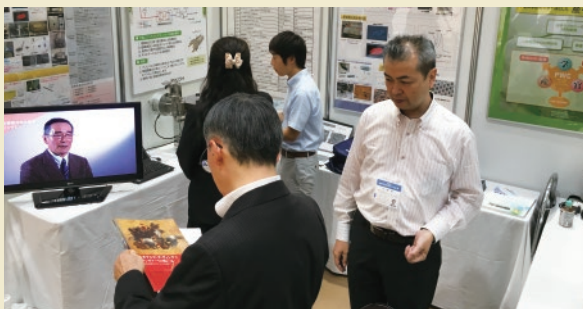
昆虫採集の様子(30日)▶

北洋銀行ものづくりテクノフェア2017に出展しました

2017年7月20日(木)アクセスサッポロにて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2017」において、本学で行っている「ナノテクノロジープラットフォーム事業」の紹介を行いました。

ナノテクノロジープラットフォーム事業とは、文部科学省にて2012年度から開始された事業で、物質合成に要求される先端機器群を供給し、産官学の研究者に対して合成に関するノウハウの提供、データ解析等を含めた支援を実施しています。

当日は、利用可能な機器の種類や成果物について来場者から多数の問い合わせがありました。



北海道札幌丘珠高等学校でeラーニング講習会を行いました

2017年6月16日(金)北海道札幌丘珠高等学校でeラーニングの使い方について講習会を行いました。

今回講習会を受講した生徒さんは、全員eラーニングによる学習が初めてでしたが、「丁寧に教えてもらったのですごくわかりやすかった」などの感想をいただきました。中には「自宅学習で苦手な教科を減らしたい」といった意欲的な声も聞かれました。



北海道札幌西陵高等学校と 高大連携協定を締結しました

2017年7月6日(木)、北海道札幌西陵高等学校(天田光彦校長)と本学(川瀬正明学長)の高大連携協定調印式を執り行いました。

今回の締結により、高大連携締結校は56校となりました。



北海道千歳北陽高等学校の生徒が 進路研究バス見学会により来学しました

2017年4月27日(木)北海道千歳北陽高等学校の1年生25名が、上級学校を見学し、自己の進路実現に向けた意識の向上と勤労観・職業観の育成を図ることを目的とした進路研究バス見学会により来学しました。

研究室見学では、人間と共存し生活を支援するロボットの開発が行われていることや、人工イクラ作成の実験を体験したり、世界初の非接触型による呼吸計測システムについての説明を受けました。

進路実現のためにこれから必要なことについて大学の講義スタイルで学んでもらい、参加者からは「理工学が身の回りの生活を支えていることが分かり、将来を決める判断材料が増えた」などの感想が寄せられました。



帯広第八中学校の生徒が 大学見学に来学しました

2017年5月17日(水)帯広市立帯広第八中学校の生徒35名と引率教員2名が大学見学に来学しました。

今回の来学は修学旅行の一環で、大学や専門学校等の上級学校について学習内容や施設を直に体験および見学し、進路選択に対する視野を広げることが目的でした。

最初に電子光工学科の長谷川誠教授から大学の紹介があり、続いて「偏光」について学習してもらいました。学習した後はその知識を使って、偏光万華鏡を生徒の皆さん一人一人に作っていただけ、科学について興味を持ってもらいました。



花壇の花植えを行いました

2017年6月4日(日)、菜園サークル・理工工場の学生らと職員が協力して、研究実験棟ロータリー内の花壇に花を植えました。当日は雨模様と、あいにくの天候になりましたが、参加者は熱心に手際よく作業を進めていきました。

後日、電子光工学科 福田誠教授作成のイルミネーションが設置され、夜の暗い中でも道行く人の目を楽しませてくれました。なお、当花壇は昨年に引き続き、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第30回(平成29年度)花いっぱいコンクール」に参加しており、7月31日現在本審査への進出が決定しています。



▲植付けの様子

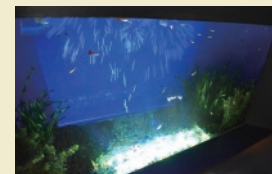


▲夜間:写真部による撮影

ライトアート工房が 千歳水族館の展示を共同制作しました

2017年6月3日(土)より7月末までの期間、サケのふるさと千歳水族館にて、ライトアート工房と水族館の共同制作による「HANABI水槽」が展示されました。

水槽内では、ライトアート工房のプログラミングによる花火映像と水槽を泳ぐカラフルな魚たちのコラボレーションをお楽しみいただきました。



ライトアート工房が苫小牧市の 「美術博物館祭」に参加しました

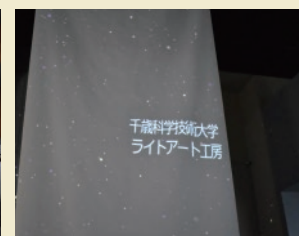
2017年7月28日(金)から30日(日)の期間に開催された、苫小牧市美術博物館「美術博物館祭2017」にライトアート工房が参加しました。

「苫小牧の自然と歴史を光アートでみてみよう!」と題して、「地層はざとり資料」と「アイヌの丸木舟」について、光とプログラミングを使った展示を行いました。

丸木舟展示室では、プラズマ光源を利用して室内に水面を表現したり、ライトアート工房の学生たちの歌とともに丸木舟に関するアニメーション作品が上映されました。

■期 間：7月28日(金)～30日(日)

■場 所：苫小牧市美術博物館



2017年度第1回オープンキャンパスを開催しました

2017年6月18日(日)、本年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。

当日は、天候にも恵まれ大勢の皆さんにご参加いただきました。

オープンキャンパスでは、学生スタッフが参加者の皆さんを笑顔でお出迎え。フリートークや学食体験などで、参加者の皆さんと学生スタッフが交流を深めました。また、模擬講義や研究室見学では、本学の学びや研究に触れていただきました。

この他、学生団体やサークルが「理工工房の科学教室」や「クラヤマラボ」を開催、研究・実験棟アトリウムでは研究室や学科によるイベントや展示などもあり、大盛況でした。

年4回開催しているオープンキャンパスでは、何度来ても楽しめるように、毎回プログラム内容を工夫して、開催しております。



オープンキャンパス
今後の予定

9/24(日)・11/5(日)

入試に関するお問い合わせ/入試課
TEL:0123(27)6011 FAX:0123(27)6076
E-MAIL:nyushi@photon.chitose.ac.jp

新 教職員紹介

ビジネスセンスを持った 情報システム技術者の育成

4月に情報システム工学科に着任し、27年振りに故郷・北海道での生活を始めました。前職のNTT研究所では、IPネットワークの研究と商用開発を行ってきました。インターネットやブロードバンド普及の時代から一歩進み、自動車や家電などあらゆるモノやコトがネットで情報システムと結びついた技術革新が進んでいます。交通・物流で顕在化している人手不足やインフラ老朽化など様々な社会問題に北海道も直面しています。センサネットワークなど新たなICTネットワークの応用研究で地域社会の発展と技術者育成に貢献していきたいと考えております。

社会に役立つ技術者には、通信や情報などの工学的知識に加え、経営や法規制などの社会知識や多くの人と協調するためビジネスセンスも重要です。これまでの企業経験から得たビジネスの知恵を学生の皆さんにお伝えしながら、楽しく創造的な研究ができるよう、私も成長しつづけます。よろしく願い致します。

情報システム工学科
教授 三澤 明



着任挨拶

この4月に本学に着任しました。以前は道内各地で公立高校教諭、道立理科教育センター指導主事、道立高校管理職として勤務していました。石狩管内で勤務したことがありましたが、千歳市での勤務は初めてです。

大学では、教職課程の関連科目を主に担当しています。本学では、理科(中学・高校)、数学(中学・高校)、情報(高校)の教員免許の取得が可能で、毎年卒業生が道内の中学・高校の教諭として採用されています。

現在、中学・高校では百年に一度と言われる教育改革が進行しています。「何を教えるか」から「何ができるようになるか」への学習指導要領の改訂、生徒の力を確実に育むためのカリキュラム・マネジメント、アクティブ・ラーニング、ICTの活用…新任教諭に求められる資質・能力は以前にも増して高くなってきています。

本気で教員を目指す本学学生が、卒業時にこれらの力を確実に身に付けることができるよう、学生とともに一所懸命努めていきますので、どうぞよろしく願いいたします。



教職課程
特任教授 宮嶋 衛次

職員紹介

キャリア支援課に配属となり約4ヶ月。直接学生と、その未来に関わることができる環境に身を置き、幸せと同時に様々な重みを感じています。近頃は学生と話す機会が増えました。もっとこうしたらよかった…と反省ばかりの毎日ですが、一つ一つ積み重ね「学生を正しく応援し、背中を押すことができる職員」となれるよう精進して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

キャリア支援課キャリア支援係
後藤 成美



4月から学生係にて勤務しております、吉田桃香と申します。まだ慣れないことも多く、毎日緊張しております。慣れないといえ、通勤途中に見える飛行機の大きさにも、まだ慣れていません。飛行機の大きな胴体が頭上を通り過ぎてゆくたびに、どきどきしてしまいます。今の目標は、慌てず、ひとつひとつ業務を進めていくことです。何卒宜しくお願い致します。

学生支援課学生係
吉田 桃香



財務情報

貸借対照表

平成29年3月31日

【資産の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,437,737	9,497,330	△ 59,593
有形固定資産	5,676,428	5,739,101	△ 62,673
特定資産	3,758,957	3,756,251	2,706
その他の固定資産	2,352	1,978	374
流動資産	1,219,943	1,243,592	△ 23,649
資産の部合計	10,657,680	10,740,922	△ 83,242

【負債の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	131,366	118,352	13,014
流動負債	311,063	289,198	21,865
負債の部合計	442,429	407,550	34,879

【純資産の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	11,071,600	11,111,569	△ 39,969
第1号基本金	10,957,803	10,989,778	△ 31,975
第4号基本金	113,797	121,791	△ 7,994
繰越収支差額	△ 856,349	△ 778,197	△ 78,152
純資産の部合計	10,215,251	10,333,372	△ 118,121
負債及び純資産の部合計	10,657,680	10,740,922	△ 83,242

活動区分資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日
(単位:千円)

科目		金額
教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	968,743
	手数料収入	12,296
	特別寄付金収入	11,165
	経常費等補助金収入	243,689
	付随事業収入	72,748
	雑収入	14,098
	教育活動資金収入計	1,322,739
	人件費支出	719,181
	教育研究経費支出	445,875
	管理経費支出	179,543
教育活動資金支出計	1,344,599	
差引	△ 21,860	
調整勘定等	△ 6,306	
教育活動資金収支差額	△ 28,166	
施設整備等活動による資金収支	施設設備寄付金収入	50
	施設設備補助金収入	23,416
	減価償却引当特定資産取崩収入	230,847
	施設整備等活動資金収入計	254,313
	施設関係支出	12,935
	設備関係支出	71,920
	減価償却引当特定資産繰入支出	217,510
	施設整備等活動資金支出計	302,365
	差引	△ 48,052
	調整勘定等	△ 30,613
施設整備等活動資金収支差額	△ 78,665	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 106,831	

事業活動収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日

当該会計年度における「事業活動収入」及び「事業活動支出」の均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。
(単位:千円)

事業活動収入の部				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金	988,028	968,743	19,285	
手数料	12,160	12,296	△ 136	
寄付金	8,000	11,165	△ 3,165	
経常費等補助金	185,221	243,689	△ 58,468	
国庫補助金	185,162	243,619	△ 58,457	
地方公共団体補助金	59	70	△ 11	
付随事業収入	41,684	72,748	△ 31,064	
雑収入	12,306	14,098	△ 1,792	
教育活動収入計	1,247,399	1,322,739	△ 75,340	
事業活動支出の部				
科目	予算	決算	差異	
人件費	732,536	732,195	341	
教育研究経費(内減価償却額)	568,266	580,919	△ 12,653	
	137,885	135,043	2,842	
管理経費(内減価償却額)	195,054	194,653	401	
	8,534	15,110	△ 6,576	
徴収不能額等	0	2,163	△ 2,163	
教育活動支出計	1,495,856	1,509,930	△ 14,074	
教育活動収支差額	△ 248,457	△ 187,191	△ 61,266	
教育活動外収入の部				
科目	予算	決算	差異	
受取利息・配当金	60,000	42,605	17,395	
教育活動外収入計	60,000	42,605	17,395	
教育活動外支出の部				
科目	予算	決算	差異	
借入金等利息	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	60,000	42,605	17,395	
経常収支差額	△ 188,457	△ 144,586	△ 43,871	
特別収支				
科目	予算	決算	差異	
資産売却差額	33,000	0	33,000	
その他の特別収入	0	30,508	△ 30,508	
特別収入計	33,000	30,508	2,492	
特別支出				
科目	予算	決算	差異	
資産処分差額	0	4,043	△ 4,043	
その他の特別支出	0	0	0	
特別支出計	0	4,043	△ 4,043	
特別収支差額	33,000	26,465	6,535	
予備費	(2,547)		7,453	
基本金組入前当年度収支差額	△ 162,910	△ 118,121	△ 44,789	
基本金組入額合計	△ 12,470	0	△ 12,470	
当年度収支差額	△ 175,380	△ 118,121	△ 57,259	
前年度繰越収支差額	△ 778,196	△ 778,196	0	
基本金取崩額	0	39,968	△ 39,968	
翌年度繰越収支差額	△ 953,576	△ 856,349	△ 97,227	

【参考】			
科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	1,340,399	1,395,852	△ 55,453
事業活動支出計	1,503,309	1,513,973	△ 10,664

資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

【収入の部】 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	988,028	968,743	19,285
手数料収入	12,160	12,296	△ 136
寄付金収入	8,000	11,215	△ 3,215
補助金収入	185,221	267,105	△ 81,884
国庫補助金収入	185,162	267,035	△ 81,873
地方公共団体補助金収入	59	70	△ 11
資産売却収入	335,000	0	335,000
付随事業・収益事業収入	41,684	72,748	△ 31,064
受取利息・配当金収入	60,000	42,605	17,395
雑収入	9,022	14,098	△ 5,076
前受金収入	164,410	196,520	△ 32,110
その他の収入	556,768	568,115	△ 11,347
資金収入調整勘定	△ 185,306	△ 242,691	57,385
当期資金収入合計	2,174,987	1,910,753	264,234
前年度繰越支払資金	1,205,190	1,205,190	
収入の部合計	3,380,177	3,115,943	264,234

【支出の部】 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	732,536	719,181	13,355
教育研究経費支出	430,381	445,875	△ 15,494
管理経費支出	186,520	179,543	6,977
施設関係支出	8,960	12,935	△ 3,975
設備関係支出	94,825	71,920	22,905
資産運用支出	515,647	238,114	277,533
その他の支出	368,331	374,729	△ 6,398
予備費	(3,446)		11,554
資金支出調整勘定	△ 69,848	△ 72,797	2,949
当期資金支出合計	2,278,906	1,969,500	309,406
翌年度繰越支払資金	1,101,271	1,146,443	△ 45,172
支出の部合計	3,380,177	3,115,943	264,234

千歳光科学国際フォーラム(CIF18)の開催について

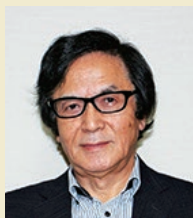
今回のフォーラムでは、「観光」を切り口として、商業／観光の振興と環境保護の促進を両立させるという側面から「持続可能なまちづくり」についてこれらの分野で著名な有識者による「特別講演」と、市民と講演者による「パネル討論会」を開催いたします。2日目は会場を大学に移し、国内外の研究者を招聘し、最新技術を活用した観光や環境関連の最新研究成果などを発表する予定となっております。特別講演への参加は無料となっておりますので是非お越しください。

■日時：平成29年10月9日(月・祝)14:00～17:30 ※開場は13:30
 ■会場：ANAクラウンプラザホテル千歳

特別講演

“観光の魅力づくりの7つの大事(食とおもてなし考)”

日本旅のベンクラブ代表
 中尾 隆之氏



“自然に学ぶ新しい暮らし方のかたち”

合同会社
 地球村研究室・東北大学名誉教授
 石田 秀輝氏



第19回稜輝祭を開催します

お笑い芸人の「TKO」、「オジンオズボーン」が第19回稜輝祭(大学祭)にてライブを行います。また、稜輝祭では本学YOSAKOIソーラン部による演舞や移動動物園など、小さなお子様も楽しめるイベントを多数企画しております。無料でどなたでもご参加できますので、ご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。

当日のプログラムは決まり次第本学ホームページでお知らせします。

■日程：10月15日(日)11:00～15:30(予定)
 ■場所：本学本部棟



▲TKO

▲オジンオズボーン

編集後記

今号の表紙では本学のYOSAKOIソーラン部「光一天」の活躍をご紹介しました。今年でYOSAKOIソーラン祭出場10回目という節目を迎えた「光一天」は、地域でも様々なイベントにお声がけいただき演舞しています。本学には他にも、地域と結びついて様々な活動をしている部・サークルや教員らが沢山います。

今後は彼らの活動も折に触れてご紹介していきたいと考えています。これからも千歳科学技術大学をよろしくお願いたします。

2017年度千歳科学技術大学父母懇談会を開催します

本年度も学習、就職支援などの本学における取り組みや状況について説明させていただくとともに、個別相談などを通じて、本学へのご理解を一層深めていただくことを目的として父母懇談会を開催いたします。

午前は全体説明会や学習について、午後からは学習・生活に関する個別相談、または就職セミナー(企業担当者による講演、内定学生による就活体験報告会、就職個別相談)のいずれかを選択してご参加いただけます。皆様のご出席をお待ちしております。

なお、父母の皆様には別途、ご案内文書を郵送しております。

■日時：平成29年9月30日(土)10:00～16:00(※9:00受付開始)
 ■場所：本学 本部棟 ■対象：全学年の保護者

父母懇談会に関するお問い合わせ
 学生支援課学生係 TEL:0123-27-6170 FAX:0123-27-6128
 E-MAIL:gakusei@photon.chitose.ac.jp

寄付に感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(平成29年4月1日から7月31日まで)

渋谷進一郎 阿保 静夫 木下 隆政 及川 久耕
 植田 美恵 中山 輝之 金川 直人 伊藤 正一
 阿部安希子 武山佳世子 岩淵 誠 石川 一則 敬称略

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!

TwitterとInstagramで情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。

Twitter、InstagramどちらもIDは@cistkohoで検索ください。



Twitter



Instagram



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

Volume

44

平成29年11月30日

第19回稜輝祭(大学祭)を開催しました



10月15日(日)、稜輝祭実行委員会主催による第19回稜輝祭(大学祭)を開催しました。今年も、多くの人とのつながりを財産にするという想いを込め、「つなぐ」というテーマが掲げられました。

模擬店、YOSAKOIソーラン演舞といった学生団体のイベントをはじめ、移動動物園やクロスワードパズルなどお子さま向け催しもあり、ご家族で楽しめる姿が多くみられました。さらに、「TKO」「オシノオスボン」によるお笑いライブで会場の熱気は最高潮に達しました。

天候にも恵まれ多くの方にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。また、稜輝祭の企画・運営にあたり、ご協力賜りました各方面の皆様方に厚く御礼申し上げます。

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課
 千歳市美々 758 番地 65
 TEL.0123-27-6001
 ホームページ www.chitose.ac.jp

平成29年度父母懇談会を開催しました

9月30日(土)、本学において平成29年度父母懇談会を開催しました。午前10時より、大講義室で「学長挨拶」の後「就職について」の説明を行い、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。その後会場を移し、「学部教育」「大学院」「研究 成果」についての説明と本学相談員による「大学生活における困り感について」の講演を行いました。

午後からは、「学習・生活個別相談」と「就職セミナー(企業担当者による講演、就職個別相談、卒業生による就職活動体験 報告会)」を同時に開催しました。個別相談では学生一人ひとりの成績や大学生活の様子、就職状況など参加者の皆様の日頃疑問や不安に思っていることについて、担当教職員が説明いたしました。また、就職セミナーでは、株式会社ハイマックス人事開発本部執行役員本部長 岡田由紀氏による講演や卒業生から就職活動について生の声が聞けるということで、多くの方が参加されました。

次年度も開催を予定しておりますので、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



帯広市・旭川市で科技大サイエンスライブを実施しました

10月22日(日)にとかちプラザ(帯広市)において、10月29日(日)には旭川市民文化会館(旭川市)において、高校生を対象に科学の不思議やおもしろさを紹介する講義ライブ「科技大サイエンスライブ」を実施しました。

帯広会場では、応用化学生物学科の坂井賢一准教授により「色鮮やかな光をつくる化学の魅力」というテーマで、蛍光物質の開発研究を通して、分子科学のおもしろさを伝える内容の講義が行われました。

また、旭川会場では、応用化学生物学科の平井悠司専任講師により「古くて新しい最先端の科学～生き物が持つすごいチカラから学ぶ～」というテーマで、生物の持つ性能や仕組みを探り模倣する生体模倣技術(バイオミメティクス)についての講義が行われました。

参加された高校生からは、「身近な所に光るものがたくさんあるけど、どうして光るのかまで考えたことがなかったので、知識が増えてうれしかった。」「実際に実験することで、感覚も学ぶことができた。」などの声が寄せられました。



千歳光科学国際フォーラム(CIF'18)を開催しました

10月9日(月・祝)～10日(火)「第18回千歳光科学国際フォーラム(CIF'18)」をANAクラウンプラザホテル千歳および本学において開催いたしました。今回のフォーラムでは、「観光」を切り口として、商業/観光の振興と環境保護の促進を両立させるという側面から「持続可能なまちづくり」についてこれらの分野で著名な有識者による「特別講演」と、市民と講演者による「パネルディスカッション」を行いました。

初日は、フリーライターの中尾隆之氏による「観光の魅力づくりと7つの大事(食とおもてなし考)」及び東北大学名誉教授の石田秀

輝氏による「自然に学ぶあたらしい暮らし方のか・た・ち」について特別講演が行われ、約140名の市民の方々は熱心に耳を傾けておりました。

2日目は会場を本学に移し、ポスター発表やドイツゼンケンベルグ自然博物館のジュリア・クロマー氏による基調講演等が行われました。講演は英語で行われ、学生はメモを取るなど熱心に聞いていました。ポスター発表において、本学博士前期課程2年生の兼平裕也さんが優秀賞を受賞しました。



夢ナビライブ2017仙台会場に参加しました

10月7日(土)夢メッセみやぎ(仙台市)で開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2017」に参加しました。夢ナビライブとは、自分が学びたい学問を発見し、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になることを大学関係者に直接質問したり、説明を受けることができるイベントです。毎年、究めたい学問の発見から学べる大学との出会いまで、一度に体験できるまたとない機会となっており、当日は8,729名の来場者がありました。本学からは、2名の先生が右記のテーマで講義を行い、大勢の聴講者が集まり、講義の後に相談ブースに熱心に質問に来る生徒もおりました。



「色鮮やかな光をつくる 化学の魅力」

応用化学生物学科
坂井 賢一 准教授



「コーヒーイクラを作ろう！ ブースで試食可！」

応用化学生物学科
オラフ・カートハウス 教授

花いっぱいコンクールで 最優秀賞を受賞しました

研究・実験棟ロータリー内の花壇が、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第30回(平成29年度)花いっぱいコンクール」で花壇部門中学校等の部において、「最優秀賞」を受賞しました。最優秀賞は2年連続、受賞は3年連続となります。この花壇は、菜園サークルの学生らが主体となり教職員と協力して植え付けや装飾、管理をしたものです。

表彰式は8月28日(月)、千歳市総合福祉センターにて執り行われました。



インターオプト2017に出展しました

10月4日(水)~6日(金)幕張メッセ(千葉県)において開催された、「インターオプト2017」に非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)と合同で出展しました。インターオプトは最先端のITやエレクトロニクスの総合展示会になっており、本学の展示ブースでは応用化学生物学科の平井悠司専任講師によるバイオミメティクスに関する展示を行いました。中でもNano-suit法による生きたままの生物観察方法については多くの方に興味を持っていただき、期間中展示ブースには研究者や本学の卒業生等が多数来訪し、熱心に説明を聞いていました。

理工工房が科学の祭典に参加しました

11月19日(日)北ガス文化ホール(旧千歳市民文化センター)で「青少年のための科学の祭典千歳大会」が開催されました。32ブースにて科学実験の体験が行われ、参加団体は本学の理工工房を始め、ANA、セイコーエプソン、デンソー北海道などの企業や高等学校から4校、大学から6校、市民活動団体等たくさんの方が出展されました。理工工房の学生が主催するサイエンス教室では「味覚のふしぎ」と題して参加者に不思議な体験をしてもらいました。子どもさんと一緒に来場した大人たちも科学実験に夢中になっていました。今年の来場者は2,300人(延べ数)と昨年のほぼ倍増で、朝から各ブースがとても賑わっていました。



ビジネスEXPOに出展しました

11月9日(木)~10日(金)アクセス札幌(札幌市)において開催された、北海道最大級のビジネスイベント「第31回北海道技術・ビジネス交流会」(通称ビジネスEXPO)に出展しました。

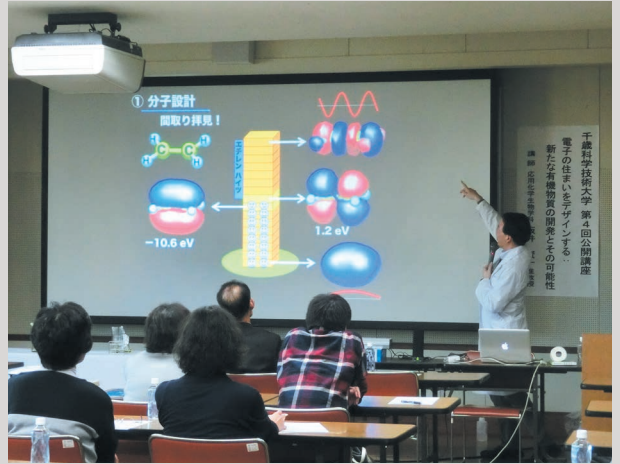
本学からは2012年度から文部科学省にて事業補助されている「ナノテクノロジープラットフォーム事業」において、本学にて利用可能な機器の紹介や産学官の研究者に対して行っているノウハウ提供及びデータ解析等を含めた支援を実施していることを説明しました。

当日は345の企業・団体が出展し、20,850名の来場者がありました。

第4回公開講座報告

本年度第4回目の公開講座では、応用化学生物学科の坂井賢一准教授が、人体の構成成分でもある有機物の多様性や可能性について講演しました。元素の組み合わせ次第では、未来の暮らしを変えるような物質の創成も期待できます。本講座では、色鮮やかに光る蛍光性の有機物を紹介し、医療や材料科学分野での注目度合いについて解説し、参加者に簡単な実験を行ってもらいました。参加者からのアンケートにより、非常に興味・関心を持って聴いていただいたことが分かりました。

- 日時:2017年11月18日(土)
- 会場:北ガス文化センター(旧千歳市民文化センター)3階視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)
- 演題:電子の住まいをデザインする:新たな有機物質の開発とその可能性
- 講師:坂井 賢一(応用化学生物学科 准教授)
- 参加者数:23名



eラーニング講習会を行いました(札幌西陵高校)

9月21日(木)、22日(金)に今年高大連携協定を締結した北海道札幌西陵高等学校の2年生を対象にeラーニングの使い方について講習会を行いました。生徒たちからは講習会実施後のアンケートにより、eラーニングに対してとても好評で勉強に取り組む前向きな感想が多数寄せられました。

市立札幌開成中等教育学校
プレ先端科学特論を実施しました

10月14日(土)市立札幌開成中等教育学校のコスモサイエンス科4年生47名が本学に来学し、大学の授業を体験しました。こちらは先端科学技術に興味・関心を持ち課題研究の基礎をつくることを目標に、札幌開成高等学校時代の2009年から始まり今年で9年目になります。

当日は物理系テーマ「光の波動性を探る」と化学系テーマ「光変色反応」についてそれぞれ学んでもらいました。どの生徒もとても熱心に実験や授業を受け、担当教員や実験補助をした本学学生に積極的に質問し、帰りのバス時刻間際までメモを取っている生徒がいました。

平成29年度
第2回光テクノロジー応用懇談会

9月15日(金)、千歳アルカディア・プラザ 1階多目的ホールにおいて、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が主催する講演会が開催され、本学から谷尾教授、曾我教授、下村教授の3名が講演しました。当日は、市内外から27名の市民の皆様が来場し、各専門分野のお話を熱心に聴いておりました。



樹木から生まれた先端材料:セルロースナノファイバー
応用化学生物学科 谷尾 宣久 教授

生態系サービスを活かす情報サービス
情報システム工学科 曾我 聡起 教授

インフォマティクスが結ぶ生態系サービスとモノづくり
応用化学生物学科 下村 政嗣 教授

北海道江別高等学校定時制課程と
高大連携協定を締結しました

11月24日(金)、北海道江別高等学校定時制課程(吉田岳夫校長)と本学(川瀬正明学長)の高大連携協定調印式を執り行いました。両校の挨拶で吉田校長は、「定時制ということもあり、学力層が様々。授業の中で取り入れていきたい」川瀬学長は「お互いの連携の質が上がれば」と述べていました。今回の締結により、高大連携校は57校となりました。



研究・学生活動

小松川先生が文部科学大臣賞を受賞しました

理工学部情報システム工学科の小松川浩教授(写真右側)が平成29年度「情報化促進貢献個人等表彰」において、文部科学大臣賞を受賞しました。

この賞は、教育の情報化、又は情報分野の研究開発等において、顕著な貢献をしたと認められる個人・団体を表彰するものです。今回は、先生のeラーニングシステム等の開発を含むICTを活用した北海道の理数系教育力向上のための活動と、「共通基盤教育共有システム」の構築により教育の情報化への先導的な役割を果たしている点などが評価されました。

授賞式は10月2日(月)、東京証券会館(東京都中央区)にて執り行われました。



福田先生が振動・波動についての入門書を刊行しました

理工学部電子光工学科の福田誠教授が、物理学や工学の広い範囲で必要とされる振動・波動についての入門書「入門 振動・波動」を刊行しました。本書は「なぜ そのようになるか」を考えながら勉強を進められるように構成されており、読者が自学自習によって理解を深められるようになっています。

福田先生からは「本書で学んだ内容を自分の言葉で説明できるように勉強してください。」とのコメントをいただきました。皆さま是非お手にとってご覧ください。

- タイトル:入門 振動・波動
- 著者:福田誠(千歳科学技術大学 理工学部電子光工学科 教授)
- 出版社:裳華房
- 出版年:2017年11月
- 定価:2,000(+税)



村井先生がISIS2017で 賞を受賞しました

理工学部情報システム工学科の村井哲也教授が、10月11日(水)～14日(土)にEXCO:Daegu Exhibition & Convention Center(韓国)で開催された「ISIS2017 (The 18th International Symposium on Advanced Intelligent Systems):第18回高度知的システムに関する国際シンポジウム」において Best paper award を獲得しました。



- タイトル:A Note on a Heuristic Attribute Reduction Method with Redundancy Checking
- 発表者:Y.Kudo and T.Murai

学生が北海道高分子若手研究会で 賞を受賞しました

大学院生的小林翔太さん(光科学研究科光科学専攻 博士前期課程2年 カートハウス研究室所属)が、9月8日(金)～9日(土)に登別万世閣(登別市)で開催された、「2017年度北海道高分子若手研究会」において優秀ポスター賞を受賞しました。

この賞は、若手研究者の講演と討論を通じて高分子科学の理解を深めるとともに、人的ネットワークの形成を目的とした今研究会において行われたポスターセッションの中で、優秀な発表に対して授与されるものです。



- タイトル:高分子粒子を用いたバイオミネラリゼーションと制御
- 発表者:小林 翔太

「インターンシップ成果報告会」を開催しました

インターンシップ成果報告会を、10月17日(火)、24日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果報告会は、学生が夏休み中に参加したインターンシップでの学びをまとめ、報告する場として例年開催しております。平成29年度は、学部3年生94名が53事業所でのインターンシップに参加し、参加率は58.0%となりました。

この報告会には、受入事業所のご担当者様にもご参加いただいております。今年度は、両日あわせて32の受入事業所より54名の皆様がお越しく下さいました。報告会では、企業の皆様を中心に、多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学習を深めることができました。

なお、報告会実施にあたっては、本学の4年生や大学院生がティーチングアシスタントとして、3年生の発表資料の作成や練習を1ヶ月以上にわたりサポートし、また、報告会当日は各教室での司会進行も担当しました。

また両日とも、第二部として、参加事業所の皆様にご協力いただき、学生との「意見交換会」を本学食堂にて実施しました。ここでは、学生が実際にインターンシップを行った事業所だけでなく、他の事業所の皆様ともざっくばらんに対話することで、インターンシップだけでなく、社会人としてのあり方や就職活動に対してなど、貴重なお話をいただくことができ、学生も積極的に質問するなど、有意義な時間となりました。なお、意見交換会の開催にあたっては、千歳科学技術大学同窓会のご協力をいただきました。

平成29年度 インターンシップ成果報告会 参加事業所一覧

株式会社I-TECソリューションズ、株式会社エイチ・エル・シー、株式会社エーシーイー、株式会社エム・ソフト、株式会社エルス、大井電気株式会社、株式会社カミノ、株式会社協和エクシオ 北海道支店、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、クローバー電子工業株式会社、株式会社三技協イオス、株式会社ジャパンテクノカルソフトウェア、株式会社積水化成品北海道、株式会社ダイナックス、千歳市、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市立高台小学校、千歳市立図書館、千歳市立勇舞中学校、株式会社つうけん、ナラサキスタックス株式会社、株式会社ニッセイコム、株式会社ハイマックス、北海道ガス株式会社 千歳支店、北海道日興電気通信株式会社、美和電気工業株式会社 北海道支社、室蘭まちづくり放送株式会社、株式会社もりもと、陸上自衛隊 (事業所名順/敬称略)



成果報告会の様子



意見交換会の様子

若年求職者向け就職支援セミナーを開催しました

千歳市との共催事業である「若年求職者向け就職セミナー」を本学で開催しました。

第1回は、10月18日(水)、北海道テレビ放送株式会社(HTB)アナウンサーの大野恵さんを講師にお招きし、「言霊～アナウンサー生活10年であった言葉たち」と題して、10年間のアナウンサー生活を通して出会った9つのキーワードを元に、「働くことの意義」についてご講演いただきました。参加者からは「仕事をする上で、人との繋がりは大切であると感じた」、「苦手なこともまず「好きになる」ことから始める」というところに共感した」など、前向きな感想が寄せられました。

第2回は、11月20日(月)、北海道電力株式会社札幌支店千歳支社の岡田信行支社長を講師にお招きし、「日々のモチベーションについて～若者に伝えたいこと～」と題して、ご自身の経験を交えながら、ご講演いただきました。なお、第2回セミナーの開催には千歳工業クラブ様にもご協力いただいております。参加者からは「私も夢メモをつくりたいと思いました」、「モチベーションを保つために何事も楽しむことが大切、ということが分かりました」という感想が寄せられました。



第1回セミナーの様子(大野氏)



第2回セミナーの様子(岡田氏)

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で開催しました。東京会場は11月13日(月)にホテル東京ガーデンパレス(181社、228名参加)で、札幌会場は11月21日(火)にホテル札幌ガーデンパレス(101社、139名参加)にて開催しました。

第1部の大学紹介では、本学での様々な取組や就職状況等について説明を行いました。また、札幌会場ではインターンシップ参加学生による成果発表も行いました。第2部の名刺交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。今年度も両会場とも多数の企業様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。当日のプログラムは下記の通りです。



【第1部】大学紹介の様子



【第2部】名刺交換会の様子

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
- 大学紹介(学部長 山中 明生)
- 就職状況について(キャリアセンター長 吉本 直人)
- (札幌会場のみ)インターンシップ参加学生による成果発表
- キャリアセンター教員紹介
- 教職員紹介

【第2部】

- 名刺交換会
- 個別相談会

大学見学・出張講座のご案内



■ 大学見学

大学見学では、模擬講義や実験、研究室見学で研究や大学での学びに触れ、学食でのランチ体験やOB、OGとの交流などを通して、学生生活を体験していただけます。皆さんに科学の楽しさや研究の楽しさを感じていただき、進路選択の一助となるようプログラムを工夫しています。学年や人数、見学時間等に応じたプログラムの作成も可能です。2017年度は11月までに16校、588名の高校生が大学見学に来学しました。

■ 出張講座

高校の学びを深め、大学の学びを知るために出張講座を行っています。3学科のそれぞれの特色を生かした講座や各種ガイダンスを、今年度は11月までに35校で開講いたしました。高校生の皆さんに、実験や講義を通して、最先端の科学やテクノロジーに触れていただき、興味を持っていただきたいと思います。テーマや内容については本学のホームページからご確認ください。目的や受講生の学年、履修状況に応じて、個別にアレンジも可能です。

どちらもお気軽に、入試課までご相談・お問い合わせください。 千歳科学技術大学 入試課 電話:0123-27-6011

入試情報

オープンキャンパスへのご参加 ありがとうございました

平成29年度のオープンキャンパスは6月18日(日)の第1回を皮切りに、11月まで計4回開催しました。毎回多くの高校生や保護者の方々にご参加をいただき、無事に全日程を終了することが出来ました。模擬講義や研究室見学など、来年度も皆さん楽しんでいただけるオープンキャンパスとなるようプログラムを工夫して、スタッフ一同、お待ちしております。平成30年度の開催日程につきましては、決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。



■平成30年度入試概要

入試タイプ		出願期間	試験日	合格発表日	手続き締切日	試験会場	募集人員
一般学力入試	I期	1月9日(火) ~1月25日(木)	2月4日(日)	2月14日(水)	第一次:3月1日(木) 第二次:3月29日(木)	本学・旭川・釧路・ 函館・仙台	50
	II期	2月13日(火) ~2月26日(月)	3月2日(金)	3月8日(木)	第一次:3月15日(木) 第二次:3月29日(木)	本学	15
	III期	3月5日(月) ~3月19日(月)	3月23日(金)	3月27日(火)	3月29日(木)	本学	10
センター試験 利用入試	I期	1月9日(火) ~2月1日(木)	-	2月14日(水)	第一次:3月1日(木) 第二次:3月29日(木)	-	30
	II期	2月13日(火) ~3月1日(木)	-	3月8日(木)	第一次:3月15日(木) 第二次:3月29日(木)	-	15
	III期	3月5日(月) ~3月22日(木)	-	3月27日(火)	3月29日(木)	-	10

インターネット 出願について

一般学力入試及びセンター試験利用入試では、紙の願書による出願に加えて、「インターネット出願」も受け付けています。「インターネット出願」では、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。出願を予定されている方は、是非ご利用ください。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

■優遇・助成制度

制度	対象	金額	備考
特待生・ 奨励生制度	入学生	特待生A	学費(入学金を除く)を全額免除 入学後は成績等を審査のうえ継続が決定されます
		特待生B	学費(入学金を除く)を半額免除 入学後は成績等を審査のうえ継続が決定されます
		奨励生	授業料の一部免除 (入学金相当180,000円) 第1学年秋学期 納付金についてのみ
	在学学生	特待生	学費を半額免除 1年間
授業料優遇制度	兄弟姉妹で同時在籍者	授業料の半額免除 (年間466,500円相当)	在籍者が1人になったら正規授業料を納付
千歳市優遇制度	出願時、本人または保護者が 千歳市民であったもの 千歳市内の高等学校を卒業したもの	授業料の一部免除 (年間180,000円)	第1学年秋学期 納付金についてのみ
帰省旅費 助成制度	道外出身者	帰省旅費の半額 上限20,000円	年1回
	道内出身者 (居住地の最寄駅等から帰省先最 寄駅等までの距離が200km以上)	帰省旅費の半額 上限10,000円	年1回
千歳科学技術大学 奨学金	経済的に修学が困難な学生	年間240,000円支給	返還の必要なし

公立大学法人化に関する山口千歳市長の表明について

10月25日(水)、千歳市議会の「千歳科学技術大学の公立化に関する調査特別委員会(※)」において、山口幸太郎千歳市長より「2019年4月の公立大学開学に向けて取り組みたい」として、千歳科学技術大学を公立大学法人化する方針が表明されました。なお、同特別委員会では2018年3月にも公立化の適否を判断することとしています。「千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する市の検討結果について」は千歳市のホームページをご覧ください。



(※)「千歳科学技術大学の公立化に関する調査特別委員会」…千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する諸課題についての調査を行うため2017年7月に千歳市議会が設置したものです。

千歳科学技術大学 理事長、学長選任のお知らせ

学校法人千歳科学技術大学は、伊澤達夫理事長及び川瀬正明学長の任期が満了することに伴い、11月22日に行いました理事会において、下記のとおり選任しましたのでお知らせいたします。



■役職名:理事長
 ■氏名:伊澤 達夫(いざわ たつお)
 ■就任日:2017年11月28日
 <略歴>
 昭和45年3月 東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程 修了
 平成8年6月 日本電信電話株式会社 取締役 基礎技術総合研究所 所長
 平成10年6月 NTTエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長
 平成19年10月 東京工業大学 理事・副学長
 平成25年11月 学校法人千歳科学技術大学 理事長

■役職名:学長
 ■氏名:川瀬 正明(かわせ まさあき)
 ■就任日:2018年4月1日
 <略歴>
 昭和47年3月 北海道大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程 修了
 平成8年7月 日本電信電話(株)サービス運営部技術協力センター 所長
 平成11年4月 千歳科学技術大学光科学部光応用システム学科教授
 平成19年4月 紫綬褒章(しじゅほうしょう) 受賞
 平成22年4月 学校法人千歳科学技術大学 学長



寄付に感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(2017年8月1日から11月30日まで)

太田 友生 伊藤 圭子 菅原 敏行 木下 隆政
 大澤 一仁 渋谷進一郎 中條里加子 敬称略

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!

TwitterとInstagramで情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。

Twitter、InstagramどちらもIDは@cistkohoで検索ください。

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram

編集後記

今年の稜輝祭は好天に恵まれ、青空の下大勢の人で賑わいました。実行委員会の皆さんも忙しい中、準備・運営を手がけ大変お疲れ様でした。また、今年度は開催が例年より1か月後倒しになったことで、屋外イベントは少々寒く感じた方もいたのではないのでしょうか。そんな中お越しいただき、稜輝祭を盛り上げていただいたご来場者の皆さま、本当にありがとうございました。



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

Volume

45

平成30年3月31日

平成29年度学位記授与式を挙りました



2018年3月17日(土)、本学講堂において平成29年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。式は、ご多忙にもかかわらず、多数のご来賓・ご父母のご臨席を賜り、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、学部卒業生、大学院修了生一人一人に川瀬正明学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、そして伊澤達夫理事長並びにご来賓を代表されて山口幸太郎千歳市長よりそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ、その中から、グローバルシステムデザイン学科新家悠介さんが卒業生、修了生を代表して答辞を述べました。最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれの新たな道を踏み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。

発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課
千歳市美々758番地65
TEL.0123-27-6001
ホームページ www.chitose.ac.jp

ナノテクノロジープラットフォーム事業において 「秀でた利用成果」に選定されました

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業では、最先端のナノテクノロジー施設・装置を有する26研究法人が、全国の産学官の研究者へ利用機会を提供、知識を共有することに拠り、イノベーションにつながる研究成果の創出を目指しており、本学もその一機関として参加しています。

この事業においては、毎年約3,000件の利用がありますが、今回、優れた利用成果として提出された58件の候補から、6件の「秀でた利用成果」が選出され、本学の平井悠司専任講師、下村政嗣教授、旭川医科大学の室崎喬之氏、電力中央研究所の野方靖行氏との共同研究が、その中の1件として選出されました。

選定にあたっては、①イノベーションの創出にあたって大きな影響が期待できるもの、②産業界・大学・公的機関の連携により大きな成果が得られたもの、③ナノテクノロジープラットフォームの活用・支援が大きな効果をもたらしたものの、という3つの基準により審査されました。

また、2月14日(水)東京ビッグサイトで開催された第17回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議(nano tech 2018)において、平成29年度「秀でた利用成果」の発表と表彰式が行われました。

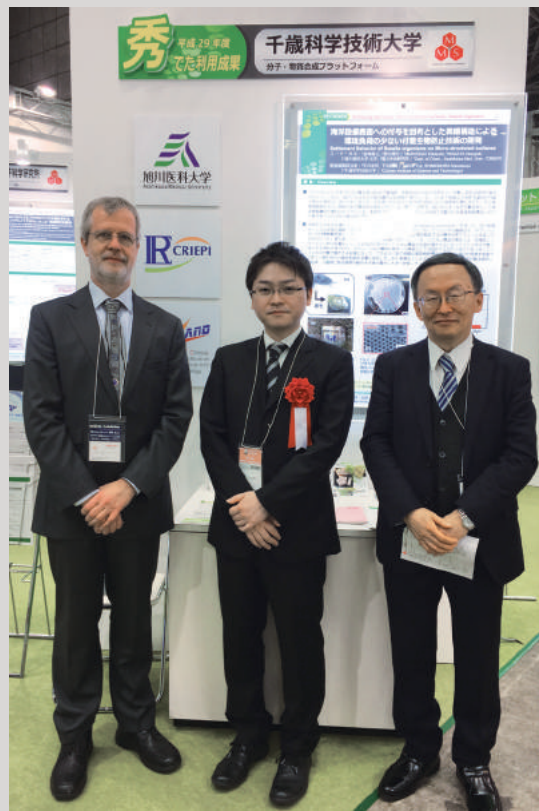
■課題名

海洋設備表面への付与を目的とした微細構造による環境負荷の少ない付着生物防止技術の開発

■ユーザー氏名

室崎喬之(旭川医科大学)、野方靖行(電力中央研究所)

実施機関担当者:平井悠司、下村政嗣



深町先生が部門賞(イノベーション賞)を受賞しました

理工学部情報システム工学科の深町賢一専任講師が「2017年度 知的環境アプリケーションアイデアコンテスト」において、部門賞(イノベーション賞)を受賞しました。

この賞は応募された作品について、これまでになかったような画期的アイデアかどうか(革新性)、夢のあるアイデアかどうか(独創性)、科学技術上における進歩に貢献するか(技術性・有用性)について評価し、優れたものを表彰・紹介するというものです。

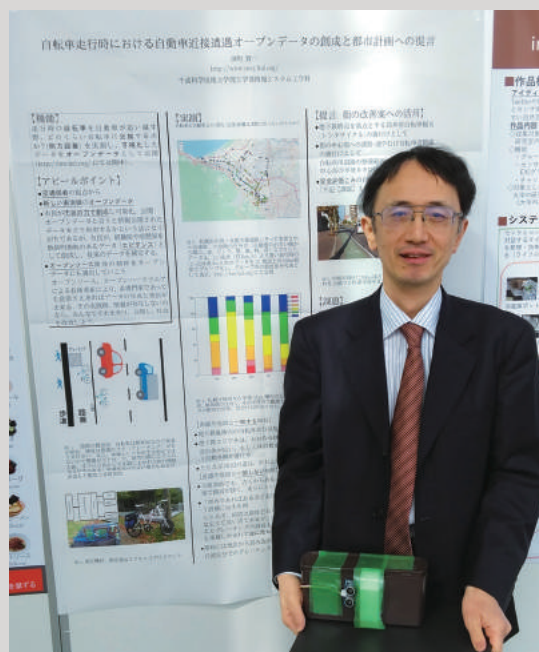
今回は、市民レベルから暗黙知を可視化できる可能性を示した研究であることや、交通弱者の立場からの実データ収集という新規性及び、潜在的な交通事故防止や都市計画検討の活性化へ役立てようという意欲などが評価され、部門賞であるイノベーション賞を受賞しました。

受賞した深町先生からは「オープンなソースコード、ハードウェア、データをみんなで作り、公開し、社会を改良していきたいですね。」とのコメントをいただきました。

■受賞作品名

自転車走行時における自動車近接遭遇オープンデータの創成と都市計画への提言

■受賞者:深町賢一



平成29年度は48校の高等学校で 出張講座を実施しました

本学では、高校の学びを深めるため、大学の学びを知るために出張講座を行っています。

理工学部の3学科、「応用化学生物学科」、「電子光工学科」、「情報システム工学科」のそれぞれの特徴を生かし、「化学分野」、「生物分野」、「電気・電子分野」、「情報分野」の4つの分野の講座を開講しています。また、講義の他、進路選択や進路意識、学習意欲向上のための「進学ガイダンス」も開講しています。2017年度は延べ48校で出張講座・ガイダンスを開講いたしました。21世紀を担う高校生の皆さんに、実験や講義を通して、最先端の科学、最先端のテクノロジーに触れていただき、興味を持っていただきたいと思います。テーマや内容については本学のホームページからご確認いただけます。また、目的や受講生の学年、履修状況に応じて、個別にアレンジも可能です。

高校で開講する出張講座の他、本学では大学見学もお受け入れいたしております。大学見学では、模擬講義や研究室見学などをキャンパスの雰囲気を感じながら体験していただけます。出張講座や大学見学につきましては、お気軽に下記、入試課までお問合せ下さい。

■お問合せ

千歳科学技術大学 入試課 電話:0123-27-6011

第19回佐々木記念賞を授与しました

3月17日(土)に挙行了した学位記授与式において、「佐々木記念賞」の授与が行われ、下記の大学院生2名と学部生6名に表彰状と副賞が贈呈されました。

大学院光科学研究科

博士後期課程 伊藤哲平 博士前期課程 土屋早紀

総合光科学部

バイオ・マテリアル学科 上野雄斗、松下優弥
光システム学科 加藤隆太郎、高橋光大
グローバルシステムデザイン学科 新家悠介、福田優

佐々木記念賞について

本学の開学に尽力した初代学長・佐々木敬介教授(1936~1998)の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生に対し、授与します。

学生が精密工学会北海道支部の 学生奨励賞を受賞しました

学部生の吉ヶ谷翔さん(総合光科学部光システム学科 4年)が、公益社団法人精密工学会北海道支部学生奨励賞を受賞しました。

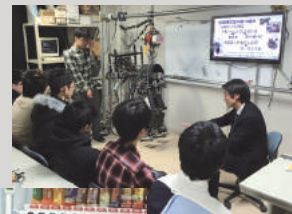
この賞は精密工学会会員が所属する道内の大学等の学業成績優秀な学生に対し、その学修成果と精進を讃える目的で贈られるものです。

3月17日(土)の学位記授与式において、川瀬学長より表彰状が授与されました。

合格者対象の大学見学会を 実施しました

3月13日(火)、2018年度入試合格者を対象とした大学見学会を実施しました。

大学見学会では、学部・学科の説明や、在学生が合格者の皆さんからの様々な質問に、本音で答える交流会、「体験ラボ」などが行われました。「体験ラボ」では学科ごとに分かれ、模擬講義や研究室見学など、一足早く本学の学びを体験しました。また、保護者の方には、就職状況や学費などの説明会も行われました。参加された皆さんからは、「先輩から色々な話が聞けて、入学後の不安がなくなった」、「勉強や、学生生活のイメージが具体的に出来て良かった」、「研究がとても楽しみなった」等の声が寄せられ、春からの学生生活へ、期待に胸を膨らませている様子が伺えました。



下村先生が高分子科学功績賞を 受賞しました

理工学部応用化学生物学科の下村政嗣教授が高分子科学功績賞を受賞しました。

この賞は、高分子基礎科学および応用化学の発展の為に、多年にわたって顕著な業績を挙げたものに授与し、その功績に報いると共に、高分子科学の普及啓発に資し、その水準の向上に寄与することを目的としています。

授賞式は5月23日(水)~25日(金)に名古屋国際会議場(名古屋市)で開催される第67回高分子学会年次大会の中で執り行われる予定です。

平井先生が高分子研究奨励賞を 受賞しました

理工学部応用化学生物学科の平井悠司専任講師が平成29年度高分子研究奨励賞を受賞しました。

この賞は、高分子若手研究者の活発な研究を奨励すると共に、将来、高分子科学の発展の為に貢献する人材を育成することを目的としています。

授賞式は5月23日(水)~25日(金)に名古屋国際会議場(名古屋市)で開催される第67回高分子学会年次大会の中で執り行われる予定です。

■受賞研究テーマ: バイオミメティック微細構造の作製と機能評価

■受賞者: 平井悠司

オープンサイエンスパーク千歳 持続可能な街づくりのための 「千歳学ことはじめ」を開催しました

3月9日(金)に、持続可能な街づくりのための自然生態系と経済・社会活動の共存共生を考える講話を千歳市内の水族館で開催しました。サケ皮を使った工芸体験から食品や飲料に関わるパッケージの現状について“作る”“使う”“消費する”“再生する”等の立場から対話を通じて地球環境の共生について考える内容でした。

開催概要

- 日時:2018年3月9日(金)17:00~20:00
- 場所:サケのふるさと千歳水族館 学習室
(千歳市花園2丁目312 <http://chitose-aq.jp/>)

プログラム

- 17:00~ 講話編
『サケをめぐるアイヌの人びとの暮らし
サケ漁からサケ皮衣まで』
元北海道博物館副館長 出利葉 浩司氏
- 17:40~ 体験編
『サケ皮クラフト』
サケのふるさと千歳水族館 菊池 基弘館長
- 18:00~ 対話編
『持続可能なパッケージングとは?』
モデレーター:千歳科学技術大学 下村政嗣教授
話題提供者:
『パッケージを作る』
凸版印刷株式会社千歳工場 山根俊彦工場長
『パッケージ素材セルロース』
千歳科学技術大学 谷尾宣久教授
『パッケージを使う』
株式会社もりもと 松原範直経営政策室室長
『パッケージを使う』
北海道中央葡萄酒株式会社 三澤計史社長
『パッケージ意匠』
札幌市立大学デザイン学部 福田大年専任講師

札幌国際大学と学術交流に関する 協定書を交わしました

2月26日(月)、札幌国際大学において同大学と学術交流に関する協定書を交わしました。当日は本学から川瀬 正明 学長以下3名、札幌国際大学からは越塚 宗孝 学長以下4名が出席し、調印式が行われました。調印式において越塚学長から、「これまでの両大学研究室間の交流実績を踏まえ、異なる研究分野、異なる教育領域の大学が融合することにより、新しい地域のおける大学のあり方を追求することができ、これが北海道への地域貢献にもつながる。今回の協定締結を前向きな捉え、新年度にあたって新たな交流関係を築いていきたい。」とのご挨拶がありました。

本学としては、このたびの締結を機に札幌国際大学の観光に関する知見・ノウハウなどに本学の理工系技術を加えた研究成果による地域貢献などを行って参ります。



北海道教育委員会と連携協力に関する 協定書を交わしました

2月9日(金)、北海道庁別館7階教育委員会室において北海道教育委員会と連携協力に関する協定書を交わしました。当日は本学から川瀬正明学長以下3名、北海道教育委員会からは柴田教育長以下3名が出席し、締結式が行われました。締結式において柴田教育長から、「千歳科学技術大学が独自に開発したeラーニングシステムは北海道のように広域分散化した生活環境の中において教育の充実発展に貢献するものと期待する」とのご挨拶がありました。

本学としては、このたびの締結を機に英語等の教材提供や学生ボランティアの派遣などの取り組みを行って参ります。



研究・学生活動

第20回みちのくYOSAKOIまつりで 仙台市長賞を受賞しました

10月7日(土)~8日(日)にわたり開催された「第20回みちのくYOSAKOIまつり」に本学YOSAKOIソーラン部が出場しました。皆さまから多くのご声援をいただき、仙台市長賞を受賞することができました。温かいご声援ありがとうございました。今後も様々なイベントに参加し演舞を披露してまいりますので、本学YOSAKOIソーラン部「光一天」を宜しくお願いたします。



2017(平成29)年度 論文タイトル一覧

博士前期課程

NetBSD基本システムのパッケージ化の設計と実装
榎本 優樹

浮遊基板法によるアルカリ土類金属炭酸塩樹状結晶の形態制御
小林 翔太

らせん棒状ポリシランの2成分混合系における
エントロピーを駆動力としたスメクチック相の相分離
砂原 克彦

蛾の眼から着想を得た微小突起を有するMLAsの作製と特性評価
瀬川 雄太

サリチリデンアニリン骨格を有するESIPT色素を対象とした固体近赤
外蛍光材料の開発
館本 雄平

超撥水加硫ゴム表面の作製と物性評価
田村 陸

空間光変調器を用いた光波の制御に関する理論及び実験研究
張 曼

学習者相互の知識活用を促す知識マップ利用型学習支援システムに関する研究
塚田 尚幸

分子内に切替え可能な水素結合を有する新規ESIPT型蛍光色素の開発
土屋 早紀

透明ポリマーの熱膨張と屈折率温度依存性
幡野 敦士

自己組織化異方性超撥水表面の作製及び解析
森 博俊

可視光無線LANの適用領域およびその送受信技術の研究
山地 良翔

項目反応理論を用いた適応型学習支援システムに関する研究
吉田 史也

博士後期課程

赤外イメージング・赤外二色性イメージングによる
新規骨形態計測法の開発と慢性腎臓病の病態解析
伊藤 哲平

剛直高分子の形成するスメクチック相をテンプレートに用いた
金属ナノパターンニングに関する研究
田中 汰久治

2017(平成29)年度 部・サークル活動実績

硬式テニス部

全日本大学対抗テニス王座決定試合
北海道地区予選出場

軟式野球部

第24回春季リーグ戦大会 4部リーグ戦 3位
第24回秋季リーグ戦大会 4部リーグ戦 優勝
(3部昇格)

卓球部

第72回国民体育大会卓球競技千歳支部予選
出場
第84回全日本大学総合卓球選手権大会(個人
の部)北海道予選出場
北海道秋季学生卓球選手権大会(団体の部)出場

バドミントン部

第66回北海道学生バドミントン選手権大会出場
第64回北海道学生バドミントン会長杯争奪選
手権大会出場
第4回千歳オープンバドミントン大会出場

弓道部

千歳弓道協会月例射会(参段以下の部)参加
第70回北海道弓道大会大学生の部 個人戦出場
第64回全道弓道選手権大会 男子個人の部出場
第65回全日本学生弓道選手権大会(インカレ)
出場
第25回千歳市長杯争奪戦
一般団体の部兼一般個人参段以下の部出場
第21回中央地区弓道大会
大学生団体の部兼大学生参段以下の部出場
第63回全道学生弓道争覇戦 男子I・IV部
リーグ戦出場
第68回京都三十三間堂大全国的全国大会
成人男子の部出場

昆虫研究会

9月~12月 害虫(スズメバチ)の駆除

テーブルゲームサークル

ドンパオス~千歳・恵庭人狼普及委員会への
参加

菜園サークル

8月29日 公益財団法人ちとせ環境と緑の財
団主催の「第30回花いっぱいコンクール」にお
いて、花壇部門中学校等の部にて「最優秀賞」
を受賞。
10月15日 収穫した野菜を食材にして稜輝祭
の模擬店で販売

写真部

5月20日 中島公園での撮影会
6月17日 えこりん村での撮影会
8月26日 写真雑誌CAPA月例フォトコンテ
ストへの応募
オゾンオスボンとTKOの公式写真撮影
10月19日 第57回富士フィルムフォトコン
テストへの応募
11月18日 小樽での撮影会
2月6日 千歳サーモンパークにて撮影会
(株)カミノのカレンダー及び広報誌への掲載

ライトアート工房

6月1日~30日 サケのふるさと千歳水族館
企画展示「花火水槍」
7月28日、29日 苫小牧美術館展示 美術館
祭2017における特別展示
9月16日~10月31日 サケのふるさと千歳水
族館 エントランス展示「shake!!!2017」
10月7日 恵庭かしわのもり科学の祭典
ワークショップを実施
12月23日 第3回ミナクル(千歳市民活動
交流センターミナクル)サロクリスマス
こどもフェスティバルにてワークショップ開催
1月22日 千歳市青年会議所新年パーティに
て展示
2月3日 千歳市民共同推進会議主催のイベ
ントに参加
2月17日、18日 ノースカントリークラブに
て作品展示

航空研究会

10月15日 千歳科学技術大学稜輝祭にて
ペーパークラフト教室開催

都山流尺八サークル

5月14日 三曲協会主催第84回定期演奏会(札幌)出演
6月11日、10月15日 邦楽邦舞の会(千歳市出演)
11月3日 千歳市民芸術祭出演
聖琳社師範試験準師範試験参加し、2名師範登
第(合格)、1名準師範第登第(合格)

YOSAKOIソーラン部

6月7日~11日 第26回YOSAKOIソーラン祭
り 敢闘賞受賞
6月22日、29日 北海道千歳北陽高等学校に
てよさこい指導
6月25日 島松駐屯地65周年記念式典にて演舞披露
7月15日~16日 2017スカイ・ピア
&YOSAKOI祭ベスト8
9月24日 栗山天満宮秋季例大祭にて
YOSAKOIソーラン演舞披露
10月7日~8日 20回みちのくYOSAKOIま
つり仙台知事賞受賞

理工工房

あそびの日inちとせ2017 参加
千歳市5館合同児童館まつり 参加
科学の祭典・札幌サウスイーストサマー大会 参加
ニューサンロード商店街なつまつり兼ミニ科
学の祭典2017なつ 参加
キリンビール北海道千歳工場ビアフェスティ
バル 参加
千歳市グリーンベルト第22回ふるさとポケット 参加
稜輝祭 科学体験コーナー 出展
みんなでひと・まちづくり委員会イベント 実
験デモ紹介
科学の祭典・札幌サウスイーストオタム大会 参加
科学の祭典・千歳大会 参加
石狩市こども未来館あいぽーと秋のワクワク
科学教室
サイエンスカフェin千歳「理工工房のサイエン
ス教室」 参加
科学の祭典・北広島大会 参加
第8回仲の橋通り商店街ふゆまつり 参加
札幌市青少年科学館サイエンスリンクin北海道 参加
千歳市サイエンス会議 サイエンス実験演
札幌市青少年科学館「大学生による科学教室」
ほか

「OB・OG対話」を開催しました

12月4日(月)、本学にて「OB・OG対話」を開催しました。今年度は13社14名のOB・OGの方々にご協力いただきました。「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。また、今年度は学部2年生も対象として実施しました。「キャリア形成B2」の授業科目において参加を必須として位置付けており、早い段階から職業への意識付けを促進しております。参加した学生からは、「実際に先輩方の話を聞くことで就活について具体的なイメージがより鮮明になった」などの声が聞かれ、就職活動や就職してからについて、あらためて考えるきっかけになった様子が伺えました。

ご参加頂いた皆様(企業名順敬称略)

- 大井電気株式会社/鈴木 暢瑛、熊谷 圭祐
- 長田電機工業株式会社/田村 翔一
- 株式会社オプライン/川原 正裕
- 株式会社協和エクシオ/野口 亮太
- 新興サービス株式会社/河村 歩
- 総合警備保障株式会社/岡島 知大
- 株式会社つうけんアドバンスシステムズ/善家 雅也
- 株式会社ニッセイコム/大井 岳
- 日本精機株式会社/鈴木 優稀
- 一般財団法人日本食品分析センター/穂山 遥歌
- 北海道旅客鉄道株式会社/阿部 和成
- ヤンマーアグリジャパン株式会社 北海道カンパニー/春木 慎二
- 株式会社ユードム/亀井 将樹



学内業界研究セミナーを開催しました

2月13日(火)から16日(金)の4日間の日程で、本学体育館にて「学内業界研究セミナー」を開催し、期間中232社の企業にご参加いただきました。

本セミナーは、キャリア教育の一環として希望する業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動へ向け、ミスマッチがおきないように業界・仕事への理解を深めることを目的として実施しています。学生も最初は緊張した面持ちでしたが、各企業の採用担当者の方や本学出身の先輩社員などから様々なお話をしていただき、これから本番を向かえる就職活動に向け、意識が高まった様子でした。

地元ものづくり企業見学バスツアーを実施しました

低学年時から実施しているキャリア教育の取組のひとつとして、「地域に貢献できるものづくり人材の育成」をテーマに、地元ものづくり企業を対象とした見学バスツアーを3月6日(火)に開催しました。今年度は「東洋製罐株式会社千歳工場様」と「キリンビール株式会社北海道千歳工場様」にご協力いただき、同日に2社見学させていただきました。参加学生は、実際の「ものづくりの現場」を見学することで、ものづくり企業に対する理解を深め、将来の進路を考えるうえで貴重な経験をすることができました。



求人数・就職率

■求人票数
(平成30年3月31日現在)

873件

■平成29年度卒業者の
進路状況
(平成30年3月31日現在)

就職決定者 **120**名

就職率 **98.4%**

※就職率=就職決定者÷就職希望者

進路決定率 **91.6%**

※進路決定率=就職決定者数÷
(全卒業者数-進学決定者数)

平成29年度卒業者の進路状況

平成29年度は採用スケジュール変更3年目となり、多くの企業が昨年度より早期に採用活動を開始し、本学も多くの学生が早期に内定を得ました。また、早期に進路決定とならなかった学生についても粘り強く就職活動をしたため、就職率・進路決定率ともに高い水準となりました。

●主な就職先 平成29年度卒業者実績(五十音順)

- アールアイ・ソフトウェア株式会社 ■株式会社アイピーシステム ■アキレス株式会社 ■株式会社アシスト北海道 ■株式会社ASCe
- 株式会社アルトナー ■株式会社アルファシステムズ ■株式会社インサイトテクノロジー ■株式会社上田コンクリート工業所 ■株式会社ウェブ東海 ■HISホールディングス株式会社 ■株式会社エイチ・アイ・ティ ■株式会社エイチ・エル・シー ■株式会社エコス北栄
- SEIオプティフロンティア株式会社 ■株式会社エスイーシー ■株式会社エヌ・ティ・ティエムイー ■株式会社 NTT 東日本 - 北海道
- 株式会社エム・ソフト ■株式会社オーテック ■株式会社化合物安全性研究所 ■株式会社クリエティブキャスト ■株式会社クレスコ
- 株式会社KSP・EAST ■株式会社恒栄工業 ■コムシス株式会社 ■株式会社サイバーテック ■サイバートラスト株式会社 ■札幌市教育委員会(高校教諭・期限付) ■株式会社札幌ネクス ■サンマルコ食品株式会社 ■三和土質基礎株式会社 ■株式会社シークス
- 株式会社ジーシー ■ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 ■株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア ■株式会社シヨクセン ■学校法人白樺学園 白樺学園高等学校(高校教諭) ■新興サービス株式会社 ■住電通信エンジニアリング株式会社 ■総合警備保障株式会社 ■株式会社ソフトコム ■第一精工株式会社 ■ダイキョーニシカワ株式会社 ■株式会社大東工務所 ■大同信号株式会社 ■太平電業株式会社 ■高砂熱学工業株式会社 ■株式会社タマディック ■株式会社つうけん ■株式会社つうけんアドバンスシステムズ ■津軽海峡フェリー株式会社 ■株式会社ツヨシオカ ■株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 ■東テク北海道株式会社
- 株式会社トータルデザインサービス ■株式会社ドコモ CS 北海道 ■ドコモ・テクノロジー株式会社 ■なかせき商事株式会社 ■夏日光学株式会社 ■日興ソフトウェア株式会社 ■日宝化学株式会社 ■日本精機株式会社 ■日本アイピーエム・ソリューション・サービス株式会社 ■日本データスキル株式会社 ■ネットヨ夕道都株式会社 ■根室市立海星中学校(中学教諭・期限付) ■株式会社ハイマックス ■日立コンシューマ・マーケティング株式会社 ■株式会社日立ソリューションズ・クリエイト ■株式会社ヒップ ■株式会社VSN ■富士インフォックス・ネット株式会社 ■株式会社ブリッジ ■株式会社ブレインパッド ■ヘルツ株式会社 ■ホクレンくみあい飼料株式会社 ■ホシザキ北海道株式会社 ■株式会社北海道クボタ ■北海道警察 ■株式会社北海道中央牧場 ■北海道日興電気通信株式会社 ■北海道旅客鉄道株式会社 ■株式会社マイナビ ■株式会社丸福商店 ■三菱電機ビルテクノサービス株式会社 ■株式会社ミライト ■株式会社ミライト・テクノロジー ■美和電気工業株式会社 ■武蔵エンジニアリング株式会社 ■株式会社メイテックフィルダーズ ■株式会社毛利エンジニアリング ■ヤンマーアグリジャパン株式会社 北海道カンパニー ■株式会社ユニシス ■陸上自衛隊
- 【大学院進学】 ■千歳科学技術大学大学院 ■北海道大学大学院

入試情報

2018年度 オープンキャンパス日程

2018年度のオープンキャンパスは
以下の日程で開催します。

6/17 (日)

8/4 (土)・5 (日)・10/7 (日)



2018(平成30)年度 進学相談会日程

(2018年4月～2018年7月分)

開催地	会場	開催日	時間
札幌	ホテルエミシア札幌	4/18(水)	15:00～18:00
	札幌パークホテル	4/24(火)	14:30～18:30
	札幌コンベンションセンター	4/25(水)	16:00～19:00
	札幌パークホテル	5/25(金)	14:00～18:00
	アクセスサッポロ	6/7(木)	15:30～17:30
	ガトーキングダムサッポロ	6/11(月)	14:30～17:30
	ガトーキングダムサッポロ	6/19(火)	13:00～16:30
	プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌	6/22(金)	16:00～18:00
小樽	グランドパーク小樽	4/26(木)	15:00～18:00
石狩	花川南コミュニティセンター	4/20(金)	13:20～18:00
苫小牧	グランドホテルニュー王子	4/17(火)	15:00～18:00
	苫小牧市総合体育館	7/13(金)	13:00～18:00
室蘭	中嶋神社蓬萊殿	4/19(木)	15:00～18:00
新ひだか	新ひだか町公民館	4/26(木)	13:00～17:00
旭川	旭川市民文化会館	4/24(火)	13:00～19:00
	旭川グランドホテル	5/9(水)	15:00～18:00
	アートホテル旭川	5/29(火)	16:00～18:00
滝川	滝川スポーツセンター	6/20(水)	14:00～16:30
名寄	名寄市スポーツセンター	5/9(水)	12:30～17:15
稚内	稚内海員会館	6/14(木)	14:00～17:30
函館	ベルクラシック函館	5/23(水)	15:00～18:00
	ベルクラシック函館	5/28(月)	15:30～18:30
	ベルクラシック函館	6/7(木)	16:00～18:00
釧路	釧路市観光国際交流センター	5/10(木)	15:00～18:00
	釧路センチュリーキャッスルホテル	6/19(火)	16:00～18:00
帯広	ホテル日航ノースランド帯広	4/16(月)	15:00～18:00
	ホテル日航ノースランド帯広	6/20(水)	16:00～18:00

開催地	会場	開催日	時間	
北海道	北見	ホテルベルクラシック北見	5/8(火)	15:00～18:00
	網走	網走セントラルホテル	5/10(木)	16:00～18:00
	遠軽	遠軽町総合体育館	7/24(火)	13:40～15:40
	紋別	紋別市スポーツセンター	5/7(月)	13:30～17:00
青森	八戸	八戸グランドホテル	5/10(木)	15:00～18:30
		八戸プラザアーバンホール	5/11(金)	14:30～18:00
	青森	青森国際ホテル	6/7(木)	14:30～18:00
弘前	青森	リンクステーションホール青森	6/8(金)	13:30～18:00
		アートホテル弘前シティ	4/19(木)	12:30～16:00
		アートホテル弘前シティ	4/25(水)	13:30～18:00
岩手	盛岡	アートホテル弘前シティ	6/6(水)	14:30～18:00
		ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	5/9(水)	15:00～18:30
		ホテルメトロポリタン盛岡本館	5/16(水)	14:30～18:30
	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	6/18(月)	15:00～18:00
盛岡	盛岡タカヤアリーナ	6/27(水)	13:00～15:30	
北上	北上市市民交流プラザ	5/15(火)	15:30～18:00	
奥州	奥州市文化会館Zホール	5/12(土)	14:00～16:30	
秋田	秋田	アルヴェ(秋田市市民交流プラザ)	7/21(土)	13:00～16:00
宮城	仙台	仙台国際センター	7/12(木)	13:00～16:30
東京	東京	池袋サンシャインシティ	6/17(日)	11:00～16:00
		東京ビッグサイト	7/14(土)	10:30～17:00
群馬	高崎	ピエント高崎	5/27(日)	11:00～16:00
愛知	名古屋	吹上ホール	6/24(日)	11:00～16:00
大阪	大阪	ナレッジキャピタルコングレ コンベンションセンター	7/8(日)	11:00～16:00

※開催地は随時追加されます。また日程等は変更になる場合がありますので、詳細はHPで確認してください。

「千歳科学技術大学の公立大学法人化を是とする」調査報告について

3月8日(木)に開催された千歳市議会定例会議にて、「千歳科学技術大学の公立化に関する調査特別委員会(※)」の佐々木委員長より「千歳科学技術大学の公立大学法人化を是とする」と調査報告がなされ、同委員会は終了しました。

また、新たに公立大学法人への移行に関し、諸課題等について調査を行うため「千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会(佐々木雅宏委員長)」が設けられました。

(※)「千歳科学技術大学の公立化に関する調査特別委員会」
千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する諸課題についての調査を行うため2017年7月に千歳市議会が設置したものです。

本学同窓会より 寄付(奨学資金)をいただきました

2月5日(月)に千歳科学技術大学同窓会を代表して金野徹会長が来訪され、奨学資金24万円(千歳科学技術大学奨学金1名分相当)の寄付をいただきました。

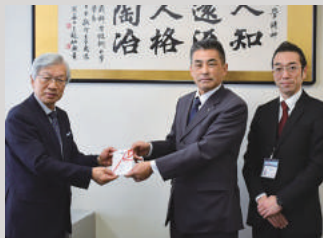
本学の奨学金制度は、千歳市民や地元企業などからのご寄付により、平成18年度に創設し、運営されております。千歳科学技術大学奨学金は、経済的な理由により修学が困難な優れた学生に対して給付を行っており、平成29年度までに延べ141名の学生に給付を行ってきました。



株式会社カミノ様より ご寄付(奨学資金)をいただきました

3月2日(金)に株式会社カミノ様より奨学資金としてご寄付をいただきました。株式会社カミノ様は、千歳市の地元企業として千歳周辺地域を中心に事務用機器販売を主に行うとともに、本学の売店運営を行っております。

ご厚意をいただきました誠にありがとうございました。本学の学生の就学支援に有効に活用させていただきます。



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

平成29年度も、本学の教育活動、学生支援に対しまして多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成29年12月1日から平成30年3月31日まで)

星崎 悦子 山田 範保
株式会社カミノ 千歳科学技術大学同窓会 敬称略

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式! //
Twitterと
Instagramで
情報発信中!



本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニカーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。

Twitter, InstagramどちらもIDは @cistkoho で検索ください。

?カーギーとは?

オレンジのつなごと、-googleがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・カーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探索すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram



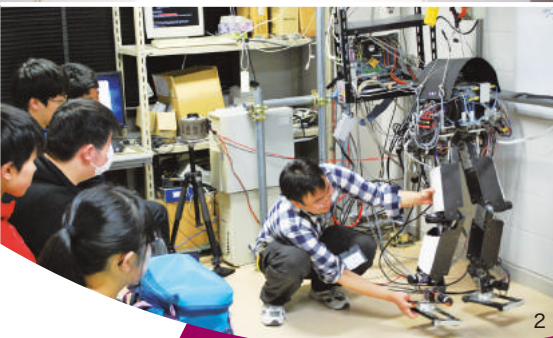
Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

Volume

46

平成30年7月31日



発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課
千歳市美々 758 番地 65
TEL.0123-27-6001
ホームページ www.chitose.ac.jp

- 1. 夢ナビライブ2018(3ページ)
- 2. オープンキャンパスの様子(6ページ)
- 3. オープンサイエンスパーク千歳(4ページ)
- 4. 平成30年度入学式(2ページ)



公立化の動き

千歳科学技術大学 学長

川瀬 正明

昨年夏の学報で大学改革の動き～公立大学法人化の検討に関する要望書を千歳市へ提出～について紹介しましたので、その後の状況について説明します。

本学の要望を受けて千歳市は、公立化に関する有識者会議を設置し、その審議結果を受けて、昨年10月に山口市長が本学の公立化を進める旨の表明をされました。さらに千歳市議会に公立化に関する調査特別委員会を設置し、我々も参考人として意見を述べる機会をいただき、審議の結果本年3月に市議会において本学の公立化を是とする報告がなされました。

以上の経緯を経て、本学の公立大学法人化の大きな流れが形成され、新聞等マスコミに報道された効果もあり、本年春の入試では1,200人を超える過去最多の志願者数となりました。その後のオープンキャンパスの入場者数も前年の約2倍となっています。

「公立大学」ブランドの価値を改めて認識させられる結果となっていますが、これらは直接本学への期待と言うより他の平均的な公立大学のイメージがベースになっているものと考えられます。

本学の大学改革の基本は経営形態の変更に加えて、教育改革と地域貢献の3つの柱で構成しており、経営形態の変更は今後公立大学法人の設立に向けて市の公立大学法人化担当が進めますが、教育改革と地域貢献のシナリオは大学が主体で進めることとなります。教育改革の主体は文科省補助事業「大学教育再生加速プログラム」による「質保証に定める教育システム」の確立を目指し、特に専門分野にかかわらず共通基盤教育として教情報系教育の強化を予定しています。また、本プログラムの検討にもとづき、入学・教育・卒業認定にかかわる3つの基本ポリシーを昨年春に改訂しています。

基礎的な学力では卒業生のアンケート調査で指摘が多かった言語リテラシーの充実をはじめ、主体性・自律性、チームとして活動する力を高めるために、アクティブラーニングを積極的に取り入れた教育を強化することとし、改革実現のための教育体制、施設の充実を図る予定です。地域貢献では、地域の文化・知的拠点を目指し、大学の人材と知恵を地域のニーズとマッチングをとる取組“Smart Nature Cityちとせ”を提案しています。

公立大学法人化の動きや、改革の内容は大学のホームページに特設ページを設けて随時発信しておりますのであわせてご覧いただければ幸いです。

今後、教育・研究に基づく人材育成と地域貢献の両面で長く持続できる公立大学を目指して改革を進めて参りますので、忌憚のない意見をお願い申し上げます。

平成30年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行了しました

4月7日(土)、本学講堂において平成30年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行し、理工学部281名、大学院光科学研究科10名、計291名が新たな一歩を踏み出しました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多くの来賓・保護者のご臨席を賜り、午前10時から始めました。式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の郡司凌大さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式の終了後は、保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。山中明生学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学修、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



▲伊澤理事長

保護者説明会の様子▶

トピックス

文科省ナノテク事業分子・物質合成プラットフォーム 平成30年度シンポジウムを開催しました

6月2日(土)、B101大講義室において「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業 分子・物質合成プラットフォーム平成30年度シンポジウム」が開催され、他大学や市内外の企業等から約100名超の研究者、学生、市民が参加されました。

プログラムは、ナノテクノロジープラットフォーム プログラムディレクターである佐藤勝昭先生のご挨拶から始まり、各実施機関の利用者10名の口頭発表、23件のポスター発表が行われました。14:30~15:30には2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木章北大名誉教授の「有機ホウ素化合物を用いるクロス・カップリング反応」と題する招待講演が行われました。最初に科技大ナノテクノロジープラットフォームの代表責任者であるオラフ・カートハウス教授から鈴木先生の経歴紹介がありました。その後、鈴木先生のご講演は、数学が得意だった先生が有機化学の書籍との出会いから化学の研究に入られたこと、アメリカ留学でノーベル化学賞の受賞理由となった鈴木カップリング反応開発のきっかけを得られたこと、ご研究は医薬開発等に広く応用されていること等、ご専門について分かりやすくお話いただきました。専門のお話のみならず、若者に「失敗を恐れるな」といった人生訓についてもお話いただきました。講演後は出席者からの質問も受けいただき、複数の科技大生が貴重な機会を捉えて質問していました。本学の学生たちに一生の思い出となるような貴重なお話をしていただき、お礼申し上げます。

※文部科学省の「ナノテクノロジープラットフォーム」事業は、最先端の研究設備を有する全国の大学、研究機関が設備の共同利用を通じて産業界や研究現場の技術的課題の解決を目指すものです。千歳科学技術大学は、3つの事業のうち分子・物質合成プラットフォームに所属しています。



夢ナビライブ2018東京会場に 参加しました

7月14日(土)東京ビッグサイトで開催された高校生を対象とした「夢ナビライブ2018」に参加しました。「夢ナビライブ」は、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を担当者に直接質問したり、大学について説明をうけたりすることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまとまったチャンスのイベントです。当日は50,164名の来場者がありました。本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井賢一准教授の2名の先生が講演を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受けたり、質問をしたりしていました。



千歳版環境マネジメントシステム 「ECOちとせ」に認定されました

本学は、昨年度における電力量やLPG量の削減などの環境にやさしい取り組みが、千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」の審査基準に適合していることが認められ、千歳市より認定証(継続認定)が交付されました。

認定証の有効期間は、平成30年7月1日から平成31年6月30日までとなります。

今年度も環境にやさしい取り組みを継続し、「ECOちとせ」認定期間の更新を目指します。



平成30年度慶応工学会給費奨学生に 採用されました

大学院生の徳光聖茄さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 長谷川研究室所属)が、平成30年度一般財団法人慶応工学会給費奨学生に採用されました。

7月31日(火)本学において給費奨学生の伝達式を執り行い、川瀬正明学長より給費奨学金授与証書を授与いただきました。この奨学金制度は全国の理工系大学院生から募集され、奨学生として採用されると年額36万円を1ヵ年支給されます。

採用された徳光さんから研究により力を入れていきたいと抱負が語られました。



平成30年度在学生特待生 認定通知書授与式を行いました

5月24日(木)、平成30年度在学生特待生認定通知書授与式を行いました。

在学生対象特待生制度は平成26年度に創設された制度で、学部3年生及び4年生の各学科の成績優秀者1名を特待生として認定し、授業料等の減免を行うものです。

認定式では川瀬正明学長から認定通知書が手渡された後、激励の言葉が贈られました。



2019年度版大学案内(パンフレット)完成のお知らせ

このたび、新しく2019年度版「大学案内」が完成しました。
 今回は、巻頭特集で本学の教育、研究、地域貢献をテーマとし「科技大×教育」、「科技大×研究」「科技大×地域」を掲載しております。
 また、学部・学科紹介や就職支援、キャンパスライフについてのページなど、科技大の情報が満載です。大学や学科選び、将来について考える際に、ぜひご活用ください。



2018年度第1回光テクノロジー応用懇談会を開催しました

7月20日(金)、千歳アルカディア・プラザ 1階多目的ホールにおいて、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が主催する講演会が開催され、本学から山中明生学部長ほか2名の方が講演しました。当日は、市内外から30名の市民の皆様が来場し、各専門分野のお話を熱心に聞いておりました。

希土類酸化物の結晶成長と光部品への展開

千歳科学技術大学 理工学部
 学部長 山中 明生教授

新規レーザー光技術を用いた光学顕微鏡による細胞整理のイメージング

北海道大学 電子科学研究所 生命科学研究部門
 光細胞生理研究分野
 教授 根本 知己氏

会社紹介

京セミ株式会社 営業本部 営業開発部
 部長代理 川井 敏生氏



オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにすごい!! 身近な生き物たちを開催しました

7月30日(月)、31日(火)に「オープンサイエンスパーク千歳～こんなにすごい!!身近な生き物たち」が開催されました。

30日は市内小中学生5名を含む総勢19名が参加し、サケのふるさと千歳水族館の学習室で講演会が行われました。千歳水族館の菊池基弘館長、旭川医科大学の室崎喬之先生、北海道大学総合博物館の大原昌宏先生から様々な生物の生態についてお話をいただいた後、本学の応用化学生物学科 平井悠司専任講師による超撥水性や超親水性などに関する講義と体験実験を行いました。講義の合間には千歳水族館内のバックヤード見学、魚の餌やり体験も行われ、生物の仕組みなどについて学びました。

31日は天候にも恵まれ、小中学生8名を含む総勢23名が参加して千歳科学技術大学研究棟周辺や千歳湖などで昆虫採集を行いました。千歳湖周辺には事前に国立科学博物館の野村先生や本学昆虫研究会のメンバーが予めトラップを仕掛けており、ノコギリクワガタやアオコガネムシ、ハネカクシなどが採集されました。その後は、大学設備である電子顕微鏡や実体顕微鏡、虫眼鏡で昆虫の表面を見比べてみたりしながら観察しました。参加した小中学生はたくさんの昆虫を持ち帰ることができました。



恵庭中学校と早来中学校の生徒さんが 本学を見学しました

7月5日(木)午前は、恵庭市立恵庭中学校の3年生40名が「進路学習」の一環で本学を見学しました。はじめに、本学の電子光工学科 長谷川誠教授と本学理工工場の皆さんにより、大学の紹介と理科実験講義を受けました。理系に興味のある皆さんということで、「理科をこれから勉強していくのに、コツはありますか?」など積極的に質問していました。そのあと、3班に分かれ、研究室を見学したり、本学学生の地域での活動について紹介を受けました。

また、午後には安平町立早来中学校の1年生32名の皆さんが「総合的な学習の時間」の一環で本学を見学しました。はじめに、大学らしい大きな階段教室で記念撮影をしたあと、食堂で昼食をとりました。そのあとは研究実験棟に移動し、午前引き続き、長谷川教授と理工工場の皆さんによる理科実験講義を受けました。



研究室見学の様子



偏光フィルムを使って作成した万華鏡を見ています

公開講座を開催しました

2018年度の公開講座(第1回、第2回)を以下のとおり開催しました。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

第1回公開講座

今年度第1回目の公開講座では、主に太陽光エネルギーについて、情報システム工学科 吉田淳一教授自身がこれまで行ってきた実験や、最近のトレンドなどについて、太陽光パネルの模型を用いるなどして詳しく解説されました。また、たくさんの方が質問やご自身の意見を発言され、理解を深められていました。参加者からは、「自然エネルギーの活用について可能性を感じました」など感想をいただきました。



- 日程:6月9日(土)14:30~16:30
- 場所:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)3階 視聴覚室
- 演題:「スマートネイチャーシティちとせのクリーンエネルギー技術—太陽電池パネルの賢い使い方—」
- 講師:千歳科学技術大学 情報システム工学科 教授 吉田 淳一
- 参加者数:37名

第2回公開講座

第2回は、非接触型IC乗車券のような数mm単位の短い距離のものから、185億km以上離れた人工衛星とのものまで多種多様な通信技術について、電子光工学科 佐々木慎也教授が解説されました。また、最先端の通信技術の紹介や、これからの通信技術の可能性についてお話がされました。参加者からは、「通信技術の進化の目まぐるしさに驚かされました」など感想をいただきました。



- 日程:7月28日(土)14:30~16:30
- 場所:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)3階 視聴覚室
- 演題:「多種多様な通信システム~光通信から無線通信まで~」
- 講師:千歳科学技術大学 電子光工学科 教授 佐々木 慎也
- 参加者数:26名

2018年度eカレッジ講習会とプログラミング教室を開催しました

千歳市教育委員会が窓口となり実施している「eカレッジ」事業では、千歳市内小中学校の生徒を対象に、本学で開発している「eラーニング(電子学習)システム」の利用を推進しています。6月17日(日)、今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生(希望者)と保護者を対象に、このシステムの使用方法などについて解説する「eカレッジ講習会」を本学で実施しました。

当日は、12人の小学生とその保護者や兄弟などが参加しました。はじめに、パスワードなどを入力し、システムにログイン。算数や理科の教材を実際に試しながら、使い方を覚えていました。これからは家庭学習などにeラーニングシステムを大いに活用していただきたいと思います。また、eカレッジ講習会終了後、希望者に対し「プログラミング教室」を実施しました。こちらにも、小学生とその保護者および兄弟合わせて17名が参加くださいました。BBC micro:bit という、プログラミングで動かせる小さなコンピュータを使用し、コンピューティングやプログラミングの概念(順次、イベント、反復、センシング、変数)を体験する内容でしたが、みなさん苦労しながらも、少しずつ難しくなっていく課題をクリアしていきました。中には、自分ひとりでどんどん難しい課題にチャレンジしていくお子さんもみられました。

- 日程:6月17日(土)13:00~16:00
- 場所:千歳科学技術大学 G201(コンピュータ教室)
- 講師:千歳科学技術大学 情報システム工学科 専任講師 山川 広人
- 対象:今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生とその保護者



台湾の高校生が本学を見学しました

7月2日(月)、台湾の台北市立中正高級中学(高等学校)の生徒23名と引率者4名が5泊6日の日程で来道し、北海道の自然や歴史に触れました。その一環として本学の見学に訪れました。

本学では、大学の概要や学生の様子などについて説明を受けたあと、電子光工学科 長谷川誠教授と本学理工工房の皆さんによる理科実験講義を受けました。皆さん大変礼儀正しく、熱心に説明や講義に聞き入っていました。同校が本学に訪れるのは、昨年に続いて2回目となります。

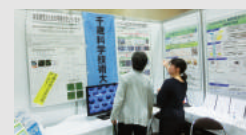


北洋ものづくりテクノフェア2018に出展しました

7月26日(木)、アクセスサポロにて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2018」に出展し、本学で行っている「ナノテクノロジープラットフォーム事業」の紹介を行いました。

ナノテクノロジープラットフォーム事業とは、文部科学省にて2012年度より開始された事業で、本学ではその中の分子・物質合成プラットフォームとして、施設や装置の利用に留まらず、合成に関するノウハウの提供、データ解析等を含め、全国の産学官の研究者に対して支援を行っています。

フェア当日は、出展者(238社・団体)、来場者(約4,800名)ともに過去最多となり、本学のブースへも多数の方々が立ち寄りくださいました。



下村先生が高分子科学功績賞、 平井先生が高分子研究奨励賞を受賞しました

理工学部応用化学生物学科の下村政嗣教授が「高分子科学功績賞」を受賞しました。

この賞は、高分子基礎科学および応用化学の発展の為に、多年にわたって顕著な業績を挙げたものに授与し、その功績に報いると共に、高分子科学の普及啓発に資し、その水準の向上に寄与することを目的としています。

また、理工学部応用化学生物学科の平井悠司専任講師が「高分子研究奨励賞」を受賞しました。

この賞は、高分子若手研究者の活発な研究を奨励すると共に、将来、高分子科学の発展の為に貢献する人材を育成することを目的としています。

■受賞研究テーマ：
バイオメテック微細構造の作製と機能評価

■受賞者：平井悠司

授賞式は5月23日(水)～25日(金)に名古屋国際会議場(名古屋市)で開催された第67回高分子学会年次大会の中で執り行われました。



日本バイオマテリアル学会北海道ブロックの ポスター賞を受賞しました

大学院生の兼平裕也さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 木村研究室所属)が、日本バイオマテリアル学会北海道ブロック第3回研究会でポスター賞を受賞しました。この賞は極めて優秀なポスター発表に対して贈られるものです。

■タイトル：喫煙に伴う骨の劣化

■演者：兼平裕也1、植野秀俊1、久保薫2、友田恒一2、木村弘2、木村・須田廣美1(1千歳科学技術大学大学院、2奈良県立医科大学医学部)



軟式野球部が春季大会で 3部リーグ優勝しました

軟式野球部が春季大会にて4試合3勝1敗で3部リーグ優勝し、これにより千歳科学技術大学軟式野球部史上初の2部リーグへの昇格が決まりました。

入試情報

各地で進学相談会・出張講座を 行っています

本学における学びの内容等を高校生に伝えるため、例年各地で開催されている進学相談会に参加しています。2018年4月から7月までの間に、道内外の70を超える会場へ参加し、約800名の来場者に本学の魅力を紹介しました。

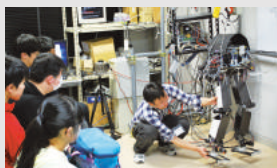
また、大学での学びを知ってもらうために、高等学校等に本学教員が訪問して講義を行う出張講座も実施しています。講座は、「化学分野」「生物分野」「電気・電子分野」「情報分野」の各分野の講義または理工系の大学での学びを紹介する「進学ガイダンス」から希望する内容で実施しており、2018年4月から7月までの間に延べ16回の出張講座を実施しました。



2018年度第1回オープンキャンパスを 開催しました

6月17日(日)、本年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。当日は、近郊、道内各地ならびに道外からもご参加いただき、多くの参加者で賑わいました。

オープンキャンパスでは、学生スタッフが参加者の皆さんを笑顔でお出迎え。フリートークやランチタイムには、皆さんの質問に学生スタッフが本音でお答えし、リラックスした雰囲気での交流を深めました。また、高校3年生等の今年度受験生を対象に、「体験型入試(AO)・推薦入試説明会」が開催され、参加された受験生はそれぞれの入試制度の特徴や、お願までの流れなどの説明に、熱心に耳を傾けていました。その他、研究室見学や模擬講義、アトリウムイベント等が開催され、科学と科技大の魅力を存分に感じて頂けるオープンキャンパスとなりました。



オープンキャンパス
今後の予定

10/7(日)

入試に関するお問い合わせ/入試課
TEL:0123(27)6011 FAX:0123(27)6076
E-MAIL:nyushi@photon.chitose.ac.jp

財務情報

貸借対照表

平成30年3月31日

(資産の部) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,362,527	9,437,737	△ 75,210
有形固定資産	5,631,216	5,676,428	△ 45,212
特定資産	3,725,901	3,758,957	△ 33,056
その他の固定資産	5,410	2,352	3,058
流動資産	1,261,218	1,219,943	41,275
資産の部合計	10,623,745	10,657,680	△ 33,935

(負債の部) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	143,971	131,366	12,605
流動負債	412,595	311,063	101,532
負債の部合計	556,566	442,429	114,137

(純資産の部) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	10,961,427	11,071,600	△ 110,173
第1号基本金	10,847,630	10,957,803	△ 110,173
第4号基本金	113,797	113,797	0
繰越収支差額	△ 894,248	△ 856,349	△ 37,899
純資産の部合計	10,067,179	10,215,251	△ 148,072
負債及び純資産の部合計	10,623,745	10,657,680	△ 33,935

活動区分資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
収入		収入	
学生生徒等納付金収入	1,018,972	退職給与引当特定資産取崩収入	8,895
手数料収入	23,482	研究特定資産取崩収入	4,678
特別寄付金収入	6,475	預り金受入収入	225,127
経常費等補助金収入	208,390	立替金回収収入	24
付随事業収入	63,058	小計	238,724
雑収入	13,269	受取利息・配当金収入	37,392
教育活動資金収入計	1,333,646	過年度修正収入	0
支出		その他の活動資金収入計	276,116
人件費支出	756,686	退職給与引当特定資産繰入支出	21,499
教育研究経費支出	421,110	研究特定資産繰入支出	1,923
管理経費支出	169,326	預り金支払支出	255,356
教育活動資金支出計	1,347,122	立替金支払支出	24
差引	△ 13,476	小計	278,802
調整勘定等	72,141	過年度修正支出	0
教育活動資金収支差額	58,665	その他の活動資金支出計	278,802
施設整備等活動による資金収支		差引	△ 2,686
施設設備寄付金収入	15	調整勘定等	0
施設設備補助金収入	0	その他の活動資金収支差額	△ 2,686
減価償却引当特定資産売却収入	193,152	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	81,868
減価償却引当特定資産取崩収入	298,017	前年度繰越支払資金	1,146,442
施設整備等活動資金収入計	491,184	翌年度繰越支払資金	1,228,310
施設関係支出	6,351		
設備関係支出	98,758		
減価償却引当特定資産繰入支出	452,647		
施設整備等活動資金支出計	557,756		
差引	△ 66,572		
調整勘定等	92,461		
施設整備等活動資金収支差額	25,889		
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	84,554		

事業活動収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

当該会計年度における「事業活動収入」及び「事業活動支出」の均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,039,026	1,018,972	20,054
手数料	12,573	23,482	△ 10,909
寄付金	8,000	6,475	1,525
経常費等補助金	199,660	208,390	△ 8,730
国庫補助金	199,590	208,316	△ 8,726
地方公共団体補助金	70	74	△ 4
付随事業収入	53,746	63,058	△ 9,312
雑収入	7,908	13,269	△ 5,361
教育活動収入計	1,320,913	1,333,646	△ 12,733
事業活動支出の部			
人件費	782,378	769,290	13,088
教育研究経費(内減価償却額)	554,507	555,781	△ 1,274
管理経費(内減価償却額)	188,202	188,774	△ 572
徴収不能額等	15,203	19,448	△ 4,245
徴収不能額等	0	7,752	△ 7,752
教育活動支出計	1,525,087	1,521,597	3,490
教育活動収支差額	△ 204,174	△ 187,951	△ 16,223
教育活動外収入の部			
受取利息・配当金	30,500	37,392	△ 6,892
教育活動外収入計	30,500	37,392	△ 6,892
教育活動外支出の部			
借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	30,500	37,392	△ 6,892
経常収支差額	△ 173,674	△ 150,558	△ 23,115
特別収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	7,147	△ 7,147
特別収入計	0	7,147	△ 7,147
特別支出の部			
資産処分差額	0	4,661	△ 4,661
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	4,661	△ 4,661
特別収支差額	0	2,486	△ 2,486
予備費	(3,161)		11,839
基本金組入前当年度収支差額	△ 185,513	△ 148,072	△ 37,441
基本金組入額合計	△ 23,641	0	△ 23,641
当年度収支差額	△ 209,154	△ 148,072	△ 61,082
前年度繰越収支差額	△ 856,349	△ 856,349	0
基本金取崩額	0	110,173	△ 110,173
翌年度繰越収支差額	△ 1,065,503	△ 894,248	△ 171,255

資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

(収入の部) (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,039,026	1,018,972	20,054
手数料収入	12,573	23,482	△ 10,909
寄付金収入	8,000	6,490	1,510
補助金収入	199,660	208,390	△ 8,730
国庫補助金収入	199,590	208,316	△ 8,726
地方公共団体補助金収入	70	74	△ 4
資産売却収入	0	193,152	△ 193,152
付随事業・収益事業収入	53,746	63,058	△ 9,312
受取利息・配当金収入	30,500	37,392	△ 6,892
雑収入	7,908	13,269	△ 5,361
前受金収入	164,835	257,495	△ 92,660
その他の収入	541,835	589,128	△ 47,293
資金収入調整勘定	△ 196,520	△ 222,526	26,006
当期資金収入合計	1,861,563	2,188,302	△ 326,739
前年度繰越支払資金	1,146,443	1,146,443	
収入の部合計	3,008,006	3,334,745	△ 326,739

(支出の部) (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	764,397	756,686	7,711
教育研究経費支出	419,099	421,110	△ 2,011
管理経費支出	172,999	169,326	3,673
施設関係支出	5,000	6,351	△ 1,351
設備関係支出	115,130	98,758	16,372
資産運用支出	194,786	476,070	△ 281,284
その他の支出	320,385	322,606	△ 2,221
予備費	(5,450)		14,550
資金支出調整勘定	△ 82,911	△ 144,472	61,561
当期資金支出合計	1,923,435	2,106,435	△ 183,000
翌年度繰越支払資金	1,084,571	1,228,310	△ 143,739
支出の部合計	3,008,006	3,334,745	△ 326,739

本学同窓会より課外活動奨励金が贈呈されました

4月25日(水)に千歳科学技術大学同窓会を代表して金野徹会長と田名網孝介副会長が来訪され、課外活動奨励金として4団体に計20万円を授与いただきました。

課外活動奨励金は、部活動の活性化や本学の知名度向上等に寄与している団体の活動を経済的に支援することを主な目的として、今後の活動への期待も込めて贈られました。

奨励金を授与された団体は次のとおりです。

- 理工工房
- ライトアート工房
- 菜園サークル
- YOSAKOIソーラン部



2018年度千歳科学技術大学父母懇談会を開催します

本年度も学修、就職支援などの本学における取り組みや状況について説明させていただくとともに、個別相談などを通じて、本学へのご理解を一層深めていただくことを目的として父母懇談会を開催いたします。

午前は全体説明会や学修・研究成果、または就職支援会社による講演のいずれかを選択していただき、午後からは学修・生活・就職に関する個別相談、内定学生による就職活動体験報告会にご参加いただけます。皆様のご出席をお待ちしております。

なお、父母の皆様には別途、ご案内文書を郵送しております。

- 日時:平成30年10月13日(土)10:00~16:00(※9:00受付開始)
- 場所:本学 本部棟 ■対象:全学年の保護者

父母懇談会に関するお問い合わせ
 学生支援課学生係 TEL:0123-27-6170 FAX:0123-27-6128
 E-MAIL:gakusei@photon.chitose.ac.jp



大学公式!

TwitterとInstagramで
情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。

Twitter, Instagram どちらもIDは@cistkohoで検索ください。

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田(かぎた)ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギース」というユニットを組み、科学の疑問を探索すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram

千歳光科学国際フォーラム(CIF19)の開催について

今回のフォーラムでは、初日は千歳タウンプラザ「まちライブラリー」にて、「新しいまちづくりの発想」をコンセプトに、地域への定住化や新しい産業の振興等について、この分野での著名な有識者による「特別講演」と、市民と講演者による「パネル討論会」を開催し、魅力あるまちづくりとは?という問いに対して市民の皆さんと一緒に考える機会を提供することとしています。また、2日目には、会場を千歳科学技術大学に移し、多様な情報通信技術の研究者を招聘し、最新の情報通信技術ならびにそれを活用した持続的な地域発展・環境保護への適用に関する研究成果を発表していただく予定となっております。初日の特別講演ならびにパネル討論会への参加は無料となっておりますので、是非お越しください。

- 日時:平成30年10月21日(日) 13:00~17:30
10月22日(月) 10:00~17:00

- 会場:10月21日(日) 千歳タウンプラザ 1F
10月22日(月) 本学 B101大講義室

特別講演

- 10月21日(日) 13:10~14:40
「社会と産業のパラダイム変換
~技術・制度・文化が、ビジネスもまち
づくりも変える~(仮)」

NPO法人産学連携推進機構 理事長
妹尾 堅一郎氏



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成30年4月1日から7月31日まで)

石田 稔 今井 敏郎 岩淵 誠 小川 美和 齊藤 良裕
成田 法子 本田 洋子 安田 昭弘 山崎 愛奈 敬称略

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



編集 後記

軟式野球部の皆さん、春季大会3部リーグ優勝!続いて2部リーグへの昇格!おめでとうございます。日頃の練習の賜物ですね。上位リーグでの健闘を祈ります。そして、昆虫研究会も活躍中です。自然豊かな本学で、この春は敷地内に出没するスズメバチの目撃情報が多かったのですが、ハチによる事故防止のために捕獲用のトラップを作るなど、被害が出ないように活動してくれています。彼らの虫の知識にはいつも感心し、心強い限りです。本学には他にも、地域と結びつて様々な活動をしている部・サークルや教員らが大勢います。

次号でも彼らの活動や稜輝祭などをご紹介しますと思います。



Chitose Institute of Science and Technology

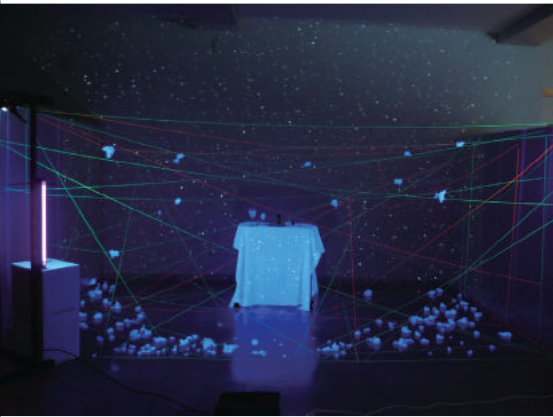
千歳科学技術大学報

Volume

47

平成30年11月30日

第20回稜輝祭(大学祭)を開催しました



10月21日(日)に稜輝祭実行委員会主催による第20回稜輝祭(大学祭)を開催しました。今年は9月に発生した北海道胆振東部地震の影響により開催が危ぶまれましたが、学生の実施したいという熱意と多くの皆様のご協力・ご支援を賜りましたおかげで無事に開催することができました。

今年はお来場いただく皆様に笑顔をお届けしようという想いから「笑門来福」というテーマが掲げられ、屋内では模擬店、YOSAKOIソーラン演舞、理科実験等学生団体のイベントをはじめ、研究室の特別展示の他、屋外催しとして移動動物園の開園があり、お子様やご家族で楽しめる姿が多く見受けられました。

さらに「アシアン」"ものいい"による面白いライブおよび抽選会では多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

稜輝祭の開催にあたり、企画・運営等各方面において多くの皆様にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課
千歳市美々 758 番地 65
TEL.0123-27-6001
ホームページ www.chitose.ac.jp

平成30年度父母懇談会を開催しました

10月13日(土)本学において平成30年度父母懇談会を開催しました。午前10時より開始し、学長挨拶に引き続き「全体説明会」を行い、大学院進学と就職について説明を行いました。その後事前に申し込みをされた「学部教育」「研究成果」「就職セミナー(就職支援会社による講演)」に分かれていただき、それぞれの内容について確認いただきました。特に、株式会社ジェイ・ブロード北海道支社長の前田健郎氏による講演では、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。

午後からは、「学習・生活個別相談」「就職個別相談」「内定学生による就職活動体験報告会」を開催しました。個別相談では参加者の皆様が日頃不安や疑問に思われていることや学業成績、大学生活の様子および就職状況等について、学生一人ひとりの様子を担当教職員が説明いたしました。



CIF19千歳光科学国際フォーラムを開催しました

10月21日(日)～22日(月)に「千歳光科学国際フォーラム(CIF19)」を開催いたしました。1日目は、千歳市街地に立地する千歳タウンプラザにおいて、約90名の市民参加のもと、「Smart Nature City ちとせ」をメインテーマに、豊かな自然環境に恵まれ、国際空港を有する千歳市が今後、持続可能なまちづくりを進めていくために、本学が高等教育機関としてどのような役割や機能等を担うべきか、特別講演、招待講演、さらにはパネルディスカッションを通じ、講師の皆様から貴重なご提言をいただきました。

特別講演では、NPO法人産学連携推進機構理事長の妹尾堅一郎氏から「社会と産業のパラダイム変換 ～技術・制度・文化が、ビジネスもまちづくりも変える～」というテーマでお話いただきました。

また、招待講演では、株式会社野村総合研究所上級コンサルタントの小林庸至氏、森記念財団普及啓発部長 まちライブラリー提唱者の磯井純充氏および山口幸太郎千歳市長からそれぞれのお立場で大変興味深いお話をいただきました。

2日目は、会場を大学に移し、最新の研究開発の発表やポスターセッションが行われ、たくさんの学生が参加しました。



理工工房がファイターズ科学実験教室に参加しました

理工工房が、8月7日(火)～8月9日(木)の東北楽天ゴールデンイーグルス戦と8月14日(火)～8月16日(木)の千葉ロッテマリーンズ戦の6日間で、北海道日本ハムファイターズ誕生15thプロジェクトとして行う「ファイターズ科学実験教室」に参加しました。北海道内各地で多くの科学体験イベントや実験教室の開催実績を持つ理工工房の学生が行う実験教室は、来場した夏休み中の子どもたちも夢中で楽しむ姿がみられ、期間中に3,000人を超す皆さまにお越しいただきました。

■日時:8月7日(火)～8月9日(木)

東北楽天ゴールデンイーグルス戦

8月14日(火)～8月16日(木)

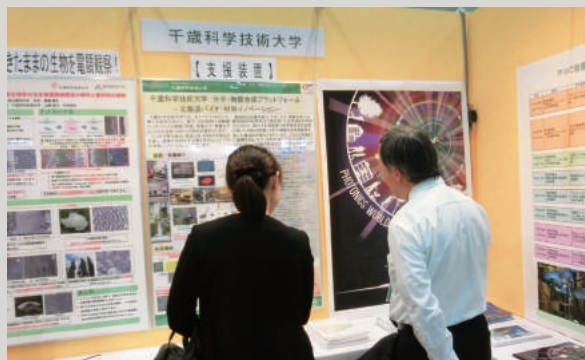
千葉ロッテマリーンズ戦

■場所:札幌ドーム 三塁側1階コンコース



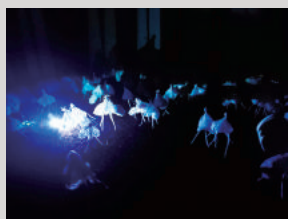
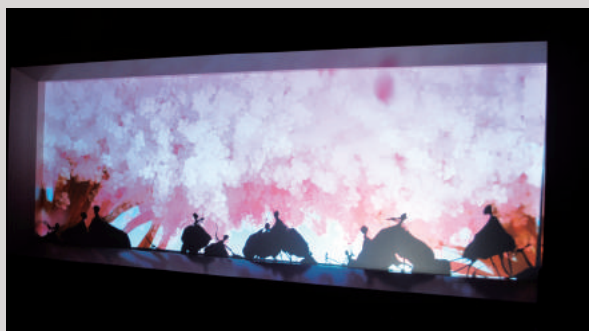
ビジネスEXPOに出展しました

11月8日(木)～9日(金)アクセス札幌(札幌市)において開催された北海道最大級のビジネスイベント「第32回北海道技術・ビジネス交流会」(通称ビジネスEXPO)に出展しました。本学からは文部科学省の採択事業である「ナノテクノロジープラットフォーム事業」について出展し、本学にて利用可能な機器の紹介や産学官の研究者に対して行っている総合的な支援等について活用事例の紹介を交えながら説明しました。今年度は357の企業・団体が出展し、2日間の来場者数は過去最大の21,200名でした。



ライトアート工房が苫小牧市美術博物館にて 特別展示会を開催しました

7月27日(金)から8月19日(日)の期間、苫小牧市美術博物館にてアート作品の展示を行いました。「艾沢祥子×千歳科学技術大学ライトアート工房 Paper Trail イメージの回廊へ」と題して、紙とロウを素材に制作活動を展開する美術家・艾沢祥子さんとのコラボレーションによる作品を、常設展示室やマルチビジョン室など館内各所に展示を行いました。常設展示に組み込まれた艾沢氏による無数のオブジェとライトアート工房による光技術を応用したメディア・アートとの融合がなされ、来館した多くの方々にお楽しみいただきました。



夢ナビライブ2018仙台会場に 参加しました

10月6日(土)夢メッセみやぎで開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2018」に参加しました。「夢ナビライブ」は、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を担当者に直接質問したり、大学について説明を受けることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまたとないチャンスイベントです。

当日は8,836名の来場者がありました。本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井賢一准教授の2名の先生が講義を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受けたり、質問する姿が見られました。



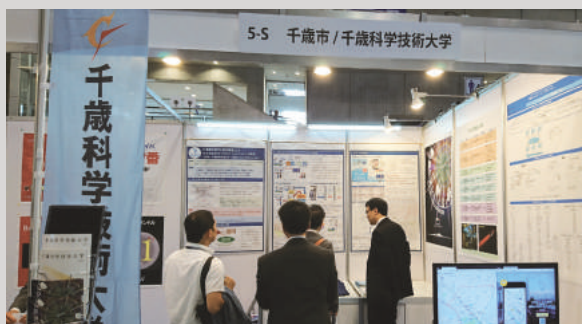
沖縄美ら海水族館 夏休み特別企画 「サメ肌 のふしぎ」へ協力しました

8月1日(水)～9月2日(日)沖縄美ら海水族館にて開催された夏の特別展示で、本学の理工学部応用化学生物学科 下村政嗣教授と平井悠司専任講師、研究室の学生達が展示用模型やパネル作成のお手伝いをしました。美ら海水族館や国立科学博物館から提供された実際のサメ肌を島津製作所のマイクロフォーカスX線CTシステムで解析して3Dデータを取得、研究室の3Dプリンタで拡大印刷して展示用模型を作りました。作成したパネルや3D模型は常設展示でも見ることができますので、美ら海水族館に行かれた際はぜひご覧ください。



インターオプト2018に出展しました

10月17日(水)～19日(金)、幕張メッセ(千葉県)において開催されたインターオプト2018に非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアムと合同で出展しました。インターオプトは次世代アプリケーション・デバイスを目指した光学技術、製品開発の総合展示会です。本学の展示ブースでは、情報システム工学科 山川 広人専任講師が「北海道千歳市を実証環境とした地方自治体向けパスロケーションシステムの開発」について展示しました。産学官連携体制で開発・運用している本システムに多くの方が興味を持ち、熱心に説明を聞く姿が見られました。

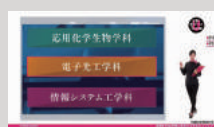


大学案内1分動画・テレビCMを 作成しました

2019年度版大学案内の内容を1分にまとめ、本学の学びについて紹介しています。

また、11月23日(金)～29日(木)の期間、テレビCMを放映しました。今回のCMは、来年の4月に公立大学法人化(設立認可申請中)する本学を離陸する飛行機になぞらえて制作したものです。動画は、本学HPまたは YouTube にてご覧いただけます。

YouTube 動画は
こちらから



オープンサイエンス・パーク千歳 「パッケージング、資源回収、マイクロ プラスチックから考える循環型経済」 を開催しました

11月2日(金)、まちライブラリー(千歳タウンプラザ)にてオープンサイエンス・パーク千歳「パッケージング、資源回収、マイクロプラスチックから考える循環型経済」を開催しました。基調講演に日本製紙株式会社 内村元一氏を迎え、「持続可能な包装材料」についてお話をいただきました。実際に最新のパッケージを手にとって見ていただくなど、ただ聞くだけでなく、触れていただくことで、より理解を深めていただきました。

話題提供では株式会社トッパンパッケージプロダクツ 笹本勉氏による「食品パッケージングの現状」、株式会社とませい 渡辺秀敏氏による「資源回収再生の現状」、千歳市環境センター廃棄物対策課 山本一俊氏による「千歳市におけるプラスチック回収」をお話いただき、技術動向紹介では本学の応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授による「マイクロプラスチックの分析」、谷尾宣久教授による「セルロースナノファイバー」、元北海道大学教授 辻井薫氏による「撥水化技術と紙の高機能化」をお話いただきました。

次回以降は、2019年1月25日(金)「着氷雪防止とインフラ整備」、2月8日(金)「インバウンドと国土強靱化」を開催予定です。オープンサイエンス・パーク千歳はどなたでもご参加いただけます。詳細については <https://snc.chitose.ac.jp/c/all/event> をご確認ください。



千歳市9館合同児童館まつりに 理科工房が参加しました

8月25日(土)、千歳市9館合同児童館まつりが北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)で開催され、本学の理科工房が出展しました。この行事は千歳市内の児童館や学童クラブのほか、各団体が出展し、子どもたちが遊びを通じて異なる年齢のこどもや地域の方々とは交流し、地域の担い手となるきっかけづくりなどを目的に開催されています。理科工房のブースにもたくさんのお子どもたちが詰めかけ、出展した「イライラ棒」には長い列ができていました。



第2回光テクノロジー応用懇談会において 平井先生が講演しました

11月27日(火)、千歳アルカディア・プラザにおいて本学と非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が共催する「第2回光テクノロジー応用懇談会」が開催されました。今回は応用科学生物学科 平井悠司専任講師が「表面微細加工による加硫ゴムの機能化と電子顕微鏡による生モノ観察」というテーマで講演しました。当日は市内内外から27名の方が集まり、バイオメテックス技術(自然界の機能性表面)や電子顕微鏡などについて熱心に質問していました。



千歳高星大学の皆さんが来学しました

10月2日(火)、千歳高星大学の皆さんが来学しました。千歳高星大学とは、千歳市教育委員会生涯学習課が開講している2年間の講座で、千歳市内在住の60歳以上の方が参加しています。今回は35名の皆さんが「地域探訪」の一環で来学くださり、本部棟の施設を見学したあと、本学の電子光工学科 長谷川誠教授より、大学の概要説明と装置を使った実験授業を受けました。皆さん小さな部品と格闘しながらも、楽しく授業を受けてくださり、たくさんの質問をされていました。授業のあとは学生食堂での食事。学生用にボリュームも多いのですが、おいしそうにたくさん召し上がっていました。「学ぶ楽しさを知りました」「少し難しかったですが、LEDについて少し理解できました」「科技大からたくさんの方の科学者が出てほしい」などの感想をお寄せくださり、たいへん喜んでいただけたようでした。



高大連携研究会を開催しました

11月24日(土)、2018年度高大連携研究会を開催し、本学の連携校のうち35校から39名の教員の皆様に参加しました。第1部は、2020年度から大きく変わる本学の入試制度について、山中明生理工学部長兼入試センター長より説明を行いました。第2部では、高大連携事業について、今年度の報告および今後の見通し等についての説明を行った後、本学のeラーニングシステムの最新の開発状況について、実際にコンピュータで体験していただきながら説明しました。また班別討議では、各校でのeラーニングシステムの活用事例や抱えている問題点、高大連携事業への要望など、活発な意見交換がなされました。



市立札幌開成中等教育学校 プレ先端科学特論を本学で実施しました

10月13日(土)、14日(日)の2日間にわたり、市立札幌開成中等教育学校のコスモサイエンス科3年生(中学3年相当)と4年生(高校1年相当)の計60名が本学に来学し、同校設定科目の「プレ先端科学特論」の一環として、大学の授業を体験しました。同校は文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けており、「プレ先端科学特論」は、大学や研究機関の研究者による講演等を通して、先端科学技術に興味・関心をもち、科学的教養を身につけることを目的として設定されている科目です。当日は、物理系テーマ「光の波動性を探る」と化学系テーマ「光変色反応」について実験授業を受けました。どの生徒も熱心に、楽しく実験に取り組んでおり、積極的に質問していました。



研究・学生活動

花いっぱいコンクールで優秀賞を受賞しました

研究・実験棟ロータリー内の花壇が、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第31回(平成30年度)花いっぱいコンクール」で花壇部門中学校等の部において、「優秀賞」を受賞しました。3年連続の最優秀賞はおしくも逃しましたが、受賞は4年連続となります。この花壇は、菜園サークルの学生らが主体となり教職員と協力して植え付けや装飾、管理をしたものです。

表彰式は8月31日(金)、千歳市総合福祉センターにて執り行われました。

コンクールに参加された207団体のうち、最優秀賞を8団体、優秀賞は20団体が受賞したものです。



PCカンファレンス北海道2018で 賞を受賞しました

学生の伊藤優さん(理工学部情報システム工学科3年 曾我研究室所属)が、11月3日(土)、4日(日)に開催された「PCカンファレンス北海道2018」において、学生プレゼンテーションスキル賞優秀賞を受賞しました。

この賞は、分科会において行われた学生発表の中から、優れたプレゼンテーション技能を持つことが認められた者に送られるものです。

- 発表テーマ:「小学校のプログラミング教育必修化における教育の手法に関する報告」
- 発表者:伊藤 優



新しく赴任された先生から メッセージをいただきました

2018年8月より千歳科学技術大学の一員となりました山下文です。7月までは台湾の私立大学で教鞭をとっていました。冬でも10度をめったに下回らない南国から参りましたので、北海道の長く寒い冬を乗り越えられるだろうかと戦々兢兢としていました。

私の研究上の専門分野は日本古典文学ですが、外国人に対する日本語教育や日本人学生のコミュニケーション能力向上を目指した教育を行ってきました。今後は学生の皆さんの日本語を磨き上げるという任を果たすため、「日本語」に関わる科目を担当することになります。日本語は多くの日本人の母語に当たり、私たちは脳内に渦巻く日本語によって絶えず考え、判断を下しています。母語である日本語の能力を鍛えることは思考の質を高めることにもつながります。学生の皆さんには日本語を自家薬籠中のものとして操り、未来を切り拓いてほしいと思っています。

よろしくお願いいたします。



共通教育担当
専任講師 山下 文

KJF-ICOMEF2018において Materials Chemistry Frontiers ポスター賞を受賞しました

大学院生の兼平裕也さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 木村研究室所属)が9月4日(火)から7日(金)長良川国際会議場で開催された「KJF-ICOMEF2018」においてMaterials Chemistry Frontiersポスター賞(Royal Society of Chemistry)を受賞しました。この賞はポスター件数192件の内の、3名が表彰されたものです。

- タイトル: Stability of calcified bone sections prepared by the newly developed frozen sectioning procedure (新規凍結切片法により作製した非脱灰骨薄切標本の安定性)
- 演 者: 兼平裕也, 伊藤哲平,
木村・須田 廣美
(千歳科学技術大学大学院)

KJF-ICOMEF2018 (2018 KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics)は、日本と韓国が共同で主催する有機エレクトロニクスと有機フォトンクスに関する国際学会です。KJF 開始当初(1989年)は20名程度の研究者が集う小さな会議でしたが、現在では常に200名以上が集まる国際会議です。



弓道部がⅣ部リーグで男子団体優勝し、 Ⅲ部へ昇格しました

10月13日(土)~14日(日)北海きたえーるにて行われた第64回全道学生弓道争覇戦において、男子Ⅳ部団体が優勝しました。次いで10月28日(日)に行われたⅢ部Ⅳ部入替戦にて2位の成績を収め、Ⅲ部への昇格が決まりました。「この大会では6人で戦うべきところを本学は4人で戦わなければならず不利な状況でしたが、部員全員、特に1、2年生が力を発揮してくれました。」と弓道部長よりコメントがありました。



「インターンシップ成果報告会」を開催しました

インターンシップ成果報告会を、10月9日(火)、16日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果報告会は、学生が夏休み中に参加したインターンシップでの学びをまとめ、報告する場として例年開催しております。平成30年度は、66事業所に121名(参加率67.2%)の学生が参加しました。

この報告会には、受入事業所のご担当者様にもご参加いただいております。今年度は、両日あわせて39の受入事業所より64名の皆様がお越しくださいました。報告会では、企業の皆様を中心に、多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学修を深めることができました。

なお、報告会実施にあたっては、本学の4年生がティーチングアシスタントとして、3年生の発表資料の作成や練習を1ヶ月以上にわたりサポートし、また、報告会当日は各教室での司会進行も担当しました。

また両日も、第二部として、参加事業所の皆様にご協力いただき、学生との「意見交換会」を本学 学生ホールにて実施しました。ここでは、学生が実際にインターンシップを行った事業所だけでなく、他の事業所の皆様とも忌憚なく対話をする中で、これから本格化する就職活動や社会人としてのあり方などについて、参加された事業所の皆様から貴重なお話をいただくことができました。また、学生も積極的に質問するなど、大変有意義な時間となりました。なお、意見交換会の開催にあたっては、本学同窓会のご協力をいただきました。



成果報告会の様子



意見交換会の様子

■2018年度 インターンシップ受入れ先一覧

株式会社ID、株式会社I-TECソリューションズ、Vineyard Works株式会社、株式会社上田商会 千歳工場、株式会社エイチ・エル・シー、NPO法人 ezorock、株式会社NTT東日本-北海道、株式会社エフイーエス、株式会社エルス、株式会社カミノ、株式会社協和エクシオ 北海道支店、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、クオリサイトテクノロジー株式会社 北海道開発センター、クローバー電子工業株式会社、株式会社札幌ネクシス、株式会社GSI、株式会社ジャパンテックニカルソフトウェア、株式会社積水化成品北海道、株式会社ダイナックス、株式会社ダイヘン 千歳工場、千歳印刷株式会社、千歳市 観光スポーツ部交流推進課、千歳市 こども福祉部 子育て総合支援センター、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市 電気設備課、千歳市立青葉中学校、千歳市立向陽台小学校、千歳市立高台小学校、千歳市立千歳小学校、千歳市立図書館、千歳市立北斗中学校、千歳市立勇舞中学校、中央コンピューターサービス、株式会社つうけん、東芝ホクト電子株式会社、東洋熱工業株式会社札幌支店、ナラサキスタックス株式会社、日本アイビーエム・ソリューション・サービス株式会社、函館エヌ・デー・ケー株式会社、株式会社ブリッジ、北海道ガス株式会社 千歳支店、株式会社北海道産直センター、北海道中央葡萄酒株式会社、北海道日興電気通信株式会社、北海道立正学園 旭川実業高等学校、社会福祉法人北海道リハビリ、美和電気工業株式会社 札幌支店、株式会社もりもと、株式会社モロオ、大井電気株式会社 水沢製作所、アイコムシステック株式会社、株式会社インサイトテクノロジー、NECマグナスコミュニケーションズ株式会社、株式会社エム・ソフト、株式会社 湘南光学工業所、株式会社ゼネット、株式会社ソフテム、株式会社東和コンピュータマネジメント、日興電気通信株式会社、日本アルゴリズム株式会社、株式会社ハイマックス、富士インフォックス・ネット株式会社、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、ヘルソ株式会社 (事業所名順/敬称略)

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で実施しました。10月31日(水)に東京ガーデンパレス(189社249名参加)および11月13日(火)に札幌ガーデンパレス(132社177名参加)にて開催しました。

第1部の大学紹介では、本学の様々な取り組みや就職状況等について説明を行いました。また、札幌会場ではインターンシップ参加学生による成果報告会も行いました。第2部の情報交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。今年度も両会場とも多数の企業様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

当日のプログラムは下記のとおりです。

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
 - ・大学紹介(学部長 山中 明生)
 - ・就職状況について(キャリアセンター長 吉本 直人)
 - ・(札幌会場のみ)インターンシップ参加学生による成果発表
 - ・キャリアセンター教員紹介 ・教職員紹介

【第2部】 ●名刺交換会 ●個別相談会



若年求職者向け就職支援セミナーを開催しました

昨年度に引き続き「若年求職者向け就職セミナー」を本学で開催しました。この事業は千歳市および千歳工業クラブ(第2回のみ)と共催で実施しております。

第1回は、10月24日(水)に北海道テレビ放送株式会社(HTB)アナウンサーの石沢綾子さんを講師にお招きし、「ローカルっておもしろい!!」と題して、ご自身の就職活動時やアナウンサー生活を通して体験されたエピソードを元に、「働くことの意義やローカルならではの体験できる魅力」についてご講演いただきました。参加者からは「仕事を頑張る意味とやりがいは自分よりも他者を尊重することが重要であることが分かった」、「地域に密着する仕事についての関心が高まった」、「仕事をしている自分をイメージしやすくなった」、「就職活動に対して積極的になろうという意識を強く持った」など、前向きな感想が寄せられました。

また、第2回は、11月21日(水)にキリンビール株式会社北海道千歳工場 総務広報担当部長の辻井一郎さんを講師にお招きし、「自ら切り拓く自分の未来」と題して、CSV活動の紹介やご自身が働くうえで心がけていることを元に、働くことの意義についてご講演いただきました。参加者からは「自分で決め、切り開くことがどの状況でも大事であると感じた」、「就職活動をする上で企業方針などもしっかり視野に入れて考えていきたいと考えさせられました」、「固定概念と新しい考え方というものを考える良い機会になったと感じる」、「企業は営利をただ追求するだけでなく社会にも貢献することでよりよい社会が形成されていくことが再認識できた」という感想が寄せられました。



第1回
石沢綾子さん



第2回
辻井一郎さん

入試情報

公立大学移行後の入試制度について 説明会を開催しました

2019年4月に公立大学法人(設立認可申請中)へ移行した場合の入試制度について、高等学校教員等を対象とし、本学、札幌、北見、旭川、函館、帯広、釧路の道内7会場で入試説明会を開催しました。説明会では、山中明生理工学部長兼入試センター長より、2020年度の入試制度概要を中心に、募集区分、募集人員、選抜方法等について説明した他、公立大学法人化に向けた現況報告等も行いました。

参加された高校教員からは、入試制度について理解する機会となり有意義であったとの感想や、公立化後の本学への期待の声も多く寄せられました。



オープンキャンパスへのご参加 ありがとうございました

平成30年度のオープンキャンパスは6月17日(日)の第1回を皮切りに、10月まで計4回開催され、延べ945名の高校生や保護者の方々にご参加いただきました。オープンキャンパスでは、模擬講義や研究室見学、在学生とのフリートーク、アトリウムイベント等、様々なプログラムと、明るく元気な学生スタッフが、皆さんをおもてなしいたしました。次年度の開催日程につきましては、決定次第ホームページ等でご案内させていただきます。



■平成31年度入試概要

入試タイプ		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	試験会場	募集人員
一般学力入試	I期	1月8日(火)～ 1月23日(水)	2月4日(月)	2月15日(金)	第一次:2月22日(金) 第二次:3月1日(金)	千歳・旭川・ 釧路・函館・ 盛岡	65
	II期	2月5日(火)～ 2月19日(火)	2月25日(月)	3月8日(金)	第一次 } 3月15日(金) 第二次 }	本学	20
	III期	2月26日(火)～ 3月12日(火)	学力試験:3月18日(月) 面接:3月18日(月)または 3月19日(火)	3月25日(月)	第一次 } 3月28日(木) 第二次 }	本学	5
大学入試 センター試験 利用入試	I期	1月8日(火)～ 1月23日(水)	-	2月15日(金)	第一次:2月22日(金) 第二次:3月1日(金)	-	30
	II期	2月5日(火)～ 2月19日(火)	-	3月8日(金)	第一次 } 3月15日(金) 第二次 }	-	10
	III期	2月26日(火)～ 3月12日(火)	-	3月25日(月)	第一次 } 3月28日(木) 第二次 }	-	5

インターネット 出願について



平成31年度入試から一般学力入試と大学入試センター試験利用入試の出願は、すべて「インターネット出願」で受け付けています。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

公立化への取組みについて

10月16日(火)千歳市議会第3回定例会におきまして、公立大学法人の定款等の議案が可決されました。10月24日(水)に文部科学省へ「千歳科学技術大学設置者変更認可申請書」及び「千歳科学技術大学解散認可申請書」を提出しました。

11月2日(金)に開催された「第7回千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会(※)」に川瀬正明学長、渡邊信幸専務理事、理工学部 山中明生学部長が参考人として出席しました。同委員会では、公立大学法人化に係る①2020年度入試制度、②公立化後の大学教育の内容について本学から説明し、質疑が行われました。

11月13日(火)千歳市は、来年4月公立大学の運営主体となる公立大学法人の設置認可申請書(「公立大学法人公立千歳科学技術大学設立認可申請書」)を北海道に提出しました。

詳細については、本学HP(<https://www.chitose.ac.jp>)、千歳市HP(<https://www.city.chitose.lg.jp/docs/6576.html>)をご覧ください。



11月2日第7回調査特別委員会

(※)「千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会」は、千歳科学技術大学の公立大学法人化への移行に関し、諸課題等について調査を行うため2018年3月に千歳市議会が設置したものです。

【訃報】本学教授 王建康先生が逝去されました

千歳科学技術大学理工学部電子光工学科教授 王建康先生(64歳)が、11月29日逝去されました。

王先生は、昭和57年に中国復旦大学外国言語語文学部日本言語文学学科卒業。

平成11年4月、光科学部物質光科学科助教授に着任。平成21年4月、総合光科学部光システム学科教授、平成26年4月、図書館長を歴任され長年に渡って本学にご尽力いただきました。



王建康先生

生前の数々のご功績を偲び、ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄付いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略、50音順)公表を希望されない寄付者様につきましては、「外匿名希望〇名」という形で掲載させていただきました。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(平成30年8月1日から11月30日まで)
阿部 安希子 今井 敏郎 齊藤 良裕 峠 秀一
森戸 和美 山田 範保 株式会社カミノ
ほか匿名希望の方8名 敬称略

株式会社カミノ様よりご寄付(奨学資金)をいただきました

11月14日(水)に株式会社カミノ様(神野幹士社長)より奨学資金としてご寄付をいただきました。株式会社カミノ様は、千歳市の地元企業として千歳周辺地域を中心に事務用機器販売を主に行うとともに、本学の売店運営を行っております。

ご厚意をいただきまして誠にありがとうございました。本学の学生の就学支援に有効に活用させていただきます。



本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!



TwitterとInstagramで情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。Twitter、InstagramどちらもIDは@cistkohoで検索ください。



Twitter



Instagram

編集後記

この度の北海道胆振東部地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご家族と関係者の方々に心よりお悔やみを申し上げます。また地震により甚大な被害を受けられ、不自由な生活を余儀なくされている皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。本学の稜輝祭も影響を受けましたが、実行委員会をはじめとし、学生・教職員や皆様のご支援、ご協力により、10月に無事開催する事ができました。稜輝祭を盛り上げていただいた来場者の皆様、本当にありがとうございました。



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

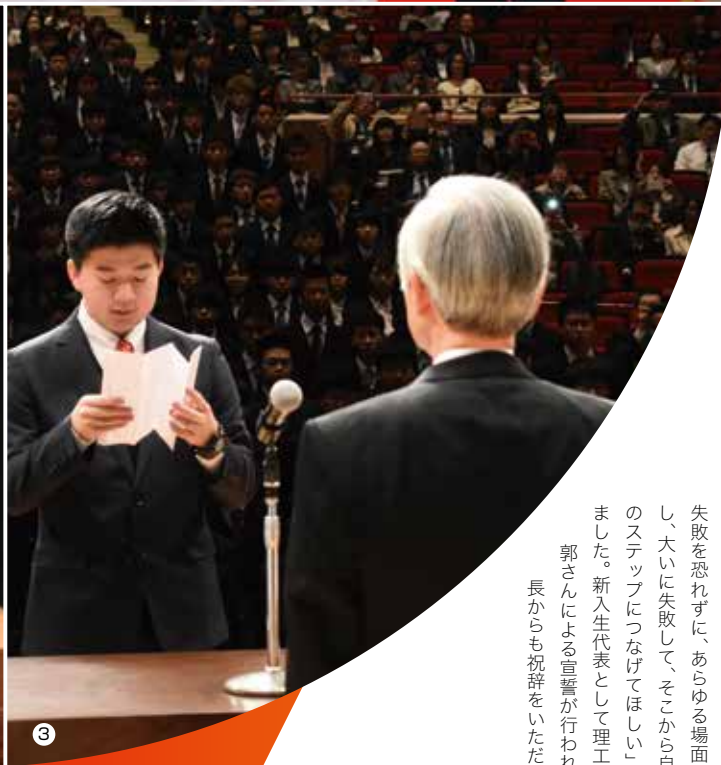
Volume

48

平成31年4月30日



開学式・平成31年度入学式を挙りました



4月1日(月)に公立大学法人公立千歳科学技術大学開学式が挙行されました。

開学式では、川瀬理事長・学長と渡邊副理事長により「大学の理念」が掲げられました。

また、4月5日(金)、北ガス文化ホールにて入学式を挙行しました。

公立大学法人化後、最初の入学式となる今年度は、学部生251名、編入生3名、大学院生16名の計270名が、大学生活をスタートさせました。

川瀬正明理事長・学長は式辞の中で、「大学では、失敗を恐れずに、あらゆる場面で大いにチャレンジし、大いに失敗して、そこから自らを肯定できる、次のステップにつなげてほしい」と激励の言葉を送りました。新入生代表として理工学部1年生の坂口倫郭さんによる宣誓が行われ、山口幸太郎千歳市長からも祝辞をいただきました。

- ① 右:川瀬正明 理事長・学長 左:渡邊信幸 副理事長
- ② 山口幸太郎 千歳市長
- ③ 坂口倫郭さん



公立千歳科学技術大学 テイクオフ！

公立大学法人
公立千歳科学技術大学 理事長・学長

川瀬 正明

本年4月1日、公立千歳科学技術大学がテイクオフしました。

昨年まで、何度か公立化のうごきをこの紙面でお伝えてきましたが、関係各位のご支援と大学関係者の熱意・努力で計画通りに発足できたことは大きな喜びです。

本学の前身である千歳科学技術大学は平成10年4月に千歳市を母体とする公設民営の大学として設立、時代の最先端技術として光サイエンスを特徴とした光科学部2学科の構成で発足しました。その後の社会環境の変化や科学技術の進展とともに対象とするフィールドを徐々に広げ、平成27年に現在の理工学部が発足、応用化学生物学科、電子光工学科、情報システム工学科の体制となっています。

この20年あまりの間に、大学を取り巻く環境は大きく変化し、思い切った大学改革が必要との判断にもとづいて、平成28年12月に「公立大学法人化の検討」に関する要望書を千歳市に提出し、有識者会議における検討を経て平成29年10月には市長から公立大学法人設立を是とする表明がなされました。さらに千歳市議会調査特別委員会による調査検討と評価委員会の設置を経て、公立大学法人設立と公立千歳科学技術大学の開学に至っています。その効果は絶大で、今春の入試における出願者数は過去最大の2,621人に上りました。

大学はこの春で開学21年を迎えましたが、公立化にあたって、建学時の精神を引き継ぎつつ、新たに大学の理念を定めました。その骨子は「理工学分野をはじめとする幅広い教育と研究を通して、高い知性とすぐれた人格を有する人材の育成」と「地域との共生を通して、社会とともに発展する大学」です。具体的な施策として、大学が有する科学技術と人材を活用することで、豊かな自然環境と共生しつつ産業・経済の発展を促し、持続可能なまちづくりへの取り組み「スマートネイチャーシティちとせ構想」を提案し、その推進と「知の拠点」、「人材の拠点」、「地域・社会貢献の拠点」となることを目指しています。

また、本学のどの分野で学んでも、数理情報系に強い、これからの社会で必要とされ、活躍できる人材の育成に注力することを教育改革の基本にしています。

大学は公立化というステップを無事に離陸し、今後はさらに魅力あふれる大学の実現に向けて教職員一体となって大学改革を推進し、地域社会はもとより、広く国際社会の発展に寄与する体制構築を進めて参りますので、一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成30年度学位記授与式を挙行了しました

3月16日(土)、本学講堂において平成30年度千歳科学技術大学・大学院学位記授与式が挙行されました。式は、多数のご来賓・保護者が臨席され、午後1時から始まりました。

開式の辞の後、学部卒業生、大学院修了生一人ひとりに川瀬正明学長より学位記が授与されました。その後、学長式辞、理事長祝辞があり、また、ご来賓を代表して山口幸太郎千歳市長よりお祝いの言葉をいただきました。

続いて、卒業生・修了生を代表して、光システム学科島津志帆さんが答辞を述べました。最後に全員による校歌斉唱が行われ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれの新たな道を踏み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。



トピックス

nano tech2019に 出展しました

1月30日(水)～2月1日(金)に東京ビッグサイトにおいて開催された、世界最大級のナノテクノロジーの展示会「nano tech2019 第18回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」に、非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアムと合同で出展しました。本学からは、文部科学省の採択事業である「ナノテクノロジープラットフォーム事業」について出展し、本学にて利用可能な機器の紹介や産学官の研究者に対して行っている支援等について、活用事例を交えながら利用促進のPRを行いました。また今回は、本事業の利用者である株式会社オプトライン様のご協力により、製品などを展示いただきました。全体の来場者数は3日間合計で43,622名となり、本学のブースへも多くの方がお立ち寄りくださいました。



第20回佐々木記念賞を授与しました

3月16日(土)に挙行了した学位記授与式において、「佐々木記念賞」の授与が行われ、下記の大学院生2名と学部生6名に表彰状と副賞が贈呈されました。

- 大学院光科学研究科博士前期課程
徳光聖茄さん 粟津千尋さん
- 理工学部応用化学生物学科 前多佑哉さん 大滝晋平さん
- 総合光科学部光システム学科 島津志帆さん
- 理工学部電子光工学科 奈良圭将さん
- 理工学部グローバルシステムデザイン学科
上田真知香さん 成田弥矢さん

佐々木記念賞について

本学の開学に尽力した初代学長・佐々木敬久教授(1936～1998)の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生に対し、授与します。

学生が電子情報通信学会北海道支部の 学生奨励賞を受賞しました

大学院生の徳光聖茄さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 長谷川研究室所属)が、一般社団法人電子情報通信学会北海道支部学生奨励賞を受賞しました。

この賞は電子情報通信学会会員が所属する道内の大学、高専等を当該年度に卒業又は修了する学生のうち、電子情報通信学会に関連した優れた業績をあげて、電子工学及び情報通信に関する学術又は関連事業に関して今後の活躍が期待できる優秀な学生を表彰する目的で贈られるものです。

3月16日(土)の学位記授与式において、川瀬学長より表彰状が授与されました。

北海道学生ビジネスアイデア 「プレゼンテーション」に参加しました

12月6日(木)、札幌市内のホテルにおいて第1回道内大学生による「ものづくり製品化&起業化支援事業」学生ビジネスアイデア「プレゼンテーション」が行われ、本学から学部生の岡本凌さんと村井康紀さん(理工学部情報システム工学科3年)が参加しました。プレゼンでは献血カードの情報をスマートフォンに取り込み、献血者の利便性を高めるアプリについて発表しました。

当日は本学以外に北海道大学、室蘭工業大学、北海道科学大学及び酪農学園大学の学生の発表があり、参加した55企業の方々、学生の製品化アイデア、起業アイデアについて興味深く耳を傾けていました。



SORAこそだてフェスティバル 2018に参加しました

12月15日(土)、札幌コンベンションセンターにおいて、「SORAこそだてフェスティバル2018」が開催され、本学から理工工房が参加しました。「身の回りにある不思議を体験しよう!」をテーマに、来場した乳幼児から高齢の方まで幅広い年齢層の方々に、様々な科学体験を楽しんでいただきました。このイベントは、次代を担う子供たちとその家族を応援していくイベントで、毎年大勢の来場者が訪れています。



学生表彰を授与しました

学部生の高橋勝輝さん(理工学部グローバルシステムデザイン学科4年)が、学生表彰を受賞しました。

学生表彰とは、在学期間中に正課外の活動において顕著な成果をおさめた個人又は団体を表彰する制度であり、本学が主催する国際会議(CIF)を円滑に運営するためのアプリケーションを開発し、国際会議の運営に貢献しました。

3月16日(土)の学位記授与式において、川瀬学長より表彰状が授与されました。

学生が精密工学会北海道支部の 学生奨励賞を受賞しました

大学院生の木村昂太郎さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 青木研究室所属)が、公益社団法人精密工学会北海道支部学生奨励賞を受賞しました。

この賞は精密工学会会員が所属する道内の大学等の学業成績優秀な学生に対し、その学修成果と精進を讃える目的で贈られるものです。

3月16日(土)の学位記授与式において、川瀬学長より表彰状が授与されました。

「オープンサイエンスパーク千歳」を開催しました

SNCちとせ事業の一環として、1月と2月に、「持続可能なパッケージングからインバウンド、国土強靱化まで」をテーマに、「オープンサイエンスパーク千歳」をサケのふるさと千歳水族館で開催しました。

■開催概要

日 時	2019年1月25日(金)17:00~20:00
サブテーマ	着氷雪防止とインフラ整備
参加者数	40名
基調講演	北海道中小企業総合支援センター 吉田光則氏 「北海道の着氷雪について」
話題提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ANA新千歳空港(株) 熊谷光博氏 「航空インフラにおける着氷雪」 ■北ガスジェネックス(株) 岩田徹氏 「ガスインフラにおける着氷雪」 ■(国研)土木研究所 寒地土木研究所 櫻井俊光氏 「道路インフラにおける着氷雪」
技術動向紹介	<ul style="list-style-type: none"> ■AGC(株) 齋藤俊氏 「撥水材料の開発」 ■(株)日立製作所 宮崎真理子氏 「生物模倣を利用した防汚材料の開発」 ■千歳科学技術大学 平井悠司講師 「太陽光パネルの着氷雪」
課題抽出とシーズニーズマッチングの議論	モデレータ 下村政嗣教授(千歳科学技術大学)

日 時	2019年2月8日(金)17:00~20:00
サブテーマ	インバウンドと国土強靱化
参加者数	35名
基調講演	筑波大学 谷口守教授 「生物に学ぶ都市設計」
話題提供	<ul style="list-style-type: none"> ■(一社)北海道開発技術センター 藤井美智子氏 「シーニックバイウェイ」 ■(有)ペリーファーム 加藤寛志氏 「観光農園の課題」 ■休暇村支笏湖 川崎孝利氏 「自然資源と観光」
技術動向紹介	<ul style="list-style-type: none"> ■千歳科学技術大学 小林大二准教授 「カスタマーズジャーニー」 ■千歳科学技術大学 曾我聡起教授 「学生によるICTを活用した観光に関する調査と分析の紹介 ーサービスサイエンス的思考のススメ」 ■千歳市総務部危機管理課 古島知明氏 「千歳市の防災と観光」
課題抽出とシーズニーズマッチングの議論	モデレータ 下村政嗣教授(千歳科学技術大学)

2018年度第4回公開講座を 開催しました

第4回目の公開講座を2月9日(土)に開催しました。今回は、応用化学生物学科の谷尾宣久教授により、「今こそ知りたい! 透明な"ポリマー"~次世代光技術材料、食品包装材料、そして透明な紙~」と題し、ガラスから透明ポリマー(プラスチック)への時代推移、身近なポリマーについての解説、天然素材による透明材料の可能性、透明な紙の作り方など、学生による実験や研究室で撮影した動画を交えながら詳しく解説いたしました。当日は、19名の方々の参加があり、たくさんの方が質問され理解を深められていました。また、参加者の方からは、「実験を交えた講義で大変分かりやすく、楽しく聞くことができました」「ポリマーが様々な分野で活用されており、今後さらに広がっていくものであると実感しました」などの感想をいただきました。

第4回公開講座内容

- 日 程: 2月9日(土)14:30~16:30
- 場 所: 北ガス文化ホール 3階 視聴覚室
- 講座内容:
演 題: 「今こそ知りたい! 透明な"ポリマー"~次世代光技術材料、食品包装材料、そして透明な紙~」
講 師: 千歳科学技術大学 応用化学生物学科 教授 谷尾 宣久



講座の様子



学生による実験

eカレッジ表彰式を実施しました

3月2日(土)、今回で13回目となる千歳市内の小中学生を対象とした「eカレッジ」の表彰式が北ガス文化ホールで開催されました。「eカレッジ」とは、千歳市内児童生徒の基礎学力向上や家庭学習支援を目的とし、千歳科学技術大学が開発したeラーニング教材を利用して、千歳市教育委員会が提供する教育サービスです。表彰式では、eラーニング教材(小3~中3の理科、算数・数学、英語、リスニング、社会)の取り組み状況(取組日数、取組時間、演習問題達成度等)をもとに、特によく取り組んだ児童生徒に表彰状を授与しました。本年度は、119名(小学生101名、中学生18名)の利用者のうち、27名の児童生徒が取組優秀者として選ばれ、19名が表彰式に参加しました。



サイエンス会議(千歳市教育委員会主催)が 本学で開催されました

2月16日(土)、千歳市教育委員会が主催する「サイエンス会議」が本学B101講義室で開催されました。この「サイエンス会議」は千歳市内の小中学生が総合的な学習の時間などで取り組んだ調査や研究の内容をまとめ、各校の代表グループが発表するものです。今年度は、小学校14校、中学校2校の児童・生徒が、地域の環境調査、バリアフリーやユニバーサルデザインなど福祉について、防災について、アイヌ文化について、など、様々な分野において調べ学習や実験を行い、その成果を発表しました。また、発表の方法も、衣装を揃えたり、演劇風の発表を行うなど、工夫を凝らしていました。

2018(平成30)年度 論文タイトル一覧 博士前期課程

喫煙がラットの骨質に及ぼす影響に関する
赤外分光学的・統計学的検討
兼平 裕也

地域向けバスロケーションシステムの実証開発と運用データ分析
栗津 千尋

ゴミムシダマシを模倣した高効率水滴捕集材料の開発
大竹 智也

CAP方式と直交符号を組み合わせた短距離光通信システムの研究
嶋崎 賢

構造的反転学習モデルにおける学習プロセスの分析とシステム提案
加藤 翼

画像解析を用いた書道作品のストローク解析に関する検討
木村 昂太郎

Talaporfinを用いた腹腔内微小癌の光線力学的診断に関する研究
鈴木 健翔

直流誘導性負荷回路におけるAg系電気接点の
遮断アーク短縮に関する研究
徳光 聖茄

水噴霧によるレーザー光散乱を用いた空間通信方式の提案
宮澤 亮実

2018(平成30年度) 部・サークル活動実績

硬式テニス部

千歳春季大会ダブルス出場
千歳春季大会シングルス出場 男子B優勝
全日本大学対抗テニス王座決定試合 北海道
地区予選第51回 北海道学生テニスリーグ参加
北海道学生テニス新人戦大会参加
全日本学生室内テニス選手権大会 北海道地
区予選北海道大学生テニス選手権大会

軟式野球部

第25回春季リーグ大会 3部リーグ1位2部昇格
新人戦大会 一回戦敗退
第25回秋季リーグ大会 2部リーグ6位3部降格

卓球部

北海道秋季学生卓球選手権大会 男子3部
リーグ戦・Bブロック4位

バドミントン部

第60回北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会
男子4部リーグ3位
第67回北海道学生バドミントン選手権大会
男子ダブルス 初戦敗退
男子シングルス 二回戦進出
千歳オープンバドミントン大会
男子ダブルス 決勝トーナメント二回戦進出

弓道部

第66回全日本学生弓道選手権大会 二次予選敗退
千歳弓道協会7月度月例射会 参段以下の部 3位
第64回全道学生弓道争覇戦 男子I・IV部リーグ戦
優勝
第64回全道学生弓道争覇戦 III・IV部入替戦にて、
2位のためIII部昇格
第50回全道学生弓道新人戦出場

ストリートダンス部

JokerParty 優勝

YOSAKOIソーラン部

第27回YOSAKOIソーラン祭り参加
6月24日 島松駐屯地創立66周年記念行事に
て演舞披露
8月4日 老健のっぽる夏まつりにて演舞披露
9月1日 社会福祉法人楡の会 秋祭りにて演
舞披露

9月23日 児童養護施設天使の国 エンゼル
祭にて演舞披露
10月6日～7日 第21回みちのくYOSAKOI
まつり 第4位優秀賞
12月8日 ちとせモールにて演舞披露
2月2日 つどいむにて演舞披露

フットサル部

2018コンサドレ・エスポラダカップ
～全道市町村サッカー・フットサル大会参加
(1勝3敗)

軽音学部

7月、10月、2019年1月 大学交流ライブ参加
10月21日 千歳科学技術大学後援祭にてライブ

男子バスケットボール部

恵庭市民バスケットボール大会・第15回鳴海
カップ出場
北海道大学バスケットボール選手権大会出場

ライトアート工房

7月22日～23日 苫小牧市美術博物館での作品
展示
12月22日 まちライブラリー(千歳タウンブ
ラザ)でのワークショップ実施
2月17日～18日 ノースカントリー(千歳市)
での作品展示

写真部

"PHOTO IS" 想いをつなぐ。50000人の写真展
鉄道のある風景部門にて、1名入選
第13回 花と緑の写真コンテストにて
スナップ部門 銀賞1名、銅賞1名入選
一般部門 佳作 8名入選
16h 札幌圏学生合同写真展 主催
北海道道庁周辺、支笏湖、円山(札幌市)周辺で
撮影会実施

理工工房

あそびの日 in 千歳2018(末広小学校)参加
千歳市学校適応指導教室「おあしす」見学学習
対応
台湾・台北市立中正高級中学校大学訪問対応
千歳市立千歳小学校6年生 実験授業
ちとせ子ども科学キャンパス

日本ハムファイターズ科学実験教室参加
千歳市9館合同児童館まつり「科学実験コー
ナー」実施
キリンビールビアフェスティバル
千歳市ふるさとポケット
千歳学出前講座・千歳高星大学「地域探訪」大
学体験
科学の祭典・千歳大会
石狩市こども未来館あいぽーと「秋の科学実
験教室」実施
SORAこそだてフェスティバル2018
千歳市サイエンス会議 サイエンス実験演示
千歳道新文化センター親子科学教室実施
札幌市青少年科学館「大学生による科学教室」
千歳市ミナクルまつり参加 ほか

サバイバルゲームサークル

5月27日 第7師団創立記念行事 参加
7月、10月、12月 サバイバルゲームフィールド
にて定期活動

菜園サークル

第31回花いっぱいコンクール 中学校等の部
優秀賞

尺八サークル

6月邦楽邦舞の会 参加

将棋サークル

12月8日 北海道オール学生大会 参加

天文学サークル

8月20日～21日 天体観測実施(苫小牧市内)

テーブルゲームサークル

ドンパオス千歳・恵庭人狼普及委員会への参加

航空研究会

10月21日 千歳科学技術大学後援祭にてペー
パークラフト教室実施

昆虫研究会

オープンサイエンスパークへの参加

「OB・OG対話」を開催しました

12月18日(火)、本学にて「OB・OG対話」を開催しました。今年度は13社15名の卒業生の方々にご協力いただきました。「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学部3年生と大学院博士前期課程1年生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。参加した学生からは、「勇気をもらえる機会となった」「もっと業界研究を重ねる必要があると感じた」などの声が聞かれ、自身の就職活動や就職後の働き方などについて、改めて考えるきっかけになった様子が伺えました。

ご参加頂いた皆様(企業名順敬省略)

- 株式会社エスイーシー/柴田 恭吾
- 株式会社OCC/藤田 圭一
- 株式会社つうけん/堤 直也
- 中北薬品株式会社/佐々木 了平、吉田 賢司
- 日鉄住金テックスエンジニアリング株式会社/斎藤 大進、常田 一樹
- 日本コムシス株式会社/井上 貴仁
- 日本電設工業株式会社/藤澤 篤
- 株式会社ハイマックス/橋場 賢弥
- 富士電機株式会社/小川 心平
- 株式会社芙蓉バイオエージェンシー/岩野 圭介
- ホシザキ北海道株式会社/木村 峻
- 三菱電機ビルテクノサービス株式会社/岩木 秀平
- 株式会社もりもと/喜多 紘平



学内業界研究セミナーを開催しました

2月22日(金)・26日(火)～28日(木)の4日間の日程で、本学体育館にて「学内業界研究セミナー」を開催し、期間中247社の企業にご参加いただきました。

本セミナーは、キャリア教育の一環として希望する業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動へ向け、ミスマッチがおきないように業界・仕事への理解を深めることを目的として実施しています。学生も最初は緊張した面持ちでしたが、各企業の採用担当者の方や本学出身の先輩社員などから様々なお話をしていただき、これから本番を向かえる就職活動に向け、意識が高まった様子でした。



地元ものづくり 企業見学バスツアーを実施しました

低学年時から実施しているキャリア教育の取り組みのひとつとして、「地域に貢献できるものづくり人材の育成」をテーマに、地元ものづくり企業を対象とした見学バスツアーを3月6日(水)に開催しました。今年度は「キリンビール株式会社 北海道千歳工場様」にご協力いただきました。参加学生は、実際の「ものづくりの現場」を見学することで、ものづくり企業に対する理解や地域との関わりを知り、将来の進路を考えるうえで貴重な経験を行うことができました。



求人数・就職率

■求人票数
(平成31年3月31日現在)

697件

■平成30年度卒業生の
進路状況
(平成31年3月31日現在)

就職決定者 **129**名

就職率 **99.2%**

※就職率=就職決定者÷就職希望者

進路決定率 **95.6%**

※進路決定率=就職決定者数÷
(全卒業者数-進学決定者数)

平成30年度卒業生の進路状況

平成30年度は就職活動の早期化が一段と進みましたが、しっかりと対策を行い活動した結果、早期に多くの学生が内定を獲得しました。早期に進路決定とならなかった学生についても粘り強く就職活動をしたため、就職率・進路決定率ともに高い水準となりました。

●主な就職先 平成30年度卒業生実績(五十音順)

- 株式会社SIDインターテクノロジー ■株式会社ISD ■株式会社アウトソーシングテクノロジー ■旭川スズキ販売株式会社 ■アジアクエスト株式会社 ■株式会社アプリシステムズ ■株式会社アルトナー ■株式会社アルファシステムズ ■医療システムズ株式会社 ■Vineyard Works 株式会社 ■株式会社上田商会 ■株式会社ウエノフードテクノ ■エア・ウォーター物流株式会社 ■株式会社エイチ・アイ・ティ ■ACJ株式会社 ■株式会社エクシオテック ■NTTエレクトロニクス株式会社 ■株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー ■株式会社エム・ソフト ■株式会社オキサイド ■学校法人渡辺学園 帯広北高等学校 ■銚屋電機株式会社 ■北日本港湾コンサルタント株式会社 ■北日本電線株式会社 ■共同エンジニアリング株式会社 ■クオリサイトテクノロジー株式会社 ■航空自衛隊(自衛官候補生) ■コムシス株式会社 ■コムシスマビリティ株式会社 ■札幌市立高等学校(期限付) ■株式会社三技協イオス ■三幸総研株式会社 ■三友プラントサービス株式会社 ■株式会社シークス ■株式会社シェア ■株式会社繁富工務店 ■株式会社ジャパンテクノカルソフトウェア ■新興サービス株式会社 ■セントラル警備保障株式会社 ■総合警備保障株式会社 ■ダイヤモンドヘッド株式会社 ■ダイトロン株式会社 ■WDB株式会社エウレカ社 ■株式会社ダンテック ■株式会社つうけん ■株式会社つうけんアドバンスシステムズ ■DIC北日本ポリマ株式会社 ■株式会社TSP ■株式会社DMM.com OVERRIDE ■株式会社データベース ■株式会社テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社 ■株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 ■株式会社デジック ■株式会社寺岡北海道 ■東芝メモリ株式会社 ■東テク北海道株式会社 ■株式会社東和コンピュータマネジメント ■株式会社ドコモCS北海道 ■株式会社巴商会 ■日研トータルソーシング株式会社 ■日興ソフトウェア株式会社 ■日興電気通信株式会社 ■日本コムシス株式会社 ■日本情報通信株式会社 ■日本精機株式会社 ■日本アイビーエム・ソリューション・サービス株式会社 ■日本コンピュータサイエンス株式会社 ■日本システムワープ株式会社 ■日本通信エレクトロニクス株式会社 ■日本メジフィジックス株式会社 ■株式会社ノースダイヤル ■パイブドHD株式会社 ■パナック株式会社 ■株式会社日立信情報通信エンジニアリング ■株式会社ピックボイス ■株式会社ヒップ ■美幌町農業協同組合 ■株式会社フィーリスト ■株式会社VSN ■富士ゼロックス北海道株式会社 ■扶桑電通株式会社 ■株式会社芙蓉バイオエージェンシー ■古河C&B株式会社 ■株式会社ホープス ■北一電気株式会社 ■北都システム株式会社 ■ホクレン運輸株式会社 ■ホクレン肥料株式会社 ■ホシザキ北海道株式会社 ■北海道公立中学校 ■北海道公立中学校(期限付) ■北海道立高等学校 ■北海道立高等学校(期限付) ■株式会社マースエンジニアリング ■三菱電機ビルテクノサービス株式会社 ■ミハル通信株式会社 ■株式会社ミライト・テクノロジー ■美和電気工業株式会社 ■株式会社メイテックフィルダース ■株式会社メディアサイエンス ■株式会社山三ふじや ■山梨県警察 ■株式会社ユニス

[大学院進学] ■公立千歳科学技術大学大学院 ■奈良先端科学技術大学院大学 ■北海道大学大学院 ■ポツダム大学大学院

入試情報



2019年度

オープンキャンパス日程

2019年度のオープンキャンパスは
以下の日程で開催します。



6/16日・7/27土・28日・10/6日

■時間:10:30~15:15(当日受付10:00~本部棟にて)

2019(令和元)年度 進学相談会日程

(2019年5月~2019年9月分)

開催地	会場	開催日	時間	
北海道	旭川	アートホテル旭川	5/13(月) 15:00~18:00	
		アートホテル旭川	8/26(月) 15:30~18:00	
		旭川大雪アリーナ	9/18(水) 10:00~15:30	
	遠軽	遠軽町総合体育館	7/23(火) 13:30~15:40	
	帯広	帯広の森スポーツセンター	8/23(金) 10:00~16:30	
		帯広グランドホテル	9/13(金) 15:30~18:00	
	北見	ホテル黒部	5/8(水) 15:00~18:00	
		ホテルベルクラシック北見	9/9(月) 15:30~18:00	
	釧路	湿原の風アリーナ	9/13(金) 13:30~17:00	
	札幌	札幌パークホテル	札幌パークホテル	5/24(金) 14:00~18:00
			シャトレーゼ・ガトーキングダムサッポロ	6/10(月) 16:00~17:30
		アクセスサッポロ	6/11(火) 16:00~17:30	
		プレミアホテル-TSUBAKI-札幌	6/21(金) 14:00~18:00	
		札幌パークホテル	8/23(金) 15:00~18:00	
		ホテルエミシア札幌	9/18(水) 15:00~18:00	
		つどーむ	9/25(水) 10:00~16:00	
		つどーむ	9/26(木) 10:00~16:00	
	千歳	北ガス文化ホール	6/19(水) 15:10~17:00	
	苫小牧	苫小牧市総合体育館	7/12(金) 13:30~17:30	
	名寄	名寄市スポーツセンター	5/8(水) 15:00~17:15	
函館	ベルクラシック函館	ベルクラシック函館	5/22(水) 15:00~18:00	
		ベルクラシック函館	5/27(月) 15:30~18:30	
		ベルクラシック函館	8/21(水) 15:30~18:00	
		函館アリーナ	9/10(火) 10:30~18:00	
富良野	富良野スポーツセンター	9/10(火) 15:30~17:00		
紋別	紋別市スポーツセンター	5/9(木) 13:30~17:30		
稚内	稚内海員会館	6/26(水) 14:00~17:30		

開催地	会場	開催日	時間
青森県	青森	リンクステーションホール青森*	5/18(土) 13:00~16:00
		八戸グランドホテル	5/9(木) 14:30~18:30
	八戸	プラザアーバンホール*	6/10(月) 15:30~18:30
		弘前	アートホテル弘前シティ
岩手県	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング*	5/13(月) 15:00~19:00
		ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	5/14(火) 15:00~18:30
		ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	6/17(月) 15:00~18:00
		盛岡タカヤアリーナ	6/26(水) 13:00~17:30
秋田県	秋田	アルヴェ	5/10(金) 15:00~18:30
		アルヴェ*	7/18(木) 15:00~18:00
宮城県	仙台	仙台サンプラザ	5/15(水) 13:30~18:30
		アエル*	5/20(月) 15:00~19:00
		仙台国際センター	7/16(火) 13:00~17:30
東京都	有明	東京ビッグサイト(夢ナビLIVE)	6/8(土) 10:30~17:00
		池袋サンシャインシティ	6/16(日) 11:00~16:00
	池袋	池袋サンシャインシティ◆	7/7(日) 11:00~17:00
神奈川県	横浜	パシフィコ横浜◆	7/28(日) 11:00~16:00
新潟県	新潟	朱鷺メッセ	5/26(日) 11:00~16:00
静岡県	静岡	ツインメッセ静岡	5/19(日) 11:00~16:00
愛知県	名古屋	吹上ホール	6/23(日) 11:00~16:00
		ポートメッセなごや(夢ナビLIVE)	7/20(土) 10:30~17:00
		名古屋国際会議場◆	7/27(土) 11:00~16:00
大阪府	大阪	ナレッジキャピタルコングレ コンベンションセンター	7/7(日) 11:00~16:00
		ナレッジキャピタルコングレ コンベンションセンター◆	7/13(土) 11:00~16:00
		インテックス大阪(夢ナビLIVE)	7/24(水) 10:30~17:00

*印の会場は、入試説明会を同時開催

◆印の会場は、事前申込可能 URL: <https://www.daigakusoudankai.com>

※開催地は随時追加されます。また日程などは変更になる場合がありますので、詳細は大学HPで確認してください。

第9回千歳科学技術大学英語スピーチコンテストを開催しました

3月9日(土)、今年で9回目となる千歳科学技術大学英語スピーチコンテストを開催しました。ハイスクール・ディビジョン(高校生の部)では、道内5つの高等学校より、11名の参加がありました。また、オープン・ディビジョン(社会人・大学生の部)では、千歳科学技術大学から2名の学生が参加しました。皆さん緊張の面持ちでしたが、日頃の学習の成果を一生懸命披露していました。

英語スピーチコンテスト開催内容

■日 時:2019年3月9日(土)13:00~16:00

■会 場:千歳科学技術大学 講義棟B101講義室

■参加者

(1)ハイスクール・ディビジョン(高校生):5校11名参加

- ・北海道札幌厚別高等学校.....2名
- ・北海道千歳高等学校.....3名
- ・双葉高等学校.....1名
- ・札幌聖心女子学院高等学校.....2名
- ・札幌大谷高等学校.....3名

(2)オープン・ディビジョン(社会人・大学生):大学生2名参加

- ・千歳科学技術大学...2名

■発表テーマ:「サイエンスがつくる○○の未来」(発表時間ひとり5分)

■審査結果:

(1)ハイスクール・ディビジョン(高校生):

1位(千歳市長賞)

.....札幌聖心女子学院高等学校2年 鈴木 友梨さん

2位.....札幌聖心女子学院高等学校1年 児玉 優子さん

3位.....札幌大谷高等学校2年 石田 梨帆さん

奨励賞.....双葉高等学校1年 佐藤 遥さん

(2)オープン・ディビジョン(社会人・大学生):

1位(千歳市長賞).....千歳科学技術大学1年 豊田 歩未さん

■後 援:千歳市、千歳市教育委員会、

特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム



入賞者のみなさん

平成30年度学生チャレンジプログラム (情報メディア貢献部門)の 認定証授与しました

3月26日(火)、平成30年度学生チャレンジプログラムに応募した学部生の伊藤優さん(理工学部情報システム工学科3年)に認定証授与が曾我学生支援センター長から行われました。

応募
テーマ

食堂支援システムの開発

揚げ物など、現在番号札で行なっている出来上りの通知をディスプレイと音で解決するシステムを開発しました。



※学生チャレンジプログラムとは、学生が自主的な発想から企画した、意欲的かつチャレンジ精神あふれるプロジェクト活動を奨励し、資金面などから支援する制度です。

名誉教授授与式を執り行いました

4月18日(木)、平成31年度名誉教授称号授与式を執り行いました。教育上又は学術上の功績が顕著であった方へ授与するもので、今回は1名の先生に名誉教授の称号が授与されました。川瀬理事長・学長から名誉教授記が手渡され、本学への貢献に対し感謝の言葉が述べられました。

今年度、名誉教授の称号を授与された方は次のとおりです。
吉田 淳一 先生 1名



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略、50音順) 公表を希望されない寄附者様につきましては、「外匿名希望〇名」という形で掲載させていただきました。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(平成30年12月1日から平成31年4月30日まで)
檜垣 長斗 貞本 康尚 阿保 静夫 大西 昇
今井 敏郎 千歳科学技術大学同窓会
他 匿名希望の方6名 敬称略

発行/公立大学法人公立千歳科学技術大学企画総務課

千歳市美々 758 番地 65

TEL.0123-27-6001

ホームページ www.chitose.ac.jp



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2019 8/31

Volume

49

公立大学法人公立千歳科学技術大学設立及び
開学20周年記念式典挙行了しました

- 3P | トピックス/コラム
地域連携センターについて
- 4P | 高大連携・地域貢献
オープンサイエンスパーク千歳を
開催しました
- 5P | 高大連携・地域貢献
安平町、恵庭市、苫小牧市の
中学校3校の生徒さんが
本学を見学しました
- 6P | 入試情報
2020年度入試日程
- 6P | 入試情報
インターネット出願について
- 7P | 財務情報



公立大学法人公立千歳科学技術大学設立及び 開学20周年記念式典を挙行了しました

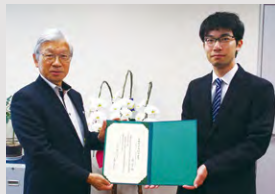
公立大学法人公立千歳科学技術大学設立及び開学20周年記念式典を6月8日(土)本学体育館にて挙行了しました。始めに、開学から公立大学法人化までの20年の歩みを映写しました。その後、山口幸太郎千歳市長、川瀬正明理事長・学長から式辞があり、続いて、来賓を代表して和田義明衆議院議員、池田真紀衆議院議員、佐藤哲夫北海道石狩振興局長、古川昌俊千歳市議会議長よりお祝いの言葉をいただきました。記念式典の終了後、本学食堂にて記念祝賀会が開催されました。



令和元年度慶応工学会給費奨学生に 採用されました

大学院生の大滝晋平さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年 下村研究室所属)が、令和元年度一般財団法人慶応工学会給費奨学生に採用されました。

7月29日(月)本学において給費奨学生の伝達式を執り行い、川瀬学長より給費奨学金授与と証書を授与いただきました。この奨学金制度は全国の理工系大学院生から募集され、奨学生として採用されると年額36万円を1ヶ年支給されます。採用された大滝さんから、一層研究活動に力を入れていきたいと抱負が語られました。

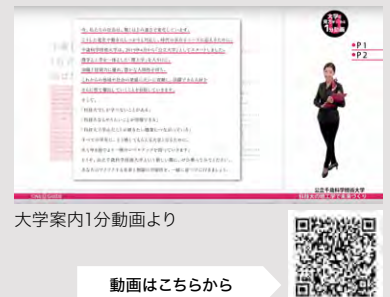


大学案内・1分動画が完成しました

2020年度版「大学案内」が完成しました。公立化となり新たなスタートを切った公立千歳科学技術大学の情報が満載です。大学や学科選び、将来について考える際に、ぜひご活用ください。また、この大学案内の内容を1分にまとめた動画が、本学HPまたはYoutubeにてご覧いただけます。



大学案内表紙



大学案内1分動画より

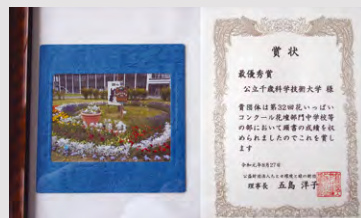
動画はこちらから



第32回花いっぱいコンクールにて 最優秀賞を受賞しました

8月27日(火)、菜園サークル(代表:松森一、21名)が公益財団法人ちとせ環境と緑の財団主催の「第32回花いっぱいコンクール花壇部門中学校等の部」において最優秀賞を受賞しました。

審査委員からは、「研究棟前の花壇のデザインがすばらしく、曲線を描いて植栽されたシロタエギクが斬新で、周りの花を引き立てています。全体がきれいにまとめられています」と講評をいただきました。



千歳版環境マネジメントシステム 「ECOちとせ」に認定されました

本学は、昨年度における電力量やLPG量の削減などの環境にやさしい取り組みが、千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」の審査基準に適合していることが認められ、千歳市より認定証(継続認定)が交付されました。認定証の有効期間は、令和元年7月1日から令和2年6月30日までとなります。今年度も環境にやさしい取り組みを継続し、「ECOちとせ」認定期間の更新を目指します。



山口市長が「千歳学」の講義を行いました

本学では今年度より千歳市の地理、歴史、産業、暮らしなどを学ぶことを通じて現代社会の位置づけや課題に気づき、将来のありようを考えるため、学部1年生(251名)を対象に「千歳学」を開講しており、5月27日(月)山口幸太郎千歳市長が講義を行いました。市長の熱心な講義に学生達は真剣な眼差しで受講しました。



夢ナビライブ2019に参加しました

高校生を対象とした「夢ナビライブ2019」に参加しました。「夢ナビライブ」は、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を担当者に直接質問し、大学について説明をうけることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまとったイベントです。本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井 賢一准教授の2名の先生が講義を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者ならびに高校教員が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受け、質問をしたりしていました。各会場の詳細は以下のとおり。

- 6月8日(土)東京ビックサイト 来場者:32,692名
- 7月20日(土)ポートメッセなごや 来場者:19,884名
- 7月24日(水)インテックス大阪 来場者:26,432名
- 10月5日(土)夢メッセみやぎ(※参加予定)



コラム 第1回

地域連携センターについて

地域連携センターは、公立千歳科学技術大学の理工系の研究成果を通じ、地域課題解決を図ることを目的とする「スマートネイチャーシティちとせ構想」(SNC構想)を推進する機関として、大学内研究実験棟に設置されました。同センターでは、これまで大学が培ってきた光科学やシステム基盤技術をもとに最先端のICT応用技術を融合させ、地域課題を解決する役割を担っています。同センターが行う主な事業としては、次の5つです。

- ①センター自主事業 公益性の高い地域課題を解決するために事業を行います。
- ②研究プロジェクト 大学が事業主体となるSNC構想に位置付けている事業を行います。
- ③受託研究、共同研究等 ④技術相談 ⑤イベント協力等

また、同センターには、地域課題について相談があった場合の相談窓口になり、企業等からの技術相談、受託研究等の本学教員との橋渡し役を担う産学官連携コーディネーターが常駐します。このコーディネーターは、積極的に地域に赴き、様々な地域課題解決に向けて取り組みます。さらに、同センターにおいて市内の高等教育機関や経済団体などと連携ネットワークを構築し、地域課題解決に向けて様々な機関と連携し、取り組んでいきます。



地域連携センター長 山本 由明 教授

スマートネイチャーシティちとせ構想

「SNCちとせ」とは、Smart Nature City ちとせの略で、千歳市がもつ「豊かな自然がもたらす生態系サービス」(水・緑・温泉)を生かした“持続可能なまちづくり”に向けて、様々なステークホルダーと連携し、観光、環境保全、教育などの分野において千歳市が抱える課題を抽出し、公立千歳科学技術大学が持つICTなどの科学技術の活用により、解決を図る構想です。2030年までに国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)のように自然環境との共生を可能にする持続可能な循環型地域として、『スマートネイチャーシティちとせ』構想を実現・展開し、自律的好循環を目指した地域創生へと繋げていきます。

オープンサイエンスパーク千歳を
開催しました

第1回

8月2日(金)、サケのふるさと千歳水族館学習室において、今年度第1回目のオープンサイエンスパーク千歳「パッケージングからインバウンド、国土強靱化まで～生態系サービスがもたらす、持続可能な農業とインバウンド～」を開催しました。盛夏の中、産業界、行政、市民を含む約50名が参加しました。

元滋賀県立大学副学長で環境経済学者の仁連孝昭名誉教授による基調講演をいただいた後、NPO法人アグリコミュニティ千歳理事長の藤田和徳様、千歳市観光スポーツ部観光企画課の松原崇人様、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所主任研究員の高梨琢磨様、本学の山林由明教授より、関係する研究開発の事例や現代社会が抱える課題などについてご講演いただきました。その後は、持続可能な経済活動の視点から農業とインバウンドの活用にあたって、千歳市の現状と課題について、熱く議論されました。



第2回

8月4日(日)に「オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにごい!! 身近な生き物たち」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、千歳市や札幌市の小中学生11名(募集定員10名)と保護者が参加して公立千歳科学技術大学研究棟周辺や千歳湖などで昆虫採集や標本作成を行いました。

まずは大学周辺で北海道大学総合博物館の大原昌宏先生から昆虫採集の仕方や注意事項について教えていただきながら蝶々を中心に採集しました。また、千歳湖周辺には事前に本学の学生が仕掛けておいたトラップでカナブンを中心とした甲虫を採集しました。

午後からは、自分たちが採集した昆虫で標本を作製しました。木の板やコルク板などの材料を自分たちで組み立てて展翅板(てんしばん)を作り、大原先生らに教わりながら甲虫やバッタ、蝶々や蛾などの標本を作成しました。皆さん、2時間以上も集中して取り組んでいました。持ち帰った標本は、2～3週間後には、乾燥し飾れるようになります。参加した皆さんからは、「ぜひ来年も参加したい!」「高校生向けの講座も開催してほしい」という声をいただきました。



オープンサイエンスパーク千歳は、スマートネイチャーシティ(SNC)ちとせ事業の一環として実施しています。

公開講座を開催しました

第1回

今年度第1回目となる公開講座を6月22日(土)に開催しました。教職課程 宮嶋衛次教授により「簡単な実験で学ぶ地球の科学」と題して、参加者の皆さんには、地震・火山・気象などについてたくさんの実験を体験していただきました。身近にある物を利用した実験をしながら、その仕組みを理解したり、様子を観察したり、苦労しながらも皆さん、楽しそうに参加してくださいました。また、参加者の皆さんからは、日頃疑問に思っていることなど、たくさんの質問があり、科学的な実験と説明で理解を深められたようでした。当日は、16名がご参加くださいました。

【第1回公開講座内容】

- 日時:2019年6月22日(土)13:30～16:00
- 会場:千歳市総合福祉センター 3階 307号室
- 講師:理工学部 教授 宮嶋 衛次
- 演題:「簡単な実験で学ぶ地球の科学」



第2回

第2回目となる公開講座を8月31日(土)に開催しました。共通教育担当 山下文講師により「歌人たちの“見た”桜—うたことばとその本意—」と題して古今和歌集を中心に、その時代を取り巻く気候変動、植生遷移、歴史などを織り交ぜつつ、歌人たちがどのように桜を“見た”のかについて解説を行いました。また、講座終了後も和歌について熱心に質問する参加者の姿が見られました。参加者の皆さんからは、「“本意”の意味が面白かった」「桜の花が大好きなので、大満足です」など感想をいただきました。当日は、19名の皆さんがご参加くださいました。

【第2回公開講座】

- 日時:2019年8月31日(土)14:30～16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 講師:理工学部 講師 山下 文
- 演題:「歌人たちの“見た”桜—うたことばとその本意—」
- 講演内容:春の代表花「桜」を、平安時代の和歌を中心に歴史・植生遷移・気候変動を合わせ解説



2019年度eカレッジ講習会と プログラミング教室を開催しました

千歳市教育委員会が窓口となり実施している「eカレッジ」事業では、千歳市内小中学校の生徒を対象に、本学で開発している「eラーニング(電子学習)システム」の利用を推進しています。6月16日(日)、今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生(希望者)と保護者を対象に、このシステムの使用方法などについて解説する「eカレッジ講習会」を本学で実施しました。

当日は、71人の小学生とその保護者や兄弟などが参加しました。当初の予定をはるかに超える人数であったため、2つの教室を使用し、同時講義を行いました。まずは、パスワードなどを入力し、システムにログイン。算数や理科の教科書を見たり、演習問題を解きながら、使い方を覚えていきました。これからは家庭学習などにeラーニングシステムを大いに活用していただきたいと思います。また、eカレッジ講習会終了後、希望者に対し「プログラミング教室」を実施しました。こちらにも、当初の予定数を大幅に超える参加がありました。ゲームのキャラクターを自分が思うように動かすには、どのような命令をどんな組み合わせで与えれば良いか考える教材でしたが、みなさん苦労しながらも、少しずつ難しくなっていく課題をどんどんクリアしていきました。今回の講習会では、例年よりもはるかに多くの皆さんに参加いただき、小中学生や保護者の皆様のeラーニングやプログラミング教育への関心の高さをうかがわせました。

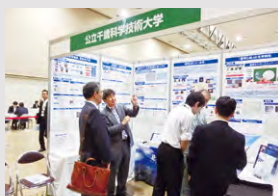
【2019年度eカレッジ講習会およびプログラミング教室 内容】

- 日程:6月16日(日)13:00~16:00
- 場所:公立千歳科学技術大学 G201、G202(コンピュータ教室)
- 講師:公立千歳科学技術大学 情報システム工学科
専任講師 山川 広人
- 対象:今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生と
その保護者



北洋銀行ものづくりテクノフェア2019に 出展しました

7月25日(木)、アクセスサッポロにて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2019」にNPO法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)と合同で出展しました。本学のブースでは、応用化学生物学科 谷尾宣久教授による透明ポリマー材料の研究について紹介しました。当日はたくさんの方がお立ち寄りくださり、谷尾教授の説明に興味深く聞き入っていました。また、本学も参画している「ナノテクノロジープラットフォーム事業」のブースでは、ナノテクノロジープラットフォームセンター、北海道大学、本学の3者合同で出展し、事業の概要や支援内容について説明しました。フェア当日は、出展者(225社・団体)、来場者(約4,600名)と大盛況でした。



安平町、恵庭市、苫小牧市の 中学校3校の生徒さんが本学を見学しました

安平町立早来中学校

7月8日(月)、安平町立早来中学校1年生の皆さん33名が、校外体験学習の一環で本学を訪れました。まず、皆さんで記念撮影をしたあと、本部棟の大講義室、コンピュータ教室、図書館などの施設を見学しました。そのあと、大学の食堂で昼食をとりました。昼食後は、研究・実験棟に移動し、電子光工学科 長谷川誠教授と理工工場の学生による、大学の紹介と理科実験講義を受けました。講義では、クリップモーターについて学習しました。中学1年生ではまだ習っていない単元ですが、どうすればよく回るモーターを作れるのか皆さん一生懸命考えて作成していました。



恵庭市立恵庭中学校

7月9日(火)、恵庭市立恵庭中学校3年生の皆さん28名が、「進路学習(自己の生き方探求)」をテーマとし、本学で大学訪問学習を行いました。はじめに3班に分かれ、研究室などを見学しました。生き物の、目に見えない小さな構造を利用した「すごい機能」について研究している平井研究室では、昆虫などのサンプルを使用して、その「すごい機能」について学生が分かりやすく説明してくれました。UNITYを使ったVR、ARについて研究している村井研究室では、全員がヘッドマウントディスプレイでVR体験をしました。理工工場の学生指導のもと、偏光板を使った簡単な実験体験を行いました。どの研究室でも皆さん積極的に質問し、熱心にメモをとっていました。研究室見学のあとは、実験室に集まり、長谷川教授と理工工場の学生による、大学紹介と理科実験講義を受けました。講義では、クリップモーターについて学習しました。中学3年生ということで、それぞれの進路を考える時期と思いますが、何かヒントになれば幸いです。



苫小牧市立青翔中学校

7月18日(木)、苫小牧市立青翔中学校2年生の皆さん43名が「上級学校(大学)訪問」として本学に訪れました。当日は研究実験棟の学生実験室において、理工工場の長谷川教授による理科実験と大学紹介の講義を受けました。理科実験ではクリップモーターについて学習し、グループごとに分かれ、どうすればモーターが良く回るか、皆さん一生懸命考え、工夫を凝らしながら実験を楽しんでいました。今回の実験と講義の通じて、中学生が大学に興味を持ち、身近な場所に理工系大学があることに気づいていただけると幸いです。



東北地区で個別大学説明会を開催しました

東北地区で個別大学説明会を開催しました。この説明会は、高校生・保護者・高校教員を対象に、青森市、八戸市、秋田市、盛岡市、仙台市の5会場で開催され、アドミッションセンター教員より、大学紹介ならびに2020年度以降の入試制度概要について説明を行いました。参加された高校生や高校教員からは、入試制度について理解する機会となり有意義であったとの声が多く寄せられました。各会場の詳細は以下のとおり。

- 5月13日(月)盛岡会場 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
- 5月18日(土)青森会場 リンクステーションホール青森
- 5月20日(月)仙台会場 アエル
- 6月10日(月)八戸会場 プラザアーバンホール
- 7月18日(木)秋田会場 アルヴェ



5月18日青森会場



5月20日仙台会場

2020年度入試日程

試験種別		出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間
一般入試	前日程	2020年 1月27日(月)~2月5日(水)	2020年 2月25日(火)	2020年 3月6日(金)	2020年 3月9日(月)~3月13日(金)
	公立大学* 中日程	2020年 1月27日(月)~2月5日(水)	2020年 3月8日(日)	2020年 3月23日(月)	2020年 3月23日(月)~3月27日(金)
AO (アドミッション・オフィス) 入試		2019年 9月2日(月)~9月13日(金)	本学HPまたは学生募集 要項を参照してください。	2019年 11月13日(水)	2019年 11月14日(木)~11月22日(金)
推薦入試 ・推薦A(千歳地区) ・推薦B(全国)		2019年 11月8日(金)~11月18日(月)	2019年 11月30日(土) 12月1日(日) ※出願者数により、 11月30日(土)の1日で 実施する場合があります。	2019年 12月11日(水)	2019年 12月12日(木)~12月20日(金)

*公立大学中日程の志願者数が募集人員の10倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。2段階選抜を実施する場合、第1段階選抜の結果は2月20日(木)に発表します。

インターネット出願について



一般入試(前日程・公立大学中日程)の出願は、すべて「インターネット出願」で受け付けます。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

財務情報

貸借対照表

平成31年3月31日

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,078,921	9,362,527	△ 283,606
有形固定資産	5,503,322	5,631,216	△ 127,894
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	1,891,671	1,942,454	△ 50,783
その他の有形固定資産	616,635	693,746	△ 77,111
特定資産	3,480,890	3,725,901	△ 245,011
その他の固定資産	94,709	5,410	89,299
流動資産	1,298,243	1,261,218	37,025
現金預金	1,090,671	1,228,310	△ 137,639
その他の流動資産	207,572	32,908	174,664
資産の部合計	10,377,164	10,623,745	△ 246,581

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	0	143,971	△ 143,971
流動負債	357,650	412,595	△ 54,945
負債の部合計	357,650	556,566	△ 198,916

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	10,257,979	10,961,427	△ 703,448
第1号基本金	10,144,182	10,847,630	△ 703,448
第4号基本金	113,797	113,797	0
繰越収支差額	△ 238,465	△ 894,248	655,783
翌年度繰越収支差額	△ 238,465	△ 894,248	655,783
純資産の部合計	10,019,514	10,067,179	△ 47,665
負債及び純資産の部合計	10,377,164	10,623,745	△ 246,581

活動区分資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

(単位:千円)

科目	金額		科目	金額	
	収入	支出		収入	支出
学生生徒等納付金収入	1,196,109		退職給与引当特定資産取崩収入		143,971
手数料収入	46,839		研究特定資産取崩収入		2,997
特別寄付金収入	6,297		預り金受入収入		293,572
経常費等補助金収入	180,721		立替金回収収入		0
付随事業収入	78,942		小計		440,540
雑収入	172,898		受取利息・配当金収入		25,671
教育活動資金収入計	1,681,806		過年度修正収入		4
人件費支出		1,093,448	その他の活動資金収入計		466,215
教育研究経費支出		415,252	退職給与引当特定資産繰入支出		0
管理経費支出		191,652	研究特定資産繰入支出		1,410
教育活動資金支出計		1,700,352	預り金支払支出		289,325
差引		△ 18,546	立替金支払支出		4,245
調整勘定等		△ 254,437	小計		294,980
教育活動資金収支差額		△ 272,983	過年度修正支出		1,105
科目	金額		その他の活動資金支出計		296,085
施設設備寄付金収入	40		差引		170,130
施設設備補助金収入	0		調整勘定等		0
減価償却引当特定資産売却収入	0		その他の活動資金収支差額		170,130
減価償却引当特定資産取崩収入	594,346		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 137,639
施設整備等活動資金収入計	594,386		前年度繰越支払資金		1,228,310
施設関係支出		22,313	翌年度繰越支払資金		1,090,671
設備関係支出		130,158			
減価償却引当特定資産繰入支出		494,892			
施設整備等活動資金支出計		647,363			
差引		△ 52,977			
調整勘定等		18,191			
施設整備等活動資金収支差額		△ 34,786			
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 307,769			

事業活動収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

当該会計年度における「事業活動収入」及び「事業活動支出」の均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。(単位:千円)

科目	金額		
	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,235,334	1,196,109	39,225
手数料	41,306	46,839	△ 5,533
寄付金	8,000	6,297	1,703
経常費等補助金	199,765	180,721	19,044
国庫補助金収入	199,684	180,624	19,060
地方公共団体補助金収入	81	97	△ 16
付随事業収入	63,050	78,942	△ 15,892
雑収入	169,006	172,898	△ 3,892
教育活動収入計	1,716,461	1,681,806	34,655
事業活動支出の部			
人件費	966,983	949,477	17,506
教育研究経費(内減価償却額)	539,882	545,652	△ 5,770
管理経費(内減価償却額)	126,223	130,400	△ 4,177
217,635	204,431	13,204	
12,165	12,779	△ 614	
徴収不能額等	0	6,636	△ 6,636
教育活動支出計	1,724,500	1,706,196	18,304
教育活動収支差額	△ 8,039	△ 24,390	16,351
収入の活動			
受取利息・配当金	26,503	25,672	831
教育活動外収入計	26,503	25,672	831
支出の活動			
借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	26,503	25,672	831
經常収支差額	18,464	1,282	17,182
特別収入の活動			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	4,431	△ 4,431
特別収入計	0	4,431	△ 4,431
特別支出の活動			
資産処分差額	0	52,273	△ 52,273
その他の特別支出	0	1,105	△ 1,105
特別支出計	0	53,378	△ 53,378
特別収支差額	0	△ 48,947	48,947
予備費	(513)		9,487
基本金組入前当年度収支差額	8,977	△ 47,665	56,642
基本金組入額合計	△ 16,173	0	△ 16,173
当年度収支差額	△ 7,196	△ 47,665	40,469
前年度繰越収支差額	△ 894,248	△ 894,248	0
基本金取崩額	0	703,448	△ 703,448
翌年度繰越収支差額	△ 901,444	△ 238,465	△ 662,979
(参考)			
事業活動収入計	1,742,964	1,711,909	31,055
事業活動支出計	1,733,987	1,759,574	△ 25,587

資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。(単位:千円)

(収入の部) (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,235,334	1,196,109	39,225
手数料収入	41,306	46,839	△ 5,533
寄付金収入	8,000	6,337	1,663
補助金収入	199,765	180,721	19,044
国庫補助金収入	199,684	180,624	19,060
地方公共団体補助金収入	81	97	△ 16
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	63,050	78,942	△ 15,892
受取利息・配当金収入	26,503	25,672	831
雑収入	169,006	172,902	△ 3,896
前受金収入	227,783	165,520	62,263
その他の収入	698,727	1,054,775	△ 356,048
資金収入調整勘定	△ 420,633	△ 454,452	33,819
当期資金収入合計	2,248,841	2,473,365	△ 224,524
前年度繰越支払資金	1,228,310	1,228,310	
収入の部合計	3,477,151	3,701,675	△ 224,524
(支出の部) (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,110,954	1,093,448	17,506
教育研究経費支出	413,659	415,252	△ 1,593
管理経費支出	205,470	192,757	12,713
施設関係支出	25,680	22,313	3,367
設備関係支出	139,739	130,158	9,581
資産運用支出	192,641	496,302	△ 303,661
その他の支出	367,969	432,836	△ 64,867
予備費	(2,349)		12,651
資金支出調整勘定	△ 70,064	△ 172,062	101,998
当期資金支出合計	2,398,699	2,611,004	△ 212,305
翌年度繰越支払資金	1,078,452	1,090,671	△ 12,219
支出の部合計	3,477,151	3,701,675	△ 224,524



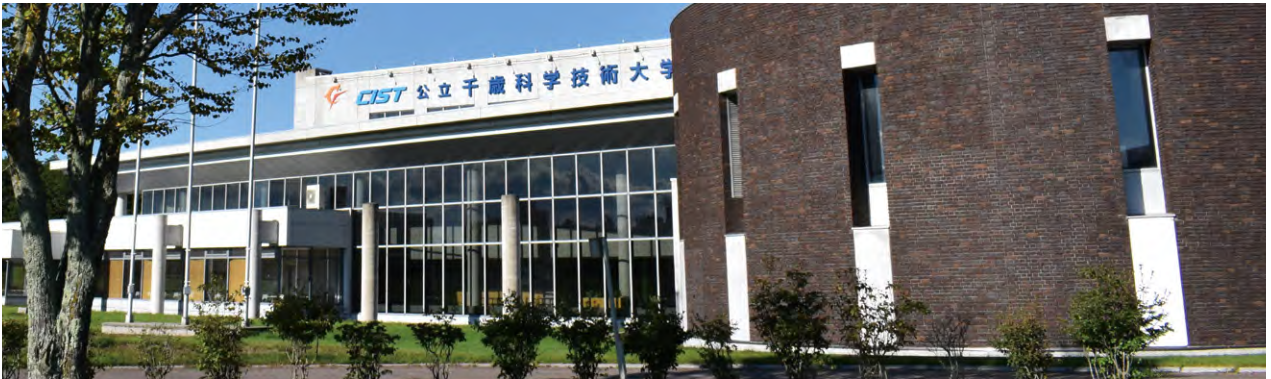
6月8日／開学20周年記念式典にて式辞を述べる山口千歳市長



5月27日／本学学部1年生へ講義「千歳学」を行う山口千歳市長



本学研究棟前の花壇が『第32回花いっぱいコンクール花壇部門中学校等の部』において最優秀賞を受賞



公立化に伴い本部棟の校名看板が新しくなりました



8月4日／オープンサイエンスパーク千歳より

本学へのご寄附のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!

◀カーギー

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。

Twitter、Instagram どちらもIDは@cistkoho で検索ください。

TwitterとInstagramで情報発信中!

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田(かぎた)ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2020 3/1

Volume

50

第21回稜輝祭(大学祭)を開催しました。

- 2P トピックス
CIF'20千歳科学国際フォーラムを開催しました
- 3P トピックス/コラム
地域社会と科学技術の対話の場
～オープンサイエンスパーク千歳～
- 4P 高大連携・地域連携
ビジネスEXPOに出展しました
- 6P 就職・キャリア支援
「企業と大学の情報交換会」を開催しました



第21回稜輝祭(大学祭)を開催しました

10月20日(日)、稜輝祭実行委員会主催による第21回稜輝祭(大学祭)を開催しました。本学の大学祭は毎年異なるテーマにより開催されてきましたが、今年は公立大学法人化後最初の大学祭となるため、新たなスタートに期待を抱いてもらえるよう願いを込めて「ReStart」となりました。

イベントは軽音楽部ステージ、ストリートダンス部のパフォーマンス、YOSAKOIソーラン演舞、理科実験、ペーパークラフト教室等と例年の企画に加え、今年は似顔絵描きを行う企画を増やしました。学生主催の模擬店も例年より多く出店され賑わっており、来場されたお客様も楽しませていました。稜輝祭の開催にあたり多くの皆様にご来場いただき、また企画・運営等各方面において多くの方々にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。



YOSAKOIソーラン演舞の様子



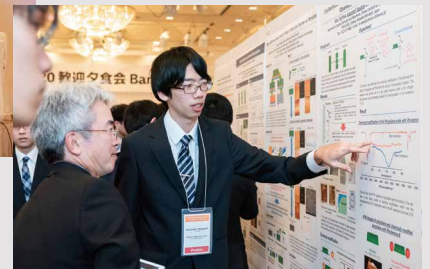
移動動物園の様子



カードゲームの様子

CIF'20千歳科学国際フォーラムを開催しました

10月14日(月・祝日)、ホテルグランテラス千歳にて「第20回千歳科学国際フォーラム」を開催しました。今回のフォーラムでは、公立千歳科学技術大学が提唱する地域貢献プログラム「Smart Nature City ちとせ」について地域の皆様とともに広く議論を進めていきたいと考え、メインテーマを①「持続可能な社会に向けた自然との共生の知恵<北方圏の交流>」と②「命とくらしを守るまちづくり ~“いつもの便利”と“もしもの備え”~」といたしました。午前の国際会議CIFセッションでは、テーマ①について、専門家による招待講演を中心としたセッションとポスター発表を行い、午後はテーマ②について、千歳ゆかりの講演者による講演とパネルディスカッションを行いました。



令和元年度保護者懇談会を開催しました

10月26日(土)、本学において令和元年度保護者懇談会を開催しました。今年は午後1時より開始し、学長挨拶に続いて「全体説明会」を開催し、キャリアセンター長より現在の就職状況について説明を行いました。

その後事前に申し込みされた「就職支援会社による講演」「学習・生活個別相談」「就職個別相談」に分かれていただき、それぞれの内容について日頃不安に思われていることや学業成績、大学生活の状況等について担当教職員が学生一人ひとりの様子について説明いたしました。



教員免許状更新講習推進機構(KAGAC) 調印式を執り行いました

平成28年度から東京学芸大学・愛知教育大学・千歳科学技術大学の3大学で運営を行ってきた教員免許状更新講習推進機構(通称:KAGAC)の連携校に令和2年度から大阪教育大学が参画することになりました。

これにより令和2年度から、東京学芸大学・愛知教育大学・大阪教育大学・公立千歳科学技術大学の4大学で教員免許状更新講習推進機構(通称:KAGAC)を運営するにあたり、令和元年10月4日(金)10時からKKR東京11階鳳凰の間において、4大学による調印式を執り行いました。



進路のミカタLIVE札幌会場・ワク！WORK！学校祭に参加しました

9月25日(水)、26日(木)につど一むで開催された「進路のミカタLIVE札幌会場・ワク！WORK！学校祭」に参加しました。本学は個別相談コーナーと体験型コーナーに出展し、体験型コーナーでは本学の学生プロジェクト理工工房の学生が活動を紹介しました。会場には2日間で7,020名が来場し、本学のブースにもたくさんの方の高校生にお立ち寄りいただきました。



川瀬正明理事長・学長が功労表彰を受章しました

川瀬正明理事長・学長は、千歳市の公平委員会委員長及び委員として、平成17年から12年間、公務員制度の本旨に基づく身分保障と公正な人事行政の確立に努めるとともに、適正な勤務条件の確保を図ることにより職員一人ひとりの職務の専念を推進するなど、地方公共団体の民主的で能率的な運営を実現し、市政の安定と発展に寄与しました。その功績から、11月1日(金)に開催された令和元年度千歳市表彰贈呈式において功労表彰(自治功労)が授与されました。



コラム 第2回

地域連携センターについて

地域社会と科学技術の対話の場～オープンサイエンスパーク千歳～

現代の科学技術は、めざましく展開しています。一方で、資源、エネルギー、環境など、現代社会が抱える喫緊の問題は様々な課題を抱えており、科学技術だけで解決することは不可能です。そのためには、社会と科学が対話し一緒に問題解決する、トランス・サイエンスという考え方が不可欠です。

地域における“知の拠点”である公立千歳科学技術大学では、サケのふるさと千歳水族館、まちライブラリー@千歳タウンプラザの協力のもと、トランス・サイエンスの場である《オープンサイエンスパーク千歳》を開催しています。

千歳の強みである“豊かな自然がもたらす生態系サービス(水・緑・温泉)と交通アクセス”と、科技大の研究成果を融合した「スマート ネイチャー シティちとせ(SNC)」構想の実現に向けて、市民、企業、行政など様々なステークホルダーとの対話を通じて地域の現状を把握し課題を抽出するとともに、科学技術と科技大の役割を考える場なのです。

昨年度は『持続可能なパッケージングからインバウンド、国土強靱化まで』を主題として、三つのサブテーマをとりあげ、現状と課題について意見交換をいたしました。

- パッケージング、資源回収、マイクロプラスチックから考える循環型経済
- 着氷雪防止とインフラ整備
- インバウンドと国土強靱化

また、小・中学生を対象に次世代人材育成の一環として、千歳水族館と科技大キャンパスにおいて豊かな自然と先端科学技術に触れる体験コースを開催しています。



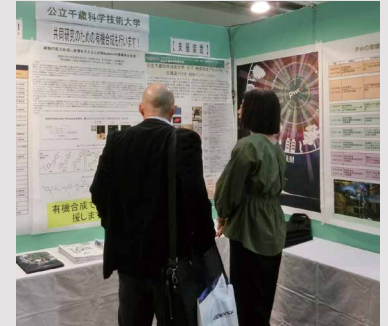
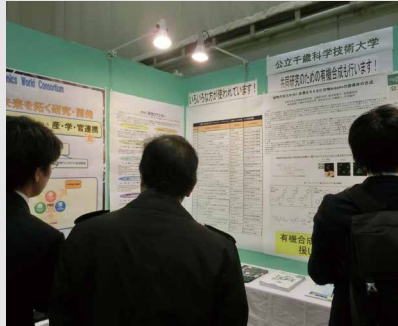
特任教授・地域連携センター
副センター長 下村 政嗣



詳細は特設サイトをご参照ください。 <https://snc.chitose.ac.jp/osp.html>

ビジネスEXPOに出展しました

11月7日(木)、8日(金)の2日間にわたり、アクセスサッポロ(札幌市)にて開催された北海道最大級のビジネスイベント「第33回北海道技術・ビジネス交流会」(通称ビジネスEXPO)に出展しました。本学からは、2012年度から文部科学省の採択事業である「ナノテクノロジープラットフォーム事業」について出展し、本学にて利用可能な機器の紹介や産学官の研究者に対して行っている総合的な支援等について活用事例の紹介を交えながら説明しました。今年度は330の企業・団体が出展し、2日間の来場者数は21,703名と大盛況でした。



市立札幌開成中等教育学校が プレ先端科学特論を本学で実施しました

10月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり、市立札幌開成中等教育学校の3年生(中学3年相当)と4年生(高校1年相当)の計39名が本学に来学し、同校設定科目の「プレ先端科学特論」の一環として、大学の授業を体験しました。同校は文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けており、「プレ先端科学特論」は、大学や研究機関の研究者による講演等を通して、先端科学技術に興味・関心をもち、科学的教養を身につけることを目的として設定されている科目です。当日は、「光の波動性を探る」と「光変色反応」の2つのテーマについて実験授業を実施し、光の色と波長についての実験や、スピロピラン化合物を使用した光変色反応の実験を行いました。実験の様子を写真に撮って記録したりするなど、どちらのテーマについても皆さん熱心に取り組んでいました。



北海道追分高等学校の 皆さんが来学しました

12月3日(火)、高大連携校である北海道追分高等学校2年生の皆さんが来学し、電子光工学科 長谷川誠教授と理工工房による、大学の紹介と理科実験講義を受講しました。実験講義では、紙コップと偏光フィルム、セロテープを使ってオリジナルの万華鏡を作成しました。作成した万華鏡を隣同士で交換して見比べてみるなど、皆さん楽しみながら実験に取り組んでいました。



青少年のための科学の祭典 千歳大会に理工工房が参加しました

11月10日(日)、北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)にて「青少年のための科学の祭典千歳大会2019」が開催され、本学からは理工工房が参加しました。同大会は科学技術の楽しさや面白さ、発見の喜びや感動を一人でも多くの青少年に体験してもらうことを目的として、千歳市においては2006年から始まり、2019年に14回目を迎えました。当日は19団体(高校、高専、大学、企業、市民団体など)が出展し、千歳市及び近隣地域から約2,900名の方々が来訪しました。実験・観察ブースでは、たくさんの児童・生徒が実験や工作などに取り組んでいました。また、視聴覚室では本学の理工工房がサイエンス教室(「味覚のふしぎ」)を実施し、こちらもたくさんの方々にご参加いただきました。



オープンサイエンスパーク千歳 「支笏湖デザインプロジェクト発足記念講演会」を 開催しました

12月3日(火)、支笏湖ビジターセンターにてオープンサイエンスパーク千歳「支笏湖デザインプロジェクト発足記念講演会」を開催しました。当日は、「王子軽便鉄道(山線)の歴史について」、「ドローンで広がる支笏湖の世界」、「仮想現実ARが広げる支笏湖と千歳市」などさまざまな講演が行われ、約40名の方にご参加いただきました。また、苔の洞門や支笏湖のイメージを立体的な映像として表現した作品がVRゴーグルを用いて披露されるなど、最新技術によって支笏湖の魅力を体験する場面もありました。オープンサイエンスパーク千歳はどなたでもご参加いただけます。



詳細については<https://snc.chitose.ac.jp/c/all/event>をご確認ください。
■支笏湖デザインプロジェクト特設HP: <https://shikotsu-dp.org>

第2回光テクノロジー応用懇談会において本学教員が講演しました

11月26日(火)、千歳アルカディア・プラザにて本学と特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が共催する「第2回光テクノロジー応用懇談会」が開催され、本学から、山林由明教授、Olaf Karthaus教授、河野敬一客員教授の3名が講演しました。当日は22名の方が集まり、それぞれの講演に耳を傾けていました。

■講演テーマ:

「公立千歳科学技術大学地域連携センターの概要」
情報システム工学科 教授 山林 由明
「ナノテクノロジープラットフォーム事業の概要」
応用化学生物学科 教授 Olaf Karthaus、客員教授 河野 敬一



山林 由明 教授



Olaf Karthaus 教授



河野 敬一 客員教授

研究・学生活動

教員及び学生が「研究会優秀賞」を受賞しました

本学の教員及び学生が一般社団法人教育システム情報学会「研究会優秀賞」を受賞しました。

この賞は、平成30年度教育システム情報学会研究会において特に優秀であると認められた研究発表に送られるものです。

受賞した研究発表は、学生ごとの習得状況の差が生じるプログラミングの科目の中で、クラス全体の知識・スキルの習得度を、発表者らが開発してきたeラーニングシステムのレベル判定テスト(CBT: Computer Based Testing)と授業課題の到達度を使って毎回の授業で把握・判断し、授業進度を調整する手法を提案・実践したものです。

Javaプログラミングの授業で、学生の習得状況の底上げ効果を示したことで、高い有効性を持つ意欲的な発表内容として評価をされました。



左から小松川教授、川瀬学長、山川専任講師、上野さん

■受賞者(著者):

山川広人(理工学部 情報システム工学科 専任講師)
上野春毅(大学院 光科学研究科 光科学専攻 博士後期課程 3年)
小松川浩(理工学部 情報システム工学科 教授)

■論文名:

CBTを活用した反転型授業のJavaプログラミング授業での実践

学生が公益社団法人高分子学会「優秀ポスター賞」を受賞しました。

本学の学生(下記2名)が公益社団法人高分子学会「優秀ポスター賞」を受賞しました。

この賞は、第68回高分子討論会において特に優秀なポスター発表者に送られるものです。



発表題目

微細突起構造を有する加硫ゴム表面の摩擦特性

■受賞者: 植村 駿さん
(大学院光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年)



発表題目

ウパオの吸盤を模倣した接着表面材料の開発

■受賞者: 大滝 晋平さん
(大学院光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年)

学生が北海道起業家甲子園2019で特別協賛企業賞を受賞しました

12月7日(土)に行われた北海道起業家甲子園2019に、本学の情報システム工学科から2チームが出場し、それぞれ特別協賛企業賞を受賞しました。

■特別協賛企業賞受賞チーム

「パナソニック システムソリューションズ ジャパン賞」

チームかもめ

YOSAKOIソーラン祭りとインターネットを繋げ、アプリを用いてYOSAKOIソーラン祭りを更に楽しみ快適にする情報発信を行うことで観客やリピーターを増やしていくビジネスプランを考え、スマートフォンアプリを提案しました。



情報システム工学科3年生 生川恵さん、澤岡勇太さん、中山慎吾さん、松田恒輝さん、紅葉勇実さん

「NTTドコモ北海道支社特別賞」

チームBreakin'

ストリートダンサーの技術向上のための交流の場が不足しているという課題解決をビジネスプランとして考えました。ダンスの初心者と上級者をつなぎ、無料のアドバイスとレッスン講座の販売を組み合わせた交流の場を提供する情報システムを提案しました。



情報システム工学科3年生 乾 史留さん、城 裕太郎さん、野村 昇平さん、山内 祐さん

北海道起業家甲子園2019について

北海道起業家甲子園2019は、総務省北海道総合通信局、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、一般社団法人北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会が主催する、ICT(情報通信技術)を活用したビジネスプランのコンテストです。

北海道におけるICTベンチャーの担い手となる人材の育成・発掘を目的としたコンテストで、起業セミナーによるスキルアップやメンタリングを経験した学生達が、ビジネスプランを競い合います。本年度受賞したチームの学生達は、自分たちの身の回りの課題を題材にして、授業外の課外活動として情報系のスキルアップに挑戦するプロジェクトメンバー活動の経験なども生かしながら発表に望みました。参加した学生の皆さんのさらなる活躍に期待します。

「インターンシップ成果報告会」を開催しました

インターンシップ成果報告会を、10月8日(火)、15日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果報告会は、学生が夏休み中に参加したインターンシップでの学びをまとめ、報告する場として例年開催しております。令和元年度は、学部3年生118名が68事業所でのインターンシップに参加し、参加率は59.6%となりました。

この報告会には、受入事業所のご担当者様にもご参加いただいております。今年度は、両日あわせて47の受入事業所より81名の皆様がお越しくださいました。報告会では、企業の皆様を中心に、多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学修を深めることができました。

なお、報告会実施にあたっては、本学の4年生がティーチングアシスタントとして、3年生の発表資料の作成や練習を1ヶ月以上にわたりサポートし、また、報告会当日は各教室での司会進行も担当しました。

また両日とも、第二部として、参加事業所の皆様にご協力いただき、学生との「意見交換会」を本学学生ホールにて実施しました。ここでは、学生が実際にインターンシップを行った事業所だけでなく、他の事業所の皆様とも忌憚なく対話をする中で、これから本格化する就職活動や社会人としてのあり方などについて、参加された事業所の皆様から貴重なお話をいただくことができました。また、学生も積極的に質問するなど、大変有意義な時間となりました。なお、意見交換会の開催にあたっては、本学同窓会のご協力をいただきました。



成果報告会の様子



意見交換会の様子

■2019年度 インターンシップ受入先

アイコムシステック株式会社、株式会社I・TECソリューションズ、株式会社イクスギ、株式会社インサイトテクノロジー、Vineyard Works株式会社、株式会社上田商会 千歳工場、株式会社エスイーシー、NPO法人 ezorock、エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社 札幌支店、株式会社NTT東日本-北海道、株式会社エフビーエス、株式会社エム・ソフト、及川産業株式会社、大森機械工業株式会社、長田電機工業株式会社、株式会社カミン、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、クオリサイトテクノロジー株式会社 北海道開発センター、クローバー電子工業株式会社、株式会社三技協イオス、株式会社シー・シー・ダブル、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、陣上工業株式会社、株式会社積水化成品北海道、株式会社ダイナックス、株式会社ダイヘン 千歳工場、千歳印刷株式会社、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市役所 観光スポーツ部交流推進課、千歳市役所 建設部電気設備課、千歳市役所 認定こども園つばさ、千歳市立向陽台小学校、千歳市立桜木小学校、千歳市立高台小学校、千歳市立図書館、千歳市立北栄小学校、千歳市立北斗中学校、千歳市立緑小学校、中央コンピューターサービス株式会社、株式会社つづけん、DIC北日本ポリマ株式会社、株式会社TBK 福島工場、東芝ホクト電子株式会社、東洋熱工業株式会社、札幌支店、株式会社東和コンピュータマネジメント、日興電気通信株式会社、日本アルゴリズム株式会社、株式会社ニッポンダイナミックシステムズ、一般財団法人日本食品分析センター 千歳研究所、株式会社ネクス、株式会社ハイマックス、函館エヌ・ケー株式会社、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、株式会社プリンガ、北海道ガス株式会社、北海道中央葡萄酒株式会社、北海道日興電気通信株式会社、学校法人北海道立正学園 旭川実業高等学校、株式会社牧野技術サービス、美和電気工業株式会社、武蔵エンジニアリング株式会社、株式会社モノリス、株式会社もりもと、株式会社山三ふじや (五十音順/敬称略)

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で開催しました。10月30日(水)に東京ガーデンパレス(201社258名参加)および11月12日(火)に札幌ガーデンパレス(137社180名参加)にて開催しました。

第1部の大学紹介では、本学の様々な取り組みや就職状況等について説明を行いました。また、札幌会場ではインターンシップ参加学生による成果報告会も行いました。第2部の情報交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。今年度も両会場とも多数の企業様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

当日のプログラムは下記の通りです。

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
 - ・大学紹介(学部長 山中 明生)
 - ・就職状況について(キャリアセンター長 吉本 直人)
 - ・(札幌会場のみ)インターンシップ参加学生による成果発表
 - ・教職員紹介

【第2部】 ●名刺交換会 ●個別相談会



若年求職者向け就職支援セミナーを開催しました

「若年求職者向け就職支援セミナー」を本学で開催しました。この事業は千歳市および千歳工業クラブ(第2回のみ)と共催で実施しております。

第1回は、10月25日(金)に株式会社青山プロダクション 代表取締役の青山夕香さんを講師にお招きし、「行動心理学を身につけて相手と上手に付き合う」と題して、ご自身の体験されたエピソードを元に、あいさつや返事、相手に対する気遣い等のコミュニケーションから仕事に対するマインドについてご講演いただきました。参加者からは「何か行動をおこすにあたって前向きに考えようと思った」「やはり仕事を楽しんでいることが一番大切であると改めて感じた。そして行動することも大切だと思った」、「人との関わり方の心得を聞いて良かったです。これからの学生生活や社会人生活で活用できると感じました」など、前向きな感想が寄せられました。

また、第2回は、11月15日(金)に株式会社エヌ・ケーエンジニアリング 代表取締役の興村俊弥さんを講師にお招きし、「生物多様性と自己実現」と題して、自己実現に向けてSDGsやリスクマネジメント等、多角的な視点からご講演いただきました。参加者からは「就職後の実体験に加え自然環境のことなど様々なことを聞くことができとても参考になった」「企業などの組織で、自分がどのような姿勢で仕事や周囲の人々と向き合うかの参考になりました」「社会人として身につけるべきことや、学生のうちにやっておけることなどを知ることができたのでとても良い講話でした」という感想が寄せられました。



第1回 青山夕香さん



第2回 興村俊弥さん

入試情報

夢ナビライブ2019仙台会場に参加しました

10月5日(土)、夢メッセみやぎで開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2019仙台会場」に参加しました。「夢ナビライブ」とは、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を大学関係者に直接質問し、大学について説明を受けることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまたとないチャンスイベントです。当日は10,150名の来場者がありました。本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井賢一准教授の2名の先生が講義を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受け、質問する姿が見られました。



「色鮮やかな光をつくる化学の魅力」
応用化学生物学科 准教授 坂井 賢一

「コーヒークラを作ろう！ブースで試食可！」
応用化学生物学科 教授 Olaf Karthaus



オープンキャンパスへのご参加ありがとうございました

2019年度のオープンキャンパスは6月16日(日)の第1回を皮切りに、10月まで計4回開催し、延べ905名の高校生や保護者の方々にご参加いただきました。オープンキャンパスでは、模擬講義や研究室見学、在学生との交流会、アトリウムイベント等、様々なプログラムを実施し、明るく元気な学生スタッフが、皆さんをおもてなしました。

2020年度の開催内容、申込みの開始時期については、大学ホームページ等でご案内します。



2020年度 オープンキャンパス日程

第1回 6/14(日) | 第2回 8/1(土)・8/2(日) | 第3回 10/4(日)

時間 10:30~15:15(予定)

※オープンキャンパスへのご参加は大学ホームページからの事前申し込みが必要です。



10月20日(日) 校輝祭



10月20日(日) 校輝祭



10月14日(月・祝日) CIF'20 千歳科学国際フォーラム



12月3日(火) オープンサイエンスパーク



10月26日(土) 令和元年度 保護者懇談会

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略、50音順)

公表を希望されない寄附者様につきましては、「外匿名希望〇名」という形で掲載させていただきました。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(2019年10月1日から2019年12月31日まで)

阿部 安希子 安藤 広美 金川 直人 川合 敏雄 白瀬 公信
田岡 真典 藤原 伸保 正田 真琴 水山 辰也他
ほか匿名希望の方14名

敬称略

本学へのご寄附のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!

◀カーギー

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。

Twitter、Instagram どちらもIDは@cistkoho で検索ください。

TwitterとInstagramで情報発信中!

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田(かぎた)ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2020 7/1

Volume

51

公立大学の一年を経過して。

- 3P | トピックス
第1回連携ネットワーク会議を開催
- 4P | 研究・学生活動
2019年度
部・サークル活動実績
- 5P | 就職キャリア支援
2019年度 卒業者の進路状況
- 6P | 教育連携・研究支援/コラム
企業訪問による
連携活動について

公立大学の 一年を経過して

公立大学法人
公立千歳科学技術大学 理事長・学長

川瀬 正明



最初に、保護者の皆様や同窓生を含む本学関係者の皆様が、新型コロナウイルス感染症への対応で大変な日々を送られていることにお見舞いを申し上げ、一日も早く平常に戻るよう心から願う次第です。

さて、本学は2019年4月に93番目の公立大学としてリスタートしました。

この春で1年になりましたが、この時期にコロナウイルス感染症が急速に蔓延し、公立大学として初の卒業式、2回目の入学式を中止せざるを得ない状況に至りました。その点を除いて、公立化1年のスタートを順調に踏み出せたと考えています。

公立化にあたって本学は3つの改革を約束しました。それは「経営改革」、「教育改革」、「地域貢献の一層の推進」です。

「経営改革」では千歳市からの運営費交付金により、学生が負担する授業料は私学時代に比べておよそ半額になりました。入試では全国から優秀な受験者の応募があり、240人の定員に対して今春は262人の入学生を迎え、計画より1年早く学部の収容定員(960人)を満たすことができました。

「教育改革」では文部科学省の補助事業である、「大学教育再生加速プログラム」が昨年度で完了し、その成果はカリキュラム体系の再構築等、全学的授業改善に反映しています。残念ながらコロナウイルス感染症により、授業形態を大幅に変更することを余儀なくされていますが、本学のe-ラーニングシステムの実績をふまえて、他大学に先駆けて早期に遠隔講義を立ち上げることが出来ました。

「地域貢献」に関しては新たに発足した地域連携センターの体制と活動が本格化し、市内の関係機関に参加いただいて「地域連携ネットワーク」を発足することが出来ました。こちらも体制、枠組みが出来たところで活動の制限を余儀なくされていますが、市民との連携の場であるオープンサイエンスパーク千歳を昨年度は4回開催し、最近では、登校できない市内の子ども達に、学生ボランティアが遠隔による学習支援を実施するなど、本学の特徴を生かした貢献を行っています。

コロナウイルス感染症の影響で5月末現在、講義はすべてonline で実施しています。学生の多くが経済的な不安を抱える中、本学独自の施策として、早い段階で学生のonline 講義受講の環境整備に努め、Wifi 機器の貸し出しや、5月末には全学生を対象にした支援金の給付を決定したところです。

しばらくはコロナウイルス感染症への対策を続けることとなりますが、その中でも本学が有する、これまでの蓄積やノウハウを活かした教育や地域貢献を実施して参ります。さらに2022年の完成に向けた新棟の基本設計も終え、施設面も含めて着実に歩みを進めておりますので、今後ともご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった主な行事

■2020/2/14「英語スピーチコンテスト」中止 ■2020/2/29「eカレッジ表彰式」中止 ■2020/3/20「学位記授与式」中止 ■2020/4/3「入学式」中止
■2020/6/14「第1回オープンキャンパス」中止 ■2020/8/1・2「第2回オープンキャンパス」中止

トピックス

連携ネットワーク会議を立ち上げました

本学では、2019年4月の公立化に合わせ、地域と大学をつなぐ「地域連携センター」を立ち上げました。同センターは、持続可能なまちづくりに向けて様々なステークホルダーと連携し、千歳市が抱える課題を抽出し、本学の研究・教育成果を活用することにより解決を図る「スマートネイチャーシティちとせ」構想(SNCちとせ構想)を推進する機関として活動を展開していきます。

同センターでは、2020年2月28日(金)、本学において「第1回連携ネットワーク会議」を開催し、本学の教育研究に関する知見を活用し

た連携事業や、構成団体による連携によって取り組む事業などについて意見交換が行われました。本ネットワークは、千歳市内における行政機関・高等教育機関・経済団体等が連携し、地域が抱える課題解決に向けて取り組むとともに、構成員相互の情報共有や協力により、地域社会の活性化や産業の振興などを図ることを目的として設立されました。千歳市をはじめ、以下の15団体から構成され、今後、構成員相互の情報交換・情報共有及び高等機関等による市民向け連携公開講座の開催などについて検討していきます。

■構成団体

行政機関(1団体):千歳市
 教育機関(3機関):公立千歳科学技術大学、北海道千歳リハビリテーション大学、日本航空専門学校
 経済団体(3団体):千歳商工会議所、千歳観光連盟、千歳青年会議所
 地域団体(7団体):自然公園財団(支笏湖ビジターセンター)、千歳市社会福祉協議会、千歳青少年教育財団、千歳市町内会連合会、千歳市体育協会、ちとせ環境と緑の財団、国立公園支笏湖運営協議会
 産学官連携推進団体(1団体):ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)



「オープンサイエンスパーク千歳」を開催しました

SNCちとせ事業の一環として、「オープンサイエンスパーク千歳」を開催しました。

■開催概要

日時	2020年1月17日(金) 17:00~20:00	日時	2020年3月21日(土) 11:00~17:00
場所	千歳タウンプラザ まちライブラリー	場所	さっぽろ創世スクエア SCARTSモール 歩道空間
テーマ	持続可能なパッケージング~科技大の取り組み~	テーマ	支笏湖デザインプロジェクトAR展示会
内容	2018年11月2日に、まちライブラリーにて開催したオープンサイエンスパーク千歳「パッケージング、資源回収、マイクロプラスチックから考える循環型経済」において抽出された課題解決にむけて、公立千歳科学技術大学において取り組んだ研究成果を報告しました。	内容	展示の部では「支笏湖デザインプロジェクト」の成果を会場展示とオンライン配信にて紹介し、講演の部では講演及びパネルディスカッションの模様をライブ配信。観光産業におけるAR技術のあり方、とりわけ、感染症などの非常事態発生時におけるリスク分散のツールとしての有効性を確認するとともに、今後の課題を抽出しました。

新型コロナウイルス感染症の影響に係る学生への経済的支援について

本学では、新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン授業実施に伴う学習環境の整備およびアルバイト先休業等による収入の減少等に対し、以下の2種類の経済的支援を実施しています。

(1)緊急生活支援金給付

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン授業受講に伴う通信環境整備、アルバイトの減少に伴う生活費の減少等、学生生活を送る上で収入の減少や出費の増加などの影響に対し、緊急生活支援金を給付します。

- ①給付対象者:本学の学部生、大学院生で緊急生活支援金の給付を希望する学生(2020年5月1日時点での休学者を除く)
- ②給付金額:自宅生 一人 30,000円 自宅外生 一人 50,000円

(2)大学院生家計急変者対象授業料減免特別措置

新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変し、経済的理由により授業料の納付が困難となった学生のうち、国が実施する「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない大学院生を対象に、授業料を減免します。

- ①減免対象者:新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した大学院生
- ②減免額:授業料年額の「全額」、「3分の2」、「3分の1」のいずれかの額(家計の状況により決定する)

※経済的支援の詳細についてはホームページをご覧ください。

2019年度 部・サークル活動実績

硬式テニス部

- ・全日本大学対抗テニス王座決定試合 北海道地区予選第51回 北海道学生テニスリーグ参加 5部リーグ昇格

軟式野球部

- ・第26回春季リーグ戦大会 3部リーグ4位 3部残留
- ・新人戦大会 一回戦敗退
- ・第26回秋季リーグ戦大会 3部リーグ6位 4部降格

卓球部

- ・北海道春季学生卓球選手権大会 リーグ5位
- ・第89回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部) リーグ4位
- ・TSP杯争奪恵庭市団体卓球選手権大会 一般の部出場
- ・北海道秋季学生卓球選手権大会 団体の部 リーグ5位

バドミントン部

- ・第74回国民体育大会バドミントン競技会 成年男子シングルス 初戦敗退
- ・第68回北海道学生バドミントン選手権大会 兼第5回全日本学生ミックスダブルス選手権大会北海道予選会 男子シングルス 二回戦進出、初戦敗退 男子ダブルス 二回戦進出、初戦敗退 ミックスダブルス 初戦敗退
- ・第66回北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会 初戦敗退
- ・第50回北海道学生バドミントン新人戦大会 男子団体 二回戦敗退 男子シングルス 初戦敗退

弓道部

- ・第66回全道学生弓道選手権大会 個人・団体共に予選敗退
- ・インカレ個人北海道地区予選大会 敗退
- ・第66回男子争覇戦(Ⅱ・Ⅲ部)団体出場 6位
- ・争覇戦入れ替え戦(Ⅲ・Ⅳ部)Ⅲ部残留

ストリートダンス部

- ・長島茂雄INVITATION セガサミーカップゴルフトーナメント ダンス枠パフォーマンス出場
- ・恵草祭 ショーケース ダンスパフォーマンス出場
- ・稜輝祭 パフォーマンス出場
- ・Supernovaパーティー vol.3バトル初戦敗退

YOSAKOIソーラン部

- ・第28回YOSAKOIソーラン祭り参加
- ・島松駐屯地創立67周年記念行事にて演舞披露
- ・千歳トーナメント2019「スカイピア&YOSAKOI祭」参加

- ・くりやま夏祭りにて演舞披露
- ・第19回胆振・千歳支部大会「YOSAKOIソーランinむろらん」参加
- ・恵庭わくわくフェスティバル参加
- ・千歳盆踊り大会参加
- ・YOSAKOIソーラン祭り道南大会参加
- ・胆振東部地震復興支援企画 YOSAKOIソーラン演舞会
- ・千歳・アンカレッジ市姉妹都市提携50周年記念式典にて演舞披露
- ・児童養護施設 天使の国 エンゼル祭にて演舞披露
- ・栗山天満宮秋季例大祭にて演舞披露
- ・白老八幡神社例大祭「大乱舞IN白老」にて演舞披露
- ・稜輝祭にて演舞披露
- ・NHK新BS1にほんの歌にてバックダンサーをつとめる
- ・さっぽろ雪まつり つどい会場にて演舞披露
- ・第14回光と水のオブジェにて演舞披露

フットサル部

- ・2020コンサドーレ・エスポラーダカップ ～全道市町村サッカー・フットサル大会出場 予選敗退

軽音学部

- ・大学交流ライブ参加
- ・公立千歳科学技術大学稜輝祭にてライブ

男子バスケットボール部

- ・第71回北海道大学バスケットボール選手権大会 男子4部リーグ 準優勝
- ・第4回ウインターリーグ 男子Dリーグ5位

ライトアート工房

- ・第1回～第3回オープンキャンパスでの展示「クラヤマラボ」実施
- ・稜輝祭での展示「クラヤマラボ」実施

写真部

- ・“PHOTO IS”想いをつなぐ。50000人の写真展応募
- ・第14回 花と緑の写真コンテスト応募
- ・稜輝祭 写真展示及び開催風景撮影
- ・第14回 花と緑の写真コンテスト 一般部門 銅賞1名

理科工房

- ・恵庭子ども塾「おもしろ理科実験教室」参加
- ・北広島西高校大学見学対応
- ・あそびの日in千歳2019(日の出小学校)参加
- ・札幌日大高校SSH実験研修
- ・さっぽろ・子ども情報誌「あそび」取材対応 実験紹介
- ・札幌あすかぜ高校2年生見学対応
- ・さっぽろ水道フェスタ2019参加
- ・千歳市千歳小学校6年生 実験授業

- ・千歳市内児童館まつり参加
- ・千歳市立図書館 図書館祭り「科学実験教室」参加
- ・安平町早来中学校1年生 校外(大学訪問)学習対応
- ・恵庭市恵庭中学校3年生 大学訪問学習対応
- ・苫小牧市青翔中学校2年生 大学訪問学習対応
- ・千歳市緑小学校6年生 実験授業実施
- ・平取町びらとり義経塾 理科実験教室参加
- ・障がいのある方との懇談会
- ・石狩市子ども未来館あいぼーと科学実験教室参加
- ・千歳市民文化センター文化祭カルチャーミックス2019「子ども科学体験教室」参加
- ・キリンビールビアフェスティバル参加
- ・千歳市放課後子ども教室 千歳小学校参加
- ・東京美装 職場体験生(千歳高等支援学校1年生3名) 科学体験実施
- ・ふるさとポケット参加
- ・進路のミカタLIVE2019札幌会場 ワク! Work! 学校祭参加
- ・認定子ども園千歳春日保育園 科学実験体験実施
- ・認定子ども園ひまわり 科学実験体験実施
- ・札幌開成中等教育学校プレ先端科学特論実施
- ・認定子ども園つばさ 科学実験体験実施
- ・石狩管内教育研究会小学校理科部会二次研究協議会アトラクション参加
- ・旭川南高校1年生見学対応
- ・余市町宇宙記念館「宇宙ふれあいデイ」出張サイエンスショー参加
- ・文部科学省見学対応
- ・科学の祭典・千歳大会 参加
- ・追分高校2年生 大学見学対応
- ・千歳市緑小学校6年生 実験授業実施
- ・科学の祭典・北広島大会参加
- ・第4回恵庭ままつ「理科実験&理科工作体験コーナー」参加
- ・第10回仲の橋通り商店街ふゆまつり参加
- ・千歳道新文化センター親子科学教室参加
- ・札幌市青少年科学館「大学生による科学教室」

菜園サークル

- ・野菜の種まき
- ・第32回花いっぱいコンクール 花壇部門 中学校等の部 最優秀賞受賞
- ・花壇への花植
- ・稜輝祭にてカレー販売
- ・野菜収穫

FMac

- ・まちライブラリー@千歳タウンプラザにみんな集まらさる～出会いに感謝の1dayイベントに参加
- ・オープンサイエンスパークにて千歳バーガープロジェクト活動報告

就職・キャリア支援

「OB・OG対話」を開催しました

2019年12月17日(火)、2020年1月10日(金)に、本学にて「OB・OG対話」を開催しました。今年度は両日合わせ27社30名の卒業生にご協力いただきました。「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。参加した学生からは、「業界の詳しい話を知れて新たなモチベーションになった」「就活に対する意識が高くなった」などの声が聞かれ、自身の就職活動や就職後の働き方などについて、改めて考えるきっかけになった様子が伺えました。



12月17日(火)にご参加頂いた皆様(企業名順)

- 株式会社アルファシステムズ
- 株式会社ネクシス
- 医療システムズ株式会社
- 富士電機株式会社
- NTTエレクトロニクス株式会社
- 株式会社マースエンジニアリング
- 株式会社NTT 東日本-北海道
- 株式会社マイナビ
- 株式会社三技協イオス
- ミハル通信株式会社
- 東テック北海道株式会社
- 株式会社ミライト・テクノロジーズ
- 株式会社ドコモ CS 北海道
- 株式会社ユニシス

1月10日(金)にご参加頂いた皆様(企業名順)

- 株式会社A D E K A
- 日本通信エレクトロニック株式会社
- 株式会社インサイトテクノロジー
- 株式会社日立製作所
- 株式会社上田商会
- 株式会社芙蓉ビデオエージェンシー
- 大井電気株式会社
- 株式会社ブリッジ
- 長田電機工業株式会社
- 北海道日興電気通信株式会社
- 株式会社協和エクシオ
- 美和電気工業株式会社
- 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア

学内業界研究セミナーを開催しました

2020年2月5日(水)、10日(月)、12日(水)~13(木)の4日間の日程で、本学体育館にて「学内業界研究セミナー」を開催し、期間中257社の企業にご参加いただきました。

本セミナーは、キャリア教育の一環として希望する業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動へ向け、ミスマッチがおきかないよう業界・仕事への理解を深めることを目的として実施しています。学生も最初は緊張した面持ちでしたが、各企業の採用担当者の方や本学出身の先輩社員などから様々なお話をしていただき、これから本番を向かえる就職活動に向け、意識が高まった様子でした。



求人数・就職率

■求人票数
(2020年3月31日現在)
701件

■2019年度卒業生の
進路状況
(2020年3月31日現在)

就職決定者 **135**名

就職率 **99.3%**

※就職率=就職決定者÷就職希望者

進路決定率 **93.8%**

※進路決定率=就職決定者数÷(全卒業生数-進路決定者数)

2019年度卒業生の進路状況

2019年度は就職活動の早期化が一段と進みましたが、そのような状況への的確な対応と支援により、早期に多くの学生が内定を獲得しました。早期に進路決定とならなかった学生についても粘り強く就職支援を行ったため、就職率・進路決定率ともに高い水準となりました。

●主な就職先 2019年度卒業生実績(五十音順)

- アイシン・ソフトウェア株式会社
- 株式会社ID
- 株式会社I・TECソリューションズ
- 株式会社アウトソーシングテクノロジー
- アクティブ株式会社
- 株式会社アシスト北海道
- 株式会社ADEKA
- 阿部鋼材株式会社
- 株式会社アマダホールディングス
- 株式会社あらた
- 株式会社アルトナー
- 株式会社アルファネット
- 株式会社インサイトテクノロジー
- 株式会社インターパーク
- 株式会社インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン
- 株式会社上田コンクリート工業所
- 株式会社ウェブ東海
- 株式会社エイチ・アイ・ティ
- 株式会社エイチ・エル・シー
- 英和株式会社
- 株式会社A I S北海道
- SOC株式会社
- SBテクノロジー株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
- 株式会社NTT 東日本-北海道
- 株式会社NTT 東日本-南関東
- 及川産業株式会社
- オムロンフィールドエンジニアリング北海道株式会社
- 株式会社北弘電社
- 北見信用金庫
- 株式会社キムラ
- クオリサイトテクノロジー株式会社
- 釧路市役所
- ゴールドバック株式会社
- 札幌市立中学校(期限付)
- 札幌市立中学校(期限付)
- 株式会社三技協イオス
- 三友プラントサービス株式会社
- ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
- 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア
- 株式会社新和
- 株式会社スタッフサービスエンジニアリング
- セントラル警備保障株式会社
- 株式会社ソフトコム
- 第一硝子株式会社
- 大和ステンレス工業株式会社
- 株式会社つうけん
- 帝人メディカルテクノロジー株式会社
- 株式会社アータサービス
- 株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社
- 株式会社デザインネットワーク
- 株式会社出村商店
- 東芝デジタルソリューションズ株式会社
- 東テック北海道株式会社
- 株式会社東和コンピュータマネジメント
- 株式会社ドコモCS北海道
- 株式会社ニッセイコム
- 日鉄テックスエンジ株式会社
- 日本貨物鉄道株式会社
- 日本ケーブル株式会社
- 日本コムシス株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 日本リーテック株式会社
- 日本アイピーエム・ソリューション・サービス株式会社
- 日本コンピューターサイエンス株式会社
- 日本システムワープ株式会社
- 一般財団法人日本食品分析センター
- 株式会社ニユートン
- 株式会社ネクシス
- ネットソフト株式会社
- ネットワークシステムズ株式会社
- パイプHD株式会社
- 株式会社ハイマックス
- 函館どつく株式会社
- 株式会社セップ
- 株式会社FUJI
- 富士インフォクス・ネット株式会社
- 株式会社富士通ソリューションズラボラトリ
- 株式会社芙蓉ビデオエージェンシー
- 株式会社ブリング
- ヘルスケアータルソリューションズ株式会社
- 株式会社ホクスイ設計コンサル
- 北海道紙管株式会社
- 北海道キックマン株式会社
- 北海道教育委員会
- 北海道教育委員会(期限付)
- 株式会社北海道クボタ
- 北海道建設部建築局建築整備課
- 株式会社北海道中央牧場
- 株式会社マーキュリー
- 株式会社マースエンジニアリング
- 株式会社マルハニチロ北日本
- 三菱電機ビルテクノサービス株式会社
- ミハル通信株式会社
- 美和電気工業株式会社
- 株式会社メイテックフィルダーズ
- ユニオンターシステム株式会社
- 横浜コム株式会社
- 陸上自衛隊
- 株式会社臨海[大学院進学]
- 大阪大学大学院
- 公立千歳科学技術大学大学院
- 北海道大学大学院

コラム
第3回

地域連携センターについて

企業訪問による連携活動について

地域連携センターは本学の公立化に合わせて2019年4月、大学院棟1階に設置され、2019年度は技術コーディネーター2名による企業訪問・技術相談をはじめ、行政機関・市民団体などからたくさんの協力依頼がありました。下記に2019年度の活動の中から企業訪問による連携活動についてご報告いたします。

■コーディネーター紹介

氏名は高橋理(タカハシオサム)、経歴は日立北海セミコンダクタ株式会社及びミツミ電機株式会社でトータル37年半導体製造技術及び半導体プロセス開発を勤めました。業務ではこの「量産ものづくり」及び「開発」の経験を生かしたいと考えています。現在の趣味は釣り、特に秋のサケ釣りは毎週海に通っています。



コーディネーターによる企業訪問活動まとめ

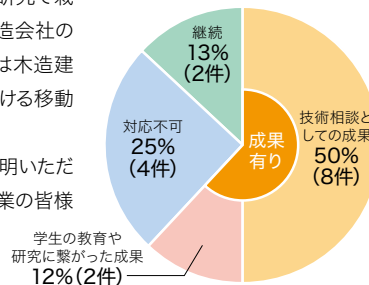
■2019年7月に採用いただき、本学の研究シーズ把握後の9月から企業訪問を始めました。初回訪問では大学の知を活用していただけるよう研究シーズ集及びナノテク(※1)資料の配布、地域連携センターの紹介を行い技術相談や共同研究等のニーズを伺ってきました。

■9月から3月までの企業訪問件数は初回訪問が56件、2回目以降の訪問も入れた累計は67件となります。この活動から合計16件の依頼をいただきました。依頼に対する成果まとめは図1に示しましたように教員に繋げる事ができた「成果有り」が技術相談としての成果8件、学生の教育や研究に繋がった成果2件の合計10件、「対応不可」が4件、「継続」が2件となりました。「対応不可」4件は企業ニーズと大学シーズがマッチングしないものや企業側の業務都合等によるものがありました。「成果有り」の主な事例として技術相談では、レストランの依頼から青木准教授の研究で栽培している太陽光を使わない野菜の活用、学生の教育に繋がった成果では、食品製造会社の依頼から曾我教授による千歳ハムプロジェクトの立上げ、「研究に繋がった成果」では木造建築物設計製造販売会社の依頼から下村教授、曾我教授、吉田教授による厳寒期における移動式仮設住宅の性能評価に関する研究などがあります。

■企業訪問では、事業内容の質問に対しても幹部の方や担当の方から非常に丁寧に説明いただきました。また工程見学させていただいた企業も多かったです。ご対応いただいた企業の皆様に大変感謝しております。今後も地域と本学が連携できるよう取り組んでいきます。

※1: ナノテクノロジープラットフォームの略

図1/16件の依頼に対する
対応成果まとめ



活動事例は本学ホームページをご参照ください。

公立千歳科学技術大学 地域連携センター

<https://snc.chitose.ac.jp/>

新入教員挨拶

世界に貢献できる
国際力と人間力

副学長/研究科長 教授 宮永 嘉一



全世界を巻き込んで、COVID-19という感染症があらゆる領域に大きな影響を与えています。医学、薬学、工学、理学の他、政治や経済学など、我々の持つすべての技術をもってしても、簡単には解決できない状況となっています。持続可能な世界を形成するため何をすべきか、

深く考えさせられます。本質は、世界に貢献できる国際力を有すること、そのための、高い知性とすぐれた人格を有する、世に有為なる人間力を育てることだと思います。本学の理念は、理工学の分野における卓越した人間力の実現であることであり、何が起るかかわからない、今後の世界に重要な人材育成であると強く感じます。今までは、自分の周りにはいる、様々な国の友人たちと、人工知能ロボットや省エネルギー無線システムなどの研究をしてきましたが、今後は、より広い、異分野の世界との連携も背景に、皆さんと一緒に、国際力と人間力を育ててゆきたいと考えています。

コロナ禍での着任と 教育研究開始に寄せて

情報システム工学科 教授 福田 浩



本年4月に情報システム工学科に着任致しました福田浩と申します。宜しく御願ひ申し上げます。今年は4月から通常通りの授業等が行えず、先輩の先生方、職員の皆様のご指導、ご協力の下、手探りで教育研究を進めているところです。皆様方が様々な創意工夫で非常事態を乗り切る姿勢を目の当たりにして、感心することばかりです。英知が結集している大学の本領を垣間見たと思っております。私自身は、奇しくも、学生に対しても自分自身に対しても、静かに向き合う時間を十分にとることができ、新鮮な発見とともに毎日を過ごしています。今は世界的かつ歴史的な転機にあると思いますが、大学の基本的な役割に大きな違いはなく、むしろ教育形態の多様化に向けてその役割は重要度を増すと信じています。今や日本の総生産の10%を担うようになった情報通信産業に優秀な人材を出し続けるとともに、北の大地から最先端の研究成果を創出することを目指します。

デジタルナレッジと グローバル思考で 世界にチャレンジ

特任教授 川名 典人



2020年1月に本学に着任致しました。専門領域は英語教授法と観光ICTです。前職の大学は英語教育で効果的な学びを研究しました。特にeラーニング、ブレンデッド・ラーニングでは、それに相応しい教室設計や授業手法を研究してきました。また、観光ICTでは遠隔地での観光情報発信のあり方を研究してきました。例えば、人型ロボット ペッパーを利用した“多言語によるおもてなし戦略”を世界自然遺産に登録された知床地区で実施しました。

本学では地域を知り、地域連携を深める「千歳学」や、SDGsにつながる「地域課題プロジェクト」、そしてグローバルに活躍するために必要な英語を鍛える「英語プレゼンテーションスキル」を担当いたします。本学では地域貢献とグローバル人材育成をキーワードに研究と教育で貢献したいと思っております。よろしく御願ひ致します。

水文学を基礎とした 教育研究の展開

応用化学生物学 准教授 井手 淳一郎



4月に着任しました。これまで様々な場所に移り住んできましたが、北海道には初めて住みます。かつて北欧に住んだことがあるので、類似した環境かなと思っていましたら、北海道の方が生物多様性に富んでそうです。

これまで水文学を基礎として、森林の種類や管理が河川流域の水・

物質循環にどのような影響を及ぼすかを解明する研究を行ってきました。また、このような研究を通じて、フィールドワークを主体とした環境科学に関する教育を行ってきました。

私の専門分野では水・物質循環と生物との相互作用の解明だけでなく、人間活動がこの相互作用にどのように影響するか、また、環境に配慮して人間活動を持続するにはどうすればよいかを追求します。広大な北海道のフィールドを舞台に、学生の皆さんとともに環境に関する諸問題に取り組み、さらに、水・物質・エネルギーに関する地域課題の解決に貢献していきたいと考えています。よろしく御願ひ致します。

「ソフトウェアとは何か」を 学生と共に追求

情報システム工学科 准教授 萩原 茂樹



この3月に情報システム工学科に着任いたしました。以前は2017年まで東京工業大学で、2017年から今年の2月まで東北公益文科大学で、ソフトウェアや情報セキュリティの研究・教育に従事しておりました。特に形式手法と呼ばれる数学に基づいた手法を用いて、誤りや脆弱性のない安全なシステム(ソフトウェア、暗号プロトコル、業務プロセスなど)を構成する手法を研究しております。この研究は、「計算とは何か」「ソフトウェアとは何か」という極めて複雑なものの本質を捉えることにつながります。本学でも、数学やソフトウェア、そしてそれらのつながりに興味がある学生と共に、この研究を通じて、この本質的な問いの答えを見つけていきたいと考えています。皆様のお助けをいただきながら、これまでの経験をもとに研究・教育・地域貢献に精進いたします。どうぞよろしく御願ひいたします。

数学と科学技術

助教 本多 俊一



3月に共通教育に着任した本多俊一です。生まれてからずっと国道36号線の通る市町村に住んでおり、千歳市にはとても愛着があります。前職は北海道大学数理・データサイエンス教育研究センターで数理・データサイエンス教育の研究に従事していました。個人としては数学(特異点論の微分幾何学への応用)の研究をしています。

本学では数学科目およびデータ解析科目を担当します。数学およびデータ解析は諸科学を支える世界共通言語であり、今後の技術革新に対応出来る人材に求められる素養の一つです。数学科目およびデータ解析科目の教育を通して、次世代を担う技術者の育成に貢献していきたいと考えています。

また、(数学教員を目指す学生を含めた)数学を学びたい学生および数学に苦手意識のある学生などに対して、オフィスアワーや就学支援室を有効活用し、学生の皆さんと共に一所懸命努めていきたいと考えています。よろしく御願ひ致します。

新入職員挨拶



学生支援課 教務係
主事 犬飼 康二

2020年4月1日から公立千歳科学技術大学に採用になり、学生支援課教務係に配属となりました犬飼康二と申します。4年前までは室蘭工業大学で7年間ほど勤務していましたが、学生支援部門の業務に就くのは今回がはじめてとなります。まだまだ分からないことが多く、ご不便をおかけしますが、これから微力ながら本学の発展に貢献できるよう、精一杯務めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学生支援課 学生係
主事 香田 隼人

学生系の業務に従事しております。学生さんと関わりながら業務を行うことで、新鮮な日々を過ごしていると感じております。どの業務も学生目線に立つのを忘れずに、より良くできるものは新たにチャレンジしていきたいと考えています。今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年に比べてイレギュラーな事が起こると思いますが、学生さんが安心して学生生活を過ごせるように精一杯努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

入試情報

2021年度入試日程

試験種別	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間
一般選抜	前期日程 2021年 1月25日(月)~2月5日(金)	2021年 2月25日(木)	2021年 3月6日(土)	2021年 3月8日(月)~3月15日(月)
	公立大学* 中期日程 2021年 1月25日(月)~2月5日(金)	2021年 3月8日(月)	2021年 3月21日(日)	2021年 3月22日(月)~3月26日(金)
総合型選抜	2020年 9月15日(火)~9月23日(水)	本学HPまたは学生募集 要項を参照してください。	2020年 11月11日(水)	2020年 11月12日(木)~11月20日(金)
学校推薦型選抜 ・学校推薦型A (千歳地区) ・学校推薦型B (全国)	2020年 11月12日(木)~11月20日(金)	2020年 12月5日(土) 12月6日(日) ※出願者数により、 12月6日(日)の1日で 実施する場合があります。	2020年 12月16日(水)	2020年 12月17日(木)~12月25日(金)

*公立大学中期日程は、志願倍率により2段階選抜を実施する場合があります。2段階選抜を実施する場合、第1段階選抜の結果は2月23日(火)に発表します。

インターネット出願について

総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜の出願はすべて「インターネット出願」で受け付けます。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、金融機関ATM(ペイジー)でお支払いいただくことが可能です。

Web オープンキャンパスを 開催します

開催を予定していた第1回及び第2回オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止となりました。については、高校生や保護者の方々に大学を知っていただく機会として、本学の学部・学科の特色や入試制度を紹介する『Webオープンキャンパス』を開催いたします。詳細については、本学ホームページをご覧ください。

法人情報

奨学金の寄附に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略、50音順)公表を希望されない寄附者様につきましては、「匿名希望〇名」という形で掲載させていただきました。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

※本誌掲載内容は2020年3月1日から2020年4月30日までのものです。

寄附者ご芳名
(2020年3月1日から2020年4月30日まで)

愛山 功一 生川 靖人 川合 敏雄 木下 雅司
木下諒二郎 合同会社アコード221 筒井 貞本 康尚
鈴木 るり 正田 真琴 ほかに匿名希望の方7名
敬称略

ご寄附に関する詳細につきましては、
本学ホームページをご覧ください。

